

人口問題研究所  
研究資料第241号  
昭和61年3月20日

Institute of Population Problems  
Research Series, No.241  
March 20, 1986

# 人口統計資料集

LATEST DEMOGRAPHIC STATISTICS  
1985

厚生省人口問題研究所

INSTITUTE OF POPULATION PROBLEMS  
MINISTRY OF HEALTH AND WELFARE  
Tokyo, Japan

# 序 文

この資料は、最近の人口に関する統計のうち、とくに重要なものを選んで、人口の動向あるいは人口問題の調査研究に資するために編集したものである。

人口あるいは人口問題の調査研究を推進するうえで、絶えず進展し、流動する人口現象についての最も新しい統計を広く内外にわたって把握し、これをいち早く調査研究に携わる者に紹介提供する情報活動は、常に最も必要なものとして感じられ、要望されている。

この意味で、人口問題研究所（人口情報部）は全国につき、また国内各地域につき、さらに広く諸外国について、調査、登録あるいは推計によって把握され、発表される最新の人口統計資料および関連資料を積極的に収集することに努めるとともに、収集された統計資料から、新しいデータに基づく研究に必須と思われる主要な統計を抜粋し、必要なものに逐一統計的補整を施して、速報的な資料集を作成し、研究の便宜と促進のために役立てている。

この『人口統計資料集』は、この主旨にそうものとして、本研究所が収集した新着資料のうち、人口問題に関する主要な統計、ならびに研究所において作成された主要統計を抜粋、補整して載録するもので、年1回の年報的な性格をもたせた資料として発行していくものである。本資料が利用者に便すること多きを望むものである。

なお、本資料は統計と年表とによって編成されており、統計は毎年掲載表と特集題目表とに分けられるが、本年の特集題目は「死亡」である。この資料の作成は、人口情報部長山口喜一、同部解析科長金子武治、主任研究官山本道子および解析科坂東里江子の各技官が主として担当したものであるが、特集題目については、人口資質部能力科高橋重郷技官がこれに協力した。

昭和61年3月15日

厚生省人口問題研究所長

岡 崎 陽 一

# 目 次

人口動向の概観	1
---------	---

## 毎年掲載表

### I 人口の大きさとその変動

1 世界の歴史人口と将来予測	19
2 世界の大地域別にみた人口、面積および人口密度：最新材料	19
3 人口3,000万以上の国の人口、面積および人口密度：最新材料	20
4 主要国の農用地面積当たり特殊人口密度：1982年	20
5 世界の主要地域別人口の推移と将来予測	21
6 日本の総人口（男女別）と人口密度の推移	23
7 日本の総人口（男女別）の将来予測	25
8 主要国の将来推計人口と増加率の予測	26
9 日本の近代人口調査による人口	27

### II 人口動態の変動

10 出生、死亡数および人口動態率の推移	28
11 標準化出生率、死亡率および自然増加率の推移	29
12 主要国の普通出生率および死亡率：最新材料	30
13 主要国の標準化出生率および死亡率：最新材料	30
14 男女別にみた出生数および死亡数の推移	31
15 婚姻および離婚件数の推移	32
16 全婚姻と初婚の別にみた平均婚姻年齢の推移	32
17 主要国の平均初婚年齢：最新材料	32
18 主要国の婚姻率および離婚率：最新材料	33
19 女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率の変動	33
20 主要国の女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率：最新材料	33
21 有配偶女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率の変動	34
22 自然・人工別にみた死産数と人工死産割合の推移	34
23 人工妊娠中絶（実数と率）および優生手術件数の推移	34
24 世論調査（毎日新聞社）による人工妊娠中絶および避妊の状況	35
25 各種出産力調査による平均出生児数の比較	36
26 乳児、新生児および周産期死亡の実数と率の推移	37
27 主要国の乳児死亡率：最新材料	37

28	男女、年齢（5歳階級）別にみた死亡率の変動	38
29	主要国の男女、年齢（5歳階級）別にみた死亡率：最新材料	39
30	主要な死因別にみた死亡率および死亡割合の変動	40
31	主要国の主要死因別にみた死亡率：最新材料	40
32	主要国の妊産婦死亡率：最新材料	41
33	男女別にみた出生時の平均余命および生存数の変遷	41
34	主要国の男女別にみた出生時の平均余命：最新材料	41
35	女子人口の出生力、再生産力に関する主要指標の推移	42
36	主要国の総出生率および合計特殊出生率：最新材料	43
37	主要国の総再生産率および純再生産率：最新材料	43
38	女子の安定人口動態率、平均世代間隔および年齢構造係数の推移	44
39	世界の主要地域別にみた普通出生率および死亡率の推移予測	45
40	世界の主要地域別にみた合計特殊出生率および総再生産率の推移予測	46
41	世界の主要地域別にみた純再生産率および出生時の平均余命の推移予測	47
42	世界の主要地域別にみた男女別出生時の平均余命の推移予測	48
43	自然増加および社会増加別にみた増加人口の推移	49
<b>Ⅲ 人口の地域移動</b>		
44	地方別にみた人口および増加人口の自然・社会別増加の比較	49
45	自府県内・府県間別にみた市町村間人口移動の推移	50
46	3大都市圏別にみた大都市圏の転入超過人口の推移	50
47	府県間人口移動の類型（移動方向）別にみた移動数および割合の推移	51
48	国別にみた在外日系人数および戦後の移住者数	51
49	主要な移住国別にみた移住者数の推移	52
50	渡航費支給移住者数の推移と送出先別分布	52
51	日本人および外国人の別にみた出入国者数の推移	53
52	国籍別にみた出入国者数の変動	53
53	国籍別にみた登録外国人数の変動	54
54	国・地域別にみた海外在留日本人数の変動	54
<b>Ⅳ 年齢別人口構造の変化</b>		
55	男女、年齢（5歳階級）別にみた人口および年齢構造係数の年次変化	55
56	年齢（3区分）別にみた人口および増加率の推移	57
57	人口の年齢構造に関する主要指標の推移	57
58	主要国の年齢（3区分）別にみた人口および年齢構造係数：最新材料	58
59	主要国の人口年齢構造に関する主要指標：最新材料	59



60	年齢（3区分）別にみた人口および増加率の将来予測	60
61	将来推計人口の年齢構造に関する主要指標	60
62	主要国の年齢（3区分）別人口構造の将来予測	61
63	世界，主要大地域別にみた年齢（3区分）別人口の推移予測	62
64	主要先進国の65歳以上老年人口割合の推移と予測	63
65	主要先進国の65歳以上老年人口割合が7%から14%に到達した（する）年数	63
66	主要先進国の65歳以上老年人口の前期・後期別構造：最新材料	63
67	年齢（4区分）別にみた人口とその割合の推移と将来予測	64
68	明治・大正・昭和生まれ人口の割合の推移	64
69	100歳以上の高齢者の推移と年齢別分布	64
V 人口の経済的構造		
70	男女別にみた労働力状態別人口とその割合の推移	65
71	男女，年齢（5歳階級）別にみた労働力率の変動	66
72	主要国の男女，年齢（5歳階級）別にみた労働力率：最新材料	66
73	産業（3部門）別にみた就業人口とその割合の年次変化	67
74	主要国の産業（3部門）別にみた就業人口とその割合：最新材料	67
75	男女別にみた産業（大分類）別就業人口とその割合：昭和55年	68
76	職業（4区分）別にみた就業人口とその割合の年次変化	68
77	主要国の職業（大分類）別にみた就業人口割合：最新材料	68
78	従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合の年次変化	69
79	主要国の従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合：最新材料	69
80	従業者規模別にみた事業所数，従業者数とその割合：昭和56年	69
81	産業（大分類）別にみた事業所数，従業者数とその割合の年次変化	70
82	男女別にみた社会経済分類別人口とその割合：昭和55年	70
VI 人口の社会的構造		
83	男女別にみた配偶関係別人口とその割合の推移	71
84	男女，年齢（5歳階級）別にみた有配偶率の変動	71
85	主要国の男女，年齢階級別にみた未婚率および有配偶率：最新材料	72
86	世帯増加率と人口増加率の比較および平均世帯人員の推移	73
87	普通世帯の世帯数，世帯人員および平均世帯人員の推移	73
88	主要国の平均世帯人員（1世帯当たり）：最新材料	74
89	世帯人員別にみた一般世帯数と割合の変動	74
90	家族類型別にみた核家族世帯数と割合の変動	74
91	家族類型別にみた一般世帯数と割合の変動	75

92	主要国の世帯人員別にみた世帯数，世帯人員および平均世帯人員：最新材料	76
93	経済構成別にみた普通世帯数，親族人員および平均世帯人員の変動	77
94	世帯類型別にみた特殊世帯の世帯数とその割合の変動	77
95	世帯構造別にみた65歳以上の者のいる世帯の世帯数とその割合の変動	77
96	教育程度別にみた学校数，在学者数および教員数の変動	78
97	男女別にみた教育程度別人口の変動	78
98	男女，年齢階級別にみた人口の教育程度別割合の変動	79
99	男女別にみた中学校・高等学校卒業者の進学率の推移	79
100	主要国の男女別にみた教育程度別在学率：最新材料	80
101	主要国の男女別にみた文盲率：最新材料	80
<b>Ⅶ 人口の地域分布の変化</b>		
102	地方別にみた人口とその割合および人口密度の推移	81
103	地方別にみた人口増加の変動	81
104	人口規模階級別にみた市町村人口および増加率の推移	82
105	市部・郡部別にみた人口とその割合および市町村数の推移	82
106	市部・郡部別にみた人口集中地区人口，面積および人口密度の推移	83
107	東京，大阪，名古屋の50キロ圏の人口とその割合の推移	83
108	東京，大阪，名古屋の50キロ圏の人口増加の変動	83
109	人口20万以上の市の人口および人口増加率：昭和60年	84
<b>Ⅷ 都道府県別統計</b>		
110	都道府県別にみた男女別人口，人口密度および人口増加率：昭和60年	85
111	都道府県別にみた人口の推移	86
112	都道府県別にみた人口増加率（年平均）の変動	88
113	都道府県別にみた人口および増加率の将来予測	89
114	都道府県別の市部・郡部別にみた人口とその割合の変動	90
115	都道府県別にみた人口集中地区の人口，面積および人口密度の変動	91
116	都道府県別にみた常住（夜間）人口および昼間人口の変動	92
117	都道府県別の年齢（3区分）別にみた人口とその地域別割合：昭和59年	93
118	都道府県別人口の年齢構造に関する主要指標：昭和59年	94
119	都道府県別にみた年齢（3区分）別人口構造の年次変化	95
120	都道府県別にみた年齢（3区分）別人口構造の将来予測	96
121	都道府県別の産業（3部門）別にみた就業人口構造の年次変化	97
122	都道府県別にみた総世帯数および平均世帯人員の変動	98
123	都道府県別にみた世帯の種類別世帯数，世帯人員および平均世帯人員：昭和55年	99

124	都道府県別にみた普通世帯の家族類型別構造の変動	100
125	都道府県別にみた人口動態の実数および率：昭和59年	101
126	都道府県別の女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率と合計特殊出生率：昭和55年	103
127	都道府県別にみた普通および標準化出生率・死亡率：昭和55年	104
128	都道府県別にみた普通および標準化合計特殊出生率：昭和55年	104
129	都道府県別にみた女子人口の再生産率：昭和55年	105
130	都道府県別の男女別にみた出生時および65歳時の平均余命：昭和55年	105
131	都道府県別にみた自然増加率および社会増加率の変動	106
132	都道府県別にみた自府県内・他府県間別人口移動：昭和59年	107
133	都道府県別にみた中学校・高等学校卒業者の進学率および就職率：昭和60年度	108

### 特集目録表（死亡統計）

#### I 一般死亡

1	男女別にみた死亡数，死亡率および死亡性比の推移	111
2	月別にみた死亡数および率の年次変化	113
3	市部・郡部別にみた死亡の場所別死亡数および割合の年次変化	113
4	都道府県別にみた死亡数の年次変化	114
5	都道府県別にみた普通死亡率の年次変化	115
6	死亡率によってみた死因順位の年次推移	116
7	特定死因の男女別にみた年齢（5歳階級）別死亡率の年次変化	118
8	男女別にみた年齢階級別死因順位（死亡数・率）：昭和59年	125
9	月別にみた主要死因別死亡率：昭和59年	129
10	都道府県別にみた死因順位（死亡割合）：昭和59年	130
11	死亡の場所別にみた主要死因の男女別死亡数および割合：昭和59年	132
12	世帯の主な仕事別にみた主要死因別死亡数および割合：昭和59年	133
13	職業（大分類）別にみた男女別死亡数および率ならびに死因順位の年次変化	134
14	悪性新生物の部位別死亡数および率の年次変化	135
15	男女別にみた悪性新生物の主要部位別死亡率の年次変化	136
16	男女別にみた脳血管疾患の病類別死亡数および率の年次変化	136
17	男女別にみた心疾患の病類別死亡数および率の年次変化	137
18	不慮の事故の種類別死亡数および率の年次変化	138
19	男女別にみた自殺の手段別死亡数および割合の年次変化	138
20	妊産婦死亡の死因別死亡数および率の年次変化	139
21	都道府県別にみた妊産婦死亡数および率：昭和59年	139
22	男女別にみた主要死因の年齢階級別死亡率および標準化死亡率の年次変化	140

23	男女別にみた特定死因の訂正（標準化）死亡率の年次変化	154
24	都道府県別の男女別にみた主要死因の訂正（標準化）死亡率：昭和55年	155
<b>II 乳児死亡</b>		
25	男女別にみた乳児死亡数，性比および割合の推移	157
26	男女別にみた新生児死亡数，性比および割合の推移	157
27	生存期間別にみた男女別乳児死亡率，性比および割合：昭和59年	158
28	月別にみた乳児死亡数および率の年次変化	158
29	出生月別の出生数，乳児死亡数および率の年次変化	159
30	市部・郡部別にみた死亡の場所別乳児死亡数および割合の年次変化	159
31	世帯の主な仕事別にみた生存期間別乳児死亡数および率の年次変化	160
32	都道府県別にみた乳児死亡数および率の年次変化	161
33	死因別にみた乳児死亡数および率の年次変化	162
34	乳児の死因順位（死亡数，率および割合）の年次変化	163
35	新生児の死因順位（死亡数，率および割合）の年次変化	164
36	男女別にみた妊娠満28週以後の死産・早期新生児死亡別周産期死亡数および率の推移	165
<b>III 生命表</b>		
37	男女別にみた主要年齢の死亡率，生存数および平均余命の年次変化	166
38	男女別にみた0歳の死因別死亡確率の年次変化	169
39	特定死因を除去した場合の平均余命（男女別主要年齢）の伸び：昭和59年	169
40	都道府県別の男女別にみた出生時の平均余命の年次変化	170
41	都道府県別の男女別にみた特定年齢の平均余命：昭和55年	171
42	都道府県別の男女別にみた出生時の平均余命の伸び：昭和50年～55年	172
43	特別区・指定都市別の男女別にみた出生時の平均余命の年次変化	172
44	特別区・指定都市別の男女別にみた特定年齢の平均余命：昭和55年	172
45	配偶関係別にみた男女別主要年齢の平均余命の年次変化	173
46	男子就業者の職業別にみた主要年齢の平均余命の年次変化	174
<b>IV 国際統計</b>		
47	主要国の普通死亡率の推移	175
48	主要国の乳児死亡率の推移	176
49	主要国の主要死因別にみた死亡率の推移	177
50	主要国の男女別にみた出生時の平均余命の推移	180
<b>戦後人口年表</b>		185

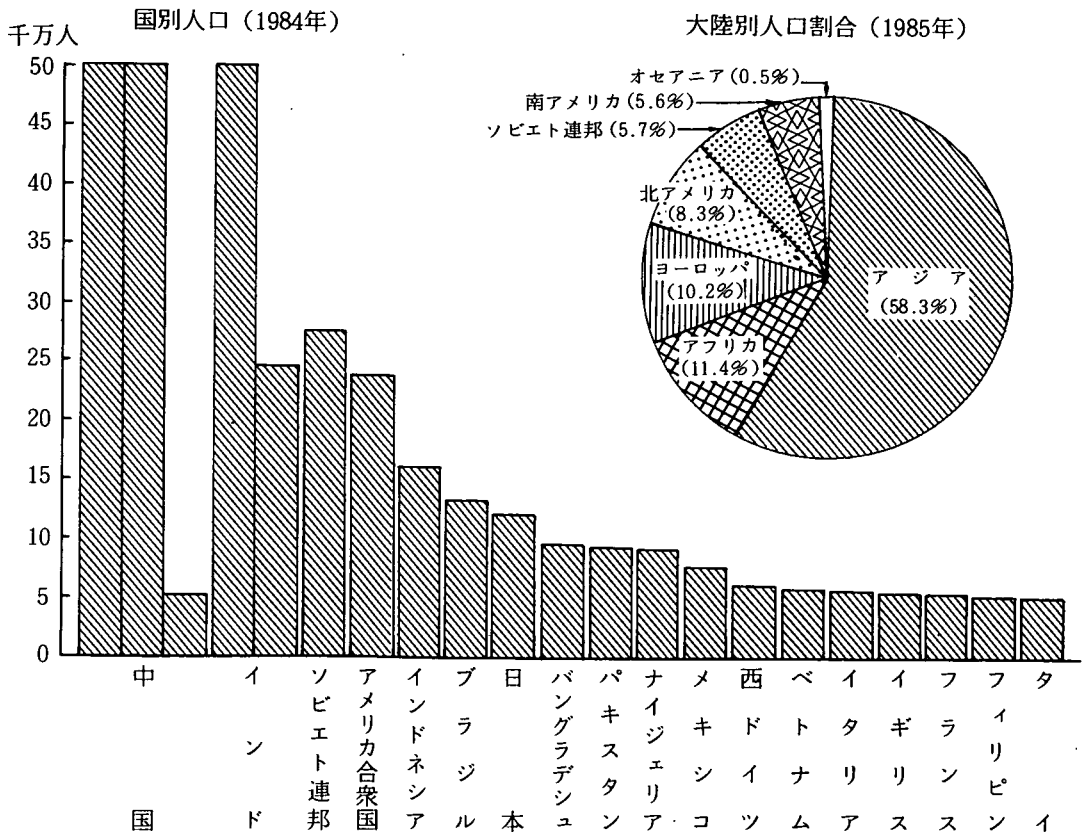
# 人口動向の概観

この資料は、人口に関する主要な統計表を集録したものであるが、そのうち基本的なものをグラフに描き、これらを参考にしながら、紙面の許す範囲内で解説を付してみよう。

まず世界人口の現状であるが、国際連合の暫定推計による1985年の年央時（7月1日）現在における世界の総人口は48億4,200万に上ったが、以下にみるごとく、この世界人口の地域的分布は著しく不均等である。

国連では、ガザ地帯、イスラエル、レバノン、キプロス、シリアを連ねる線から東方、韓国と日本に至るまでをソビエト連邦を除いて「アジア」と呼んでいるが、このアジアには現在、世界人口の実

参考図1 人口5,000万以上の国の人口および世界の大陸別人口割合



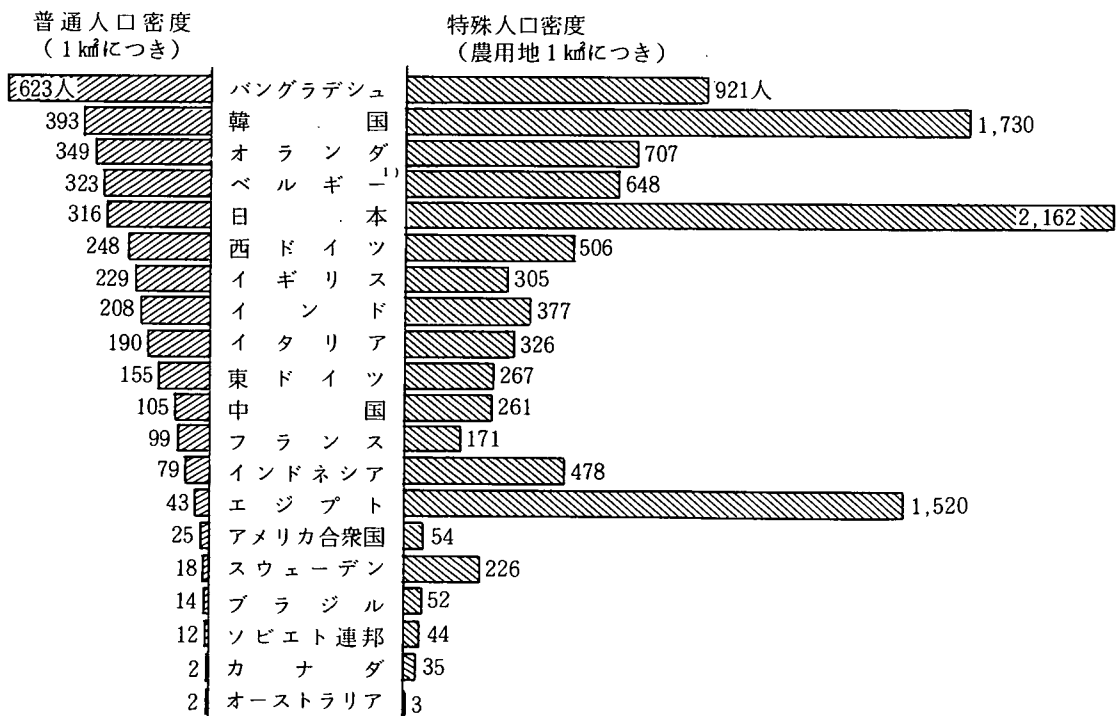
国連の資料（UN, *Statistical Papers*, A-X XX VII-3）による各年の年央推計人口。国別人口は、人口5,000万以上の国の人口の大きき順に並べたもの。大陸別人口のうち、ソビエト連邦は、アジア、ヨーロッパのいずれにも含めず別掲、また、トルコ（ヨーロッパの部）はアジアに含まれる。

に58.3%が住んでいる(参考図1)。世界人口の大陸別内訳は、アジア28億2,400万、アフリカ5億5,300万、ヨーロッパ4億9,200万、北アメリカ3億9,500万、ソビエト連邦2億7,800万、南アメリカ2億6,300万、オセアニア2,500万である。

統計表の2に示したように、ヨーロッパの面積(493万7,000平方キロメートル)は世界総面積1億3,583万7,000平方キロメートルのわずかに3.6%にすぎないが、ここに世界人口の10.2%が住んでおり、人口密度は、1平方キロについて100人に上っている。これに対して、アジアの面積(2,757万6,000平方キロ)は世界の面積の20.3%であるが、ここに世界人口の半数以上が住んでおり、その人口密度は102人で、いまやヨーロッパを凌駕している。その他の地域はぐっと下がって、アフリカが18人、北アメリカ17人、南アメリカ15人、ソビエト連邦12人、そしてオセアニアが3人という状態である。

こういった世界の中におけるわが国の人口は、48億を大きく超えている世界総人口の約1,000分の25を占めている。しかし、国土面積はわずかに37万平方キロであって、地球の陸地面積の1,000分の3にも足りない状態である。したがって、日本の人口密度は非常に高い。そこで日本人口の大きさと稠密度であるが、総人口は1億2,000万となり、これは、中国、インドなどに次いで世界の第7位の人

参考図2 主要国の普通人口密度と特殊人口密度の比較：1981年



FAO, *Production Yearbook*, および UN, *Demographic Yearbook* (各1982年版) に基づいて算定。農用地は耕地、樹園地、牧場および牧草地である。

1) 農用地にかかわる数値はルクセンブルクを含む(ルクセンブルクを含めた普通人口密度は309)。

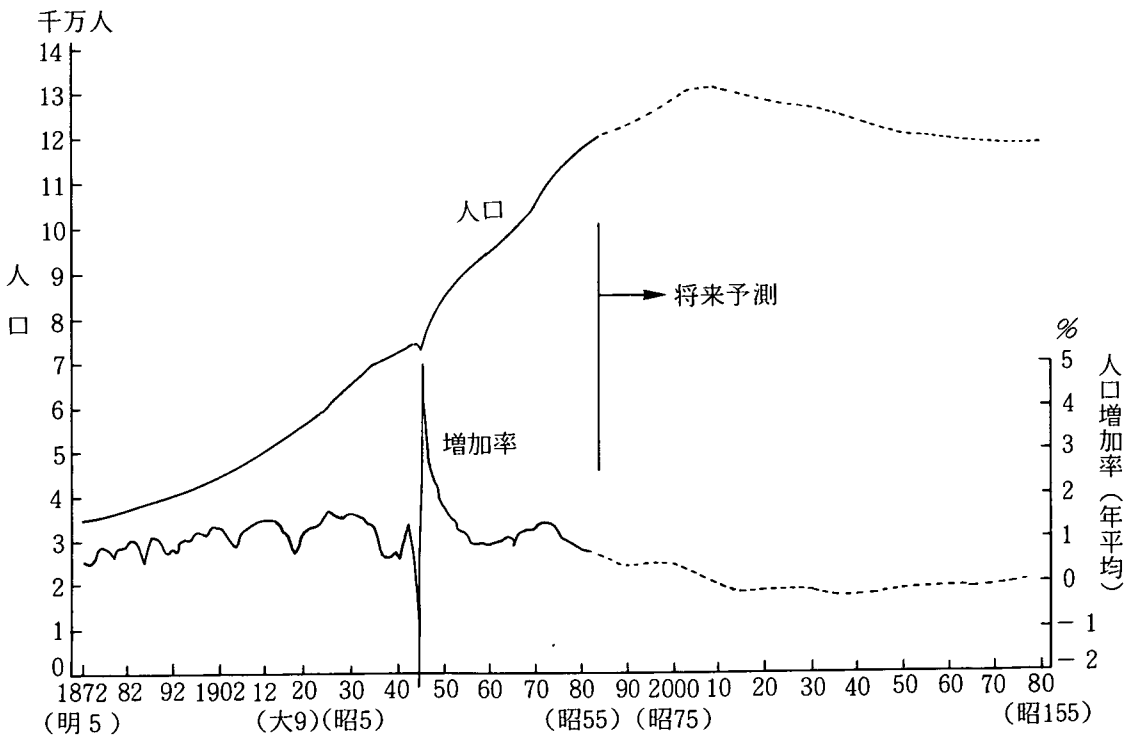
口大国である（参考図1）。

また表3には人口3,000万以上の国の数値を示しているが、人口密度の高いところを、人口500万以上の国について拾い上げてみると、日本は世界で5番目になる(参考図2)。こうして、人口の大きさと人口密度の高さとの組み合わせとしてみるならば、人口1億以上のいわゆる「セブン・ジャイアンツ」の中で、密度も7位までに入るのは日本だけであり、わが国の人口と国土が、全体として高密度経済社会を形成することを示している。

ちなみに、一つの参考として、図1に併示しているような特殊人口密度を計算してみると、わが国は、実質的には世界で最も人口稠密な国であるということが出来る（より新しい材料による計算結果が表4に示されているので参照）。

このように、現在の日本人口は1億2,000万に達して、その規模はきわめて大きいですが、最近の人口増加率は年率にして0.6%台である。近年における出生率低下によって、統計表の3や5に見られるように、わが国の人口増加率はヨーロッパ諸国に次ぐ低率となっている。このような傾向は、今後ますます強まるであろうと推測されている（参考図3）。

参考図3 日本の総人口および増加率の推移と将来予測

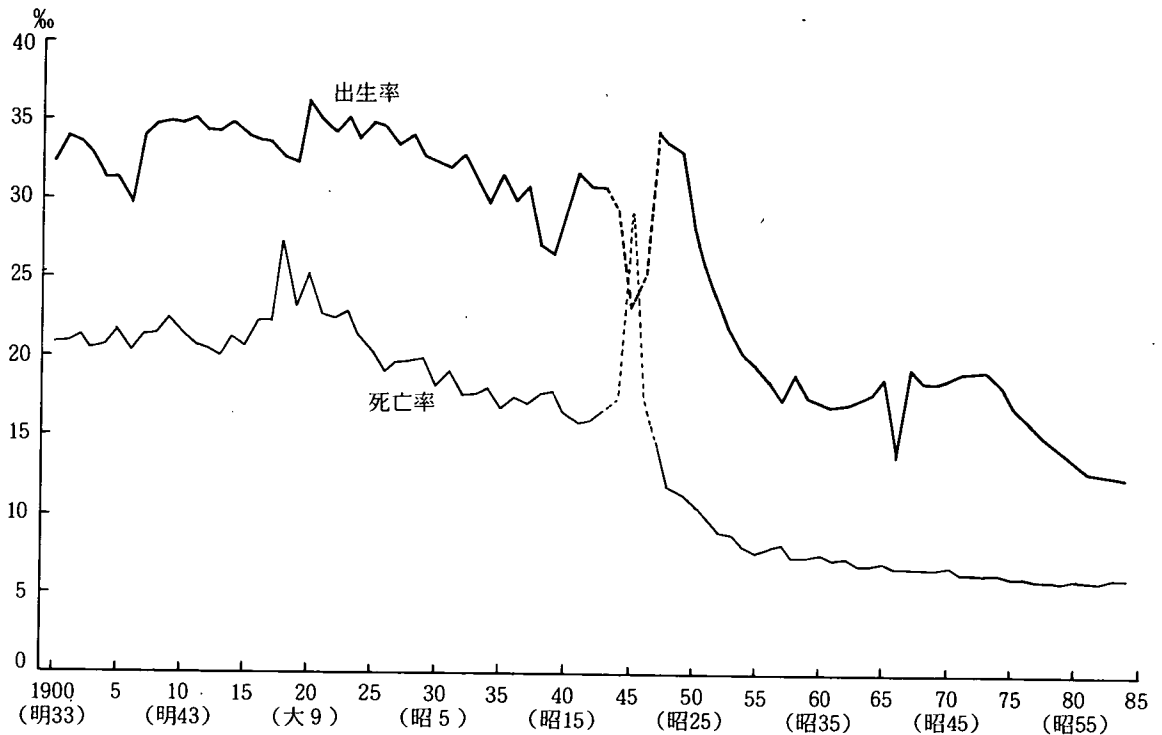


1984 (昭和59) 年までは国勢調査および総務庁統計局の推計人口、1985年以降は厚生省人口問題研究所の推計将来人口 (昭和56年11月推計による)。

表7にも示されている厚生省人口問題研究所の将来人口推計によると、年々増加率は逓減し、総人口は昭和80年代に入って1億3,000万を少し超えるところまで増加するが、その後約60年にわたって人口は減少し、来世紀末になって、1億1,800万ほどで静止人口の状態になるであろうと推測されている。

次は、表10として掲げた人口動態の推移についてであるが、最も関心をひく出生動向は(参考図4)、

参考図4 出生率および死亡率の推移



厚生省統計情報部『人口動態統計』による。ただし、点線の個所(昭和19~21年)は推計。

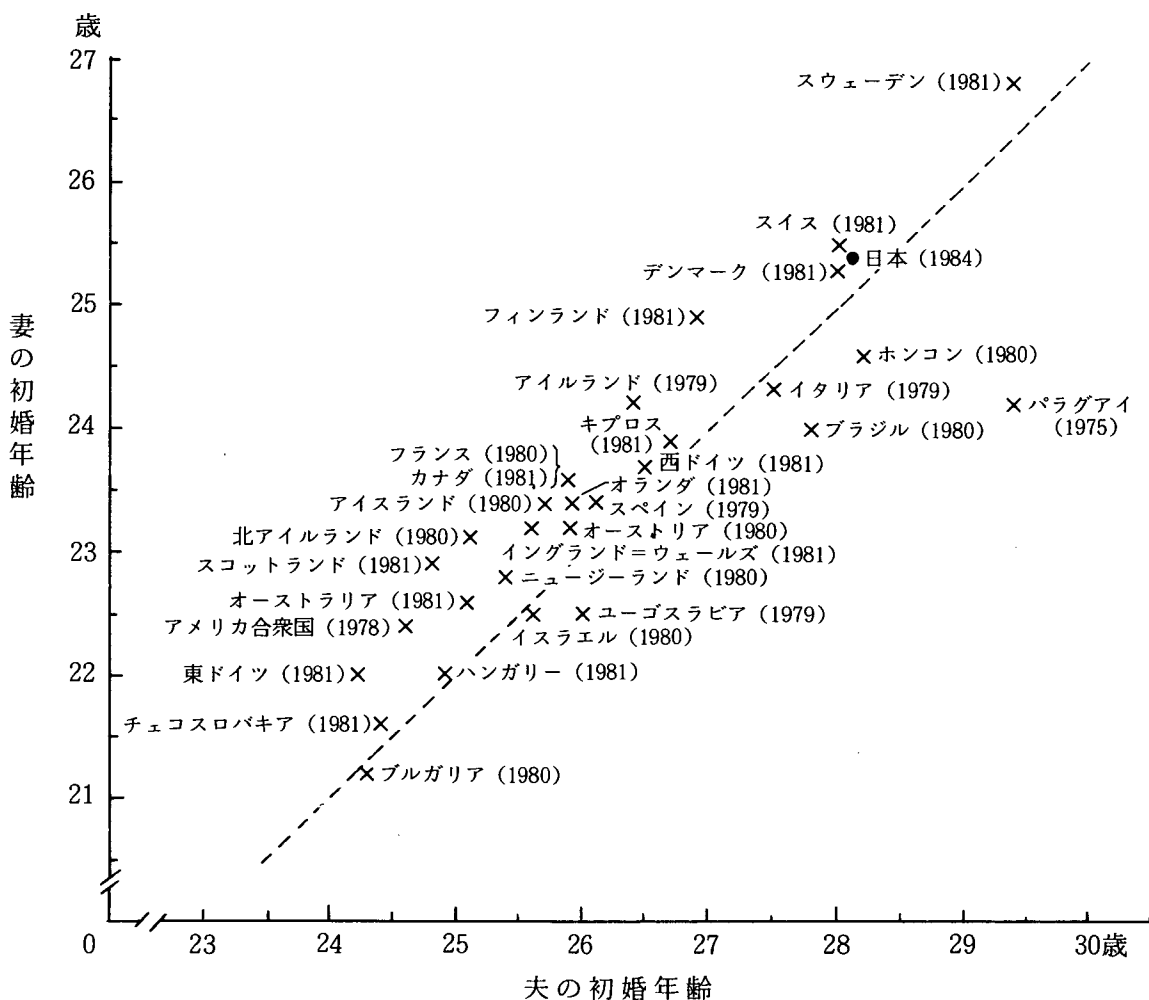
昭和49年以降の減退傾向が明らかに示されている。すなわち、昭和50年代に入ってから減退低下傾向は著しいものがあり、年間の出生数は200万を割り、53年には出生率(人口1,000について)も15%水準を下回り、55年には13.6%という、例の「丙午(ヒノエウマ)」で意識的な産みかえがあった41年の異常値(13.7%)以上の低率となった。ただ出生数は150万台で、41年よりは多いが、いずれにしても今後の動向が注目されることである。最近年の出生は、実数が150万を切って率も12%水準を下回るやにみられている。表12に主要国の出生率を示しているが、日本は国際的にみて低い水準である。

ところで、基本的に有用な出生力指標は、何歳の女子(母)が幾人の子どもを生むかということのみる年齢別出生率である。統計表の19と20によってわが国の年次変化と最近の主要国比較がなされる



が、一般的にいて、先進地域のそれが全体的に低く、発展途上地域が高いが、どの年齢層で相対的に高い（あるいは低い）出生率を示すかは国によって異なる。東ドイツやアメリカ合衆国は早婚（参

参考図5 夫妻別平均初婚年齢の国際比較



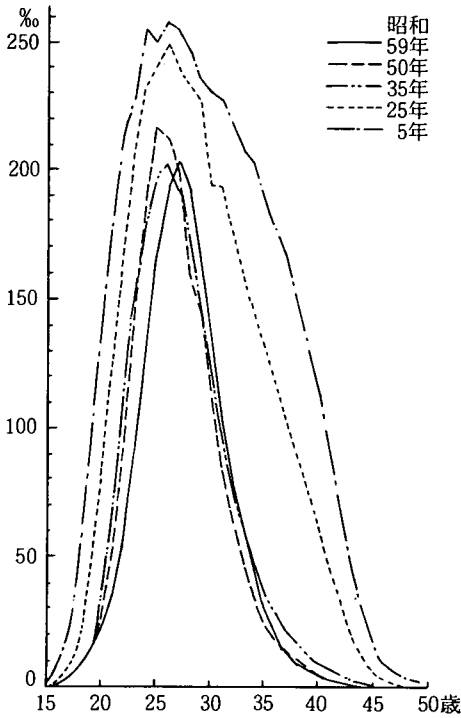
日本は厚生省『人口動態統計』により、外国はUN, *Demographic Yearbook*, 1982年版による各国の夫妻別初婚件数に基づいて算定したもの。

考図5)を反映して、25歳未満の若い年齢層の出生率が高く、イングランド=ウェールズやフランスその他では、むしろ20歳台後半が高いが、前半も比較的高くなっている。それらに比べて日本は、25~29歳層の出生率が極端に高く、国際的にみても特異な型となっている。

統計表の17にも見られるごとく、日本は晩婚国として知られているが、わが国女子の年齢別出生率について25歳未満という比較的若い年齢のそれが減退しているのは(参考図6),まったく遅い結婚と配偶関係が出生に対して不利に作用しているということである。表18や85にも示されているように、

その配偶関係は、国際比較的にも若い人口の未婚率の高まりが顕著である。こういった配偶関係構造の特徴というか変化は、進学率の上昇や女子就業率の高まりによるもので、それらが、さらに出生率の変動に影響を及ぼしているわけである。

参考図6 女子の年齢別出生率の年次変化



参考図7 合計特殊出生率の国際比較

イスラエル (1982)	3.12
ブラジル (1980)	2.85
タイ (1982)	2.77
チリ (1982)	2.58
韓国 (1981)	2.43
ポーランド (1982)	2.34
ルーマニア (1982)	2.17
ユーゴスラビア (1980)	2.14
チェコスロバキア (1981)	2.09
ギリシア (1981)	2.09
ニュージーランド (1981)	2.01
ブルガリア (1981)	2.01
フランス (1980)	1.99
オーストラリア (1981)	1.94
東ドイツ (1981)	1.87
ホンコン (1982)	1.86
アメリカ合衆国 (1981)	1.82
日本 (1984)	1.81
ハンガリー (1982)	1.79
イングランド・ウェールズ (1982)	1.76
オーストリア (1981)	1.71
ノルウェー (1982)	1.71
シンガポール (1982)	1.71
カナダ (1981)	1.67
フィンランド (1981)	1.65
スウェーデン (1981)	1.63
オランダ (1981)	1.56
スイス (1981)	1.55
デンマーク (1982)	1.42
西ドイツ (1982)	1.41

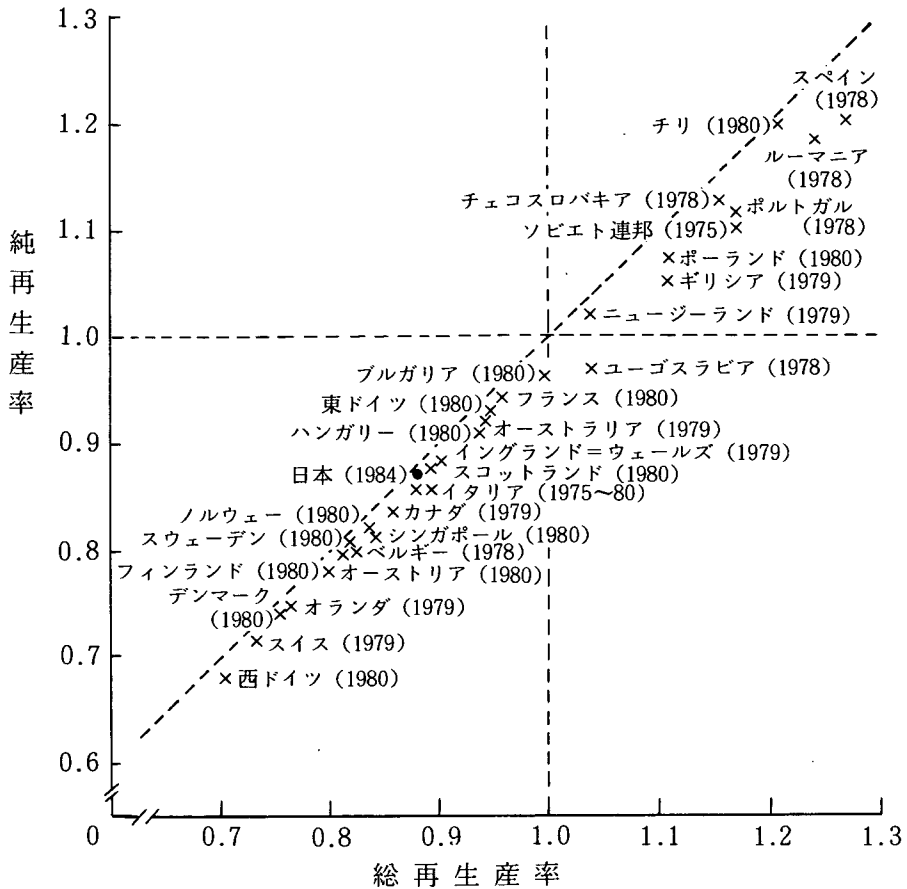
厚生省人口問題研究所の研究資料およびUN, *Demographic Yearbook*による。率の高い順に配列。

ところで、女子の年齢別出生率は出生力指標として有用だが、単一の数値ではないので（年齢別に読まねばならない）、一つの人口の出生力を知るためにはこれを総合化する必要がある。その方法の一つとして、年齢別の出生率を合計することによって求められる「合計特殊出生率」があるが、この値は、1人の女子が、その年における各年齢の率で子を産みながら、一生涯を経過する間に、合計幾人の子供を生むかを表わすものとされている。その結果数値は表35として示しているが、外国との比較でみると、日本はかなり低い方である（参考図7）。

1人の女子の平均子供数を示すという合計特殊出生率の考え方を、そのうちの女兒数に適用してみた総再生産率、さらに、これに死亡率を考慮に入れた本当の意味における人口再生産力を示す指標である純再生産率も掲示しておいたが、日本の国際的地位はそのいずれもが低いところにある（参考図8）。

現在、世界の多くの国においてこれらの指標でみる出生力ないし再生産力が著しく低い水準に落ち

参考図 8 総再生産率および純再生産率の国際比較



図Ⅱ-11と同じ資料による。

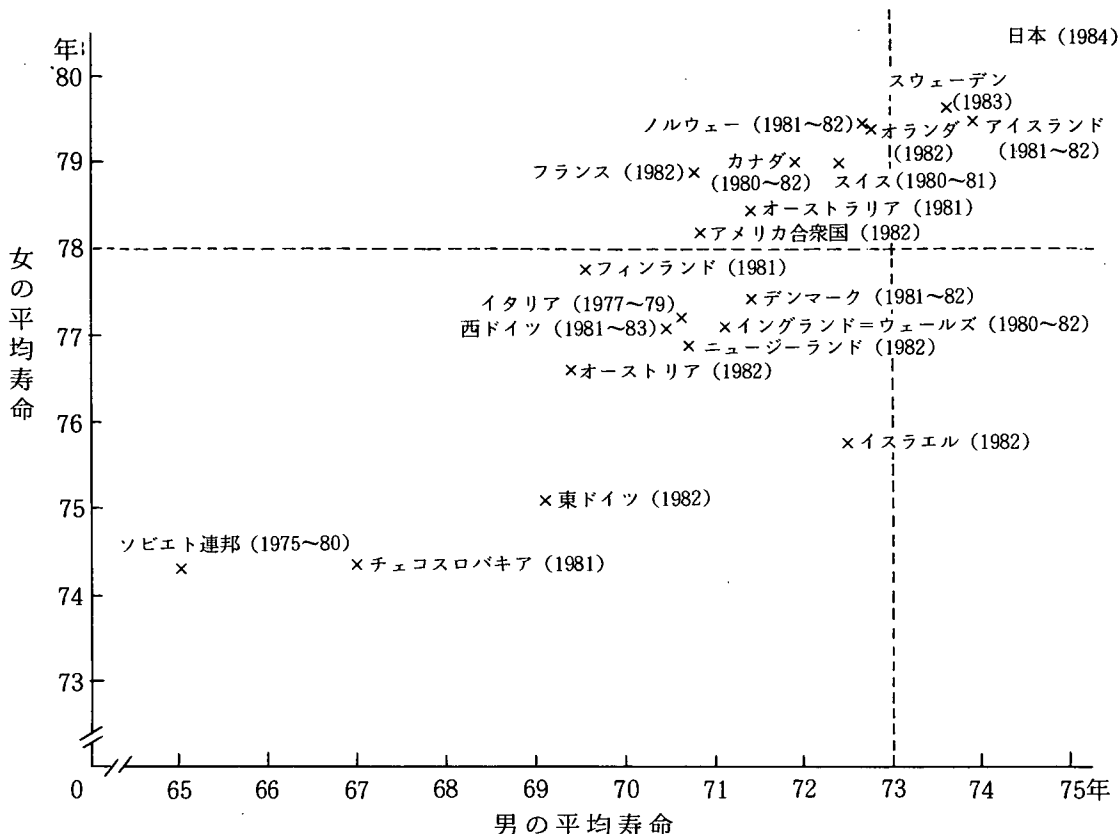
ているが、ごく最近の動向を注意深く観察すると、かなりの国において回復傾向を示している事実が認められる。わが国においても、人口全体の普通出生率はなお若干の低下を持続したものの1人当たりの出生力や再生産力は反転上昇みであって、今後の動向が注目される(統計表35~37を参照)。

次に死亡の状況であるが、第2次大戦後死亡率も大幅に低下している(参考図4)。数値は表10に示しているが、戦前には7,000万程度の人口で、毎年120万前後の死亡数を出していたものが、今日では総人口が1億を大きく超えるほどに増加したのに、死亡数は70万程度である。したがって、人口1,000についての死亡率は戦前20%程度であったのが、戦後の昭和26年以降10%の水準を切って、さらに低下して近年は6%すれすれの線にあった。しかしようやく低下の限界か、58年には6.2%と前年をやや上回っている。

統計表の33と34に生命表による出生時の平均余命、すなわち一般にいう「平均寿命」が示されてい

るが、平均寿命は死亡の実態を総合し簡約に表わす指標として重要である。今日の日本人の平均寿命は著しく伸びて、世界のトップに位置しているものとみられる（参考図9）。とくに女子は、昭和59年

参考図9 平均寿命の国際比較



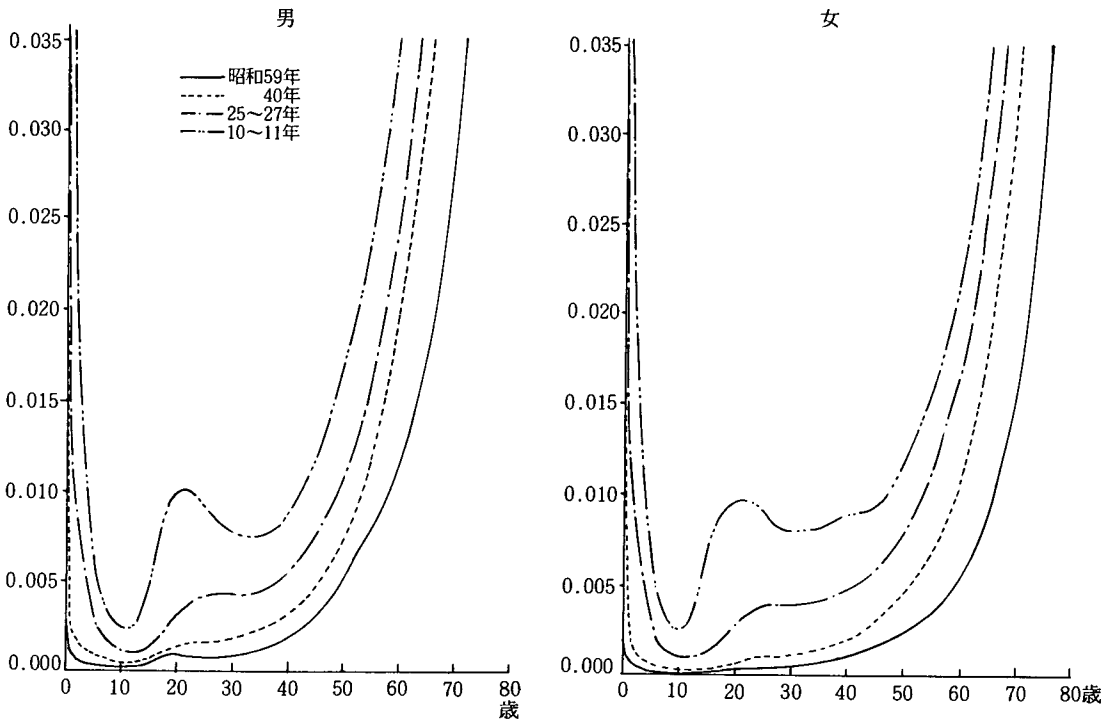
厚生省『昭和59年簡易生命表』, UN, *Demographic Yearbook* (1983) 等による。

(厚生省の簡易生命表による) に世界で初めて寿命年齢を80歳という夢の大台に乗せたのであって、特筆大書すべきことがらである。ただ、死亡率の低下もそろそろ限界に近づいてきていることからして、将来もなお寿命延長が望めるか否かその動向が注目される。

なお、死亡についての詳細な分析には、死亡原因別の死亡や男女・年齢別にみる死亡率よっての分析、あるいは、これらを組み合わせたの考察なども重要である。統計表の30, 31に見られるように日本人の死因構造も、以前に比べ大きく変化してきている。

近年、長い間死因別死亡のトップをつづけていた脳血管疾患による死亡が改善されて死亡率を下げたのが注目されるが、代わって悪性新生物や心疾患が高まりをみせ、死因構造も欧米型に変わりつつあることを思わせる。年齢別死亡率は、若い年齢層、とくに乳幼児の死亡の減少に始まり、全体的に大きく改善低下を示している（参考図10）。

参考図10 男女、年齢別死亡率の年次変化



生命表の死亡確率 ( $q_x$ ) 曲線で、昭和59年は厚生省の簡易生命表、40年は第12回生命表、25~27年は第9回生命表、10~11年は第6回生命表による。

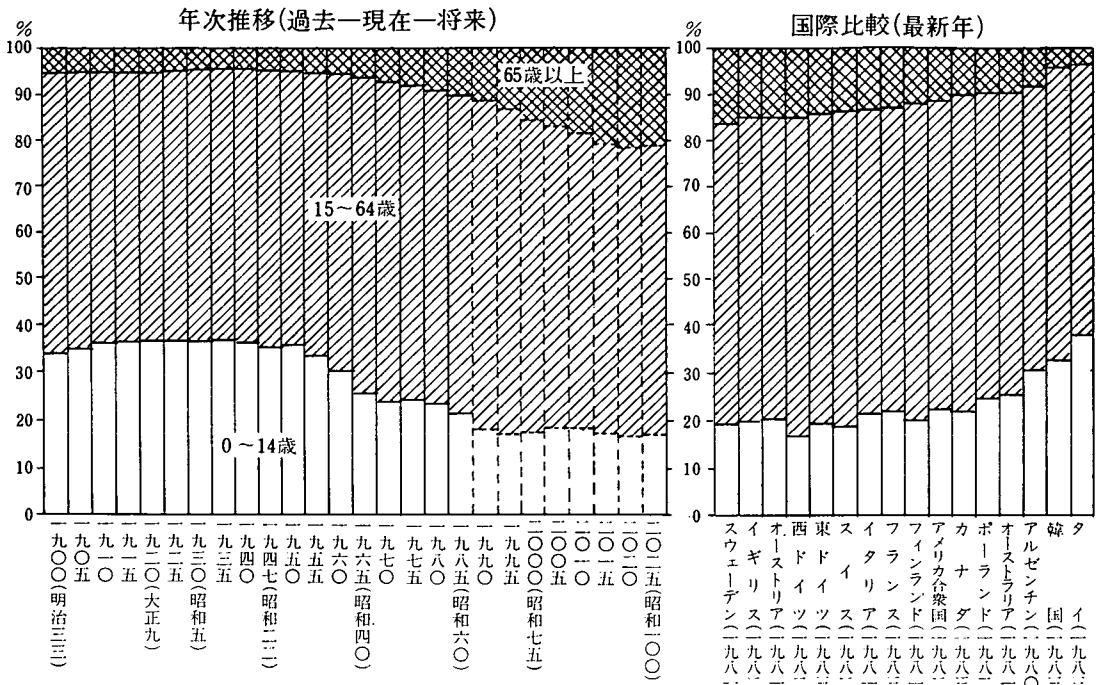
次に、いろいろある人口構造のうちで、最も基本的で重要な年齢構造の変動について一瞥しておこう。

昭和60年国勢調査の結果がまだ出ていないので、総務庁統計局の推計によって同年の年齢別人口をみると、総人口は1億2,096万（国勢調査の速報値は1億2,150万）であり、年齢3大区分別には、15歳未満のいわゆる「年少人口」が2,603万、15~64歳の「生産年齢人口」が8,251万、65歳以上の「老年人口」が1,241万である。そして、これら3区分別人口の総人口に占める割合は、それぞれ21.5%、68.2%、10.3%となっている。この結果を以前のそれに比べると(参考図11)、現在の日本人口の年齢構造がひどく型の変ったものになったことを思わせる。すなわちそれは、「人口高齢化」（あるいは老年化など）といわれる方向への変化である。

大正9年に最初の国勢調査が実施されてから今日までに、わが国の総人口は2.2倍に増加したが、この間、年少人口は1.3倍、生産年齢人口は2.5倍、そして老年人口は4.2倍も増えたことになる。

現在の年齢構造の特徴は、とくに生産年齢人口が多いということである。昭和60年の15~64歳人口割合は68.2%であって、これは最高であった45年の68.9%に比べると0.7%ポイント下がってはいるが、この比重は統計表の58にも比較しているように、国際的にみて最も高いものの一つである。この

参考図11 年齢3区分別人口割合の年次推移と国際比較



1920～80年は国勢調査、1985年は総務庁統計局の推計人口で10月1日現在の人口。1915年以前は厚生省人口問題研究所の推計（研究資料第145号）による1月1日現在の人口。1990年より将来は、同研究所の推計（研究資料第227号）による10月1日現在の人口である。

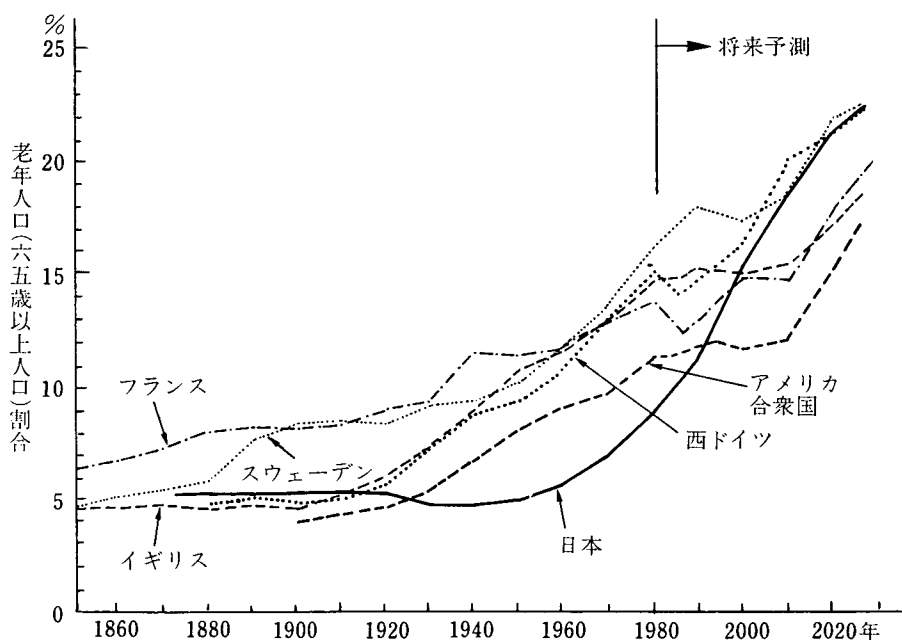
UN, *Demographic Yearbook*, 1983年版による。イギリスはイングランド＝ウェールズのみである。配列は65歳以上人口割合の大きい順。

ことは、わが国人口の年齢構造が、老年人口の比重は先進国に比べてまだ低い点と併せ考えると、現在、中・高年化の過程にあることを物語っている。しかし、年少人口の比重の縮小傾向とあいまって、人口の高齢化は急速に進行し、やがて近い将来において、現在の先進国の水準に追いつき、さらにこれを追い越すことは確実に（参考図12）、かくして避けることのできない老年化社会を迎えることになる。

ところで、図13として幾つかの国のいわゆる「人口ピラミッド」を掲げたが、これは、過去の出生・死亡や流入・流出の累積的結果としての、現在の男女、年齢別人口構造の特徴を区分して理解するために非常に便利なものである。わが国戦前における人口ピラミッドはさほど変化していないが、戦後から現在、さらに将来へと大きな変容が予想される。また、外国のピラミッドとの対比を行なう場合にも、それぞれの特徴が鮮明に現われて、人口構造の考察材料としてきわめて有用である。

ここには、主要国の人口ピラミッドのうち、今日なお出生率が高く、死亡率が以前にかなり高かったため、末広りの典型的なピラミッド型を示すインドから、安定した高齢化型を示すスウェーデンまで、幾つかの典型的な代表的な型を示す国を掲示したが、これらのピラミッドを細かく観察していくと、いろいろの過去の事件がピラミッドに刻んだ跡を思い浮かべることができよう。出生率や死亡

参考図12 65歳以上老年人口割合の推移の国際比較



日本は国勢調査および厚生省人口問題研究所の推計による人口、外国は国連資料 (UN, *Population Studies*) に基づく。

率の長期的変動、ある時期の結婚ブームや出生ブーム、地域移動や戦争の傷痕などを、この人口ピラミッドは物語っており、そういう歴史の条件が国によっていろいろと異なるので、国々の年齢構造の型もさまざまである。

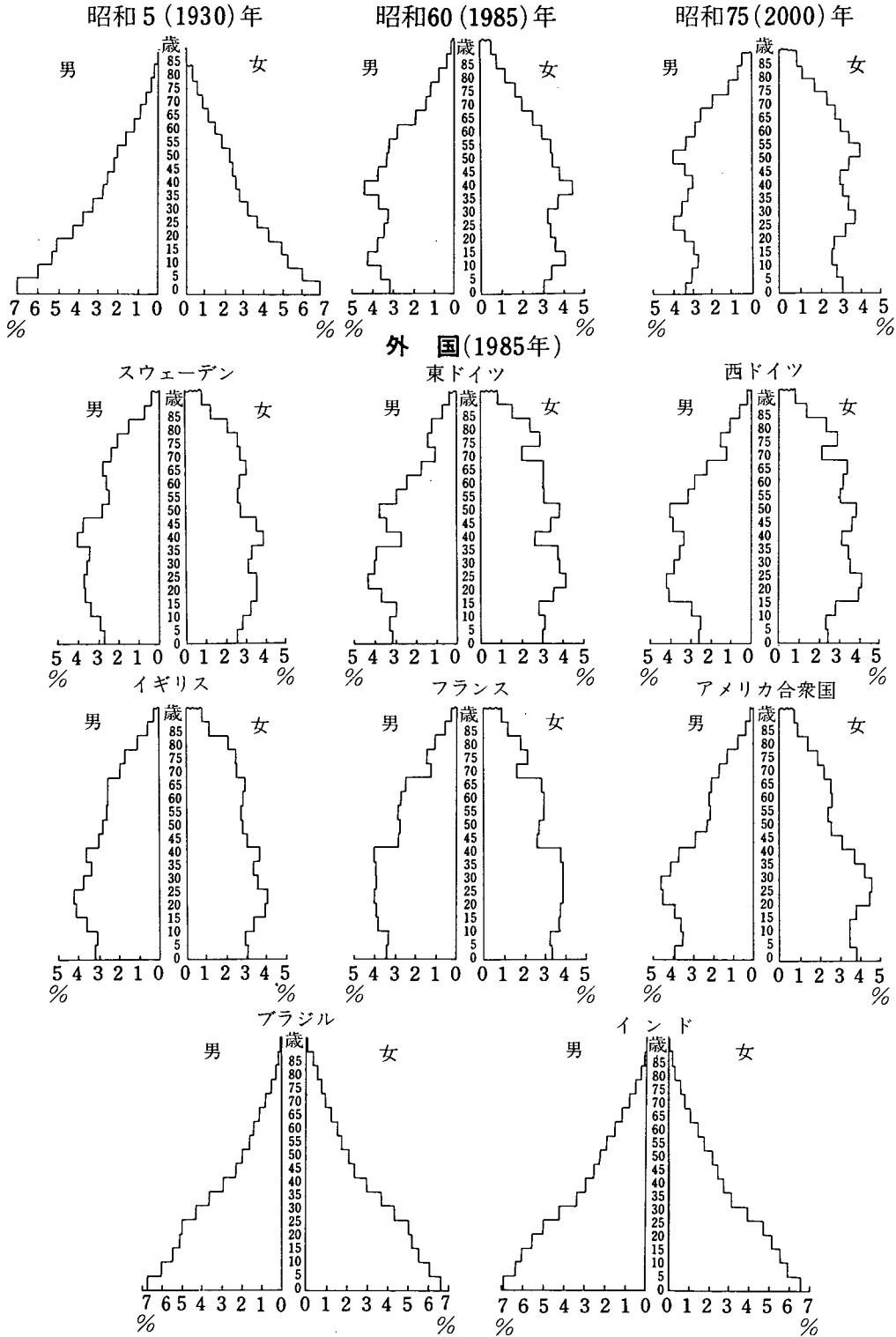
紙幅の制約上、その他の諸種の人口構造について詳しく触れることはできないが、人口の経済的構造のうち、産業別就業構造の変化について簡単に見ておこう。統計表の73および74に数値が示されているが、これについても国勢調査の結果が未集計なので、同じく総務庁統計局による労働力調査の昭和60年（年平均値）の産業3大部門別就業構造をみると、就業者総数5,807万人のうち、第1次産業部門に509万、8.8%、第2次産業部門に1,992万、34.3%、第3次産業部門に3,283万、56.5%をそれぞれ占めている。

近年の変化としては、第1次産業の比重の低下がひきつづき、また、安定成長期に入り、第2次産業のシェアが若干後退したが、直近（58年以後）ではわずかながら再上昇し、そして、第3次産業の割合は59年の56.6%まで増大したがようやく上げどまりという状況である。

欧米先進国の産業別就業構造をみると、第1次産業の割合はイギリスが2.7%、アメリカ合衆国が3.5%なのをはじめとして、わが国に比べその比重が小さい国がまだかなり多い(参考図14)。しかし、第2次、3次産業の割合が急速にこれら諸国の水準に近づきつつあり、図にも見られるように、現在の

参考図13 人口ピラミッド(男女年齢5歳階級別)の国際比較

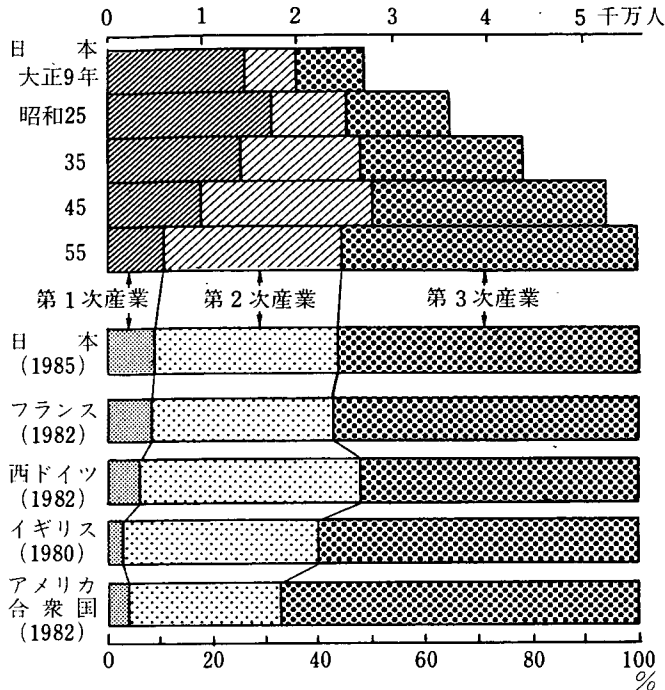
日本—過去・現在・将来—



日本は国勢調査および人口問題研究所の推計(昭和56年11月)による各年10月1日人口。  
 外国は国連1982年推計による1985年中央人口。



参考図14 産業3部門別就業者数の推移と就業者割合の国際比較



日本は、昭和55年以前は総務庁統計局『国勢調査報告』、昭和60(1985)年は同『労働力調査報告』、外国はILO, *Year Book of Labour Statistics*による。

□

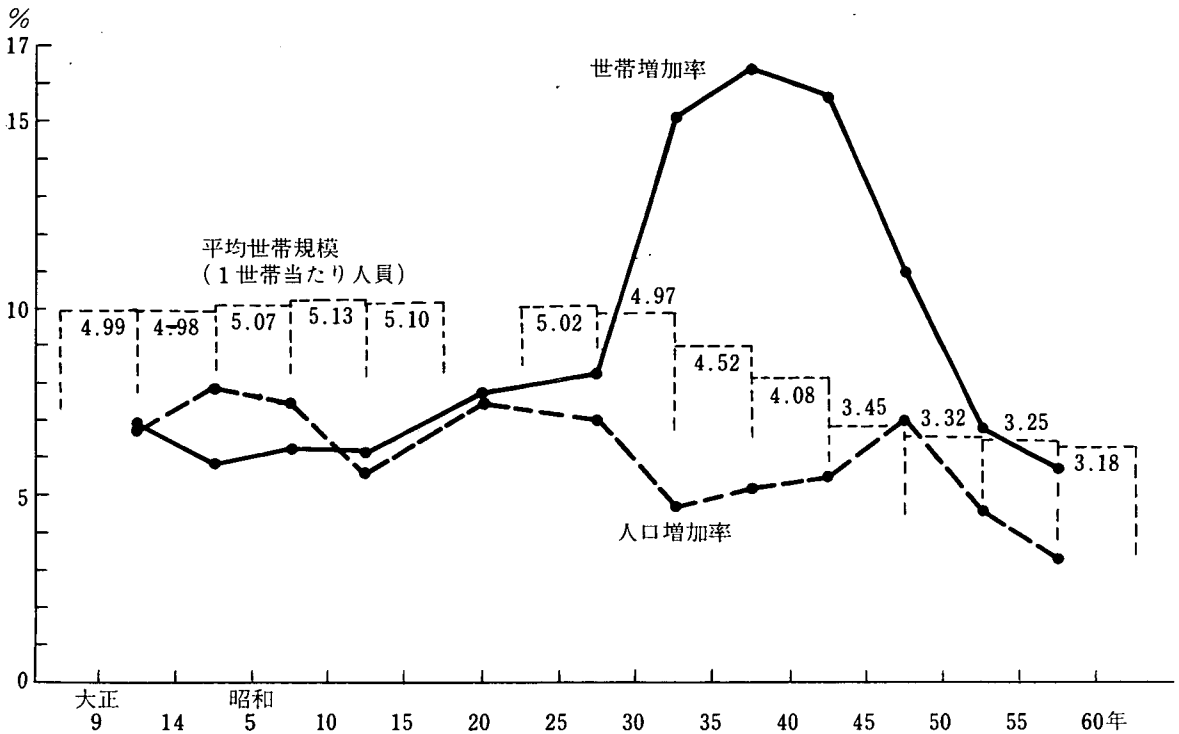
日本の産業構造はフランスのそれに近似している。

次に、世帯数と規模の変動についてもひと言触れておこう。戦後におけるわが国人口構造の大きな変化の一つに、世帯数の激増と平均世帯規模（1世帯当たりの世帯人員）の著しい縮小がある（参考図15）。とくに、昭和30年代後半から40年代後半にかけての変動は激しいものがあったが、その要因は第1に出生率の激減、第2はいわゆる「核家族化」、そして第3は、農村から都市への人口移動の激化である。ところが、経済が高度成長から安定成長に移行すると、それにつれて移動も沈滞化し（参考図16）、世帯分離も減少して世帯数と規模、それから家族構造の変動も鎮静化してきている。

最後に、昨年10月1日に実施された昭和60年国勢調査の結果速報（要計表による暫定集計数値）によって、都道府県別にみた現在の地域人口分布の状態を示しておこう（統計表110に結果が示されているのでそれを参照）。

昭和60年において、最も人口の大きいのは東京都で1,183万、これに大阪府の867万、神奈川県743万、愛知県の646万がつづき、以下、500万台が4道県、400万台と300万台が各1県、200万台が8府県、100万台が22県、そして100万未満7県となっている。最も人口の少ないところは鳥取県の62万である。

参考図15 人口と世帯数増加率の比較および平均世帯規模の推移



各年の国勢調査の結果による5年ごと（期初年10月～期末年9月）の増加率。  
昭和15～25年も5年当たり平均増加率である。

都道府県の人口の大きさによる順位を5年前（昭和55年国勢調査）と比べると、埼玉県が6位から5位、奈良県が33位から30位に、沖縄県が36位から34位に、滋賀県が39位から36位になるなど、19道県において順位が変わっている。

なお、全国人口1億2,105万のうち、全体の過半数である50.1%の人口（6,061万）が3大都市圏に住んでいるが、そのうち南関東地方（東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県）が3,027万で25.0%、東海地方（愛知、静岡、岐阜、三重の4県）が1,381万、11.4%、西近畿地方（大阪、京都、兵庫の2府1県）が1,653万、13.7%となっている。

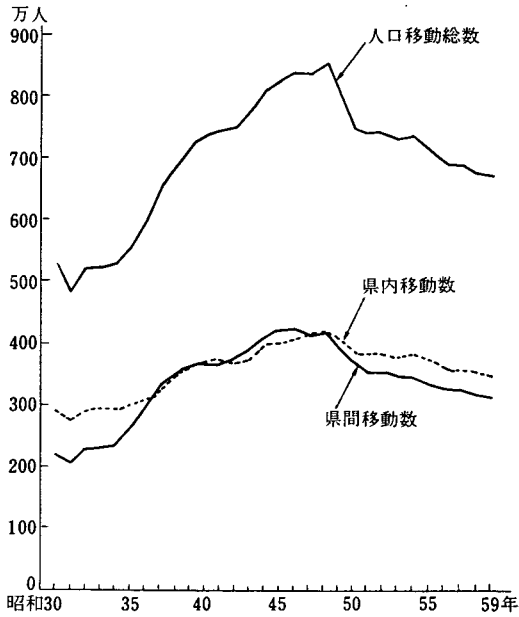
次に、都道府県別にみた昭和60年の人口密度は、最高東京都の5,472人（1平方キロメートル当たり）から最低北海道の72人まで分布している。大都市を擁する都府県で人口密度が高いのは当然であるが、東京都に次いで大阪、神奈川、埼玉、愛知、千葉の5府県が1,000人を超える高い密度を示している。低い方では、岩手県も北海道とともに100人に満たない低密度県となっている。

また、人口増加率（昭和55～60年間）をみると、最高は前5年間に引き続き千葉県で8.7%の増加であった。次いで埼玉県8.2%、奈良県7.9%、神奈川県7.3%、滋賀県7.0%とつづき、これら5県が

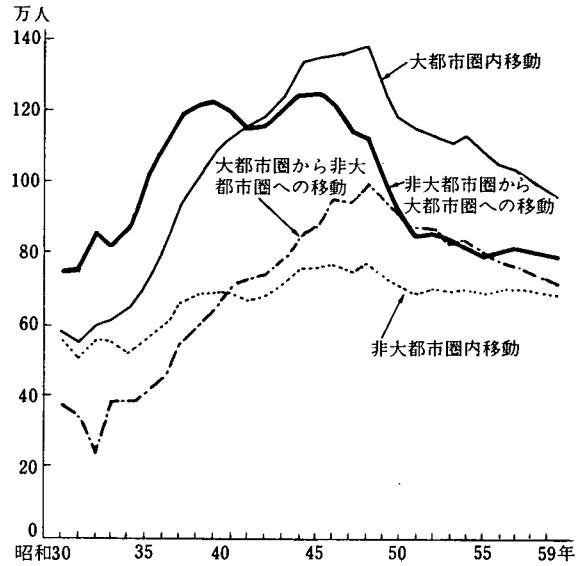
参考図16 自府県内・府県間別および類型別人口移動数の推移

自府県内・府県間別移動数

類型（移動方向）別移動数



総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告』による。  
昭和47年以前は沖縄県を含まない。



総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告』による。

昭和47年以前は沖縄県を含まない。ここでの大都市圏とは、いわゆる3大都市圏地域(東京・埼玉・千葉・神奈川、愛知・岐阜・三重、大阪・京都・兵庫の10都府県)である。

7%を超える増加率を示した。これら高い率を示す地域は、いずれも東京・大阪のベッドタウンの多く存在する大都市周辺県であるが、全般的に、以前に比べて増勢が鈍化している。なお、この間の人口増加率が最低なのは秋田県で、唯一のマイナスを示して、すなわち減少率0.2%である。

(山口喜一)

## 利用上の注意

各表の下に記述した注は、紙幅の都合上、いずれも必要な最小限度にとどめてあるので、より詳しく調べたい場合には、掲記してある原典を参照されたい。

数字の単位未満は、4捨5入することを原則としている。したがって、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もある。

表中に用いた記号は次のとおりである。

- \* 暫定的なもの
- 皆無または該当数字がないもの
- … 不詳または数字が得られないもの
- 0 (0.0) 表章単位に満たないもの

# 每年揭載表



表1 世界の歴史人口と将来予測

(1) 国際連合がまとめた世界総人口の推移

年次	推計人口 (100万人)	年平均増 加率(%)	人口倍増 <sup>1)</sup> 期間(年)
紀元前7000~6000年	5~ 10	0.0	—
西暦元年	200~ 400	0.0	—
1650	470~ 545	0.4	173
1750	629~ 961	0.4	173
1800	813~1,125	0.5	139
1850	1,128~1,402	0.5	139
1900	1,550~1,762	0.8	86
1950	<sup>2)</sup> 2,486	1.8	38
1960	<sup>2)</sup> 2,982	2.0	35
1965	<sup>2)</sup> 3,289		

United Nations, *The Determinants Consequences of Population Trends* (Vol. 1, 1973) による。

諸家の推計をとりまとめたもので、たとえば、1650年は Carr-Saundersと Willcox, 1750~1900年は Durandの推計、それから1950年以降は国連の1968年推計にそれぞれ基づいている。

1) ある人口が年率 $r\%$ で増加しているとき、この人口が2倍になるのに要する年数 $N$ は、近似的に  $N \approx 70 \div r$  で計算することができる。

2) これらの推計値は、その後国連によって改訂されている(右表が最新の改訂値である)。

(2) 国際連合の推計による世界総人口の推移と予測

年次	年次推計人口 (100万人)	年平均人口 増加率(%)
1950	2,504	1.84
1955	2,746	1.86
1960	3,014	1.96
1965	3,324	2.06
1970	3,683	2.03
1975	4,076	1.77
1980	4,453	1.67
1985	4,842	1.61
1990	5,248	1.58
1995	5,679	1.52
2000	6,127	1.39
2005	6,567	1.26
2010	6,995	1.15
2015	7,410	1.04
2020	7,806	0.93
2025	8,177	

United Nations, *World Population Prospects, Estimates and Projections as Assessed in 1982* (Population Studies, No. 86, 1985) による国連最新の1982年推計結果。

表2 世界の大地域別にみた人口、面積および人口密度：最新材料

地 域	年次推計人口(100万人)		人口の地 域別割合 (%)	面 積 (1,000km <sup>2</sup> ) 1982年	面積の地 域別割合 (%)	人 口 密 度 (1 km <sup>2</sup> につき) 1984年
	1984年	1985年*				
世 界	4,763	4,842	100.0	135,837	100.0	36
アフリカ	537	553	11.4	30,330	22.3	18
北アメリカ <sup>1)</sup>	395	401	8.3	24,249	17.9	17
南アメリカ	263	269	5.6	17,832	13.1	15
アジア <sup>2)</sup>	2,777	2,824	58.3	27,576	20.3	102
ヨーロッパ <sup>3)</sup>	490	492	10.2	4,937	3.6	100
オセアニア <sup>1)</sup>	24	25	0.5	8,510	6.3	3
ソビエト連邦	276	278	5.7	22,402	16.5	12

国際連合の推計によるもので、人口は United Nations, *Statistical Papers, Series A, Vol. XXXVII, No. 4* (Population and Vital Statistics Report, Data available as of 1 October 1985) による。面積は同じく UN, *Demographic Yearbook*, 1983年版による。人口密度はこの数値によって算出。

\*暫定推計値。1) アメリカ合衆国の1州であるハワイは、オセアニアでなく北アメリカに含まれる。

2) 下に別掲のソビエト連邦を除くが、トルコのヨーロッパの部はアジアに含む。3) 下の別掲のソビエト連邦およびアジアに含まれたトルコのヨーロッパの部を除く。

表3 人口3,000万以上の国の人口、面積および人口密度：最新材料

国	年央推計人口 (1,000人)			年平均増加率 (%) 1980~83年	面積 (km <sup>2</sup> ) 1983年	人口密度 (1km <sup>2</sup> につき) 1984年
	1980年	1983年	1984年			
中国	1,002,503	7) 1,039,677	7) 1,051,551	1.2	9,596,961	110
インド <sup>1)</sup>	663,596	7) 732,256	7) 746,742	2.1	3,287,590	227
ソビエト連邦	265,542	* 272,500	* 275,000	0.9	22,402,200	12
アメリカ合衆国	227,704	* 233,700	* 236,681	0.9	9,372,614	25
インドネシア	7) 150,958	7) 159,434	* 159,895	1.8	1,904,569	84
ブラジル <sup>2)</sup>	121,286	* 129,660	* 132,580	2.3	8,511,965	16
日本 <sup>3)</sup>	116,807	* 119,259	* 120,018	0.7	372,769	322
バングラデシュ	88,678	* 94,651	* 96,730	2.2	143,998	672
パキスタン <sup>4)</sup>	82,143	7) 89,729	* 93,286	3.0	803,943	116
ナイジェリア	7) 80,555	7) 89,022	7) 92,037	3.4	923,768	100
メキシコ	69,347	7) 75,103	* 76,792	2.7	1,972,547	39
西ドイツ <sup>5)</sup>	61,561	* 61,421	* 61,181	- 0.1	248,577	246
ベトナム	7) 53,740	7) 57,181	7) 58,307	2.1	329,556	177
イタリア	57,070	7) 56,559	56,983	0.2	301,225	189
イギリス	55,945	7) 55,610	* 56,488	- 0.2	244,046	231
フランス	53,714	* 54,652	* 54,947	0.6	547,026	100
フィリピン	48,098	* 51,956	* 53,351	2.6	300,000	178
タイ	46,455	* 49,459	* 50,396	2.1	514,000	98
エジプト	42,289	7) 44,533	7) 45,657	1.7	1,001,449	46
韓国	38,124	* 39,951	* 40,578	1.6	98,484	412
スペイン <sup>6)</sup>	37,430	* 38,228	7) 38,717	0.7	504,782	77
ポーランド	35,578	* 36,571	* 36,914	0.9	312,677	118
南アフリカ	7) 28,612	7) 30,802	7) 31,586	1.9	1,221,037	26
アルゼンチン	28,237	* 29,627	* 30,097	1.6	2,766,889	11

1984年人口のみ前掲, UN, *Statistical Papers, Series A, Vol. XXXVII, No. 4* により, その他は同じく UN, *Demographic Yearbook, 1983年版* による。ただし, 日本は総務庁統計局『人口推計月報』などによる。人口密度は1983年の面積によって算出。配列は, 1984年年央人口3,000万以上の国の人口の大きい順。\*暫定値。1)ジャム=カシミールを含む。2)未開地に住むインディアン人口を除く。3)いわゆる「北方領土」と竹島は含まない。4)ジャム=カシミール, ジュナガード, マナバダール, ギルギットおよびバルチスタンを除く。5)西ベルリンを含む。6)バレアリク, カナリー両諸島, セウタおよびメリラを含む。7)国連人口部の推計。

表4 主要国の農用地面積当たり特殊人口密度：1982年

国	普通人口密度 (1km <sup>2</sup> につき)	国土面積のうち農用地の割合 (%)	特殊人口密度 (農用地1km <sup>2</sup> につき)	国	普通人口密度 (1km <sup>2</sup> につき)	国土面積のうち農用地の割合 (%)	特殊人口密度 (農用地1km <sup>2</sup> につき)
バングラデシュ	643	67.6	951	フランス	99	57.4	173
韓国	399	22.7	1,762	タイ	94	37.5	251
オランダ	350	53.7	714	ナイジェリア	89	55.6	160
ベルギー <sup>1)</sup>	323	45.7	675	インドネシア	80	16.6	485
日本	318	14.6	2,183	スペイン	75	61.8	122
西ドイツ <sup>2)</sup>	248	48.8	508	ビルマ	55	15.4	355
イギリス	229	74.7	305	エジプト	45	2.5	1,810
インド <sup>3)</sup>	216	55.1	393	メキシコ	37	49.7	75
イタリア	187	58.2	321	エチオピア	27	48.5	55
ベトナム	171	33.4	511	アメリカ合衆国	25	45.7	54
フィリピン	169	43.0	393	スウェーデン	19	8.2	226
東ドイツ <sup>4)</sup>	156	57.8	269	ブラジル	15	27.9	53
ポーランド	116	60.4	192	ソビエト連邦	12	27.0	45
パキスタン	109	31.5	344	カナダ	2	7.0	35
中国	106	40.3	264	オーストラリア	2	63.8	3

FAO, *Production Yearbook, 1983年版* および UN, *Demographic Yearbook, 1983年版* に基づいて算定。ただし, 日本は総務庁統計局および農林水産省の統計による。農用地は耕地, 樹園地, 牧場および牧草地である。配列は普通人口密度の高い順で, 年央推計人口による。数値は一部暫定値である。

1)農用地にかかわる数値はルクセンブルクを含む (ルクセンブルクを含めた普通人口密度は308)。2)西ベルリンを含む。3)ジャム=カシミールおよびシッキムを含む。4)東ベルリンを含む。



表5 世界の主要地域別人口の推移と将来予測

地 域	年 央 推 計 人 口 (100万人)					年平均人口増加率 (%)			
	1950年	1980年	1985年	2000年	2025年	1950～55年	1980～85年	2000～05年	2020～25年
世界全域	2,504	4,453	4,842	6,127	8,177	1.84	1.67	1.39	0.93
先進地域	832	1,136	1,173	1,276	1,397	1.28	0.64	0.45	0.29
発展途上地域	1,672	3,317	3,669	4,851	6,780	2.11	2.02	1.63	1.06
アフリカ	222	476	553	877	1,643	2.11	3.01	2.96	1.96
東部アフリカ	60	137	161	266	531	2.22	3.23	3.31	2.11
中部アフリカ	29	55	63	96	183	1.82	2.70	2.91	2.10
北部アフリカ	52	108	125	186	295	2.23	2.88	2.24	1.50
南部アフリカ	17	33	37	54	91	1.75	2.53	2.38	1.62
西部アフリカ	64	144	168	275	542	2.12	3.11	3.23	2.09
アメリカ	331	614	670	848	1,134	2.26	1.73	1.34	0.96
ラテンアメリカ	165	362	406	550	787	2.72	2.30	1.69	1.17
カリブ海	17	30	32	41	58	1.79	1.51	1.52	1.19
中央アメリカ	37	92	106	150	223	2.92	2.68	1.92	1.28
温帯南アメリカ	25	42	46	55	70	1.92	1.55	1.10	0.75
熱帯南アメリカ	86	198	223	304	436	3.05	2.39	1.71	1.18
北部アメリカ	166	252	263	298	347	1.80	0.89	0.68	0.49
アジア	1,366	2,591	2,824	3,544	4,467	2.00	1.73	1.22	0.69
東アジア	671	1,183	1,252	1,470	1,696	2.00	1.14	0.91	0.40
中国	554	1,003	1,063	1,256	1,460	2.16	1.17	0.95	0.43
日本	84	117	120	128	128	1.43	0.57	0.29	-0.15
その他の東アジア	33	63	69	87	108	0.60	1.75	1.14	0.71
南アジア	695	1,408	1,572	2,074	2,771	2.00	2.20	1.44	0.86
南西部アジア	181	362	401	520	685	2.03	2.06	1.39	0.81
南部アジア	472	949	1,058	1,386	1,816	1.92	2.19	1.36	0.78
西部アジア	42	98	113	168	270	2.70	2.85	2.26	1.56
ヨーロッパ	392	484	492	513	527	0.79	0.33	0.18	0.06
東部ヨーロッパ	89	110	113	121	131	1.02	0.57	0.41	0.26
北部ヨーロッパ	72	82	82	83	84	0.37	0.09	0.03	-0.03
南部ヨーロッパ	109	139	143	153	163	0.82	0.58	0.34	0.20
西部ヨーロッパ	122	154	154	156	149	0.84	0.06	-0.09	-0.21
オセアニア	13	23	25	30	40	2.25	1.50	1.19	0.88
オーストラリア- ニュージーランド	10	18	19	22	28	2.33	1.21	0.96	0.75
メラネシア	2	4	5	7	11	1.81	2.60	1.93	1.31
ミクロネシア- ポリネシア	0.4	0.8	0.9	1	1	2.56	1.69	1.04	0.43
ソビエト連邦	180	265	278	315	367	1.71	0.95	0.69	0.56

国際連合（人口部）の最新推計である1982年推計の結果で、United Nations, *World Population Prospects, Estimates and Projections as Assessed in 1982* (Population Studies, No.86, 1985) による。ここに併載されている日本も同様国連推計によるので、別掲（表7）の厚生省人口問題研究所の推計による日本の将来推計人口とは数値が異なる。ここに国連の設定した先進地域とは、ヨーロッパ全域、北部アメリカ（合衆国とカナダ）、ソビエト連邦、日本、オーストラリアおよびニュージーランドから成る地域、発展途上地域はそれ以外の地域である。その他の地域構成については次ページを参照。

表5その他(表39~42, 63)に示された各地域の構成は次のとおりである(国連の設定による。地域や国の名称は、国連が、前ページの表注に示した人口推計資料に用いている英語名を邦訳したもの)。

<p><b>A. アフリカ</b></p> <p>1. 東部アフリカ 英領インド洋地域 ブルンジ コモロ ジブチ エチオピア ケニア マダガスカル 馬拉ウイ モーリシャス<sup>1)</sup> モザンビーク レユニオン ルワンダ セイシェル ソマリア ウガンダ タンザニア ザンビア ジンバブエ</p> <p>2. 中部アフリカ アンゴラ 中央アフリカ チャド コンゴ 赤道ギニア ガボン サントメ=プリンシペ カメルーン ザイール</p> <p>3. 北部アフリカ アルジェリア エジプト リビア モロッコ スーダン チュニジア 西部サハラ</p> <p>4. 南部アフリカ ボツワナ レソト ナミビア 南アフリカ スワジランド</p> <p>5. 西部アフリカ ベナン カーボベルデ ガンビア ガーナ ギニア ギニア=ビサオ コートジボアール リベリア</p>	<p>マ リ モーリタニア ニジェール ナイジェリア セントヘレナ<sup>2)</sup> セネガル シエラレオネ トーゴ ブルキナファソ</p> <p><b>B. アメリカ</b></p> <p>B1. ラテンアメリカ</p> <p>6. カリブ海 アンチグア=バブーダ バハマ バルバドス 英領バージン諸島 ガイマン諸島 キューバ ドミニカ ドミニカ共和国 グレナダ グアドループ ハイチ ジャマイカ マルチニーク モントセラト オランダ領アンチル プエルトリコ セントクリストフ ァーネイビス セントルシア セントビンセント- グレナディーン トリニダード=トバゴ タークス=カイクス諸島 米領バージン諸島</p> <p>7. 中央アメリカ ベリーズ コスタリカ エルサルバドル グアテマラ ホンジュラス メキシコ ニカラグア パナマ</p> <p>8. 温帯南アメリカ アルゼンチン チ リ</p>	<p>フォークランド (マルビナス)諸島 ウルグアイ</p> <p>9. 熱帯南アメリカ ボリビア ブラジル コロンビア エクアドル 仏領ギアナ ガイアナ パラグアイ ペルー スリナム ベネズエラ</p> <p>B2.10. 北部アメリカ バーミューダ カナダ グリーンランド サンピエール=ミクロン アメリカ合衆国</p> <p><b>C. アジア</b></p> <p>C1. 東アジア</p> <p>11. 中国 12. 日本 13. その他の東アジア ホンコン 朝鮮 北朝鮮 韓国 マカオ モンゴル</p> <p>C2. 南アジア</p> <p>14. 南東部アジア ブルネイ ビルマ カンボジア 東チモール インドネシア ラオス マレーシア フィリピン シンガポール タイ ベトナム</p> <p>15. 南部アジア アフガニスタン バングラデシュ ブータン インド イラン</p>	<p>モルジブ ネパール パキスタン スリランカ</p> <p>16. 西部アジア アラブ諸国 パーレーン 民主イエメン ガザ地帯 (パレスチナ) イラク ヨルダン クウェート レバノン オマーン カタール サウジアラビア シリア アラブ首長国連邦 イエメン 非アラブ諸国 キプロス イスラエル トルコ</p> <p><b>D. ヨーロッパ</b></p> <p>17. 東部ヨーロッパ ブルガリア チェコスロバキア 東ドイツ<sup>3)</sup> ハンガリー ポーランド ルーマニア</p> <p>18. 北部ヨーロッパ チャネル諸島 デンマーク フェロー諸島 フィンランド アイスランド アイルランド マン島 ノルウェー スウェーデン イギリス</p> <p>19. 南部ヨーロッパ アンドラ アルバニア ジブラルタル ギリシア バチカン市国 イタリア マルタ</p>	<p>ポルトガル サンマリノ スペイン ユーゴスラビア</p> <p>20. 西部ヨーロッパ オーストリア ベルギー フランス 西ドイツ<sup>3)</sup> リヒテンシュタイン ルクセンブルク モナコ オランダ スイス</p> <p><b>E. オセアニア</b></p> <p>21. オーストラリア- ニュージーランド オーストラリア<sup>4)</sup> ニュージーランド</p> <p>22. メラネシア フィジー ニューカレドニア バプアニューギニア ソロモン諸島 バヌアツ</p> <p>23. ミクロネシア- ポリネシア ミクロネシア グアム キリバス<sup>5)</sup> ナウル 太平洋諸島<sup>6)</sup> ツバル その他の ミクロネシア<sup>7)</sup> ポリネシア 米領サモア クック諸島 仏領ポリネシア ニウエ サモア トンガ ワリス=フツナ諸島</p> <p><b>F. 24. ソビエト連邦</b></p>
--	--	--	--	---

1) アガレサ, ロドリゲスおよびセントブランドンを含む。 2) アサンションおよびトリスタンデコを含む。 3) ベルリンを含む。すなわち, ドイツ連邦共和国(西ドイツ)には西ベルリン, ドイツ民主共和国(東ドイツ)には東ベルリンのデータを含んでいる。 4) ココス(キーリング)諸島, クリスマス島およびノーフォーク島を含む。 5) カントン=エンダーバリ諸島を含む。 6) カロリン, マリアナおよびマーシャル諸島より成る。 7) ジョンストン島, ミッドウェー諸島, ビトケアン島, トケラウ諸島およびウエーク島を含む。

表6 日本の総人口(男女別)と人口密度の推移

(1) 明治5年～大正9年

年次	人口(1,000人)			人口増加数(1,000人)		人口増加率 (%)	性比 (女100.0 につき男)	人口密度 (1km <sup>2</sup> につき)
	総数	男	女	総数	うち自然増加			
明治 5 (1872)	34,806	17,666	17,140	1)179	182	1)0.51	103.1	91.2
6 (1873)	34,985	17,755	17,230	169	174	0.48	103.0	91.6
7 (1874)	35,154	17,835	17,319	162	167	0.46	103.0	92.1
8 (1875)	35,316	17,913	17,403	239	245	0.68	102.9	92.5
9 (1876)	35,555	18,030	17,525	315	323	0.89	102.9	93.1
10 (1877)	35,870	18,187	17,683	296	304	0.83	102.9	93.9
11 (1878)	36,166	18,327	17,839	298	307	0.82	102.7	94.7
12 (1879)	36,464	18,472	17,992	185	196	0.51	102.7	95.5
13 (1880)	36,649	18,559	18,090	316	326	0.86	102.6	96.0
14 (1881)	36,965	18,712	18,253	294	304	0.80	102.5	96.8
15 (1882)	37,259	18,854	18,405	310	320	0.83	102.4	97.6
16 (1883)	37,569	19,006	18,563	393	409	1.05	102.4	98.4
17 (1884)	37,962	19,199	18,763	351	360	0.92	102.3	99.4
18 (1885)	38,313	19,368	18,945	228	241	0.60	102.2	100.3
19 (1886)	38,541	19,480	19,061	162	174	0.42	102.2	100.9
20 (1887)	38,703	19,554	19,149	326	340	0.84	102.1	101.4
21 (1888)	39,029	19,716	19,313	444	457	1.14	102.1	102.2
22 (1889)	39,473	19,940	19,533	429	440	1.09	102.1	103.4
23 (1890)	39,902	20,153	19,749	349	361	0.87	102.0	104.5
24 (1891)	40,251	20,322	19,929	257	273	0.64	102.0	105.4
25 (1892)	40,508	20,443	20,065	352	368	0.87	101.9	106.1
26 (1893)	40,860	20,616	20,244	282	292	0.69	101.8	107.0
27 (1894)	41,142	20,755	20,387	415	424	1.01	101.8	107.8
28 (1895)	41,557	20,960	20,597	435	448	1.05	101.8	108.8
29 (1896)	41,992	21,164	20,828	408	427	0.97	101.6	110.0
30 (1897)	42,400	21,356	21,044	486	515	1.15	101.5	111.1
31 (1898)	42,886	21,590	21,296	518	550	1.21	101.4	112.3
32 (1899)	43,404	21,836	21,568	443	487	1.02	101.2	113.7
33 (1900)	43,847	22,051	21,796	512	554	1.17	101.2	114.8
34 (1901)	44,359	22,298	22,061	605	626	1.36	101.1	116.2
35 (1902)	44,964	22,606	22,358	582	604	1.29	101.1	117.8
36 (1903)	45,546	22,901	22,645	589	615	1.29	101.1	119.3
37 (1904)	46,135	23,195	22,940	485	495	1.05	101.1	120.8
38 (1905)	46,620	23,421	23,199	418	469	0.90	101.0	122.1
39 (1906)	47,038	23,599	23,439	378	499	0.80	100.7	123.2
40 (1907)	47,416	23,786	23,630	549	660	1.16	100.7	124.2
41 (1908)	47,965	24,041	23,924	589	697	1.23	100.5	125.6
42 (1909)	48,554	24,326	24,228	630	668	1.30	100.4	127.2
43 (1910)	49,184	24,650	24,534	668	711	1.36	100.5	128.8
44 (1911)	49,852	24,993	24,859	725	771	1.45	100.5	130.6
45 (1912)	50,577	25,365	25,212	728	773	1.44	100.6	132.5
大正 2 (1913)	51,305	25,737	25,568	734	800	1.43	100.7	134.4
3 (1914)	52,039	26,105	25,934	713	773	1.37	100.7	136.3
4 (1915)	52,752	26,465	26,287	744	771	1.41	100.7	138.2
5 (1916)	53,496	26,841	26,655	638	678	1.19	100.7	140.1
6 (1917)	54,134	27,158	26,976	605	675	1.12	100.7	141.8
7 (1918)	54,739	27,453	27,286	294	354	0.54	100.6	143.4
8 (1919)	55,033	27,602	27,431	440	559	0.80	100.6	144.1
9 (1920)	55,473	27,812	27,661	628	673	1.13	100.5	145.3

内閣統計局『明治五年以降我國の人口』(調査資料第三集, 昭和5年)による各年1月1日現在(明治5年は太陰曆正月末日)の推計人口。地域および人口の範囲は沖縄, 小笠原, 千島を含む47道府県における内地人口(外地人, 外国人を含まない)である。

1) 太陰曆正月末日から12月2日まで。なお, 明治5年12月3日は改曆により太陽曆の明治6年1月1日となった。

表6 (つづき)

(2) 大正9年～昭和60年

年次	人口(1,000人)			人口増加数 <sup>1)</sup> (1,000人)		人口増加率 (%)	性比 (女100.0 につき男)	人口密度 <sup>3)</sup> (1km <sup>2</sup> につき)
	総数	男	女	総数	うち自然増加 <sup>2)</sup>			
大正 9(1920) <sup>5)</sup>	55,963	28,044	27,919	...	...	...	100.4	146.6
10(1921)	56,666	28,412	28,254	703	755	1.26	100.6	148.4
11(1922)	57,390	28,800	28,590	724	740	1.28	100.7	150.3
12(1923)	58,119	29,177	28,942	729	751	1.27	100.8	152.2
13(1924)	58,876	29,569	29,307	756	776	1.30	100.9	154.2
14(1925) <sup>5)</sup>	59,737	30,013	29,724	861	913	1.46	101.0	156.5
15(1926)	60,741	30,521	30,220	1,004	1,011	1.68	101.0	159.1
昭和 2(1927)	61,659	30,982	30,678	918	934	1.51	101.0	161.5
3(1928)	62,595	31,449	31,146	936	950	1.52	101.0	163.9
4(1929)	63,461	31,891	31,570	865	881	1.38	101.0	166.2
5(1930) <sup>5)</sup>	64,450	32,390	32,060	989	950	1.56	101.0	168.6
6(1931)	65,457	32,890	32,559	1,007	967	1.56	101.0	171.2
7(1932)	66,434	33,355	33,079	976	1,006	1.49	100.8	173.8
8(1933)	67,432	33,845	33,587	998	1,019	1.50	100.8	176.4
9(1934)	68,309	34,294	34,015	877	910	1.30	100.8	178.7
10(1935) <sup>5)</sup>	69,254	34,734	34,520	945	1,012	1.38	100.6	181.0
11(1936)	70,114	35,103	35,011	859	1,008	1.24	100.3	183.3
12(1937)	70,630	35,128	35,503	517	980	0.74	98.9	184.6
13(1938)	71,013	35,125	35,888	382	817	0.54	97.9	185.6
14(1939)	71,380	35,226	36,154	367	628	0.52	97.4	186.6
15(1940) <sup>6)</sup>	71,933	35,387	36,546	553	886	0.78	96.8	188.0
16(1941)	72,218	...	...	285	1,108	0.40	...	188.8
17(1942)	72,880	...	...	662	1,147	0.92	...	190.5
18(1943)	73,903	...	...	1,023	1,012	1.40	...	193.2
19(1944)	74,433	...	...	530	1,016	0.72	...	194.6
20(1945) <sup>4)7)</sup>	72,147	...	...	<sup>8)</sup> -1,691	-245	<sup>8)</sup> -2.29	...	195.8
21(1946)	75,750	...	...	3,603	207	4.99	...	205.6
22(1947) <sup>9)</sup>	78,101	38,129	39,972	2,352	1,460	3.10	95.4	212.0
23(1948)	80,002	39,130	40,873	1,901	1,720	2.43	95.7	217.1
24(1949)	81,773	40,063	41,710	1,770	1,756	2.21	96.1	221.9
25(1950) <sup>5)</sup>	83,200	40,812	42,388	1,427	1,510	1.75	96.3	225.9
26(1951)	84,541	41,489	43,052	1,342	1,366	1.61	96.4	229.6
27(1952) <sup>10)</sup>	85,808	42,128	43,680	1,264	1,284	1.49	96.4	232.9
28(1953)	86,981	42,721	44,260	1,173	1,159	1.37	96.5	236.1
29(1954) <sup>11)</sup>	88,239	43,344	44,895	1,056	1,067	1.21	96.5	238.8
30(1955) <sup>5)</sup>	89,276	43,861	45,415	1,036	1,061	1.17	96.6	241.5
31(1956)	90,172	44,301	45,871	896	1,001	1.00	96.6	243.9
32(1957)	90,928	44,671	46,258	757	849	0.84	96.6	246.0
33(1958)	91,767	45,078	46,689	839	936	0.92	96.6	248.2
34(1959)	92,641	45,504	47,137	874	979	0.95	96.5	250.6
35(1960) <sup>5)</sup>	93,419	45,878	47,541	777	911	0.84	96.5	252.7
36(1961)	94,287	46,300	47,987	868	909	0.93	96.5	255.1
37(1962)	95,181	46,733	48,447	894	910	0.95	96.5	257.5
38(1963)	96,156	47,208	48,947	975	991	1.02	96.4	260.1
39(1964)	97,182	47,710	49,471	1,026	1,034	1.07	96.4	262.9
40(1965) <sup>5)</sup>	98,275	48,244	50,031	1,093	1,099	1.13	96.4	265.8
41(1966)	99,036	48,611	50,425	761	791	0.77	96.4	267.8
42(1967)	100,196	49,180	51,016	1,160	1,199	1.17	96.4	271.0
43(1968) <sup>12)</sup>	101,331	49,739	51,592	1,135	1,171	1.13	96.4	274.0
44(1969)	102,536	50,334	52,202	1,205	1,230	1.19	96.4	277.3
45(1970) <sup>5)</sup>	103,720	50,918	52,802	1,184	1,211	1.15	96.4	280.3

総理府統計局『日本の推計人口』(人口推計資料No. 36, 昭45. 3) および総務庁統計局『人口推計月報』などによる各年10月1日現在の人口。注記のない人口は推計人口である。なお、昭和20年以降46年までは沖縄県を含まない。  
(次ページにつづく)

表6 日本の総人口（男女別）と人口密度の推移

(2) 大正9年～昭和60年（つづき）

年次	人口(1,000人)			人口増加数 <sup>1)</sup> (1,000人)		人口増加率 (%)	性比 (女100.0 につき男)	人口密度 <sup>3)</sup> (1km <sup>2</sup> につき)
	総数	男	女	総数	うち自然増加 <sup>2)</sup>			
昭和46(1971)	105,145	51,607	53,538	1,425	1,308	1.37	96.4	284.1
47(1972) <sup>13)</sup>	107,595	52,822	54,773	1,495	1,374	1.41	96.4	288.9
48(1973)	109,104	53,606	55,498	1,508	1,402	1.40	96.6	292.9
49(1974)	110,573	54,376	56,197	1,469	1,345	1.35	96.8	296.8
50(1975) <sup>5)</sup>	111,940	55,091	56,849	1,367	1,242	1.24	96.9	300.5
51(1976)	113,094	55,658	57,436	1,155	1,160	1.03	96.9	303.6
52(1977)	114,165	56,184	57,981	1,071	1,081	0.95	96.9	306.4
53(1978)	115,190	56,682	58,508	1,025	1,034	0.90	96.9	309.1
54(1979)	116,155	57,151	59,004	965	974	0.84	96.9	311.6
55(1980) <sup>5)</sup>	117,060	57,594	59,467	906	894	0.78	96.9	314.1
56(1981)	117,884	58,002	59,882	824	822	0.70	96.9	316.3
57(1982)	118,693	58,402	60,291	809	808	0.69	96.9	318.4
58(1983)	119,483	58,790	60,694	790	788	0.67	96.9	320.5
59(1984)	120,235	59,155	61,080	752	758	0.63	96.8	322.5
60(1985) <sup>5)</sup> *	121,047	59,496	61,552	727	714	0.60	96.7	324.7

1) 前年10月からその年の9月末までの数値。ここには数値を示していないが、社会増加は法務省の正規出入国者数である。ただし、昭和46年10月1日～47年5月14日までの沖縄県については、琉球政府統計庁の出入域管理統計による。昭和40年10月以降外国人出入国者は在留期間短期の者を除く。なお、昭和55年以前の人口増加には自然増加と社会増加のほかに各回国勢調査間の補正数を含む。2) 昭和55年9月以前は厚生省人口動態統計確定数、日本人については遅れて届出られた出生・死亡数も、その発生月に繰り入れて計算している。昭和55年10月以降は人口動態統計月報(概数)による。3) 昭和20年以降の密度計算に用いた面積には歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島および竹島を含んでいない。4) 沖縄県を除く。5) 国勢調査人口。6) 国勢調査による人口73,114,000から内地外の軍人、軍属等の推計数1,181,000を差し引いた補正人口。7) 11月1日現在の人口調査による人口71,998,000に軍人および外国人の推計人口149,000を加えた補正人口。8) 沖縄県を除く昭和19年人口73,839,000により算出。9) 臨時国勢調査による人口78,098,000に水害地の調査もれ推計数3,000を加えた補正人口。10) 昭和26年12月に復帰した鹿児島県大島郡十島村の人口2,968を追加。11) 昭和28年12月に復帰した奄美群島の人口201,132を追加。12) 昭和43年6月に復帰した小笠原諸島の人口173を追加。13) 昭和47年5月に復帰した沖縄県の人口を含む。14) 沖縄県を含む昭和46年人口106,100,243により算出。\* 要計表による人口(暫定値)。後掲表9の注記参照。

表7 日本の総人口（男女別）の将来予測

年次	人口(1,000人)			人口増加		性比 (女100.0 につき男)	人口密度 <sup>2)</sup> (1km <sup>2</sup> につき)
	総数	男	女	実数 (1,000人)	年平均 増加率(%)		
昭和 55(1980) <sup>1)</sup>	116,916	57,490	59,426			96.7	314
60(1985)	120,301	59,161	61,140	3,385	0.57	96.8	323
65(1990)	122,834	60,421	62,413	2,533	0.42	96.8	330
70(1995)	125,383	61,717	63,666	2,549	0.41	96.9	336
75(2000)	128,119	63,129	64,990	2,736	0.43	97.1	344
80(2005)	130,008	64,106	65,902	1,889	0.29	97.3	349
85(2010)	130,276	64,247	66,029	268	0.04	97.3	350
90(2015)	129,332	63,760	65,573	-944	-0.15	97.2	347
95(2020)	128,115	63,142	64,973	-1,217	-0.19	97.2	344
100(2025)	127,184	62,700	64,484	-931	-0.15	97.2	341
105(2030)	126,297	62,318	63,978	-887	-0.14	97.4	339
110(2035)	124,945	61,735	63,210	-1,352	-0.22	97.7	335
115(2040)	123,274	60,984	62,291	-1,671	-0.27	97.9	331
120(2045)	121,800	60,290	61,510	-1,474	-0.24	98.0	327
125(2050)	120,790	59,814	60,976	-1,010	-0.17	98.1	324
130(2055)	120,172	59,556	60,615	-618	-0.10	98.3	322
135(2060)	119,611	59,359	60,252	-561	-0.09	98.5	321
140(2065)	119,029	59,141	59,888	-582	-0.10	98.8	319
145(2070)	118,568	58,943	59,625	-461	-0.08	98.9	318
150(2075)	118,395	58,857	59,538	-173	-0.03	98.9	318
155(2080)	118,495	58,906	59,589	100	0.02	98.9	318

厚生省人口問題研究所「日本の将来推計人口—全国男女年齢別、昭和55～155年—昭和56年11月推計」(研究資料第227号、昭57.4)による各年10月1日現在の推計人口である。この推計は数種の仮定を設けて行なわれたが、ここに示した人口は、その代表値としての性格をもつ中位推計値である。1) 国勢調査の1%抽出集計結果による人口で、この推計の基礎人口。2) 建設省国土地理院調べの昭和55年10月1日現在面積372,712.11km<sup>2</sup>(ただし、人口の調査対象地域に含まれないいわゆる「北方領土」と竹島を除く)によって算出。

表8 主要国の将来推計人口と増加率の予測

国	年 央 推 計 人 口 (1,000人)					年平均人口増加率 (%)		
	1980年	1985年	1990年	2000年	2025年	1980~ 85年	2000~ 05年	2020~ 25年
中 国	1,002,803	1,063,105	1,119,625	1,255,656	1,460,086	1.17	0.95	0.43
イ ン ド	688,956	761,175	831,948	961,531	1,188,504	1.99	1.09	0.58
ソビエト連邦	265,493	278,373	291,309	314,818	367,127	0.95	0.69	0.56
アメリカ合衆国	227,660	237,660	248,017	268,079	312,686	0.86	0.68	0.49
インドネシア <sup>1)</sup>	150,958	164,887	178,370	204,486	255,334	1.76	1.15	0.62
ブラジル	121,286	135,564	150,368	179,487	245,809	2.23	1.51	1.00
日 本	116,701	120,072	122,652	127,683	127,600	0.57	0.29	-0.15
バングラデシュ	88,219	101,147	115,244	145,800	219,383	2.74	2.04	1.26
パキスタン	87,172	101,696	113,285	142,554	212,811	3.08	2.02	1.17
ナイジェリア	80,555	95,198	113,343	161,930	338,105	3.34	3.49	2.27
メキシコ	69,393	78,996	89,012	109,180	154,085	2.59	1.70	1.08
西ドイツ <sup>2)</sup>	61,658	61,106	60,684	59,755	53,802	-0.18	-0.33	-0.45
イタリア	56,160	56,874	57,448	58,155	56,948	0.25	-0.00	-0.12
イギリス	55,669	55,640	55,786	56,235	56,390	-0.01	0.01	-0.00
フランス	53,788	54,608	55,416	57,083	58,530	0.30	0.17	0.06
ベトナム	53,740	59,451	65,430	78,129	105,103	2.02	1.51	0.89
フィリピン	48,317	54,709	61,428	74,810	102,318	2.49	1.53	0.92
タイ	46,455	51,571	56,186	66,115	86,282	2.09	1.44	0.74
トルコ	44,468	49,974	56,013	68,466	99,313	2.33	1.67	1.30
エジプト	41,251	46,800	52,716	65,200	97,391	2.52	1.89	1.32
イ ラ ン	38,790	45,108	51,810	65,549	96,166	3.02	1.97	1.15
韓 国	38,124	40,872	43,830	49,485	58,556	1.39	0.88	0.57
スペイン	37,458	39,019	40,540	43,442	49,235	0.82	0.59	0.44
ポーランド	35,816	37,556	39,006	41,391	45,869	0.95	0.53	0.30
ビ ル マ	34,818	39,487	44,548	55,186	82,153	2.52	1.94	1.24
エチオピア	32,012	36,454	42,653	58,407	111,983	2.60	3.02	2.04
南アフリカ	28,612	32,392	36,754	46,918	76,332	2.48	2.28	1.55
アルゼンチン	28,237	30,564	32,880	37,197	47,421	1.58	1.13	0.80
カナダ	24,098	25,605	27,051	29,435	34,447	1.21	0.69	0.49
ユーゴスラビア	22,328	23,191	23,938	25,200	26,626	0.76	0.37	0.14
ルーマニア	22,201	23,065	23,894	25,629	29,202	0.76	0.60	0.49
東ドイツ <sup>3)</sup>	16,737	16,642	16,586	16,553	16,130	-0.11	-0.03	-0.17
チェコスロバキア	15,312	15,648	15,963	16,776	18,762	0.43	0.53	0.37
オーストラリア	14,719	15,714	16,685	18,668	23,508	1.31	1.03	0.81
オ ラ ン ダ	14,220	14,506	14,726	15,011	14,609	0.40	0.02	-0.21
チ リ	11,104	12,074	13,061	14,934	18,758	1.68	1.15	0.67
ハンガリー	10,711	10,797	10,818	10,908	10,946	0.16	0.10	-0.05
ベルギー	9,859	9,880	9,890	9,925	9,825	0.04	-0.02	-0.06
ポルトガル	9,738	10,077	10,398	10,995	11,916	0.68	0.42	0.19
キューバ	9,732	10,038	10,540	11,718	13,575	0.62	0.76	0.40
ギリシア	9,646	9,932	10,214	10,734	11,755	0.58	0.41	0.37
ブルガリア	9,007	9,220	9,394	9,713	10,249	0.47	0.26	0.20
スウェーデン	8,276	8,278	8,220	8,065	7,537	0.01	-0.26	-0.31
オーストリア	7,505	7,487	7,491	7,498	7,260	-0.05	-0.08	-0.21
ス イ ス	6,373	6,289	6,168	5,889	4,885	-0.26	-0.56	-0.86
デンマーク	5,124	5,144	5,152	5,126	4,756	0.08	-0.17	-0.45
フィンランド	4,787	4,875	4,927	4,970	4,786	0.37	-0.02	-0.32
ノルウェー	4,093	4,150	4,188	4,227	4,272	0.27	0.03	0.01
イスラエル	3,878	4,298	4,679	5,376	7,017	2.05	1.22	0.87
ニュージーランド	3,169	3,291	3,428	3,693	4,201	0.75	0.63	0.39

前掲の表5と同じくUN, *World Population Prospects as Assessed in 1982* (1985)による国連の最新推計結果(日本も含めて)である。この推計の基準年である1980年時において人口が3,000万を超えるすべての国、およびそれ未満の主要な国を人口の大きい順に配列した。なお、日本の推計人口は表7を参照。

1) 西イリアンを含む。2) 西ベルリンを含む。3) 東ベルリンを含む。

表9 日本の近代人口調査による人口

(1) 各調査時現在の境域における人口

調査の名称(期日)	人口
大正9年国勢調査(同年10月1日)	55,963,053
大正14年国勢調査(10月1日)	59,736,822
昭和5年国勢調査(10月1日)	64,450,005
昭和10年国勢調査(10月1日)	69,254,148
昭和15年国勢調査(10月1日)	73,114,308
昭和19年人口調査(2月22日)	72,473,836
昭和20年人口調査(11月1日)	71,998,104
昭和21年人口調査(4月26日)	73,114,136
昭和22年臨時国勢調査(10月1日)	78,101,473
昭和23年常住人口調査(8月1日)	80,216,896
昭和25年国勢調査(10月1日)	83,199,637
昭和30年国勢調査(10月1日)	89,275,529
昭和35年国勢調査(10月1日)	93,418,501
昭和40年国勢調査(10月1日)	98,274,961
昭和45年国勢調査(10月1日)	103,720,060
昭和50年国勢調査(10月1日)	111,939,643
昭和55年国勢調査(10月1日)	117,060,396
昭和60年国勢調査(10月1日)	* 121,047,196

各調査時現在の境域による人口で、各年の調査報告書による。\*要計表による人口(暫定値)。

調査の境域は、昭和15年以前は旧内地の47道府県、昭和19年はそのうち北海道の千島、東京都の小笠原、八丈支庁管内宇津木村、鳥打村、青ヶ島および鳥島ならびに沖縄県は集計結果に含まれていない。戦後は、日本の行政権の及んでいなかった地域は調査の範囲外におかれたが、それは次のように変化している。昭和20年および21年は、旧内地から沖縄県全域、北海道千島ならびに得撫郡、新知郡、占守郡および花咲郡歯舞村のうち水晶島、勇留島、秋勇留島、志発島および多楽島、東京都小笠原支庁管内の諸島、島根県隠岐郡五箇村のうち竹島、鹿児島県大島郡を除いた地域(昭和21年は東京都八丈支庁青ヶ島村が調査されなかった)。昭和22年、23年および25年は、昭和20年、21年において含められなかった地域のうち、鹿児島県大島郡のうち十島村所属の硫黄島、竹島および黒島の3島が調査地域に含まれた。昭和30年以降は、昭和25年の境域から、その後日本に復帰した鹿児島県大島郡全域が含まれ、昭和45年以降は同じく東京都小笠原村が含まれ、そして昭和50年以降は沖縄県(昭和47年5月に復帰)が含まれるようになった。

なお、調査あるいは集計の対象外であった時期の沖縄県人口を示すと次のとおりである。

昭和19	590,480	昭和25	698,827
20	526,625	30	801,065
21	509,517	35	883,122
22	537,051	40	934,176
23	555,623	45	945,111

(沖縄県統計年鑑による)

(2) 最近の国勢調査本報告書に掲載の人口、増加率および面積

調査期日	人口	増加率(%)	面積(km <sup>2</sup> )
大正9.10.1	55,963,053	6.7	381,808.04
14.10.1	59,736,822		381,810.06
昭和5.10.1	64,450,005	7.9	382,264.91
10.10.1	69,254,148	7.5	382,545.42
15.10.1	73,114,308	5.6	382,545.42
20.11.1	<sup>1)</sup> 71,998,104	<sup>2)</sup> -0.7	377,298.15
22.10.1	<sup>1)</sup> 78,101,473	8.5	377,298.15
25.10.1	84,114,574	<sup>2)</sup> 6.5	377,099.08
30.10.1	90,076,594	7.1	377,151.08
35.10.1	94,301,623	4.7	377,151.08
40.10.1	99,209,137	5.2	377,267.17
45.10.1	104,665,171	5.5	377,308.68
50.10.1	111,939,643	7.0	377,534.99
55.10.1	117,060,396	4.6	377,708.09

総務庁統計局『日本の人口 昭和55年国勢調査—最終報告書(資料編)—』(昭60.3)の第1表による。昭和20年は人口調査、その他の年次は国勢調査である。ただし、日本に復帰後含めた沖縄人口(琉球政府実施の調査による)のうち、昭和25年、30年および35年についての結果は、それぞれ12月1日現在のものである。原則としてすべての年次、現在の領域(沖縄などを含む)の数値である。今日、人口調査が実施できないいわゆる「北方領土」(歯舞群島、色丹島、国後島および択捉島)や竹島を除いた面積は、372,712.11km<sup>2</sup>となる(建設省国土地理院調べで昭和55年10月1日現在)。なお、昭和15年以前の面積には、旧東京府小笠原島の南鳥島および沖縄県島尻郡の鳥島の面積は含まれていない。

- 1) 沖縄県は調査されなかったため含まれていない。
- 2) 昭和15年および25年の結果数値から沖縄県を除いて算出。

(3) 最新の昭和60年国勢調査結果速報による人口および増加率

昭和60年10月1日現在人口	121,047,196
〃    人口密度(1km <sup>2</sup> 当たり)	<sup>1)</sup> 325
55~60年の人口増加率(%)	3.4

総務庁統計局『昭和60年国勢調査速報 全国都道府県市区町村別人口(要計表による人口)』(昭60.12)による。この人口は、各都道府県から提出された要計表を基に集計して得られたものなので、後日、個々の調査票に基づく集計から得られる人口(確定数)とは必ずしも一致しない。

- 1) 建設省国土地理院の面積調べによる昭和59年10月1日現在の面積372,784.56km<sup>2</sup>による。

表10 出生、死亡数および人口動態率の推移

年次	実数(1,000人)		率(%)					
	出生	死亡	出生	死亡	乳児死亡	死産	婚姻	離婚
明治 33	1,421	911	32.4	20.8	155.0	88.5	7.9	1.46
43	1,713	1,064	34.8	21.6	161.2	84.2	9.0	1.21
大正 9	2,026	1,422	36.2	25.4	165.7	66.4	9.8	0.99
14	2,086	1,211	34.9	20.3	142.4	56.3	8.7	0.87
昭和 5	2,085	1,171	32.4	18.2	124.1	53.4	7.9	0.80
10	2,191	1,162	31.6	16.8	106.7	50.1	8.0	0.70
15	2,116	1,187	29.4	16.5	90.0	46.0	9.3	0.68
22	2,679	1,138	34.3	14.6	76.7	44.2	12.0	1.02
23	2,682	951	33.5	11.9	61.7	50.9	11.9	0.99
24	2,697	945	33.0	11.6	62.5	66.7	10.3	1.01
25	2,338	905	28.1	10.9	60.1	84.9	8.6	1.01
26	2,138	839	25.3	9.9	57.5	92.2	7.9	0.97
27	2,005	765	23.4	8.9	49.4	92.3	7.9	0.92
28	1,868	773	21.5	8.9	48.9	93.8	7.8	0.86
29	1,770	721	20.0	8.2	44.6	95.6	7.9	0.87
30	1,731	694	19.4	7.8	39.8	95.8	8.0	0.84
31	1,665	724	18.4	8.0	40.6	97.1	7.9	0.80
32	1,567	752	17.2	8.3	40.0	101.2	8.5	0.79
33	1,653	684	18.0	7.4	34.5	100.7	9.0	0.80
34	1,626	690	17.5	7.4	33.7	100.6	9.1	0.78
35	1,606	707	17.2	7.6	30.7	100.4	9.3	0.74
36	1,589	696	16.9	7.4	28.6	101.7	9.4	0.74
37	1,619	710	17.0	7.5	26.4	98.8	9.8	0.75
38	1,660	671	17.3	7.0	23.2	95.6	9.7	0.73
39	1,717	673	17.7	6.9	20.4	89.2	9.9	0.74
40	1,824	700	18.6	7.1	18.5	81.4	9.7	0.79
41	1,361	670	13.7	6.8	19.3	98.2	9.5	0.80
42	1,936	675	19.4	6.8	14.9	71.6	9.6	0.84
43	1,872	687	18.6	6.8	15.3	71.1	9.5	0.87
44	1,890	694	18.5	6.8	14.2	68.6	9.6	0.89
45	1,934	713	18.8	6.9	13.1	65.3	10.0	0.93
46	2,001	685	19.2	6.6	12.4	61.4	10.5	0.99
47	2,039	684	19.3	6.5	11.7	57.8	10.4	1.02
48	2,092	709	19.4	6.6	11.3	52.6	9.9	1.04
49	2,030	711	18.6	6.5	10.8	51.3	9.1	1.04
50	1,901	702	17.1	6.3	10.0	50.8	8.5	1.07
51	1,833	703	16.3	6.3	9.3	52.7	7.8	1.11
52	1,755	690	15.5	6.1	8.9	51.5	7.2	1.14
53	1,709	696	14.9	6.1	8.4	48.7	6.9	1.15
54	1,643	690	14.2	6.0	7.9	47.7	6.8	1.17
55	1,577	723	13.6	6.2	7.5	46.8	6.7	1.22
56	1,529	720	13.0	6.1	7.1	49.2	6.6	1.32
57	1,515	712	12.8	6.0	6.6	49.0	6.6	1.39
58	1,509	740	12.7	6.2	6.2	45.5	6.4	1.51
59	1,490	740	12.5	6.2	6.0	46.3	6.2	1.50
1)60	1,433	736	11.9	6.1	5.5	46.6	6.1	1.37

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～47年は沖縄県を含まない。率の乳児死亡（生後1年未満の死亡）は出生、死産（妊娠第4月以後の胎児死亡）は出産（出生+死産）、その他は人口（10月1日現在）を分母とし、それぞれ1,000についての率である。公表されている人口動態統計は日本で発生した日本人についての統計であるが、人口を分母とする率は、大正9年～昭和41年の人口動態統計報告では日本に在住した外国人も含む総人口が用いられている。昭和42年以降、日本人口を分母とするようになった。1) 推計値。



表11 標準化出生率、死亡率および自然増加率の推移

年次	標準化人口動態率 (%)			指数 (昭和5年=100)			〔参考〕普通人口動態率指数 (昭5=100)		
	出生率	死亡率	自然増加率	出生率	死亡率	自然増加率	出生率	死亡率	自然増加率
大正14	35.27	20.24	15.03	109.0	111.4	106.0	107.9	111.6	103.3
昭和5	32.35	18.17	14.18	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
12	29.77	17.35	12.42	92.0	95.5	87.6	95.5	94.1	97.2
15	27.74	16.80	10.94	85.7	92.5	77.2	89.5	89.4	89.6
22	30.87	15.40	15.47	95.4	84.8	109.1	106.8	80.8	140.1
25	25.47	11.03	14.44	78.7	60.7	101.8	87.4	60.3	122.2
30	16.88	7.70	9.18	52.2	42.4	64.7	60.3	43.0	82.5
35	14.69	7.02	7.67	45.4	38.6	54.1	53.5	41.9	68.3
36	14.31	6.74	7.57	44.2	37.1	53.4	52.4	40.8	67.3
37	14.34	6.67	7.67	44.3	36.7	54.1	52.9	41.3	67.7
38	14.52	6.12	8.40	44.9	33.7	59.2	53.7	38.6	72.9
39	14.89	5.94	8.95	46.0	32.7	63.1	54.9	38.4	76.2
40	15.74	5.99	9.75	48.7	33.0	68.8	57.7	39.5	81.1
41	11.80	5.57	6.23	36.5	30.7	43.9	42.7	37.5	49.5
42	16.31	5.44	10.87	50.4	29.9	76.7	60.1	37.3	89.3
43	15.37	5.37	10.00	47.5	29.6	70.5	57.4	37.5	83.0
44	15.04	5.25	9.79	46.5	28.9	69.0	57.3	37.5	82.7
45	15.26	5.22	10.04	47.2	28.7	70.8	58.0	38.0	83.5
46	15.87	4.86	11.01	49.1	26.7	77.6	59.3	36.1	88.9
47	15.97	4.69	11.28	49.4	25.8	79.5	59.6	35.6	90.3
48	16.07	4.65	11.42	49.7	25.6	80.5	59.8	36.1	90.2
49	15.47	4.49	10.98	47.8	24.7	77.4	57.3	35.7	85.0
50	14.32	4.25	10.07	44.3	23.4	71.0	52.8	34.7	76.0
51	13.65	4.09	9.56	42.2	22.5	67.4	50.4	34.4	70.9
52	13.31	3.88	9.43	41.1	21.4	66.5	47.8	33.5	66.1
53	13.25	3.76	9.49	41.0	20.7	66.9	46.1	33.5	62.3
54	13.07	3.60	9.47	40.4	19.8	66.8	44.0	32.9	58.2
55	12.76	3.62	9.15	39.4	19.9	64.5	41.9	34.2	51.8
56	12.55	3.48	9.07	38.8	19.2	64.0	40.3	33.8	48.7
57	12.75	3.31	9.44	39.4	18.2	66.6	39.7	33.2	48.0
58	12.95	3.31	9.63	40.0	18.2	67.9	39.3	34.3	45.6
59	12.96	3.20	9.76	40.1	17.6	68.8	38.5	34.1	44.2

厚生省人口問題研究所の『人口問題研究』その他の資料による。昭和5年全国人口を標準人口とした任意標準人口標準化法の直接法によって算出したもので、国勢調査人口およびそれに基づく推計人口、人口動態統計による出生・死亡数に基づく。なお、計算に用いた人口は昭和15年以前は総人口（日本に在住する外国人を含む）、22年以降は日本人人口である。また、昭和22年～47年には沖縄県を含まない。

任意標準人口標準化法には直接法と間接法とがあつて、これは出生率の計算の場合ばかりでなく、死亡率の場合についても同様である。本表における直接標準化の計算手続きの骨子を記すと、たとえば、いくつかの人口についての出生率を比較しようとするとき、各々の人口について、女子の年齢別特殊出生率  $[f_r(x)]$  を求める。一方、標準とすべき人口（標準人口にどの人口を採るかはその名のとおり任意である。ここでは、昭和5年の全国人口が、その基本構造が標準人口として適当と考えられるので、これを用いている）を定め、その女子の年齢別人口  $[P_r(x)]$  に、上記のそれぞれの人口の  $f_r(x)$  を適用することによって、標準人口によって生ずると期待される出生率を定め、標準人口の大きさに対するそれらの期待出生数の比率を算出すれば、それが標準化出生率となる。出生のすべて、あるいは大部分が有配偶女子から起こると考えられるときには、有配偶女子についての年齢別特殊出生率  $[f_r m(x)]$  を求め、これを標準人口の有配偶女子人口に適用するならば、年齢構造とともに配偶関係構造の差異をも除去した標準化出生率が得られる。ここに掲げた標準化出生率は、全女子人口の  $f_r(x)$  を標準人口の  $P_r(x)$  に適用した場合のものである。死亡率の標準化も考え方の原理は出生率の場合と同じであるが、ただ標準化死亡率の計算の場合には、年齢別特殊死亡率  $[m(x)]$  を男女別に算出し、それらをそれぞれ男女別年齢構造  $[P(x)]$  に適用して求めるのが普通である。標準化自然増加率は、求められた出生率と死亡率の差として算出される。

表12 主要国の普通出生率および死亡率：最新材料

(%)

国	(年)	普通出生率	普通死亡率	国	(年)	普通出生率	普通死亡率
エジプト	(1982)	* 36.9	* 10.3	ポルトガル	(1983)	14.4	9.6
コスタリカ	(1983)	30.0	3.9	ルーマニア	(1983)	14.3	10.4
スリランカ	(1983)	* 26.2	* 6.1	フランス	(1984)	* 13.8	* 9.8
アルバニア	(1983)	26.0	6.1	ブルガリア	(1984)	* 13.7	* 11.3
イスラエル	(1983)	24.0	6.8	東ドイツ <sup>1)</sup>	(1984)	* 13.7	* 13.3
アルゼンチン	(1983)	* 23.9	* 4) 8.1	スペイン	(1982)	13.4	7.4
韓国	(1984)	* 23.0	* 6.2	フィンランド	(1984)	* 13.4	* 9.2
チリ	(1984)	* 22.3	* 6.3	イギリス	(1984)	* 12.9	* 11.4
ソビエト連邦	(1984)	* 19.6	* 10.8	ギリシア	(1984)	* 12.8	* 8.9
ポーランド	(1984)	18.9	9.6	日本	(1984)	12.5	6.2
アイスランド	(1983)	18.4	7.0	オランダ	(1984)	* 12.1	* 8.3
アイルランド	(1984)	* 18.2	* 9.3	ノルウェー	(1984)	* 12.1	* 10.2
キューバ	(1984)	* 16.6	* 6.0	オーストリア	(1984)	* 11.7	* 11.6
ユーゴスラビア	(1984)	* 16.4	* 9.3	ベルギー	(1984)	* 11.7	* 11.1
シンガポール	(1983)	16.2	5.3	ハンガリー	(1984)	* 11.7	* 13.7
ニュージーランド	(1983)	15.8	8.1	スイス	(1984)	* 11.5	* 9.1
アメリカ合衆国	(1984)	* 15.7	* 8.7	スウェーデン	(1984)	* 11.3	* 10.9
オーストラリア	(1984)	* 15.5	* 7.1	イタリア	(1984)	* 10.3	* 9.3
カナダ	(1983)	15.0	7.0	デンマーク <sup>2)</sup>	(1984)	* 10.1	* 11.2
チェコスロバキア	(1984)	* 14.7	* 11.8	西ドイツ <sup>3)</sup>	(1984)	* 9.5	* 11.3

UN, *Statistical Papers, Series A, Vol. XXXVII, No. 4 (1985)* による。ただし、日本は厚生省『人口動態統計』による。各率とも人口1,000についてのもので、配列は出生率の高い順。\* 暫定値。1) 東ベルリンを含む。2) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。3) 西ベルリンを含む。4) 1982年。

表13 主要国の標準化出生率および死亡率：最新材料

(%)

国・地域	(年)	標準化出生率	標準化死亡率	国・地域	(年)	標準化出生率	標準化死亡率
エジプト	(1976)	37.6	15.3	ハンガリー	(1982)	14.4	6.4
スリランカ	(1979)	27.8	6.9	アメリカ合衆国	(1981)	14.1	4.5
イスラエル	(1982)	22.7	4.4	ホンコン	(1982)	13.3	3.7
メキシコ	(1979)	22.6	6.9	オーストリア	(1981)	13.2	4.9
アイルランド	(1979)	22.5	5.2	イングランド=ウェールズ	(1982)	13.2	4.4
チリ	(1981)	19.5	5.8	スコットランド	(1982)	13.1	5.2
ルーマニア	(1981)	18.8	6.2	日本	(1984)	13.0	3.2
スペイン	(1978)	18.3	4.3	ベルギー	(1978)	12.9	5.0
ポーランド	(1982)	17.8	5.6	イタリア	(1979)	12.8	4.3
ニュージーランド	(1980)	17.0	4.9	ノルウェー	(1982)	12.8	3.7
ブルガリア	(1980)	16.9	5.6	カナダ	(1981)	12.5	4.0
チェコスロバキア	(1981)	16.7	5.9	シンガポール	(1981)	12.5	5.4
ユーゴスラビア	(1980)	16.5	5.9	フィンランド	(1981)	12.1	4.5
ポルトガル	(1979)	16.3	5.9	スウェーデン	(1981)	12.0	3.6
ギリシア	(1981)	16.1	3.8	オランダ	(1981)	11.4	3.7
東ドイツ <sup>1)</sup>	(1981)	15.1	5.3	スイス	(1981)	11.3	3.8
フランス	(1980)	14.7	4.3	デンマーク <sup>2)</sup>	(1982)	10.6	4.2
オーストラリア	(1981)	14.4	4.1	西ドイツ <sup>3)</sup>	(1982)	10.4	4.5

UN, *Demographic Yearbook*, 1982年および83年版による各国の女子人口の年齢別出生率および男女別人口の年齢別死亡率に基づき（ただし、日本は厚生省『人口動態統計』による）人口問題研究所が算定したもので、すべて1930（昭和5）年日本全国人口を標準とした任意標準人口標準化法の直接法によって計算している。表11の注記を参照。配列は標準化出生率の高い順。1) 東ベルリンを含む。2) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。3) 西ベルリンを含む。

表14 男女別にみた出生数および死亡数の推移

年次	出生数			出生性比 (女100に つき男)	死亡数			死亡性比 (女100に つき男)
	総数 <sup>1)</sup>	男	女		総数	男	女	
明治33	1,420,534	727,916	692,618	105.1	910,744	464,072	446,664	103.9
43	1,712,857	872,779	840,078	103.9	1,064,234	535,076	529,156	101.1
大正9	2,025,564	1,035,134	990,430	104.5	1,422,096	720,655	701,441	102.7
14	2,086,091	1,060,827	1,025,264	103.5	1,210,706	621,357	589,349	105.4
昭和5	2,085,101	1,069,551	1,015,549	105.3	1,170,867	603,995	566,871	106.5
10	2,190,704	1,122,867	1,067,836	105.2	1,161,936	603,566	558,367	108.1
15	2,115,867	1,084,282	1,031,585	105.1	1,186,595	615,311	571,284	107.7
22	2,678,792	1,376,986	1,301,806	105.8	1,138,238	595,670	542,568	109.8
23	2,681,624	1,378,564	1,303,060	105.8	950,610	493,573	457,037	108.0
24	2,696,638	1,380,008	1,316,630	104.8	945,444	489,817	455,627	107.5
25	2,337,507	1,203,111	1,134,396	106.1	904,876	467,073	437,803	106.7
26	2,137,689	1,094,641	1,043,048	104.9	838,998	432,540	406,458	106.4
27	2,005,162	1,028,061	977,101	105.2	765,068	395,205	369,863	106.9
28	1,868,040	957,524	910,516	105.2	772,547	399,859	372,688	107.3
29	1,769,580	911,212	858,368	106.2	721,491	379,658	341,833	111.1
30	1,730,692	889,670	841,022	105.8	693,523	365,246	328,277	111.3
31	1,665,278	856,084	809,194	105.8	724,460	381,395	343,065	111.2
32	1,566,713	805,220	761,493	105.7	752,445	397,502	354,943	112.0
33	1,653,469	848,733	804,736	105.5	684,189	363,647	320,542	113.4
34	1,626,088	835,822	790,266	105.8	689,959	367,562	322,370	114.0
35	1,606,041	824,761	781,280	105.6	706,599	377,526	329,073	114.7
36	1,589,372	817,599	771,773	105.9	695,644	371,858	323,786	114.8
37	1,618,616	833,269	785,347	106.1	710,265	380,826	329,439	115.6
38	1,659,521	852,561	806,960	105.7	670,770	361,469	309,301	116.9
39	1,716,761	882,924	833,837	105.9	673,067	363,531	309,536	117.4
40	1,323,697	935,366	888,331	105.3	700,438	378,716	321,722	117.7
41	1,360,974	705,463	655,511	107.6	670,342	363,356	306,986	118.4
42	1,935,647	992,778	942,869	105.3	675,006	366,076	308,930	118.5
43	1,871,839	967,996	903,843	107.1	686,555	372,931	313,624	118.9
44	1,889,815	977,687	912,128	107.2	693,787	379,506	314,281	120.8
45	1,934,239	1,000,403	933,836	107.1	712,962	387,880	325,082	119.3
46	2,000,973	1,032,937	968,036	106.7	684,521	372,942	311,579	119.7
47	2,038,682	1,051,389	987,293	106.5	683,751	372,833	310,918	119.9
48	2,091,983	1,077,517	1,014,466	106.2	709,416	383,592	325,824	117.7
49	2,029,989	1,046,538	983,451	106.4	710,510	381,869	328,641	116.2
50	1,901,440	979,091	922,349	106.2	702,275	377,827	324,448	116.5
51	1,832,617	943,829	888,788	106.2	703,270	378,630	324,640	116.6
52	1,755,100	903,380	851,720	106.1	690,074	372,175	317,899	117.1
53	1,708,643	879,149	829,494	106.0	695,821	375,625	320,196	117.3
54	1,642,580	845,884	796,696	106.2	689,664	373,183	316,481	117.9
55	1,576,889	811,418	765,471	106.0	722,801	390,644	332,157	117.6
56	1,529,455	786,596	742,859	105.9	720,262	388,575	331,687	117.2
57	1,515,392	777,855	737,537	105.5	711,883	385,494	326,389	118.1
58	1,508,687	775,206	733,481	105.7	740,038	401,232	338,806	118.4
59	1,489,780	764,597	725,183	105.4	740,247	402,220	338,027	119.0

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～47年は沖縄県を含まない。

1) 昭和5年と10年の出生総数には男女不詳が各1含まれている。

表15 婚姻および離婚件数の推移

年次	婚姻数	離婚数
大正 9	546,207	55,511
14	521,438	51,687
昭和 5	506,674	51,259
10	556,730	48,528
15	666,575	48,556
22	934,170	79,551
25	715,081	83,689
30	714,861	75,267
35	866,115	69,410
40	954,852	77,195
41	940,120	79,432
42	953,096	83,478
43	956,312	87,327
44	984,142	91,280
45	1,029,405	95,937
46	1,091,229	103,595
47	1,099,984	108,382
48	1,071,923	111,877
49	1,000,455	113,622
50	941,628	119,135
51	871,543	124,512
52	821,029	129,485
53	793,257	132,146
54	788,505	135,250
55	774,702	141,689
56	776,531	154,221
57	781,252	163,980
58	762,552	179,150
59	739,991	178,746

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～47年は沖縄県を含まない。

表16 全婚姻と初婚の別にみた平均婚姻年齢の推移(歳)

年次	全婚姻			初婚		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
大正 9	29.2	24.2	5.0	27.4	23.2	4.2
14	28.8	24.0	4.8	27.1	23.1	4.0
昭和 5	28.9	24.1	4.8	27.3	23.2	4.1
10	29.0	24.6	4.4	27.8	23.8	4.0
15	30.0	24.9	5.1	29.0	24.6	4.4
22	...	...	...	26.1	22.9	3.2
25	...	...	...	25.9	23.0	2.9
30	27.7	24.3	3.4	26.6	23.8	2.8
35	28.1	24.8	3.3	27.2	24.4	2.8
40	28.1	24.9	3.2	27.2	24.5	2.7
41	28.1	24.9	3.2	27.3	24.5	2.8
42	28.0	24.9	3.1	27.2	24.5	2.7
43	27.9	24.8	3.1	27.2	24.4	2.8
44	27.8	24.7	3.1	27.1	24.3	2.8
45	27.6	24.6	3.0	26.9	24.2	2.7
46	27.5	24.5	3.0	26.8	24.2	2.6
47	27.4	24.7	2.7	26.7	24.2	2.5
48	27.4	24.7	2.7	26.7	24.3	2.4
49	27.6	25.0	2.6	26.8	24.5	2.3
50	27.8	25.2	2.6	27.0	24.7	2.3
51	28.0	25.4	2.6	27.2	24.9	2.3
52	28.2	25.6	2.6	27.4	25.0	2.4
53	28.5	25.7	2.8	27.6	25.1	2.5
54	28.6	25.8	2.8	27.7	25.2	2.5
55	28.7	25.9	2.8	27.8	25.2	2.6
56	28.9	26.0	2.9	27.9	25.3	2.6
57	29.0	26.1	2.9	28.0	25.3	2.7
58	29.0	26.1	2.9	28.0	25.4	2.7
59	29.1	26.2	2.9	28.1	25.4	2.7

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～47年は沖縄県を含まない。昭和15年までは届出時の年齢、22年～42年は結婚式をあげたときの年齢、43年以降は結婚式をあげたとき、または同居を始めたときの年齢である。

表17 主要国の平均初婚年齢：最新材料

(歳)

国・地域 (年)	夫	妻	国・地域 (年)	夫	妻	国・地域 (年)	夫	妻
スウェーデン(1981)	29.4	26.8	キプロス(1981)	26.7	23.9	スコットランド(1981)	24.8	22.9
スイス(1981)	28.0	25.5	西ドイツ(1981) <sup>2)</sup>	26.5	23.7	ニュージーランド(1980)	25.4	22.8
日本(1984)	28.1	25.4	フランス(1980)	25.9	23.6	オーストラリア(1981)	25.1	22.6
デンマーク(1981) <sup>1)</sup>	28.1	25.3	カナダ(1981)	25.9	23.6	ユーゴスラビア(1979)	26.0	22.5
フィンランド(1981)	26.9	24.9	オランダ(1981)	25.9	23.4	イスラエル(1980)	25.6	22.5
ホンコン(1980)	28.2	24.6	アイスランド(1980)	25.7	23.4	アメリカ合衆国(1978) <sup>4)</sup>	24.6	22.4
イタリア(1979)	27.5	24.3	スペイン(1979) <sup>3)</sup>	26.1	23.4	東ドイツ(1981) <sup>5)</sup>	24.2	22.0
パラグアイ(1975)	29.4	24.2	イングランド=ウェールズ(1981)	25.6	23.2	ハンガリー(1981)	24.9	22.0
アイルランド(1979)	26.4	24.2	オーストリア(1980)	25.9	23.2	チェコスロバキア(1981)	24.4	21.6
ブラジル(1980)	27.8	24.0	北アイルランド(1980)	25.1	23.1	ブルガリア(1980)	24.3	21.2

UN, *Demographic Yearbook*, 1982年版による各国の夫妻別、年齢別初婚者の婚姻件数に基づいて人口問題研究所が算定したもの。ただし、日本は厚生省『人口動態統計』による。配列は妻の年齢順。

1) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。2) 西ベルリンを含む。3) セウタとメリラを除く。4) いくつかの州と地区についてのもので、必ずしも国を代表する値ではない。5) 東ベルリンを含む。

表18 主要国の婚姻率および離婚率：最新材料

(%)

国・地域 (年)	婚姻率	離婚率	国・地域 (年)	婚姻率	離婚率	国・地域 (年)	婚姻率	離婚率
アメリカ合衆国(1983)	*10.5	*45.04	オーストリア(1983)	*7.4	5)1.78	ベルギー(1983)	*6.1	*1.73
ソビエト連邦(1983)	*10.4	*3.47	ブルガリア(1983)	*7.4	*1.59	フィンランド(1983)	*6.1	5)1.98
シンガポール(1982)	9.4	0.86	オーストラリア(1983)	*7.4	5)1.78	西ドイツ(1983) 2)	*6.0	6)1.92
アルバニア(1982)	8.8	0.77	イスラエル(1983)	*7.3	*1.20	アイスランド(1983)	*5.9	*2.11
ポーランド(1983)	*8.4	*1.25	メキシコ(1981)	7.1	8)0.31	スイス(1983)	*5.8	5)1.73
韓国(1981)	8.3	0.52	ギリシア(1983)	*7.1	5)0.65	フランス(1983)	*5.5	8)1.71
ニュージーランド(1983)	*8.1	*3.04	ハンガリー(1983)	*7.1	*2.71	オランダ(1983)	*5.5	*2.27
チェコスロバキア(1983)	*7.8	*2.35	ポルトガル(1983)	*7.0	9)0.50	デンマーク(1983) 3)	*5.3	*2.89
ルーマニア(1982)	7.8	1.47	イングランド <sup>4)</sup>	6.9	2.94	イタリア(1983)	*5.3	*0.22
コスタリカ(1982)	7.7	5)0.88	スコットランド(1983)	*6.8	*2.57	ノルウェー(1983)	*5.2	6)1.74
キューバ(1983)	*7.7	*2.96	タイ(1982)	6.5	10)0.49	ヨルダン(1981)	5.1	0.90
カナダ(1982)	7.6	2.86	北アイルランド(1981)	6.2	6)0.88	スウェーデン(1983)	*4.3	*2.40
東ドイツ(1983) 1)	*7.5	*2.97	日本(1984)	6.2	1.50	エルサルバドル(1982)	4.1	0.35
ユーゴスラビア(1983)	*7.5	6)0.96						

UN, Demographic Yearbook, 1983年版による。ただし、日本は厚生省「人口動態統計」による。婚姻率、離婚率ともに人口1,000についてのもので、配列は婚姻率の高い順。\*は暫定値。

1) 東ベルリンを含む。2) 西ベルリンを含む。3) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。4) いくつかの州の地区の数値に基づく推計値。5) 1981年。6) 1982年。7) 純血の原住民を除く。8) 1980年。9) 1976年。10) 1979年。

表19 女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率の変動

(%)

年齢階級	昭和5年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和57年	昭和59年
15～19	31.5	13.3	5.9	4.3	3.3	4.5	4.1	3.6	4.1	4.5
20～24	200.6	161.5	112.0	107.2	113.0	96.6	107.0	77.1	71.6	67.6
25～29	249.1	237.8	181.5	181.9	204.2	209.3	190.1	181.5	184.1	184.1
30～34	217.4	175.7	112.8	80.1	86.8	86.0	69.6	73.1	74.8	83.4
35～39	163.4	104.9	49.7	24.0	19.4	19.8	15.0	12.9	14.4	17.7
40～44	71.8	36.1	12.7	5.2	3.1	2.7	2.1	1.7	1.8	1.8
45～49	7.9	2.1	0.7	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
総出生率 <sup>1)</sup>	137.4	110.4	74.7	63.8	65.6	65.8	62.9	51.8	49.8	48.8

厚生省統計情報部「人口動態統計」に基づく。母の年齢別出生数の各年齢階級別女子人口1,000についての率であるが、昭和5年は日本に在住する外国人を含む総人口を、25年以降は日本人人口を分母としている。なお、年齢不詳分も既知の年齢別数値の割合に応じて案分補整している。昭和25年～45年は沖縄県を含まない。

1) 再生産年齢（15～49歳）女子人口についての特殊出生率で、年齢別出生率の平均的な指標である。

表20 主要国の女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率：最新材料

(%)

年齢階級	西ドイツ <sup>1)</sup> (1982年)	スウェーデン (1981年)	イギリス <sup>2)</sup> (1982年)	東ドイツ <sup>3)</sup> (1981年)	アメリカ合衆国 (1981年)	フランス (1980年)	オーストラリア (1981年)	ルーマニア (1982年)	チリ (1982年)	タイ (1979年)
15～19	12.5	14.5	27.5	51.1	53.6	18.1	28.1	69.8	66.7	48.8
20～24	75.4	90.3	101.6	175.6	112.0	122.5	107.3	184.4	149.3	171.9
25～29	106.6	120.6	125.8	100.9	112.0	144.0	145.0	107.2	141.0	150.9
30～34	64.1	71.7	69.0	36.2	61.4	79.7	77.5	47.5	91.5	100.3
35～39	20.4	24.8	22.8	8.3	20.0	27.1	24.4	19.6	48.2	78.4
40～44	3.6	4.4	4.2	1.6	3.8	5.3	4.5	5.2	17.0	51.8
45～49	0.3	0.2	0.5	0.1	0.2	0.4	0.3	0.4	2.3	26.3
総出生率	40.1	49.0	53.0	56.9	61.0	62.5	63.0	65.2	84.8	98.4

UN, Demographic Yearbook, 1983年版による。配列は総出生率の低位順。なお、上表を参照。

1) 西ベルリンを含む。2) イングランド＝ウェールズのみ。3) 東ベルリンを含む。

表21 有配偶女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率の変動

(%)

年齢階級	昭和5年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
15～19	306.02	407.72	346.43	321.80	253.48	245.67	305.39	384.44
20～24	333.90	376.36	342.31	341.74	357.22	346.45	349.92	352.20
25～29	284.44	298.63	237.02	237.21	254.73	258.87	242.87	243.40
30～34	239.62	209.62	131.53	92.69	98.14	95.04	77.12	82.97
35～39	183.12	126.29	59.31	27.77	22.03	22.01	16.42	14.29
40～44	84.01	43.74	15.70	6.35	3.58	3.09	2.40	1.86
45～49	10.01	2.70	0.90	0.44	0.22	0.20	0.10	0.07
15～49 <sup>1)</sup>	<b>208.77</b>	<b>187.45</b>	<b>129.43</b>	<b>108.70</b>	<b>109.58</b>	<b>104.50</b>	<b>93.42</b>	<b>77.78</b>

厚生省『人口動態統計』による母の年齢別出生数の各年『国勢調査報告』による当該年齢有配偶女子人口1,000についての率である。有配偶女子人口は、年齢および配偶関係不詳の数値を既知の年齢別、配偶関係別割合に応じて案分補整した有配偶者数。また出生数は、母の年齢が15歳未満、50歳以上、および不詳の出生数につき、15～49歳の既知の年齢別数値の割合に応じて案分補整したものである。なお、昭和25年～45年には沖縄県を含まない。なおまた、この表の分母人口は昭和55年以外の年次はすべて総人口を用いている。

1) 再生産年齢有配偶女子人口についての特殊出生率で、年齢別出生率の平均的な指標である。

表22 自然・人工別にみた死産数と人工死産割合の推移

年次	死産数			全死産中人工死産の占める割合 (%)
	総数	自然	人工	
昭和25	216,974	106,594	110,380	50.9
30	183,265	85,159	98,106	53.5
35	179,281	93,424	85,857	47.9
36	179,895	96,032	83,863	46.6
37	177,363	97,256	80,107	45.2
38	175,424	97,711	77,713	44.3
39	168,046	97,357	70,689	42.1
40	161,617	94,476	67,141	41.5
41	148,248	83,253	64,995	43.8
42	149,389	90,938	58,451	39.1
43	143,259	87,381	55,878	39.0
44	139,211	85,788	53,423	38.4
45	135,095	84,073	51,022	37.8
46	130,920	83,827	47,093	36.0
47	125,154	81,741	43,413	34.7
48	116,171	78,613	37,558	32.3
49	109,738	74,618	35,120	32.0
50	101,862	67,643	34,219	33.6
51	101,930	64,046	37,884	37.2
52	95,247	60,330	34,917	36.7
53	87,463	55,818	31,645	36.2
54	82,311	51,083	31,228	37.9
55	77,446	47,651	29,795	38.5
56	79,222	46,296	32,926	41.6
57	78,107	44,135	33,972	43.5
58	71,941	40,108	31,833	44.2
59	72,361	37,976	34,385	47.5

厚生省統計情報部『人口動態統計』による妊娠第4月以後の死児の出産数。昭和47年以前は沖縄県を含まない。

表23 人工妊娠中絶(実数と率)および優生手術件数の推移

年次	人工妊娠中絶		優生手術数
	実数	率 (%)	
昭和25	489,111	23.0	11,403
30	1,170,143	50.2	43,255
35	1,063,256	42.0	38,722
36	1,035,329	40.6	35,483
37	985,351	37.8	32,434
38	955,092	35.7	32,666
39	878,748	32.1	29,468
40	843,248	30.2	27,022
41	808,378	28.5	22,991
42	747,490	26.0	21,464
43	757,389	26.0	18,827
44	744,451	25.3	17,356
45	732,033	24.8	15,830
46	739,674	24.9	14,104
47	732,653	24.5	11,916
48	700,532	23.2	11,737
49	679,837	22.4	10,705
50	671,597	22.1	10,100
51	664,106	21.8	9,453
52	641,242	21.1	9,520
53	618,044	20.3	9,336
54	613,676	20.1	9,412
55	598,084	19.5	9,201
56	596,569	19.5	8,516
57	590,299	19.3	8,442
58	568,363	18.5	8,546
59	568,916	18.5	8,194

厚生省統計情報部『優生保護統計報告』による。昭和47年以前は沖縄県を含まない。人工妊娠中絶実施率は15～49歳女子人口1,000について。

表24 世論調査(毎日新聞社)による人工妊娠中絶および避妊の状況

(1) 人工妊娠中絶経験者割合の推移

(%)

中絶経験・回数	第2回 (昭27)	第3回 (昭30)	第5回 (昭34)	第7回 (昭38)	第9回 (昭42)	第11回 (昭46)	第13回 (昭50)	第15回 (昭54)	第16回 (昭56)	第17回 (昭59)
受けたことがない	68.4	52.3	42.2	55.9	51.8	50.8	54.4	57.7	55.0	55.8
受けたことがある	15.4	26.5	35.1	32.0	32.2	37.1	37.5	35.4	35.8	39.8
1 回	—	—	—	—	19.5	20.6	22.0	20.5	20.7	21.1
2 回	—	—	—	—	8.6	11.3	11.0	10.7	10.2	12.1
3 回	—	—	—	—	3.0	3.7	3.3	3.2	3.5	4.6
4 回以上	—	—	—	—	1.1	1.5	1.2	1.0	1.4	2.0
その他・無回答	16.2	21.2	22.7	12.0	16.0	12.1	8.1	6.9	9.2	4.4
[平均回数]	—	—	—	—	(0.60)	(0.69)	(0.64)	(0.60)	(0.63)	(0.70)

毎日新聞社人口問題調査会『毎日新聞社第17回全国家族計画世論調査報告書』(資料第114号, 昭59.8)による。毎日新聞社が昭和25年4月に第1回を行って以来昭和59年5月の第17回調査まで、ほぼ隔年に実施されている世論調査(標本数約3,000)結果の一部である。表中( )内の平均回数は、中絶4回以上を4回として計算しているので、実際にはもっと多いとみられる。

(2) 避妊の実行状況割合の推移

(%)

避妊実行状況	第1回 (昭25)	第3回 (昭30)	第5回 (昭34)	第7回 (昭38)	第9回 (昭42)	第11回 (昭46)	第13回 (昭50)	第15回 (昭54)	第16回 (昭56)	第17回 (昭59)
現在実行している	19.5	33.6	42.5	44.0	53.0	52.6	60.5	62.2	55.5	57.3
前に実行したことがある	9.6	18.8	20.2	19.0	19.2	20.2	21.0	21.5	24.2	23.4
一度も実行したことがない	63.6	41.6	33.0	29.8	23.1	16.8	13.3	11.7	16.0	16.5
その他・無回答	7.3	6.0	4.3	7.2	4.7	10.4	5.2	4.5	4.3	2.8

上表と同じく、毎日新聞社『全国家族計画世論調査報告書』による。

(3) 避妊経験者の避妊方法別割合の推移

(%)

避妊方法	第1回 (昭25)	第3回 (昭30)	第5回 (昭34)	第9回 (昭42)	第11回 (昭46)	第13回 (昭50)	第15回 (昭54)	第16回 (昭56)		第17回 (昭59)
								主たる方法	補助的方法	
コンドーム(サック)	35.6	56.8	58.3	65.2	72.7	77.8	81.1	25.8	38.4	78.4
オギノ式定期禁欲法	27.4	44.1	46.1	37.4	32.9	29.9	23.1	4.0	10.4	19.9
IUD, ピル	—	—	—	6.1	9.6	11.6	11.5	3.2	6.5	11.6
不妊手術(男・女)	—	3.9	6.3	3.6	3.9	4.7	4.0	1.0	2.3	・
その他 (洗浄法, 性交中絶法, ゼリー, ペッサリーなど)	59.3	41.9	44.1	26.4	23.7	21.0	13.3	1.8	7.7	9.3
無回答	10.7	5.5	4.2	4.2	1.6	0	1.2	64.1	34.8	2.5

上表と同じく、毎日新聞社『全国家族計画世論調査報告書』による。本書は多項目選択質問法によるので、合計が100%を超える場合がある。第17回のオギノ式定期禁欲法には基礎体温法を含む。

・第17回では含まれず。

表25 各種出産力調査による平均出生児数の比較

(1) 妻の年齢（5歳階級）別にみた既往出生児数

(単位 人)

調査の種類	総数 <sup>1)</sup>	妻の年齢					
		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
昭和45年国勢調査	2.50	0.70	1.34	1.92	2.13	2.38	2.76
第6次出産力調査 (昭和47年, 人口研)	1.92	0.65	1.40	1.97	2.15	2.26	2.59
世界出産力調査 (昭和49年, 厚生省)	2.0	0.7	1.4	2.0	2.2	2.3	2.6
第7次出産力調査 (昭和52年, 人口研)	2.22	0.73	1.35	1.99	2.15	2.19	2.33
第15回全国家族計画世論 調査(昭和54年, 毎日)	...	0.92	1.39	1.91	2.13	2.18	2.29
第16回全国家族計画世論 調査(昭和56年, 毎日)	2.0	0.80	1.42	2.01	2.15	2.21	2.25
第8次出産力調査 (昭和57年, 人口研)	1.93	0.50	1.28	1.99	2.16	2.21	2.21

厚生省人口問題研究所『人口統計資料集 1982』(研究資料第230号, 昭58.2)による。各調査の結果をまとめたもの。1) 調査によって対象年齢の幅が異なる。

(2) 妻の年齢（5歳階級）別にみた予定子供数

(単位 人)

調査の種類	総数 <sup>1)</sup>	妻の年齢					
		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
世界出産力調査 (昭和49年, 厚生省)	2.2	2.1		2.2		2.3	
第7次出産力調査 (昭和52年, 人口研)	2.17	2.19	2.15	2.21	2.15	2.11	2.22
第16回全国家族計画世論 調査(昭和56年, 毎日)	2.28	2.34	2.38	2.30	2.22	2.20	2.20
第8次出産力調査 (昭和57年, 人口研)	2.20	2.25	2.29	2.23	2.19	2.17	2.13

上表と同じ。予定子供数とは、現在子供数に追加予定子供数を合したものの。1) 調査によって、対象年齢の幅が異なる。

(3) 出生コウホート別にみた出生児数別有配偶女子割合および平均出生児数

出生コウホート	調査年次	年齢階層	出生児数別有配偶女子割合 (%)					平均出生児数(人)
			無子	1人	2人	3人	4人以上	
明治23年以前	昭和25	60歳以上	11.8	6.8	6.6	8.0	66.8	4.96
明治24～28	25	55～59	10.1	7.3	6.8	7.6	68.2	5.07
明治29～33	25	50～54	9.4	7.6	6.9	8.3	67.8	5.03
明治34～38	25	45～49	8.6	7.5	7.4	9.0	67.5	4.99
明治44～大正4	35	45～49	7.1	7.9	9.4	13.8	61.8	4.18
大正10～14	45	45～49	6.9	9.2	24.5	29.8	29.6	2.65
昭和3～7	52	45～49	3.6	11.0	47.0	29.0	9.4	2.33
昭和8～12	52	40～44	4.4	11.2	54.4	24.5	5.8	2.19
昭和13～17	52	35～39	3.4	11.9	56.0	24.2	4.5	2.15
昭和17～21	56	35～39	4.6	13.3	51.6	25.4	5.1	2.15

阿藤誠「わが国最近の出生率低下の分析」『人口学研究』第5号(昭和57.5)による。昭和25年, 35年および45年は国勢調査, 昭和52年は第7次出産力調査(人口問題研究所), 昭和56年は第16回全国家族計画世論調査(毎日新聞社)の結果。



表26 乳児，新生児および周産期死亡の実数と率の推移

年次	乳児死亡		新生児死亡		周産期死亡					
					総数		妊娠満28週以後の死産		早期新生児死亡	
	実数	率(%)	実数	率(%)	実数	率(%)	実数	率(%)	実数	率(%)
大正 9	335,613	165.7	139,681	69.0	...	...	...	...	...	...
14	297,008	142.4	121,238	58.1	...	...	...	...	...	...
昭和 5	258,703	124.1	104,101	49.9	...	...	...	...	...	...
10	233,706	106.7	97,994	44.7	...	...	...	...	...	...
15	190,509	90.0	81,869	38.7	...	...	...	...	...	...
22	205,360	76.7	84,204	31.4	...	...	...	...	...	...
25	140,515	60.1	64,142	27.4	108,843	46.6	73,659	31.5	35,184	15.1
30	68,801	39.8	38,646	22.3	75,918	43.9	53,297	30.8	22,621	13.1
35	49,293	30.7	27,362	17.0	66,552	41.4	49,512	30.8	17,040	10.6
36	45,465	28.6	26,255	16.5	65,063	40.9	48,184	30.3	16,879	10.6
37	42,797	26.4	24,777	15.3	62,650	38.7	46,408	28.7	16,242	10.0
38	38,442	23.2	22,965	13.8	60,049	36.2	44,764	27.0	15,285	9.2
39	34,967	20.4	21,344	12.4	56,827	33.1	42,151	24.6	14,676	8.5
40	33,742	18.5	21,260	11.7	54,904	30.1	39,955	21.9	14,949	8.2
41	26,217	19.3	16,296	12.0	42,583	31.3	30,818	22.6	11,765	8.6
42	28,928	14.9	19,248	9.9	50,846	26.3	36,738	19.0	14,108	7.3
43	28,600	15.3	18,326	9.8	45,921	24.5	32,228	17.2	13,693	7.3
44	26,874	14.2	17,116	9.1	43,419	23.0	30,609	16.2	12,810	6.8
45	25,412	13.1	16,742	8.7	41,917	21.7	29,107	15.0	12,810	6.6
46	24,805	12.4	16,450	8.2	40,900	20.4	28,235	14.1	12,665	6.3
47	23,773	11.7	15,817	7.8	38,754	19.0	26,329	12.9	12,425	6.1
48	23,683	11.3	15,473	7.4	37,598	18.0	25,442	12.2	12,156	5.8
49	21,888	10.8	14,472	7.1	34,383	16.9	22,989	11.3	11,394	5.6
50	19,103	10.0	12,912	6.8	30,513	16.0	20,268	10.7	10,245	5.4
51	17,105	9.3	11,638	6.4	27,133	14.8	17,741	9.7	9,392	5.1
52	15,666	8.9	10,773	6.1	24,708	14.1	16,022	9.1	8,686	4.9
53	14,327	8.4	9,628	5.6	22,217	13.0	14,516	8.5	7,701	4.5
54	12,923	7.9	8,590	5.2	20,481	12.5	13,580	8.3	6,901	4.2
55	11,841	7.5	7,796	4.9	18,385	11.7	12,231	7.8	6,154	3.9
56	10,891	7.1	7,188	4.7	16,531	10.8	10,929	7.1	5,602	3.7
57	9,969	6.6	6,425	4.2	15,303	10.1	10,236	6.8	5,067	3.3
58	9,406	6.6	5,894	3.9	14,035	9.3	9,464	6.3	4,571	3.0
59	8,920	6.0	5,527	3.7	12,998	8.7	8,724	5.9	4,274	2.9

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。乳児死亡は生後1年未満の死亡，新生児死亡は生後4週未満（ただし昭和15年以前は1か月未満）の死亡，周産期死亡は妊娠満28週以後の死産（後期死産）と生後1週未満の早期新生児死亡を合わせたもので，いずれも率は同年の出生1,000について。なお，昭和22年～47年には沖縄県を含まない。

表27 主要国の乳児死亡率：最新材料

(%)

国	(年)	乳児死亡率	国	(年)	乳児死亡率	国	(年)	乳児死亡率
エジプト	(1980)	76.0	ニュージーランド	(1983)	12.5	シンガポール	(1983)	9.4
アルゼンチン	(1983)	* 35.3	イタリア	(1983)	* 11.6	カナダ	(1983)	8.5
ユーゴスラビア	(1984)	* 28.9	オーストリア	(1984)	* 11.5	オランダ	(1984)	* 8.3
ルーマニア	(1983)	23.9	ベルギー	(1984)	* 10.7	フランス	(1984)	* 8.2
ハンガリー	(1984)	* 20.2	アメリカ合衆国	(1984)	* 10.6	ノルウェー	(1983)	7.9
ポルトガル	(1983)	19.3	西ドイツ <sup>1)</sup>	(1983)	10.3	スイス	(1982)	7.7
ポーランド	(1984)	19.2	東ドイツ <sup>2)</sup>	(1984)	* 10.0	デンマーク <sup>3)</sup>	(1983)	7.7
ブルガリア	(1984)	* 16.2	スペイン	(1982)	9.6	スウェーデン	(1984)	* 6.3
チェコスロバキア	(1983)	15.7	オーストラリア	(1983)	9.6	フィンランド	(1983)	6.2
ギリシア	(1984)	* 14.1	イギリス	(1984)	* 9.6	日本	(1984)	6.0

United Nations, *Statistical Papers, Series A Vol. XXXV II*, No. 4 (1985) による。ただし，日本は厚生省『人口動態統計』による。出生1,000についての率で，配列は率の高位順。

\* 暫定値。1) 西ベルリンを含む。2) 東ベルリンを含む。3) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。

表28 男女、年齢（5歳階級）別にみた死亡率の変動

(%)

年齢階級	昭和5年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和57年	昭和59年
男										
総 数	18.6	11.5	8.4	8.3	7.9	7.7	6.9	6.8	6.6	6.8
0～4	47.1	20.9	11.5	9.1	5.9	4.3	2.9	2.2	1.9	1.8
5～9	4.1	2.2	1.5	1.0	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3
10～14	2.7	1.2	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
15～19	7.3	2.5	1.5	1.3	0.9	1.1	0.9	0.7	0.7	0.7
20～24	9.2	4.9	2.7	2.2	1.5	1.3	1.1	0.9	0.8	0.8
25～29	7.8	5.7	2.9	2.3	1.6	1.4	1.0	0.9	0.9	0.8
30～34	7.0	5.4	3.0	2.4	2.0	1.7	1.3	1.0	1.0	1.0
35～39	7.9	6.0	3.5	3.0	2.6	2.5	1.9	1.6	1.4	1.4
40～44	10.2	7.2	4.7	4.1	3.6	3.5	3.2	2.5	2.3	2.3
45～49	14.3	9.6	7.2	6.3	5.7	5.0	4.6	4.4	4.1	3.8
50～54	20.0	13.7	11.1	10.3	9.0	8.0	6.5	6.3	6.3	6.5
55～59	28.8	20.9	17.0	16.8	14.7	13.2	10.8	9.2	8.9	9.1
60～64	43.4	31.7	27.4	26.7	25.0	21.8	17.3	15.1	13.9	13.5
65～69	61.9	51.7	43.5	43.0	40.4	37.5	29.4	25.3	22.0	22.4
70～74	96.4	78.6	70.0	70.0	66.6	60.9	50.9	43.6	39.8	37.5
75～79	138.3	114.6	105.1	113.6	108.3	98.2	82.7	75.6	68.8	65.7
80歳以上	223.4	202.1	172.9	195.3	199.8	176.7	158.8	148.5	135.8	137.0
女										
総 数	17.7	10.4	7.3	7.0	6.5	6.2	5.7	5.6	5.4	5.6
0～4	42.6	19.2	10.2	7.5	4.6	3.2	2.3	1.7	1.5	1.4
5～9	4.4	2.0	1.1	0.8	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
10～14	3.8	1.2	0.6	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
15～19	8.7	2.5	1.1	0.8	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2
20～24	10.1	4.5	1.9	1.4	0.8	0.7	0.6	0.4	0.3	0.3
25～29	8.9	5.1	2.3	1.6	1.1	0.9	0.6	0.5	0.4	0.4
30～34	8.6	4.9	2.6	1.8	1.3	1.0	0.8	0.6	0.6	0.6
35～39	9.2	5.3	3.0	2.3	1.7	1.4	1.1	0.9	0.8	0.8
40～44	9.7	6.0	3.8	3.0	2.4	2.1	1.7	1.4	1.2	1.2
45～49	10.7	7.5	5.3	4.5	3.7	3.1	2.5	2.1	2.0	1.9
50～54	13.7	10.3	7.7	6.7	5.6	4.8	3.9	3.3	3.0	2.9
55～59	18.7	14.4	11.2	10.1	8.6	7.5	5.9	4.9	4.5	4.2
60～64	28.1	22.1	17.5	15.9	14.0	12.2	9.5	7.8	7.2	6.7
65～69	42.4	35.7	28.7	26.7	23.9	21.0	16.2	13.5	12.2	11.7
70～74	69.6	56.3	48.5	47.0	42.0	37.5	30.8	24.8	22.2	20.6
75～79	106.5	87.3	77.8	82.4	76.3	67.3	56.6	47.4	42.5	39.2
80歳以上	184.5	168.7	144.0	157.9	163.6	148.7	133.2	119.0	106.6	104.6

厚生省統計情報部『人口動態統計』に基づく男女年齢別死亡数の男女各年齢階級別人口1,000に対する率であるが、昭和5年は日本に在住する外国人を含む総人口を、5年以降は日本人人口を分母としている。年齢不詳がある場合は、既知の年齢別数値の割合に応じて案分補整したものをを用いた。なお、昭和25年～45年は沖縄県を含まない。

表29 主要国の男女、年齢（5歳階級）別にみた死亡率：最新材料

(%)

年齢階級	シンガポール (1980年)	チリ (1982年)	オーストラリア (1981年)	アメリカ合衆国 (1982年)	ルーマニア (1982年)	フランス (1980年)	スウェーデン (1981年)	西ドイツ <sup>1)</sup> (1982年)	イギリス <sup>2)</sup> (1982年)	東ドイツ <sup>3)</sup> (1981年)
男										
総数	5.8	6.9	8.1	9.5	10.6	10.9	12.1	11.7	12.0	13.2
0歳	13.1	25.5	11.5	12.7	7.1	12.3	7.3	12.1	12.3	14.1
1～4	0.8	1.2	0.6	0.6		0.6	0.3	0.6	0.5	0.7
5～9	0.2	0.5	0.3	0.3	0.8	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4
10～14	0.3	0.6	0.3		0.6	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3
15～19	0.8	1.0	1.2	1.5	1.1	1.2	0.7	1.1	0.8	1.2
20～24	1.4	1.6	1.5		1.5	1.8	1.0	1.3	0.9	1.4
25～29	1.3	2.1	1.3	1.8	1.8	1.5	1.0	1.2	0.8	1.4
30～34	1.4	2.3	1.2		2.2	1.7	1.2	1.4	1.0	1.5
35～39	1.9	3.1	1.7	2.7	3.1	2.3	1.6	2.1	1.3	2.3
40～44	3.2	4.6	2.6		4.8	3.6	2.6	3.3	2.3	3.7
45～49	6.3	7.0	4.5	7.3	7.1	6.1	4.1	5.2	4.1	6.2
50～54	10.5	11.5	7.9		10.7	9.8	6.8	8.7	7.6	9.2
55～59	16.4	15.4	13.0	13.8	15.9	13.8	10.6	13.2	13.6	14.4
60～64	28.8	23.2	19.8	21.2	23.2	23.4	17.1	20.8	21.7	22.9
65～69	44.9	36.4	32.3	33.1	36.3	28.7	28.8	34.9	36.0	38.7
70～74	62.6	55.5	52.0	48.5	56.0	49.3	46.1	56.5	57.7	64.7
75～79	95.2	83.5	79.8	72.4	89.1	79.5	75.9	90.9	90.1	105.6
80～84	146.0	165.2	120.2	107.0	144.4	133.8	122.6	139.6	137.9	162.2
85歳以上	194.1		206.8	180.5	262.2	232.2	218.3	220.2	223.2	282.4
女										
総数	4.5	5.3	6.5	7.7	9.4	9.6	10.1	11.6	11.5	14.4
0歳	13.3	21.7	8.8	10.2	6.0	9.0	6.4	9.7	9.5	10.1
1～4	0.6	1.0	0.5	0.5		0.6	0.2	0.5	0.4	0.5
5～9	0.3	0.3	0.2	0.2	0.6	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3
10～14	0.3	0.4	0.2		0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2
15～19	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.3	0.4	0.3	0.5
20～24	0.6	0.6	0.5		0.8	0.6	0.3	0.5	0.4	0.5
25～29	0.6	0.9	0.5	0.7	1.0	0.6	0.4	0.5	0.4	0.6
30～34	0.8	1.0	0.6		1.1	0.8	0.6	0.8	0.6	0.8
35～39	1.1	1.4	0.9	1.5	1.6	1.2	0.9	1.1	0.9	1.1
40～44	1.9	2.2	1.4		2.1	1.7	1.3	1.7	1.5	2.0
45～49	3.4	3.6	2.7	3.9	3.5	2.5	2.4	2.6	2.7	3.2
50～54	5.1	6.1	3.8		5.3	3.9	3.2	4.2	4.5	4.9
55～59	10.7	7.9	6.2	7.3	8.0	5.4	5.4	6.2	7.5	7.6
60～64	15.6	12.8	9.7	11.1	13.1	9.1	8.5	9.9	11.8	12.2
65～69	25.5	20.2	15.7	16.9	22.7	11.7	13.6	16.8	18.6	22.1
70～74	40.8	33.2	25.5	25.5	40.4	22.7	25.3	29.1	30.5	39.4
75～79	63.8	56.3	44.3	40.6	73.7	42.9	44.1	54.4	51.3	71.7
80～84	105.6	126.0	75.9	66.9	127.8	83.3	82.5	97.2	88.5	124.9
85歳以上	184.9		160.9	140.5	271.5	187.4	175.4	188.0	178.2	236.5

United Nations, *Demographic Yearbook*, 1983年版による。配列は死亡率（平均）の低位順。なお、前表を参照。

1) 西ベルリンを含む。2) イングランド＝ウェールズのみ。3) 東ベルリンを含む。

表30 主要な死因別にみた死亡率および死亡割合の変動

死 因	昭和5年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
死 亡 率 (人口10万について)									
死 亡 総 数	1,816.7	1,087.6	776.8	756.4	712.7	691.4	631.2	621.4	619.3
悪 性 新 生 物	70.6	77.4	87.1	100.4	108.4	116.3	122.6	139.1	152.5
脳 血 管 疾 患	162.8	127.1	136.1	160.7	175.8	175.8	156.7	139.5	117.2
心 疾 患	63.8	64.2	60.9	73.2	77.0	86.7	89.2	106.2	113.9
肺炎および気管支炎	200.1	93.2	48.3	49.3	37.3	34.1	33.7	33.7	37.6
不慮の事故および有害作用	40.8	39.5	37.3	41.7	40.9	42.5	30.3	25.1	24.6
精神病の記載のない老衰	118.8	70.2	67.1	58.0	50.0	38.1	26.9	27.6	24.1
自 殺	21.6	19.6	25.2	21.6	14.7	15.3	18.0	17.7	20.4
慢性肝疾患および肝硬変	7.2	6.8	8.6	9.7	10.0	12.5	13.6	14.2	14.2
高 血 圧 性 疾 患	…	11.9	10.2	16.2	19.3	17.7	17.8	13.7	10.9
結 核	185.6	146.4	52.3	34.2	22.8	15.4	9.5	5.5	4.1
胃 腸 炎	221.4	82.4	31.7	21.2	12.9	8.3	5.6	3.3	2.1
死 亡 割 合 (%)									
死 亡 総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
悪 性 新 生 物	3.9	7.1	11.2	13.3	15.2	16.8	19.4	22.4	24.6
脳 血 管 疾 患	9.0	11.7	17.5	21.2	24.7	25.4	24.8	22.5	18.9
心 疾 患	3.5	5.9	7.8	9.7	10.8	12.5	14.1	17.1	18.4
肺炎および気管支炎	11.0	8.6	6.2	6.5	5.2	4.9	5.3	5.4	6.1
不慮の事故および有害作用	2.2	3.6	4.8	5.5	5.7	6.1	4.8	4.0	4.0
精神病の記載のない老衰	6.5	6.5	8.6	7.7	7.0	5.5	4.3	4.4	3.9
自 殺	1.2	1.8	3.2	2.9	2.1	2.2	2.8	2.8	3.3
慢性肝疾患および肝硬変	0.4	0.6	1.1	1.3	1.4	1.8	2.2	2.3	2.3
高 血 圧 性 疾 患	…	1.1	1.3	2.1	2.7	2.6	2.8	2.2	1.8
結 核	10.2	13.5	6.7	4.5	3.2	2.2	1.5	0.9	0.7
胃 腸 炎	12.2	7.6	4.1	2.8	1.8	1.2	0.9	0.5	0.3

厚生省『人口動態統計』による。配列は昭和59年の死因順位によるが、結核と胃腸炎は10・11位ではない。死因分類の改正により、年次別比較には完全な内容の一致をみることはできない点注意を要する。なお、昭和25年～45年は沖縄県を含まない。

表31 主要国の主要死因別にみた死亡率：最新材料

(人口10万について)

死 因	タ イ (1981年)	シン ガ ポール (1981年)	チ リ (1982年)	オーストラリア (1980年)	アメリカ合衆国 (1980年)	フランス (1981年)	スウェーデン (1982年)	西ドイツ <sup>1)</sup> (1982年)	イギリス <sup>2)</sup> (1982年)	ハンガリー (1982年)
死 亡 総 数	504.2	526.1	608.6	743.7	875.8	1,028.1	1,089.0	1,161.4	1,172.9	1,348.1
結 核	11.9	9.0	8.6	0.5	0.8	3.0	2.0	2.2	1.1	8.8
悪 性 新 生 物	24.7	107.1	102.4	159.6	183.3	234.7	229.5	259.5	263.2	263.9
脳 血 管 疾 患	10.9	58.9	58.2	93.9	74.9	124.1	113.0	161.6	139.2	222.6
心 疾 患	31.3	104.2	86.0	254.1	324.1	208.3	434.6	365.6	382.6	339.6
高 血 圧 性 疾 患	4.1	14.1	7.8	9.1	14.4	9.9	4.7	21.4	10.4	41.1
肺 炎	8.9	52.5	28.3	12.1	22.9	11.8	48.8	25.4	114.0	14.0
腸炎および下痢疾患	7.1	2.1	5.5	0.5	0.2	0.8	0.1	0.5	0.4	0.2
老 衰	111.4	9.7	2.8	0.9	0.5	20.1	3.1	9.9	2.1	0.5
自 動 車 事 故	13.8	11.5	10.2	23.8	22.9	20.4	9.6	17.8	10.6	15.3
その他の不慮の事故	20.8	6.3	20.5	19.0	23.6	48.7	22.2	25.5	16.2	53.1
自 殺	7.3	7.8	5.6	11.0	11.8	19.6	19.4	21.3	8.6	43.5

WHO, World Health Statistics Annual, 1982~1984年版による。死因分類は国によって異なるところもあるので、死因内容は必ずしも一致しない。配列は死亡率(総数)の低順位。

1) 西ベルリンを含む。2) イングランド=ウェールズのみ。

表32 主要国の妊産婦死亡率：最新材料

(出生10万について)

国	(年)	妊産婦死亡率	国	(年)	妊産婦死亡率	国	(年)	妊産婦死亡率
ルーマニア	(1981)	139.9	オーストリア	(1982)	17.0	イギリス	3)(1981)	9.0
メキシコ	(1978)	103.4	フランス	(1981)	15.5	スイス	(1981)	6.8
アルゼンチン	(1979)	84.6	日本	(1984)	15.3	カナダ	(1978)	6.4
チリ	(1982)	52.5	チェコスロバキア	(1979)	12.9	オランダ	(1982)	6.4
キューバ	(1978)	45.2	イタリア	(1979)	12.2	ニュージーランド	(1981)	5.9
ポルトガル	(1979)	30.6	ポーランド	(1980)	11.7	スウェーデン	(1981)	4.3
ハンガリー	(1982)	27.7	スペイン	2)(1979)	11.5	デンマーク	4)(1981)	3.8
ユーゴスラビア	(1981)	26.0	ギリシア	(1981)	11.4	東ドイツ	5)(1982)	2.5
ブルガリア	(1981)	24.1	オーストラリア	(1980)	9.8	ノルウェー	(1981)	2.0
西ドイツ	1)(1982)	17.7	アメリカ合衆国	(1979)	9.6	フィンランド	(1980)	1.6

United Nations, *Demographic Yearbook*, 1983年版による。ただし、日本は厚生省『人口動態統計』による。出生10万人についての妊産婦死亡(分娩を原因とするもの、および妊娠・出産・産褥期の合併症を原因とするもの)で、配列は率の高位順。1) 西ベルリンを含む。2) セウタとメリラを除く。3) イングランド=ウェールズのみ。4) フェロー諸島とグリーンランドを除く。5) 東ベルリンを含む。

表33 男女別にみた出生時の平均余命および生存数の変遷

年次	e <sub>0</sub> (年)		l <sub>15</sub> (%)		l <sub>65</sub> (%)		p <sub>15-65</sub> (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大正 10 ~ 14 1)	42.06	43.20	72.5	73.3	30.5	35.0	42.1	47.8
15 ~ 昭5 2)	44.82	46.54	75.7	76.5	33.8	39.6	44.7	51.7
昭和 10 ~ 11 3)	46.92	49.63	79.1	80.1	36.2	43.6	45.8	54.4
22 4)	50.06	53.96	82.9	84.0	39.8	49.1	48.1	58.5
25 ~ 27 5)	59.57	62.97	90.0	90.8	55.1	62.8	61.2	69.2
30 6)	63.60	67.75	93.2	94.0	61.8	70.6	66.4	75.1
35 7)	65.32	70.19	94.9	95.8	64.8	75.2	68.3	78.5
40 8)	67.74	72.92	96.8	97.5	69.1	80.0	71.4	82.0
45 9)	69.31	74.66	97.6	98.2	72.1	82.6	73.9	84.1
50 10)	71.73	76.89	98.2	98.6	76.8	86.1	78.3	87.3
55 11)	73.35	78.76	98.6	98.9	79.4	88.5	80.5	89.4
56 12)	73.79	79.13	98.7	99.0	80.0	88.9	81.1	89.8
57 13)	74.22	79.66	98.8	99.1	80.5	89.3	81.5	90.2
58 14)	74.20	79.78	98.8	99.1	80.3	89.5	81.3	90.3
59 15)	74.54	80.18	98.9	99.1	80.7	89.9	81.6	90.7

e<sub>0</sub>は出生時の平均余命(平均寿命), l<sub>15</sub>は出生数を100とした場合の15歳の生存数, l<sub>65</sub>は同じく65歳における生存数, p<sub>15-65</sub>は15歳から65歳に至る生存数を示す。1) 内閣統計局『第四回生命表』, 2) 同『第五回生命表』, 3) 同『第六回生命表』, 4) 厚生省統計調査部『第8回生命表』, 5) 同『第9回生命表』, 6) 同『第10回生命表』, 7) 同『第11回生命表』, 8) 同『第12回生命表』, 9) 厚生省統計情報部『第13回生命表』, 10) 同『第14回生命表』, 11) 同『第15回生命表』, 12) 同『昭和56年簡易生命表』, 13) 同『昭和57年簡易生命表』, 14) 同『昭和58年簡易生命表』, 15) 同『昭和59年簡易生命表』による。

表34 主要国の男女別にみた出生時の平均余命：最新材料

(年)

国	(年)	男	女	国	(年)	男	女
日本	(1984)	74.54	80.18	ニュージーランド	(1982)	70.67	76.86
アイスランド	(1981~82)	73.91	79.45	フィンランド	(1981)	69.53	77.77
スウェーデン	(1981)	73.05	79.08	西ドイツ	4)(1980~82)	70.18	76.85
ノルウェー	(1981~82)	72.64	79.41	オーストリア	(1981)	69.18	76.59
オランダ	(1981)	72.70	79.30	東ドイツ	5)(1982)	69.09	75.10
スイス	(1977~78)	72.00	78.70	シンガポール	(1980)	68.70	74.00
カナダ	(1980~82)	71.87	78.94	ポーランド	(1982)	67.24	75.20
オーストラリア	1)(1981)	71.38	78.42	チェコスロバキア	(1981)	67.00	74.34
アメリカ合衆国	(1982)	70.80	78.20	ユーゴスラビア	(1979~80)	67.72	73.15
フランス	(1981)	70.41	78.47	ハンガリー	(1982)	66.14	73.68
デンマーク	2)(1981~82)	71.40	77.40	韓国	(1978~79)	62.70	69.07
イスラエル	(1981)	72.70	75.91	チリ	(1975~80)	61.30	67.60
イギリス	3)(1980~82)	71.09	77.10	アルジェリア	(1982)	58.51	61.38

厚生省統計情報部『昭和59年簡易生命表』およびUN, *Demographic Yearbook*, 1983年版による。配列は出生時の平均余命(平均寿命)の男女総合の値の高い順。1) 純血の原住民を除く。2) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。3) イングランド=ウェールズのみ。4) 西ベルリンを含む。5) 東ベルリンを含む。

表35 女子人口の出生力、再生産力に関する主要指標の推移

年次	合計特殊出生率 (1)	総再生産率 (2)	純再生産率 (3)	再生産率 残存率 (3)/(2) (4)	静止粗再生産率 (1)/(3) (5)	指数 (昭和5年=100)		
						合計特殊出生率	総再生産率	純再生産率
大正14	5.107	2.511	1.559	0.621	3.276	108.4	109.3	102.5
昭和5	4.713	2.297	1.521	0.662	3.099	100.0	100.0	100.0
12	4.363	2.131	1.492	0.700	2.924	92.6	92.8	98.1
15	4.113	2.006	1.437	0.716	2.862	87.3	87.3	94.5
22	4.541	2.208	1.717	0.778	2.645	96.4	96.1	112.9
25	3.650	1.772	1.511	0.853	2.416	77.4	77.1	99.3
30	2.369	1.152	1.058	0.918	2.239	50.3	50.2	69.6
35	2.004	0.975	0.921	0.945	2.176	42.5	42.4	60.6
36	1.961	0.952	0.906	0.952	2.164	41.6	41.4	59.6
37	1.976	0.958	0.916	0.956	2.157	41.9	41.7	60.2
38	2.005	0.975	0.937	0.961	2.140	42.5	42.4	61.6
39	2.049	0.995	0.959	0.964	2.137	43.5	43.3	63.1
40	2.139	1.042	1.008	0.967	2.122	45.4	45.4	66.3
41	1.578	0.760	0.735	0.967	2.147	33.5	33.1	48.3
42	2.226	1.084	1.052	0.970	2.116	47.2	47.2	69.2
43	2.134	1.030	1.002	0.973	2.130	54.3	44.8	65.9
44	2.131	1.029	1.001	0.973	2.129	45.2	44.8	65.8
45	2.135	1.031	1.004	0.974	2.126	45.3	44.9	66.0
46	2.157	1.044	1.019	0.976	2.117	45.8	45.5	67.0
47	2.142	1.037	1.013	0.977	2.115	45.4	45.1	66.6
48	2.140	1.038	1.014	0.977	2.110	45.4	45.2	66.7
49	2.049	0.992	0.972	0.980	2.108	43.5	43.2	63.9
50	1.909	0.926	0.908	0.981	2.102	40.5	40.3	59.7
51	1.852	0.898	0.882	0.982	2.100	39.3	39.1	58.0
52	1.801	0.874	0.859	0.983	2.097	38.2	38.0	56.5
53	1.792	0.870	0.855	0.984	2.095	38.0	37.9	56.2
54	1.769	0.858	0.845	0.985	2.093	37.5	37.4	55.6
55	1.747	0.848	0.835	0.985	2.091	37.1	36.9	54.9
56	1.741	0.846	0.833	0.986	2.089	36.9	36.8	54.8
57	1.770	0.861	0.849	0.986	2.085	37.6	37.5	55.8
58	1.801	0.875	0.864	0.987	2.084	38.2	38.1	56.8
59	1.811	0.882	0.870	0.987	2.081	38.4	38.4	57.2

厚生省人口問題研究所の『人口問題研究』その他の資料による。国勢調査人口およびそれに基づく推計人口、人口動態統計による出生数ならびに生命表の生残数によって算出したものであるが、計算に用いた人口は昭和15年以前は総人口、22年以降は日本人人口である。なお、昭和22年～47年には沖縄県を含んでいない。

欄(1)の合計特殊出生率(粗再生産率ともいう)は、ある年の人口について、再生産年齢(ここでは15～49歳を採る)にある女子の年齢別特殊出生率 $[f_F(x)]$ を算出し、それら各年齢の合計値をもって表わすものである。この指標は、算定された $f_F(x)$ に基づいて、1人の女子が再生産年齢を経過する間に子どもを生んだと仮定した場合の平均出生児数である。欄(2)は、合計特殊出生率の計算においては生まれる子どもは男女児の両方を含んでいるが、これを女児だけについて求めた同様な指標で、総再生産率と呼ばれる(これを粗再生産率という人もある)。これは、人口の再生産を直接担当するのは女子であり、したがって、現在の世代の人口が人口を再生産する力をどれだけ持っているかということの一つの指標となる。次の欄(3)は、さらに母親の世代の死亡率を考慮に入れたときの女児数を表わすが、この純再生産率の計算は、総再生産率の計算の場合と同様に、出生力としては、その年の女子の年齢別女児特殊出生率 $[f_F(x)]$ を用いる。他方(1代目の女子の)生残率としては、同時期の生命表の静止人口 $[L_F(x)]$ を用いる。総再生産率と純再生産率との関係を説明するならば、総再生産率においては(1代目の)女子の死亡を考慮に入れず、再生産年齢を経過し終わるまでだれも死亡しないと仮定した場合、1人の女子が生むべき平均出生女児数であるのに対して、純再生産率では、再生産年齢を経過し終わるまでに死亡率の適用を受ける結果の母親の数の減少を考慮に入れているのである。欄(4)は、母の世代の死亡を見込んだ場合の次代の出生女児数が、死亡を見込まない場合と比べてどれだけ減るかを歩留りの形で表わした比率。欄(5)はその年次の純再生産率がもし1であったとするならば、合計特殊出生率(粗再生産率)はどれだけになるかを表わす。

表36 主要国の総出生率および合計特殊出生率：最新材料

国・地域	(年)	総出生率 (%)	合計特殊 出生率	国・地域	(年)	総出生率 (%)	合計特殊 出生率
エジプト	(1976)	160.7	5.648	フランス	(1980)	62.5	1.986
チュニジア	(1980)	151.9	5.365	オーストラリア	(1981)	63.0	1.936
エクアドル <sup>1)</sup>	(1978)	134.3	4.338	イタリヤ	(1977)	55.0	1.908
ベネズエラ <sup>2)</sup>	(1981)	138.9	4.155	東ドイツ <sup>3)</sup>	(1981)	56.9	1.869
フィリピン	(1977)	123.8	4.042	スコットランド	(1981)	56.0	1.855
スリランカ	(1979)	121.4	3.899	アメリカ合衆国	(1981)	61.0	1.815
メキシコ	(1979)	99.8	3.134	日本	(1984)	48.8	1.811
イスラエル	(1982)	102.8	3.124	ハンガリー	(1982)	52.3	1.788
ブラジル	(1980)	92.6	2.850	イングランド=ウェールズ	(1982)	53.0	1.757
タイ	(1982)	88.6	2.769	オーストリア	(1981)	51.8	1.712
チリ	(1982)	84.8	2.580	ノルウェー	(1982)	53.9	1.710
韓国	(1981)	79.0	2.433	シンガポール	(1982)	58.9	1.707
ポーランド	(1982)	77.2	2.236	ベルギー	(1978)	51.9	1.696
ポルトガル	(1979)	64.7	2.174	カナダ <sup>4)</sup>	(1981)	55.5	1.669
ルーマニア	(1982)	65.2	2.171	フィンランド	(1981)	51.8	1.649
ユーゴスラビア	(1980)	66.1	2.140	スウェーデン	(1981)	49.0	1.633
チェコスロバキア	(1981)	64.9	2.094	オランダ	(1981)	49.4	1.559
ギリシア	(1981)	59.9	2.091	スイス	(1981)	45.9	1.546
ニュージーランド	(1981)	65.2	2.014	デンマーク <sup>5)</sup>	(1982)	42.1	1.423
ブルガリア	(1981)	58.3	2.011	西ドイツ <sup>6)</sup>	(1982)	40.1	1.415

UN, *Demographic Yearbook*, 1983年版による。ただし、合計特殊出生率は各国の女子の年齢5歳階級別出生率に基づいて(日本は厚生省【人口動態統計】による)人口問題研究所が算定したもの。配列は合計特殊出生率の高位順。なお、前掲の表19および35を参照。

1) 未開地のインディアン人口を除く。2) 遊牧のインディアン部族を除く。3) 東ベルリンを含む。4) ニューファウンドランドを除く。5) フェロー諸島とグリーンランドを除く。6) 西ベルリンを含む。

表37 主要国の総再生産率および純再生産率：最新材料

国・地域	(年)	総再生産率	純再生産率	国・地域	(年)	総再生産率	純再生産率
アイルランド	(1979)	1.57	1.52	ハンガリー	(1980)	0.937	0.909
イスラエル	(1980)	1.525	1.490	イングランド=ウェールズ	(1979)	0.901	0.883
スペイン <sup>1)</sup>	(1978)	1.270	1.201	スコットランド	(1980)	0.894	0.877
チリ	(1980)	1.207	1.198	日本	(1984)	0.882	0.870
ルーマニア	(1978)	1.239	1.185	アメリカ合衆国	(1978)	0.877	0.856
チェコスロバキア	(1978)	1.155	1.126	イタリヤ	(1979)	0.870	0.848
ポルトガル	(1979)	1.06	1.00	カナダ	(1979)	0.856	0.835
ソビエト連邦	(1975)	1.170	1.104	オーストリア	(1982)	0.837	0.820
アイスランド	(1981)	1.115	1.100	ノルウェー	(1982)	0.826	0.814
ポーランド	(1980)	1.108	1.013	シンガポール	(1980)	0.840	0.813
ニュージーランド	(1979)	1.048	1.021	ベルギー	(1978)	0.823	0.801
ユーゴスラビア	(1978)	1.034	0.964	スウェーデン	(1981)	0.797	0.786
ブルガリア	(1980)	0.996	0.963	フィンランド	(1980)	0.796	0.779
ギリシア	(1981)	1.012	0.961	スイス	(1982)	*0.76	*0.74
フランス	(1982)	0.95	0.93	オランダ	(1982)	*0.732	*0.719
東ドイツ <sup>2)</sup>	(1980)	0.946	0.927	デンマーク <sup>3)</sup>	(1982)	0.70	0.69
オーストラリア	(1979)	0.941	0.922	西ドイツ <sup>4)</sup>	(1981)	0.70	0.68

UN, *Demographic Yearbook*, 1981年版および Council of Europe, *Country Reports*, 1983年版による。ただし、日本は人口問題研究所の資料(表35参照)による。配列は純再生産率の高位順。なお表35の注記を参照。

\*暫定値。1) セウタおよびメリラを除く。2) 東ベルリンを含む。3) フェロー諸島とグリーンランドを除く。4) 西ベルリンを含む。

表38 女子の安定人口動態率，平均世代間隔および年齢構造係数の推移

年次	安定人口動態率 (%)			安定人口平均世代間隔 (年)	安定人口年齢構造係数 (%)		
	増加率	出生率	死亡率		0～14歳	15～64歳	65歳以上
大正14	15.19	35.95	20.76	29.24	37.57	57.77	4.66
昭和5	14.19	32.87	18.68	29.56	35.79	58.83	5.38
12	13.40	30.37	16.97	29.88	34.57	59.49	5.94
15	11.99	28.60	16.61	30.22	33.59	60.36	6.05
22	18.09	32.12	14.03	29.89	36.34	58.42	5.24
25	14.12	25.30	11.18	29.23	32.07	60.87	7.07
30	1.95	15.86	13.91	28.77	22.23	64.15	13.62
35	- 2.95	12.72	15.67	27.86	18.81	64.63	16.57
36	- 3.56	12.32	15.88	27.80	18.38	64.65	16.98
37	- 3.16	13.11	16.27	27.69	19.56	67.08	13.36
38	- 2.34	12.59	14.93	27.70	18.74	63.96	17.30
39	- 1.50	13.02	14.52	27.70	19.29	64.14	16.57
40	0.30	13.80	13.50	27.68	20.23	63.72	16.05
41	-11.08	8.57	19.65	27.73	13.71	62.83	23.47
42	1.84	14.55	12.71	27.71	21.15	63.58	15.27
43	0.06	13.47	13.41	27.75	19.86	63.30	16.84
44	0.05	13.48	13.43	27.76	19.88	63.43	16.68
45	0.16	13.42	13.26	27.73	19.80	63.06	17.14
46	0.67	13.57	12.90	27.72	19.97	62.70	17.34
47	0.48	13.42	12.94	27.65	19.78	62.58	17.64
48	0.52	13.44	12.93	27.62	19.82	62.65	17.53
49	- 1.03	12.56	13.58	27.54	18.75	62.42	18.84
50	- 3.51	11.25	14.76	27.47	17.12	61.92	20.95
51	- 4.57	10.67	15.24	27.50	16.39	61.48	22.13
52	- 5.51	10.17	15.68	27.60	15.74	61.00	23.25
53	- 5.64	10.03	15.68	27.67	15.55	60.61	23.84
54	- 6.09	9.84	15.93	27.73	15.31	60.60	24.09
55	- 6.48	9.61	16.08	27.79	15.00	60.23	24.77
56	- 6.53	9.54	16.07	27.88	14.91	60.00	25.09
57	- 5.84	9.77	15.60	27.98	15.19	59.79	25.02
58	- 5.22	10.01	15.23	28.06	15.49	59.78	24.72
59	- 4.94	10.06	14.99	28.17	15.55	59.47	24.98

厚生省人口問題研究所の『人口問題研究』その他の資料による。国勢調査人口およびそれに基づく推計人口，人口動態統計による出生数ならびに生命表の生残数によって算出したものであるが，計算に用いた人口は，昭和15年以前は総人口，22年以降は日本人人口である。なお，昭和22年～47年は沖縄県を含まない。安定人口は，その理論においても実際の計算方法においても，前掲の標準化動態率や再生産率に比べ，いっそう複雑な性質を有している。詳しくは文献を参照されたいが，いま，移出入の全くない封鎖した人口を取り上げ，そのうち女子人口について考えよう。その女子人口について，年齢別女児特殊出生率  $[r_{ff}(x)]$  および年齢別特殊死亡率  $[m_f(x)]$  を計算する。その女子人口の年齢別出生率と死亡率とは，その年以後，実際にはいろいろ変動していくであろう。しかし，いまこういう仮定をたてる。すなわち，その年以後  $r_{ff}(x)$  と  $m_f(x)$  とが共に全く一定不変のまま継続していくとする。そのような条件の下に置かれた場合，その女子人口の年齢構造は初めのうちは変動を続けていくが，十分長い期間を経た後には，年齢構造が全く変動しなくなってしまつて，いわゆる安定した年齢構造を顕現するに至る。つまり，最初は過去の具体的な歴史のなかで受けたいろいろの諸条件を背負い込んでいた年齢構造も，一定の出生秩序と死亡秩序を十分長い間（仮定的計算の下で）与えられることによって，それらの諸条件から解放，純粹化されて，その一定の出生秩序と死亡秩序とによってのみ純粹に規定された年齢構造に到達してしまう。このような構造を持つ人口を安定人口というのである。安定状態に達したとき，年齢構造とともに普通出生率，死亡率および自然増加率，すなわち，安定人口動態率のすべてが一定不変となる。つまり，年齢構造が一定であれば各年齢における出生率，死亡率が一定であるから，普通出生率，死亡率も一定となり，したがって自然増加率も一定となる。通常の実際人口の自然増加率を考えた場合，それはいわば見せかけの自然増加率であるのに対して，安定人口増加率は，それに該当する実際人口がポテンシャルとして持っている真の自然増加率を意味するのである。



表39 世界の主要地域別にみた普通出生率および死亡率の推移予測

(‰)

地 域	普 通 出 生 率				普 通 死 亡 率			
	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年
世界全域	<b>38.0</b>	<b>27.3</b>	<b>22.5</b>	<b>17.6</b>	<b>19.7</b>	<b>10.6</b>	<b>8.7</b>	<b>8.4</b>
先進地域	22.7	15.5	13.8	13.5	10.1	9.6	9.8	11.0
発展途上地域	45.4	31.2	24.8	18.5	24.4	11.0	8.5	7.8
アフリカ	<b>48.1</b>	<b>46.4</b>	<b>40.4</b>	<b>26.7</b>	<b>27.2</b>	<b>16.5</b>	<b>10.8</b>	<b>7.1</b>
東部アフリカ	49.6	49.1	44.3	28.1	27.6	17.0	11.3	7.0
中部アフリカ	47.0	44.8	41.3	28.7	28.6	17.9	12.3	7.7
北部アフリカ	48.2	41.9	29.7	20.8	24.3	12.9	7.3	5.8
南部アフリカ	41.8	39.6	33.2	23.0	24.2	14.2	9.5	6.8
西部アフリカ	48.8	49.3	44.7	28.5	29.2	18.5	12.4	7.6
アメリカ	<b>33.8</b>	<b>25.4</b>	<b>20.3</b>	<b>17.2</b>	<b>12.5</b>	<b>8.6</b>	<b>7.4</b>	<b>8.0</b>
ラテンアメリカ	42.5	31.8	23.7	18.8	15.5	8.2	6.6	7.0
カリブ海	37.6	27.1	22.9	19.7	15.4	8.4	7.2	7.5
中央アメリカ	47.4	35.1	25.2	19.3	17.2	7.4	5.5	6.1
温帯南アメリカ	27.4	24.3	19.4	16.4	10.3	8.6	8.3	8.9
熱帯南アメリカ	45.6	32.4	23.8	18.9	16.3	8.5	6.7	7.1
北部アメリカ	25.1	16.0	13.9	13.5	9.4	9.1	8.9	10.2
アジア	<b>44.0</b>	<b>27.4</b>	<b>20.5</b>	<b>15.3</b>	<b>24.1</b>	<b>10.2</b>	<b>8.2</b>	<b>8.4</b>
東アジア	42.4	18.2	16.4	13.1	22.4	6.8	7.3	9.1
中国	45.5	18.5	16.6	13.1	23.9	6.8	7.1	8.8
日本	23.7	12.4	12.8	12.1	9.4	6.7	9.9	13.6
その他の東アジア	36.8	23.8	17.6	15.0	30.2	6.6	6.3	7.9
南アジア	45.6	34.9	23.3	16.6	25.7	12.9	8.9	8.0
南東部アジア	43.7	31.7	21.6	15.4	23.6	10.9	7.7	7.3
南部アジア	46.3	35.8	23.3	16.4	27.0	13.9	9.7	8.6
西部アジア	45.8	37.8	28.6	21.0	20.3	10.1	6.1	5.4
ヨーロッパ	<b>19.8</b>	<b>14.0</b>	<b>12.6</b>	<b>12.6</b>	<b>10.9</b>	<b>10.7</b>	<b>10.8</b>	<b>12.0</b>
東部ヨーロッパ	23.7	16.4	14.3	13.6	11.4	10.8	10.2	11.0
北部ヨーロッパ	16.7	12.8	11.8	12.2	11.1	11.9	11.4	12.4
南部ヨーロッパ	21.2	15.4	13.6	13.1	10.0	9.5	10.2	11.1
西部ヨーロッパ	17.6	11.7	10.6	11.6	11.4	11.2	11.6	13.7
オセアニア	<b>27.6</b>	<b>21.1</b>	<b>18.1</b>	<b>15.8</b>	<b>12.4</b>	<b>8.4</b>	<b>7.8</b>	<b>8.3</b>
オーストラリア- ニュージーランド	23.5	16.1	14.8	14.2	9.4	7.8	8.2	9.4
メラネシア	44.1	38.5	27.2	19.8	26.0	11.5	6.9	5.9
ミクロネシア- ポリネシア	45.1	36.1	26.2	18.9	18.2	6.4	5.1	5.5
ソビエト連邦	<b>26.3</b>	<b>18.8</b>	<b>16.0</b>	<b>15.2</b>	<b>9.2</b>	<b>9.3</b>	<b>9.1</b>	<b>9.6</b>

前掲の表5と同じくUN, *World Population Prospects as Assessed in 1982 (1985)* による国連の最新推計結果(日本も含めて)である。各5年間の平均値。先進地域はヨーロッパ全域、北部アメリカ(合衆国とカナダ)、ソビエト連邦、日本、オーストラリアおよびニュージーランド、発展途上地域はそれ以外の地域である。その他の地域構成については、前掲の22ページを参照。

表40 世界の主要地域別にみた合計特殊出生率および総再生産率の推移予測

地 域	合計特殊出生率				総再生産率			
	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年
世界全域	4.99	3.55	2.82	2.32	2.44	1.73	1.38	1.13
先進地域	2.80	1.98	2.04	2.13	1.38	0.96	0.99	1.04
発展途上地域	6.19	4.09	3.00	2.35	3.03	2.00	1.47	1.15
アフリカ	6.46	6.43	5.43	3.19	3.18	3.16	2.67	1.57
東部アフリカ	6.56	6.79	6.04	3.33	3.23	3.35	2.98	1.64
中部アフリカ	5.96	6.03	5.53	3.48	2.93	2.97	2.72	1.71
北部アフリカ	6.72	6.01	3.91	2.52	3.31	2.93	1.91	1.23
南部アフリカ	5.60	5.21	4.28	2.77	2.76	2.57	2.11	1.36
西部アフリカ	6.62	6.86	6.13	3.40	3.26	3.38	3.02	1.67
アメリカ	4.63	3.16	2.63	2.32	2.27	1.54	1.28	1.13
ラテンアメリカ	5.87	4.12	2.91	2.41	2.86	2.01	1.42	1.18
カリブ海	5.15	3.36	2.86	2.60	2.52	1.64	1.40	1.27
中央アメリカ	6.76	4.76	3.00	2.43	3.30	2.32	1.46	1.18
温帯南アメリカ	3.51	3.21	2.51	2.21	1.72	1.57	1.23	1.08
熱帯南アメリカ	6.38	4.13	2.93	2.41	3.11	2.01	1.43	1.17
北部アメリカ	3.43	1.85	2.08	2.10	1.69	0.90	1.01	1.02
アジア	5.96	3.56	2.44	2.03	2.91	1.74	1.19	0.99
東アジア	5.52	2.30	1.92	1.92	2.69	1.12	0.93	0.94
中国	5.98	2.33	1.90	1.90	2.92	1.14	0.93	0.93
日本	2.77	1.71	1.88	2.07	1.34	0.83	0.91	1.00
その他の東アジア	5.00	2.91	2.20	2.06	2.46	1.42	1.07	1.00
南アジア	6.43	4.65	2.81	2.09	3.14	2.27	1.37	1.02
南東部アジア	5.84	4.11	2.49	1.95	2.85	2.01	1.21	0.95
南部アジア	6.67	4.78	2.83	2.08	3.25	2.33	1.38	1.02
西部アジア	6.37	5.46	3.81	2.55	3.14	2.67	1.86	1.25
ヨーロッパ	2.56	1.90	1.89	2.08	1.26	0.93	0.92	1.01
東部ヨーロッパ	2.91	2.17	2.06	2.14	1.43	1.05	1.00	1.04
北部ヨーロッパ	2.29	1.78	1.81	2.03	1.13	0.87	0.88	0.99
南部ヨーロッパ	2.64	2.12	1.99	2.09	1.30	1.03	0.96	1.01
西部ヨーロッパ	2.36	1.58	1.71	2.05	1.17	0.77	0.83	0.99
オセアニア	3.78	2.71	2.46	2.25	1.86	1.32	1.20	1.09
オーストラリア- ニュージーランド	3.21	1.97	2.06	2.16	1.58	0.96	1.00	1.05
メラネシア	6.22	5.52	3.61	2.43	3.06	2.69	1.76	1.19
ミクロネシア- ポリネシア	6.68	5.34	3.33	2.37	3.29	2.59	1.61	1.15
ソビエト連邦	2.82	2.36	2.29	2.25	1.38	1.15	1.12	1.10

前掲表と同じく UN, *World Population Prospects as Assessed in 1982* (1985) による国連の最新推計結果 (日本も含めて) である。各5年間の平均値。先進地域はヨーロッパ全域、北部アメリカ (合衆国とカナダ)、ソビエト連邦、日本、オーストラリアおよびニュージーランド、発展途上地域はそれ以外の地域である。その他の地域構成については、前掲の22ページを参照。

表41 世界の主要地域別にみた純再生産率および出生時の平均余命の推移予測

地 域	純 再 生 産 率				出生時の平均余命 (男女総合) (年)			
	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年
世界全域	<b>1.66</b>	<b>1.43</b>	<b>1.23</b>	<b>1.06</b>	<b>45.8</b>	<b>58.9</b>	<b>64.8</b>	<b>70.0</b>
先進地域	1.27	0.94	0.99	1.03	65.1	73.0	75.9	77.2
発展途上地域	1.88	1.60	1.28	1.07	41.0	56.6	63.2	68.9
アフリカ	<b>1.85</b>	<b>2.30</b>	<b>2.19</b>	<b>1.40</b>	<b>37.5</b>	<b>49.7</b>	<b>57.6</b>	<b>64.9</b>
東部アフリカ	1.84	2.42	2.43	1.46	36.6	48.8	57.0	64.3
中部アフリカ	1.65	2.10	2.18	1.52	35.9	47.5	55.6	63.8
北部アフリカ	2.06	2.29	1.70	1.17	41.2	55.9	65.1	71.0
南部アフリカ	1.74	1.98	1.81	1.26	41.1	53.0	60.9	68.0
西部アフリカ	1.80	2.36	2.40	1.47	35.2	46.8	55.0	63.0
アメリカ	<b>1.87</b>	<b>1.41</b>	<b>1.22</b>	<b>1.10</b>	<b>57.6</b>	<b>66.6</b>	<b>71.0</b>	<b>73.5</b>
ラテンアメリカ	2.14	1.78	1.33	1.13	51.0	64.1	69.4	72.2
カリブ海	1.90	1.46	1.30	1.22	51.9	64.0	67.8	70.8
中央アメリカ	2.38	2.06	1.36	1.13	49.3	65.0	70.5	73.0
温帯南アメリカ	1.47	1.48	1.19	1.05	60.3	69.0	72.2	73.4
熱帯南アメリカ	2.30	1.77	1.34	1.13	49.9	62.9	68.6	71.8
北部アメリカ	1.61	0.89	1.00	1.02	69.0	74.1	76.5	77.5
アジア	<b>1.80</b>	<b>1.41</b>	<b>1.06</b>	<b>0.94</b>	<b>41.2</b>	<b>57.9</b>	<b>65.2</b>	<b>70.8</b>
東アジア	1.76	1.05	0.91	0.92	42.5	68.0	72.3	75.2
中国	1.85	1.06	0.90	0.91	40.6	67.4	71.9	75.0
日本	1.19	0.82	0.91	1.00	64.0	76.6	77.7	78.1
その他の東アジア	1.77	1.32	1.04	0.99	48.2	66.7	72.0	75.1
南アジア	1.84	1.72	1.17	0.95	40.1	53.6	61.8	68.7
南東部アジア	1.80	1.65	1.11	0.92	41.2	56.8	65.3	71.7
南部アジア	1.84	1.70	1.14	0.92	39.2	51.8	59.5	66.7
西部アジア	2.05	2.24	1.72	1.21	45.0	60.6	68.6	73.6
ヨーロッパ	<b>1.14</b>	<b>0.90</b>	<b>0.91</b>	<b>1.00</b>	<b>65.3</b>	<b>73.2</b>	<b>76.0</b>	<b>77.3</b>
東部ヨーロッパ	1.18	1.03	0.99	1.03	63.1	71.7	75.2	76.8
北部ヨーロッパ	1.08	0.85	0.88	0.98	69.4	74.0	76.4	77.5
南部ヨーロッパ	1.17	1.00	0.95	1.00	63.0	73.3	76.0	77.3
西部ヨーロッパ	1.10	0.76	0.83	0.99	67.6	74.1	76.4	77.5
オセアニア	<b>1.58</b>	<b>1.21</b>	<b>1.15</b>	<b>1.08</b>	<b>61.0</b>	<b>67.6</b>	<b>72.6</b>	<b>75.7</b>
オーストラリア- ニュージーランド	1.51	0.94	0.99	1.04	69.6	74.2	76.5	77.5
メラネシア	1.80	2.15	1.58	1.14	40.3	56.8	65.9	72.0
ミクロネシア- ポリネシア	2.43	2.41	1.57	1.14	53.1	67.4	73.0	76.0
ソビエト連邦	<b>1.28</b>	<b>1.12</b>	<b>1.11</b>	<b>1.09</b>	<b>61.7</b>	<b>70.9</b>	<b>74.7</b>	<b>76.7</b>

前掲表と同じく UN, *World Population Prospects as Assessed in 1982* (1985) による国連の最新推計結果 (日本も含めて) である。各5年間の平均値。男女別の出生時平均余命は次表に掲載。先進地域はヨーロッパ全域、北部アメリカ (合衆国とカナダ)、ソビエト連邦、日本、オーストラリアおよびニュージーランド、発展途上地域はそれ以外の地域である。その他の地域構成については、前掲の22ページを参照。

表42 世界の主要地域別にみた男女別出生時の平均余命の推移予測

(年)

地 域	男				女			
	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年	1950～ 55年	1980～ 85年	2000～ 05年	2020～ 25年
世界全域	44.7	57.5	63.2	68.0	47.1	60.3	66.4	72.0
先進全域	63.0	69.4	72.3	73.8	68.7	76.9	79.7	80.8
発展途上地域	40.3	55.5	61.9	67.2	41.8	57.7	64.6	70.7
アフリカ	36.2	48.2	55.9	63.0	38.8	51.3	59.4	66.8
東部アフリカ	35.1	47.2	55.3	62.4	38.1	50.5	58.8	66.2
中部アフリカ	34.4	45.9	53.9	62.0	37.5	49.2	57.4	65.6
北部アフリカ	40.5	54.8	63.6	68.9	42.0	57.0	66.6	73.2
南部アフリカ	39.5	51.3	59.2	66.0	42.8	54.7	62.7	70.1
西部アフリカ	33.7	45.2	53.3	61.2	36.8	48.5	56.8	64.9
アメリカ	55.5	63.9	68.3	70.6	59.8	69.4	74.0	76.5
ラテンアメリカ	49.3	61.8	66.8	69.6	52.7	66.5	72.0	75.0
カリブ海	50.2	62.1	65.7	68.4	53.6	66.1	70.1	73.3
中央アメリカ	47.9	62.9	68.3	70.6	50.8	67.1	72.9	75.6
温帯南アメリカ	58.1	65.7	68.9	70.1	62.6	72.4	75.6	77.0
熱帯南アメリカ	48.3	60.5	65.9	69.1	51.7	65.3	71.3	74.7
北部アメリカ	66.3	70.4	72.8	74.0	72.0	78.1	80.3	81.1
アジア	40.6	57.2	64.3	69.4	41.8	58.7	66.2	72.4
東アジア	41.1	65.9	70.3	73.3	44.0	70.1	74.4	77.3
中国	39.2	65.5	70.0	73.2	42.0	69.4	73.9	76.9
日本	62.1	74.0	75.0	75.0	65.9	79.4	80.6	81.4
その他の東アジア	46.6	64.1	69.2	72.1	49.9	69.5	74.8	78.2
南アジア	40.2	53.5	61.3	67.4	39.9	53.8	62.3	70.0
南東部アジア	40.1	55.2	63.4	69.3	42.4	58.6	67.3	74.3
南部アジア	40.0	52.3	59.8	66.2	38.5	51.3	59.2	67.2
西部アジア	43.9	58.8	66.4	70.8	46.1	62.5	71.0	76.4
ヨーロッパ	63.2	70.0	72.6	73.9	67.6	76.6	79.5	80.8
東部ヨーロッパ	60.9	68.5	71.8	73.4	65.5	75.1	78.8	80.5
北部ヨーロッパ	67.1	70.8	73.0	74.2	71.8	77.3	80.0	80.9
南部ヨーロッパ	61.2	70.4	72.8	74.1	64.9	76.4	79.5	80.7
西部ヨーロッパ	65.3	70.5	72.9	74.1	70.1	77.9	80.2	81.1
オセアニア	59.2	65.5	70.2	72.9	62.9	69.9	75.1	78.6
オーストラリア- ニュージーランド	67.0	70.9	73.0	74.2	72.3	77.7	80.2	81.0
メラネシア	40.4	56.5	65.5	70.3	40.2	57.1	66.3	73.9
ミクロネシア- ポリネシア	51.4	65.4	70.4	72.9	54.8	69.7	75.9	79.4
ソビエト連邦	60.0	66.5	70.7	73.0	68.5	75.4	78.9	80.5

前掲表と同じくUN, *World Population Prospects as Assessed in 1982* (1985) による国連の最新推計結果(日本も含めて)である。各5年間の平均値。先進地域はヨーロッパ全域、北部アメリカ(合衆国とカナダ)、ソビエト連邦、日本、オーストラリアおよびニュージーランド、発展途上地域はそれ以外の地域である。その他の地域構成については、前掲の22ページを参照。

表43 自然増加および社会増加別にみた増加人口の推移

期 間	増 加 数 (1,000人)				期初人口に対する割合 (%)			
	総増加 <sup>1)</sup>	出 生	死 亡	入国-出国 (社会増加)	総 増 加	出 生	死 亡	入国-出国 (社会増加)
大正 9~14 <sup>2)</sup>	3,774	10,375	6,440	50	6.7	18.5	11.5	0.1
14~昭 5 <sup>2)</sup>	4,713	10,796	6,070	49	7.9	18.1	10.2	0.1
昭和 5~10 <sup>2)</sup>	4,804	10,938	6,025	-237	7.5	17.0	9.3	-0.4
10~15 <sup>2)</sup>	2,679	10,513	6,197	-1,384	3.9	15.2	8.9	-2.0
15~25 <sup>2) 3)</sup>	12,182	22,976	12,286	1,740	16.9	31.9	17.1	2.4
25~30	5,962	9,940	3,899	16	7.1	11.8	4.6	0.0
30~35	4,225	8,363	3,601	-109	4.7	9.3	4.0	-0.1
35~40	4,908	8,522	3,502	-74	5.2	9.0	3.7	-0.1
40~45	5,455	9,154	3,476	-36	5.5	9.2	3.5	-0.0
45~50	7,272	10,195	3,518	<sup>4)</sup> -74	6.9	9.7	3.4	-0.1
50~55	5,121	8,656	3,514	-43	4.6	7.7	3.1	-0.0
55~60*	3,902	7,555	3,666	12	3.3	6.5	3.1	0.0

総務庁統計局『国勢調査報告』および『人口推計月報』による。期間は各期初年10月~期末年9月で、特記のないかぎりすべての沖縄県を含めている。\*暫定値。1) 補間補正を施す場合があるので、出生、死亡、出入国超過を加減した数とは必ずしも一致しない。2) 大正9年~昭和24年(各年とも10月~翌年9月)の社会増加には外国人の自然増加を含む。3) 昭和19年10月~25年12月までの出生、死亡、出入国超過は沖縄を除く。4) 昭和47年1月~9月の沖縄の出入国超過を除く。

表44 地方別にみた人口および増加人口の自然・社会別増加の比較

地 方	昭和45年 人 口 (1,000人)	昭和45~50年			昭和50年 人 口 (1,000人)	昭和50~55年			昭和55年 人 口 (1,000人)
		自 然 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 指 数 (%)		自 然 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 指 数 (%)	
全 国	104,665	6,688	587	8.8	111,940	5,143	-22	-0.4	117,060
北 海 道	5,184	313	-160	-50.9	5,338	254	-17	-6.5	5,576
東 北	9,031	409	-207	-50.7	9,233	379	-40	-10.6	9,572
北 関 東	5,382	310	104	33.7	5,797	265	137	51.7	6,199
南 関 東	24,113	2,041	887	43.5	27,042	1,470	187	12.7	28,699
北 陸・東 山	7,856	364	-113	-31.1	8,107	297	-47	-15.9	8,357
東 海	11,778	845	103	12.2	12,726	633	-44	-6.9	13,315
東 近 畿	2,863	159	113	71.2	3,135	127	114	89.3	3,376
西 近 畿	14,538	1,125	33	2.9	15,696	768	-318	-41.5	16,146
中 国	6,997	349	20	5.8	7,366	265	-44	-16.8	7,586
四 国	3,904	151	-15	-10.2	4,040	121	2	1.9	4,163
九州・沖 縄	13,017	621	-178	-28.7	13,460	563	49	8.6	14,072
南関東・東海・ 西近畿の合計	50,430	4,011	1,023	25.5	55,464	2,871	-175	6.1	57,160

総務府統計局『日本の人口 昭和50年国勢調査の解説』(昭和50年国勢調査解説シリーズNo.3, 昭55.3)および同局『昭和51年~54年各年10月1日現在 都道府県人口の推計(改訂)』(人口推計資料No.55, 昭58.9)による。増加の期間は各国勢調査間、すなわち期初年の10月から期末年の9月までの5年間で、自然増加は厚生省『人口動態統計』から算出され、社会増加は出生死亡数法、すなわち増加人口総数から自然増加を差し引いて算出したもの。社会増加指数は社会増加数の自然増加数に対する比率である。なお、地方の構成都道府県は次のとおりである。

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島。北関東：茨城、栃木、群馬。南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川。北陸・東山：新潟、富山、石川、福井、山梨、長野。東海：岐阜、静岡、愛知、三重。東近畿：滋賀、奈良、和歌山。西近畿：京都、大阪、兵庫。中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口。四国：徳島、香川、愛媛、高知。九州・沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄。

表45 自府県内・府県間別にみた市町村間人口移動の推移

年次	移動数(1,000人)			移動率(%)			移動総数の対前年増加率(%)
	総数	府県内	府県間	総数	府県内	府県間	
昭和29	5,498	3,146	2,353	6.27	3.59	2.68	-
30	5,141	2,914	2,227	5.80	3.29	2.51	-6.5
31	4,860	2,738	2,122	5.43	3.06	2.37	-5.5
32	5,268	2,888	2,380	5.83	3.20	2.64	8.4
33	5,294	2,914	2,381	5.81	3.20	2.61	0.5
34	5,358	2,915	2,443	5.82	3.17	2.65	1.2
35	5,653	2,973	2,680	6.09	3.20	2.89	5.5
36	6,012	3,060	2,952	6.42	3.27	3.15	6.4
37	6,580	3,277	3,303	6.95	3.46	3.49	9.4
38	6,937	3,464	3,473	7.26	3.62	3.63	5.4
39	7,257	3,622	3,634	7.51	3.75	3.76	4.6
40	7,381	3,688	3,692	7.56	3.78	3.78	1.7
41	7,432	3,748	3,684	7.55	3.81	3.74	0.7
42	7,479	3,718	3,761	7.51	3.73	3.78	0.6
43	7,775	3,838	3,937	7.72	3.81	3.91	4.0
44	8,126	4,010	4,116	7.97	3.93	4.04	4.5
45	8,273	4,038	4,235	8.02	3.92	4.11	1.8
46	8,360	4,103	4,257	8.00	3.92	4.07	1.1
47	8,350	4,193	4,157	7.88	3.96	3.92	-0.1
48	8,539	4,304	4,234	7.87	3.97	3.90	2.3
49	8,027	4,094	3,932	7.30	3.72	3.58	-6.0
50	7,544	3,846	3,698	6.78	3.46	3.32	-6.0
51	7,392	3,827	3,565	6.57	3.40	3.17	-2.0
52	7,395	3,828	3,568	6.51	3.37	3.14	0.0
53	7,292	3,804	3,487	6.37	3.32	3.04	-1.4
54	7,295	3,826	3,469	6.32	3.31	3.00	0.1
55	7,067	3,711	3,356	6.07	3.19	2.88	-3.1
56	6,902	3,584	3,318	5.89	3.06	2.83	-2.3
57	6,852	3,564	3,288	5.81	3.02	2.79	-0.7
58	6,674	3,478	3,196	5.62	2.93	2.69	-2.6
59	6,559	3,422	3,137	5.49	2.86	2.62	-1.7

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報』による。移動率は各年10月1日現在日本人口100.0に  
ついてのもの。昭和47年以前は沖縄県を含んでいない。

表46 3大都市圏別にみた大都市圏の転入超過人口の推移

(単位1,000人)

年次	3大都市圏計				年次	3大都市圏計			
	東京圏	中京圏	阪神圏	合		東京圏	中京圏	阪神圏	合
昭和29	258	24	103	385	昭和45	248	54	91	393
30	235	23	95	353	46	206	37	46	288
31	247	42	113	402	47	159	24	24	207
32	295	44	169	507	48	97	22	-5	114
33	273	26	123	422	49	53	7	-21	39
34	301	45	145	491	50	45	-4	-30	11
35	333	72	189	594	51	26	-7	-41	-23
36	359	75	221	655	52	35	-0	-45	-9
37	364	72	211	647	53	45	0	-38	7
38	354	81	185	620	54	30	-3	-41	-15
39	327	76	174	578	55	31	-0	-36	-6
40	298	52	131	481	56	53	2	-24	31
41	266	37	103	406	57	65	4	-14	55
42	255	42	107	404	58	83	4	-5	83
43	259	48	112	418	59	86	6	-2	90
44	250	55	121	426					

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報』によって人口問題研究所が算出。大都市圏間の移動は含  
まれない。-は転入超過を示す。なお、本表の地域区分は次のとおりである。

東京圏：埼玉、千葉、東京、神奈川の1都3県。中京圏：岐阜、愛知、三重の3県。

阪神圏：京都、大阪、兵庫の2府1県。

表47 府県間人口移動の類型(移動方向)別にみた移動数および割合の推移

年次	移 動 数 (1,000人)					類 型 別 割 合 (%)			
	総 数	大 都 市 圏 内	大 都 市 圏 内 大 都 市 圏 外	非 大 都 市 圏 内 大 都 市 圏 外	非 大 都 市 圏 内	大 都 市 圏 内	大 都 市 圏 内 大 都 市 圏 外	非 大 都 市 圏 内 大 都 市 圏 外	非 大 都 市 圏 内
昭和29	2,353	588	403	788	573	25.0	17.1	33.5	24.4
30	2,227	563	385	738	540	25.3	17.3	33.1	24.2
31	2,122	539	342	743	499	25.4	16.1	35.0	23.5
32	2,380	593	359	866	562	24.9	15.1	36.4	23.6
33	2,381	618	393	815	556	26.0	16.5	34.2	23.4
34	2,443	649	389	880	524	26.6	15.9	36.0	21.4
35	2,680	706	406	999	568	26.3	15.1	37.3	21.2
36	2,952	794	449	1,104	606	26.9	15.2	37.4	20.5
37	3,303	919	536	1,184	664	27.8	16.2	35.8	20.1
38	3,473	995	589	1,209	679	28.6	17.0	34.8	19.6
39	3,634	1,089	639	1,217	688	30.0	17.6	33.5	18.9
40	3,692	1,116	705	1,186	685	30.2	19.1	32.1	18.6
41	3,684	1,144	732	1,138	670	31.1	19.9	30.9	18.2
42	3,761	1,180	750	1,154	677	31.4	19.9	30.7	18.0
43	3,937	1,241	784	1,202	710	31.5	19.9	30.5	18.0
44	4,116	1,301	827	1,252	735	31.6	20.1	30.4	17.9
45	4,235	1,346	870	1,263	757	31.8	20.5	29.8	17.9
46	4,257	1,352	926	1,214	764	31.8	21.8	28.5	17.9
47	4,157	1,361	921	1,127	748	32.7	22.2	27.1	18.0
48	4,234	1,378	985	1,099	773	32.5	23.3	26.0	18.3
49	3,932	1,259	949	987	738	32.0	24.1	25.1	18.8
50	3,698	1,174	901	912	711	31.7	24.4	24.7	19.2
51	3,565	1,150	873	850	692	32.3	24.5	23.8	19.4
52	3,568	1,136	867	858	706	31.8	24.3	24.0	19.8
53	3,487	1,123	829	837	699	32.2	23.8	24.0	20.0
54	3,469	1,129	827	812	701	32.5	23.8	23.4	20.2
55	3,356	1,084	795	789	688	32.3	23.7	23.5	20.5
56	3,318	1,050	768	799	701	31.6	23.1	24.1	21.1
57	3,288	1,032	751	806	700	31.4	22.8	24.5	21.3
58	3,196	1,006	711	794	685	31.5	22.2	24.8	21.4
59	3,137	986	692	782	678	31.4	22.1	24.9	21.6

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報』によって人口問題研究所が算出。前表を参照。

表48 国別にみた在外日系人数および戦後の移住者数

国	長期滞在者 <sup>1)</sup>		永 住 者 (日本国籍保有者) <sup>2)</sup>		帰化一世および 二, 三世 <sup>3)</sup>		戦後の移住者 <sup>4)</sup>	
	実 数	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)	実 数 (1,000人)	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)
総 数	228,914	100.0	249,254	100.0	1,493.8	100.0	247,295	100.0
アメリカ合衆国	70,363	30.7	67,821	27.2	約673.8	約45.1	127,200	51.4
カナダ	5,054	2.2	11,127	4.5	40.7	2.7	10,712	4.3
ブラジル	5,178	2.3	123,316	49.5	673.1	45.1	69,232	28.0
パラグアイ	288	0.1	4,671	1.9	1.9	0.1	9,234	3.7
アルゼンチン	779	0.3	15,001	6.0	16.1	1.1	10,092	4.1
ドミニカ共和国	67	0.0	526	0.2	0.1	0.0	1,380	0.6
ポリネシア	202	0.1	2,997	1.2	7.0	0.5	5,952	2.4
メキシコ	1,948	0.9	831	0.3	9.5	0.6	595	0.2
ペルー	931	0.4	6,508	2.6	62.5	4.2	2,507	1.0
オーストラリア	5,957	2.6	1,239	0.5	0.7	0.0	1,183	0.5
その他	138,147	60.3	15,217	6.1	8.4	0.6	9,208	3.7

外務省領事移住部移住課調べ(昭60. 11)。

1) 昭和59年10月1日現在。3か月以上の滞在者で永住者でない邦人。2) 昭和59年10月1日現在。永住者とは当該在留国より永住権が認められている者で、日本国籍を有している者。3) 昭和55年10月1日現在の概数で、帰化一世および二, 三世は5年ごとに行われる調査に基づく。4) 昭和59年12月末現在。外務省旅費発給統計(永住目的の旅券発給数)および米国施政権下の日本旅券によらない沖縄(県)人の移住統計に基づく。

表49 主要な移住国別にみた移住者数の推移

年次	アメリカ合衆国	ブラジル	カナダ	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	ペルー	その他	総数
昭和20~29	16,692	7,424	135	1,975	18	617	48	1,380	28,289
30~34	32,907	30,000	764	1,455	5,186	2,085	549	2,097	75,043
35~39	21,917	18,414	715	992	2,184	2,537	744	875	48,378
40	3,319	753	183	214	130	—	29	239	4,867
41	3,521	914	597	219	70	1	11	257	5,590
42	3,418	833	737	139	85	—	41	220	5,473
43	2,964	450	599	74	32	8	2	268	4,397
44	3,005	438	578	95	22	10	—	242	4,390
45	3,322	377	657	82	27	3	16	365	4,849
46	5,931	951	845	196	59	9	108	462	8,561
47	4,508	1,039	747	282	116	32	172	430	7,326
48	3,918	791	820	168	102	23	236	347	6,405
49	2,930	819	643	283	154	36	113	553	5,531
50	2,485	1,279	434	611	131	59	124	1,035	6,158
51	2,684	1,126	347	333	160	77	68	876	5,671
52	2,328	682	268	314	202	49	47	479	4,369
53	1,931	584	190	382	119	66	21	355	3,648
54	1,739	500	323	445	117	63	30	347	3,564
55	1,603	562	364	593	74	55	32	370	3,653
56	1,672	417	315	544	76	66	36	391	3,517
57	1,533	329	200	266	72	45	44	333	2,822
58	1,398	289	131	166	64	58	19	224	2,349
59	1,475	261	120	264	34	53	17	221	2,445
計	127,200	69,232	10,712	10,092	9,234	5,952	2,507	12,366	247,295

外務省領事移住部移住課調べによる。外務省旅券課作成の旅券発給統計（永住目的の旅券発給数）と、昭和42年以前は米国施政権下の日本旅券によらない沖縄（県）人の移住統計に基づくもので、暦年統計である。なお、わが国の場合15歳未満の者は親の旅券に併記し、独自の旅券は発給しないことが多いが、本統計は併記者を含んでいる。また、45年以降は新旅券法の施行により永住のための再渡航者を含む。

表50 渡航費支給移住者数の推移と送出先別分布

年 度	移 住 者 送 出 数	年 度	移 住 者 送 出 数	昭和27年4月~60年3月総数		
				送 出 先	実 数	割 合(%)
昭和27	54	昭和44	597	総 数	66,552	100.0
28	1,498	45	629	ブラジル	53,090	79.8
29	3,741	46	674	パラグアイ	7,067	10.6
30	3,512	47	763	アルゼンチン	2,612	3.9
31	6,168	48	419	ボリビア	1,881	2.8
32	7,439	49	354	ドミニカ共和国	1,328	2.0
33	7,606	50	404	コロンビア	55	0.1
34	7,610	51	414	ウルグアイ	46	0.1
35	8,386	52	372	ベネズエラ	46	0.1
36	6,263	53	405	メキシコ	20	0.0
37	2,201	54	297	チリ	13	0.0
38	1,526	55	213	ペルー	5	0.0
39	1,105	56	191	コスタリカ	1	0.0
40	818	57	108	アメリカ合衆国 <sup>1)</sup>	388	0.6
41	1,059	58	137			
42	884	59	82			
43	623					

外務省領事移住部移住課調べによる渡航費貸与および支給移住者送出実績。年度とは各年4月~翌年3月末である。1) 難民救済法枠適用者。難民救済法は、アメリカ政府が1953年に作ったもので、第2次大戦中迫害またはその脅威・天災または軍事行動のため、生活の根拠をうばわれた人々を救済するために、アメリカに入国を認めた特別法である。



表51 日本人および外国人の別にみた出入国者数の推移

(単位 1,000人)

年次	入 国 者 数			出 国 者 数			差 増
	総 数	日 本 人	外 国 人 <sup>1)</sup>	総 数	日 本 人	外 国 人 <sup>1)</sup>	
昭和35	257	105	152	315	119	196	- 58
39	513	221	293	510	221	289	3
40	581	265	316	578	266	313	3
41	721	335	386	717	341	376	3
42	844	422	422	847	428	419	- 3
43	991	534	456	994	542	453	- 4
44	1,271	719	552	1,259	712	546	13
45	1,735	928	808	1,742	936	806	- 7
46	1,881	1,246	635	1,902	1,268	634	- 21
47	2,233	1,523	710	2,235	1,533	702	- 2
48	3,065	2,264	801	3,086	2,289	797	- 22
49	3,097	2,311	786	3,120	2,336	784	- 23
50	3,311	2,459	852	3,313	2,466	847	- 2
51	3,798	2,839	958	3,814	2,853	961	- 16
52	4,185	3,134	1,050	4,202	3,151	1,050	- 17
53	4,566	3,498	1,068	4,592	3,525	1,067	- 26
54	5,155	4,021	1,135	5,164	4,038	1,125	- 9
55	5,233	3,900	1,333	5,228	3,909	1,318	5
56	5,601	4,008	1,593	5,585	4,006	1,578	16
57	5,845	4,085	1,760	5,826	4,086	1,740	19
58	6,172	4,214	1,958	6,171	4,232	1,938	2
59	6,727	4,627	2,100	6,729	4,659	2,070	- 2

法務省『出入国管理統計年報』による。

1) 正規出入国者のほかに協定該当者(日米間の地位協定および日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定による駐留軍軍人、軍属およびその家族で、軍艦または軍用機によらないで、本邦へ出入国した者)を含む。

表52 国籍別にみた出入国者数の変動

国 籍	昭 和 55 年				昭 和 59 年			
	実 数		割 合(%)		実 数		割 合(%)	
	入 国 者	出 国 者	入 国 者	出 国 者	入 国 者	出 国 者	入 国 者	出 国 者
総 数	5,232,904	5,227,711	100.0	100.0	6,727,031	6,728,595	100.0	100.0
日 本 人	3,899,569	3,909,333	74.5	74.8	4,626,860	4,658,833	68.8	69.2
外 国 人	1,295,866	1,277,555	24.8	24.4	2,036,488	2,005,182	30.3	29.8
中 国	18,336	15,175	0.4	0.3	51,010	50,669	0.8	0.8
(台 湾)	235,549	231,371	4.5	4.4	351,294	340,906	5.2	5.1
ホ ン コ ン	32,239	31,749	0.6	0.6	52,750	53,224	0.8	0.8
イ ン ド	13,997	13,907	0.3	0.3	20,333	20,177	0.3	0.3
イ ン ド ネ シ ア	17,854	17,799	0.3	0.3	37,965	37,713	0.6	0.6
韓 国	212,973	211,973	4.1	4.1	292,483	289,116	4.3	4.3
フ ィ リ ピ ン	27,902	26,384	0.5	0.5	49,511	38,966	0.7	0.6
タ イ	17,884	17,500	0.3	0.3	45,978	43,623	0.7	0.6
フ ラ ン ス	25,855	25,613	0.5	0.5	34,624	34,467	0.5	0.5
西 ド イ ツ	39,535	39,363	0.8	0.8	48,781	48,634	0.7	0.7
東 ド イ ツ	997	1,003	0.0	0.0	992	993	0.0	0.0
イ タ リ ア	12,405	12,319	0.2	0.2	15,812	15,744	0.2	0.2
オ ー ス ト ラ リ ア	10,789	10,796	0.2	0.2	14,203	14,131	0.2	0.2
ス ウ ェ ー デ ン	10,613	10,573	0.2	0.2	13,390	13,373	0.2	0.2
ス イ ス	9,427	9,422	0.2	0.2	12,236	12,225	0.2	0.2
ソ ビ エ ト 連 邦	6,103	6,119	0.1	0.1	7,379	7,358	0.1	0.1
イ ギ リ ス	89,368	88,083	1.7	1.7	167,521	168,179	2.5	2.5
カ ナ ダ	40,821	40,595	0.8	0.8	53,095	53,161	0.8	0.8
ア メ リ カ 合 衆 国	277,980	275,260	5.3	5.3	437,745	434,390	6.5	6.5
オ ー ス ト ラ リ ア	23,985	23,758	0.5	0.5	47,803	47,345	0.7	0.7
協 定 該 当 者 <sup>1)</sup>	37,469	40,823	0.7	0.8	63,683	64,580	1.0	1.0

法務省『出入国管理統計年報』による。

1) 日米間の地位協定および日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定による駐留軍軍人、軍属およびその家族で、軍艦、軍用機によらないで、本邦へ入国および本邦から出国した者。

表53 国籍別にみた登録外国人数の変動

国 籍	昭和35年末		昭和50年末		昭和55年末		昭和59年末	
	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)
総 数	650,566	100.0	751,842	100.0	782,910	100.0	841,831	100.0
中 国	45,535	7.0	48,728	6.5	52,896	6.8	69,608	8.3
イ ン ド	783	0.1	1,668	0.2	1,944	0.2	2,540	0.3
インドネシア	420	0.1	1,119	0.1	1,448	0.2	1,803	0.2
韓 国・朝鮮	581,257	89.3	647,156	86.1	664,536	84.9	680,706	80.9
フィリピン	390	0.1	3,035	0.4	5,547	0.7	11,183	1.3
タイ	266	0.0	1,046	0.1	1,276	0.2	2,758	0.3
フランス	650	0.1	1,484	0.2	1,818	0.2	2,393	0.3
西ドイツ	1,279	0.2	2,740	0.4	2,716	0.3	3,158	0.4
東ドイツ					84	0.0	112	0.0
イタリア	421	0.1	677	0.1	744	0.1	842	0.1
スペイン	413	0.1	606	0.1	666	0.1	769	0.1
オランダ	396	0.1	555	0.1	425	0.1	601	0.1
スイス	372	0.1	842	0.1	742	0.1	829	0.1
ソビエト連邦	198	0.0	269	0.0	345	0.0	322	0.0
イギリス	1,758	0.3	4,051	0.5	4,956	0.6	6,878	0.8
カナダ	1,182	0.2	1,538	0.2	1,698	0.2	2,280	0.3
アメリカ合衆国	11,594	1.8	21,976	2.9	22,401	2.9	29,037	3.4
ブラジル	240	0.0	1,418	0.2	1,492	0.2	1,986	0.2
オーストラリア	311	0.0	930	0.1	1,117	0.1	1,784	0.2
無 国 籍	630	0.1	2,676	0.4	2,719	0.3	1,876	0.2
そ の 他	2,571	0.4	9,328	1.2	13,340	1.7	20,366	2.4

法務省『出入国管理統計年報』および同省入国管理局登録課『外国人登録国籍別人員調査月報』による。外国人登録法に基づき登録された各年末現在の数字である。

1) エストニア、リトニア籍を含む。

表54 国・地域別にみた海外在留日本人数の変動

国・地域	昭和35年		昭和50年		昭和55年		昭和59年	
	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)
総 数	241,102	100.0	396,617	100.0	445,372	100.0	478,168	100.0
中 国 <sup>1)</sup>	...	...	5,037	1.3	6,199	1.4	7,104	1.5
ホンコン	462	0.2	3,964	1.0	7,795	1.8	8,766	1.8
インドネシア	503	0.2	4,255	1.1	6,026	1.4	6,700	1.4
韓 国	...	...	2,725	0.7	3,040	0.7	2,863	0.6
フィリピン	379	0.2	3,101	0.8	3,958	0.9	3,051	0.6
シンガポール	279	0.1	4,694	1.2	8,140	1.8	8,104	1.7
タイ	673	0.3	5,952	1.5	6,424	1.4	9,164	1.9
フランス	514	0.2	4,646	1.2	6,842	1.5	10,256	2.1
西ドイツ	847	0.4	12,060	3.0	13,991	3.1	15,622	3.3
イタリア	202	0.1	2,337	0.6	3,013	0.7	3,229	0.7
イギリス	792	0.3	5,559	1.4	10,943	2.5	17,630	3.7
カナダ	3,963	1.6	8,759	2.2	12,280	2.8	16,181	3.4
アメリカ合衆国	38,114	15.8	109,645	27.6	121,180	27.2	138,184	28.9
メキシコ	3,501	1.5	2,462	0.6	3,157	0.7	2,779	0.6
アルゼンチン	7,839	3.3	15,327	3.9	15,887	3.6	15,780	3.3
ボリビア	3,109	1.3	3,327	0.8	3,709	0.8	3,199	0.7
ブラジル	156,848	65.1	146,488	36.9	141,580	31.8	128,494	26.9
パラグアイ	4,669	1.9	4,964	1.3	5,187	1.2	4,959	1.0
ペルー	10,964	4.5	11,774	3.0	8,460	1.9	7,439	1.6
オーストラリア	611	0.3	3,393	0.9	5,007	1.1	7,196	1.5

外務大臣官房領事移住部『在外邦人数等調査報告』および『海外在留邦人数調査統計』による。10月1日現在の調査結果。日本国籍を有する長期滞在者（3か月以上）および永住者（二重国籍を含む）。

1) 台湾を除く。その数は昭和55年で3,394人、59年で5,141人。

表55 男女、年齢（5歳階級）別にみた人口および年齢構造係数の年次変化

年齢階級	人 口						昭和50～55年の増加	
	昭和50年			昭和55年			実数	率(%)
	総数	男	女	総数	男	女		
総数	111,939,643	55,090,673	56,848,970	117,060,396	57,593,769	59,466,627	5,120,753	4.6
0～4	10,000,607	5,127,359	4,873,248	8,515,416	4,366,100	4,149,316	-1,485,191	-14.9
5～9	8,938,021	4,583,653	4,354,368	10,032,034	5,142,487	4,889,547	1,094,013	12.2
10～14	8,282,064	4,237,041	4,045,023	8,959,628	4,594,813	4,364,815	677,564	8.2
15～19	7,948,546	4,040,280	3,908,266	8,272,245	4,223,685	4,048,560	323,699	4.1
20～24	9,071,509	4,563,526	4,507,983	7,841,026	3,960,116	3,880,910	-1,230,483	-13.6
25～29	10,794,583	5,426,289	5,368,294	9,041,355	4,545,468	4,495,887	-1,753,228	-16.2
30～34	9,245,791	4,624,591	4,621,200	10,771,731	5,421,545	5,350,186	1,525,940	16.5
35～39	8,422,320	4,212,566	4,209,754	9,201,581	4,594,716	4,606,865	779,261	9.3
40～44	8,224,070	4,125,063	4,099,007	8,337,500	4,158,990	4,178,510	113,430	1.4
45～49	7,361,410	3,656,501	3,704,909	8,090,387	4,033,146	4,057,241	728,977	9.9
50～54	5,781,705	2,616,771	3,164,934	7,200,022	3,546,963	3,653,059	1,418,317	24.5
55～59	4,673,649	2,072,676	2,600,973	5,613,505	2,511,379	3,102,126	939,856	20.1
60～64	4,283,734	1,935,823	2,347,911	4,465,247	1,945,930	2,519,317	181,513	4.2
65～69	3,449,037	1,571,228	1,877,809	3,964,681	1,743,659	2,221,022	515,644	15.0
70～74	2,575,882	1,147,922	1,427,960	3,022,977	1,317,661	1,705,316	447,095	17.4
75～79	1,641,007	688,306	952,701	2,036,685	848,714	1,187,971	395,678	24.1
80～84	808,703	307,703	500,940	1,093,643	417,715	675,928	284,940	35.2
85～89	309,065	100,926	208,139	409,990	138,732	271,258	100,925	32.7
90～94	72,204	19,669	52,535	105,047	29,924	75,123	32,843	45.5
95～99	8,957	1,946	7,011	13,344	3,127	10,217	4,387	49.0
100歳以上	574	106	468	989	176	813	415	72.3
年齢不詳	46,205	30,668	15,537	71,363	48,723	22,640	25,158	54.4

年齢階級	年齢構造係数(%)						性比 (女100.0につき男)	
	昭和50年			昭和55年			昭和50年	昭和55年
	総数	男	女	総数	男	女		
総数	100.00	49.21	50.79	100.00	49.20	50.80	96.9	96.9
0～4	8.93	4.58	4.35	7.27	3.73	3.54	105.2	105.2
5～9	7.98	4.09	3.89	8.57	4.39	4.18	105.3	105.2
10～14	7.40	3.79	3.61	7.65	3.93	3.73	104.7	105.3
15～19	7.10	3.61	3.49	7.07	3.61	3.46	103.4	104.3
20～24	8.10	4.08	4.03	6.70	3.38	3.32	101.2	102.0
25～29	9.64	4.85	4.80	7.72	3.88	3.84	101.1	101.1
30～34	8.26	4.13	4.13	9.20	4.63	4.57	100.1	101.3
35～39	7.52	3.76	3.76	7.86	3.93	3.94	100.1	99.7
40～44	7.35	3.69	3.66	7.12	3.55	3.57	100.6	99.5
45～49	6.58	3.27	3.31	6.91	3.45	3.47	98.7	99.4
50～54	5.17	2.34	2.83	6.15	3.03	3.12	82.7	97.1
55～59	4.18	1.85	2.32	4.80	2.15	2.65	79.7	81.0
60～64	3.83	1.73	2.10	3.81	1.66	2.15	82.4	77.2
65～69	3.08	1.40	1.68	3.39	1.49	1.90	83.7	78.5
70～74	2.30	1.03	1.28	2.58	1.13	1.46	80.4	77.3
75～79	1.47	0.61	0.85	1.74	0.73	1.01	72.2	71.4
80～84	0.72	0.27	0.45	0.93	0.36	0.58	61.4	61.8
85～89	0.28	0.09	0.19	0.35	0.12	0.23	48.5	51.1
90～94	0.06	0.02	0.05	0.09	0.03	0.06	37.4	39.8
95～99	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	27.8	30.6
100歳以上	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.6	21.6
年齢不詳	0.04	0.03	0.01	0.06	0.04	0.02	197.4	215.2

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在の人口。

表55 男女、年齢（5歳階級）別にみた人口の年次変化（つづき）

年齢階級	昭和59年						性比 (女100.0 につき男)
	人口(1,000人)			年齢構造係数(%)			
	総数	男	女	総数	男	女	
	総人口						
総数	120,235	59,155	61,080	100.00	49.20	50.80	96.8
0～4	7,631	3,917	3,714	6.35	3.26	3.09	105.5
5～9	8,844	4,534	4,310	7.36	3.77	3.58	105.2
10～14	10,029	5,144	4,886	8.34	4.28	4.06	105.3
15～19	8,830	4,525	4,305	7.34	3.76	3.58	105.1
20～24	8,031	4,088	3,943	6.68	3.40	3.28	103.7
25～29	7,908	3,987	3,921	6.58	3.32	3.26	101.7
30～34	9,545	4,795	4,750	7.94	3.99	3.95	100.9
35～39	10,120	5,085	5,034	8.42	4.23	4.19	101.0
40～44	9,328	4,651	4,677	7.76	3.87	3.89	99.4
45～49	8,198	4,079	4,119	6.82	3.39	3.43	99.0
50～54	7,804	3,868	3,936	6.49	3.22	3.27	98.3
55～59	6,832	3,311	3,521	5.68	2.75	2.93	94.0
60～64	5,180	2,234	2,946	4.31	1.86	2.45	75.8
65～69	4,033	1,736	2,297	3.35	1.44	1.91	75.6
70～74	3,485	1,479	2,006	2.90	1.23	1.67	73.7
75～79	2,351	967	1,384	1.96	0.80	1.15	69.9
80～84	1,370	521	849	1.14	0.43	0.71	61.4
85～89	551	187	365	0.46	0.16	0.30	51.2
90歳以上	166	47	119	0.14	0.03	0.10	39.5
	日本人人口						
総数	119,523	58,793	60,730	100.00	49.19	50.81	96.8
0～4	7,573	3,887	3,686	6.34	3.25	3.08	105.5
5～9	8,786	4,504	4,282	7.35	3.77	3.58	105.2
10～14	9,965	5,111	4,854	8.34	4.28	4.06	105.3
15～19	8,770	4,494	4,276	7.34	3.76	3.58	105.1
20～24	7,968	4,058	3,911	6.67	3.40	3.27	103.8
25～29	7,841	3,954	3,887	6.56	3.31	3.25	101.7
30～34	9,477	4,760	4,716	7.93	3.98	3.95	100.9
35～39	10,059	5,054	5,006	8.42	4.23	4.19	101.0
40～44	9,280	4,627	4,653	7.76	3.87	3.89	99.4
45～49	8,160	4,060	4,100	6.83	3.40	3.43	99.0
50～54	7,775	3,854	3,921	6.51	3.22	3.28	98.3
55～59	6,805	3,297	3,507	5.69	2.76	2.93	94.0
60～64	5,152	2,219	2,933	4.31	1.86	2.45	75.7
65～69	4,015	1,726	2,289	3.36	1.44	1.92	75.4
70～74	3,472	1,472	1,999	2.90	1.23	1.67	73.6
75～79	2,343	963	1,380	1.96	0.81	1.15	69.8
80～84	1,367	519	847	1.14	0.43	0.71	61.3
85～89	550	186	364	0.46	0.16	0.30	51.1
90歳以上	166	47	118	0.14	0.04	0.10	39.8

総務庁統計局『昭和59年10月1日現在推計人口』（人口推計資料No.57, 昭60.6）による。

表56 年齢（3区分）別にみた人口および増加率の推移

年次	人口(1,000人)				年平均増加率(%)			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
明治 3	36,288	10,214	23,645	2,429	0.63	1.25	0.39	-0.07
33	43,785	14,837	26,570	2,378	1.19	1.55	0.99	1.03
大正 9	55,963	20,416	32,605	2,941	1.31	1.44	1.31	0.54
14	59,737	21,924	34,792	3,021	1.53	1.47	1.68	0.28
昭和 5	64,450	23,579	37,807	3,064	1.45	1.61	1.38	1.03
10	69,254	25,545	40,484	3,225	1.08	0.64	1.33	1.38
15 <sup>1)2)</sup>	73,075	26,369	43,252	3,454	4) 1.07	4) 0.77	4) 1.23	4) 1.33
22 <sup>3)</sup>	78,101	27,573	46,783	3,745	5) 2.13	5) 2.19	5) 2.01	5) 3.14
25 <sup>1)</sup>	84,115	29,786	50,168	4,155	1.38	0.23	1.92	2.87
30 <sup>1)</sup>	90,077	30,123	55,167	4,786	0.92	-1.15	1.85	2.44
35	94,302	28,434	60,469	5,398	1.02	-2.13	2.21	2.93
40	99,209	25,529	67,444	6,236	1.08	-0.30	1.35	3.46
45	104,665	25,153	72,119	7,393	1.35	1.59	1.00	3.70
50 <sup>1)</sup>	111,940	27,221	75,807	8,865	0.90	0.21	0.79	3.73
55 <sup>1)</sup>	117,060	27,507	78,835	10,647	0.70	0.35	0.55	3.40
56	117,884	27,603	79,272	11,009	0.69	-1.26	1.03	3.10
57	118,693	27,254	80,089	11,350	0.67	-1.27	1.02	2.84
58	119,483	26,907	80,904	11,672	0.63	-1.50	1.08	2.43
59	120,235	26,504	81,776	11,956	0.60	-1.79	0.90	3.80
60 <sup>4)</sup>	120,960	26,030	82,510	12,410				

明治期の人口は、厚生省人口問題研究所の推計（岡崎陽一担当「研究資料」第145号）で1月1日現在、大正9年～昭和55年は、総務庁統計局『国勢調査報告』による10月1日現在人口。昭和56年以降は推計人口（同局「人口推計資料」による）で10月1日現在。とくに注記のないかぎり沖縄県の人口も含む。年平均増加率は、 $(\sqrt[N]{P_1/P_0} - 1) \times 100$  によって算出。ただし、 $P_0$ 、 $P_1$  はそれぞれ期初、期末人口、 $N$  は期間。

- 1) 総数には年齢不詳を含む。2) 旧外地人以外の外国人を除く。3) 沖縄県を含まない。4) 概算値。  
5) 昭和15年人口から沖縄県を除いて計算。6) 昭和25年人口に沖縄県を含めないで計算。

表57 人口の年齢構造に関する主要指標の推移

年次	年齢構造係数(%)			平均年齢(歳)	中位数年齢(歳)	従属人口指数(%)			老年化指数(%)
	0～14歳	15～64歳	65歳以上			総数	年少人口	老年人口	
明治 3	28.15	65.16	6.69	30.7	27.6	53.5	43.2	10.3	23.8
33	33.89	60.68	5.43	28.0	24.1	64.8	55.8	8.9	16.0
大正 9	36.48	58.26	5.26	26.7	22.2	71.6	62.6	9.0	14.4
14	36.70	58.24	5.06	26.5	22.0	71.7	63.0	8.7	13.8
昭和 5	36.59	58.66	4.75	26.3	21.8	70.5	62.4	8.1	13.0
10	36.89	58.46	4.66	26.3	22.0	71.1	63.1	8.0	12.6
15	36.08	59.19	4.73	26.6	22.1	69.0	61.0	8.0	13.1
22	35.30	59.90	4.79	26.7	22.3	66.9	58.9	8.0	13.6
25	35.41	59.64	4.94	26.6	22.2	67.7	59.4	8.3	13.9
30	33.44	61.24	5.29	27.6	23.6	63.3	54.6	8.7	15.9
35	30.15	64.12	5.72	29.0	25.6	55.9	47.0	8.9	19.0
40	25.73	67.98	6.29	30.3	27.4	47.1	37.9	9.2	24.4
45	24.03	68.90	7.06	31.5	29.0	45.1	34.9	10.3	29.4
50	24.32	67.72	7.92	32.5	30.6	47.6	35.9	11.7	32.6
55	23.50	67.35	9.10	34.0	32.7	48.4	34.9	13.5	38.7
56	23.42	67.25	9.34	34.3	33.0	48.7	34.8	13.9	39.9
57	22.96	67.48	9.56	34.6	33.5	48.2	34.0	14.2	41.6
58	22.52	67.71	9.77	35.0	34.0	47.7	33.3	14.4	43.4
59	22.04	68.01	9.94	35.3	34.6	47.0	32.4	14.6	45.1
60	21.52	68.21	10.26	35.7	35.2	46.6	31.5	15.0	47.7

上表の人口に対応する。その注記参照。年齢構造係数は年齢別割合のことで、各年齢階級人口の総数100.0について。年齢構造指数は、年少(従属)人口指数は0～14歳人口の15～64歳人口に対する比率、老年(従属)人口指数は65歳以上人口の同じく15～64歳人口に対する比率、従属人口指数(総数)はそれらの和である。また、老年化指数は65歳以上人口の0～14歳人口に対する比率で、各指数とも、それぞれ分母人口100.0について。なお、中位数年齢とは人口を年齢順に並べて数え、ちょうどまん中あたりの人の年齢である。

表58 主要国の年齢（3区分）別にみた人口および年齢構造係数：最新材料

国・地域	(年)	人 口 (1,000人)			年齢構造係数(%)			
		総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
スウェーデン	(1981)	8,320	1,601	5,350	1,370	19.24	64.30	16.46
イングランド=ウェールズ	(1982)	49,607	9,889	32,170	7,549	19.93	64.85	15.22
オーストリア	(1981)	7,508	1,505	4,861	1,142	20.05	64.74	15.21
ノルウェー	(1982)	4,115	878	2,614	623	21.33	63.54	15.14
西ドイツ <sup>1)</sup>	(1982)	61,638	10,391	41,973	9,273	16.86	68.10	15.04
デンマーク <sup>2)</sup>	(1982)	5,118	1,006	3,360	751	19.66	65.65	14.68
ベルギー <sup>3)</sup>	(1981)	9,849	1,972	6,461	1,415	20.03	65.60	14.37
東ドイツ <sup>4)</sup>	(1983)	16,699	3,229	11,106	2,363	19.34	66.51	14.15
スイス	(1982)	6,384	1,210	4,289	885	18.96	67.18	13.87
イタリア	(1981)	57,196	12,240	37,202	7,754	21.40	65.04	13.56
フランス*	(1983)	54,346	11,851	35,313	7,182	21.81	64.98	13.21
ギリシア	(1981)	9,729	2,179	6,267	1,284	22.39	64.41	13.20
ハンガリー	(1982)	10,706	2,356	6,983	1,366	22.01	65.23	12.76
チェコスロバキア	(1981)	15,320	3,727	9,732	1,861	24.33	63.52	12.15
フィンランド	(1981)	4,800	961	3,257	581	20.02	67.86	12.11
ブルガリア	(1981)	8,891	1,966	5,871	1,054	22.11	66.04	11.85
オランダ	(1981)	14,247	3,104	9,488	1,655	21.79	66.60	11.62
アメリカ合衆国*	(1982)	231,534	51,351	153,359	26,824	22.18	66.24	11.59
スペイン <sup>3)</sup>	(1981)	37,682	9,662	23,758	4,260	25.64	63.05	11.31
ポルトガル	(1980)	9,884	2,561	6,287	1,036	25.91	63.61	10.48
ウルグアイ	(1980)	2,908	787	1,818	303	27.05	62.52	10.42
カナダ*	(1983)	24,890	5,457	16,937	2,497	21.92	68.05	10.03
ルーマニア	(1982)	22,478	6,069	14,171	2,237	27.00	63.04	9.95
日本	(1984)	120,235	26,504	81,776	11,956	22.04	68.01	9.94
ニュージーランド*	(1981)	3,157	843	2,002	312	26.71	63.40	9.89
ポーランド	(1982)	36,227	8,958	23,730	3,539	24.73	65.50	9.77
オーストラリア	(1981)	14,927	3,726	9,745	1,455	24.96	65.29	9.75
ユーゴスラビア	(1980)	22,304	5,437	14,771	2,096	24.38	66.23	9.40
イスラエル <sup>5)</sup>	(1982)	4,027	1,342	2,344	341	33.32	58.22	8.47
アルゼンチン <sup>3)</sup>	(1980)	27,947	8,481	17,171	2,296	30.35	61.44	8.21
キューバ	(1982)	9,842	2,819	6,241	782	28.64	63.41	7.94
シンガポール*	(1983)	11,682	3,696	7,332	655	31.63	62.76	5.60
中国 <sup>3)6)</sup>	(1982)	1,003,790	337,250	617,264	49,276	25.14	69.87	4.99
チニジア	(1981)	6,566	2,742	3,537	286	41.77	53.88	4.35
スリランカ <sup>3)</sup>	(1981)	14,848	5,237	8,967	644	35.27	60.39	4.34
パキスタン <sup>3)7)</sup>	(1981)	81,607	36,850	41,376	3,382	45.15	50.70	4.14
ブラジル <sup>8)</sup>	(1982)	126,807	47,829	73,850	5,128	37.72	58.24	4.04
韓国*	(1983)	39,951	12,888	25,480	1,583	32.26	63.78	3.96
インド <sup>9)</sup>	(1981)	676,218	264,678	388,040	23,500	39.14	57.38	3.48
フィリピン <sup>3)</sup>	(1980)	48,098	20,705	25,779	1,614	43.05	53.60	3.36
インドネシア <sup>3)</sup>	(1980)	146,776	60,006	81,827	4,913	40.88	55.75	3.35
タイ*	(1983)	49,459	18,733	29,127	1,599	37.88	58.89	3.23
バングラデシュ	(1981)	90,457	41,446	46,337	2,674	45.82	51.23	2.96
ケニア*	(1983)	18,775	9,654	8,721	399	51.42	46.45	2.13

United Nations, *Demographic Yearbook*, 1983年版による(ただし日本は、総務庁統計局「人口推計資料」による)年齢5歳階級別人口に基づいて、各指標(次表も含めて)とも人口問題研究所が算定したもの。とくに注記のないかぎり各国最近の推計人口である。総数に年齢不詳を含む。配列は65歳以上人口係数(総人口に占める割合)の高位順。\*暫定値。1)西ベルリンを含む。2)フェロー諸島およびグリーンランドを除く。3)人口調査の結果。4)東ベルリンを含む。5)東エルサレムとイスラエル軍が占領している地域に居住するイスラエル人を含む。6)10%抽出集計結果。29の省・市・自治区の民間人のみを対象としている。7)最終帰属未決定のジャミュとカシミールおよびジュナガード、マナバダール、ギルギットおよびバルチスタンを除く。8)密林のインディアン人口を除く。9)最終帰属未決定のジャムおよびカシミールのインド側保有部分を含む。

表59 主要国の人口年齢構造に関する主要指標：最新材料

国・地域	(年)	平均年齢 (歳)	中位数年齢 (歳)	従属人口指数(%)			老年化指数 (%)
				総数	年少人口	老年人口	
スウェーデン	(1981)	38.61	36.52	55.53	29.92	25.61	85.58
イングランド=ウェールズ	(1982)	37.51	35.05	54.20	30.74	23.47	76.34
オーストリア	(1981)	37.19	34.67	54.46	30.97	23.49	75.86
ノルウェー	(1982)	36.94	33.87	57.39	33.57	23.83	70.98
西ドイツ <sup>1)</sup>	(1982)	38.42	36.96	46.85	24.76	22.09	89.24
デンマーク <sup>2)</sup>	(1982)	37.30	35.10	52.32	29.95	22.37	74.68
ベルギー <sup>3)</sup>	(1981)	37.01	34.25	52.44	30.53	21.91	71.75
東ドイツ <sup>4)</sup>	(1983)	37.13	34.66	50.35	29.07	21.28	73.18
イスラエル	(1982)	37.20	35.14	48.86	28.22	20.64	73.16
イタリア	(1981)	36.46	34.34	53.75	32.90	20.84	63.35
フランス <sup>*</sup>	(1983)	36.06	33.07	53.90	33.56	20.34	60.60
ギリシャ	(1981)	36.19	34.43	55.25	34.76	20.49	58.94
ハンガリー	(1982)	36.42	34.46	53.31	33.74	19.57	57.99
チェコスロバキア	(1981)	34.52	31.86	57.42	38.30	19.13	49.95
フィンランド	(1981)	35.76	33.16	47.35	29.50	17.85	60.51
ブルガリア	(1981)	35.96	34.40	51.43	33.49	17.95	53.59
オランダ	(1981)	34.75	31.57	50.16	32.71	17.44	53.32
アメリカ合衆国 <sup>*</sup>	(1982)	34.34	30.60	50.98	33.48	17.49	52.24
スペイン <sup>3)</sup>	(1981)	34.01	30.86	58.60	40.67	17.93	44.09
ポルトガル	(1980)	33.05	29.18	57.21	40.73	16.47	40.44
ウルグアイ	(1980)	33.12	29.94	59.94	43.26	16.67	38.54
カナダ <sup>*</sup>	(1983)	33.69	30.41	46.96	32.22	14.74	45.75
一マニア	(1982)	33.53	31.06	58.62	42.83	15.79	36.86
日本	(1984)	35.33	34.63	47.03	32.41	14.62	45.11
ニュージーランド <sup>*</sup>	(1981)	32.18	28.22	57.72	42.12	15.60	37.03
ポーランド	(1982)	33.14	30.06	52.66	37.75	14.91	39.51
オーストラリア	(1981)	32.89	29.61	53.17	38.23	14.93	39.06
ユーゴスラビア	(1980)	32.99	30.10	51.00	36.81	14.19	38.55
イスラエル <sup>5)</sup>	(1982)	29.15	24.85	71.79	57.23	14.56	25.43
アルゼンチン <sup>3)</sup>	(1980)	30.63	27.20	62.76	49.39	13.37	27.07
キューバ	(1982)	30.10	25.07	57.70	45.17	12.52	27.73
チリ <sup>*</sup>	(1983)	27.79	23.99	59.33	50.40	8.93	17.72
シンガポール <sup>*</sup>	(1983)	28.98	26.15	43.13	35.98	7.14	19.86
中国 <sup>3)6)</sup>	(1982)	27.11	22.65	62.62	54.64	7.98	14.61
チュニジア	(1981)	24.14	18.57	85.61	77.53	8.08	10.42
スリランカ <sup>3)</sup>	(1981)	25.83	21.92	65.58	58.40	7.18	12.30
パキスタン <sup>3)7)</sup>	(1981)	23.47	17.56	97.23	89.06	8.17	9.18
ブラジル <sup>8)</sup>	(1982)	24.87	20.48	71.71	64.77	6.94	10.72
韓国 <sup>*</sup>	(1983)	26.68	23.05	56.79	50.58	6.21	12.28
インド <sup>9)</sup>	(1981)	24.51	19.97	74.27	68.21	6.06	8.88
フィリピン <sup>3)</sup>	(1980)	22.73	18.12	86.58	80.32	6.26	7.80
インドネシア <sup>3)</sup>	(1980)	24.11	19.33	79.34	73.33	6.00	8.19
タイ <sup>*</sup>	(1983)	24.24	20.11	69.80	64.31	5.49	8.54
バンラデシュ	(1981)	22.25	16.98	95.22	89.44	5.77	6.45
ケニア <sup>*</sup>	(1983)	19.68	14.48	115.28	110.70	4.58	4.13

表58の人口に対応する指標である。その注記参照。なお、各指標についての説明は表57の注記を参照。

\*暫定値。1) 西ベルリンを含む。2) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。3) 人口調査の結果。

4) 東ベルリンを含む。5) 東エルサレムとイスラエル軍が占領している地域に居住するイスラエル人を含む。

6) 10%抽出集計で、29の省・市・自治区の民間人のみを対象とする。7) ジャミュとカシミール、およびジュナガード、マナバダール、ギルギットおよびバルチスタンを除く。8) 密林のインディアン人口を除く。9) ジャミュとカシミールのインド側保有部分を含む。

表60 年齢（3区分）別にみた人口および増加率の将来予測

年次	人口(1,000人)				年平均増加率(%)			
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上
昭和 55 <sup>1)</sup>	116,916	27,547	78,791	10,578	0.57	-1.35	0.89	2.89
60	120,301	25,737	82,366	12,198	0.42	-2.64	0.87	3.22
65	122,834	22,512	86,032	14,290	0.41	-1.00	0.20	3.63
70	125,383	21,405	86,897	17,082	0.43	1.06	-0.30	3.15
75	128,119	22,561	85,615	19,943	0.29	1.19	-0.42	2.19
80	130,008	23,941	83,839	22,228	0.04	-0.07	-0.46	1.95
85	130,276	23,858	81,940	24,478	-0.15	-1.23	-0.58	2.21
90	129,332	22,427	79,593	27,311	-0.19	-0.92	-0.21	0.46
95	128,115	21,419	78,747	27,950	-0.15	0.47	-0.15	-0.63
100	127,184	21,929	78,176	27,079	-0.14	1.12	-0.36	-0.54
105	126,297	23,182	76,763	26,351	-0.22	0.45	-0.45	-0.12
110	124,945	23,711	75,036	26,198	-0.27	-0.58	-0.52	0.69
115	123,274	23,037	73,119	27,118	-0.24	-0.87	-0.08	-0.16
120	121,800	22,052	72,845	26,902	-0.17	-0.13	0.15	-1.06
125	120,790	21,909	73,375	25,506	-0.10	0.68	0.08	-1.33
130	120,172	22,662	73,653	23,856	-0.09	0.62	-0.09	-0.79
135	119,611	23,368	73,318	22,924	-0.10	-0.09	-0.18	0.17
140	119,029	23,264	72,651	23,114	-0.08	-0.60	-0.04	0.33
145	118,568	22,571	72,497	23,500	-0.03	-0.38	0.14	-0.21
150	118,395	22,141	73,000	23,253	0.02	0.26	0.14	-0.60
155	118,495	22,427	73,508	22,560				

厚生省人口問題研究所の昭和56年11月推計による各年10月1日現在の推計人口(中位推計値)。前掲の表7参照。年平均増加率の計算については表56参照。

1) 国勢調査の1%抽出集計結果による人口で、この推計の基礎人口(年齢不詳を案分している)。

表61 将来推計人口の年齢構造に関する主要指標

年次	年齢構造係数(%)			平均年齢(歳)	中位数年齢(歳)	従属人口指数(%)			老年化指数(%)
	0~14歳	15~64歳	65歳以上			総数	年少人口	老年人口	
昭和 55	23.56	67.39	9.05	33.90	32.49	48.39	34.96	13.43	38.40
60	21.39	68.47	10.14	35.67	35.20	46.06	31.25	14.81	47.39
65	18.33	70.04	11.63	37.37	37.42	42.78	26.17	16.61	63.48
70	17.07	69.31	13.62	38.71	38.73	44.29	24.63	19.66	79.80
75	17.61	66.82	15.57	39.61	39.30	49.65	26.35	23.29	88.40
80	18.42	64.49	17.10	40.38	39.96	55.07	28.56	26.51	92.84
85	18.31	62.90	18.79	41.19	40.89	58.99	29.12	29.87	102.60
90	17.34	61.54	21.12	41.88	42.21	62.49	28.18	34.31	121.78
95	16.72	61.47	21.82	42.24	43.13	62.69	27.20	35.49	130.49
100	17.24	61.47	21.29	42.18	42.86	62.69	28.05	34.64	123.48
105	18.36	60.78	20.86	41.89	41.58	64.53	30.20	34.33	113.67
110	18.98	60.06	20.97	41.65	40.77	66.51	31.60	34.91	110.49
115	18.69	59.31	22.00	41.56	40.88	68.59	31.51	37.09	117.71
120	18.11	59.81	22.09	41.51	41.13	67.20	30.27	36.93	121.99
125	18.14	60.75	21.12	41.29	40.75	64.62	29.86	34.76	116.42
130	18.86	61.29	19.85	40.89	39.76	63.16	30.77	32.39	105.27
135	19.54	61.30	19.17	40.52	39.15	63.14	31.87	31.27	98.10
140	19.54	61.04	19.42	40.37	39.27	63.84	32.02	31.82	99.36
145	19.04	61.14	19.82	40.41	39.66	63.55	31.13	32.41	104.12
150	18.70	61.66	19.64	40.45	39.77	62.18	30.33	31.85	105.02
155	18.93	62.03	19.04	40.36	39.40	61.20	30.51	30.69	100.59

上表の人口に対応する。その注記参照。各指標の説明については表57の注記参照。



表62 主要国の年齢（3区分）別人口構造の将来予測

国	2000年				2025年			
	総人口 (1,000人)	年齢構造係数(%)			総人口 (1,000人)	年齢構造係数(%)		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上		0～14歳	15～64歳	65歳以上
エジプト	65,200	35.9	59.4	4.7	97,391	26.9	66.1	7.0
エチオピア	58,407	46.4	50.9	2.6	111,983	38.1	58.6	3.3
ナイジェリア	161,930	48.9	48.6	2.4	338,105	38.8	58.3	2.9
南アフリカ	46,918	40.0	55.9	4.1	76,332	31.0	63.5	5.5
カナダ	29,435	20.5	67.8	11.8	34,447	19.6	62.3	18.1
キューバ	11,718	24.1	66.9	8.9	13,575	20.2	66.5	13.3
メキシコ	109,180	34.1	61.7	4.2	154,085	24.8	67.5	7.7
アメリカ合衆国	268,079	21.7	66.6	11.7	312,686	20.2	62.6	17.2
アルゼンチン	37,197	28.5	61.9	9.6	47,421	23.9	65.1	11.0
ブラジル	179,487	31.8	62.8	5.4	245,809	24.6	66.1	9.3
チリ	14,934	28.0	65.2	6.7	18,758	23.1	65.9	11.0
バングラデシュ	145,800	40.4	56.7	2.8	219,383	28.4	67.3	4.3
ビルマ	55,186	37.1	58.7	4.2	82,153	27.0	67.2	5.8
中国	1,255,656	24.0	69.2	6.8	1,460,086	18.3	69.0	12.7
インド	961,531	30.7	64.5	4.8	1,188,504	21.7	69.9	8.5
インドネシア	204,486	29.8	65.6	4.6	255,334	21.3	70.5	8.2
イラン	65,549	36.9	59.5	3.6	96,166	24.8	68.4	6.8
イスラエル	5,376	27.2	64.3	8.4	7,017	23.0	65.0	12.1
日本	127,683	17.5	67.6	14.9	127,600	17.4	62.1	20.6
韓国	49,485	25.3	68.2	6.5	58,556	19.8	67.0	13.2
パキスタン	142,554	39.2	57.9	3.0	212,811	27.0	68.0	5.0
フィリピン	74,810	32.9	63.0	4.1	102,318	23.0	68.3	8.8
シンガポール	2,976	21.4	71.6	7.0	3,207	16.5	65.2	18.3
タイ	66,115	29.4	66.1	4.5	86,282	21.7	69.2	9.1
トルコ	68,466	33.8	60.9	5.4	99,313	26.4	65.6	8.0
ベトナム	78,129	32.3	63.0	4.7	105,103	22.9	69.5	7.6
オーストラリア	7,498	17.8	67.0	15.2	7,260	17.0	63.2	19.8
ベルギー	9,925	17.1	67.0	15.9	9,825	17.7	62.0	20.3
ブルガリア	9,713	20.6	63.9	15.5	10,249	19.9	63.1	17.0
チェコスロバキア	16,776	21.7	66.0	12.3	18,762	20.7	63.4	15.9
デンマーク	5,126	16.0	68.6	15.4	4,756	14.2	63.5	22.3
フィンランド	4,970	16.9	68.9	14.1	4,786	15.8	62.0	22.3
フランス	57,083	19.0	66.2	14.8	58,530	18.2	62.5	19.4
東ドイツ <sup>1)</sup>	16,553	17.4	68.0	14.6	16,130	17.7	62.6	19.6
西ドイツ <sup>2)</sup>	59,755	15.9	67.6	16.5	53,802	16.0	61.8	22.1
ギリシア	10,734	21.9	62.3	15.8	11,755	20.8	62.8	16.4
ハンガリー	10,908	18.7	66.6	14.7	10,946	18.1	63.0	18.9
イタリア	58,155	18.0	65.8	16.2	56,948	17.2	63.2	19.6
オランダ	15,011	16.3	69.6	14.1	14,609	15.6	61.8	22.7
ノルウェー	4,227	17.2	67.5	15.3	4,272	16.9	62.8	20.3
ポーランド	41,391	21.6	66.1	12.3	45,869	19.7	62.8	17.5
ポルトガル	10,995	22.2	65.9	11.9	11,916	18.7	65.7	15.6
ルーマニア	25,629	23.1	64.1	12.8	29,202	21.4	63.7	14.9
スペイン	43,442	22.7	63.9	13.5	49,235	20.6	64.4	15.0
スウェーデン	8,065	15.5	67.3	17.2	7,537	15.6	62.1	22.3
イギリス	56,235	19.1	66.0	14.9	56,390	18.4	63.3	18.3
ユーゴスラビア	25,200	20.3	66.9	12.9	26,626	18.6	63.7	17.7
オーストラリア	18,668	22.0	67.0	11.0	23,508	21.0	64.1	14.9
ニュージーランド	3,693	22.3	67.3	10.5	4,201	20.1	64.1	15.9
ソビエト連邦	314,818	23.6	64.5	11.9	367,127	22.0	63.1	14.9

前掲の表5等と同じくUN, *World Population Prospects as Assessed in 1982(1985)*による国連の最新推計結果（日本も含めて）で、年央推計人口である。配列は国連の定める地域順。なお、日本の将来推計人口は別掲表（表60, 61）参照。1) 東ベルリンを含む。2) 西ベルリンを含む。

表63 世界、主要大地域別にみた年齢（3区分）別人口の推移予測

年齢階級	年央推計人口（100万人）				年齢構造係数（%）			
	1950年	1980年	2000年	2025年	1950年	1980年	2000年	2025年
世界全域	2,504	4,453	6,127	8,177	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	880	1,587	1,862	2,020	35.1	35.6	30.4	24.7
15～64	1,492	2,610	3,860	5,384	59.6	58.6	63.0	65.8
65歳以上	132	256	405	773	5.3	5.7	6.6	9.5
先進地域	832	1,136	1,276	1,397	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	231	262	265	276	27.8	23.0	20.8	19.8
15～64	537	745	842	878	64.6	65.6	66.0	62.9
65歳以上	64	130	168	242	7.6	11.4	13.2	17.3
発展途上地域	1,672	3,317	4,851	6,780	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	649	1,326	1,597	1,744	38.8	40.0	32.9	25.7
15～64	955	1,865	3,018	4,505	57.1	56.2	62.2	66.4
65歳以上	69	126	237	531	4.1	3.8	4.9	7.8
アフリカ	222	476	877	1,643	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	94	215	397	584	42.2	45.2	45.2	35.5
15～64	120	246	454	996	54.2	51.7	51.8	60.7
65歳以上	8	15	27	63	3.6	3.1	3.0	3.8
ラテンアメリカ	165	362	550	787	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	67	143	184	205	40.5	39.4	33.4	26.1
15～64	93	204	338	517	56.2	56.3	61.5	65.7
65歳以上	6	16	28	64	3.3	4.3	5.2	8.2
北部アメリカ	166	252	298	347	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	45	57	64	70	27.2	22.6	21.6	20.1
15～64	108	167	199	217	64.7	66.3	66.7	62.6
65歳以上	13	28	35	60	8.1	11.1	11.7	17.3
東アジア	671	1,183	1,470	1,696	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	238	419	347	312	35.4	35.5	23.6	18.4
15～64	409	703	1,013	1,159	61.0	59.5	68.9	68.3
65歳以上	24	60	110	225	3.6	5.1	7.5	13.2
南アジア	695	1,408	2,074	2,771	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	279	574	689	661	40.2	40.8	33.2	23.9
15～64	381	788	1,295	1,904	54.8	55.9	62.4	68.7
65歳以上	35	46	90	205	5.0	3.3	4.3	7.4
ヨーロッパ	392	484	513	527	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	99	108	99	97	25.4	22.3	19.3	18.5
15～64	258	313	339	332	65.9	64.7	66.1	63.1
65歳以上	34	63	75	97	8.7	13.0	14.5	18.4
オセアニア	13	23	30	40	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	4	7	8	9	29.7	29.5	26.1	22.9
15～64	8	14	20	26	62.8	62.6	64.8	64.7
65歳以上	1	2	3	5	7.5	7.9	9.1	12.4
ソビエト連邦	180	265	315	367	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14	54	65	74	81	30.1	24.3	23.6	22.0
15～64	115	174	203	232	63.8	65.6	64.5	63.1
65歳以上	11	27	37	55	6.1	10.0	11.9	14.9

前掲表と同じくUN, *World Population Prospects as Assessed in 1982* (1985)による国連の最新推計結果である。先進地域はヨーロッパ全域、北部アメリカ、ソビエト連邦、日本、オーストラリアおよびニュージーランド、発展途上地域はそれ以外の地域である。その他の地域構成については前掲(22ページ)の地域構成表を参照。

表64 主要先進国の65歳以上老年人口割合の推移と予測

(%)

年次	アメリカ 合衆国	ドイツ <sup>1)</sup>		スウェー デン	イギリス	イタリア	フランス	オースト ラリア	日本 <sup>4)</sup>
		東 <sup>2)</sup>	西 <sup>3)</sup>						
1850	...	...	...	4.78	<sup>8)</sup> 4.64	...	<sup>8)</sup> 6.47	...	...
1860	...	...	...	5.22	<sup>9)</sup> 4.68	<sup>9)</sup> 4.19	<sup>9)</sup> 6.89	...	...
1870	...	...	...	5.43	<sup>10)</sup> 4.79	<sup>10)</sup> 5.11	<sup>10)</sup> 7.41	...	6.69
1880	...	4.72	...	5.90	<sup>11)</sup> 4.62	<sup>11)</sup> 5.12	<sup>11)</sup> 8.11	...	6.43
1890	...	5.10	...	7.68	<sup>12)</sup> 4.77	...	<sup>12)</sup> 8.28	...	6.34
1900	4.07	4.88	...	8.37	<sup>13)</sup> 4.69	<sup>13)</sup> 6.16	<sup>13)</sup> 8.20	...	5.43
1910	4.30	5.04	...	8.44	<sup>14)</sup> 5.22	<sup>14)</sup> 6.50	<sup>14)</sup> 8.36	<sup>14)</sup> 4.29	5.20
1920	4.67	<sup>5)</sup> 5.77	...	8.40	<sup>15)</sup> 6.03	<sup>15)</sup> 6.75	<sup>15)</sup> 9.05	<sup>15)</sup> 4.42	5.26
1930	5.41	<sup>6)</sup> 7.36	...	9.20	<sup>16)</sup> 7.40	...	<sup>16)</sup> 9.35	<sup>6)</sup> 6.49	4.75
1940	6.85	<sup>7)</sup> 9.98	<sup>7)</sup> 8.86	9.41	<sup>17)</sup> 8.97	<sup>17)</sup> 7.43	11.42	<sup>20)</sup> 8.04	4.73
1950	8.14	10.57	9.41	10.25	10.73	8.26	11.38	8.13	4.94
1960	9.23	13.68	10.85	11.97	11.68	9.32	11.64	8.46	5.72
1970	9.81	15.53	13.18	13.66	12.94	10.67	12.87	8.35	7.06
1975	10.51	16.24	14.30	15.11	13.95	12.15	13.47	8.67	7.92
1980	11.29	16.32	15.04	16.18	14.79	13.52	13.73	9.29	9.10
1985	11.47	14.04	14.02	16.97	14.71	14.37	12.38	9.74	10.14
1990	11.85	13.53	14.76	17.71	15.13	14.33	13.17	10.46	11.63
1995	11.97	13.74	15.54	17.62	15.08	15.36	13.99	10.96	13.62
2000	11.73	14.62	16.48	17.21	14.92	16.22	14.83	10.98	15.57
2010	12.15	17.53	20.23	18.78	15.31	17.28	14.89	11.56	18.79
2020	15.36	18.32	21.23	21.88	17.35	18.78	18.10	13.83	21.82
2025	17.17	19.65	22.13	22.29	18.29	19.60	19.35	14.91	21.29

厚生省人口問題研究所『世界の人口変動の概観(付 地域別推計人口)』(研究資料第232号, 昭59.11)による。1940年以前はUnited Nations, *The Aging of Populations and Its Economic and Social Implications* (Population Studies, No. 26, 1956), 1950年以降は同じくUN, *World Population Prospects as Assessed in 1982* (表5に掲記)による各年央推計人口に基づく算定。ただし、日本は国勢調査および厚生省人口問題研究所の推計(昭56.11)による。1) 全ドイツとして示されている人口は1937年の領域のもの。2) 東ベルリンを含む。3) 西ベルリンを含む。4) すべての年次沖縄県を含む。5) 1925年。6) 1933年。7) 1946年。8) 1851年。9) 1861年。10) 1871年。11) 1881年。12) 1891年。13) 1901年。14) 1911年。15) 1921年。16) 1931年。17) 1939年。18) 1936年。19) 1872年。20) 1947年。

表65 主要先進国の65歳以上老年人口割合が7%から14%に到達した(する)年数

国	老年人口割合の到達年次		所要 年数
	7% <sup>1)</sup>	14% <sup>2)</sup>	
アメリカ合衆国	1945年	2015年	70
東ドイツ	1930	1965	35
西ドイツ	1930	1975	45
スウェーデン	1890	1975	85
イギリス	1930	1975	45
イタリア	1935	1990	55
フランス	1865	1995	130
オーストラリア	1940	2020	80
日本	1970	1996	26

上表による。年次は日本を除いて5年単位である。<sup>1)</sup>国連の資料(上掲のPopulation Studies, No26)によれば、65歳以上の老年人口割合が7%以上なものを「老年の」人口として取り扱っている。<sup>2)</sup>その「老年の」国として一応定義される7%の老年人口割合が2倍になる数値として採用。

表66 主要先進国の65歳以上老年人口の前期・後期別構造：最新材料

国 (年)	65歳以上 老年人口 (1,000人)	割合 (%)	
		前期老年層 (65~74歳)	後期老年層 (75歳以上)
スウェーデン(1981)	1,370	60.3	39.7
イングランド=ウェールズ(1982)	7,549	60.2	39.8
オーストリア(1981)	1,142	59.7	40.3
ノルウェー(1982)	623	59.6	40.4
西ドイツ(1982)	9,273	58.8	41.2
東ドイツ(1983)	2,363	54.7	45.3
イタリア(1981)	7,754	63.0	37.0
フランス(1983)	7,182	54.0	46.0
アメリカ合衆国(1982)	26,824	60.2	39.8
日本(1984)	11,956	62.9	37.1
オーストラリア(1981)	1,455	64.4	35.6

UN, *Demographic Yearbook* の1983年版による各国最新の年齢別人口に基づいて算定。表58を参照。配列は65歳以上人口割合の高い順。

表67 年齢（4区分）別にみた人口とその割合の推移と将来予測

年次	人 口 (1,000人)					割 合 (%)			
	総 数	0～19歳	20～64歳	65～74歳	75歳以上	0～19歳	20～64歳	65～74歳	75歳以上
大正 9	55,963	25,835	27,186	2,209	732	46.16	48.58	3.95	1.31
14	59,737	27,809	28,906	2,214	808	46.55	48.39	3.71	1.35
昭和 5	64,450	30,119	31,267	2,182	881	46.73	48.51	3.39	1.37
10	69,254	32,186	33,843	2,301	924	46.48	48.87	3.32	1.33
15 <sup>1)2)</sup>	73,075	33,778	35,842	2,550	904	46.22	49.05	3.49	1.24
22 <sup>3)</sup>	78,101	35,837	38,520	2,880	865	45.89	49.32	3.69	1.11
25 <sup>2)4)</sup>	84,115	38,456	41,499	3,086	1,070	45.72	49.34	3.67	1.27
30 <sup>2)</sup>	90,077	38,832	46,458	3,387	1,400	43.11	51.58	3.76	1.55
35 <sup>5)</sup>	94,302	37,814	51,090	3,756	1,642	40.10	54.18	3.98	1.74
40 <sup>5)</sup>	99,209	36,477	56,496	4,342	1,894	36.77	56.95	4.38	1.91
45	104,665	34,320	62,952	5,156	2,237	32.79	60.15	4.93	2.14
50 <sup>2)</sup>	111,940	35,169	67,859	6,025	2,841	31.42	60.62	5.38	2.54
55 <sup>2)</sup>	117,060	35,779	70,562	6,988	3,660	30.56	60.28	5.97	3.13
60	120,301	34,671	73,432	7,628	4,571	28.82	61.04	6.34	3.80
75	128,119	29,698	78,478	12,470	7,473	23.18	61.25	9.73	5.83
100	127,184	29,264	70,841	13,239	13,840	23.01	55.70	10.41	10.88
120	121,800	30,164	64,733	14,479	12,423	24.77	53.15	11.89	10.20
140	119,029	30,812	65,103	12,385	10,725	25.89	54.69	10.41	9.01
155	118,495	29,873	66,063	11,119	11,440	25.21	55.75	9.38	9.65

昭和55年以前は、総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の人口で、とくに注記のないかぎり沖縄県の人口を含む。ただし、昭和25年～40年の沖縄は琉球政府が独自に実施した国勢調査の結果で25年～35年の調査は12月1日現在で行われた。昭和60年以降は、厚生省人口問題研究所『日本の将来推計人口—全国男女年齢別、昭和55～155年—昭和56年11月推計』（研究資料第227号、昭57.4）による各年10月1日現在の推計人口で、中位推計値である。

1) 旧外地人以外の外国人を除く。2) 総数に年齢不詳を含む。3) 沖縄を含まない。4) 沖縄は外国人を除く。5) 沖縄のみ総数に年齢不詳を含む。

表68 明治・大正・昭和生まれ人口の割合の推移 (%)

年次	明治以前生	大正生	昭和生
昭和10	47.9	29.4	22.7
15	40.5	26.3	33.2
22	31.2	21.4	47.4
25	27.5	19.8	52.7
30	22.9	18.2	59.0
35	19.1	17.1	63.9
40	15.4	15.9	68.6
45	12.2	14.7	73.1
50	9.3	13.4	77.3
51	8.7	13.2	78.1
52	8.3	12.9	78.8
53	7.8	12.7	79.5
54	7.3	12.5	80.2
55	6.9	12.3	80.2
56	6.4	12.1	81.5
57	6.0	11.9	82.1
58	5.6	11.7	82.7
59	5.2	11.5	83.3

総務庁統計局調べ（「人口推計資料」などによる）。各年10月1日現在。なお実数は省略したが、たとえば昭和59年では、総人口が1億2,024万、明治生まれ630万、大正生まれ1,377万、昭和生まれ10,016万（そのうち戦後生まれは6,957万で総人口の57.9%）である。

表69 100歳以上の高齢者の推移と年齢別分布

年次	100歳以上高齢者	昭和60年（男女年齢別）			
		年 齢	総 数	男	女
昭和38	153	総 数	1,740	359	1,381
39	191	100	774	157	617
40	198	101	468	102	366
41	252	102	247	53	194
42	253	103	120	27	93
43	327	104	64	8	56
44	331	105	30	6	24
45	310	106	25	4	21
46	339	107	7	—	7
47	405	108	1	1	—
48	495	109	2	—	2
49	527	110	1	—	1
50	548	111	—	—	—
51	666	112	—	—	—
52	697	113	—	—	—
53	792	114	—	—	—
54	937	115	—	—	—
55	968	116	—	—	—
56	1,072	117	—	—	—
57	1,200	118	—	—	—
58	1,354	119	—	—	—
59	1,563	120	1	1	—
60	1,740	(参考)99	577	137	440

厚生省社会局老人福祉課調べ（『全国高齢者名簿』昭和60年9月等）による。各年9月30日現在（9月1日現在で作成）。

表70 男女別にみた労働力状態別人口とその割合の推移

年次	15歳以上人口(1,000人)					割合(%)			
	総数	労働力			非労働力	労働力			非労働力
		総数	就業者	完全失業者		総数	就業者	完全失業者	
	総数								
大正9 <sup>1)</sup>	35,547	25,866	...	...	9,681	72.8	...	...	27.2
昭和5 <sup>1)</sup>	40,871	28,548	...	...	12,323	69.8	...	...	30.2
15 <sup>1)2)</sup>	45,913	32,661	...	...	13,253	71.1	...	...	28.9
25 <sup>3)</sup>	55,584	36,347	35,626	722	19,234	65.4	64.1	1.3	34.6
30 <sup>4)</sup>	59,952	40,358	39,588	770	19,594	67.3	66.0	1.3	32.7
35	65,867	44,384	44,042	342	21,472	67.4	66.9	0.5	32.6
40	73,680	48,627	47,960	666	25,031	66.0	65.1	0.9	34.0
45	79,512	53,321	52,593	728	26,188	67.1	66.1	0.9	32.9
50	84,673	54,390	53,141	1,249	30,283	64.2	62.8	1.5	35.8
55	89,482	57,231	55,811	1,420	32,099	64.0	62.4	1.6	35.9
56	90,170	57,070	55,810	1,260	32,790	63.3	61.9	1.4	36.4
57	91,160	57,740	56,380	1,360	33,090	63.3	61.8	1.5	36.3
58	92,320	58,890	57,330	1,560	33,050	63.8	62.1	1.7	35.8
59	93,470	59,270	57,660	1,610	33,730	63.4	61.7	1.7	36.1
60	94,650	59,630	58,070	1,560	34,500	63.0	61.4	1.6	36.5
		男							
大正9 <sup>1)</sup>	17,735	16,350	...	...	1,385	92.2	...	...	7.8
昭和5 <sup>1)</sup>	20,495	18,548	...	...	1,948	90.5	...	...	9.5
15 <sup>1)2)</sup>	22,697	20,450	...	...	2,247	90.1	...	...	9.9
25 <sup>3)</sup>	26,785	22,365	21,870	495	3,419	83.5	81.7	1.8	16.5
30 <sup>4)</sup>	28,896	24,616	24,071	544	4,280	85.2	83.3	1.9	14.8
35	31,778	27,018	26,787	231	4,756	85.0	84.3	0.7	15.0
40	35,693	29,693	29,235	458	5,993	83.2	81.9	1.3	16.8
45	38,512	32,467	31,983	483	6,042	84.3	83.0	1.3	15.7
50	41,112	34,306	33,415	891	6,806	83.4	81.3	2.2	16.6
55	43,442	35,647	34,647	999	7,744	82.1	79.8	2.3	17.8
56	43,840	34,980	34,190	790	8,680	79.8	78.0	1.8	19.8
57	44,300	35,220	34,380	840	8,890	79.5	77.6	1.9	20.1
58	44,860	35,640	34,690	950	9,010	79.4	77.3	2.1	20.1
59	45,440	35,800	34,850	960	9,370	78.8	76.7	2.1	20.6
60	46,020	35,960	35,030	930	9,780	78.1	76.1	2.0	21.3
		女							
大正9 <sup>1)</sup>	17,812	9,516	...	...	8,295	53.4	...	...	46.6
昭和5 <sup>1)</sup>	20,375	10,000	...	...	10,375	49.1	...	...	50.9
15 <sup>1)2)</sup>	23,217	12,211	...	...	11,006	52.6	...	...	47.4
25 <sup>3)</sup>	28,798	13,982	13,755	227	14,815	48.6	47.8	0.8	51.4
30 <sup>4)</sup>	31,056	15,743	15,517	226	15,314	50.7	50.0	0.7	49.3
35	34,089	17,367	17,255	112	16,716	50.9	50.6	0.3	49.0
40	37,987	18,933	18,725	208	19,038	49.8	49.3	0.5	50.1
45	41,001	20,854	20,609	245	20,146	50.9	50.3	0.6	49.1
50	43,561	20,084	19,726	358	23,477	46.1	45.3	0.8	53.9
55	46,040	21,584	21,164	421	24,355	46.9	46.0	0.9	52.9
56	46,340	22,090	21,620	470	24,110	47.7	46.7	1.0	52.0
57	46,870	22,520	22,000	520	24,200	48.0	46.9	1.1	51.6
58	47,460	23,240	22,630	610	24,040	49.0	47.7	1.3	50.7
59	48,040	23,470	22,820	650	24,360	48.9	47.5	1.4	50.7
60	48,630	23,670	23,040	630	24,720	48.7	47.4	1.3	50.8

昭和55年の点線以上は、総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の年齢15歳以上人口で、とくに注記のないかぎり沖縄県を含む。55年・56年間の点線以下は、同局『労働力調査報告』(標本調査)による各年平均分で、15歳以上人口。割合は15歳以上人口総数100.0について。総数に労働力状態不詳を含む。1) 労働力は有業者、非労働力は無業者。2) 外地人および外国人を除く全人口。3) 14歳以上人口で、沖縄県を含まない。4) 沖縄は1%抽出集計結果。

表71 男女、年齢（5歳階級）別にみた労働力率の変動

(%)

年齢階級	男					女				
	昭和30年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和30年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
総数	85.3	83.3	84.3	83.4	82.1	50.6	49.8	50.9	46.1	46.9
15～19	54.3	38.6	36.5	23.3	20.3	50.1	37.6	35.7	22.6	18.8
20～24	88.2	87.1	83.5	79.1	74.7	68.2	69.7	70.8	66.8	71.1
25～29	96.2	97.9	98.2	97.8	97.6	51.9	46.5	45.1	43.5	49.4
30～34	97.0	98.5	98.6	98.8	98.6	49.6	48.0	47.3	43.2	46.5
35～39	97.3	98.4	98.5	98.7	98.7	53.5	58.3	56.3	52.8	55.5
40～44	97.4	98.3	98.3	98.4	98.4	55.6	62.1	63.6	59.7	61.8
45～49	97.0	98.0	98.1	98.1	98.0	54.5	62.6	64.6	61.9	62.3
50～54	95.5	97.2	97.3	97.5	97.3	51.4	57.3	60.9	58.6	58.7
55～59	91.1	93.8	94.2	94.7	94.0	45.8	50.1	53.7	50.9	50.7
60～64	82.5	85.2	85.8	85.4	81.5	38.5	39.4	43.3	39.2	38.8
65歳以上	56.5	55.1	54.4	49.7	46.0	20.7	17.6	19.6	15.8	16.1

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の15歳以上人口に基づく各年齢別労働力人口の当該年齢の総人口100.0についての割合で、各年次沖縄県を含む。昭和45年は1%抽出集計結果による。

表72 主要国の男女、年齢（5歳階級）別にみた労働力率：最新材料

(%)

年齢階級	アルゼンチン (1983年)	日本 (1985年)	カナダ <sup>1)</sup> (1981年)	オーストラリア (1981年)	スウェーデン (1982年)	アメリカ合衆国 (1982年)	西ドイツ <sup>2)</sup> (1983年)	韓国 (1982年)	イタリア (1982年)	フランス <sup>*</sup> (1983年)
男										
総数	80.4	78.1	77.3	77.3	<sup>3)</sup> 77.0	<sup>5)</sup> 74.7	71.9	70.6	<sup>6)</sup> 68.4	67.9
15～19	61.4	17.3	48.4	61.0	<sup>4)</sup> 48.0	<sup>4)</sup> 46.8	46.1	20.3	<sup>7)</sup> 32.7	21.3
20～24	87.4	70.1	90.3	90.1	83.9	85.9	80.1	45.1	74.1	80.4
25～29	96.0	95.7	94.4	94.5	92.2	93.5	87.7	91.1	92.4	93.5
30～34	98.0	97.2	95.2	95.3	95.6	95.5	95.7	97.0	98.1	96.2
35～39	98.2	97.6	95.3	95.0	96.8	94.7	96.9	99.2	98.4	96.6
40～44	97.4	97.2	94.2	94.1	95.7	94.6	97.5	99.9	97.9	96.5
45～49	95.2	96.8	93.5	92.5	95.0	92.6	96.4	93.1	96.2	94.6
50～54	90.7	95.4	90.1	89.4	93.2	88.9	93.0	95.9	90.9	91.0
55～59	79.6	90.3	83.9	81.3	87.2	81.3	81.0	91.7	73.7	72.3
60～64	56.2	72.5	67.9	53.1	68.3	56.4	40.1	70.4	38.3	33.2
65歳以上	25.4	37.0	16.3	12.3	13.2	17.1	6.5	38.9	10.5	4.3
女										
総数	27.8	48.7	51.0	45.6	<sup>3)</sup> 66.3	<sup>5)</sup> 51.0	41.0	43.5	<sup>6)</sup> 32.7	42.9
15～19	35.5	16.6	44.3	55.5	<sup>4)</sup> 49.1	<sup>4)</sup> 42.0	38.6	22.9	<sup>7)</sup> 28.6	14.8
20～24	45.2	71.9	77.1	70.7	81.7	70.0	70.5	49.1	58.4	66.4
25～29	38.7	54.1	67.9	55.4	84.3	69.0	63.5	34.1	56.4	72.9
30～34	34.0	50.6	63.3	52.6	85.0	67.1	58.4	46.1	52.4	67.7
35～39	30.7	60.0	64.1	58.0	86.1	66.7	59.3	55.5	46.1	65.8
40～44	28.5	67.9	64.2	60.7	88.6	68.7	58.1	62.0	42.4	64.0
45～49	26.9	68.1	59.6	56.5	88.0	65.2	55.2	65.2	37.6	59.9
50～54	24.4	61.0	51.8	46.3	83.1	57.9	47.8	63.1	31.8	53.0
55～59	19.2	51.0	41.7	32.8	71.9	49.4	40.1	56.7	21.0	42.7
60～64	11.3	38.5	28.0	15.5	46.2	33.1	12.6	38.1	10.7	19.9
65歳以上	4.2	15.5	5.5	4.9	4.0	7.4	2.8	11.7	2.8	2.1

ILO, *Year Book of Labour Statistics*, 1984年版による（男女各年齢階級別経済活動人口の当該年齢階級総人口100.0についての割合）。ただし、日本は総務庁統計局『労働力調査報告』（昭和60年速報）による年平均値。とくに注記のないかぎり15歳以上人口である。配列は男の率の高位順。

\* 暫定値。1) ユーコンおよび北西部地域を除く。2) 西ベルリンを含む。3) 16～74歳。4) 16～19歳。5) 16歳以上。6) 14歳以上。7) 14～19歳。

表73 産業（3部門）別にみた就業人口とその割合の年次変化

年次	就業者数(1,000人)				割合(%)		
	総数 <sup>1)</sup>	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大正 9 <sup>2)</sup>	27,261	14,672	5,598	6,464	53.8	20.5	23.7
昭和 5 <sup>2)</sup>	29,620	14,711	6,002	8,836	49.7	20.3	29.8
15 <sup>3)</sup>	32,483	14,392	8,443	9,429	44.3	26.0	29.0
20 <sup>4)</sup>	36,025	17,478	7,838	10,671	48.5	21.8	29.6
30 <sup>5)6)</sup>	39,590	16,291	9,247	14,051	41.1	23.4	35.5
35 <sup>5)</sup>	44,042	14,389	12,804	16,841	32.7	29.1	38.2
40 <sup>5)</sup>	47,960	11,865	15,115	20,962	24.7	31.5	43.7
45 <sup>5)</sup>	52,593	10,153	17,897	24,503	19.3	34.0	46.6
50 <sup>5)</sup>	53,141	7,354	18,106	27,513	13.8	34.1	51.8
55 <sup>5)</sup>	55,811	6,111	18,737	30,901	10.9	33.6	55.4

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在人口で、沖縄県を含む。昭和55年国勢調査の産業分類に組み替えた数字。産業3大部門の区分は次のとおり。

第1次産業：農業、林業、狩猟業、漁業、水産養殖業。第2次産業：鉱業、建設業、製造業。第3次産業：卸売業、小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、電気・ガス・水道・熱供給業、サービス業、公務。

1) 分類不能の産業を含む。2) 全年齢の有業者。3) 全年齢の銃後業者、外国人を除く。4) 14歳以上就業者、沖縄は外国人を除く。5) 15歳以上就業者。6) 沖縄は14歳以上就業者。

表74 主要国の産業（3部門）別にみた就業人口とその割合：最新材料

国	(年)	就業者数(1,000人)				割合(%)		
		総数 <sup>1)</sup>	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
イギリス	(1980)	24,369	657	8,946	14,765	2.7	36.7	60.6
ベルギー	(1982)	3,753	125	1,152	2,470	3.3	30.7	65.8
アメリカ合衆国 <sup>2)</sup>	(1983)	110,268	3,884	30,772	75,611	3.5	27.9	68.6
西ドイツ <sup>3)</sup>	(1983)	27,077	1,397	10,851	14,522	5.2	40.1	53.6
スウェーデン <sup>4)</sup>	(1983)	4,223	230	1,222	2,771	5.4	28.9	65.6
カナダ <sup>5)</sup>	(1984)	11,316	644	2,841	7,831	5.7	25.1	69.2
オーストラリア	(1984)	7,021	418	1,820	4,608	6.0	25.9	65.6
デンマーク <sup>6)</sup>	(1983)	2,670	183	788	1,672	6.9	29.5	62.6
フランス <sup>7)</sup>	(1983)	20,868	1,692	6,873	12,304	8.1	32.9	59.0
日本 <sup>8)</sup>	(1985)	58,070	5,090	19,920	32,830	8.8	34.3	56.5
オーストリア	(1983)	3,294	316	1,250	1,723	9.6	37.9	52.3
イタリア	(1983)	20,704	2,543	7,197	10,965	12.3	34.8	53.0
ベネズエラ*	(1983)	4,891	767	1,237	2,861	15.7	25.3	58.5
スペイン	(1983)	12,262	2,067	4,348	5,846	16.9	35.5	47.7
ポルトガル*	(1982)	4,121	1,018	1,524	1,581	24.7	37.0	38.4
韓国 <sup>9)</sup>	(1983)	14,514	4,314	4,198	6,002	29.7	28.9	41.4
ペルー <sup>10)</sup>	(1981)	4,926	1,844	825	1,985	37.4	16.7	40.3
エジプト <sup>11)</sup>	(1981)	9,946	4,006	2,114	3,647	40.3	21.3	36.7
フィリピン*	(1983)	19,672	10,250	2,609	6,805	52.1	13.3	34.6
タイ	(1980)	22,524	15,943	2,262	4,320	70.8	10.0	19.2

I.L.O., Year Book of Labour Statistics, 1984年版による算定。ただし日本は、総務庁統計局『労働力調査報告』(昭和60年速報)による年平均値。調査の方法や就業者(軍隊および新規求職者、失業者などは含まない)、産業分類などの定義は国によって相違がある。配列は第1次産業就業者割合の低位順。

\*暫定値。1) 分類不能の産業を含む。2) 16歳以上。3) 西ベルリンを含む。4) 16~74歳のみ。5) ユーコンおよび北西部地域を除く。6) 15~74歳のみ。7) 17歳以上。8) 15歳以上。9) 14歳以上。10) 10~69歳のみ。11) 12~64歳のエジプト人のみ。

表75 男女別にみた産業（大分類）別就業人口とその割合：昭和55年

産 業 (大 分 類)	就 業 者 数			産 業 別 割 合 (%)			男 女 別 割 合 (%)	
	総 数	男	女	総数	男	女	男	女
総 数	55,811,309	34,647,358	21,163,951	100.0	100.0	100.0	62.1	37.9
農 業	5,484,339	2,707,591	2,776,748	9.8	7.8	13.1	49.4	50.6
林 業	165,498	136,283	29,215	0.3	0.4	0.1	82.3	17.7
漁 業	461,150	363,670	97,480	0.8	1.0	0.5	78.9	21.1
水 産 養 殖	108,020	95,524	12,496	0.2	0.3	0.1	88.4	11.6
建 設	5,383,271	4,672,001	711,270	9.6	13.5	3.4	86.8	13.2
製 造	13,246,135	8,443,818	4,802,317	23.7	24.4	22.7	63.7	36.3
卸 売 業	12,731,078	6,945,538	5,785,540	22.8	20.0	27.3	54.6	45.4
小 売 業	1,576,530	808,333	768,197	2.8	2.3	3.6	51.3	48.7
金 融	426,905	282,585	144,320	0.8	0.8	0.7	66.2	33.8
保 険	3,504,251	3,084,797	419,454	6.3	8.9	2.0	88.0	12.0
運 輸	348,607	301,636	46,971	0.6	0.9	0.2	86.5	13.5
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 ・ 熱 供 給	10,288,155	5,184,442	5,103,713	18.4	15.0	24.1	50.4	49.6
サ ー ビ ス	2,025,831	1,590,640	435,191	3.6	4.6	2.1	78.5	21.5
公 分 類 不 能 の 産 業	61,539	30,500	31,039	0.1	0.1	0.1	49.6	50.4

総理府統計局『昭和55年国勢調査報告 第2巻 基本集計結果(1) その1 全国編』(昭57.5)による。

表76 職業（4区分）別にみた就業人口とその割合の年次変化

職 業	昭和25年 <sup>1)</sup>	昭和30年 <sup>2)</sup>	昭和35年	昭和40年 <sup>4)</sup>	昭和45年 <sup>4)</sup>	昭和50年 <sup>4)</sup>	昭和55年
就 業 者 数 (1,000人)							
総 数 <sup>3)</sup>	36,025	39,590	44,042	47,984	52,468	53,015	55,811
農 林 漁 業 関 係 職 業	17,292	16,058	14,321	11,777	10,085	7,290	6,049
生 産 ・ 運 輸 関 係 職 業	9,101	10,925	14,503	16,890	19,359	19,280	20,340
販 売 ・ サ ー ビ ス 関 係 職 業	4,521	6,614	7,548	8,977	10,169	11,241	12,771
事 務 ・ 技 術 ・ 管 理 関 係 職 業	5,080	5,993	7,663	10,306	12,836	15,144	16,589
割 合 (%)							
総 数 <sup>3)</sup>	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
農 林 漁 業 関 係 職 業	48.0	40.6	32.5	24.5	19.2	13.8	10.8
生 産 ・ 運 輸 関 係 職 業	25.3	27.6	32.9	35.2	36.9	36.4	36.4
販 売 ・ サ ー ビ ス 関 係 職 業	12.6	16.7	17.1	18.7	19.4	21.2	22.9
事 務 ・ 技 術 ・ 管 理 関 係 職 業	14.1	15.1	17.4	21.5	24.5	28.6	29.7

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の15歳以上人口で、すべての年次沖縄県を含む。昭和55年国勢調査の職業分類に組み替えた数字。1) 14歳以上就業者数、沖縄は外国人を除く。2) 沖縄は14歳以上就業者数。3) 分類不能の職業を含む。4) 20%抽出集計結果。

表77 主要国の職業（大分類）別にみた就業人口割合：最新材料

国 (年)	就業者数 (1,000人)	職 業 別 割 合 (%)						
		専門的・技術的職業	行政的・管理的職業	事 務	販 売	サ ー ビ ス 職	農 林 ・ 漁 業 ・ 狩 猟	その他の職業
ス イ ス (1980)	3,090	15.1	2.4	20.2	8.2	11.4	6.5	36.2
西 ド イ ツ <sup>1)</sup> (1982)	26,774	14.5	3.7	19.9	8.9	11.4	5.1	36.4
ア メ リ カ 合 衆 国 <sup>2)</sup> (1982)	109,016	16.2	10.9	18.2	6.4	14.1	2.7	31.6
日 本 <sup>3)</sup> (1985)	58,070	9.3	3.6	17.6	14.8	8.6	8.6	37.0
オーストラリア (1984)	7,021	14.6	6.4	17.4	9.0	9.8	6.6	36.1
カ ナ ダ <sup>4)</sup> (1984)	11,316	16.0	10.3	16.7	9.5	13.6	5.9	27.9
デンマーク <sup>5)</sup> (1983)	2,670	17.5	3.1	14.2	6.1	12.8	2.2	43.4
チ レ (1982)	3,503	6.9	1.7	13.4	12.0	12.0	15.2	38.9
スウェーデン <sup>6)</sup> (1983)	4,223	27.5	2.2	12.6	8.2	14.1	5.4	29.9
ハンガリー (1980)	5,069	14.7	0.7	12.1	4.8	7.1	10.0	50.6
ノルウェー* (1983)	2,007	20.1	5.7	11.0	9.7	13.7	7.4	32.5
ス ペ イ ン (1983)	12,262	7.5	1.4	10.8	10.0	13.8	16.8	39.1
ポルトガル* (1982)	4,121	6.2	0.9	10.7	8.6	9.6	24.4	39.5
韓 国 <sup>7)</sup> (1983)	14,514	4.8	1.3	10.5	15.4	10.1	29.4	28.5
ユーゴスラビア* (1981)	8,780	10.5	1.8	10.1	5.4	6.0	28.7	37.5
ギリシア (1982)	3,600	10.1	2.1	9.3	9.8	8.1	28.2	32.4
フィリピン* (1983)	19,672	5.8	0.9	4.3	11.3	7.7	51.8	18.3
インドネシア* (1980)	51,250	3.0	0.1	3.5	12.9	4.3	56.1	20.1

ILO, Year Book of Labour Statistics, 1984年版による。ただし、日本は総務庁統計局『労働力調査報告』(昭和60年速報)による年平均値。調査の方法や就業者(軍隊および新規求職者、失業者などは含まない)、職業分類などの定義は国によって相違がある。国によって総数に職業不詳を含む場合がある。配列は事務従事者割合の高い順。\*暫定値。1)西ベルリンを含む。2)16歳以上。3)15歳以上。4)ユーコンおよび北西部地域を除く。5)15~74歳。6)16~74歳。7)14歳以上。



表78 従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合の年次変化

年次	就業者数(1,000人)				割合(%)		
	総数 <sup>1)</sup>	自営業主	雇用者	家族従業者	自営業主	雇用者	家族従業者
昭和 25 <sup>2)</sup>	36,025	9,446	14,159	12,395	26.2	39.3	34.4
30 <sup>3)</sup>	39,590	9,517	18,083	11,990	24.0	45.7	30.3
35	44,042	9,748	23,730	10,560	22.1	53.9	24.0
40	47,960	9,437	29,101	9,351	19.7	60.7	19.5
45	52,593	10,248	33,764	8,577	19.5	64.2	16.3
50	53,141	9,414	36,718	6,945	17.7	69.1	13.1
55	55,811	9,543	39,764	6,494	17.1	71.2	11.6

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の15歳以上人口で、すべての年次沖縄県を含む。  
 1) 従業上の地位不詳を含む。2) 14歳以上の就業者数。3) 沖縄は14歳以上の就業者数。

表79 主要国の従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合：最新材料

国(年)	就業者数(1,000人)				割合(%)		
	総数 <sup>1)</sup>	自営業主	雇用者	家族従業者	自営業主	雇用者	家族従業者
イギリス(1980)	24,369	1,856	22,511	...	7.6	92.4	...
スウェーデン <sup>2)</sup> (1983)	4,223	316	3,891	18	7.5	92.1	0.4
アメリカ合衆国 <sup>3)</sup> (1983)	110,268	9,359	100,286	623	8.5	90.9	0.6
カナダ <sup>4)</sup> (1984)	11,316	1,044	10,153	119	9.2	89.7	1.1
西ドイツ <sup>5)</sup> (1983)	27,077	2,353	23,852	872	8.7	88.1	3.2
デンマーク <sup>6)</sup> (1983)	2,670	285	2,311	74	10.7	86.6	2.8
オーストリア(1983)	3,294	369	2,787	138	11.2	84.6	4.2
フランス <sup>7)</sup> (1983)	20,868	3,459	17,409	...	16.6	83.4	...
ベルギー(1982)	3,753	489	3,127	132	13.0	83.3	3.5
オーストラリア(1984)	7,021	970	5,493	27	13.8	78.2	0.4
日本 <sup>8)</sup> (1985)	58,070	9,160	43,130	5,590	15.8	74.3	9.6
スペイン(1983)	12,262	2,440	8,937	851	19.9	72.9	6.9
イタリア(1980)	20,572	4,770	14,705	1,098	23.2	71.5	5.3
ブラジル(1980)	42,914	11,825	28,605	2,271	27.6	66.7	5.3
韓国 <sup>9)</sup> (1983)	14,514	4,892	7,184	2,439	33.7	49.5	16.8
タイ(1980)	22,524	7,066	4,915	10,536	31.4	21.8	46.8

ILO, Year Book of Labour Statistics, 1984年版による。ただし日本は、総務庁統計局『労働力調査報告』(昭和60年速報)による年平均値。調査の方法や就業者(軍隊や新規求職者、失業者などは含まない)、従業上の地位などの定義は、国によって相違があるので注意を要する。配列は、雇用者割合の高位順。  
 \*暫定値。1) 従業上の地位不詳を含む。2) 16~74歳のみ。3) 16歳以上。4) ユーコンおよび北西部地域を除く。5) 西ベルリンを含む。6) 15~74歳。7) 17歳以上。家族従業者は業主に含まれる。8) 15歳以上。9) 14歳以上。

表80 従業者規模別にみた事業所数、従業者数とその割合：昭和56年

従業者規模	事業所数		従業者数		従業者規模	事業所数		従業者数	
	実数	割合(%)	実数(1,000人)	割合(%)		実数	割合(%)	実数(1,000人)	割合(%)
総数	6,488,329	100.0	51,545	100.0	30~49	133,256	2.1	5,013	9.7
1~4	4,427,827	68.2	9,566	18.6	50~99	84,045	1.3	5,676	11.0
5~9	1,096,454	16.9	7,042	13.7	100~199	31,245	0.5	4,258	8.3
10~19	525,173	8.1	6,988	13.6	200~299	8,375	0.1	2,015	3.9
20~29	172,143	2.7	4,083	7.9	300人以上	9,811	0.2	6,906	13.4

総理府(現総務庁)統計局『事業所統計調査報告』による。昭和56年7月1日現在の調査結果。ここに「事業所」とは、物の生産またはサービスの提供が業として行われている個々の場所をいう。

表81 産業（大分類）別にみた事業所数，従業者数とその割合の年次変化

産 業 (大分類)	事 業 所 数				従 業 者 数			
	昭 和 50 年		昭 和 56 年		昭 和 50 年		昭 和 56 年	
	実 数	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)	実 数 (1,000人)	割 合 (%)	実 数 (1,000人)	割 合 (%)
総 数	5,592,448	100.0	6,488,329	100.0	45,117	100.0	51,545	100.0
農 林 水 産 業	23,354	0.4	26,233	0.4	291	0.6	308	0.6
鉱 業	7,287	0.1	6,993	0.1	147	0.3	129	0.3
建 設 業	447,772	8.0	550,798	8.5	4,221	9.4	4,969	9.6
製 造 業	813,812	14.6	872,571	13.4	12,699	28.1	12,896	25.0
卸 売 業, 小 売 業	2,635,991	47.1	3,028,150	46.7	12,368	27.4	14,897	28.9
金 融 ・ 保 険 業	66,617	1.2	84,136	1.3	1,522	3.4	1,711	3.3
不 動 産 業	177,327	3.2	238,358	3.7	469	1.0	629	1.2
運 輸 ・ 通 信 業	131,665	2.4	160,623	2.5	3,133	6.9	3,401	6.6
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 ・ 熱 供 給 業	11,653	0.2	10,914	0.2	304	0.7	322	0.6
サ ー ビ ス 業	1,232,352	22.0	1,463,788	22.6	8,296	18.4	10,548	20.5
公 務	44,618	0.8	45,765	0.7	1,668	3.7	1,735	3.4

総理府統計局『事業所統計調査報告』による。昭和50年は5月15日，56年は7月1日現在調査。前表の注記参照。

表82 男女別にみた社会経済分類別人口とその割合：昭和55年

社 会 経 済 分 類	人 口 (1,000人)			割 合 (%)			男 女 別 割 合 (%)	
	総 数	男	女	総 数	男	女	男	女
総 数	116,916	57,490	59,426	100.0	100.0	100.0	49.2	50.8
農 林 漁 業 者	5,557	2,784	2,773	4.8	4.8	4.7	50.1	49.9
農 林 漁 業 雇 用 者	362	285	77	0.3	0.5	0.1	78.9	21.1
会 社 団 体 役 員	1,326	1,171	155	1.1	2.0	0.3	88.3	11.7
商 店 主	1,822	1,343	479	1.6	2.3	0.8	73.7	26.3
工 場 主	554	508	46	0.5	0.9	0.1	91.6	8.4
サ ー ビ ス ・ そ の 他 の 事 業 主	896	760	136	0.8	1.3	0.2	84.9	15.1
専 門 職 業 者	518	431	87	0.4	0.8	0.1	83.2	16.8
技 術 者	2,059	1,193	866	1.8	2.1	1.5	57.9	42.1
教 員 ・ 宗 教 家	1,872	865	1,008	1.6	1.5	1.7	46.2	53.8
文 筆 家 ・ 芸 術 家 ・ 芸 能 家	520	344	176	0.4	0.6	0.3	66.2	33.8
管 理 職	1,272	1,252	20	1.1	2.2	0.0	98.5	1.5
事 務 職	9,638	4,616	5,022	8.2	8.0	8.5	47.9	52.1
販 売 人	6,023	3,365	2,658	5.2	5.9	4.5	55.9	44.1
技 能 者	15,126	11,547	3,579	12.9	20.1	6.0	76.3	23.7
労 務 作 業 者	2,975	2,071	904	2.5	3.6	1.5	69.6	30.4
個 人 サ ー ビ ス 人	3,710	1,276	2,434	3.2	2.2	4.1	34.4	65.6
保 安 職	769	753	16	0.7	1.3	0.0	97.9	2.1
内 職	667	28	640	0.6	0.0	1.1	4.1	95.9
学 生 徒	7,936	4,326	3,610	6.8	7.5	6.1	54.5	45.5
家 事 従 事 者	17,354	222	17,133	14.8	0.4	28.8	1.3	98.7
そ の 他 の 15 歳 以 上 非 就 業 者	8,240	4,182	4,058	7.0	7.3	6.8	50.8	49.2
15 歳 未 満 の 者	27,533	14,088	13,445	23.5	24.5	22.6	51.2	48.8

総務庁統計局『国勢調査報告』による。10月1日現在の人口で，1%抽出集計結果である。総数に社会経済分類不能を含む。

表83 男女別にみた配偶関係別人口とその割合の推移

年次	人口(1,000人)					割合(%)			
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
男									
大正 9	17,735	5,200	11,147	1,059	329	29.3	62.9	6.0	1.9
14	18,950	5,677	11,860	1,078	334	30.0	62.6	5.7	1.8
昭和 5	20,495	6,613	12,477	1,116	289	32.3	60.9	5.4	1.4
10	21,840	7,242	13,134	1,169	295	33.2	60.1	5.4	1.4
15 <sup>1)</sup>	22,697	7,946	13,321	1,431		35.0	58.7	6.3	
25 <sup>2)</sup>	25,865	8,864	15,594	1,175	229	34.3	60.3	4.5	0.9
30 <sup>2)</sup>	28,682	10,126	17,120	1,163	270	35.3	59.7	4.1	0.9
35 <sup>2)</sup>	31,542	10,963	19,179	1,109	285	34.8	60.8	3.5	0.9
40	35,693	12,320	22,016	1,063	274	34.5	61.7	3.0	0.8
45	38,512	12,462	24,691	1,023	325	32.4	64.1	2.7	0.8
50	41,112	11,946	27,711	1,053	388	29.1	67.4	2.6	0.9
55	43,442	12,383	29,387	1,061	532	28.5	67.6	2.4	1.2
女									
大正 9	17,812	3,337	11,238	2,806	431	18.7	63.1	15.8	2.4
14	18,862	3,597	11,879	2,951	436	19.1	63.0	15.6	2.3
昭和 5	20,375	4,327	12,515	3,150	383	21.2	61.4	15.5	1.9
10	21,869	4,944	13,173	3,358	394	22.6	60.2	15.4	1.8
15 <sup>1)</sup>	23,217	5,770	13,504	3,943		24.9	58.2	17.0	
25 <sup>2)</sup>	27,902	7,168	15,711	4,489	531	25.7	56.3	16.1	1.9
30 <sup>2)</sup>	30,795	8,344	17,169	4,670	611	27.1	55.7	15.2	2.0
35 <sup>2)</sup>	33,810	9,099	19,200	4,784	720	26.9	56.8	14.2	2.1
40	37,987	10,291	21,976	4,981	716	27.1	57.9	13.1	1.9
45	41,001	10,205	24,697	5,240	854	24.9	60.2	12.8	2.1
50	43,561	9,376	27,751	5,518	905	21.5	63.7	12.7	2.1
55	46,040	9,617	29,472	5,717	1,129	20.9	64.0	12.4	2.5

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の年齢15歳以上の人口。総数に配偶関係不詳を含む。とくに注記のないかぎり沖縄県の人口を含む。

1) 外地人と外国人を除く。2) 沖縄県を含まない。

表84 男女、年齢(5歳階級)別にみた有配偶率の変動

年齢階級	男					女				
	昭和35 <sup>1)</sup>	昭和45年	昭和50年	昭和55年		昭和35 <sup>1)</sup>	昭和45年	昭和50年	昭和55年	
	年有配偶率(%)	有配偶率(%)	有配偶率(%)	有配偶人口(1,000人)	有配偶率(%)	年有配偶率(%)	有配偶率(%)	有配偶率(%)	有配偶人口(1,000人)	有配偶率(%)
総数	60.8	64.1	67.4	29,387	67.6	56.8	60.2	63.7	29,472	64.0
15~19	0.2	0.6	0.5	14	0.3	1.3	1.8	1.3	38	0.9
20~24	8.2	9.8	11.8	321	8.1	31.2	27.7	30.3	849	21.9
25~29	53.2	52.9	51.2	2,003	44.1	76.3	80.3	77.8	3,348	74.5
30~34	88.7	87.2	84.6	4,174	77.0	86.0	89.9	89.8	4,710	88.0
35~39	94.5	93.9	92.4	4,107	89.4	85.9	89.6	90.6	4,156	90.2
40~44	95.7	95.3	94.3	3,855	92.7	81.5	86.9	88.7	3,738	89.5
45~49	95.4	95.6	94.9	3,784	93.8	76.9	82.6	85.0	3,523	86.8
50~54	93.8	95.2	94.8	3,344	94.3	73.1	75.0	79.3	3,008	82.3
55~59	90.5	93.7	94.0	2,356	93.8	65.6	66.8	69.9	2,324	74.9
60~64	85.7	90.5	91.8	1,801	92.5	54.8	58.1	59.7	1,599	63.5
65~69	79.3	85.0	87.4	1,560	89.5	41.2	46.0	48.5	1,140	51.3
70~74	70.1	77.3	80.1	1,103	83.7	27.1	32.1	34.7	650	38.1
75歳以上	52.2	60.1	63.4	966	67.2	11.7	13.7	15.6	388	17.5

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の15歳以上人口についてのもの、各年齢階級別人口総数100.0についての有配偶者の割合である。総数に年齢不詳を含む。とくに注記のないかぎり沖縄県を含む。

1) 沖縄県を含まない。

表85 主要国の男女、年齢階級別にみた未婚率および有配偶率：最新材料

(%)

年齢階級	日本 <sup>1)</sup> (1980年)	メキシコ (1978年)	カナダ (1980年)	イギリス <sup>2)</sup> (1981年)	フランス (1980年)	東ドイツ <sup>3)</sup> (1980年)	アメリカ 合衆国 (1982年)	韓国 <sup>1)*</sup> (1980年)	西ドイツ <sup>4)</sup> (1981年)	スウェー デン (1981年)
未 婚 率										
男										
総 数	28.5	37.5	32.6	28.3	29.4	24.8	29.7	40.4	30.8	36.8
15～19	99.6	94.8	99.1	98.9	99.6	99.1	97.5	99.8	99.6	99.9
20～24	91.5	61.2	76.1	74.8	74.3	67.7	72.0	93.1	84.2	95.0
25～29	55.1	27.2	33.2	34.1	31.4	23.9	36.1	45.2	46.7	70.7
30～34	21.5	13.8	14.2	16.6	16.0	10.9	17.3	7.3	23.8	40.8
35～39	8.5	9.2	9.1	11.2	11.9	7.2	10.0	1.7	14.0	23.4
40～54	3.4	6.8	7.5	9.2	10.7	4.0	6.1	0.5	7.8	13.7
55～64	1.4	5.8	7.5	8.7	8.8	1.7	4.6	0.2	4.0	12.3
65歳以上	0.8	9.4	8.6	7.7	7.8	1.9	4.4	0.2	4.1	12.3
女										
総 数	20.9	28.5	25.7	21.6	22.4	18.4	22.5	28.7	22.5	28.4
15～19	99.0	78.8	95.6	95.5	95.4	95.1	92.0	98.2	96.4	99.3
20～24	77.7	38.5	55.2	53.7	51.4	39.1	53.4	66.1	60.1	84.8
25～29	24.0	17.4	20.2	19.2	20.7	12.0	23.4	14.1	24.2	51.3
30～34	9.1	10.4	9.6	8.7	11.0	6.6	11.6	2.7	10.1	25.8
35～39	5.5	7.8	6.9	6.0	7.8	4.8	6.4	1.0	6.7	13.4
40～54	4.4	7.4	5.8	5.8	7.4	6.2	4.3	0.3	6.7	7.5
55～64	3.0	8.3	6.8	7.4	8.0	8.8	4.1	0.1	9.1	7.3
65歳以上	1.3	12.7	9.7	11.7	9.4	6.6	5.6	0.1	9.8	13.2
有 配 偶 率										
男										
総 数	67.6	60.3	62.7	65.1	64.8	66.3	62.6	57.4	63.2	53.1
15～19	0.3	5.1	0.9	1.1	0.4	0.9	2.4	0.2	0.4	0.1
20～24	8.1	38.3	23.4	24.6	25.2	30.6	26.7	6.8	15.5	4.7
25～29	44.1	72.1	64.2	62.5	65.9	70.2	57.9	54.4	51.0	27.0
30～34	77.0	85.0	81.5	78.4	80.3	81.7	73.4	91.8	71.7	53.1
35～39	89.4	89.2	86.1	83.3	83.7	84.8	80.0	96.7	80.5	66.2
40～54	93.6	90.3	87.4	84.9	84.3	88.6	84.3	96.8	87.0	73.1
55～64	93.3	87.9	86.2	84.1	84.4	88.0	86.5	93.2	89.7	75.7
65歳以上	80.6	76.7	75.4	73.3	72.8	71.2	80.0	79.9	76.1	67.0
女										
総 数	64.0	63.8	61.0	60.2	59.3	58.4	58.3	57.4	56.5	51.2
15～19	0.9	20.9	4.3	4.5	4.6	4.8	7.7	1.7	3.5	0.7
20～24	21.9	60.5	43.7	44.4	47.2	57.4	42.9	33.7	38.8	14.2
25～29	74.5	80.7	75.7	75.0	75.1	80.5	67.4	84.9	72.0	44.1
30～34	88.0	86.3	84.2	84.1	83.6	84.4	75.6	94.3	84.1	64.8
35～39	90.2	87.3	85.6	85.8	85.2	84.4	79.1	93.4	85.9	72.6
40～54	86.4	81.5	83.8	83.8	81.9	81.4	78.9	82.6	83.1	75.3
55～64	69.8	67.4	73.0	72.3	69.7	64.6	70.9	53.8	64.4	69.8
65歳以上	35.4	44.8	40.0	37.6	35.0	31.4	40.2	24.3	29.8	38.2

UN, *Demographic Yearbook*, 1982年版に基づいて算定したもので、とくに注記のないかぎり各国最近の推計人口である。日本は、総務庁統計局『国勢調査報告』による。男女各年齢階級別人口総数100についての未婚者および有配偶者の率である。総数は15歳以上で、不詳のある場合これを含む。なお、有配偶は合意結婚と別居を含んでいる。配列は女子の15歳以上有配偶率の高い順。\*暫定値。1) 人口調査結果。2) イングランド＝ウェールズのみ。3) 東ベルリンを含む。4) 西ベルリンを含む。

表86 世帯増加率と人口増加率の比較および平均世帯人員の推移

年次	総世帯 (1,000世帯)	世帯増加率 (%)	総人口 (1,000人)	人口増加率 (%)	世帯増加率 / 人口増加率	
					1世帯当たり 平均世帯人員	
大正 9	11,221		55,963			4.99
14	12,000	6.9	59,737	6.7	1.0	4.98
昭和 5	12,705	5.9	64,450	7.9	0.7	5.07
10	13,504	6.3	69,254	7.5	0.8	5.13
15	14,342	6.2	73,114	5.6	1.1	5.10
22 <sup>1)</sup>	15,871	<sup>2)</sup> 11.6	78,101	<sup>2)</sup> 7.7	1.5	4.92
25	<sup>1)</sup> 16,580	4.5	84,115	<sup>3)</sup> 6.5	0.7	<sup>1)</sup> 5.02
30	18,123	<sup>4)</sup> 8.3	90,077	7.1	1.2	4.97
35	20,860	15.1	94,302	4.7	3.2	4.52
40	24,290	16.4	99,209	5.2	3.2	4.08
45	28,093	15.7	104,665	5.5	2.9	3.73
50	32,141	14.4	111,940	7.0	2.1	3.48
<hr/>						
45	30,391		104,665			3.44
50	33,734	11.0	111,940	7.0	1.6	3.32
55	36,015	6.8	117,060	4.6	1.5	3.25
60*	38,113	5.8	121,047	3.4	1.7	3.18

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在のもの。したがって、増加率の期間は期初年10月～期末年9月。とくに注記のないかぎり、沖縄県を含んでいる。なお、世帯数はすべての世帯を含む総世帯であるが、昭和55年国勢調査において世帯の定義が変更されている。それは、会社、官公庁等の独身寮に住んでいる人については、50年調査までは棟ごとにまとめて一つの世帯としていたが、55年調査では1人1人をそれぞれ一つの世帯として調査したことである。そこで、この55年の定義に基づいて45年、50年を組み替えて示したのが、表中の点線以下の数値である(表91の注記も参照)。\*要計表による暫定集計結果。1) 沖縄県を含まない。2) 昭和15年から沖縄県を除いてみた場合の増加率。3) 25年から沖縄県を除いてみた場合の増加率。4) 30年から沖縄県を除いてみた場合の増加率。

表87 普通世帯の世帯数、世帯人員および平均世帯人員の推移

年次	普通世帯数 (1,000世帯)	普通世帯人員 (1,000人)	1世帯当たり 平均世帯人員	増加率 (%)	
				世帯数	世帯人員
大正 9	11,122	54,336	4.89		
14	11,903	58,015	4.87	7.0	6.8
昭和 5	12,600	62,761	4.98	5.9	8.2
10	13,383	67,250	5.02	6.2	7.2
15	14,214	70,961	4.99	6.2	5.5
25 <sup>1)</sup>	16,425	81,629	4.97	<sup>2)</sup> 8.0	<sup>2)</sup> 7.7
30	17,540	87,173	4.97	<sup>1)</sup> 5.8	<sup>1)</sup> 5.8
35	19,871	90,285	4.54	13.3	3.6
40	23,280	94,393	4.05	17.2	4.6
45	27,071	99,983	3.69	16.3	5.9
50	31,271	107,970	3.45	15.5	8.0
55 <sup>3)</sup>	34,106	113,733	3.33	9.1	5.3

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在のもの。とくに注記のないかぎり沖縄県を含む。1) 沖縄県を含まない。2) 5年間の増加率に換算。3) 世帯の定義に変更(世帯数は変わらないが使用人の取り扱いによる中身が変わったので世帯人員が異なる。表86および表91の注も参照)があったので、比較の際は注意を要する。

表88 主要国の平均世帯人員（1世帯当たり）：最新材料

国・地域	(年)	平均世帯人員	国・地域	(年)	平均世帯人員	国・地域	(年)	平均世帯人員
スウェーデン	(1975)	2.4	イギリス <sup>3)</sup>	(1971)	2.9	ソビエト連邦	(1970)	3.7
デンマーク	(1981)	2.5	ニュージーランド	(1981)	3.0	ユーゴスラビア	(1971)	3.8
東ドイツ <sup>1)</sup>	(1971)	2.6	オーストラリア	(1976)	3.1	ホンコン	(1981)	3.9
西ドイツ <sup>2)</sup>	(1972)	2.7	ポーランド	(1978)	3.1	韓国	(1980)	4.6
アメリカ合衆国	(1980)	2.7	オランダ	(1971)	3.2	シンガポール	(1980)	4.7
ノルウェー	(1980)	2.7	カナダ	(1976)	3.2	インドネシア	(1980)	*4.9
フランス	(1978)	2.8	日本	(1980)	3.2	イラン	(1976)	5.0
チェコスロバキア	(1980)	2.8	イタリア	(1971)	3.3	ブラジル	(1970)	5.1
ハンガリー	(1980)	2.8	アルゼンチン	(1980)	3.6	エジプト	(1976)	*5.2
オーストリア	(1981)	2.8	ポルトガル	(1970)	3.7	タイ	(1976)	5.6

United Nations, *Statistical Yearbook*, 1974~1982年版による。ただし、日本は【国勢調査報告】による。世帯の定義は国によって若干の相違があるが、おおむね「一般世帯」である。食事その他生計に基本的なものを共にする個人またはグループという概念を基本としている。国の配列は、平均世帯人員規模の小さい順。\*暫定値。

1) 東ベルリンを含む。2) 西ベルリンを含む。3) イングランド=ウェールズのみ。

表89 世帯人員別にみた一般世帯数と割合の変動

世帯人員	一般世帯数 (1,000世帯)			世帯人員別割合 (%)			増加率 (%)	
	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和45~50年	昭和50~55年
総数	30,297	33,596	35,824	100.0	100.0	100.0	10.9	6.6
1人	6,137	6,561	7,105	20.3	19.5	19.8	6.9	8.3
2	4,184	5,257	6,001	13.8	15.6	16.8	25.6	14.2
3	5,322	6,259	6,475	17.6	18.6	18.1	17.6	3.5
4	6,885	8,301	9,070	22.7	24.7	25.3	20.6	9.3
5	3,907	3,904	3,982	12.9	11.6	11.1	-0.1	2.0
6	2,285	2,037	2,033	7.5	6.1	5.7	-10.9	-0.2
7人以上	1,577	1,277	1,157	5.2	3.8	3.2	-19.0	-9.4
1世帯当たり平均世帯人員	3.41人	3.28人	3.22人	-	-	-	-	-

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在のもの。本表の昭和45、50年は、昭和55年の世帯の定義（表86および91の注参照）に組み替えて示しているが、ここに「一般世帯」とは、住居と生計を共にしている人の集まり、1戸を構えて住んでいる単身者、間借り・下宿の単身者、会社などの寄宿舎に住む単身者をいう。

表90 家族類型別にみた核家族世帯数と割合の変動

年次	普通世帯総数 (1,000世帯)	核家族世帯数 (1,000世帯)					核家族世帯 割合 (%)
		総数	夫婦のみ	夫婦と子供	男親と子供	女親と子供	
大正9	11,119	6,005	1,145	4,259	601		54.0
昭和30 <sup>1)</sup>	17,398	10,366	1,184	7,499	275	1,408	59.6
35 <sup>1)</sup>	19,571	11,788	1,630	8,489	245	1,424	60.2
40	23,286	14,583	2,293	10,572	234	1,485	62.6
45	27,071	17,186	2,972	12,471	253	1,491	63.5
50	31,271	19,980	3,880	14,290	257	1,553	63.9
55 <sup>2)</sup>	34,106	21,594	4,460	15,081	297	1,756	63.3

総務庁統計局【国勢調査報告】によるが、昭和30年および35年は1%抽出集計結果、昭和40年は20%抽出集計結果である。なお、大正9年は国勢調査の結果に基づく推計で、戸田貞三著『家族構成』（昭12）による。各年10月1日現在の世帯数で、とくに注記のないかぎり沖縄県を含む。核家族世帯割合は普通世帯総数100.0について。1) 沖縄県を含まない。2) 世帯の定義に変更（表86および91の注参照）があったので、比較の際は注意を要する。

表91 家族類型別にみた一般世帯数と割合の変動

世帯の家族類型	一般世帯数 (1,000世帯)			家族類型別割合 (%)			増加率 (%)	
	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和45 ~50年	昭和50 ~55年
総数	30,297	33,596	35,824	100.0	100.0	100.0	10.9	6.6
親族世帯	24,059	26,968	28,657	79.4	80.3	80.0	12.1	6.3
核家族世帯	17,186	19,980	21,594	56.7	59.5	60.3	16.3	8.1
夫婦のみ	2,972	3,880	4,460	9.8	11.6	12.5	30.6	15.0
夫婦と子供	12,471	14,290	15,081	41.2	42.5	42.1	14.6	5.5
男親と子供	253	257	297	0.8	0.8	0.8	1.7	15.6
女親と子供	1,491	1,553	1,756	4.9	4.6	4.9	4.2	13.1
その他の親族世帯	6,874	6,988	7,063	22.7	20.8	19.7	1.7	1.1
夫婦と両親	112	165	193	0.4	0.5	0.5	48.0	17.0
夫婦と片親	242	335	415	0.8	1.0	1.2	38.5	23.9
夫婦、子供と両親	1,241	1,468	1,732	4.1	4.4	4.8	18.3	18.0
夫婦、子供と片親	2,441	2,514	2,638	8.1	7.5	7.4	3.0	4.9
夫婦と他の親族	137	133	114	0.5	0.4	0.3	-2.9	-14.3
夫婦、子供と他の親族	597	521	341	2.0	1.6	1.0	-12.8	-34.5
夫婦、親と他の親族	250	217	161	0.8	0.6	0.4	-13.0	-25.8
夫婦、子供、親と他の親族	1,194	980	854	3.9	2.9	2.4	-18.0	-12.9
兄弟姉妹のみ	660	653	208	2.2	1.9	0.6	-1.0	-5.8
他に分類されない親族世帯			407			1.1		
非親族世帯	100	67	62	0.3	0.2	0.2	-33.5	-7.5
単独世帯	6,137	6,561	7,105	20.3	19.5	19.8	6.9	8.3

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在のもの。本表の昭和45、50年は、昭和55年の世帯の定義（表86の注参照）にあわせ、組み替えて示している。なお、昭和55年の調査報告では、従来の「普通世帯」と「準世帯」の別のほかに、これを更に「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分した結果も掲載しているが、世帯の種類の区分については、次掲の対照表を参照されたい。

総世帯数 36,015,026 (117,060,396)

世帯の種類不詳 54,782 (71,363)

	普通世帯 34,105,958 (113,732,889)	準世帯 1,854,286 (3,256,144)
一般世帯 35,823,609 (115,450,540)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住居と生計を共にしている人の集まり 28,718,363 (108,345,294)</li> <li>●1戸を構えて住んでいる単身者 5,387,595</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●間借り・下宿などの単身者 451,180</li> <li>●会社などの独身寮の単身者 1,266,471</li> </ul>
施設等の世帯 136,635 (1,538,493)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●寮・寄宿舎の学生・生徒 10,107 (351,068)</li> <li>●病院・療養所の入院者 17,502 (600,932)</li> <li>●社会施設の入所者 6,382 (302,571)</li> <li>●自衛隊営舎内居住者 2,558 (116,662)</li> <li>●矯正施設の入所者 665 (50,050)</li> <li>●その他 99,421 (117,210)</li> </ul>

注) カッコ内は世帯人員を示す。

表92 主要国の世帯人員別にみた世帯数，世帯人員および平均世帯人員：最新材料

国・地域 (年)	世帯人員別世帯数 (1,000世帯)						世帯人員 (1,000人)	平均世帯 人員
	総 数	1人世帯	2 人	3 人	4 人	5人以上		
エジプト(1976)	6,946	419	761	838	976	3,952	36,347	5.2
リビア(1973) <sup>1)</sup>	347		83		37	226	<sup>3)2,072</sup>	<sup>4)6.0</sup>
マリ(1976)	1,254	93	169	201	184	607	<sup>3)6,395</sup>	<sup>4)5.1</sup>
カナダ(1976)	7,166	1,205	1,990	1,257	1,307	1,407	22,412	3.1
グアテマラ(1973)	998	45	99	142	157	556	<sup>3)5,160</sup>	<sup>4)5.2</sup>
アメリカ合衆国(1980)	80,390	18,248	25,176	13,972	12,371	10,622	220,796	2.7
アルゼンチン(1980)*	7,104	737	1,339	1,336	1,440	2,253	<sup>3)27,431</sup>	<sup>4)3.9</sup>
ボリビア(1976)	1,051	122	143	167	160	459	4,585	4.4
ブラジル(1980)*	27,967	1,772	4,912	5,532	5,121	10,630	<sup>3)118,322</sup>	<sup>4)4.2</sup>
コロンビア(1973)*	3,571	...	...	...	...	...	21,070	5.9
ペルー(1972)	2,772	290	325	370	395	1,392	13,275	4.8
ウルグアイ(1975)	795	116	179	165	146	187	2,708	3.4
アフガニスタン(1979)	2,110	55	149	206	283	1,417	<sup>3)13,051</sup>	<sup>4)6.2</sup>
ホンコン(1981)*	1,245	189	192	192	214	458	4,888	3.9
インドネシア(1980)	30,263	1,388	3,456	4,939	5,174	15,306	<sup>3)146,776</sup>	<sup>4)4.8</sup>
イラン(1976)	6,709	376	767	888	1,017	3,661	33,047	4.9
イスラエル(1972)	775	95	172	138	143	227	2,937	3.8
日本(1980)	35,824	7,105	6,001	6,475	9,070	7,172	115,451	3.2
韓国(1980)	7,969	383	839	1,153	1,620	3,974	36,231	4.5
クウェート(1975)	143	7	11	13	16	96	923	6.5
フィリピン(1975)	7,079	159	519	807	958	4,636	41,958	5.9
シンガポール(1980)	510	42	52	72	98	246	2,399	4.7
スリランカ(1981)	2,811	177	233	363	444	1,594	14,551	5.2
トルコ(1980)	8,601	433	920	1,125	1,389	4,734	<sup>3)44,737</sup>	<sup>4)5.2</sup>
ブルガリア(1975)	2,755	462	642	579	581	491	8,609	3.1
チェコスロバキア(1980)	5,376	1,184		3,563		630	15,199	2.8
フィンランド(1975)	1,644	428	405	329	277	205	4,495	2.7
フランス(1975)	17,745	3,935	4,937	3,401	2,730	2,742	51,151	2.9
ハンガリー(1980)	3,719	731	1,044	830	724	391	10,377	2.8
ノルウェー(1980)	1,524	426	394	249	272	183	4,046	2.7
ポーランド(1978)	10,948	1,904	2,371	2,502	2,319	1,851	34,095	3.1
ポルトガル(1981)	3,427	...	...	...	...	...	9,794	2.9
スウェーデン(1975)	3,325	997	1,025	562	504	237	8,016	2.4
イギリス(1981) <sup>2)</sup>	17,706	3,849	5,696	3,016	3,205	1,940	47,806	2.7
オーストラリア(1976)	4,141	650	1,165	717	802	808	12,937	3.1
ニュージーランド(1981)*	1,004	185	292	165	182	179	3,016	3.0
ソビエト連邦(1979)	66,307	...	19,664	19,128	15,239	12,276	<sup>3)262,436</sup>	<sup>4)4.0</sup>

United Nations, *Demographic Yearbook*, 1982年版による。ただし、日本は『国勢調査報告』による。各国の人口調査に基づくもので、「世帯」とは住居と生計を共にしている人の集まり、または1戸を構えて住んでいる単身者をいう。軍事施設、矯正施設、学校の寄宿舎、病院・療養所、宗教施設などに起居しているものを除く。平均世帯人員は世帯人員を世帯総数で除したものである。なお、総数には世帯人員不詳の世帯を含む。配列は国連の定める地域順。\*暫定値。1) リビア人のみ。2) イングランド=ウェールズのみ。3) 総人口。4) 総人口によって算出。



表93 経済構成別にみた普通世帯数、親族人員および平均世帯人員の変動

経済構成	昭和50年			昭和55年		
	普通世帯数 (1,000世帯)	親族人員 (1,000人)	1世帯当たり 平均世帯人員	普通世帯数 (1,000世帯)	親族人員 (1,000人)	1世帯当たり 平均世帯人員
総数	31,271	107,503	3.44	34,106	113,420	3.33
農林漁業就業者世帯	1,731	7,152	4.13	1,352	5,200	3.85
農林漁業・非農林漁業 就業者混合世帯	2,300	11,464	4.98	2,131	10,463	4.91
非農林漁業就業者世帯	24,785	84,459	3.41	27,460	92,569	3.37
非就業者世帯	2,294	3,802	1.66	3,112	5,014	1.61

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在のもの。昭和55年において世帯の定義に変更があったので注意を要する(表86や91の注記参照)。総数に分類不能の世帯を含む。

表94 世帯類型別にみた特殊世帯の世帯数とその割合の変動

年次	世帯数(1,000世帯)					割合(%)		
	総数	高齢者 <sup>1)</sup> 世帯	母子世帯 <sup>2)</sup>	父子世帯 <sup>3)</sup>	その他 世帯	高齢者世帯	母子世帯	その他 世帯
昭和30	18,963	425	486		18,052	2.2	2.6	95.2
35	22,476	500	424		21,552	2.2	1.9	95.9
40	25,940	799	335		24,806	3.1	1.3	95.6
45	29,887	1,196	369		28,321	4.0	1.2	94.8
50	32,877	1,619	371	64	30,823	4.9	1.1	93.9
55	35,338	2,424	452	97	32,365	6.9	1.3	91.9
56	36,121	2,537	479	91	33,014	7.0	1.3	91.7
57	36,248	2,687	475	98	32,988	7.4	1.3	91.3
58	36,497	2,792	484	106	33,115	7.7	1.3	91.0
59	37,338	3,021	513	107	33,697	8.1	1.4	90.5
60	37,226	3,110	506	99	33,511	8.4	1.4	90.3

厚生省統計情報部『厚生行政基礎調査報告』による。全国の世帯および世帯員を対象とした標本調査で、調査は毎年ほぼ6月現在で実施されている。1) 男65歳以上、女60歳以上の者のみで構成するか、またはこれらに18歳未満の者が加わった世帯。2) 現に配偶者のない20歳以上60歳未満の女子(未婚の場合や配偶者が長期間生死不明の場合を含む)と20歳未満のその子(養子を含む)のみで構成している世帯。3) 現に配偶者のない20歳以上65歳未満の男と20歳未満のその子(養子を含む)のみで構成している世帯。

表95 世帯構造別にみた65歳以上の者のいる世帯の世帯数とその割合の変動

年次	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯			夫婦(片親)と未婚の子のみの世帯	三世代 <sup>1)</sup> 世帯	その他 の世帯	65歳以上の者のいる世帯の総世帯に占める割合(%)
			総数	一方が65歳未満の世帯	ともに65歳以上の世帯				
世帯数(1,000世帯)									
昭和50	7,118	611	931	...	...	683	3,871	1,023	21.7
55	8,495	910	1,379	657	722	891	4,254	1,062	24.0
56	8,745	984	1,422	674	748	883	4,345	1,111	24.2
57	9,003	976	1,538	716	822	912	4,404	1,173	24.8
58	9,015	1,046	1,598	745	853	953	4,275	1,143	24.7
59	9,159	1,147	1,678	785	893	1,000	4,214	1,121	24.5
60	9,400	1,131	1,795	799	996	1,012	4,313	1,150	25.3
割合(%)									
昭和50	100.0	8.6	13.1	...	...	9.6	54.4	14.4	
55	100.0	10.7	16.2	7.7	8.5	10.5	50.1	12.5	
56	100.0	11.3	16.3	7.7	8.6	10.1	49.7	12.7	
57	100.0	10.8	17.1	8.0	9.1	10.1	48.9	13.0	
58	100.0	11.6	17.7	8.3	9.5	10.6	47.4	12.7	
59	100.0	12.5	18.3	8.6	9.7	10.9	46.0	12.2	
60	100.0	12.0	19.1	8.5	10.6	10.8	45.9	12.2	

厚生省統計情報部『厚生行政基礎調査報告』による。上表参照。

1) 世帯主を中心とした直系三世代以上の世帯。

表96 教育程度別にみた学校数, 在学者数および教員数の変動

年 度	就学前教育 (幼稚園)	初等教育 (小学校)	中等教育 <sup>1)</sup> (中学校など)	高等教育 <sup>2)</sup> (大学など)	特殊教育 <sup>3)</sup> (盲, ろう, 養護)
学 校 数					
明治10	1	25,459	491	77	—
33	240	26,857	461	66	11
昭和10	1,890	25,799	2,931	263	140
47 <sup>4)</sup>	11,564	24,325	15,496	952	459
60	15,123	24,057	16,278	1,066	809
分校	97	983	306	—	103
在学(園)者数					
明治10	158	2,162,962	28,695	6,586	—
33	23,073	4,683,598	122,919	24,721	621
昭和10	143,676	11,425,628	1,181,412	189,511	10,284
47 <sup>4)</sup>	1,842,458	9,696,133	8,843,091	1,864,990	54,508
60	2,067,991	11,095,711	11,168,212	2,445,206	95,405
教員数(本務者)					
明治10	5	59,825	1,696	390	—
33	596	92,899	6,582	1,907	55
昭和10	5,861	257,691	50,695	16,226	1,289
47 <sup>4)</sup>	72,797	381,591	433,040	99,149	14,316
60	98,453	461,249	551,962	133,867	39,227

文部省の資料(『学校基本調査報告』など)による。1) 昭和60年度(5月1日現在)の場合は、速報による中学校および高等学校, 2) 同じく, 高等専門学校, 短期大学および大学, 3) 同じく, 在学者数は幼稚園, 小学部, 中学部および高等部の計。4) 沖縄県を含まない。

表97 男女別にみた教育程度別人口の変動

教育程度	15歳以上人口(1,000人)			割合(%)		
	昭和35年 <sup>1)</sup>	昭和45年	昭和55年	昭和35年	昭和45年	昭和55年
総 数						
総 数	65,352	79,512	89,482	100.0	100.0	100.0
卒 業 者	59,128	71,666	80,874	90.5	90.1	90.4
初 等 教 育 者	41,192	41,097	34,470	63.0	51.7	38.5
中 等 教 育 者	14,517	23,835	34,010	22.2	30.0	38.0
高 等 教 育 者	3,418	6,689	12,235	5.2	8.4	13.7
在 学 者	4,781	7,245	8,299	7.3	9.1	9.3
未 就 学 者	1,432	601	308	2.2	0.8	0.3
男						
総 数	31,542	38,512	43,442	100.0	100.0	100.0
卒 業 者	28,516	34,362	38,843	90.4	89.2	89.4
初 等 教 育 者	19,313	18,998	15,822	61.2	49.3	36.4
中 等 教 育 者	6,547	10,732	15,401	20.8	27.9	35.5
高 等 教 育 者	2,656	4,612	7,546	8.4	12.0	17.4
在 学 者	2,715	4,003	4,508	8.6	10.4	10.4
未 就 学 者	305	147	90	1.0	0.4	0.2
女						
総 数	33,810	41,001	46,040	100.0	100.0	100.0
卒 業 者	30,612	37,304	42,031	90.5	91.0	91.3
初 等 教 育 者	21,879	22,098	18,648	64.7	53.9	40.5
中 等 教 育 者	7,971	13,103	18,609	23.6	32.0	40.4
高 等 教 育 者	762	2,077	4,689	2.3	5.1	10.2
在 学 者	2,066	3,242	3,791	6.1	7.9	8.2
未 就 学 者	1,127	455	218	3.3	1.1	0.5

総務庁統計局『国勢調査報告』による10月1日現在の年齢15歳以上の人口。卒業者総数に学校の種類不詳を含む。初等教育は小学校・中学校・高小(旧青年学校を含む)を, 中等教育は高校・旧中を, 高等教育は短大・高専・大学・大学院をそれぞれ卒業した者。

1) 沖縄県は含まない。

表98 男女、年齢階級別にみた人口の教育程度別割合の変動

(%)

年齢階級	昭和45年				昭和55年			
	初等教育以下	中等教育	高等教育	在学者	初等教育以下	中等教育	高等教育	在学者
男								
総数	49.6	27.9	12.0	10.4	36.6	35.5	17.4	10.4
15～19	20.4	14.6	—	65.0	6.9	14.0	—	79.1
20～24	29.8	43.3	9.2	17.7	11.3	44.0	17.0	27.5
25～29	38.8	40.7	19.7	0.9	19.2	47.0	32.1	1.5
30～34	43.8	38.7	17.3	0.2	25.0	47.6	26.9	0.2
35～44	53.4	30.6	15.9	0.1	36.1	44.0	19.7	0.0
45～54	66.8	20.0	13.1	0.0	48.4	35.4	16.0	0.0
55～64	74.0	15.8	10.1	0.0	63.5	23.3	13.0	0.0
65歳以上	83.1	9.5	7.3	0.0	72.9	17.3	9.5	0.0
女								
総数	54.9	32.1	5.1	7.9	41.0	40.4	10.2	8.2
15～19	19.6	16.8	—	63.6	4.6	14.2	—	81.2
20～24	30.6	52.4	10.9	6.1	8.3	51.6	27.6	12.4
25～29	42.1	47.9	9.8	0.2	17.0	56.9	25.6	0.3
30～34	50.8	42.4	6.8	0.1	24.9	57.6	17.3	0.1
35～44	57.0	38.0	4.9	0.0	40.1	50.5	9.2	0.0
45～54	71.7	24.8	3.4	0.0	52.0	42.7	5.2	0.0
55～64	79.5	17.7	2.8	0.0	68.0	28.4	3.4	0.0
65歳以上	89.8	8.7	1.3	0.0	79.9	17.4	2.3	0.0

総務庁統計局『国勢調査報告』による10月1日現在の15歳以上人口に基づく男女各年齢階級別総数100.0についての割合。初等教育以下に未就学者を含む。前表の注記参照。

表99 男女別にみた中学校・高等学校卒業者の進学率の推移

(%)

年 度	中学校卒業者の進学率			高等学校卒業者の進学率		
	総 数	男	女	総 数	男	女
昭和25	42.5	48.0	36.7	30.3	34.6	17.2
30	51.5	55.5	47.4	18.4	20.9	14.9
35	57.7	59.6	55.9	17.2	19.7	14.2
40	70.7	71.7	69.6	25.4	30.1	20.4
41	72.3	73.5	71.2	24.5	28.2	20.6
42	74.5	75.3	73.7	23.7	26.1	21.1
43	76.8	77.0	76.5	23.1	24.7	21.4
44	79.4	79.2	79.5	23.2	24.1	22.3
45	82.1	81.6	82.7	24.2	25.0	23.5
46	85.0	84.1	85.9	26.8	27.6	25.9
47	87.2	86.2	88.2	29.2	30.0	28.4
48	89.4	88.3	90.6	31.2	31.6	30.8
49	90.8	89.7	91.9	32.2	32.2	32.2
50	91.9	91.0	93.0	34.2	33.8	34.6
51	92.6	91.7	93.5	33.9	32.8	35.1
52	93.1	92.2	94.0	33.2	32.2	34.3
53	93.5	92.7	94.4	32.8	31.9	33.7
54	94.0	93.0	95.0	31.9	30.5	33.4
55	94.2	93.1	95.4	31.9	30.3	33.5
56	94.3	93.2	95.4	31.4	29.7	33.1
57	94.3	93.2	95.5	30.9	28.9	32.8
58	94.0	92.8	95.2	30.1	27.7	32.4
59	94.1	93.0	95.3	29.6	26.6	32.6
60	94.1	93.1	95.3	30.5	27.0	33.9

文部省大臣官房調査統計課『学校基本調査報告書』(60年度は速報)による。各年3月卒業者について5月1日現在で調査。進学率とは、卒業者のうち進学者および就職進学者の占める割合。なお、進学先の学校の範囲は次のとおりである。

中学校卒業者：高等学校の本科および別科ならびに高等専門学校。

高等学校卒業者：大学の学部、短期大学の本科、大学および短期大学の別科、高等学校等の専攻科。

表100 主要国の男女別にみた教育程度別在学率：最新材料

(%)

国 (年)	初 等 教 育			中 等 教 育			高 等 教 育	
	該当年齡	男	女	該当年齡	男	女	男	女
エジプト (1981) <sup>1)</sup>	6~11	90	65	12~17	62	46	19.1	10.1
カナダ (1982)	6~11	95	95	12~17	<sup>1)</sup> 96	<sup>1)</sup> 95	38.2	39.8
アメリカ合衆国 (1981) <sup>1)</sup>	6~17	<sup>2)</sup> 99					55.5	60.7
アルゼンチン (1982) <sup>1)</sup>	6~12	120	119	13~17	<sup>3)</sup> 54	<sup>3)</sup> 63	22.5	26.5
インドネシア (1982)	7~12	100	100	13~18	<sup>1)</sup> 38	<sup>1)</sup> 27	5.5	2.7
イスラエル (1982) <sup>1)</sup>	6~13	95	96	14~17	71	81	30.4	
日本 (1984)	6~14	100		15~17	91.3	93.6	<sup>5)</sup> 40.7	<sup>5)</sup> 22.9
韓国 (1983) <sup>1)</sup>	6~11	102	99	12~17	94	85	33.1	13.5
タイ (1982) <sup>1)</sup>	7~12	<sup>2)</sup> 99	<sup>2)</sup> 93	13~18	<sup>2)</sup> 30	<sup>2)</sup> 27	22.3	
オーストリア (1982) <sup>1)</sup>	6~9	99	98	10~17	73	76	26.8	21.6
フランス (1982) <sup>1)</sup>	6~10	113		11~17	87		26.9	
西ドイツ (1982) <sup>1)</sup>	6~9	184	173	10~18	47	53	34.3	26.0
ギリシア (1980)	6~11	99	99	12~17	<sup>1)</sup> 88	<sup>1)</sup> 79	<sup>4)</sup> 20.0	<sup>4)</sup> 13.7
イタリア (1982) <sup>1)</sup>	6~10	101		11~18	74		27.8	22.9
オランダ (1982)	6~11	89	92	12~17	83	85	35.8	26.9
ポーランド (1982)	7~14	99	99	15~18	66	72	13.7	17.6
スペイン (1981) <sup>1)</sup>	6~10	111	109	11~17	86	90	25.3	21.6
スウェーデン (1982) <sup>1)</sup>	7~12	98	99	13~18	80	90	38.2	
イギリス (1982)	5~10	<sup>3)</sup> 95	<sup>3)</sup> 95	11~17	<sup>3)</sup> 77	<sup>3)</sup> 81	19.4	
オーストラリア (1982)	6~11	99	100	12~16	81	83	28.0	24.5
ソビエト連邦 (1982) <sup>1)</sup>	7~11	107		12~16	97		21.2	

UNESCO, *Statistical Yearbook*, 1984年版による。ただし、日本は文部省資料による。各国の初等・中等教育該当年齡に対する在学者数の割合である。該当年齡人口階級以外の在学者数が含まれる場合には注記されている。高等教育の在学率は、各国の20~24歳人口に対する全人口の在学者数の割合である。

1) 該当年齡人口階級以外の在学者数を含む。2) 1980年。3) 1981年。4) 1979年。5) 18~21歳人口。

表101 主要国の男女別にみた文盲率：最新材料

(%)

国 (年)	総数	男	女	国 (年)	総数	男	女
エジプト (1976)	61.8	46.4	77.6	韓国 (1970)	12.4	5.6	19.0
ナイジェリア (1980)	66.0	54.4	77.0	マレーシア (1970) <sup>5)</sup>	42.0	30.9	53.2
メキシコ (1980)	17.3	<sup>3)</sup> 16.7	<sup>3)</sup> 21.2	フィリピン (1970)	17.4	15.7	19.1
アメリカ合衆国 (1979) <sup>1)</sup>	0.5	<sup>4)</sup> 1.1	<sup>4)</sup> 1.0	シンガポール (1980)	17.1	7.6	26.0
アルゼンチン (1970)	7.4	6.5	8.3	タイ (1980)	12.0	7.7	16.0
ブラジル (1978)	23.9	22.0	25.7	ギリシア (1971)	15.6	6.7	23.7
ペルー (1972)	27.5	16.7	38.2	ハンガリー (1980)	1.1	0.7	1.5
バングラデシュ (1974)	74.2	62.7	86.8	イタリア (1971)	6.1	4.7	7.4
ビルマ (1980)	34.1	24.1	43.7	ポーランド (1978)	1.2	0.7	1.7
インド (1981)*	63.8	53.3	75.1	ポルトガル (1970)	29.0	22.4	34.7
インドネシア (1980)	32.7	22.5	42.3	ルーマニア (1956)	11.4	6.1	16.3
イラン (1976)	63.5	51.8	75.6	スペイン (1981)	7.4	4.3	10.3
イスラエル (1972)	12.1	7.4	16.7	ユーゴスラビア (1971)	16.5	8.1	24.3
日本 (1980)	0.3	0.2	0.5	ソビエト連邦 (1979) <sup>2)</sup>	0.2	...	...

UNESCO, *Statistical Yearbook*, 1981~84年版による。ただし、日本の文盲率については調査されていないので、国勢調査(昭和55年)による未就学率(15歳以上で初等教育未了のもの割合)をもって代用している。外国の文盲率は、15歳以上人口に対する文盲人口の割合であるが、文盲とは、日常生活の簡単な内容についての読み書きができないものをいい、半文盲(読むことができるが書くことができないもの)を含む。

\*暫定値。1) 14歳以上。2) 9~49歳。3) 6歳以上。4) 1969年。5) 10歳以上。

表102 地方別にみた人口とその割合および人口密度の推移

地 方	人 口 (1,000人)						割 合 (%)			人口密度 (1km <sup>2</sup> につき) 昭和60年
	昭 和 25 年	昭 和 35 年	昭 和 45 年	昭 和 50 年	昭 和 55 年	昭 和* 60 年	昭 和 35 年	昭 和 50 年	昭 和 60 年	
全 国	84,115	94,302	104,665	111,940	117,060	121,047	100.0	100.0	100.0	325
北 海 道	4,296	5,039	5,184	5,338	5,576	5,679	5.3	4.8	4.7	72
東 北	9,022	9,326	9,031	9,233	9,572	9,730	9.9	8.2	8.0	145
北 関 東	5,191	5,139	5,382	5,797	6,199	6,512	5.4	5.2	5.4	345
南 関 東	13,051	17,864	24,113	27,042	28,699	30,272	18.9	24.2	25.0	2,243
北 陸・東 山	8,052	7,964	7,856	8,107	8,357	8,537	8.4	7.2	7.1	197
東 海	8,868	10,086	11,778	12,726	13,315	13,806	10.7	11.4	11.4	472
東 近 畿	2,607	2,626	2,863	3,135	3,376	3,548	2.8	2.8	2.9	285
西 近 畿	9,000	11,405	14,538	15,696	16,146	16,533	12.1	14.0	13.7	1,113
中 国	6,797	6,945	6,997	7,366	7,586	7,748	7.4	6.6	6.4	243
四 国	4,220	4,121	3,904	4,040	4,163	4,227	4.4	3.6	3.5	225
九州・沖 縄	13,012	13,787	13,017	13,460	14,072	14,455	14.6	12.0	11.9	326
南 関 東・東 海 ・西 近 畿 計	30,918	39,355	50,430	55,464	58,160	60,610	41.7	49.5	50.1	1,051

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在人口。ただし、昭和25年および35年の沖縄人口は12月1日現在（旧琉球政府の調べ）のものである。\*要計表による暫定集計結果。後掲の表110、111参照。

なお、地方の構成都道府県は次のとおりである。

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島。北関東：茨城、栃木、群馬。南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川。北陸・東山：新潟、富山、石川、福井、山梨、長野。東海：岐阜、静岡、愛知、三重。東近畿：滋賀、奈良、和歌山。西近畿：京都、大阪、兵庫。中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口。四国：徳島、香川、愛媛、高知。九州・沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄。

表103 地方別にみた人口増加の変動

地 方	年平均人口増加率 (%)					全国の人口増加数を100とした比率				
	昭和25 ~35年	昭和35 ~45年	昭和45 ~50年	昭和50 ~55年	昭和55 ~60年	昭和25 ~35年	昭和35 ~45年	昭和45 ~50年	昭和50 ~55年	昭和55 ~60年
全 国	1.15	1.05	1.35	0.90	0.67	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	1.61	0.28	0.59	0.88	0.37	7.3	1.4	2.1	4.6	2.6
東 北	0.33	-0.32	0.44	0.72	0.33	3.0	- 2.8	2.8	6.6	4.0
北 関 東	-0.10	0.46	1.49	1.35	0.99	- 0.5	2.3	5.7	7.9	7.9
南 関 東	3.19	3.05	2.32	1.20	1.07	47.2	60.3	40.3	32.4	39.5
北 陸・東 山	-0.11	-0.14	0.63	0.61	0.43	- 0.9	- 1.0	3.4	4.9	4.5
東 海	1.30	1.56	1.56	0.91	0.73	12.0	16.3	13.0	11.5	12.3
東 近 畿	0.07	0.87	1.84	1.49	1.00	0.2	2.3	3.7	4.7	4.3
西 近 畿	2.40	2.46	1.54	0.57	0.47	23.6	30.2	15.9	8.8	9.7
中 国	0.22	0.07	1.03	0.59	0.42	1.5	0.5	5.1	4.3	4.1
四 国	0.24	-0.54	0.69	0.60	0.31	- 1.0	- 2.1	1.9	2.4	1.6
九州・沖 縄	0.58	-0.57	0.67	0.89	0.54	7.6	- 7.4	6.1	12.0	9.6
南 関 東・東 海 ・西 近 畿 計	2.44	2.51	1.92	0.95	0.83	82.8	106.9	69.2	52.6	61.4

上表102の人口に対応する。その注記を参照。また後掲の表112も参照。

表104 人口規模階級別にみた市町村人口および増加率の推移

人口階級	市町 <sup>1)</sup> 村数 (昭60)	人 口 (1,000人)					人 口 増 加 率 (%) <sup>2)</sup>			
		昭 和 40 年	昭 和 45 年	昭 和 50 年	昭 和 55 年	昭 和 60 年 <sup>*</sup>	昭和40 ~45年	昭和45 ~50年	昭和50 ~55年	昭和55 ~60年
総 数	3,254	99,209	104,665	111,940	117,060	121,047	5.5	7.0	4.6	3.4
市	652	67,356	75,429	84,967	89,187	92,888	8.7	8.7	4.8	3.7
100万以上	11	19,398	20,856	23,265	23,298	24,881	3.2	2.5	0.1	2.5
50~100万	10	3,405	4,562	4,462	5,743	6,019	14.1	14.9	6.2	3.5
30~50万	39	5,582	7,890	11,995	13,709	14,852	13.1	13.6	7.4	4.6
20~30万	39	6,674	10,078	9,579	10,345	9,697	17.3	12.6	7.6	4.5
10~20万	104	10,922	10,416	12,209	12,965	14,200	15.0	12.7	7.0	4.9
5~10万	217	11,312	12,012	13,797	14,115	14,878	10.6	11.9	7.4	5.1
3~5万	179	9,302	8,416	8,454	7,764	7,019	0.3	4.7	2.9	1.3
3万未満	53	762	1,197	1,207	1,248	1,341	-8.5	-5.4	-1.8	-2.1
町村	2,602	31,853	29,237	26,972	27,873	28,160	-1.9	1.8	4.0	2.4
3万以上	83	1,725	2,009	1,344	2,278	3,083	41.4	37.4	24.1	12.3
2~3万	238	5,903	5,081	5,184	5,536	5,721	3.2	8.0	8.2	5.4
1~2万	771	14,092	12,337	11,341	11,277	10,732	-2.7	1.6	3.4	1.9
5千~1万	940	8,835	8,300	7,438	7,051	6,855	8.0	-3.7	-1.1	-1.1
5千未満	570	1,298	1,509	1,666	1,731	1,769	-14.0	-9.2	-5.0	-4.3

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の人口。\*要計表による暫定集計値。

1) 東京都特別区部は1市として計算。2) 期末時の人口規模別境域による増減(各5年間)。

表105 市部・郡部別にみた人口とその割合および市町村数の推移

年 次	人 口 (1,000人)		割 合 (%)		市 町 村 数		
	市 部	郡 部	市 部	郡 部	総 数 <sup>3)</sup>	市 <sup>3)</sup>	町 村
大 正 9	10,097	45,866	18.0	82.0	12,244	83	12,161
14	12,897	46,840	21.6	78.4	12,018	101	11,917
昭 和 5	15,444	49,006	24.0	76.0	11,864	109	11,755
10	22,666	46,588	32.7	67.3	11,545	127	11,418
15	27,578	45,537	37.7	62.3	11,190	168	11,022
20 <sup>1)</sup>	20,022	51,976	27.8	72.2	10,536	206	10,330
22 <sup>1)</sup>	25,858	52,244	33.1	66.9	10,505	214	10,291
25	31,366	52,749	37.3	62.7	10,500	254	10,246
30	50,532	39,544	56.1	43.9	4,877	496	4,381
35 <sup>2)</sup>	59,678	34,622	63.3	36.7	3,574	561	3,013
40	67,356	31,853	67.9	32.1	3,435	567	2,868
45	75,429	29,237	72.1	27.9	3,331	588	2,743
50	84,967	26,972	75.9	24.1	3,257	644	2,613
55	89,187	27,873	76.2	23.8	3,256	647	2,609
60 <sup>*</sup>	92,888	28,160	76.7	23.3	3,254	652	2,602

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在(ただし、昭和20年は11月1日現在の人口調査による)の数値。\*人口は、要計表による暫定集計値。

1) 沖縄を含まない。2) 長野県と岐阜県の間の境界紛争地域の人口(73人)と岡山県児島湾干拓第7区の人口(1,200人)は、全国に含まれているが、市部または郡部には含まれていない。3) 東京都特別区部は1市として計算されている。

表106 市部・郡部別にみた人口集中地区人口、面積および人口密度の推移

年次	人口集中地区人口 (1,000人)			人口集中地区面積 (km <sup>2</sup> )		
	全 国	市 部	郡 部	全 国	市 部	郡 部
昭和 35 <sup>1)</sup>	40,830	38,649	2,181	3,865	3,556	310
40 <sup>1)</sup>	47,261	44,605	2,656	4,605	4,228	377
45	55,997	52,704	3,293	6,444	5,897	548
50	63,823	60,972	2,850	8,275	7,737	538
55	69,935	66,359	3,576	10,016	9,277	738

年次	全域に占める人口集中地区の割合 (%)				人口集中地区人口密度		
	人 口			面 積	(1km <sup>2</sup> につき)		
	全 国	市 部	郡 部		全 国	市 部	郡 部
昭和 35 <sup>1)</sup>	43.7	65.1	6.4	1.03	10,563	10,869	7,048
40 <sup>1)</sup>	48.1	66.7	8.5	1.23	10,263	10,549	7,053
45	53.5	69.9	11.3	1.71	8,690	8,938	6,013
50	57.0	71.8	10.6	2.19	7,712	7,880	5,298
55	59.7	74.4	12.8	2.65	6,983	7,153	4,844

総務庁統計局【国勢調査報告】による。「人口集中地区」とは、国勢調査の調査区のうち、人口密度が1平方キロメートル当たり、約4,000人以上の地域が市区町村内で互いに隣接して、人口5,000人以上の地区を構成している場合、これらの調査区の集まりを言う。各年10月1日現在のもの。1) 沖縄県を含まない。

表107 東京、大阪、名古屋の50キロ圏の人口とその割合の推移

地 域	人 口 (1,000人)				地域別人口割合 (%)			面積 <sup>1)</sup> (km <sup>2</sup> ) 昭和 55年	地域別 面積割 合(%) 昭和 55年	人口密度 (1km <sup>2</sup> に つき) 昭和 55年
	昭和 35年	昭和 45年	昭和 50年	昭和 55年	昭和 35年	昭和 50年	昭和 55年			
東京50キロ圏	15,788	21,954	24,761	26,343	16.7	22.1	22.5	7,654	2.1	3,442
大阪50キロ圏	10,323	13,640	14,872	15,422	10.9	13.3	13.2	7,407	2.0	2,082
名古屋50キロ圏	5,392	6,774	7,430	7,828	5.7	6.6	6.7	7,320	2.0	1,069
50キロ圏計	31,503	42,368	47,063	49,593	33.4	42.0	42.4	22,381	6.0	2,216
その他の地域	62,799	62,297	64,877	67,468	66.6	58.0	57.6	350,331	94.0	193
全 国	94,302	104,665	111,940	117,060	100.0	100.0	100.0	372,712	100.0	314

総務庁統計局【国勢調査報告】による。各年10月1日現在で、東京都庁、大阪市役所、名古屋市役所を中心としたそれぞれ半径50キロメートルの円内にある地域である。

1) 歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島および竹島は除いている。

表108 東京、大阪、名古屋の50キロ圏の人口増加の変動

地 域	人口増加数 (1,000人)				人口増加率 (%)				全国の人口増加を 100とした比率	
	昭和35 ~40年	昭和40 ~45年	昭和45 ~50年	昭和50 ~55年	昭和35 ~40年	昭和40 ~45年	昭和45 ~50年	昭和50 ~55年	昭和35 ~40年	昭和50 ~55年
東京50キロ圏	3,111	3,011	2,789	1,582	19.7	15.9	12.7	6.4	63.4	30.9
大阪50キロ圏	1,741	1,569	1,232	543	16.9	13.0	9.0	3.6	35.5	10.6
名古屋50キロ圏	698	679	656	398	12.9	11.1	9.7	5.4	14.2	7.8
50キロ圏計	5,550	5,259	4,677	2,522	17.6	14.2	11.0	5.4	113.1	49.3
その他の地域	-643	<sup>1)</sup> 196	2,598	2,598	-1.0	0.3	4.2	4.0	-13.1	50.7
全 国	4,908	<sup>1)</sup> 5,455	7,274	5,118	5.2	5.5	7.0	4.6	100.0	100.0

総務庁統計局【国勢調査報告】による。各期間(5年間)の期末時の境域による。上表を参照。

1) 小笠原村(782人)の復帰による人口増を除く。

表109 人口20万以上の市の人口および人口増加率：昭和60年

都 市 (所属府県)	昭 和 60 年 人 口	昭和55~60年 増 加 率 (%)	都 市 (所属府県)	昭 和 60 年 人 口	昭和55~60年 増 加 率 (%)
特別区部 (東京)	8,353,674	0.0	奈良 (奈良)	327,702	10.0
横 浜 (神奈川)	2,992,644	7.9	高 松 (香 川)	327,001	3.3
大 阪 (大 阪)	2,636,260	- 0.5	豊 橋 (愛 知)	322,142	5.9
名 古 屋 (愛 知)	2,116,350	1.4	町 田 (東 京)	321,182	8.7
札 幌 (北海道)	1,542,979	10.1	函 館 (北海道)	319,190	- 0.3
京 都 都 (京 都)	1,479,125	0.4	富 山 (富 山)	314,111	3.0
神 戸 (兵 庫)	1,410,843	3.2	高 知 (高 知)	312,253	3.8
福 岡 (福 岡)	1,160,402	6.6	豊 田 (愛 知)	308,106	9.4
川 崎 (神奈川)	1,088,611	4.6	那 覇 (沖 縄)	303,680	2.7
北 九 州 (福 岡)	1,056,400	- 0.8	郡 山 (福 島)	301,672	5.3
広 島 (広 島)	1,044,129	5.8	秋 田 (秋 田)	296,381	4.0
堺 (大 阪)	818,368	1.0	青 森 (青 森)	294,050	2.2
千 葉 (千 葉)	788,920	5.7	川 越 (埼 玉)	285,435	10.1
仙 台 (宮 城)	700,248	5.3	岡 崎 (愛 知)	284,996	8.6
岡 山 (岡 山)	572,423	4.9	宮 崎 (宮 崎)	279,118	5.4
熊 本 (熊 本)	555,722	5.7	前 橋 (群 馬)	277,319	4.6
鹿 児 島 (鹿 児 島)	530,496	5.0	八 尾 (大 阪)	276,397	1.4
東 大 阪 (大 阪)	522,798	0.2	所 沢 (埼 玉)	275,165	16.4
浜 松 (静 岡)	514,118	4.7	柏 (千 葉)	273,130	14.2
尼 崎 (兵 庫)	509,115	- 2.8	福 島 (福 島)	270,752	3.0
船 橋 (千 葉)	506,967	5.7	下 関 (山 口)	269,167	0.1
相 模 原 (神奈川)	482,778	9.9	明 石 (兵 庫)	263,365	3.3
新 潟 (新 潟)	475,633	3.9	四 日 市 (三 重)	263,003	3.0
静 岡 (静 岡)	468,362	2.2	寝 屋 川 (大 阪)	258,230	0.9
姫 路 (兵 庫)	452,916	1.5	徳 島 (徳 島)	257,886	3.4
長 崎 (長 崎)	449,382	0.5	宮 崎 (愛 知)	257,392	1.7
金 沢 (石 川)	430,480	3.1	一 井 (愛 知)	256,991	5.3
松 戸 (千 葉)	427,479	6.6	春 越 谷 (埼 玉)	253,483	13.5
横 須 賀 (神奈川)	427,087	1.4	佐 世 保 (長 崎)	250,635	- 0.2
八 王子 (東 京)	426,650	10.2	茨 木 (大 阪)	250,468	7.0
松 山 (愛 媛)	426,646	6.2	福 井 (福 井)	250,261	3.9
西 宮 (兵 庫)	421,267	2.7	山 形 (山 形)	245,159	3.4
倉 敷 (岡 山)	413,644	2.4	清 水 (静 岡)	242,166	0.2
豊 中 (大 阪)	413,219	2.5	八 戸 (青 森)	241,428	1.4
岐 阜 (岐 阜)	411,740	0.3	市 原 (千 葉)	237,618	9.8
宇 都 宮 (栃 木)	405,384	7.3	盛 岡 (岩 手)	235,469	2.8
川 口 (埼 玉)	403,012	6.2	大 津 (滋 賀)	234,547	8.9
和 歌 山 (和 歌 山)	401,357	0.1	高 崎 (群 馬)	231,764	4.7
市 川 (千 葉)	397,806	9.2	平 塚 (神奈川)	229,976	7.3
大 分 (大 分)	390,105	8.2	水 戸 (茨 城)	228,987	6.2
枚 方 (大 阪)	382,257	8.2	加 古 川 (兵 庫)	227,312	7.1
浦 和 (埼 玉)	377,233	5.3	古 呉 (広 島)	226,489	- 3.4
大 宮 (埼 玉)	373,015	5.3	久 留 米 (福 岡)	222,848	2.7
旭 川 (北海道)	363,630	3.1	釧 路 (北海道)	214,545	- 0.1
福 山 (広 島)	360,264	4.1	富 士 (静 岡)	214,451	4.2
い わ き (福 島)	350,566	2.5	沼 津 (静 岡)	210,484	3.3
吹 田 (大 阪)	348,946	5.0	日 立 (茨 城)	206,075	0.7
高 槻 (大 阪)	348,783	2.4	甲 府 (山 梨)	202,405	1.6
長 野 (長 野)	336,967	3.9	府 中 (東 京)	201,972	5.1
藤 沢 (神奈川)	328,387	9.4			

総務庁統計局『昭和60年国勢調査 全国都道府県市区町村別人口(要計表による人口) 昭和60年10月1日現在』(昭60.12)による。この人口は、昭和60年国勢調査における要計表を基に集計した暫定数値である。増加率は、昭和60年10月1日現在の境域に組み替え統一した55年10月1日国勢調査人口との間におけるもの。配列は人口の大きい順。



表110 都道府県別にみた男女別人口、人口密度および人口増加率：昭和60年

都道府県	人		口	人口の地域 別割合 (%)	人口性比 (女100につき男)	人口密度 (1km <sup>2</sup> 当たり)	人口増加率 昭和55~60 年 (%)
	総	数	男				
全 国	121,047,196	59,495,663	61,551,533	100.0	96.7	325	3.4
北海道	5,679,432	2,766,277	2,913,155	4.7	95.0	72	1.9
青森	1,524,442	731,404	793,038	1.3	92.2	159	0.0
岩手	1,433,606	691,696	741,910	1.2	93.2	94	0.8
宮城	2,176,290	1,071,755	1,104,535	1.8	97.0	298	4.5
秋田	1,254,010	599,544	654,466	1.0	91.6	108	-0.2
山形	1,261,666	609,400	652,266	1.0	93.4	135	0.8
福島	2,080,293	1,012,477	1,067,816	1.7	94.8	151	2.2
茨城	2,725,004	1,357,902	1,367,102	2.3	99.3	447	6.5
栃木	1,866,065	924,227	941,838	1.5	98.1	291	4.1
群馬	1,921,271	946,991	974,280	1.6	97.2	302	3.9
埼玉	5,863,669	2,961,551	2,902,118	4.8	102.0	1,543	8.2
千葉	5,148,150	2,588,338	2,559,812	4.3	101.1	1,000	8.7
東京	11,828,262	5,954,470	5,873,792	9.8	101.4	5,472	1.8
神奈川	7,431,621	3,803,857	3,627,764	6.1	104.9	3,094	7.3
新潟	2,478,463	1,205,076	1,273,387	2.0	94.6	197	1.1
富山	1,118,364	538,945	579,419	0.9	93.0	263	1.4
石川	1,152,326	557,668	594,658	1.0	93.8	275	3.0
福井	817,639	397,104	420,535	0.7	94.4	195	2.9
山梨	832,824	407,872	424,952	0.7	96.0	187	3.6
長野	2,136,921	1,037,999	1,098,922	1.8	94.5	157	2.5
岐阜	2,028,534	986,918	1,041,616	1.7	94.7	191	3.5
静岡	3,574,677	1,759,459	1,815,218	3.0	96.9	460	3.7
愛知	6,455,121	3,228,711	3,226,410	5.3	100.1	1,257	3.8
三重	1,747,314	847,407	899,907	1.4	94.2	302	3.6
滋賀	1,155,843	568,701	587,142	1.0	96.9	288	7.0
京都	2,586,455	1,263,934	1,322,521	2.1	95.6	561	2.3
大阪	8,668,114	4,286,474	4,381,640	7.2	97.8	4,643	2.3
兵庫	5,278,062	2,567,852	2,710,210	4.4	94.7	630	2.6
奈良	1,304,965	633,014	671,951	1.1	94.2	353	7.9
和歌山	1,087,191	520,168	567,023	0.9	91.7	230	0.0
鳥取	616,025	295,498	320,527	0.5	92.2	176	2.0
島根	794,585	382,855	411,730	0.7	93.0	120	1.2
岡山	1,916,839	926,159	990,680	1.6	93.5	270	2.4
広島	2,819,177	1,373,848	1,445,329	2.3	95.1	333	2.9
山口	1,601,629	763,791	837,838	1.3	91.2	262	0.9
徳島	834,906	399,675	435,231	0.7	91.8	201	1.2
香川	1,022,567	492,725	529,842	0.8	93.0	543	2.3
愛媛	1,529,978	728,433	801,545	1.3	90.9	270	1.5
高知	839,800	398,430	441,370	0.7	90.3	118	1.0
福岡	4,719,225	2,270,491	2,448,734	3.9	92.7	952	3.6
佐賀	880,018	417,309	462,709	0.7	90.2	362	1.7
長崎	1,593,966	757,572	836,394	1.3	90.6	388	0.2
熊本	1,837,750	872,899	964,851	1.5	90.5	248	2.6
大分	1,250,217	593,031	657,186	1.0	90.2	197	1.7
宮崎	1,175,547	558,309	617,238	1.0	90.5	152	2.1
鹿児島	1,819,258	856,481	962,777	1.5	89.0	199	1.9
沖縄	1,179,115	580,966	598,149	1.0	97.1	523	6.6

総務庁統計局「昭和60年国勢調査 全国都道府県市区町村別人口(要計表による人口)昭和60年10月1日現在」(昭60.12)による。人口増加率は昭和55年10月~60年9月間。ここに示された人口は、昭和60年国勢調査の調査書類として都道府県および市町村から提出された要計表を基にして得られたものである。したがって、後日個々の調査票に基づく集計から得られる人口(確定数)とは、必ずしも一致しない。なお、人口密度の算出に用いられた面積は、建設省国土地理院「昭和59年全国都道府県市区町村別面積調」による。

表111 都道府県別にみた人口の推移

都道府県	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和20年	昭和22年
全国	55,963,053	59,736,822	64,450,005	69,254,148	73,114,308	71,998,104	78,101,473
北海道	2,359,183	2,498,679	2,812,335	3,068,282	3,272,718	3,518,389	3,852,821
青森	756,454	812,977	879,914	967,129	1,000,509	1,083,250	1,180,245
岩手	845,540	900,984	975,771	1,046,111	1,095,793	1,227,789	1,262,743
宮城	961,768	1,044,036	1,142,784	1,234,801	1,271,238	1,462,254	1,566,831
秋田	898,537	936,408	987,706	1,037,744	1,052,275	1,211,871	1,257,398
山形	968,925	1,027,297	1,080,034	1,116,822	1,119,338	1,326,350	1,335,653
福島	1,362,750	1,437,596	1,508,150	1,581,563	1,625,521	1,957,356	1,992,460
茨城	1,350,400	1,409,092	1,487,097	1,548,991	1,620,000	1,944,344	2,013,735
栃木	1,046,479	1,090,428	1,141,737	1,195,057	1,206,657	1,546,355	1,534,311
群馬	1,052,610	1,118,858	1,186,080	1,242,453	1,299,027	1,546,081	1,572,787
埼玉	1,319,533	1,394,461	1,459,172	1,528,854	1,608,039	2,047,261	2,100,453
千葉	1,336,155	1,399,257	1,470,121	1,546,394	1,588,425	1,966,862	2,112,917
東京	3,699,428	4,485,144	5,408,678	6,369,919	7,354,971	3,488,284	5,000,777
神奈川	1,323,390	1,416,792	1,619,606	1,840,005	2,188,974	1,865,667	2,218,120
新潟	1,776,474	1,849,807	1,933,326	1,995,777	2,064,402	2,389,653	2,418,271
富山	724,276	749,243	778,953	798,890	822,569	953,834	979,229
石川	747,360	750,854	756,835	768,416	757,676	887,510	927,743
福井	599,155	597,899	618,144	646,659	643,904	724,856	726,264
山梨	583,453	600,675	631,042	646,727	663,026	839,057	807,251
長野	1,562,722	1,629,217	1,717,118	1,714,000	1,710,729	2,121,050	2,060,010
岐阜	1,070,407	1,132,557	1,178,405	1,225,799	1,265,024	1,518,649	1,493,644
静岡	1,550,387	1,671,217	1,797,805	1,939,860	2,017,860	2,220,358	2,353,005
愛知	2,089,762	2,319,494	2,567,413	2,862,701	3,166,592	2,857,851	3,122,902
三重	1,069,270	1,107,692	1,157,407	1,174,595	1,198,783	1,394,286	1,416,494
滋賀	651,050	662,412	691,631	711,436	703,679	860,911	858,367
京都	1,287,147	1,406,382	1,552,832	1,702,508	1,729,993	1,603,796	1,739,084
大阪	2,587,847	3,059,502	3,540,017	4,297,174	4,792,966	2,800,958	3,334,659
兵庫	2,301,799	2,454,679	2,646,301	2,923,249	3,221,232	2,821,892	3,057,444
奈良	564,607	583,828	596,225	620,471	620,509	779,685	779,935
和歌山	750,411	787,511	830,748	864,087	865,074	936,006	959,999
鳥取	454,675	472,230	489,266	490,461	484,390	563,220	587,606
島根	714,712	722,402	739,507	747,119	740,940	860,275	894,267
岡山	1,217,698	1,238,447	1,283,962	1,332,647	1,329,358	1,564,626	1,619,622
広島	1,541,905	1,617,680	1,692,136	1,804,916	1,869,504	1,885,471	2,011,498
山口	1,041,013	1,094,544	1,135,637	1,190,542	1,294,242	1,356,491	1,479,244
徳島	670,212	689,814	716,544	728,748	718,717	835,763	854,811
香川	677,852	700,308	732,816	748,656	730,394	863,700	917,673
愛媛	1,046,720	1,096,366	1,142,122	1,164,898	1,178,705	1,361,484	1,453,887
高知	670,895	687,478	718,152	714,980	709,286	775,578	848,337
福岡	2,188,249	2,301,668	2,527,119	2,755,804	3,094,132	2,746,855	3,178,134
佐賀	673,895	684,831	691,565	686,117	701,517	830,431	917,797
長崎	1,136,182	1,163,945	1,233,362	1,296,883	1,370,063	1,318,589	1,531,674
熊本	1,233,233	1,296,086	1,353,993	1,387,054	1,368,179	1,556,490	1,765,726
大分	860,282	915,136	945,771	980,458	972,975	1,124,513	1,233,651
宮崎	651,097	691,094	760,467	824,431	840,357	913,687	1,025,689
鹿児島	1,415,582	1,472,193	1,556,690	1,591,466	1,589,467	1,538,466	1,746,305
沖縄	571,572	557,622	577,509	592,494	574,579	...	...

総理府（現総務庁）統計局『昭和55年国勢調査報告 第1巻 人口総数』（昭57.8）による。各年10月1日（20年は11月1日）現在の人口。都道府県間の境界変更がかなりあるが、特に北海道、東京都、島根県および鹿児島県については、各年の地域範囲に差異があるので注意を要する。大正9年～昭和15年、22年～55年は国勢調査、昭和20年は人口調査による人口。（次ページにつづく）

表111 都道府県別にみた人口の推移（つづき）

都道府県	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
全 国	84, 114, 574	90, 076, 594	<sup>1)</sup> 94, 301, 623	99, 209, 137	104, 665, 171	111, 939, 643	117, 060, 396
北海道	4, 295, 567	4, 773, 087	5, 039, 206	5, 171, 800	5, 184, 287	5, 338, 206	5, 575, 989
青 森	1, 282, 867	1, 382, 523	1, 426, 606	1, 416, 591	1, 427, 520	1, 468, 646	1, 523, 907
岩 手	1, 346, 728	1, 427, 097	1, 448, 517	1, 411, 118	1, 371, 383	1, 385, 563	1, 421, 927
宮 城	1, 663, 442	1, 727, 065	1, 743, 195	1, 753, 126	1, 819, 223	1, 955, 267	2, 082, 320
秋 田	1, 309, 031	1, 348, 871	1, 335, 580	1, 279, 835	1, 241, 376	1, 232, 481	1, 256, 745
山 形	1, 357, 347	1, 353, 649	1, 320, 664	1, 263, 103	1, 225, 618	1, 220, 302	1, 251, 917
福 島	2, 062, 394	2, 095, 237	2, 051, 137	1, 983, 754	1, 946, 077	1, 970, 616	2, 035, 272
茨 城	2, 039, 418	2, 064, 037	2, 047, 024	2, 056, 154	2, 143, 551	2, 342, 198	2, 558, 007
栃 木	1, 550, 462	1, 547, 580	1, 513, 624	1, 521, 656	1, 580, 021	1, 698, 003	1, 792, 201
群 馬	1, 601, 380	1, 613, 549	1, 578, 476	1, 605, 584	1, 658, 909	1, 756, 480	1, 848, 562
埼 玉	2, 146, 445	2, 262, 623	2, 430, 871	3, 014, 983	3, 866, 472	4, 821, 340	5, 420, 480
千 葉	2, 139, 037	2, 205, 060	2, 306, 010	2, 701, 770	3, 366, 624	4, 149, 147	4, 735, 424
東 京	6, 277, 500	8, 037, 084	9, 683, 802	10, 869, 244	11, 408, 071	11, 673, 554	11, 618, 281
神奈川	2, 487, 665	2, 919, 497	3, 443, 176	4, 430, 743	5, 472, 247	6, 397, 748	6, 924, 348
新 潟	2, 460, 997	2, 473, 492	2, 442, 037	2, 398, 931	2, 360, 982	2, 391, 938	2, 451, 357
富 山	1, 008, 790	1, 021, 121	1, 032, 614	1, 025, 465	1, 029, 695	1, 070, 791	1, 103, 459
石 川	957, 279	966, 187	973, 418	980, 499	1, 002, 420	1, 069, 872	1, 119, 304
福 井	752, 374	754, 055	752, 696	750, 557	744, 230	773, 599	794, 354
山 梨	811, 369	807, 044	782, 062	763, 194	762, 029	783, 050	804, 256
長 野	2, 060, 831	2, 021, 292	<sup>1)</sup> 1, 981, 433	1, 958, 007	1, 956, 917	2, 017, 564	2, 083, 934
岐 阜	1, 544, 538	1, 583, 605	<sup>1)</sup> 1, 638, 399	1, 700, 365	1, 758, 954	1, 867, 978	1, 960, 107
静 岡	2, 471, 472	2, 650, 435	2, 756, 271	2, 912, 521	3, 089, 895	3, 308, 799	3, 446, 804
愛 知	3, 390, 585	3, 769, 209	4, 206, 313	4, 798, 653	5, 386, 163	5, 923, 569	6, 221, 638
三 重	1, 461, 197	1, 485, 582	1, 485, 054	1, 514, 467	1, 543, 083	1, 626, 002	1, 686, 936
滋 賀	861, 180	853, 734	842, 695	853, 385	889, 768	985, 621	1, 079, 898
京 都	1, 832, 934	1, 935, 161	1, 993, 403	2, 102, 808	2, 250, 087	2, 424, 856	2, 527, 330
大 阪	3, 857, 047	4, 618, 308	5, 504, 746	6, 657, 189	7, 620, 480	8, 278, 925	8, 473, 446
兵 庫	3, 309, 935	3, 620, 947	3, 906, 487	4, 309, 944	4, 667, 928	4, 992, 140	5, 144, 892
奈 良	763, 883	776, 861	781, 058	825, 965	930, 160	1, 077, 491	1, 209, 365
和歌山	982, 113	1, 006, 819	1, 002, 191	1, 026, 975	1, 042, 736	1, 072, 118	1, 087, 012
取 締	600, 177	614, 259	599, 135	579, 853	568, 777	581, 311	604, 221
島 根	912, 551	929, 066	888, 886	821, 620	773, 575	768, 886	784, 795
岡 山	1, 661, 099	1, 689, 800	1, 670, 454	1, 645, 135	1, 707, 026	1, 814, 305	1, 871, 023
広 島	2, 081, 967	2, 149, 044	2, 184, 043	2, 281, 146	2, 436, 135	2, 646, 324	2, 739, 161
山 口	1, 540, 882	1, 609, 839	1, 602, 207	1, 543, 573	1, 511, 448	1, 555, 218	1, 587, 079
徳 島	878, 511	878, 109	847, 274	815, 115	791, 111	805, 166	825, 261
香 川	946, 022	943, 823	918, 867	900, 845	907, 897	961, 292	999, 864
愛 媛	1, 521, 878	1, 540, 628	1, 500, 687	1, 446, 384	1, 418, 124	1, 465, 215	1, 506, 637
高 知	873, 874	882, 683	854, 595	812, 714	786, 882	808, 397	831, 275
福 岡	3, 530, 169	3, 859, 764	4, 006, 679	3, 964, 611	4, 027, 416	4, 292, 963	4, 553, 461
佐 賀	945, 082	973, 749	942, 874	871, 885	838, 468	837, 674	865, 574
長 崎	1, 645, 492	1, 747, 596	1, 760, 421	1, 641, 245	1, 570, 245	1, 571, 912	1, 590, 564
熊 本	1, 827, 582	1, 895, 663	1, 856, 192	1, 770, 736	1, 700, 229	1, 715, 273	1, 790, 327
大 分	1, 252, 999	1, 277, 199	1, 239, 655	1, 187, 480	1, 155, 566	1, 190, 314	1, 228, 913
宮 崎	1, 091, 427	1, 139, 384	1, 134, 590	1, 080, 692	1, 051, 105	1, 085, 055	1, 151, 587
鹿 児 島	1, 804, 118	2, 044, 112	1, 963, 104	1, 853, 541	1, 729, 150	1, 723, 902	1, 784, 623
沖 縄	914, 937	801, 065	883, 122	934, 176	945, 111	1, 042, 572	1, 106, 559

日本に復帰以前の沖縄も人口のわかる年次は含めているが、昭和25～35年は12月1日現在の琉球政府調べによる。なお、25年は奄美群島（人口216,110）を含んでおり、同年の鹿児島県には奄美群島は含んでいない。<sup>1)</sup>長野県西筑摩郡山口村と岐阜県中津川市間の境界紛争地域人口（73人）は、全国に含まれているが、長野県および岐阜県のいずれにも含まれていない（その後この地域は長野県に含まれることとなった）。

表112 都道府県別にみた人口増加率（年平均）の変動

（%）

都道府県	大正9 ～14年	大正14～ 昭和5年	昭和5 ～10年	昭和10 ～15年	昭和15 ～20年	昭和20 ～25年	昭和25 ～30年	昭和30 ～35年	昭和35 ～40年	昭和40 ～45年	昭和45 ～50年	昭和50 ～55年
全 国	1.31	1.53	1.45	1.09	0.15	2.98	1.38	0.92	1.02	1.08	1.35	0.90
北海道	1.16	2.39	1.76	1.30	1.43	4.14	2.13	1.09	0.52	0.05	0.59	0.88
青森	1.45	1.60	1.91	0.68	1.58	3.50	1.51	0.63	-0.14	0.15	0.57	0.74
岩手	1.28	1.61	1.40	0.93	2.26	1.90	1.17	0.30	-0.52	-0.57	0.21	0.52
宮城	1.66	1.82	1.56	0.58	2.79	2.66	0.75	0.19	0.11	0.74	1.45	1.27
秋田	0.83	1.07	0.99	0.28	2.82	1.58	0.60	-0.20	-0.85	-0.61	-0.14	0.39
山形	1.18	1.01	0.67	0.05	3.39	0.47	-0.05	-0.49	-0.89	-0.60	-0.09	0.51
福島	1.08	0.96	0.96	0.55	3.72	1.07	0.32	-0.42	-0.67	-0.38	0.25	0.65
茨城	0.85	1.08	0.82	0.90	3.66	0.98	0.24	-0.17	0.09	0.84	1.79	1.78
栃木	0.83	0.92	0.92	0.19	5.00	0.05	-0.04	-0.44	0.11	0.76	1.45	1.09
群馬	1.23	1.17	0.93	0.89	3.48	0.72	0.15	-0.44	0.34	0.66	1.15	1.03
埼玉	1.11	0.91	0.94	1.02	4.87	0.97	1.06	1.44	4.40	5.10	4.51	2.37
千葉	0.93	0.99	1.02	0.54	4.29	1.72	0.61	0.90	3.22	4.50	4.27	2.68
東京	3.93	3.82	3.33	2.92	-13.65	12.69	5.07	3.80	2.34	0.97	0.46	-0.09
神奈川	1.37	2.71	2.58	3.53	-3.09	6.03	3.25	3.35	5.17	4.31	3.17	1.59
新潟	0.81	0.89	0.64	0.68	2.92	0.60	0.10	-0.26	-0.36	-0.32	0.26	0.49
富山	0.68	0.78	0.51	0.59	2.96	1.15	0.24	0.22	-0.14	0.08	0.79	0.60
石川	0.09	0.16	0.30	-0.28	3.16	1.55	0.19	0.15	0.15	0.44	1.31	0.91
福井	-0.04	0.67	0.91	-0.09	2.36	0.76	0.04	-0.04	-0.06	-0.17	0.78	0.53
山梨	0.58	0.99	0.49	0.50	4.74	-0.68	-0.11	-0.63	-0.49	-0.03	0.55	0.54
長野	0.84	1.06	-0.04	-0.04	4.32	-0.58	-0.39	-0.40	-0.24	-0.01	0.61	0.65
岐阜	1.14	0.80	0.79	0.63	3.66	0.34	0.50	0.68	0.75	0.68	1.21	0.97
静岡	1.51	1.47	1.53	0.79	1.90	2.20	1.41	0.79	1.11	1.19	1.38	0.82
愛知	2.11	2.05	2.20	2.04	-2.00	3.54	2.14	2.22	2.67	2.34	1.92	0.99
三重	0.71	0.88	0.30	0.41	3.02	0.96	0.33	-0.01	0.39	0.38	1.05	0.74
滋賀	0.35	0.87	0.57	-0.22	4.05	0.01	-0.17	-0.26	0.25	0.84	2.07	1.84
京都	1.79	2.00	1.86	0.32	-1.48	2.75	1.09	0.59	1.07	1.36	1.51	0.83
大阪	3.41	2.96	3.95	2.21	-10.03	6.72	3.67	3.57	3.87	2.74	1.67	0.47
兵庫	1.29	1.51	2.01	1.96	-2.57	3.30	1.81	1.53	1.99	1.61	1.35	0.60
奈良	0.67	0.42	0.80	0.00	4.59	-0.42	0.34	0.11	1.12	2.40	2.98	2.34
和歌山	0.97	1.07	0.79	0.02	1.56	0.98	0.50	-0.09	0.49	0.31	0.56	0.28
鳥取	0.76	0.71	0.05	-0.25	3.01	1.30	0.46	-0.50	-0.65	-0.38	0.44	0.78
島根	0.21	0.47	0.21	-0.17	2.98	1.21	0.36	-0.88	-1.56	-1.20	-0.12	0.41
岡山	0.34	0.72	0.75	-0.05	3.26	1.22	0.34	-0.23	-0.30	0.74	1.23	0.62
広島	0.96	0.90	1.30	0.71	0.17	2.04	0.64	0.32	0.87	1.32	1.67	0.69
山口	1.01	0.74	0.95	1.68	0.93	2.63	0.88	-0.09	-0.74	-0.42	0.57	0.41
徳島	0.58	0.76	0.34	-0.28	3.01	1.02	-0.01	-0.71	-0.77	-0.60	0.35	0.49
香川	0.65	0.91	0.43	-0.49	3.35	1.87	-0.05	-0.53	-0.40	0.16	1.15	0.79
愛媛	0.93	0.82	0.40	0.24	2.88	2.29	0.25	-0.52	-0.73	-0.39	0.66	0.56
高知	0.49	0.88	-0.09	-0.16	1.77	2.46	0.20	-0.64	-1.00	-0.64	0.54	0.56
福岡	1.02	1.89	1.75	2.34	-2.31	5.24	1.80	0.75	-0.21	0.31	1.29	1.19
佐賀	0.32	0.20	-0.16	0.44	3.37	2.67	0.60	-0.64	-1.55	-0.78	-0.02	0.66
長崎	0.48	1.17	1.01	1.10	-0.75	4.61	1.21	0.15	-1.39	-0.88	0.02	0.24
熊本	1.00	0.88	0.48	-0.27	2.57	3.32	0.73	-0.42	-0.94	-0.81	0.18	0.86
大分	1.24	0.66	0.72	-0.15	2.89	2.22	0.38	-0.59	-0.86	-0.54	0.59	0.64
宮崎	1.20	1.93	1.63	0.38	1.66	3.68	0.86	-0.08	-0.97	-0.55	0.64	1.20
鹿児島	0.79	1.12	0.44	-0.03	-0.64	3.29	0.24	-0.81	-1.14	-1.38	-0.06	0.69
沖縄	-0.49	0.70	0.51	-0.61	…	…	2.77	1.97	1.13	0.23	1.98	1.20

前表（表111）の人口に基づいて算定した年平均増加率である。 $(\sqrt[N]{P_1/P_0}-1) \times 100$ によって計算。ただし、 $P_0$ 、 $P_1$ はそれぞれ期初、期末人口、 $N$ は期間。

1) 昭和20年の沖縄人口は不明なので、この両期間は沖縄県を除いて算出。

2) 昭和25年の奄美群島の人口（前表参照）は鹿児島県に含めて算出した。

表113 都道府県別にみた人口および増加率の将来予測

都道府県	人 口 (1,000人)					年平均人口増加率 (%)			
	昭和55年 <sup>1)</sup>	昭和60年	昭和65年	昭和70年	昭和75年	昭和55～60年	昭和60～65年	昭和65～70年	昭和70～75年
全 国	117,060	120,301	122,834	125,383	128,119	0.55	0.42	0.41	0.43
北海道	5,576	5,700	5,768	5,818	5,859	0.44	0.24	0.17	0.14
青 森	1,524	1,553	1,568	1,577	1,583	0.38	0.19	0.11	0.08
岩 手	1,422	1,430	1,423	1,407	1,387	0.11	-0.10	-0.23	-0.29
宮 城	2,082	2,175	2,250	2,334	2,402	0.88	0.68	0.74	0.58
秋 田	1,257	1,260	1,250	1,228	1,201	0.05	-0.16	-0.35	-0.44
山 形	1,252	1,263	1,259	1,244	1,225	0.18	-0.06	-0.24	-0.31
福 島	2,035	2,070	2,082	2,074	2,058	0.34	0.12	-0.08	-0.15
茨 城	2,558	2,730	2,879	3,028	3,197	1.31	1.07	1.01	1.09
栃 木	1,792	1,851	1,886	1,914	1,948	0.65	0.38	0.30	0.35
群 馬	1,849	1,899	1,927	1,952	1,985	0.54	0.29	0.26	0.34
埼 玉	5,420	5,913	6,415	7,012	7,705	1.76	1.64	1.80	1.90
千 葉	4,735	5,248	5,775	6,393	7,121	2.08	1.93	2.05	2.18
東 京	11,618	11,494	11,367	11,197	10,903	-0.21	-0.22	-0.30	-0.53
神 奈 川	6,924	7,345	7,771	8,255	8,763	1.19	1.13	1.22	1.20
新 潟	2,451	2,467	2,452	2,419	2,384	0.13	-0.12	-0.27	-0.29
富 山	1,103	1,112	1,107	1,099	1,096	0.16	-0.09	-0.14	-0.05
石 川	1,119	1,144	1,158	1,172	1,192	0.44	0.24	0.24	0.34
福 井	794	800	798	792	788	0.15	-0.05	-0.15	-0.10
山 梨	804	814	815	813	810	0.25	0.02	-0.05	-0.07
長 野	2,084	2,105	2,102	2,090	2,084	0.20	-0.03	-0.11	-0.06
岐 阜	1,960	2,022	2,064	2,102	2,147	0.62	0.41	0.37	0.42
静 岡	3,447	3,520	3,554	3,583	3,621	0.42	0.19	0.16	0.21
愛 知	6,222	6,418	6,584	6,766	6,959	0.62	0.51	0.55	0.56
三 重	1,687	1,714	1,726	1,739	1,757	0.32	0.14	0.15	0.21
滋 賀	1,080	1,159	1,229	1,300	1,382	1.42	1.18	1.13	1.23
京 都	2,527	2,591	2,644	2,702	2,755	0.50	0.41	0.43	0.39
大 阪	8,473	8,525	8,558	8,610	8,641	0.12	0.08	0.12	0.07
兵 庫	5,145	5,179	5,183	5,197	5,232	0.13	0.02	0.05	0.13
奈 良	1,209	1,327	1,444	1,573	1,726	1.88	1.70	1.73	1.87
和 歌 山	1,087	1,082	1,069	1,055	1,045	-0.09	-0.24	-0.26	-0.19
鳥 取	604	618	626	628	630	0.46	0.26	0.06	0.06
島 根	785	793	791	782	769	0.20	-0.05	-0.23	-0.33
山 口	1,871	1,899	1,908	1,912	1,923	0.30	0.09	0.04	0.11
広 島	2,739	2,781	2,798	2,817	2,848	0.30	0.12	0.14	0.22
山 口	1,587	1,594	1,582	1,564	1,550	0.09	-0.15	-0.23	-0.18
徳 島	825	835	836	832	827	0.24	0.02	-0.10	-0.12
香 川	1,000	1,017	1,022	1,025	1,033	0.34	0.10	0.06	0.16
愛 媛	1,507	1,527	1,532	1,528	1,525	0.26	0.07	-0.05	-0.04
高 知	831	843	847	847	848	0.29	0.09	0.00	0.02
福 岡	4,553	4,730	4,871	5,008	5,157	0.77	0.59	0.56	0.59
佐 賀	866	882	891	894	896	0.37	0.20	0.07	0.04
長 崎	1,591	1,588	1,570	1,544	1,514	-0.04	-0.23	-0.33	-0.39
熊 本	1,790	1,844	1,883	1,911	1,933	0.60	0.42	0.30	0.23
大 分	1,229	1,250	1,256	1,254	1,252	0.34	0.10	-0.03	-0.03
宮 崎	1,152	1,202	1,240	1,268	1,296	0.85	0.62	0.45	0.44
鹿 児 島	1,785	1,836	1,876	1,897	1,908	0.57	0.43	0.22	0.12
沖 縄	1,107	1,156	1,198	1,228	1,253	0.87	0.72	0.50	0.40

各年10月1日現在の推計人口で、河遊宏・山本千鶴子・稲葉寿「地域人口推計の仮定設定と人口増減との関係について」『人口問題研究』第171号(昭59.7)による。なお、この推計作業は数種(8ケース)の仮定を設けて行われたが、ここに示した推計値は、代表的な性格を有するケース3の結果である。年平均人口増加率については表112の注記参照。1) この推計の基礎人口で、昭和55年国勢調査の結果。

表114 都道府県別の市部・郡部別にみた人口とその割合の変動

都道府県	昭和60年*					昭和55年		昭和45年	
	人 口			割 合 (%)		市部人口 割合 (%)	郡部人口 割合 (%)	市部人口 割合 (%)	郡部人口 割合 (%)
	総 数	市 部	郡 部	市 部	郡 部				
全 国	121,047,196	92,887,640	28,159,556	76.7	23.3	76.2	23.8	72.1	27.9
北海道	5,679,432	4,122,137	1,557,295	72.6	27.4	71.4	28.6	64.0	36.0
青 森	1,524,442	953,610	570,832	62.6	37.4	61.6	38.4	57.4	42.6
岩 手	1,433,606	804,605	629,001	56.1	43.9	56.3	43.7	52.4	47.6
宮 城	2,176,290	1,357,050	819,240	62.4	37.6	61.5	38.5	51.6	48.4
秋 田	1,254,010	675,003	579,007	53.8	46.2	53.2	46.8	46.0	54.0
山 形	1,261,666	888,795	372,871	70.4	29.6	69.9	30.1	67.1	32.9
福 島	2,080,293	1,304,252	776,041	62.7	37.3	62.0	38.0	58.8	41.2
茨 城	2,725,004	1,311,026	1,413,978	48.1	51.9	48.8	51.2	48.0	52.0
栃 木	1,866,065	1,228,343	637,722	65.8	34.2	65.4	34.6	61.6	38.4
群 馬	1,921,271	1,206,847	714,424	62.8	37.2	62.6	37.4	62.0	38.0
群 馬	5,863,669	4,855,978	1,007,691	82.8	17.2	83.0	17.0	69.9	30.1
千 葉	5,148,150	4,394,736	753,414	85.4	14.6	82.9	17.1	74.6	25.4
東 京	11,828,262	11,670,571	157,691	98.7	1.3	98.7	1.3	97.8	2.2
神 奈 川	7,431,621	7,082,917	348,704	95.3	4.7	95.3	4.7	91.6	8.4
新 潟	2,478,463	1,585,576	892,887	64.0	36.0	63.5	36.5	59.1	40.9
富 山	1,118,364	783,774	334,590	70.1	29.9	70.1	29.9	69.5	30.5
石 川	1,152,326	794,816	357,510	69.0	31.0	68.8	31.2	65.1	34.9
福 井	817,639	552,887	264,752	67.6	32.4	67.5	32.5	64.5	35.5
山 梨	832,824	411,236	421,588	49.4	50.6	50.4	49.6	50.3	49.7
長 野	2,136,921	1,347,767	789,154	63.1	36.9	62.1	37.9	59.1	40.9
岐 阜	2,028,534	1,288,168	740,366	63.5	36.5	60.3	39.7	60.1	39.9
静 岡	3,574,677	2,767,186	807,491	77.4	22.6	77.3	22.7	73.4	26.6
愛 知	6,455,121	5,401,266	1,053,855	83.7	16.3	83.9	16.1	81.5	18.5
三 重	1,747,314	1,170,869	576,445	67.0	33.0	66.7	33.3	65.1	34.9
滋 賀	1,155,843	628,415	527,428	54.4	45.6	53.9	46.1	51.3	48.7
京 都	2,586,455	2,236,962	349,493	86.5	13.5	86.6	13.4	80.0	20.0
大 阪	8,668,114	8,365,001	303,113	96.5	3.5	96.8	3.2	97.2	2.8
兵 庫	5,278,062	4,454,240	823,822	84.4	15.6	84.3	15.7	83.1	16.9
奈 良	1,304,965	880,447	424,518	67.5	32.5	67.1	32.9	61.7	38.3
和 歌 山	1,087,191	667,519	419,672	61.4	38.6	61.2	38.8	59.4	40.6
鳥 取	616,025	358,554	257,471	58.2	41.8	57.6	42.4	53.8	46.2
島 根	794,585	457,071	337,514	57.5	42.5	56.9	43.1	53.6	46.4
岡 山	1,916,839	1,386,038	530,801	72.3	27.7	72.1	27.9	61.9	38.1
広 島	2,819,177	2,120,028	699,149	75.2	24.8	71.7	28.3	59.1	40.9
山 口	1,601,629	1,233,452	368,177	77.0	23.0	76.4	23.6	72.6	27.4
徳 島	834,906	426,968	407,938	51.1	48.9	50.6	49.4	48.4	51.6
香 川	1,022,567	551,557	471,010	53.9	46.1	53.7	46.3	52.4	47.6
愛 媛	1,529,978	1,065,196	464,782	69.6	30.4	68.7	31.3	62.7	37.3
高 知	839,800	559,004	280,796	66.6	33.4	65.7	34.3	60.6	39.4
福 岡	4,719,225	3,557,925	1,161,300	75.4	24.6	73.4	26.6	69.7	30.3
佐 賀	880,018	460,176	419,842	52.3	47.7	52.2	47.8	50.6	49.4
長 崎	1,593,966	988,034	605,932	62.0	38.0	61.7	38.3	59.1	40.9
熊 本	1,837,750	1,013,454	824,296	55.1	44.9	54.7	45.3	51.7	48.3
大 分	1,250,217	896,974	353,243	71.7	28.3	70.6	29.4	65.5	34.5
宮 崎	1,175,547	794,437	381,110	67.6	32.4	67.4	32.6	62.4	37.6
鹿 児 島	1,819,258	1,030,047	789,211	56.6	43.4	55.6	44.4	50.8	49.2
沖 縄	1,179,115	796,726	382,389	67.6	32.4	67.7	32.3	60.9	39.1

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在人口。割合は、各都道府県の全域に対する市部・郡部の占める人口割合。\*要計表による暫定集計値(表110を参照)。

表115 都道府県別にみた人口集中地区の人口、面積および人口密度の変動

都道府県	昭和 55 年					昭和 45 年		
	人 口	面 積 (km <sup>2</sup> )	全域に占める割合(%)		人口密度 (1km <sup>2</sup> に ついて)	人 口	面 積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (1km <sup>2</sup> に ついて)
			人 口	面 積				
全 国	69,934,854	10,015.6	59.7	2.65	6,983	55,996,885	6,444.1	8,690
北海道	3,661,658	680.4	65.7	0.81	5,382	2,969,404	466.6	6,364
青 森	638,052	131.8	41.9	1.37	4,841	503,005	70.5	7,135
岩 手	394,982	73.6	27.8	0.48	5,367	327,718	45.1	7,266
宮 城	1,014,949	164.5	48.7	2.26	6,170	748,748	104.2	7,186
秋 田	366,091	70.7	29.1	0.61	5,178	304,918	48.6	6,274
山 形	466,676	92.8	37.3	1.00	5,029	393,688	60.6	6,497
福 島	648,840	127.2	31.9	0.92	5,101	513,592	76.2	6,740
茨 城	670,978	133.6	26.2	2.19	5,022	468,787	70.1	6,687
栃 木	615,484	127.0	34.3	1.98	4,846	444,101	64.2	6,917
群 馬	690,835	144.8	37.4	2.28	4,771	511,773	76.1	6,725
埼 玉	3,781,440	513.9	69.8	13.53	7,359	2,126,398	268.2	7,928
千 葉	2,952,370	424.9	62.3	8.26	6,948	1,705,680	230.4	7,403
東 京	11,294,147	979.5	97.2	45.42	11,531	10,875,946	807.6	13,467
神 奈 川	6,109,371	799.3	88.2	33.34	7,643	4,289,966	507.8	8,448
新 潟	1,028,846	183.4	42.0	1.46	5,610	864,653	118.2	7,315
富 山	426,563	85.8	38.7	2.02	4,972	352,002	52.3	6,730
石 川	510,910	83.5	45.6	1.99	6,119	349,694	39.4	8,875
福 井	293,336	53.4	36.9	1.27	5,493	268,657	35.4	7,589
山 梨	252,469	42.8	31.4	0.96	5,899	220,366	30.4	7,249
長 野	640,299	132.6	30.7	0.98	4,829	563,042	89.1	6,319
岐 阜	718,883	126.2	36.7	1.19	5,696	595,434	77.6	7,673
静 岡	1,773,335	315.8	51.4	4.06	5,615	1,417,734	195.0	7,270
愛 知	4,146,376	684.6	66.6	13.34	6,057	3,073,907	377.2	8,149
三 重	637,965	134.6	37.8	2.33	4,740	476,306	74.6	6,385
滋 賀	307,871	56.0	28.5	1.39	5,498	191,724	27.2	7,049
京 都	1,994,322	224.2	78.9	4.86	8,896	1,634,544	150.5	10,861
大 阪	7,957,380	805.7	93.9	43.22	9,876	6,863,271	594.3	11,548
兵 庫	3,686,192	460.7	71.6	5.50	8,001	3,140,689	314.5	9,986
奈 良	597,262	95.8	49.4	2.59	6,234	343,145	51.0	6,728
和 歌 山	456,508	81.8	42.0	1.73	5,581	420,801	55.4	7,596
鳥 取	157,128	30.8	26.0	0.88	5,102	134,754	18.4	7,324
根 川	185,733	40.8	23.7	0.62	4,552	165,253	26.8	6,166
岡 山	630,862	137.2	33.7	1.94	4,598	495,862	84.2	5,889
広 島	1,551,718	245.7	56.6	2.90	6,314	1,264,725	154.8	8,170
山 口	698,420	181.9	44.0	2.98	3,840	609,382	118.4	5,147
徳 島	221,435	43.7	26.8	1.05	5,067	186,819	26.7	6,997
香 川	325,738	67.0	32.6	3.56	4,862	288,136	44.6	6,460
愛 媛	620,548	119.7	41.2	2.11	5,184	499,297	75.0	6,657
高 知	317,225	48.1	38.2	0.68	6,595	255,333	32.0	7,979
福 岡	2,857,791	461.5	62.8	9.32	6,193	2,272,694	311.3	7,301
佐 賀	230,530	42.5	26.6	1.75	5,424	196,269	29.9	6,564
長 崎	659,114	99.2	41.4	2.42	6,644	580,710	65.3	8,893
熊 本	622,741	107.9	34.8	1.46	5,771	516,139	74.5	6,928
大 分	465,755	91.3	37.9	1.44	5,101	353,351	50.6	6,983
宮 崎	423,700	82.8	36.8	1.07	5,117	277,947	46.2	6,016
鹿 児 島	619,883	108.7	34.7	1.19	5,703	478,204	62.2	7,688
沖 縄	612,143	75.9	55.3	3.37	8,065	462,317	44.9	10,297

総務庁統計局『国勢調査報告』による。各年10月1日現在。人口集中地区とは、国勢調査区のうち、原則として人口密度が1km<sup>2</sup>につき約4,000人以上のもので、市区町村のなかでそれらが互いに隣接して、その人口が合計して5,000人以上となる調査区の集まりを言う。

表116 都道府県別にみた常住（夜間）人口および昼間人口の変動

都道府県	昭和55年 <sup>1)</sup>				昭和45年			
	常住（夜間）人口	昼間人口	昼夜間人口差 <sup>2)</sup>	昼夜間人口比 <sup>3)</sup> (%)	常住（夜間）人口	昼間人口	昼夜間人口差 <sup>2)</sup>	昼夜間人口比 <sup>3)</sup> (%)
全国	116,989,033	116,989,033	—	100.0	104,665,171	104,665,171	—	100.0
北海道	5,573,859	5,575,344	1,485	100.0	5,184,287	5,186,199	1,912	100.0
青森	1,523,756	1,525,203	1,447	100.1	1,427,520	1,428,782	1,262	100.1
岩手	1,421,802	1,418,263	— 3,539	99.8	1,371,383	1,368,619	— 2,764	99.8
宮城	2,080,738	2,081,458	720	100.0	1,819,223	1,818,561	— 662	100.0
秋田	1,256,664	1,255,768	— 896	99.9	1,241,376	1,240,815	— 561	100.0
山形	1,251,909	1,251,770	— 139	100.0	1,225,618	1,226,202	584	100.0
福島	2,035,145	2,031,339	— 3,806	99.8	1,946,077	1,945,380	— 697	100.0
茨城	2,557,400	2,500,475	— 56,925	97.8	2,143,551	2,100,915	— 42,636	98.0
栃木	1,791,779	1,786,776	— 5,003	99.7	1,580,021	1,569,685	— 10,336	99.3
群馬	1,848,489	1,840,013	— 8,476	99.5	1,658,909	1,648,063	— 10,846	99.3
埼玉	5,416,845	4,750,310	— 666,535	87.7	3,866,472	3,404,016	— 462,456	88.0
千葉	4,731,202	4,190,517	— 540,685	88.6	3,366,624	3,049,984	— 316,640	90.6
東京	11,597,211	13,493,885	1,896,674	116.4	11,408,071	12,668,732	1,260,661	111.1
神奈川	6,918,653	6,325,707	— 592,946	91.4	5,472,247	5,071,517	— 400,730	92.7
新潟	2,450,961	2,450,305	— 656	100.0	2,360,982	2,361,218	236	100.0
富山	1,103,441	1,099,640	— 3,801	99.7	1,029,695	1,026,869	— 2,826	99.7
石川	1,118,646	1,124,148	5,502	100.5	1,002,420	1,005,136	2,716	100.3
福井	794,277	793,284	— 993	99.9	744,230	742,576	— 1,654	99.8
山梨	804,075	794,629	— 9,446	98.8	762,029	753,640	— 8,389	98.9
長野	2,083,925	2,083,944	19	100.0	1,956,917	1,955,869	— 1,048	99.9
岐阜	1,960,016	1,899,951	— 60,065	96.9	1,758,954	1,717,289	— 41,665	97.6
静岡	3,446,549	3,440,789	— 5,760	99.8	3,089,895	3,082,578	— 7,317	99.8
愛知	6,219,877	6,314,169	94,292	101.5	5,386,163	5,454,266	68,103	101.3
三重	1,686,800	1,643,051	— 43,749	97.4	1,543,083	1,510,106	— 32,977	97.9
滋賀	1,079,797	1,026,706	— 53,091	95.1	889,768	853,530	— 36,238	95.9
京都	2,526,967	2,553,703	26,736	101.1	2,250,087	2,267,218	17,131	100.8
大阪	8,464,244	8,881,300	417,056	104.9	7,620,480	7,963,932	343,452	104.5
兵庫	5,137,505	4,915,867	— 221,638	95.7	4,667,928	4,460,486	— 207,442	95.6
奈良	1,208,547	1,063,018	— 145,529	88.0	930,160	839,578	— 90,582	90.3
和歌山	1,086,607	1,072,976	— 13,631	98.7	1,042,736	1,030,809	— 11,927	98.9
鳥取	604,049	606,181	2,132	100.4	568,777	569,859	1,082	100.2
島根	784,727	781,628	— 3,099	99.6	773,575	771,136	— 2,439	99.7
岡山	1,870,795	1,863,959	— 6,836	99.6	1,707,026	1,699,592	— 7,434	99.6
広島	2,738,151	2,750,665	12,514	100.5	2,436,135	2,449,904	13,769	100.6
山口	1,586,701	1,577,963	— 8,738	99.4	1,511,448	1,503,179	— 8,269	99.5
徳島	824,978	822,488	— 2,490	99.7	791,111	788,660	— 2,451	99.7
香川	999,566	999,331	— 235	100.0	907,897	905,827	— 2,070	99.8
愛媛	1,506,392	1,506,055	— 337	100.0	1,418,124	1,416,323	— 1,801	99.9
高知	830,545	830,520	— 25	100.0	786,882	786,782	— 100	100.0
福岡	4,549,326	4,570,401	21,075	100.5	4,027,416	4,052,377	24,961	100.6
佐賀	865,526	854,941	— 10,585	98.8	838,468	827,374	— 11,094	98.7
長崎	1,590,231	1,590,917	686	100.0	1,570,245	1,570,708	463	100.0
熊本	1,790,156	1,780,616	— 9,540	99.5	1,700,229	1,689,901	— 10,328	99.4
大分	1,228,760	1,227,734	— 1,026	99.9	1,155,566	1,155,294	— 272	100.0
宮崎	1,151,478	1,152,537	1,059	100.1	1,051,105	1,051,357	252	100.0
鹿児島	1,784,580	1,783,383	— 1,197	99.9	1,729,150	1,729,217	67	100.0
沖縄	1,105,386	1,105,406	20	100.0	945,111	945,111	—	100.0

総務庁統計局【国勢調査報告】による。10月1日現在人口で、昼間人口とは従業地・通学地による人口であって、常住人口に他市町村からの通勤・通学者数を加え、常住人口のうち、常住地以外の他市町村で就業または通学する者を差し引いた人口である。1) 従業地・通学地不詳の人口(71,363)は除いている。

2) 昼間人口から常住人口を差し引いた値。3) 昼間人口の常住人口に対する比率。



表117 都道府県別の年齢(3区分)別にみた人口とその地域別割合：昭和59年

都道府県	人 口 (1,000人)				地 域 別 割 合 (%)			
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
全 国	120,235	26,504	81,776	11,956	100.00	100.00	100.00	100.00
北海道	5,677	1,247	3,907	523	4.72	4.71	4.78	4.37
青 森	1,530	358	1,022	150	1.27	1.35	1.25	1.25
岩 手	1,431	313	955	162	1.19	1.18	1.17	1.36
宮 城	2,160	486	1,468	206	1.80	1.83	1.80	1.72
秋 田	1,253	255	847	151	1.04	0.96	1.04	1.26
山 形	1,257	259	835	163	1.05	0.98	1.02	1.36
福 島	2,068	472	1,358	238	1.72	1.78	1.66	1.99
茨 城	2,690	630	1,793	266	2.24	2.38	2.19	2.23
栃 木	1,844	435	1,220	189	1.53	1.64	1.49	1.58
群 馬	1,903	437	1,259	207	1.58	1.65	1.54	1.73
埼 玉	5,776	1,401	3,976	398	4.80	5.29	4.86	3.33
千 葉	5,071	1,218	3,465	387	4.22	4.60	4.24	3.24
東 京	11,797	2,111	8,679	1,006	9.81	7.97	10.61	8.41
神 奈 川	7,305	1,615	5,161	529	6.08	6.09	6.31	4.42
新 潟	2,472	532	1,635	305	2.06	2.01	2.00	2.55
富 山	1,115	240	738	138	0.93	0.91	0.90	1.15
石 川	1,142	259	752	131	0.95	0.98	0.92	1.10
福 井	809	179	530	101	0.67	0.68	0.65	0.84
山 梨	820	176	540	104	0.68	0.66	0.66	0.87
長 野	2,121	455	1,386	281	1.76	1.72	1.69	2.35
岐 阜	2,014	458	1,344	211	1.68	1.73	1.64	1.76
静 岡	3,537	815	2,369	354	2.94	3.08	2.90	2.96
愛 知	6,405	1,464	4,416	524	5.33	5.52	5.40	4.38
三 重	1,732	383	1,145	204	1.44	1.45	1.40	1.71
滋 賀	1,139	274	746	120	0.95	1.03	0.91	1.00
京 都	2,584	542	1,762	280	2.15	2.05	2.15	2.34
大 阪	8,640	1,888	6,066	686	7.19	7.12	7.42	5.74
兵 庫	5,256	1,176	3,552	528	4.37	4.44	4.34	4.42
奈 良	1,292	295	868	128	1.07	1.11	1.06	1.07
和 歌 山	1,090	235	716	140	0.91	0.89	0.88	1.17
鳥 取	613	132	400	82	0.51	0.50	0.49	0.69
島 根	789	165	507	117	0.66	0.62	0.62	0.98
岡 山	1,902	415	1,246	241	1.58	1.57	1.52	2.02
広 島	2,806	633	1,861	312	2.33	2.39	2.28	2.61
山 口	1,601	342	1,054	204	1.33	1.29	1.29	1.71
徳 島	831	171	553	107	0.69	0.65	0.68	0.90
香 川	1,018	219	669	130	0.85	0.83	0.82	1.09
愛 媛	1,522	338	993	191	1.27	1.28	1.21	1.60
高 知	835	172	546	117	0.69	0.65	0.67	0.98
福 岡	4,702	1,039	3,185	478	3.91	3.92	3.89	4.00
佐 賀	876	199	566	110	0.73	0.75	0.69	0.92
長 崎	1,596	377	1,032	187	1.33	1.42	1.26	1.56
熊 本	1,828	393	1,204	231	1.52	1.48	1.47	1.93
大 分	1,244	272	815	157	1.03	1.03	1.00	1.31
宮 崎	1,174	282	757	134	0.98	1.06	0.93	1.12
鹿 児 島	1,810	410	1,151	249	1.51	1.55	1.41	2.08
沖 縄	1,161	334	729	98	0.97	1.26	0.89	0.82

総務庁統計局【昭和59年10月1日現在推計人口】(人口推計資料No.57, 昭60.6)による。

表118 都道府県別人口の年齢構造に関する主要指標：昭和59年

(%)

都道府県	年 齢 構 造 係 数				従 属 人 口 指 数			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	(再掲) 75歳以上	総 数	年少人口	老年人口	
全 国	22.0	68.0	9.9	3.7	47.0	32.4	14.6	45.1
北海道	22.0	68.8	9.2	3.2	45.3	31.9	13.4	41.9
青 森	23.4	66.8	9.8	3.6	49.7	35.0	14.7	41.9
岩 手	21.9	66.7	11.3	4.1	49.7	32.8	17.0	51.8
宮 城	22.5	68.0	9.5	3.4	47.1	33.1	14.0	42.4
秋 田	20.4	67.6	12.1	4.2	47.9	30.1	17.8	59.2
山 形	20.6	66.4	13.0	4.8	50.5	31.0	19.5	62.9
福 島	22.8	65.7	11.5	4.3	52.3	34.8	17.5	50.4
茨 城	23.4	66.7	9.9	3.6	50.0	35.1	14.8	42.2
栃 木	23.6	66.2	10.2	3.6	51.1	35.7	15.5	43.4
群 馬	23.0	66.2	10.9	4.0	51.2	34.7	16.4	47.4
埼 玉	24.3	68.8	6.9	2.3	45.2	35.2	10.0	28.4
千 葉	24.0	68.3	7.6	2.7	46.3	35.2	11.2	31.8
東 京	17.9	73.6	8.5	3.1	35.9	24.3	11.6	47.7
神 奈 川	22.1	70.7	7.2	2.5	41.5	31.3	10.2	32.8
新 潟	21.5	66.1	12.3	4.5	51.2	32.5	18.7	57.3
富 山	21.5	66.2	12.4	4.5	51.2	32.5	18.7	57.5
石 川	22.7	65.8	11.5	4.2	51.9	34.4	17.4	50.6
福 井	22.1	65.5	12.5	4.7	52.8	33.8	19.1	56.4
山 梨	21.5	65.9	12.7	4.9	51.9	32.6	19.3	59.1
長 野	21.5	65.3	13.2	5.1	53.1	32.8	20.3	61.8
岐 阜	22.7	66.7	10.5	3.9	49.8	34.1	15.7	46.1
静 岡	23.0	67.0	10.0	3.7	49.3	34.4	14.9	43.4
愛 知	22.9	68.9	8.2	2.9	45.0	33.2	11.9	35.8
三 重	22.1	66.1	11.8	4.6	51.3	33.4	17.8	53.3
滋 賀	24.1	65.5	10.5	4.0	52.8	36.7	16.1	43.8
京 都	21.0	68.2	10.8	4.3	46.7	30.8	15.9	51.7
大 阪	21.9	70.2	7.9	2.8	42.4	31.1	11.3	36.3
兵 庫	22.4	67.6	10.0	3.8	48.0	33.1	14.9	44.9
奈 良	22.8	67.2	9.9	3.7	48.7	34.0	14.7	43.4
和 歌 山	21.6	65.7	12.8	5.0	52.4	32.8	19.6	59.6
鳥 取	21.5	65.3	13.4	5.2	53.5	33.0	20.5	62.1
島 根	20.9	64.3	14.8	6.0	55.6	32.5	23.1	70.9
岡 山	21.8	65.5	12.7	5.2	52.6	33.3	19.3	58.1
広 島	22.6	66.3	11.1	4.3	50.8	34.0	16.8	49.3
山 口	21.4	65.8	12.7	4.9	51.8	32.4	19.4	59.6
徳 島	20.6	66.5	12.9	5.0	50.3	30.9	19.3	62.6
香 川	21.5	65.7	12.8	5.0	52.2	32.7	19.4	59.4
愛 媛	22.2	65.2	12.5	5.1	53.3	34.0	19.2	56.5
高 知	20.6	65.4	14.0	5.8	52.9	31.5	21.4	68.0
福 岡	22.1	67.7	10.2	3.9	47.6	32.6	15.0	46.0
佐 賀	22.7	64.6	12.6	5.1	54.6	35.2	19.4	55.3
長 崎	23.6	64.7	11.7	4.5	54.7	36.5	18.1	49.6
熊 本	21.5	65.9	12.6	5.1	51.8	32.6	19.2	58.8
大 分	21.9	65.5	12.6	5.0	52.6	33.4	19.3	57.7
宮 崎	24.0	64.5	11.4	4.4	55.0	37.3	17.7	47.5
鹿 児 島	22.7	63.6	13.8	5.3	57.3	35.6	21.6	60.7
沖 縄	28.8	62.8	8.4	3.5	59.3	45.8	13.4	29.3

10月1日現在の推計人口によるもので、前表117の人口に対応する。年齢構造係数は総人口に占める割合、従属人口指数は年少（0～14歳）人口および老年（65歳以上）人口の生産年齢（15～64歳）人口に対する比率、老年化指数は老年人口の年少人口に対する比率である。

表119 都道府県別にみた年齢（3区分）別人口構造の年次変化

都道府県	昭和55年				昭和45年				昭和35年		
	総人口 (1,000人)	年齢構造係数(%)			総人口 (1,000人)	年齢構造係数(%)			年齢構造係数(%)		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上		0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
全 国	117,060	23.50	67.35	9.10	104,665	24.03	68.90	7.06	30.15	64.12	5.72
北海道	5,576	23.28	68.58	8.10	5,184	25.26	68.97	5.77	33.37	62.42	4.21
青 森	1,524	24.05	67.12	8.83	1,428	27.80	65.86	6.33	35.99	59.50	4.51
岩 手	1,422	22.93	66.98	10.08	1,371	26.41	66.27	7.33	34.64	60.10	5.26
宮 城	2,082	23.08	68.17	8.68	1,819	24.67	68.42	6.91	33.53	61.02	5.45
秋 田	1,257	20.95	68.54	10.51	1,241	24.43	68.27	7.29	34.29	61.10	4.61
山 形	1,252	20.98	67.31	11.71	1,226	23.49	67.98	8.53	32.00	62.21	5.79
福 島	2,035	22.94	66.61	10.45	1,946	26.11	65.94	7.95	35.14	58.94	5.92
茨 城	2,558	24.57	66.16	9.24	2,144	24.92	67.18	7.90	32.84	60.60	6.56
栃 木	1,792	24.17	66.46	9.34	1,580	24.62	67.69	7.68	33.70	60.07	6.23
群 馬	1,849	23.89	66.15	9.96	1,659	23.93	68.18	7.88	31.69	62.18	6.13
埼 玉	5,420	26.91	66.87	6.16	3,866	25.94	68.93	5.14	30.94	63.59	5.47
千 葉	4,735	25.87	67.07	6.97	3,367	25.12	68.62	6.27	30.36	63.26	6.38
東 京	11,618	20.60	71.51	7.70	11,408	21.04	73.78	5.18	23.22	72.98	3.80
神 奈 川	6,924	24.60	68.92	6.40	5,472	23.79	71.53	4.68	27.32	68.30	4.38
新 潟	2,451	22.52	66.31	11.15	2,361	24.29	67.65	8.06	32.71	61.03	6.26
富 山	1,103	22.65	66.16	11.18	1,030	22.30	69.62	8.08	29.82	64.11	6.07
石 川	1,119	23.76	65.67	10.50	1,002	23.48	68.36	8.15	30.21	63.06	6.73
福 井	794	22.85	65.61	11.53	744	23.92	67.07	9.01	30.68	62.08	7.23
山 梨	804	22.65	65.72	11.61	762	24.73	66.30	8.97	31.55	61.51	6.94
長 野	2,084	22.49	65.37	12.15	1,957	22.97	67.64	9.39	28.86	63.95	7.20
岐 阜	1,960	24.02	66.29	9.69	1,759	24.27	67.87	7.85	29.79	63.57	6.64
静 岡	3,447	24.16	66.76	9.07	3,090	24.77	68.17	7.06	30.91	63.18	5.91
愛 知	6,222	25.00	67.54	7.43	5,386	24.31	69.97	5.71	27.26	67.53	5.21
三 重	1,687	22.88	66.03	11.09	1,543	23.36	67.69	8.96	28.79	64.01	7.20
滋 賀	1,080	24.61	65.36	10.02	890	23.09	68.00	8.91	28.76	63.69	7.55
京 都	2,527	22.79	66.99	10.20	2,250	21.51	70.58	7.91	25.61	68.05	6.34
大 阪	8,473	24.40	68.25	7.24	7,620	23.89	70.94	5.17	25.59	70.15	4.25
兵 庫	5,145	23.86	66.77	9.23	4,668	23.50	69.56	6.94	27.88	66.42	5.70
奈 良	1,209	24.10	66.51	9.32	930	22.88	69.15	7.97	27.29	66.00	6.72
和 歌 山	1,087	22.44	65.75	11.77	1,043	23.35	67.42	9.23	28.38	64.36	7.26
鳥 取	604	21.62	66.03	12.33	569	23.16	66.90	9.94	31.11	61.22	7.67
島 根	785	21.32	64.98	13.70	774	23.07	65.69	11.24	31.79	59.80	8.41
岡 山	1,871	22.67	65.38	11.93	1,707	22.55	67.71	9.74	28.74	63.71	7.54
広 島	2,739	23.63	66.15	10.19	2,436	22.94	68.82	8.24	28.87	64.04	7.09
山 口	1,587	22.33	66.04	11.60	1,511	23.05	67.87	9.08	30.61	62.60	6.79
徳 島	825	21.24	66.74	11.98	791	23.24	67.14	9.61	32.49	60.04	7.47
香 川	1,000	22.23	65.84	11.90	908	22.15	68.31	9.55	30.24	62.28	7.48
愛 媛	1,507	22.65	65.74	11.60	1,418	24.16	66.44	9.39	32.72	60.10	7.17
高 知	831	20.89	65.90	13.13	787	21.86	66.71	11.43	29.61	61.89	8.50
福 岡	4,553	23.05	67.49	9.37	4,027	23.42	69.31	7.26	31.38	63.43	5.19
佐 賀	866	23.18	64.99	11.83	838	25.60	65.13	9.27	34.45	59.21	6.35
長 崎	1,591	24.22	65.09	10.67	1,570	27.98	63.84	8.19	36.29	57.91	5.80
熊 本	1,790	22.06	66.19	11.73	1,700	25.26	65.32	9.41	33.92	59.24	6.85
大 分	1,229	22.49	65.76	11.74	1,156	24.20	66.29	9.51	32.68	60.20	7.12
宮 崎	1,152	23.77	65.74	10.48	1,051	26.47	65.08	8.45	35.78	58.26	5.96
鹿 児 島	1,785	22.39	64.90	12.71	1,729	27.12	62.79	10.09	36.59	56.22	7.19
沖 縄	1,107	29.41	62.73	7.76	945	34.84	58.56	6.59	41.62	52.91	5.45

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在の人口。ただし、昭和35年の沖縄県人口は旧琉球政府が実施した12月1日現在国勢調査の結果。

表120 都道府県別にみた年齢(3区分)別人口構造の将来予測

都道府県	昭和60年				昭和65年				昭和75年		
	総人口 (1,000人)	年齢構造係数(%)			総人口 (1,000人)	年齢構造係数(%)			年齢構造係数(%)		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上		0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
全国	120,301	21.39	68.47	10.14	122,834	18.33	70.04	11.63	17.61	66.82	15.57
北海道	5,700	21.23	69.36	9.41	5,768	18.36	70.46	11.18	16.74	67.66	15.60
青森	1,553	22.01	68.03	9.95	1,568	19.63	68.76	11.61	18.06	65.59	16.35
岩手	1,430	21.40	67.15	11.44	1,423	19.27	67.34	13.39	17.16	64.02	18.82
宮城	2,175	21.96	68.39	9.65	2,250	19.73	69.04	11.23	18.67	66.32	15.01
秋田	1,260	19.88	67.98	12.14	1,250	18.07	67.56	14.37	15.97	63.69	20.34
山形	1,263	20.32	66.76	12.92	1,259	18.72	66.28	14.99	16.63	63.41	19.95
福島	2,070	22.05	66.36	11.59	2,082	20.08	66.40	13.52	17.57	64.09	18.34
茨城	2,730	22.95	67.16	9.89	2,879	19.83	69.11	11.07	18.28	67.88	13.84
栃木	1,851	22.82	66.93	10.26	1,886	19.82	68.38	11.80	17.88	66.69	15.43
群馬	1,899	22.07	67.02	10.91	1,927	18.87	68.78	12.36	17.42	66.53	16.05
埼玉	5,913	23.07	70.02	6.92	6,415	18.30	73.77	7.93	18.33	70.46	11.20
千葉	5,248	22.89	69.59	7.52	5,775	18.88	72.73	8.39	18.64	70.04	11.33
東京都	11,494	17.95	73.09	8.96	11,367	15.00	74.42	10.58	15.13	69.57	15.30
神奈川県	7,345	21.26	71.21	7.53	7,771	17.27	73.76	8.97	17.59	69.40	13.01
新潟	2,467	21.01	66.31	12.68	2,452	18.63	66.57	14.80	16.62	63.85	19.53
富山	1,112	20.90	66.60	12.50	1,107	17.68	68.09	14.24	16.86	64.71	18.43
石川	1,144	22.04	66.36	11.60	1,158	18.81	68.17	13.02	18.12	65.76	16.12
福井	800	21.53	65.80	12.67	798	18.85	66.81	14.35	17.47	63.79	18.73
山梨	814	20.75	66.24	13.01	815	18.26	66.82	14.92	16.92	63.94	19.13
長野	2,105	20.81	65.61	13.58	2,102	18.04	66.20	15.76	16.59	63.29	20.11
岐阜	2,022	22.09	67.15	10.76	2,064	18.97	68.67	12.37	18.23	65.17	16.60
静岡	3,520	22.22	67.57	10.21	3,554	19.06	68.99	11.95	17.74	65.53	16.73
愛知	6,418	22.30	69.30	8.40	6,584	18.65	71.66	9.69	18.67	67.81	13.51
三重	1,714	20.97	67.05	11.98	1,726	17.93	68.69	13.38	17.47	64.68	17.85
滋賀	1,159	23.34	66.16	10.50	1,229	20.26	68.39	11.34	18.80	67.16	14.04
京都	2,591	20.62	68.53	10.85	2,644	17.37	70.86	11.77	17.31	67.91	14.78
大阪	8,525	21.15	70.64	8.21	8,558	17.32	73.17	9.51	17.65	68.63	13.72
兵庫	5,179	21.75	68.09	10.16	5,183	18.53	69.87	11.60	18.43	65.90	15.67
奈良	1,327	22.05	68.17	9.79	1,444	18.71	70.62	10.67	18.74	67.96	13.30
和歌山	1,082	20.69	66.38	12.93	1,069	18.08	67.24	14.68	17.79	63.05	19.15
鳥取	618	21.16	65.47	13.37	626	19.23	65.56	15.21	17.21	63.56	19.23
島根	793	20.70	64.22	15.09	791	18.83	63.89	17.28	16.63	61.05	22.32
岡山	1,899	21.26	65.71	13.02	1,908	18.42	66.90	14.69	17.70	63.30	19.00
広島	2,781	21.59	66.80	11.61	2,798	18.21	68.24	13.55	17.73	64.59	17.68
山口	1,594	20.81	66.04	13.15	1,582	18.06	66.61	15.32	17.07	62.72	20.21
徳島	835	20.38	66.54	13.08	836	18.38	66.78	14.84	17.06	63.37	19.57
香川	1,017	21.05	65.95	13.00	1,022	18.26	67.02	14.72	17.20	63.94	18.86
愛媛	1,527	21.29	65.78	12.94	1,532	18.70	66.20	15.10	17.29	62.77	19.94
高知	843	20.08	65.68	14.25	847	17.82	65.95	16.23	16.71	62.76	20.53
福岡	4,730	21.57	68.07	10.36	4,871	19.00	69.13	11.88	17.92	66.73	15.35
佐賀	882	22.05	65.19	12.76	891	20.13	65.54	14.33	18.20	63.72	18.08
長崎	1,588	22.65	65.37	11.98	1,570	20.45	65.53	14.01	18.61	62.70	18.68
熊本	1,844	21.16	66.09	12.75	1,883	19.56	66.08	14.36	17.78	63.92	18.30
大分	1,250	21.31	65.68	13.01	1,256	18.90	66.11	14.98	17.07	63.40	19.53
宮崎	1,202	22.82	65.63	11.55	1,240	20.68	66.23	13.09	18.36	64.52	17.12
鹿児島	1,836	21.57	64.58	13.85	1,876	20.24	64.28	15.48	18.19	62.67	19.14
沖縄	1,156	27.46	63.78	8.76	1,198	24.79	65.21	10.00	21.32	64.56	14.12

河邊宏・山本千鶴子・稲葉寿「地域人口推計の仮定設定と人口増減との関係について」『人口問題研究』第171号(昭59.7)による各年10月1日現在の推計人口。前掲の表113を参照。

表121 都道府県別の産業（3部門）別にみた就業人口構造の年次変化

都道府県	昭和55年				昭和45年				昭和35年		
	就業者数 (1,000人)	割合(%)			就業者数 (1,000人)	割合(%)			割合(%)		
		第1次 産 業	第2次 産 業	第3次 産 業		第1次 産 業	第2次 産 業	第3次 産 業	第1次 産 業	第2次 産 業	第3次 産 業
全 国	55,811	10.9	33.6	55.4	52,593	19.3	34.0	46.6	32.7	29.1	38.2
北海道	2,598	13.6	25.5	60.9	2,460	21.0	25.5	53.4	35.7	23.8	40.5
青 森	722	25.5	22.0	52.4	694	39.8	17.8	42.3	56.2	11.6	32.1
岩 手	723	26.6	26.3	47.0	705	42.6	19.5	37.9	56.7	15.1	28.2
宮 城	989	16.1	27.4	56.4	890	31.3	21.7	46.8	46.1	16.1	37.8
秋 田	624	23.7	27.6	48.7	636	41.8	19.7	38.5	55.5	15.6	29.0
山 形	649	23.0	30.8	46.1	651	37.7	24.1	38.1	51.8	17.7	30.5
福 島	1,027	22.2	32.2	45.6	992	36.0	26.4	37.5	51.1	19.0	29.9
茨 城	1,242	21.3	33.1	45.5	1,116	37.0	28.4	34.6	56.4	17.3	26.3
栃 木	895	16.5	37.5	46.0	826	28.5	34.3	37.2	45.4	23.6	31.0
群 馬	921	16.1	37.4	46.4	891	27.2	35.3	37.4	43.0	26.6	30.3
埼 玉	2,459	6.6	38.8	54.6	1,906	14.7	41.7	43.6	34.7	31.8	33.5
千 葉	2,158	10.8	30.6	58.4	1,652	22.4	31.7	45.8	46.9	19.4	33.7
東 京	5,672	0.7	31.8	67.3	5,671	1.0	38.8	59.9	2.2	42.9	54.8
神 奈 川	3,142	2.1	38.4	59.2	2,643	4.0	45.2	50.8	10.1	42.2	47.7
新 潟	1,272	17.9	33.8	48.3	1,282	32.7	27.9	39.4	48.3	21.4	30.3
富 山	575	12.1	38.4	49.5	576	24.5	35.0	40.5	38.7	28.4	32.8
石 川	568	11.0	34.1	54.8	545	22.0	33.9	44.1	37.2	28.4	34.3
福 井	425	12.5	38.9	48.5	419	24.0	36.7	39.2	39.7	29.1	31.1
山 梨	399	18.3	32.8	48.9	391	29.6	30.8	39.5	43.8	24.8	31.3
長 野	1,112	19.7	36.3	44.0	1,113	31.8	32.0	36.2	47.9	21.9	30.1
岐 阜	990	8.8	43.5	47.6	959	19.5	42.3	38.2	33.7	34.3	32.0
静 岡	1,744	10.6	39.5	49.9	1,613	17.7	38.6	43.7	30.4	32.8	36.8
愛 知	3,049	5.5	42.4	52.1	2,815	10.1	46.1	43.8	18.8	44.2	36.9
三 重	812	12.6	37.2	50.1	797	25.8	34.0	40.2	41.6	26.6	31.8
滋 賀	520	11.7	40.0	48.2	486	27.6	35.2	37.2	43.6	25.7	30.8
京 都	1,186	5.5	35.0	59.3	1,138	9.6	38.6	51.7	17.5	35.9	46.6
大 阪	3,811	1.1	38.8	60.0	3,680	2.1	46.3	51.5	4.4	48.6	47.0
兵 庫	2,311	5.3	36.3	58.2	2,289	10.8	40.2	48.9	20.2	37.5	42.4
奈 良	518	8.2	33.7	57.9	446	19.0	34.8	46.1	31.4	30.4	38.3
和 歌 山	499	16.1	29.7	54.1	512	22.2	31.2	46.5	34.5	27.9	37.6
鳥 取	323	20.4	28.9	50.6	312	31.8	24.5	43.6	48.9	16.9	34.1
島 根	415	22.4	29.0	48.5	425	38.7	21.0	40.2	53.2	15.4	31.4
岡 山	925	13.2	36.6	50.2	932	25.6	34.7	39.7	43.1	25.8	31.1
広 島	1,327	9.3	35.4	55.2	1,283	17.3	36.3	46.3	32.5	29.3	38.2
山 口	768	13.8	31.0	55.1	769	23.2	29.3	47.4	34.9	25.2	39.9
徳 島	405	19.4	31.1	49.4	405	31.4	28.0	40.6	47.2	20.4	32.3
香 川	499	14.1	32.3	53.5	487	25.3	29.9	44.8	41.7	21.8	36.4
愛 媛	715	18.4	30.6	50.9	705	29.0	28.2	42.7	42.1	23.3	34.5
高 知	414	21.4	23.5	55.0	413	33.8	20.5	45.7	50.9	15.8	33.2
福 岡	2,023	7.8	29.1	62.9	1,864	14.3	30.4	55.3	21.1	33.2	45.7
佐 賀	420	21.4	27.6	51.0	411	33.3	23.5	43.1	43.6	21.1	35.3
長 崎	703	19.2	23.7	57.1	695	28.7	22.8	48.4	40.7	21.8	37.4
熊 本	848	23.8	23.3	52.9	808	36.8	18.0	45.1	50.7	14.5	34.7
大 分	581	19.9	25.6	54.5	576	34.9	19.9	45.2	49.9	15.9	34.1
宮 崎	559	23.7	24.5	51.8	522	37.9	19.5	42.6	52.6	16.1	31.3
鹿 児 島	844	24.7	24.4	50.8	833	42.3	17.8	39.9	60.4	12.1	27.5
沖 縄	429	12.6	21.5	65.8	357	21.5	19.4	59.1	43.4	11.4	45.1

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在人口。ただし、昭和35年の沖縄は12月1日現在の調査結果(旧琉球政府による)。割合は就業者総数100.0について。産業3大部門の区分については前掲表73の注記を参照。なお、総数に分類不能の産業を含む。

表122 都道府県別にみた総世帯数および平均世帯人員の変動

都道府県	総世帯数				平均世帯人員(1世帯当たり)			
	昭和35年	昭和45年	昭和55年	昭和60年*	昭和35年	昭和45年	昭和55年	昭和60年*
全国	20,859,786	28,093,012	36,015,026	38,113,228	4.52	3.73	3.25	3.18
北海道	1,077,838	1,428,917	1,843,386	1,929,443	4.68	3.63	3.02	2.94
青森	276,197	347,801	428,557	443,898	5.17	4.10	3.56	3.43
岩手	280,978	333,953	397,847	412,831	5.16	4.11	3.57	3.47
宮城	343,937	452,346	599,968	641,502	5.07	4.02	3.47	3.39
秋田	259,349	299,588	343,418	350,930	5.15	4.14	3.66	3.57
山形	256,411	286,387	323,583	331,281	5.15	4.28	3.87	3.81
福島	398,636	459,932	550,442	574,752	5.15	4.23	3.70	3.62
茨城	409,465	508,537	692,855	757,689	5.00	4.22	3.69	3.60
栃木	301,734	376,310	490,152	521,473	5.02	4.20	3.66	3.58
群馬	321,441	405,344	516,390	556,109	4.91	4.09	3.58	3.45
埼玉	492,731	993,079	1,584,655	1,750,669	4.93	3.89	3.42	3.35
千葉	483,634	873,929	1,418,917	1,571,984	4.77	3.85	3.34	3.27
東京都	2,496,680	3,589,109	4,320,207	4,506,893	3.88	3.18	2.69	2.62
神奈川県	816,996	1,534,627	2,258,649	2,490,526	4.21	3.57	3.07	2.98
新潟	483,265	561,007	658,213	680,696	5.05	4.21	3.72	3.64
富山	214,099	248,345	291,388	300,430	4.82	4.15	3.79	3.72
石川	211,265	254,543	322,071	337,964	4.61	3.94	3.48	3.41
福井	164,290	183,229	212,744	224,171	4.58	4.06	3.73	3.65
山梨	163,919	191,447	227,928	244,717	4.77	3.98	3.53	3.40
長野	431,117	499,516	591,022	621,693	4.60	3.92	3.53	3.44
岐阜	347,302	433,394	539,740	567,803	4.72	4.06	3.63	3.57
静岡県	559,795	755,745	969,904	1,032,683	4.92	4.09	3.55	3.46
愛知県	896,622	1,383,184	1,878,100	1,984,630	4.69	3.89	3.31	3.25
三重	325,419	391,543	477,992	507,944	4.56	3.94	3.53	3.44
滋賀	183,277	215,263	294,534	320,252	4.60	4.13	3.67	3.61
京都	472,970	634,760	828,369	858,943	4.22	3.54	3.05	3.01
大阪府	1,308,542	2,191,763	2,774,652	2,902,985	4.21	3.48	3.05	2.99
兵庫県	909,121	1,269,229	1,592,224	1,664,981	4.30	3.68	3.23	3.17
奈良	167,650	233,258	340,335	374,799	4.66	3.99	3.55	3.48
和歌山	237,875	285,401	327,434	333,715	4.21	3.65	3.32	3.26
鳥取	126,805	144,537	168,520	173,188	4.73	3.94	3.59	3.56
島根	193,503	202,842	226,552	233,141	4.59	3.81	3.46	3.41
岡山	372,787	453,983	561,355	583,058	4.48	3.76	3.33	3.29
広島	525,990	697,020	877,120	921,762	4.15	3.50	3.12	3.06
山口	373,167	423,907	498,627	518,890	4.29	3.57	3.18	3.09
徳島	182,685	205,377	240,321	248,179	4.64	3.85	3.43	3.36
香川	206,198	242,568	293,979	306,941	4.46	3.74	3.40	3.33
愛媛	341,467	394,317	470,653	492,354	4.40	3.60	3.20	3.11
高知	210,364	237,746	275,713	283,070	4.06	3.31	3.02	2.97
福岡	885,047	1,096,026	1,432,382	1,522,031	4.53	3.67	3.18	3.10
佐賀	190,063	199,755	233,117	242,564	4.96	4.20	3.71	3.63
長崎	380,044	407,151	470,927	489,073	4.63	3.86	3.38	3.26
熊本	388,274	436,469	525,564	553,738	4.78	3.90	3.41	3.32
大分	267,692	308,454	379,040	395,795	4.63	3.75	3.24	3.16
宮崎	249,290	286,216	359,013	375,989	4.55	3.67	3.21	3.13
鹿児島	470,303	511,820	607,452	640,691	4.17	3.38	2.94	2.84
沖縄	203,552	223,338	299,015	334,378	4.34	4.23	3.70	3.53

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在の世帯数。ただし、昭和35年の沖縄は12月1日現在の調査結果(旧琉球政府による)。ここに示した世帯数は、普通世帯と準世帯とを合わせた総世帯数である。なお、前掲の表86や表91に注記したように昭和55年調査において世帯の定義が変更になったので比較の際は注意を要する。\*要計表による暫定集計結果(表110参照)。

表123 都道府県別にみた世帯の種類別世帯数，世帯人員および平均世帯人員：昭和55年

都道府県	普通世帯			準世帯 の人員	一般世帯(別掲)			施設等の 世帯人員 (別掲)
	世帯数	世帯人員	平均世 帯人員		世帯数	世帯人員	平均世 帯人員	
全 国	34, 105, 958	113, 732, 889	3. 33	3, 256, 144	35, 823, 609	115, 450, 540	3. 22	1, 538, 493
北海道	1, 739, 574	5, 365, 445	3. 08	208, 414	1, 823, 789	5, 449, 660	2. 99	124, 199
青 森	412, 036	1, 482, 151	3. 60	41, 605	426, 840	1, 496, 955	3. 51	26, 801
岩 手	380, 807	1, 385, 221	3. 64	36, 581	396, 176	1, 400, 590	3. 54	21, 212
宮 城	570, 069	2, 027, 393	3. 56	53, 345	597, 218	2, 054, 542	3. 44	26, 196
秋 田	331, 552	1, 228, 624	3. 71	28, 040	342, 546	1, 239, 618	3. 62	17, 046
山 形	314, 579	1, 228, 698	3. 91	23, 211	322, 691	1, 236, 810	3. 83	15, 099
福 島	530, 008	1, 992, 221	3. 76	42, 924	548, 636	2, 010, 849	3. 67	24, 296
茨 城	664, 457	2, 501, 286	3. 76	56, 114	690, 887	2, 527, 716	3. 66	29, 684
栃 木	469, 488	1, 753, 865	3. 74	37, 914	488, 227	1, 772, 604	3. 63	19, 175
群 馬	497, 152	1, 811, 951	3. 64	36, 538	513, 224	1, 828, 023	3. 56	20, 466
埼 玉	1, 513, 494	5, 310, 005	3. 51	106, 840	1, 578, 048	5, 374, 559	3. 41	42, 286
千 葉	1, 339, 745	4, 617, 603	3. 45	113, 599	1, 412, 365	4, 690, 223	3. 32	40, 979
東 京	4, 013, 022	11, 172, 777	2. 78	424, 434	4, 285, 658	11, 445, 413	2. 67	151, 798
神 奈 川	2, 083, 455	6, 689, 909	3. 21	228, 744	2, 242, 599	6, 849, 053	3. 05	69, 600
新 潟	635, 247	2, 406, 061	3. 79	44, 900	654, 670	2, 425, 484	3. 70	25, 477
富 山	281, 083	1, 081, 284	3. 85	22, 157	288, 795	1, 088, 996	3. 77	14, 445
石 川	305, 745	1, 087, 133	3. 56	31, 513	320, 696	1, 102, 084	3. 44	16, 562
福 井	205, 672	777, 423	3. 78	16, 854	212, 017	783, 768	3. 70	10, 509
山 梨	222, 754	788, 840	3. 54	15, 235	226, 997	793, 083	3. 49	10, 992
長 野	568, 303	2, 038, 816	3. 59	45, 109	588, 554	2, 059, 067	3. 50	24, 858
岐 阜	514, 393	1, 916, 508	3. 73	43, 508	538, 271	1, 940, 386	3. 60	19, 630
静 岡	924, 542	3, 368, 084	3. 64	78, 465	967, 399	3, 410, 941	3. 53	35, 608
愛 知	1, 730, 815	6, 025, 105	3. 48	194, 772	1, 872, 311	6, 166, 601	3. 29	53, 276
三 重	457, 872	1, 646, 240	3. 60	40, 560	476, 665	1, 665, 033	3. 49	21, 767
滋 賀	278, 057	1, 055, 219	3. 79	24, 578	293, 600	1, 070, 762	3. 65	9, 035
京 都	771, 412	2, 437, 536	3. 16	89, 431	825, 689	2, 491, 813	3. 02	35, 154
大 阪	2, 604, 953	8, 231, 454	3. 16	232, 790	2, 753, 105	8, 379, 606	3. 04	84, 638
兵 庫	1, 506, 238	5, 009, 690	3. 33	127, 815	1, 582, 793	5, 086, 245	3. 21	51, 260
奈 良	324, 765	1, 174, 830	3. 62	33, 717	338, 364	1, 188, 429	3. 51	20, 118
和 歌 山	317, 366	1, 064, 679	3. 35	21, 928	326, 250	1, 073, 563	3. 29	13, 044
鳥 取	164, 021	591, 085	3. 60	12, 964	168, 025	595, 089	3. 54	8, 960
島 根	217, 553	764, 179	3. 51	20, 548	225, 720	772, 346	3. 42	12, 381
岡 山	533, 814	1, 817, 497	3. 40	53, 298	560, 043	1, 843, 726	3. 29	27, 069
広 島	831, 678	2, 654, 602	3. 19	83, 549	873, 984	2, 696, 908	3. 09	41, 243
山 口	479, 114	1, 542, 636	3. 22	44, 065	496, 753	1, 560, 275	3. 14	26, 426
徳 島	234, 040	801, 866	3. 43	23, 112	239, 171	806, 997	3. 37	17, 981
香 川	284, 774	974, 926	3. 42	24, 640	293, 032	983, 184	3. 36	16, 382
愛 媛	455, 052	1, 468, 102	3. 23	38, 290	469, 240	1, 482, 290	3. 16	24, 102
高 知	266, 315	802, 105	3. 01	28, 440	273, 404	809, 194	2. 96	21, 351
福 岡	1, 364, 001	4, 406, 243	3. 23	143, 083	1, 425, 791	4, 468, 033	3. 13	81, 293
佐 賀	224, 783	843, 433	3. 75	22, 093	232, 420	851, 070	3. 66	14, 456
長 崎	450, 940	1, 537, 155	3. 41	53, 076	468, 977	1, 555, 192	3. 32	35, 039
熊 本	502, 823	1, 731, 627	3. 44	58, 529	523, 858	1, 752, 662	3. 35	37, 494
大 分	363, 238	1, 190, 243	3. 28	38, 517	377, 814	1, 204, 819	3. 19	23, 941
宮 崎	345, 847	1, 117, 926	3. 23	33, 552	357, 888	1, 129, 967	3. 16	21, 511
鹿 児 島	586, 863	1, 726, 870	2. 94	57, 710	605, 639	1, 745, 646	2. 88	38, 934
沖 縄	292, 447	1, 086, 343	3. 71	19, 043	296, 770	1, 090, 666	3. 68	14, 720

総理府統計局『昭和55年国勢調査報告 第2巻 基本集計結果(1) その1 全国編』(昭57.5)による10月1日現在の数値。世帯の定義については、前掲の表86および91の注記を参照。なお、総世帯数とその平均世帯人員は表122に掲載している。

表124 都道府県別にみた普通世帯の家族類型別構造の変動

都道府県	昭和55年						昭和45年	昭和35年		
	普通世帯 総数 (1,000世帯)	家族類型別割合(%)					親族世帯 割合 (%)	核家族世 帯割合 (%)	親族世帯 割合 (%)	核家族世 帯割合 (%)
		親族世帯		非親族 世帯	単独世帯					
		総数	核家族世帯							
全国	34,106	84.0	63.3	20.7	0.2	15.8	88.9	63.5	94.9	60.2
北海道	1,740	83.1	68.3	14.8	0.1	16.8	90.6	70.4	96.6	68.4
青森	412	86.8	58.9	28.0	0.1	13.0	92.3	60.3	96.7	57.0
岩手	381	86.7	54.0	32.7	0.1	13.2	92.4	55.4	97.3	51.5
宮城	570	84.6	57.1	27.6	0.1	15.3	91.8	58.8	97.0	57.0
秋田	332	89.6	52.4	37.2	0.1	10.3	94.2	54.1	97.3	50.9
山形	315	90.5	48.0	42.5	0.1	9.4	94.8	50.0	98.0	48.3
福島	530	88.1	55.0	33.1	0.1	11.7	92.6	56.0	96.5	53.0
茨城	664	89.8	60.9	28.9	0.1	10.1	93.5	58.8	95.6	51.7
栃木	469	89.0	59.6	29.4	0.1	10.8	92.8	58.9	97.0	55.3
群馬	497	89.7	62.5	27.1	0.1	10.2	93.0	61.2	96.7	58.4
埼玉	1,513	87.6	70.8	16.8	0.2	12.2	91.4	69.0	96.5	57.6
千葉	1,340	86.9	68.5	18.4	0.2	13.0	90.5	65.1	95.1	54.1
東京都	4,013	71.2	60.3	10.9	0.4	28.5	78.6	63.7	91.7	67.7
神奈川県	2,083	83.3	70.4	12.9	0.2	16.5	87.3	70.9	95.0	69.5
新潟	635	89.6	53.0	36.5	0.1	10.4	94.5	54.1	97.7	51.0
富山	281	91.4	52.3	39.1	0.1	8.6	94.7	53.3	97.1	52.4
石川	306	85.2	54.0	31.2	0.1	14.7	92.5	55.3	96.1	51.1
福井	206	89.5	52.1	37.5	0.1	10.4	92.9	52.9	96.2	54.6
山梨	223	87.1	59.6	27.5	0.1	12.8	91.0	59.5	95.8	57.8
長野	568	88.6	57.1	31.5	0.1	11.3	92.8	57.7	96.0	55.5
岐阜	514	89.7	59.2	30.4	0.1	10.2	92.8	59.1	96.5	57.1
静岡	925	88.6	61.6	27.0	0.2	11.3	92.2	61.5	96.6	57.3
愛知	1,731	86.0	65.8	20.3	0.2	13.8	90.2	66.1	95.7	61.5
三重	458	89.5	60.3	29.2	0.1	10.4	92.3	59.3	95.1	55.8
滋賀	278	90.9	59.7	31.2	0.1	9.0	93.5	56.7	95.6	52.7
京都	771	80.1	61.4	18.7	0.2	19.7	88.5	63.1	94.9	61.3
大阪	2,605	82.3	69.7	12.6	0.2	17.5	86.1	69.6	93.3	66.6
兵庫県	1,506	86.0	67.7	18.3	0.2	13.8	89.9	67.5	94.5	62.2
奈良	325	90.4	65.5	24.9	0.2	9.4	92.9	61.6	96.2	55.2
和歌山	317	86.7	62.9	23.9	0.2	13.1	89.7	62.2	94.3	61.6
鳥取	164	87.6	53.4	34.1	0.2	12.3	91.3	53.1	94.9	47.6
島根	218	87.0	52.9	34.1	0.1	12.9	90.8	52.4	94.5	50.9
岡山	534	86.5	59.9	26.7	0.1	13.3	90.9	58.8	94.5	53.0
広島	832	84.0	64.9	19.1	0.1	15.9	88.3	64.5	93.5	61.4
山口	479	85.3	63.3	22.0	0.2	14.6	89.7	63.6	93.9	60.8
徳島	234	85.7	55.7	30.0	0.1	14.1	90.0	54.9	93.7	51.5
香川	285	87.2	59.6	27.6	0.1	12.7	90.5	58.4	93.3	52.2
愛媛	455	84.4	63.0	21.4	0.1	15.5	88.6	62.6	92.4	58.6
高知	266	80.9	61.3	19.5	0.2	19.0	84.8	59.0	92.3	58.3
福岡	1,364	83.3	65.2	18.1	0.2	16.5	90.3	67.4	96.1	64.8
佐賀	225	89.2	57.4	31.8	0.1	10.7	93.2	57.7	96.2	57.9
長崎	451	86.0	64.9	21.1	0.2	13.9	90.8	65.5	94.5	62.9
熊本	503	85.9	59.2	26.7	0.2	14.0	91.1	59.1	95.0	57.4
大分	363	84.6	60.2	24.4	0.2	15.2	90.3	59.4	95.4	56.2
宮崎	346	85.0	66.2	18.8	0.1	14.9	89.8	65.6	94.6	63.3
鹿児島	587	80.4	67.2	13.2	0.1	19.5	85.2	66.6	92.2	65.4
沖縄	292	84.5	65.9	18.6	0.1	15.4	88.7	63.7	...	...

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の世帯数。昭和35年は1%抽出集計結果で沖縄県を含まない。割合は普通世帯総数を100.0とした家族類型別世帯数の構成割合である。なお、前掲の表86や表91の注記を参照。



表125 都道府県別にみた人口動態の実数および率：昭和59年

(1) 実数

都道府県	出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡	死産	周産期死亡	婚姻	離婚
全国	1,489,780	740,247	749,533	8,920	5,527	72,361	12,998	739,991	178,746
北海道	70,210	33,067	37,143	462	305	5,233	609	37,110	13,216
青森	20,062	10,498	9,564	149	98	1,001	192	9,358	3,007
岩手	18,043	10,001	8,042	123	77	966	158	7,732	1,656
宮城	29,320	12,789	16,531	150	99	1,692	266	13,246	2,771
秋田	14,929	9,383	5,546	94	55	695	127	6,888	1,536
山形	15,533	9,591	5,942	97	56	818	126	7,158	1,261
福島	28,511	14,906	13,605	207	131	1,465	287	12,561	2,482
茨城	35,301	17,448	17,853	247	160	1,510	381	16,150	3,112
栃木	24,248	12,073	12,175	147	90	1,141	231	11,556	2,424
群馬	23,532	12,698	10,834	143	96	883	219	11,143	2,362
埼玉	69,556	25,854	43,702	410	237	2,731	641	33,026	7,892
千葉	63,570	24,637	38,933	377	234	2,594	574	30,568	7,197
東京都	131,151	61,399	69,752	671	395	6,232	995	83,139	19,239
神奈川	88,504	32,892	55,612	485	299	3,380	696	48,191	11,071
新潟	30,610	17,814	12,796	178	109	1,134	253	13,212	2,424
富山	12,582	7,965	4,617	77	47	487	107	5,792	1,191
石川	13,965	7,597	6,368	94	54	659	105	6,571	1,371
福井	10,417	5,753	4,664	66	39	411	86	4,779	904
山梨	9,815	5,980	3,835	54	28	442	101	4,789	934
長野	24,961	15,840	9,121	143	100	1,006	261	11,529	2,180
岐阜	24,544	12,910	11,634	132	76	1,039	212	11,486	2,264
静岡	45,611	21,036	24,575	239	155	1,875	380	21,637	4,845
愛知	83,304	32,754	50,550	493	323	3,599	689	41,129	8,364
三重	20,806	12,778	8,028	142	91	859	177	9,774	2,016
滋賀	15,587	7,300	8,287	110	64	552	139	7,071	1,080
京都	30,390	16,637	13,753	181	105	1,325	256	15,370	3,529
大阪	103,595	46,916	56,679	603	373	5,912	869	56,416	15,363
兵庫	64,210	33,559	30,651	390	249	2,873	577	31,914	7,368
奈良	15,722	8,073	7,649	97	71	634	159	7,439	1,589
和歌山	12,630	8,647	3,983	72	53	554	108	6,195	1,736
鳥取	7,982	5,043	2,939	45	22	401	56	3,419	794
島根	9,278	6,663	2,615	61	33	417	80	4,127	789
岡山	23,645	14,167	9,478	126	68	1,081	159	10,990	2,565
広島	34,711	18,540	16,171	196	117	1,618	309	16,873	3,686
山口	18,335	11,975	6,360	120	83	875	167	8,769	2,356
徳島	10,067	6,710	3,357	49	30	419	85	4,747	1,101
香川	12,068	7,452	4,616	59	30	497	87	5,690	1,307
愛媛	18,354	11,598	6,756	117	64	929	182	8,569	2,528
高知	9,687	7,314	2,373	67	51	516	94	4,710	1,548
福岡	61,471	30,215	31,256	358	208	3,750	495	30,237	9,415
佐賀	11,893	6,832	5,061	76	54	634	101	5,283	1,187
長崎	21,345	11,702	9,643	128	75	1,492	200	9,472	2,720
熊本	24,223	13,382	10,841	154	92	1,589	189	11,023	2,702
大分	14,850	9,550	5,300	79	52	1,008	153	7,022	2,031
宮崎	16,058	8,224	7,834	114	74	1,189	187	7,052	2,262
鹿児島	24,202	15,190	9,012	179	103	1,547	243	10,455	2,763
沖縄	20,392	5,349	15,043	137	85	657	204	8,624	2,608

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年人口動態統計(年報)確定数』(昭60.9)による。乳児死亡は生後1年未満の死亡、新生児死亡は生後4週未満の死亡、死産は妊娠第4月以後の死児の出産、周産期死亡は後期死産(妊娠第8月以後の死児の出産)と早期新生児死亡(生後1週未満の死亡)を合わせたもの。都道府県の種類は、出生・死亡・死産については住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。なお、全国に地域不詳(死亡1,546、乳児死亡22、新生児死亡17、死産40、周産期死亡26)を含む。

表125 都道府県別にみた人口動態の実数および率：昭和59年（つづき）

(2) 率

(%)

都道府県	出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡	死産	周産期死亡	婚姻	離婚
全国	12.5	6.2	6.3	6.0	3.7	46.3	8.7	6.2	1.50
北海道	12.4	5.8	6.6	6.6	4.3	69.4	8.7	6.5	2.33
青森	13.1	6.9	6.3	7.4	4.9	47.5	9.6	6.1	1.97
岩手	12.6	7.0	5.6	6.8	4.3	50.8	8.8	5.4	1.16
宮城	13.6	5.9	7.7	5.1	3.4	54.6	9.1	6.1	1.29
秋田	11.9	7.5	4.4	6.3	3.7	44.5	8.5	5.5	1.23
山形	12.4	7.6	4.7	6.2	3.6	50.0	8.1	5.7	1.00
福島	13.8	7.2	6.6	7.3	4.6	48.9	10.1	6.1	1.20
茨城	13.1	6.5	6.6	7.0	4.5	41.0	10.8	6.0	1.16
栃木	13.2	6.6	6.6	6.1	3.7	44.9	9.5	6.3	1.32
群馬	12.4	6.7	5.7	6.1	4.1	36.2	9.3	5.9	1.24
埼玉	12.1	4.5	7.6	5.9	3.4	37.8	9.2	5.7	1.37
千葉	12.6	4.9	7.7	5.9	3.7	39.2	9.0	6.0	1.42
東京	11.2	5.3	6.0	5.1	3.0	45.4	7.6	7.1	1.65
神奈川	12.2	4.5	7.6	5.5	3.4	36.8	7.9	6.6	1.52
新潟	12.4	7.2	5.2	5.8	3.6	35.7	8.3	5.4	0.98
富山	11.3	7.2	4.1	6.1	3.7	37.3	8.5	5.2	1.07
石川	12.3	6.7	5.6	6.7	3.9	45.1	7.5	5.8	1.20
福井	13.0	7.2	5.8	6.3	3.7	38.0	8.3	5.9	1.12
山梨	12.0	7.3	4.7	5.5	2.9	43.1	10.3	5.8	1.14
長野	11.8	7.5	4.3	5.7	4.0	38.7	10.5	5.4	1.03
岐阜	12.2	6.4	5.8	5.4	3.1	40.6	8.6	5.7	1.13
静岡	12.9	6.0	7.0	5.2	3.4	39.5	8.3	6.1	1.37
愛知	13.1	5.2	8.0	5.9	3.9	41.4	8.3	6.5	1.32
三重	12.1	7.4	4.7	6.8	4.4	39.6	8.5	5.7	1.17
滋賀	13.8	6.4	7.3	7.1	4.1	34.2	8.9	6.2	0.95
京都	12.0	6.6	5.4	6.0	3.5	41.8	8.4	6.1	1.39
大阪	12.2	5.5	6.7	5.8	3.6	54.0	8.4	6.7	1.81
兵庫	12.4	6.5	5.9	6.1	3.9	42.8	9.0	6.2	1.42
奈良	12.2	6.3	5.9	6.2	4.5	38.8	10.1	5.8	1.24
和歌山	11.6	8.0	3.7	5.7	4.2	42.0	8.6	5.7	1.60
鳥取	13.0	8.2	4.8	5.6	2.8	47.8	7.0	5.6	1.30
島根	11.8	8.5	3.3	6.6	3.6	43.0	8.6	5.2	1.00
岡山	12.5	7.5	5.0	5.3	2.9	43.7	6.7	5.8	1.35
広島	12.5	6.7	5.8	5.6	3.4	44.5	8.9	6.1	1.32
山口	11.6	7.6	4.0	6.5	4.5	45.5	9.1	5.5	1.49
徳島	12.1	8.1	4.0	4.9	3.0	40.0	8.4	5.7	1.32
香川	11.9	7.3	4.5	4.9	2.5	39.6	7.2	5.6	1.29
愛媛	12.1	7.6	4.4	6.4	3.5	48.2	9.9	5.6	1.66
高知	11.6	8.8	2.8	6.9	5.3	50.6	9.7	5.6	1.86
福岡	13.1	6.5	6.7	5.8	3.4	57.5	8.1	6.5	2.01
佐賀	13.6	7.8	5.8	6.4	4.5	50.6	8.5	6.0	1.36
長崎	13.4	7.4	6.1	6.0	3.5	65.3	9.4	5.9	1.71
熊本	13.3	7.3	5.9	6.4	3.8	61.6	7.8	6.0	1.48
大分	12.0	7.7	4.3	5.3	3.5	63.6	10.3	5.7	1.64
宮崎	13.7	7.0	6.7	7.1	4.6	68.9	11.6	6.0	1.93
鹿児島	13.4	8.4	5.0	7.4	4.3	60.1	10.0	5.8	1.53
沖縄	17.7	4.6	13.0	6.7	4.2	31.2	10.0	7.5	2.26

率は、死産率は出産（出生+死産）1,000について、乳児死亡、新生児死亡および周産期死亡率は出生1,000について、その他は人口1,000について。人口1,000対の率算出の基礎人口は、昭和59年10月1日現在の日本人人口（総務庁統計局の推計）による。

表126 都道府県別の女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率と合計特殊出生率：昭和55年

都道府県	女子の年齢別特殊出生率(%)								合計特殊出生率
	総数 <sup>1)</sup>	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	
全 国	51.81	3.63	77.07	181.51	73.11	12.90	1.66	0.06	1.75
北 海 道	49.78	4.40	78.51	163.44	67.43	11.96	1.49	0.04	1.64
青 森	53.82	5.45	106.87	176.33	67.86	12.42	1.15	0.07	1.85
岩 手	54.70	3.67	109.60	186.33	77.06	12.45	1.65	0.07	1.95
宮 城	57.15	3.89	91.72	189.00	74.18	12.22	1.39	0.08	1.86
秋 田	50.71	2.18	99.18	185.36	62.42	7.42	0.77	0.10	1.79
山 形	55.68	1.39	98.15	203.58	71.92	9.50	0.92	—	1.93
福 島	58.90	4.18	104.50	195.97	78.20	13.01	1.36	0.04	1.99
茨 城	57.18	4.95	88.68	193.10	73.99	12.32	1.46	0.05	1.87
栃 木	57.85	4.22	87.90	192.11	73.96	12.43	1.85	0.10	1.86
群 馬	54.47	3.94	81.06	184.75	78.41	12.43	1.84	0.06	1.81
埼 玉	51.57	3.81	70.45	179.05	77.28	14.34	1.93	0.10	1.73
千 葉	52.06	3.89	74.97	177.11	75.95	13.75	1.77	0.04	1.74
東 京	43.53	2.59	40.66	145.31	79.62	17.06	2.08	0.07	1.44
神 奈 川	50.84	3.65	63.04	176.69	80.61	14.82	1.84	0.06	1.70
新 潟	55.05	1.84	89.49	194.66	77.22	10.89	1.02	0.04	1.88
富 山	48.93	1.51	101.63	190.67	51.73	7.21	0.83	0.02	1.77
石 川	53.78	2.15	110.81	194.91	57.76	7.03	0.99	—	1.87
福 井	55.27	1.98	108.39	204.66	61.72	8.08	1.10	0.04	1.93
山 梨	51.18	2.26	60.11	190.30	83.84	13.40	1.99	0.07	1.76
長 野	54.71	0.94	62.87	204.98	92.78	15.28	1.40	0.03	1.89
岐 阜	50.99	2.76	86.92	198.99	60.67	8.63	1.08	0.07	1.80
静 岡	52.91	2.89	84.45	190.05	69.94	10.92	1.42	0.03	1.80
愛 知	52.90	3.83	85.94	197.34	63.45	9.93	1.42	0.05	1.81
三 重	50.55	3.49	98.56	194.20	59.09	7.56	0.89	0.03	1.82
滋 賀	59.24	2.87	83.26	217.78	76.55	10.82	1.64	0.06	1.96
京 都	49.53	3.06	56.29	182.68	76.41	13.14	1.50	0.04	1.67
大 阪	48.89	4.08	68.79	176.52	70.56	12.89	1.87	0.09	1.67
兵 庫	51.39	3.43	74.22	189.66	71.46	12.04	1.61	0.08	1.76
奈 良	49.82	2.88	65.51	191.46	67.00	11.21	1.03	0.15	1.70
和 歌 山	49.97	4.77	100.80	182.40	60.78	9.63	2.16	0.03	1.80
鳥 取	56.35	2.57	97.34	202.68	72.76	10.12	1.09	0.04	1.93
島 根	55.19	2.30	98.55	207.47	79.58	12.41	1.64	—	2.01
岡 山	52.53	3.54	98.62	196.81	62.60	9.55	1.08	0.01	1.86
広 島	53.89	3.76	90.78	195.31	66.29	10.67	1.29	0.04	1.84
山 口	50.16	3.24	89.64	188.63	63.98	10.45	1.48	0.02	1.79
徳 島	51.01	3.90	94.21	185.54	59.04	8.16	1.17	0.06	1.76
香 川	52.23	3.12	98.82	192.34	58.92	9.62	0.89	0.03	1.82
愛 媛	51.96	3.84	89.11	186.43	66.68	10.62	1.45	0.11	1.79
高 知	46.54	5.09	89.94	156.33	61.97	13.37	1.36	0.06	1.64
福 岡	53.23	4.95	72.47	176.57	77.80	14.07	1.64	0.04	1.74
佐 賀	57.77	3.80	88.87	197.12	81.58	12.51	1.47	0.19	1.93
長 崎	55.84	3.47	83.37	181.76	85.32	16.82	2.75	0.10	1.87
熊 本	54.04	4.31	92.01	184.51	72.71	11.30	1.24	0.04	1.83
大 分	52.69	3.05	91.03	187.30	68.98	11.84	1.61	0.04	1.82
宮 崎	58.21	4.49	102.81	190.27	75.18	12.60	1.50	0.14	1.93
鹿 児 島	57.04	3.54	86.25	195.53	85.26	17.65	2.45	0.12	1.95
沖 縄	73.36	12.46	121.40	174.61	114.82	43.62	8.39	0.37	2.38

厚生省人口問題研究所(石川晃担当)『都道府県別標準化人口動態率 昭和55年』(研究資料第229号, 昭57.12)による。各年齢階級別日本人女子人口1,000について。なお, 合計特殊出生率は年齢5歳階級別特殊出生率の合計の5倍として算出。前掲の表35の注記を参照。

1) 総出生率(15～49歳女子人口についての特殊出生率)。

表127 都道府県別にみた普通および標準化  
出生率・死亡率：昭和55年

(%)

都道府県	普通		標準化	
	出生率	死亡率	出生率	死亡率
全国	13.56	6.21	13.56	6.21
北海道	13.57	5.83	12.63	6.38
青森	14.30	6.61	14.13	6.93
岩手	13.83	6.97	14.98	6.45
宮城	14.99	6.09	14.35	6.34
秋田	13.00	7.39	13.65	6.68
山形	13.49	7.96	14.81	6.57
福島	14.52	7.32	15.26	6.52
茨城	14.25	6.60	14.44	6.57
栃木	14.49	6.77	14.37	6.67
群馬	13.63	6.66	14.05	6.24
埼玉	13.89	4.46	13.51	6.29
千葉	13.89	4.87	13.49	6.06
東京	12.16	5.06	11.40	5.82
神奈川	13.71	4.35	13.33	5.79
新潟	13.40	7.24	14.50	6.29
富山	12.31	7.19	13.42	6.30
石川	13.57	6.89	14.18	6.31
福井	13.58	7.46	14.69	6.10
山梨	12.48	7.66	13.81	6.26
長野	13.08	7.55	14.88	5.90
岐阜	13.25	6.67	13.77	6.31
静岡	13.72	5.98	13.87	5.91
愛知	14.22	5.15	13.90	6.20
三重	12.77	7.24	13.87	6.12
滋賀	14.87	6.79	15.20	6.34
京都	12.94	6.47	13.05	5.97
大阪	13.50	5.34	13.00	6.59
兵庫	13.56	6.37	13.66	6.32
奈良	13.26	6.34	13.16	6.29
和歌山	12.43	8.06	13.74	6.48
鳥取	13.61	8.25	14.86	6.27
島根	12.72	9.07	15.49	6.18
岡山	13.13	7.53	14.22	5.85
広島	13.72	6.70	14.13	5.97
山口	12.59	7.85	13.71	6.30
徳島	12.79	8.49	13.44	6.69
香川	13.01	7.43	13.87	5.85
愛媛	13.11	7.52	13.76	5.98
高知	11.30	8.96	12.56	6.31
福岡	14.24	6.53	13.52	6.34
佐賀	14.43	7.95	14.92	6.34
長崎	14.01	7.49	14.52	6.51
熊本	13.67	7.60	14.09	5.98
大分	13.30	7.95	13.99	6.33
宮崎	14.77	7.29	14.85	6.38
鹿児島	13.76	8.69	15.17	6.53
沖縄	18.42	4.86	18.43	5.23

普通率は、厚生省統計情報部『昭和55年人口動態統計』に基づく。標準化率は、厚生省人口問題研究所『都道府県別標準化人口動態率 昭和55年』（研究資料第229号，昭57.12）によるもので、昭和55年の全国人口を標準としている。いずれも人口1,000についての率。前掲の表11の注記を参照。

表128 都道府県別にみた普通および標準化合計特殊出生率：昭和55年

都道府県	合計特殊出生率	
	普通	標準化
全国	1.750	1.750
北海道	1.636	1.597
青森	1.851	1.647
岩手	1.954	1.798
宮城	1.862	1.788
秋田	1.787	1.638
山形	1.927	1.808
福島	1.986	1.883
茨城	1.873	1.766
栃木	1.863	1.776
群馬	1.812	1.818
埼玉	1.735	1.680
千葉	1.737	1.657
東京	1.437	1.732
神奈川	1.704	1.708
新潟	1.876	1.827
富山	1.768	1.562
石川	1.868	1.640
福井	1.930	1.698
山梨	1.760	1.939
長野	1.891	2.023
岐阜	1.796	1.684
静岡	1.798	1.745
愛知	1.810	1.664
三重	1.819	1.650
滋賀	1.965	1.860
京都	1.666	1.786
大阪	1.674	1.707
兵庫	1.762	1.766
奈良	1.696	1.709
和歌山	1.803	1.694
鳥取	1.933	1.865
島根	2.010	1.930
岡山	1.861	1.712
広島	1.841	1.723
山口	1.787	1.727
徳島	1.760	1.657
香川	1.819	1.667
愛媛	1.791	1.763
高知	1.641	1.626
福岡	1.738	1.855
佐賀	1.928	2.015
長崎	1.868	1.978
熊本	1.831	1.873
大分	1.819	1.792
宮崎	1.935	1.875
鹿児島	1.954	2.022
沖縄	2.378	2.376

山口喜一・笠原里江子「全国の有配偶率で標準化した都道府県別合計特殊出生率」『人口問題研究』第168号（昭58.10）による。昭和55年の各都道府県別母の年齢別特殊出生率を、標準とする全国女子の年齢別特殊有配偶率に適用して求めたもの。表35の注記参照。

表129 都道府県別にみた女子人口  
の再生産率：昭和55年

都道府県	総再生産率	純再生産率
全 国	0.849	0.837
北海道	0.791	0.778
青 森	0.898	0.884
岩 手	0.961	0.941
宮 城	0.905	0.891
秋 田	0.862	0.848
山 形	0.950	0.935
福 島	0.972	0.953
茨 城	0.913	0.896
栃 木	0.895	0.880
群 馬	0.873	0.858
埼 玉	0.840	0.828
千 葉	0.841	0.829
東 京	0.699	0.691
神 奈 川	0.827	0.817
新 潟	0.920	0.905
富 山	0.852	0.837
石 川	0.916	0.903
福 井	0.939	0.924
山 梨	0.865	0.850
長 野	0.920	0.905
岐 阜	0.870	0.856
静 岡	0.870	0.858
愛 知	0.877	0.866
三 重	0.889	0.876
滋 賀	0.941	0.926
京 都	0.810	0.799
大 阪	0.809	0.798
兵 庫	0.858	0.847
奈 良	0.838	0.827
和 歌 山	0.884	0.868
鳥 取	0.942	0.925
島 根	0.992	0.976
岡 山	0.904	0.892
広 島	0.892	0.878
山 口	0.876	0.862
徳 島	0.853	0.837
香 川	0.879	0.861
愛 媛	0.860	0.845
高 知	0.800	0.783
福 岡	0.844	0.833
佐 賀	0.929	0.912
長 崎	0.914	0.897
熊 本	0.890	0.874
大 分	0.881	0.865
宮 崎	0.938	0.919
鹿 児 島	0.943	0.921
沖 縄	1.148	1.118

山口喜一「近年における都道府県別の女子人口再生産率（一試算による）」『人口問題研究』第164号（昭57.10）による。女子の年齢5歳階級別出生統計（人口動態統計による）に基づいて算定している。純再生産率は近似計算による暫定値。前掲表35の注記を参照。

表130 都道府県別の男女別にみた出生時および65歳時の平均余命：昭和55年  
(年)

都道府県	出生時平均余命		65歳時平均余命	
	男	女	男	女
全 国	73.57	79.00	14.77	17.91
北海道	72.96	78.58	14.68	17.71
青 森	71.41	78.39	13.83	17.46
岩 手	72.72	78.59	14.69	17.72
宮 城	73.40	78.85	14.54	17.63
秋 田	72.48	78.64	14.30	17.30
山 形	73.12	78.58	14.21	17.44
福 島	72.90	78.46	14.46	17.50
茨 城	72.78	78.35	14.32	17.49
栃 木	72.86	78.13	14.28	17.22
群 馬	73.72	78.46	14.74	17.41
埼 玉	73.79	78.68	14.51	17.45
千 葉	73.85	79.07	14.72	17.82
東 京	74.46	79.49	15.20	18.25
神 奈 川	74.52	79.55	15.22	18.24
新 潟	73.29	78.97	14.46	17.62
富 山	73.27	78.93	14.46	17.77
石 川	73.48	78.88	14.41	17.62
福 井	74.24	79.18	14.86	17.85
山 梨	73.26	79.21	14.86	18.06
長 野	74.50	79.44	15.01	18.14
岐 阜	74.13	78.47	14.89	17.57
静 岡	74.10	79.62	15.02	18.33
愛 知	74.08	78.73	14.61	17.57
三 重	73.83	79.07	14.92	17.93
滋 賀	73.61	78.64	14.39	17.46
京 都	74.20	79.19	14.83	17.97
大 阪	72.96	78.36	14.24	17.36
兵 庫	73.31	78.84	14.62	17.85
奈 良	73.43	78.65	14.59	17.68
和 歌 山	72.79	78.47	14.60	17.71
鳥 取	73.02	79.45	14.82	18.32
島 根	73.38	79.42	15.17	18.45
岡 山	74.21	79.78	15.31	18.47
広 島	73.69	79.51	15.21	18.54
山 口	72.96	79.14	14.80	18.22
徳 島	72.54	78.48	14.61	17.77
香 川	74.28	79.64	15.40	18.51
愛 媛	73.16	79.43	15.11	18.43
高 知	72.20	78.98	14.85	18.16
福 岡	72.99	79.21	14.82	18.28
佐 賀	73.09	79.02	14.72	18.19
長 崎	72.41	78.67	14.40	17.80
熊 本	73.61	79.37	15.24	18.48
大 分	73.21	78.54	15.05	17.83
宮 崎	72.77	78.84	14.83	18.12
鹿 児 島	72.53	78.44	14.74	18.00
沖 縄	74.52	81.72	16.36	20.68

厚生省大臣官房統計情報部『昭55年地域別生命表』（昭57.10）による。昭55年を中心とした3年間の死亡統計（人口動態統計による）に基づいて算定している。この年の各県の男女別死亡状況が、今後一定不変と仮定したとき、出生時すなわち0歳と65歳の者が平均してあと何年生きられるかを示す。

表131 都道府県別にみた自然増加率および社会増加率の変動

(%)

都道府県	自然増加率					社会増加率 <sup>1)</sup>				
	昭和35 ～40年	昭和40 ～45年	昭和45 ～50年	昭和50 ～55年	昭和55 ～60年	昭和35 ～40年	昭和40 ～45年	昭和45 ～50年	昭和50 ～55年	昭和55 ～60年
全 国	5.3	5.7	6.4	4.6	3.3	—	—	—	—	—
北海道	6.2	5.7	6.0	4.8	3.4	- 3.5	- 5.5	- 3.1	-0.3	-1.6
青 森	6.4	5.9	5.6	4.4	3.4	- 7.1	- 5.1	- 2.7	-0.7	-3.3
岩 手	5.1	4.4	4.4	4.0	3.0	- 7.7	- 7.2	- 3.4	-1.3	-2.2
宮 城	4.9	4.7	5.6	5.1	4.1	- 4.3	- 1.0	1.8	1.4	0.4
秋 田	4.1	3.3	3.4	3.3	2.4	- 8.3	- 6.3	- 4.1	-1.3	-2.6
山 形	3.5	2.8	3.2	3.2	2.5	- 7.8	- 5.7	- 3.7	-0.6	-1.7
福 島	4.5	3.6	4.3	4.1	3.4	- 7.8	- 5.5	- 3.1	-0.8	-1.2
茨 城	4.2	4.4	5.7	4.6	3.5	- 3.7	- 0.2	3.5	4.6	3.0
栃 木	4.1	4.3	5.8	4.7	3.5	- 3.6	- 0.4	1.7	0.8	0.6
群 馬	4.2	4.6	5.7	4.4	3.1	- 2.4	- 1.3	0.1	0.9	0.8
埼 玉	6.8	9.3	10.2	6.4	4.2	17.3	19.0	14.5	6.0	4.0
千 葉	5.7	7.4	8.8	6.0	4.2	11.5	17.2	14.5	8.1	4.5
東 京	7.4	7.8	7.3	4.5	3.1	4.8	- 2.8	- 5.0	-4.9	-1.3
神 奈 川	8.1	9.4	9.5	6.1	4.1	20.6	14.1	7.4	2.2	3.2
新 潟	3.9	3.8	4.3	3.7	2.7	- 5.6	- 5.4	- 3.0	-1.3	-1.6
富 山	3.5	4.0	5.1	3.5	2.2	- 4.2	- 3.6	- 1.1	-0.5	-0.8
石 川	3.9	4.5	5.9	4.3	3.0	- 3.1	- 2.3	0.8	0.3	-0.0
福 井	4.0	3.7	4.7	3.7	2.8	- 4.3	- 4.6	- 0.8	-1.0	0.1
山 梨	4.0	3.9	4.1	3.2	2.4	- 6.4	- 4.0	- 1.3	-0.5	1.2
長 野	3.4	3.5	4.3	3.5	2.4	- 4.5	- 3.6	- 1.2	-0.2	0.2
岐 阜	5.1	5.2	5.9	4.2	3.0	- 1.3	- 1.7	0.3	0.7	0.4
静 岡	5.6	5.8	6.7	4.9	3.6	0.1	0.2	0.4	-0.7	0.1
愛 知	6.9	7.8	8.5	5.7	4.1	7.1	4.5	1.5	-0.6	-0.3
三 重	4.3	4.2	5.0	3.5	2.5	- 2.3	- 2.3	0.4	0.2	1.1
滋 賀	3.6	3.9	5.8	4.9	3.8	- 2.3	0.3	5.0	4.7	3.2
京 都	4.5	5.5	6.3	4.3	2.8	1.0	1.5	1.5	-0.1	-0.5
大 阪	8.0	8.8	8.6	5.2	3.5	12.9	5.7	- 0.0	-2.9	-1.2
兵 庫	5.8	6.4	7.0	4.6	3.2	4.5	1.9	- 0.0	-1.6	-0.6
和 歌 山	4.0	5.2	6.5	4.4	3.2	1.8	7.4	9.3	7.8	4.7
鳥 取	3.1	2.4	3.5	3.1	2.6	- 6.3	- 4.3	- 1.3	0.8	-0.7
島 根	2.4	1.9	2.5	2.2	1.8	-10.0	- 7.7	- 3.1	-0.1	-0.6
岡 山	3.1	3.7	5.1	3.6	2.6	- 4.5	0.1	1.2	-0.4	-0.1
広 島	4.1	5.0	6.4	4.4	3.1	0.4	1.8	2.2	-0.9	-0.2
山 口	3.5	3.6	4.4	3.1	2.2	- 7.2	- 5.7	- 1.5	-1.0	-1.2
徳 島	2.8	2.4	3.2	2.6	2.1	- 6.6	- 5.4	- 1.5	-0.1	-0.9
香 川	2.9	3.1	4.6	3.5	2.4	- 4.8	- 2.3	1.3	0.5	-0.1
愛 媛	3.8	3.4	4.3	3.4	2.5	- 7.4	- 5.4	- 1.0	-0.5	-0.9
高 知	2.4	1.9	2.9	2.0	1.5	- 7.3	- 5.0	- 0.1	0.8	-0.5
福 岡	4.7	5.1	5.7	4.7	3.6	- 5.7	- 3.5	0.9	1.4	0.1
佐 賀	4.0	3.6	3.9	3.6	3.1	-11.5	- 7.4	- 4.0	-0.3	-1.4
長 崎	5.2	4.5	4.6	3.8	3.1	-12.0	- 8.9	- 4.5	-2.6	-2.9
熊 本	4.0	3.3	3.4	3.4	3.0	- 8.6	- 7.3	- 2.6	1.0	-0.4
大 分	3.3	2.9	3.8	3.3	2.3	- 7.5	- 5.6	- 0.8	-0.1	-0.6
宮 崎	4.8	4.0	4.6	4.4	3.5	- 9.5	- 6.7	- 1.4	1.7	-1.4
鹿 児 島	4.1	2.8	2.7	2.7	2.7	- 9.7	- 9.5	- 3.0	0.8	-0.7
沖 縄	9.7	8.6	9.1	7.6	6.7	- 4.0	- 7.4	1.3	-1.5	-0.2

総務庁統計局『昭和60年国勢調査速報 全国都道府県市区町村別人口(要計表による人口)』(和60.12)によるもので、同局の人口推計資料や厚生省の人口動態統計などを用いて、各国勢調査年次間の増加率を算出したもの。期初人口100.0について。

1) 5年間の人口増加総数から自然増加を差し引いた社会増加を期初人口で割って算出。

表132 都道府県別にみた自府県内・他府県間別人口移動：昭和59年

都道府県	実 数				率 (%)			
	自府県内 移動者	他府県から の転入者	他府県へ の転出者	府県間転 <sup>1)</sup> 出入超過	自府県内 移動者	他府県から の転入者	他府県へ の転出者	府県間転 <sup>1)</sup> 出入超過
全 国	3,422,122	3,136,763	3,136,763	—	2.86	2.62	2.62	—
北海道	338,294	64,052	83,937	−19,885	5.97	1.13	1.48	−0.35
青 森	32,969	32,311	43,169	−10,858	2.16	2.12	2.83	−0.71
岩 手	35,421	28,942	35,863	−6,921	2.48	2.03	2.51	−0.48
宮 城	54,192	57,583	57,697	−114	2.51	2.67	2.68	−0.01
秋 田	21,872	20,809	27,969	−7,160	1.75	1.66	2.23	−0.57
山 形	20,022	20,459	24,620	−4,161	1.59	1.63	1.96	−0.33
福 島	37,403	40,514	44,584	−4,070	1.81	1.96	2.16	−0.20
茨 城	53,401	65,372	57,152	8,220	1.99	2.43	2.13	0.31
栃 木	29,729	38,688	36,940	1,748	1.61	2.10	2.01	0.09
群 馬	35,686	35,046	32,826	2,220	1.88	1.85	1.73	0.12
埼 玉	132,058	199,086	161,278	37,808	2.29	3.45	2.80	0.66
千 葉	117,518	194,037	160,547	33,490	2.32	3.84	3.17	0.66
東 京	434,010	486,139	488,321	−2,182	3.72	4.17	4.18	−0.02
神 奈 川	232,784	274,368	230,873	43,495	3.20	3.77	3.17	0.60
新 潟	44,256	36,800	44,801	−8,001	1.79	1.49	1.81	−0.32
富 山	15,832	18,015	19,719	−1,704	1.42	1.62	1.77	−0.15
石 川	21,512	22,727	24,527	−1,800	1.89	1.99	2.15	−0.16
福 井	10,972	13,971	15,326	−1,355	1.36	1.74	1.91	−0.17
山 梨	17,405	19,439	18,344	1,095	2.13	2.37	2.24	0.13
長 野	52,192	40,591	37,430	3,161	2.47	1.92	1.77	0.15
岐 阜	37,929	39,878	39,876	2	1.89	1.99	1.99	0.00
静 岡	72,363	71,502	72,983	−1,481	2.05	2.03	2.07	−0.04
愛 知	188,618	127,471	129,683	−2,212	2.97	2.01	2.04	−0.03
三 重	32,351	37,234	37,346	−112	1.88	2.16	2.17	−0.01
滋 賀	19,792	30,731	25,753	4,978	1.75	2.71	2.28	0.44
京 都	74,635	69,606	71,958	−2,352	2.94	2.74	2.83	−0.09
大 阪	292,616	215,851	229,431	−13,580	3.45	2.55	2.71	−0.16
兵 庫	145,563	123,378	128,163	−4,785	2.81	2.38	2.47	−0.09
奈 良	23,244	45,238	35,703	9,535	1.81	3.52	2.78	0.74
和 歌 山	18,103	18,265	23,414	−5,149	1.67	1.68	2.16	−0.47
鳥 取	10,716	13,985	15,258	−1,273	1.75	2.29	2.49	−0.21
島 根	17,014	18,263	19,387	−1,124	2.16	2.32	2.46	−0.14
岡 山	35,879	41,925	44,454	−2,529	1.89	2.21	2.35	−0.13
広 島	97,191	71,932	75,625	−3,693	3.49	2.58	2.71	−0.13
山 口	37,279	40,108	45,788	−5,680	2.35	2.53	2.89	−0.36
徳 島	18,865	16,587	18,536	−1,949	2.27	2.00	2.23	−0.23
香 川	19,515	27,367	27,913	−546	1.92	2.69	2.74	−0.05
愛 媛	36,883	30,477	34,271	−3,794	2.43	2.01	2.25	−0.25
高 知	21,002	16,011	17,983	−1,972	2.52	1.92	2.16	−0.24
福 佐	196,959	125,486	126,666	−1,180	4.21	2.68	2.71	−0.03
佐 賀	17,025	22,705	26,542	−3,837	1.95	2.60	3.04	−0.44
長 崎	42,174	40,500	50,704	−10,204	2.65	2.54	3.18	−0.64
熊 本	48,317	45,407	46,701	−1,294	2.65	2.49	2.56	−0.07
大 分	29,561	30,084	32,431	−2,347	2.38	2.42	2.61	−0.19
宮 崎	34,255	30,863	34,786	−3,923	2.92	2.63	2.97	−0.33
鹿 児 島	65,605	49,131	52,362	−3,231	3.63	2.72	2.90	−0.18
沖 縄	51,140	27,829	27,123	706	4.43	2.41	2.35	0.06

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報 昭和59年』(昭60.6)による。率は、10月1日現在日本人人口100.00について。1) −は転出超過。

表133 都道府県別にみた中学校・高等学校卒業者の進学率および就職率：昭和60年度

(%)

都道府県	中学校卒業生				高等学校卒業生					
	進学率			就職率	進学率			就職率	県外就職率	最多就職先 (他府県)
	総数	男	女		総数	男	女			
全 国	94.1	93.1	95.3	3.7	30.5	27.0	33.9	41.0	23.9	東 京(39.0)
北海道	93.9	93.1	94.8	2.9	24.6	25.4	23.8	45.6	14.9	〃 (48.5)
青 森	93.5	91.6	95.4	5.0	17.8	17.4	18.1	62.2	45.5	〃 (60.8)
岩 手	93.9	93.3	94.6	3.8	19.7	19.2	20.1	56.9	44.5	〃 (59.7)
宮 城	94.1	92.9	95.4	2.6	23.1	22.2	24.0	49.6	16.7	〃 (52.4)
秋 田	94.3	93.0	95.7	2.0	20.0	18.8	21.2	59.7	43.5	〃 (58.1)
山 形	96.5	95.5	97.5	2.2	20.9	21.2	20.7	59.0	30.1	〃 (50.6)
福 島	92.2	90.5	94.0	4.5	21.9	19.5	24.3	56.9	30.2	〃 (51.6)
茨 城	94.1	92.8	95.5	3.8	23.2	19.6	26.8	48.1	21.4	〃 (49.1)
栃 木	94.0	92.9	95.1	3.8	26.6	25.0	28.4	49.6	21.5	〃 (46.0)
群 馬	94.6	93.0	96.3	4.1	22.5	19.9	25.1	48.3	13.4	〃 (54.9)
埼 玉	94.3	93.4	95.3	3.6	24.0	20.7	27.5	39.3	40.6	〃 (90.1)
千 葉	94.7	94.1	95.3	2.8	28.5	25.1	32.0	33.6	38.3	〃 (88.1)
東 京	94.1	93.3	95.1	3.9	34.0	28.7	39.0	27.2	7.6	神奈川(58.4)
神奈川	94.1	92.8	95.5	3.7	32.0	26.1	37.8	28.0	17.3	東 京(94.5)
新 潟	95.1	93.2	97.2	2.9	19.0	18.5	19.4	54.4	29.7	〃 (59.1)
富 山	97.8	97.4	98.3	1.5	33.8	34.1	33.5	42.8	10.7	石 川(23.9)
石 川	96.1	94.9	97.3	2.4	31.6	31.7	31.5	46.0	14.5	愛 知(24.6)
福 井	94.8	93.7	96.1	5.4	33.9	33.1	34.6	47.4	18.0	大 阪(24.4)
山 梨	96.4	95.8	97.0	2.5	30.3	26.8	34.1	44.5	20.3	東 京(73.4)
長 野	96.4	95.2	97.6	2.5	25.3	20.8	30.0	46.0	15.1	〃 (49.6)
岐 阜	94.3	93.3	95.3	4.8	32.5	31.6	33.3	48.9	32.5	愛 知(83.5)
静 岡	94.0	92.6	95.6	5.7	30.1	27.9	32.1	46.9	13.4	東 京(37.1)
愛 知	91.1	89.2	93.0	5.3	38.2	35.9	40.3	39.5	4.1	静 岡(30.1)
三 重	92.8	91.2	94.5	5.0	30.3	28.5	32.1	49.7	26.9	愛 知(57.6)
滋 賀	93.7	92.8	94.6	3.8	33.5	31.1	35.9	45.1	19.1	京 都(55.4)
京 都	93.8	93.5	94.3	4.2	35.5	27.6	42.8	34.0	18.2	大 阪(63.8)
大 阪	93.2	93.0	93.4	4.4	34.2	26.7	42.4	33.7	5.3	兵 庫(27.7)
兵 庫	94.0	92.5	95.6	5.2	39.6	32.7	45.9	34.8	21.6	大 阪(79.7)
大 阪	94.9	94.1	95.7	2.5	40.5	33.0	47.5	32.7	46.6	〃 (85.0)
和 歌 山	93.0	91.3	94.7	4.1	29.9	26.0	33.7	47.0	38.4	〃 (74.0)
鳥 取	96.0	95.4	96.7	1.8	32.7	33.8	31.6	52.1	28.6	〃 (33.1)
島 根	94.5	92.9	96.2	4.4	28.6	26.4	30.8	51.0	48.2	〃 (32.4)
岡 山	95.2	93.9	96.6	3.5	36.6	32.3	40.9	43.2	23.7	〃 (31.7)
広 島	96.6	96.2	96.9	2.1	40.8	38.0	43.6	33.4	10.2	〃 (30.1)
山 口	96.0	95.5	96.6	2.6	31.7	27.4	35.9	45.6	32.4	広 島(34.2)
徳 島	94.8	93.6	96.1	4.1	33.5	30.2	36.8	47.1	39.8	大 阪(43.8)
香 川	95.8	94.8	96.8	2.6	36.4	32.1	40.6	41.8	16.6	〃 (36.0)
愛 媛	95.6	94.6	96.6	3.7	37.2	35.0	39.4	44.6	23.7	〃 (34.5)
高 知	91.3	89.2	93.5	6.4	29.5	20.6	38.2	43.8	39.8	〃 (35.1)
福 岡	94.2	94.0	94.5	2.4	32.7	30.4	35.1	39.0	16.7	東 京(22.9)
佐 賀	94.8	93.2	96.3	3.5	26.9	24.5	29.2	54.4	43.4	福 岡(27.4)
熊 崎	93.9	91.8	96.1	5.4	29.2	28.0	30.3	51.4	51.2	愛 知(19.8)
本 熊	94.9	93.5	96.5	3.1	26.1	23.7	28.6	49.8	34.7	東 京(19.6)
大 分	95.0	94.2	95.8	2.6	30.8	30.0	31.7	48.8	34.2	福 岡(20.9)
宮 崎	94.5	93.7	95.4	3.7	28.2	26.7	29.6	53.6	45.9	東 京(22.0)
鹿 児 島	95.2	94.4	96.1	3.1	29.6	26.8	32.4	53.8	53.8	〃 (27.6)
沖 縄	91.9	89.2	94.7	1.4	23.4	21.1	25.5	28.1	54.8	〃 (42.1)

文部省大臣官房調査統計課『昭和60年度学校基本調査速報』の卒業後の状況調査による。3月卒業者について5月1日現在で調査。進学率とは卒業者のうち進学者および就職進学者の占める割合をいう。就職率率とは卒業者のうち就職者および就職進学者の占める割合をいう。また、県外就職率は就職者総数中に占める割合、最多就職先の( )内は他府県就職者総数中に占める割合(%)である。



# 特集題目表



表1 男女別にみた死亡数、死亡率および死亡性比の推移

年次	死 亡 数				死 亡 率(%)			死亡性比 (女100につき男)
	総 数	男	女	不 詳	総 数	男	女	
明治32	932,087	476,249	455,828	10	21.5	21.8	21.1	103.9
33	910,744	464,072	446,664	8	20.8	21.0	20.5	103.9
34	925,810	468,524	457,278	8	20.9	21.0	20.7	102.5
35	959,126	486,410	472,710	6	21.3	21.5	21.1	102.9
36	931,008	472,249	458,755	4	20.4	20.6	20.3	102.9
37	955,400	481,445	473,950	5	20.7	20.8	20.7	101.6
38	1,004,661	505,290	499,365	6	21.6	21.6	21.5	101.2
39	955,256	480,077	475,176	3	20.3	20.3	20.3	101.0
40	1,016,798	512,110	504,681	7	21.4	21.5	21.4	101.5
41	1,029,447	517,755	511,687	5	21.5	21.5	21.4	101.2
42	1,091,264	550,267	540,992	5	22.5	22.6	22.3	101.7
43	1,064,234	535,076	529,156	2	21.6	21.7	21.6	101.1
44	1,043,906	526,141	517,762	3	20.9	21.1	20.8	101.6
大正元	1,037,016	523,604	513,410	2	20.5	20.6	20.4	102.0
2	1,027,257	521,210	506,042	5	20.0	20.3	19.8	103.0
3	1,101,815	559,337	542,473	5	21.2	21.4	20.9	103.1
4	1,093,793	556,179	537,610	4	20.7	21.0	20.5	103.5
5	1,187,832	604,156	583,674	2	22.2	22.5	21.9	103.5
6	1,199,669	609,310	590,359	—	22.2	22.4	21.9	103.2
7	1,493,162	753,392	739,770	—	27.3	27.4	27.1	101.8
8	1,281,965	648,984	632,981	—	23.3	23.5	23.1	102.5
9	1,422,096	720,655	701,441	—	25.4	25.7	25.1	102.7
10	1,288,570	659,328	629,242	—	22.7	23.2	22.3	104.8
11	1,286,941	655,740	631,201	—	22.4	22.8	22.1	103.9
12	1,332,485	679,072	653,405	8	22.9	23.3	22.6	103.9
13	1,254,946	642,969	611,977	—	21.3	21.7	20.9	105.1
14	1,210,706	621,357	589,349	—	20.3	20.7	19.8	105.4
昭和元	1,160,734	597,292	563,435	7	19.1	19.4	18.6	106.0
2	1,214,323	624,311	590,012	—	19.7	20.2	19.2	105.8
3	1,236,711	639,214	597,497	—	19.8	20.3	19.2	107.0
4	1,261,228	645,994	615,234	—	19.9	20.3	19.5	105.0
5	1,170,867	603,995	566,871	1	18.2	18.6	17.7	106.5
6	1,240,891	642,146	598,745	—	19.0	19.5	18.4	107.2
7	1,175,344	607,267	568,077	—	17.7	18.2	17.2	106.9
8	1,193,987	618,496	575,491	—	17.7	18.3	17.1	107.5
9	1,234,684	639,098	595,507	79	18.1	18.6	17.5	107.3
10	1,161,936	603,566	558,367	3	16.8	17.4	16.2	108.1
11	1,230,278	637,854	592,421	3	17.5	18.2	16.9	107.7
12	1,207,899	625,625	582,274	—	17.1	17.8	16.4	107.4
13	1,259,805	652,936	606,869	—	17.7	18.6	16.9	107.6
14	1,268,760	658,589	610,171	—	17.8	18.7	16.9	107.9
15	1,186,595	615,311	571,284	—	16.5	17.4	15.6	107.7
16	1,149,559	597,373	552,186	—	16.0	17.2	14.9	108.2
17	1,166,630	609,038	557,592	—	16.1	17.5	14.9	109.2
18	1,219,073	638,135	580,938	—	16.7	18.4	15.2	109.8

(次ページにつづく)

表1 男女別にみた死亡数、死亡率および死亡性比の推移(つづき)

年次	死 亡 数				死 亡 率(%)			死亡性比 (女100につき男)
	総 数	男	女	不 詳	総 数	男	女	
昭和22	1,138,238	595,670	542,568	—	14.6	15.6	13.6	109.8
23	950,610	493,573	457,037	—	11.9	12.6	11.2	108.0
24	945,444	489,817	455,627	—	11.6	12.2	10.9	107.5
25	904,876	467,073	437,803	—	10.9	11.4	10.3	106.7
26	838,998	432,540	406,458	—	9.9	10.4	9.4	106.4
27	765,068	395,205	369,863	—	8.9	9.4	8.5	106.9
28	772,547	399,859	372,688	—	8.9	9.4	8.4	107.3
29	721,491	379,658	341,833	—	8.2	8.8	7.6	111.1
30	693,523	365,246	328,277	—	7.8	8.3	7.2	111.3
31	724,460	381,395	343,065	—	8.0	8.6	7.5	111.2
32	752,445	397,502	354,943	—	8.3	8.9	7.7	112.0
33	684,189	363,647	320,542	—	7.4	8.0	6.9	113.4
34	689,959	367,562	322,370	27	7.4	8.0	6.8	114.0
35	706,599	377,526	329,073	—	7.6	8.2	6.9	114.7
36	695,644	371,858	323,786	—	7.4	8.0	6.7	114.8
37	710,265	380,826	329,439	—	7.5	8.1	6.8	115.6
38	670,770	361,469	309,301	—	7.0	7.7	6.3	116.9
39	673,067	363,531	309,536	—	6.9	7.6	6.3	117.4
40	700,438	378,716	321,722	—	7.1	7.9	6.4	117.7
41	670,342	363,356	306,986	—	6.8	7.5	6.1	118.4
42	675,006	366,076	308,930	—	6.8	7.5	6.1	118.5
43	686,555	372,931	313,624	—	6.8	7.5	6.1	118.9
44	693,787	379,506	314,281	—	6.8	7.6	6.1	120.8
45	712,962	387,880	325,082	—	6.9	7.7	6.2	119.3
46	684,521	372,942	311,579	—	6.6	7.3	5.9	119.7
47	683,751	372,833	310,918	—	6.5	7.2	5.8	119.9
48	709,416	383,592	325,824	—	6.6	7.2	5.9	117.7
49	710,510	381,869	328,641	—	6.5	7.1	5.9	116.2
50	702,275	377,827	324,448	—	6.3	6.9	5.7	116.5
51	703,270	378,630	324,640	—	6.3	6.8	5.7	116.6
52	690,074	372,175	317,899	—	6.1	6.7	5.5	117.1
53	695,821	375,625	320,196	—	6.1	6.7	5.5	117.3
54	689,664	373,183	316,481	—	6.0	6.6	5.4	117.9
55	722,801	390,644	332,157	—	6.2	6.8	5.6	117.6
56	720,262	388,575	331,687	—	6.1	6.7	5.6	117.2
57	711,883	385,494	326,389	—	6.0	6.6	5.4	118.1
58	740,038	401,232	338,806	—	6.2	6.9	5.6	118.4
59	740,247	402,220	338,027	—	6.2	6.8	5.6	119.0

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。人口動態調査は出生、死亡、婚姻、離婚および死産の全数を対象としているが、人口動態統計年報は、日本において発生した日本人に関する事件を集計したものである(ただし、日本人の外国におけるものおよび外国人の日本におけるものについては、年報の付録に掲載されている)。なお、死亡についての観察対象の人的範囲は、昭和18年以前では死亡者の本籍が沖縄、樺太を含む旧内地にあるもの、22年以降は死亡者の本籍が北海道(根室支庁の一部を除く)、本州、四国、九州および沖縄にあるもの、となっている。昭和19年~21年は資料が整わないため省略されている。昭和22年~47年は沖縄県を含まない。また、昭和18年のみは樺太を含んでいる。死亡率は各年の男女別人口1,000についてのものであるが、大正8年以前は内地人口、大正9年~昭和41年は総人口(在日外国人を含む)、昭和42年以降は日本人人口を用いている。

表2 月別にみた死亡数および率の年次変化

目次	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和57年	昭和59年
死 亡 数										
総数	1,138,238	904,876	693,523	706,599	700,438	712,962	702,275	722,801	711,883	740,247
1月	109,940	91,367	72,754	71,233	67,929	89,354	67,682	70,362	68,146	73,279
2月	115,405	81,463	63,206	64,302	64,568	64,394	66,330	66,245	66,251	66,490
3月	116,996	88,905	64,545	72,999	89,876	66,317	70,204	69,135	65,819	67,797
4月	99,403	71,320	58,779	71,747	61,960	56,564	58,657	60,975	60,097	61,736
5月	92,456	68,775	55,939	56,201	54,451	55,707	54,546	58,924	58,094	60,906
6月	84,516	66,047	51,183	49,546	48,896	50,444	50,616	52,539	52,136	55,007
7月	96,451	71,707	52,319	49,126	49,342	55,325	55,014	53,571	53,845	56,815
8月	95,290	73,491	51,661	49,226	48,905	51,408	53,403	53,653	54,593	58,403
9月	79,305	66,578	50,331	47,647	46,609	48,005	49,305	52,472	52,669	54,269
10月	77,592	66,830	53,397	54,242	52,993	55,087	55,598	58,267	57,514	59,420
11月	78,563	67,701	57,304	54,946	52,409	56,808	56,699	60,124	58,035	60,283
12月	92,232	90,629	62,089	65,364	62,475	63,549	64,221	66,534	64,684	65,842
不詳	89	63	16	20	25	—	—	—	—	—
死 亡 率 (%)										
総数	14.6	10.9	7.8	7.6	7.1	6.9	6.3	6.2	6.0	6.2
1月	16.6	12.9	9.6	9.0	8.1	10.3	7.3	7.2	6.8	7.3
2月	19.3	12.8	9.2	8.7	8.6	8.2	7.9	7.2	7.4	7.0
3月	17.6	12.6	8.5	9.2	10.8	7.6	7.5	7.0	6.6	6.7
4月	15.5	10.4	8.0	9.4	7.7	6.7	6.5	6.4	6.2	6.3
5月	13.9	9.7	7.4	7.1	6.5	6.4	5.8	6.0	5.8	6.0
6月	13.2	9.7	7.0	6.5	6.1	6.0	5.6	5.5	5.4	5.6
7月	14.5	10.1	6.9	6.2	5.9	6.3	5.9	5.4	5.4	5.6
8月	14.4	10.4	6.8	6.2	5.9	5.9	5.7	5.5	5.5	5.8
9月	12.4	9.7	6.9	6.2	5.8	5.7	5.4	5.5	5.4	5.5
10月	11.7	9.5	7.0	6.9	6.3	6.3	5.9	5.9	5.7	5.9
11月	12.2	9.9	7.8	7.2	6.5	6.7	6.2	6.3	6.0	6.2
12月	13.9	12.8	8.2	8.3	7.5	7.2	6.8	6.7	6.4	6.5

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。各月の率は年率に換算した人口1,000についてのものであるが、分母人口は、昭和45年以降は各月の月初人口、40年以前は各年の10月1日現在人口が用いられている。

表3 市部・郡部別にみた死亡の場所別死亡数および割合の年次変化

地域、場所	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和57年	昭和59年
死 亡 数										
総数	1,138,238	904,876	693,523	706,599	700,438	712,962	702,275	722,801	711,883	740,247
施設内	104,860	100,518	107,139	155,038	200,342	267,292	328,101	411,970	445,746	481,178
施設外	1,033,378	804,358	586,384	551,561	500,096	445,670	374,174	310,831	266,137	259,069
市部	352,075	298,126	344,732	405,097	420,984	454,829	474,595	497,150	494,168	516,886
施設内	63,043	61,280	66,790	105,954	139,623	193,078	242,675	305,425	330,318	357,134
施設外	289,032	236,846	277,942	299,143	281,361	261,751	231,920	191,725	163,850	159,752
郡部	786,163	606,750	346,619	299,380	277,652	255,986	225,667	223,942	216,231	221,815
施設内	41,817	39,238	39,669	48,071	59,659	72,928	84,341	105,689	114,680	123,278
施設外	744,346	567,512	306,950	251,309	217,993	183,058	141,326	118,253	101,551	98,537
割 合 (%)										
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
施設内	9.2	11.1	15.4	21.9	28.6	37.5	46.7	57.0	62.6	65.0
施設外	90.8	88.9	84.6	78.1	71.4	62.5	53.3	43.0	37.4	35.0

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。昭和22年は事件発生地により、25年以降は住所地により表章されている。なお、市部・郡部を合算して総数に合わないのは、住所地不詳があるためである。

表4 都道府県別にみた死亡数の年次変化

都道府県	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
全 国	1,161,936	1,138,238	904,876	693,523	706,599	700,438	712,962	702,275	722,801	740,247
北 海 道	48,878	51,472	42,745	32,729	31,509	31,779	31,884	31,037	32,434	33,067
青 森	18,237	18,092	16,707	11,094	10,742	9,805	9,669	9,546	10,052	10,498
岩 手	19,194	19,619	17,575	12,461	11,586	10,799	10,546	9,943	9,892	10,001
宮 城	20,589	20,703	17,373	12,646	12,301	12,437	12,390	12,152	12,651	12,789
秋 田	19,527	19,952	15,968	11,358	10,348	9,807	9,574	9,110	9,279	9,383
山 形	20,316	20,871	15,502	11,691	10,986	10,698	10,299	9,585	9,955	9,591
福 島	26,455	28,345	23,619	18,287	17,044	16,109	15,672	14,801	14,869	14,906
茨 城	27,274	28,475	24,867	18,732	17,709	17,042	17,395	16,773	16,858	17,448
栃 木	19,613	21,329	18,432	13,067	12,505	12,405	12,672	12,112	12,109	12,073
群 馬	20,382	21,908	17,390	12,821	12,827	12,775	12,979	12,344	12,290	12,698
埼 玉	27,998	30,268	26,258	19,238	19,089	20,117	21,836	22,688	24,129	25,854
千 葉	29,063	30,780	25,777	19,293	19,209	19,739	21,051	21,768	22,965	24,637
東 京	82,143	58,723	51,790	44,718	50,048	51,644	56,183	55,323	58,258	61,399
神 奈 川	27,877	26,826	22,047	18,614	20,564	22,751	25,814	27,319	29,923	32,892
新 潟	36,382	36,442	28,963	21,282	19,775	20,507	19,163	17,768	17,719	17,814
富 山	16,990	16,259	12,760	8,539	8,711	8,514	8,179	7,770	7,923	7,965
石 川	17,698	15,185	12,630	8,713	8,698	8,445	7,776	7,706	7,681	7,597
福 井	13,832	11,965	9,405	6,755	6,738	6,511	6,036	5,887	5,892	5,753
山 梨	11,102	10,970	8,419	6,332	6,488	6,396	6,470	6,003	6,143	5,980
長 野	27,422	27,744	21,442	16,993	17,202	17,476	16,535	15,685	15,703	15,840
岐 阜	22,460	22,199	17,297	12,749	13,013	12,782	13,008	12,908	13,011	12,910
静 岡	31,984	30,574	24,530	19,741	19,935	19,966	20,302	19,788	20,550	21,036
愛 知	44,878	42,987	34,433	26,873	28,829	28,897	30,681	30,993	31,734	32,754
三 重	21,595	22,210	16,210	12,190	12,981	12,551	12,679	12,240	12,154	12,778
滋 賀	13,047	14,675	10,031	7,552	7,892	7,643	7,484	7,307	7,276	7,300
京 都	26,262	25,686	17,850	13,797	15,265	15,109	15,577	15,460	16,059	16,637
大 阪	63,569	48,379	35,797	30,518	35,253	36,860	40,464	41,299	44,272	46,916
兵 庫	47,639	44,814	33,340	26,690	29,350	29,489	30,259	30,466	32,275	33,559
奈 良	11,778	12,200	8,571	6,697	6,952	6,701	6,843	7,055	7,623	8,073
和 歌 山	15,230	13,804	10,449	8,266	8,703	8,651	8,805	8,423	8,721	8,647
鳥 取	8,825	9,149	6,654	5,106	5,473	5,322	5,210	4,901	4,970	5,043
島 根	14,854	14,768	11,704	8,397	8,434	8,176	7,789	7,197	7,105	6,663
岡 山	23,318	25,683	18,734	13,783	14,916	14,139	13,875	13,865	14,019	14,167
広 島	29,892	30,212	22,240	17,560	18,584	17,969	18,404	18,057	18,235	18,540
山 口	21,667	23,869	17,259	13,428	13,621	13,000	12,695	11,937	12,347	11,975
徳 島	14,285	14,628	11,674	8,185	7,960	7,902	7,508	7,012	7,003	6,710
香 川	13,155	13,986	10,959	8,086	8,185	7,797	7,656	7,312	7,418	7,452
愛 媛	20,130	22,153	16,743	12,655	12,821	12,402	12,285	11,651	11,319	11,598
高 知	12,820	12,988	10,485	7,955	8,255	7,988	8,499	7,806	7,435	7,314
福 岡	46,608	48,082	36,874	29,078	28,770	28,124	28,056	27,576	29,517	30,215
佐 賀	12,607	15,546	11,322	8,515	8,060	7,267	7,141	6,728	6,873	6,832
長 崎	22,011	24,003	19,512	14,401	14,202	13,289	13,183	11,897	11,886	11,702
熊 本	23,738	26,498	20,963	15,721	16,023	15,280	14,902	13,868	13,594	13,382
大 分	18,835	21,120	15,875	11,359	11,273	10,587	10,418	9,859	9,744	9,550
宮 崎	13,558	15,376	12,570	9,351	8,772	8,752	8,676	8,266	8,382	8,224
鹿 児 島	26,654	26,721	21,223	17,335	16,876	16,237	16,293	15,404	15,497	15,190
沖 縄	9,565	...	...	...	...	...	...	5,667	5,348	5,349
不 詳	—	—	1,908	2,172	2,122	1,802	2,147	2,013	1,709	1,546

厚生省統計報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。なお、昭和22年以前は事件発生地、25年以降は住所地により表章されている。

表5 都道府県別にみた普通死亡率の年次変化

(%)

都道府県	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
全 国	16.8	14.6	10.9	7.8	7.6	7.1	6.9	6.3	6.2	6.2
北 海 道	15.9	13.4	10.0	6.9	6.3	6.1	6.2	5.8	5.8	5.8
青 岩 森	18.9	15.3	13.0	8.0	7.5	6.9	6.8	6.5	6.6	6.9
宮 手 城	18.3	15.5	13.1	8.7	8.0	7.7	7.7	7.2	7.0	7.0
秋 田 田	16.7	13.2	10.4	7.3	7.1	7.1	6.8	6.2	6.1	5.9
山 形 田	18.8	15.9	12.2	8.4	7.7	7.7	7.7	7.4	7.4	7.5
福 島 形	18.2	15.6	11.4	8.6	8.3	8.5	8.4	7.9	8.0	7.6
茨 城 島	16.7	14.2	11.5	8.7	8.3	8.1	8.1	7.5	7.3	7.2
栃 木 城	17.6	14.1	12.2	9.1	8.7	8.3	8.1	7.2	6.6	6.5
群 馬 木	16.4	13.9	11.9	8.4	8.3	8.2	8.0	7.1	6.8	6.6
埼 玉 馬	16.4	13.9	10.9	7.9	8.1	8.0	7.8	7.0	6.7	6.7
千 葉 玉	18.3	14.4	12.2	8.5	7.9	6.7	5.7	4.7	4.5	4.5
東 京 葉	18.8	14.6	12.1	8.7	8.3	7.3	6.3	5.3	4.9	4.9
神 奈 川 京	12.9	11.7	8.3	5.6	5.2	4.8	5.0	4.8	5.1	5.3
新 潟 川	15.2	12.1	8.9	6.4	6.0	5.1	4.7	4.3	4.3	4.5
富 山 潟	18.2	15.1	11.8	8.6	8.1	8.5	8.1	7.4	7.2	7.2
石 川 山	21.3	16.6	12.6	8.4	8.4	8.3	8.0	7.3	7.2	7.2
福 井 川	23.0	16.4	13.2	9.0	8.9	8.6	7.8	7.2	6.9	6.7
山 梨 井	21.4	16.5	12.5	9.0	9.0	8.7	8.2	7.7	7.5	7.2
長 野 梨	17.2	13.6	10.4	7.8	8.3	8.4	8.5	7.7	7.7	7.3
岐 野 草	16.0	13.5	10.4	8.4	8.7	8.9	8.5	7.8	7.6	7.5
静 岡 草	18.3	14.9	11.2	8.1	7.9	7.5	7.4	6.9	6.7	6.4
愛 知 岡	16.5	13.0	9.9	7.4	7.2	6.9	6.6	6.0	6.0	6.0
三 重 知	15.7	13.8	10.2	7.1	6.9	6.0	5.7	5.3	5.1	5.2
滋 賀 重	18.4	15.7	11.1	8.2	8.7	8.3	8.3	7.6	7.2	7.4
京 都 賀	18.3	17.1	11.6	8.8	9.4	9.0	8.5	7.5	6.8	6.4
大 阪 都	15.4	14.8	9.7	7.1	7.7	7.2	7.0	6.5	6.5	6.6
兵 庫 阪	14.8	14.5	9.3	6.6	6.4	5.5	5.4	5.1	5.3	5.5
和 歌 山 庫	16.3	14.7	10.1	7.4	7.5	6.8	6.6	6.2	6.4	6.5
鳥 取 良	19.0	15.6	11.2	8.6	8.9	8.1	7.4	6.6	6.3	6.3
島 根 山	17.6	14.4	10.6	8.2	8.7	8.4	8.5	7.9	8.1	8.0
岡 取	18.0	15.6	11.1	8.3	9.1	9.2	9.2	8.5	8.3	8.2
山 根	19.9	16.5	12.8	9.0	9.5	10.0	10.1	9.4	9.1	8.5
廣 山	17.5	15.9	11.3	8.2	8.9	8.6	8.2	7.7	7.5	7.5
山 島	16.6	15.0	10.7	8.2	8.5	7.9	7.6	6.9	6.7	6.7
徳 島 口	18.2	16.1	11.2	8.3	8.5	8.4	8.5	7.7	7.9	7.6
香 川 島	19.6	17.1	13.3	9.3	9.4	9.7	9.5	8.7	8.5	8.1
愛 媛 川	17.6	15.2	11.6	8.6	8.9	8.7	8.4	7.6	7.4	7.3
高 知 媛	17.3	15.2	11.0	8.2	8.5	8.6	8.7	8.0	7.5	7.6
福 岡 知	17.9	15.3	12.0	9.0	9.7	9.8	10.8	9.7	9.0	8.8
佐 賀 岡	16.9	15.1	10.4	7.5	7.2	7.1	7.0	6.5	6.5	8.5
長 崎 賀	18.4	16.9	12.0	8.7	8.5	8.3	8.5	8.0	8.0	7.8
熊 本 崎	17.0	15.7	11.9	8.2	8.1	8.1	8.4	7.6	7.5	7.4
大 分 本	17.1	15.0	11.5	8.3	8.6	8.6	8.8	8.1	7.6	7.3
宮 崎 分	19.2	17.1	12.7	8.9	9.1	8.9	9.0	8.3	8.0	7.7
鹿 児 崎	16.4	15.0	11.5	8.2	7.7	8.1	8.3	7.6	7.3	7.0
沖 縄 島	16.7	15.3	11.8	8.5	8.6	8.8	9.4	8.9	8.7	8.4
沖 縄	16.1	...	...	...	...	...	...	5.5	4.9	4.6

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。各年各府県の人口1,000についての率であるが、昭和40年以前は総人口（外国人を含む）を、45年以降は日本人人口を分母としている。前表を参照。

表6 死亡率によってみた死因順位の年次推移

(人口10万について)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
昭治32	肺炎及び気管支炎	206.1	脳血管疾患	170.5	全結核	155.7	胃腸炎	149.7	老衰	127.2
33	肺炎及び気管支炎	226.1	全結核	163.7	脳血管疾患	159.2	胃腸炎	133.8	老衰	131.0
38	肺炎及び気管支炎	247.4	全結核	206.0	脳血管疾患	163.4	老衰	139.9	胃腸炎	137.2
43	肺炎及び気管支炎	262.0	全結核	230.2	胃腸炎	213.4	脳血管疾患	131.9	老衰	120.2
大正4	肺炎及び気管支炎	261.1	胃腸炎	247.2	全結核	219.7	脳血管疾患	128.8	老衰	112.5
9	肺炎及び気管支炎	408.0	胃腸炎	254.2	全結核	223.7	インフルエンザ	193.7	脳血管疾患	157.6
14	肺炎及び気管支炎	275.6	胃腸炎	238.2	全結核	194.1	脳血管疾患	161.2	老衰	117.3
昭和5	胃腸炎	221.4	肺炎及び気管支炎	200.1	全結核	185.6	脳血管疾患	162.8	老衰	118.8
10	全結核	190.8	肺炎及び気管支炎	186.7	胃腸炎	173.2	脳血管疾患	165.4	老衰	114.0
15	全結核	212.9	肺炎及び気管支炎	185.8	脳血管疾患	177.7	胃腸炎	159.2	老衰	124.5
22	全結核	187.2	肺炎及び気管支炎	174.8	胃腸炎	136.8	脳血管疾患	129.4	老衰	100.3
23	全結核	179.9	脳血管疾患	117.9	胃腸炎	109.9	肺炎及び気管支炎	98.6	老衰	79.5
24	全結核	168.8	脳血管疾患	122.6	肺炎及び気管支炎	100.0	胃腸炎	92.6	老衰	80.2
25	全結核	146.4	脳血管疾患	127.1	肺炎及び気管支炎	93.2	胃腸炎	82.4	悪性新生物	77.4
26	脳血管疾患	125.2	全結核	110.3	肺炎及び気管支炎	82.2	悪性新生物	78.5	老衰	70.7
27	脳血管疾患	128.5	全結核	82.2	悪性新生物	80.9	老衰	69.3	肺炎及び気管支炎	67.1
28	脳血管疾患	133.7	悪性新生物	82.2	老衰	77.6	肺炎及び気管支炎	71.3	全結核	66.5
29	脳血管疾患	132.4	悪性新生物	85.3	老衰	69.5	全結核	62.4	心疾患	60.2
30	脳血管疾患	136.1	悪性新生物	87.1	老衰	67.1	心疾患	60.9	全結核	52.3
31	脳血管疾患	148.4	悪性新生物	90.7	老衰	75.8	心疾患	66.0	全結核	48.6
32	脳血管疾患	151.7	悪性新生物	91.3	老衰	80.5	心疾患	73.1	肺炎及び気管支炎	59.2
33	脳血管疾患	148.6	悪性新生物	95.5	心疾患	64.8	老衰	55.5	肺炎及び気管支炎	47.6
34	脳血管疾患	153.7	悪性新生物	98.2	心疾患	67.7	老衰	56.7	肺炎及び気管支炎	45.2
35	脳血管疾患	160.7	悪性新生物	100.4	心疾患	73.2	老衰	58.0	肺炎及び気管支炎	49.3
36	脳血管疾患	165.4	悪性新生物	102.3	心疾患	72.1	老衰	58.2	不慮の事故	44.1
37	脳血管疾患	169.4	悪性新生物	103.2	心疾患	76.2	老衰	57.5	肺炎及び気管支炎	45.0
38	脳血管疾患	171.4	悪性新生物	105.5	心疾患	70.4	老衰	50.4	不慮の事故	41.3
39	脳血管疾患	171.7	悪性新生物	107.3	心疾患	70.3	老衰	48.4	不慮の事故	41.6
40	脳血管疾患	175.8	悪性新生物	108.4	心疾患	77.0	老衰	50.0	不慮の事故	40.9
41	脳血管疾患	173.8	悪性新生物	110.9	心疾患	71.9	老衰	44.6	不慮の事故	43.0
42	脳血管疾患	173.1	悪性新生物	113.0	心疾患	75.7	老衰	43.3	不慮の事故	41.9
43	脳血管疾患	173.5	悪性新生物	114.6	心疾患	80.2	不慮の事故	40.2	老衰	39.4
44	脳血管疾患	174.4	悪性新生物	116.2	心疾患	81.7	不慮の事故	42.2	老衰	37.1
45	脳血管疾患	175.8	悪性新生物	116.3	心疾患	86.7	不慮の事故	42.5	老衰	38.1
46	脳血管疾患	169.6	悪性新生物	117.7	心疾患	82.0	不慮の事故	40.7	老衰	34.0
47	脳血管疾患	166.7	悪性新生物	120.4	心疾患	81.2	不慮の事故	40.1	老衰	30.8
48	脳血管疾患	166.9	悪性新生物	121.2	心疾患	87.3	不慮の事故	37.2	肺炎及び気管支炎	31.3
49	脳血管疾患	163.0	悪性新生物	122.2	心疾患	89.8	不慮の事故	33.0	肺炎及び気管支炎	32.6
50	脳血管疾患	156.7	悪性新生物	122.6	心疾患	89.2	肺炎及び気管支炎	33.7	不慮の事故	30.3
51	脳血管疾患	154.5	悪性新生物	125.3	心疾患	92.2	肺炎及び気管支炎	32.6	不慮の事故	28.0
52	脳血管疾患	149.8	悪性新生物	128.4	心疾患	91.2	肺炎及び気管支炎	28.6	不慮の事故	26.7
53	脳血管疾患	146.2	悪性新生物	131.3	心疾患	93.3	肺炎及び気管支炎	30.3	不慮の事故	26.2
54	脳血管疾患	137.7	悪性新生物	135.7	心疾患	96.9	肺炎及び気管支炎	28.5	老衰	25.5
55	脳血管疾患	139.5	悪性新生物	139.1	心疾患	106.2	肺炎及び気管支炎	33.7	老衰	27.6
56	悪性新生物	142.0	脳血管疾患	134.3	心疾患	107.5	肺炎及び気管支炎	33.7	老衰	25.5
57	悪性新生物	144.2	脳血管疾患	125.0	心疾患	106.7	肺炎及び気管支炎	35.0	不慮の事故用 及び有害作用	24.7
58	悪性新生物	148.3	脳血管疾患	122.8	心疾患	111.3	肺炎及び気管支炎	39.3	不慮の事故用 及び有害作用	25.0
59	悪性新生物	152.5	脳血管疾患	117.2	心疾患	113.9	肺炎及び気管支炎	37.6	不慮の事故用 及び有害作用	24.6

(次ページにつづく)



表6 (つづき)

年次	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率	死因	死亡率
昭和25	老 衰	70.2	心 疾 患	64.2	その他の新生児固有の疾患	62.2	不慮の事故	39.5	腎炎及びネフローゼ	32.4
26	胃 腸 炎	67.7	心 疾 患	63.6	その他の新生児固有の疾患	56.0	不慮の事故	37.8	腎炎及びネフローゼ	29.2
27	心 疾 患	61.3	胃 腸 炎	53.1	その他の新生児固有の疾患	47.3	不慮の事故	36.4	腎炎及びネフローゼ	25.8
28	心 疾 患	64.9	胃 腸 炎	46.1	その他の新生児固有の疾患	42.1	不慮の事故	39.3	腎炎及びネフローゼ	23.2
29	肺炎及び気管支炎	54.7	不慮の事故	39.4	胃 腸 炎	39.0	その他の新生児固有の疾患	36.2	自 殺	23.4
30	肺炎及び気管支炎	48.3	不慮の事故	37.3	胃 腸 炎	31.7	その他の新生児固有の疾患	31.4	自 殺	25.2
31	肺炎及び気管支炎	48.4	不慮の事故	36.8	その他の新生児固有の疾患	30.5	胃 腸 炎	30.0	自 殺	24.5
32	全 結 核	46.9	不慮の事故	37.9	その他の新生児固有の疾患	26.4	胃 腸 炎	25.7	自 殺	24.3
33	全 結 核	39.4	不慮の事故	38.9	自 殺	25.7	胃 腸 炎	25.1	その他の新生児固有の疾患	23.4
34	不慮の事故	44.8	全 結 核	35.5	胃 腸 炎	23.3	自 殺	22.7	その他の新生児固有の疾患	21.0
35	不慮の事故	41.7	全 結 核	34.2	自 殺	21.6	胃 腸 炎	21.2	その他の新生児固有の疾患	18.5
36	肺炎及び気管支炎	41.6	全 結 核	29.6	自 殺	19.6	胃 腸 炎	19.5	その他の新生児固有の疾患	17.4
37	不慮の事故	40.3	全 結 核	29.3	高血圧性疾患	18.4	胃 腸 炎	18.0	自 殺	17.6
38	肺炎及び気管支炎	33.2	全 結 核	24.2	高血圧性疾患	18.2	自 殺	16.1	胃 腸 炎	16.1
39	肺炎及び気管支炎	32.1	全 結 核	23.6	高血圧性疾患	18.7	自 殺	15.1	胃 腸 炎	14.6
40	肺炎及び気管支炎	37.3	全 結 核	22.8	高血圧性疾患	19.3	自 殺	14.7	胃 腸 炎	12.9
41	肺炎及び気管支炎	28.2	全 結 核	20.3	高血圧性疾患	18.6	自 殺	15.2	胃 腸 炎	11.3
42	肺炎及び気管支炎	28.7	高血圧性疾患	18.3	全 結 核	17.8	自 殺	14.2	その他の新生児固有の疾患	11.4
43	肺炎及び気管支炎	31.8	高血圧性疾患	17.9	全 結 核	16.8	自 殺	14.5	肝 硬 変	11.2
44	肺炎及び気管支炎	31.6	高血圧性疾患	17.0	全 結 核	16.1	自 殺	14.5	肝 硬 変	11.8
45	肺炎及び気管支炎	34.1	高血圧性疾患	17.7	全 結 核	15.4	自 殺	15.3	肝 硬 変	12.5
46	肺炎及び気管支炎	28.4	高血圧性疾患	16.7	自 殺	15.6	全 結 核	13.0	肝 硬 変	12.5
47	肺炎及び気管支炎	28.1	自 殺	17.0	高血圧性疾患	16.5	肝 硬 変	12.8	全 結 核	11.9
48	老 衰	30.9	高血圧性疾患	17.5	自 殺	17.4	肝 硬 変	13.2	全 結 核	11.1
49	老 衰	29.7	高血圧性疾患	18.4	自 殺	17.5	肝 硬 変	13.4	全 結 核	10.4
50	老 衰	26.9	自 殺	18.0	高血圧性疾患	17.8	肝 硬 変	13.6	全 結 核	9.5
51	老 衰	26.4	高血圧性疾患	17.6	自 殺	17.6	肝 硬 変	13.8	全 結 核	8.5
52	老 衰	25.0	自 殺	17.9	高血圧性疾患	17.0	肝 硬 変	13.6	糖 尿 病	8.4
53	老 衰	24.4	自 殺	17.6	高血圧性疾患	16.4	肝 硬 変	14.0	糖 尿 病	8.5
54	不慮の事故 及び有害作用	25.3	自 殺	18.0	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	14.0	腎炎、ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	8.0
55	不慮の事故 及び有害作用	25.1	自 殺	17.7	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	13.7	腎炎、ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	8.8
56	不慮の事故 及び有害作用	24.8	自 殺	17.1	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	13.0	腎炎、ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	9.1
57	老 衰	23.3	自 殺	17.5	慢性肝疾患及び肝硬変	14.0	高血圧性疾患	11.7	腎炎、ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	9.7
58	老 衰	24.7	自 殺	21.0	慢性肝疾患及び肝硬変	14.1	高血圧性疾患	11.3	腎炎、ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	10.3
59	老 衰	24.1	自 殺	20.4	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	10.9	腎炎、ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	10.6

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～47年は沖縄県を含まない。各年の死因内容は必ずしも完全な一致をみないが、特に昭和24年以前は25年以降と大きく死因分類が変わっているの5位までのみの掲載にとどめている。なお、昭和54年以降の死因名は現行の第9回分類によるものである。「老衰」は、「精神病の記載のない老衰」の略称であり、また、昭和42年以前の「その他の新生児固有の疾患」は、「その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児」のことである。死亡率は人口10万に対する率で、大正4年以前は内地人口、大正9年～昭和41年は総人口（在日外国人を含む）、昭和42年以降は日本人人口を分母としている。

表7 特定死因の男女別にみた年齢(5歳階級)別死亡率の年次変化

(1) 結核

(人口10万について)

年 齢	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男										
総 数	193.6	208.9	159.5	60.6	43.1	30.6	21.6	13.5	8.2	6.3
0～4	56.8	65.9	62.0	15.2	5.0	1.6	0.6	0.2	0.1	0.1
5～9	43.2	37.3	28.9	6.0	1.6	0.5	0.1	0.0	—	—
10～14	61.3	30.8	19.4	5.0	1.6	0.5	0.3	0.0	—	—
15～19	323.0	179.7	95.4	15.2	4.4	1.2	0.6	0.1	0.0	0.1
20～24	475.6	465.8	254.6	40.5	10.7	3.2	1.3	0.4	0.2	0.1
25～29	376.5	461.7	315.8	72.5	24.7	7.4	2.2	0.8	0.3	0.2
30～34	264.5	396.8	273.8	87.4	39.6	15.8	5.5	1.6	0.7	0.4
35～39	203.0	327.7	259.6	88.6	54.6	25.5	11.1	4.1	1.4	0.6
40～44	183.2	270.6	243.2	95.9	63.0	37.7	17.2	7.9	3.3	1.4
45～49	187.4	245.2	229.9	112.2	74.9	46.2	26.1	13.1	6.1	2.5
50～54	186.2	236.7	239.1	129.6	94.8	61.8	36.8	20.4	11.0	7.6
55～59	180.1	233.5	254.4	147.6	119.6	85.0	52.6	30.2	15.9	10.7
60～64	172.1	226.8	258.9	183.1	153.5	117.0	78.7	43.1	23.7	18.2
65～69	166.3	189.2	243.5	209.8	204.8	162.0	131.1	70.1	40.9	28.6
70～74	109.5	129.8	182.7	216.2	256.4	219.3	174.3	110.7	61.5	42.4
75～79		92.9	125.1	169.9	278.7	276.8	221.2	161.5	95.3	64.5
80歳以上	47.9	28.4	89.3	100.7	179.5	248.1	232.2	191.1	108.1	86.9
女										
総 数	188.0	166.6	133.7	44.3	25.6	15.2	9.5	5.6	2.9	2.1
0～4	53.4	63.1	64.4	16.4	5.4	1.3	0.9	0.2	0.1	0.0
5～9	49.4	42.6	33.3	5.7	1.8	0.4	0.2	0.0	—	0.0
10～14	138.3	52.8	36.5	7.7	2.0	0.7	0.1	0.0	—	—
15～19	434.7	226.8	132.8	21.3	4.9	1.0	0.4	0.2	0.0	0.0
20～24	459.9	386.1	254.0	46.3	13.9	4.0	1.0	0.4	0.2	0.1
25～29	344.9	342.6	273.9	70.8	25.7	8.7	2.5	0.7	0.3	0.2
30～34	237.1	272.0	223.2	76.2	35.6	13.1	4.9	1.5	0.4	0.2
35～39	174.7	197.3	183.9	68.6	40.8	20.2	8.0	2.7	1.1	0.2
40～44	140.7	164.4	152.5	62.0	40.7	23.2	11.8	4.5	1.6	1.0
45～49	132.8	141.3	138.9	62.6	40.7	22.4	13.4	6.8	2.5	1.2
50～54	117.7	137.2	136.5	65.1	42.8	24.9	16.0	7.5	3.6	2.0
55～59	102.2	135.9	140.2	73.5	50.0	29.2	17.4	10.3	5.1	3.1
60～64	88.2	110.9	131.1	85.9	60.3	39.9	23.0	12.5	6.5	4.1
65～69	71.3	82.3	111.0	91.2	73.3	51.1	35.2	20.2	10.3	6.8
70～74	43.7	56.0	78.6	86.5	83.4	72.5	54.2	31.4	13.2	9.5
75～79		46.3	61.7	71.0	89.6	87.4	62.6	45.7	21.6	12.2
80歳以上	26.5	16.7	35.6	42.5	60.2	74.8	70.4	53.8	29.1	23.4

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。男女年齢別の結核死亡数の当該男女各年齢階級別人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)、45年以降は日本人人口を分母としている。

表7 特定死因の男女、年齢別死亡率の年次変化(つづき)

(2) 悪性新生物

(人口10万について)

年 齢	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男										
総 数	71.2	69.9	80.1	94.0	110.9	122.1	132.6	140.6	163.5	182.3
0～4	2.2	3.9	5.6	6.9	8.7	8.5	8.5	7.8	6.0	4.6
5～9	0.6	1.6	2.7	4.4	4.8	6.1	5.6	5.5	5.7	4.4
10～14	1.0	1.5	2.9	3.9	4.8	5.3	4.7	4.7	4.8	4.1
15～19	1.6	4.0	4.1	5.3	6.2	7.2	7.3	6.5	6.4	5.6
20～24	2.6	4.8	4.6	5.7	6.9	8.7	8.8	8.5	6.5	6.4
25～29	5.3	7.2	7.7	9.0	10.0	12.5	12.7	11.3	10.9	9.1
30～34	11.1	14.4	15.0	17.3	18.7	19.8	20.7	19.3	17.3	17.2
35～39	26.8	28.1	29.1	33.5	33.4	35.4	36.0	33.4	32.7	29.3
40～44	57.2	57.7	63.4	65.2	65.0	60.3	63.0	60.7	55.8	51.7
45～49	124.8	106.6	116.4	126.5	124.2	119.7	114.2	112.6	118.4	104.8
50～54	228.3	202.0	211.8	218.7	230.4	219.6	205.2	187.6	214.3	219.8
55～59	348.5	320.2	354.0	351.7	386.9	366.3	357.3	345.8	333.7	361.4
60～64	476.1	493.4	523.1	570.2	592.2	606.8	579.5	541.2	558.8	550.4
65～69	636.2	607.8	713.1	787.8	858.2	884.8	902.0	853.9	850.5	854.6
70～74	} 639.5	607.1	775.1	974.1	1,106.7	1,128.7	1,176.9	1,207.6	1,247.3	1,218.5
75～79		552.9	713.5	910.7	1,166.7	1,317.0	1,393.5	1,468.8	1,634.1	1,672.1
80歳以上	451.9	331.2	502.6	671.0	928.6	1,130.7	1,283.7	1,464.2	1,800.2	2,042.1
女										
総 数	70.6	68.2	74.9	80.4	90.2	95.2	100.7	105.2	115.5	123.7
0～4	1.7	2.3	4.2	5.4	6.7	6.6	6.7	6.1	4.9	4.3
5～9	0.7	1.2	1.9	3.0	3.5	4.3	4.2	4.1	3.7	3.3
10～14	0.8	1.3	2.0	3.3	4.0	4.0	4.0	3.8	4.0	3.2
15～19	1.5	3.9	3.3	3.5	5.0	5.2	5.5	4.7	4.7	4.1
20～24	4.0	5.2	4.9	5.3	7.4	7.8	7.3	6.8	6.0	5.7
25～29	10.8	11.1	11.6	11.8	12.7	13.5	13.9	12.6	11.8	9.3
30～34	32.4	30.4	26.4	23.6	26.3	27.0	24.5	24.8	20.8	20.7
35～39	61.6	59.8	56.0	49.9	49.6	45.5	41.9	38.8	36.7	33.1
40～44	104.1	99.5	104.8	91.6	84.2	74.0	71.0	63.4	57.3	54.3
45～49	161.6	153.0	152.4	138.1	138.3	120.6	111.9	101.7	89.8	86.6
50～54	209.1	207.1	215.5	201.8	189.5	188.6	163.2	156.4	141.5	131.5
55～59	273.7	264.9	283.6	273.2	270.6	262.3	243.1	221.2	204.2	192.2
60～64	349.5	350.7	375.4	367.1	369.4	358.1	347.7	308.6	296.4	271.4
65～69	420.6	392.3	470.6	485.3	495.0	488.7	471.1	446.1	421.8	401.5
70～74	} 428.7	423.2	484.3	578.6	636.5	642.7	639.7	615.4	612.1	569.0
75～79		364.8	463.4	600.0	714.2	756.0	788.3	773.8	814.4	799.8
80歳以上	295.3	263.0	356.9	482.8	638.2	677.3	736.6	811.3	938.1	1,032.1

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。男女年齢別の悪性新生物による死亡数の当該男女各年齢階級別人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表7 特定死因の男女、年齢別死亡率の年次変化(つづき)

(3) 心疾患

(人口10万について)

年 齢	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男										
総 数	57.4	61.9	64.0	62.2	75.8	80.5	90.9	92.1	112.1	118.4
0～4	13.7	18.9	6.1	4.7	5.7	5.2	5.0	5.0	5.9	5.6
5～9	8.5	8.4	5.8	3.3	2.4	0.9	0.8	1.1	1.3	1.0
10～14	11.9	9.5	7.8	6.0	3.8	2.4	1.6	1.4	1.7	1.9
15～19	16.5	16.3	12.7	9.3	7.3	3.4	3.8	3.4	4.2	3.4
20～24	17.2	22.3	13.9	11.1	9.8	6.7	5.9	6.3	6.6	6.1
25～29	17.2	27.8	20.5	13.3	11.4	9.1	10.0	7.6	9.0	9.6
30～34	23.1	26.9	25.1	17.1	14.4	13.9	14.2	12.7	11.9	11.7
35～39	32.4	37.5	33.1	25.4	20.2	20.9	22.2	20.0	20.1	18.2
40～44	51.3	50.2	48.3	36.4	32.8	28.4	33.3	33.9	34.8	31.9
45～49	86.7	76.0	76.2	56.1	51.5	45.8	48.9	47.4	58.0	51.3
50～54	128.9	116.4	118.7	96.9	91.1	82.5	83.0	75.3	86.5	84.0
55～59	203.6	184.4	192.7	159.9	163.1	150.1	148.6	131.7	138.9	132.5
60～64	275.2	311.2	308.0	264.7	278.6	264.7	265.6	217.1	236.8	210.0
65～69	403.8	445.7	516.8	449.8	473.3	457.7	464.7	398.7	411.0	372.7
70～74	534.4	571.3	697.8	744.7	840.3	807.1	803.8	727.4	750.3	666.7
75～79		642.1	819.6	1,037.8	1,403.7	1,420.8	1,420.4	1,267.8	1,382.5	1,277.4
80歳以上	542.9	723.0	1,046.3	1,340.9	2,303.7	2,715.5	2,898.8	2,920.7	3,016.5	2,996.9
女										
総 数	57.8	62.4	64.3	59.6	70.8	73.6	82.7	86.4	100.5	109.6
0～4	12.5	17.2	6.0	4.1	5.0	5.1	4.4	4.5	4.7	4.5
5～9	8.7	8.3	6.2	3.2	2.5	0.7	0.7	0.7	1.2	0.8
10～14	14.7	11.9	10.4	6.8	4.3	2.0	1.4	1.1	1.2	1.1
15～19	22.1	19.9	14.0	9.9	7.3	3.2	2.4	1.8	1.7	1.8
20～24	26.6	27.2	20.3	14.9	10.1	6.4	4.2	3.4	2.2	2.7
25～29	33.7	36.9	31.6	19.0	13.5	8.7	6.3	3.9	4.1	4.3
30～34	40.9	41.6	34.5	23.6	19.0	10.8	8.9	5.9	4.8	4.5
35～39	51.9	47.8	46.3	31.3	23.1	16.6	13.4	10.5	7.9	6.4
40～44	64.1	60.2	59.4	39.3	31.6	26.2	21.4	15.6	13.9	12.0
45～49	72.5	72.8	72.9	52.9	44.9	41.2	33.7	24.2	21.8	19.9
50～54	103.6	103.8	95.6	76.0	68.1	56.1	51.6	41.6	36.4	29.9
55～59	138.2	146.9	147.5	114.0	107.1	92.1	88.8	66.2	61.6	54.5
60～64	189.1	234.0	240.5	188.9	182.2	161.7	152.0	123.4	116.4	100.1
65～69	293.4	328.4	375.4	315.8	317.5	293.6	288.6	231.3	226.8	211.3
70～74	402.3	432.2	506.7	517.6	570.0	527.5	539.5	474.4	464.5	407.7
75～79		534.4	658.9	759.5	1,016.0	1,021.4	1,011.8	948.1	956.2	866.2
80歳以上	460.4	602.2	840.5	1,053.9	1,731.1	2,130.2	2,444.5	2,586.2	2,548.8	2,491.6

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。男女年齢別の心疾患による死亡数の当該男女各年齢階級別人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表7 特定死因の男女、年齢別死亡率の年次変化(つづき)

(4) 脳血管疾患

(人口10万について)

年 齢	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男										
総 数	181.3	136.0	127.9	143.0	172.1	192.2	191.5	164.3	142.7	116.1
0～4	2.0	2.2	1.2	0.7	0.9	1.0	1.7	1.5	1.4	1.1
5～9	0.9	1.0	0.8	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3
10～14	1.1	0.9	1.2	0.5	0.7	0.6	0.6	0.4	0.4	0.2
15～19	2.4	3.9	1.6	1.5	1.5	1.2	1.4	0.8	0.6	0.6
20～24	5.3	5.6	3.6	2.7	2.2	2.1	1.9	1.5	1.3	1.2
25～29	9.1	6.3	5.4	3.5	3.9	3.7	4.5	3.1	2.9	2.4
30～34	18.2	12.0	9.2	6.2	8.1	10.5	9.6	8.3	6.2	5.2
35～39	41.5	26.3	17.4	17.8	17.8	23.0	27.0	20.6	17.2	12.2
40～44	98.3	54.2	38.8	46.7	49.1	50.6	54.3	48.9	35.1	25.5
45～49	201.2	100.4	92.5	111.0	109.6	106.1	88.0	82.3	68.4	46.7
50～54	381.2	206.5	197.5	232.7	232.6	208.8	166.0	120.9	101.5	82.6
55～59	670.8	420.8	385.7	422.5	462.9	394.0	314.5	215.5	151.6	117.6
60～64	1,079.2	815.2	699.6	765.5	798.4	769.0	601.4	408.6	276.4	190.5
65～69	1,781.1	1,361.2	1,251.0	1,261.8	1,344.4	1,323.4	1,149.2	787.1	544.3	356.3
70～74	2,731.8	2,092.2	1,972.5	1,978.0	2,127.0	2,289.5	2,051.0	1,506.7	1,061.1	708.7
75～79		2,852.4	2,634.8	2,584.6	3,186.3	3,469.6	3,357.4	2,652.5	2,053.9	1,390.6
80歳以上	3,418.5	3,297.2	3,351.1	3,147.4	4,008.0	4,894.9	5,043.9	4,673.3	3,834.2	3,029.2
女										
総 数	149.4	123.2	126.3	129.4	149.6	160.0	160.7	149.4	136.4	118.3
0～4	1.9	1.3	1.2	0.6	0.6	0.9	0.9	1.4	0.8	0.7
5～9	1.2	1.0	0.8	0.3	0.5	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3
10～14	1.0	0.7	1.0	0.6	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4
15～19	2.2	3.1	1.9	0.8	1.0	0.7	1.1	0.9	0.5	0.7
20～24	4.2	4.6	2.7	2.1	1.7	1.7	1.8	1.2	1.0	1.1
25～29	7.7	6.1	4.2	3.3	3.0	2.4	2.5	1.8	1.5	2.3
30～34	18.1	11.1	7.4	6.3	5.1	4.5	4.8	4.0	2.8	2.5
35～39	44.9	23.8	19.4	14.2	12.2	10.3	9.4	8.5	7.5	6.3
40～44	81.5	52.7	43.3	35.6	29.4	24.4	21.4	19.2	15.3	13.1
45～49	145.5	107.9	97.6	92.9	76.4	61.3	45.2	36.1	33.8	26.9
50～54	264.2	204.7	193.3	186.2	160.8	121.6	93.2	68.5	51.9	42.7
55～59	401.2	318.6	319.9	301.7	277.0	221.9	171.1	120.9	84.3	60.0
60～64	649.4	589.3	538.0	512.3	485.1	429.4	331.9	233.9	160.7	103.1
65～69	1,121.3	932.3	952.3	877.4	887.3	819.2	666.5	455.4	322.8	220.8
70～74	1,904.2	1,463.9	1,476.4	1,459.3	1,567.8	1,506.7	1,302.1	978.3	672.3	469.0
75～79		2,011.6	2,061.7	1,996.8	2,393.2	2,550.3	2,384.1	1,925.0	1,439.9	996.7
80歳以上	2,414.3	2,413.1	2,639.7	2,485.6	3,173.6	3,850.3	4,065.2	3,906.1	3,280.3	2,594.2

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。男女年齢別の脳血管疾患による死亡数の当該男女各年齢階級別人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表7 特定死因の男女、年齢別死亡率の年次変化(つづき)

(5) 肺炎および気管支炎

(人口10万について)

年 齢	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男										
総 数	200.3	194.7	98.6	51.5	53.2	40.1	37.3	36.9	38.5	43.9
0～4	893.5	764.9	399.8	233.2	220.1	102.7	49.6	24.9	11.3	7.8
5～9	38.7	40.0	14.9	8.6	6.3	4.0	3.0	2.2	1.2	0.9
10～14	15.2	15.8	7.1	3.5	2.7	2.4	1.8	1.7	1.0	0.8
15～19	37.2	26.0	8.1	3.9	3.6	2.8	2.5	2.2	1.5	0.8
20～24	44.7	44.0	10.8	4.2	3.7	2.6	2.3	2.2	1.0	1.3
25～29	44.2	51.8	10.8	4.4	4.3	2.5	2.5	1.9	1.6	0.9
30～34	47.1	54.9	11.0	4.5	5.7	3.4	2.6	2.2	1.4	1.5
35～39	51.6	65.2	13.3	5.7	6.7	4.4	4.6	3.9	1.6	1.8
40～44	65.3	83.2	17.1	6.4	8.3	5.9	6.6	5.5	3.4	2.7
45～49	85.4	96.9	27.1	11.9	13.2	7.7	10.7	7.9	6.4	5.8
50～54	132.2	151.6	41.1	18.0	21.6	14.8	17.3	14.6	9.6	9.4
55～59	202.5	245.0	81.1	36.4	43.3	32.4	34.4	26.1	19.8	17.5
60～64	310.5	427.4	153.5	75.8	94.5	66.0	72.3	54.9	44.6	40.3
65～69	507.5	662.7	328.6	164.2	180.5	146.3	158.0	128.6	115.1	102.9
70～74	790.1	932.3	575.6	359.9	384.0	325.7	317.7	292.1	262.0	253.5
75～79		1,233.5	940.6	656.3	800.9	692.5	616.5	590.5	584.0	596.2
80歳以上	1,081.0	1,654.3	1,627.7	1,153.4	1,603.7	1,644.9	1,348.0	1,466.1	1,464.3	1,555.4
女										
総 数	173.1	155.8	88.0	45.3	45.6	34.6	31.0	30.6	29.2	31.5
0～4	807.2	700.2	384.6	219.2	193.0	89.2	43.8	22.8	9.8	6.3
5～9	46.1	43.3	18.7	9.4	6.8	3.6	3.0	1.9	1.2	0.7
10～14	27.4	18.7	8.0	3.7	2.7	2.1	2.2	1.6	0.8	0.7
15～19	49.3	30.0	9.5	3.7	4.0	2.1	2.2	1.8	0.8	0.7
20～24	56.5	43.4	13.9	5.2	5.5	3.1	2.0	2.0	1.3	0.8
25～29	58.3	46.8	14.6	6.6	5.9	3.4	2.8	2.2	1.4	1.2
30～34	52.8	49.5	15.2	7.0	6.0	3.6	3.0	2.5	1.2	1.5
35～39	48.2	52.6	17.0	7.5	7.1	4.0	3.8	2.8	1.6	1.4
40～44	47.5	54.4	19.7	7.9	7.5	5.3	5.7	3.9	2.2	1.7
45～49	55.7	56.8	21.6	8.6	10.1	7.3	6.6	5.4	3.2	2.6
50～54	70.4	77.7	32.3	15.4	16.3	10.9	11.6	8.2	4.9	3.7
55～59	105.3	136.4	54.1	25.5	27.2	20.0	19.8	14.9	10.5	7.2
60～64	158.2	233.0	99.1	50.4	49.2	39.8	38.6	29.8	18.3	16.6
65～69	246.7	338.6	191.6	100.2	105.3	80.5	80.4	61.0	46.9	40.1
70～74	407.5	515.6	341.4	201.9	224.9	180.3	174.3	145.0	117.5	99.7
75～79		710.6	528.8	366.5	483.6	400.3	358.0	326.5	269.7	238.4
80歳以上	661.4	1,055.2	1,094.2	747.1	1,052.9	1,107.0	926.0	977.6	876.8	852.5

厚生省統計情報部【人口動態統計】による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。男女年齢別の肺炎および気管支炎による死亡数の当該男女各年齢階級別人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表7 特定死因の男女、年齢別死亡率の年次変化(つづき)

(6) 不慮の事故および有害作用

(人口10万について)

年 齢	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男										
総 数	59.4	69.6	58.3	56.8	64.9	63.6	65.4	45.4	37.0	36.1
0～4	87.0	103.4	94.7	91.7	84.5	66.8	58.5	45.5	34.0	25.0
5～9	39.3	60.2	50.8	46.1	42.2	34.7	30.5	22.8	16.0	11.1
10～14	19.2	29.4	18.7	19.0	19.4	17.2	15.3	9.7	6.2	6.1
15～19	45.0	56.0	36.7	31.1	47.8	42.3	62.0	45.8	38.1	40.6
20～24	64.3	67.8	60.0	58.5	74.9	66.7	62.3	41.5	33.6	34.5
25～29	63.7	63.0	56.0	59.6	74.3	59.7	54.8	30.7	24.1	23.4
30～34	60.5	60.4	53.8	53.0	62.3	61.8	53.9	31.4	20.8	18.7
35～39	62.4	64.6	56.4	53.2	64.1	62.3	59.8	34.4	25.3	22.4
40～44	66.1	72.5	68.3	56.9	66.9	69.6	65.9	43.7	31.2	30.1
45～49	66.2	75.9	62.8	65.6	71.3	79.3	70.2	49.5	40.7	36.3
50～54	64.4	75.9	66.8	69.7	77.1	83.2	82.7	56.6	44.7	46.4
55～59	67.0	79.2	66.1	72.9	81.3	88.0	95.7	66.4	53.1	51.3
60～64	74.9	95.5	69.8	77.6	92.7	106.5	107.3	75.8	60.7	54.4
65～69	80.0	105.6	72.4	80.7	110.7	116.0	129.0	94.1	78.0	70.2
70～74	123.6	124.7	83.1	95.8	137.1	142.3	163.1	119.0	105.6	96.5
75～79		151.6	119.1	138.9	172.0	184.3	208.8	159.1	138.6	141.2
80歳以上	199.6	232.8	190.6	182.2	270.0	286.0	302.0	229.3	229.8	224.8
女										
総 数	24.3	30.0	21.4	18.4	19.3	19.0	20.4	15.6	13.6	13.4
0～4	70.6	82.7	76.4	69.4	58.9	46.2	39.0	28.1	21.1	16.5
5～9	16.6	26.2	18.5	14.8	15.8	13.7	12.0	9.0	6.6	4.8
10～14	7.5	15.0	8.2	9.2	6.3	5.2	4.4	3.1	2.0	1.9
15～19	13.6	14.6	7.5	6.1	8.4	6.2	8.0	6.2	7.1	7.2
20～24	14.6	16.4	8.3	8.2	9.6	8.3	10.0	7.7	5.5	6.3
25～29	11.6	16.0	7.3	6.0	7.8	7.7	7.6	4.3	4.1	3.6
30～34	11.5	16.4	7.7	6.6	7.1	7.3	7.3	4.7	3.7	4.1
35～39	12.4	17.2	8.1	7.7	9.0	9.5	10.2	5.7	5.2	4.4
40～44	11.8	17.4	9.4	9.4	9.9	11.1	12.4	7.9	6.8	6.4
45～49	14.6	19.4	10.6	9.7	13.4	14.0	13.3	10.4	7.1	8.0
50～54	18.8	25.3	11.6	11.4	16.9	17.3	18.3	11.5	10.7	9.9
55～59	21.8	28.5	14.1	15.3	21.7	23.2	23.8	15.6	13.4	11.7
60～64	26.9	43.1	21.3	21.2	27.6	30.5	32.3	20.2	16.4	15.9
65～69	40.4	48.9	32.3	33.2	39.3	43.4	48.6	31.9	24.9	23.9
70～74	68.4	68.5	51.3	46.7	64.4	67.9	74.3	52.0	43.4	37.7
75～79		99.9	67.5	78.1	106.1	105.6	121.2	91.5	75.0	65.1
80歳以上	128.5	150.6	111.4	113.6	175.4	218.9	216.4	201.2	166.0	152.1

厚生省統計情報部【人口動態統計】による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。男女年齢別の不慮の事故および有害作用による死亡数の当該男女各年齢階級別人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表7 特定死因の男女、年齢別死亡率の年次変化(つづき)

(7) 自殺

(人口10万について)

年 齢	昭和10年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男										
総 数	25.1	18.6	24.1	31.5	25.1	17.3	17.3	21.5	22.3	27.6
0～4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5～9	—	0.3	—	0.1	—	—	—	0.0	0.0	0.0
10～14	1.3	1.3	—	1.1	0.7	0.7	1.0	1.5	0.9	0.8
15～19	25.0	9.6	17.5	37.2	25.3	8.8	8.7	12.6	9.5	7.3
20～24	47.8	19.7	44.9	84.1	58.7	23.3	18.8	26.0	24.3	21.6
25～29	36.3	23.2	36.0	54.7	44.1	23.8	22.0	26.0	26.5	24.7
30～34	24.8	18.3	24.4	30.3	22.9	18.0	18.3	24.9	24.0	27.0
35～39	25.8	16.0	22.4	24.5	18.6	15.8	19.3	24.4	27.1	28.3
40～44	26.1	20.8	24.3	23.6	18.6	15.4	16.4	27.5	31.2	40.7
45～49	36.6	28.7	32.5	32.1	23.7	20.7	18.1	27.2	34.9	50.3
50～54	45.4	38.3	39.7	37.6	31.4	23.8	22.9	26.1	31.5	54.6
55～59	52.7	48.6	56.1	47.8	39.3	32.7	29.7	29.7	32.5	45.2
60～64	65.1	66.4	67.7	55.3	49.5	42.1	35.9	36.7	32.5	39.9
65～69	80.5	85.6	85.1	67.8	60.3	52.3	45.7	41.0	34.8	42.3
70～74	108.2	112.3	105.3	86.7	72.7	59.1	57.6	52.8	48.5	48.5
75～79		127.2	121.0	111.1	86.3	76.1	74.2	73.9	62.4	66.6
80歳以上	134.9	151.4	136.7	123.8	94.4	103.9	95.2	102.9	88.7	95.1
女										
総 数	15.8	12.9	15.3	19.0	18.2	12.2	13.3	14.4	13.1	13.3
0～4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5～9	—	0.1	—	—	0.0	—	—	—	—	—
10～14	0.7	0.5	0.0	0.7	0.4	0.3	0.4	0.6	0.3	0.5
15～19	20.9	8.7	13.0	26.1	22.4	6.1	6.9	6.8	4.9	3.7
20～24	31.3	20.5	27.8	46.8	44.0	18.3	16.2	16.9	11.6	9.2
25～29	21.0	16.0	18.8	28.0	25.3	16.1	15.4	15.3	12.3	11.0
30～34	19.7	12.3	16.1	18.1	16.9	11.1	12.3	13.9	10.7	10.9
35～39	15.6	10.6	14.4	16.0	13.0	10.6	11.4	12.6	12.3	11.4
40～44	16.7	12.1	14.4	14.8	12.9	8.7	10.3	13.2	12.9	13.0
45～49	19.1	14.5	19.0	16.5	16.4	11.3	12.2	13.8	14.4	15.5
50～54	23.0	16.8	20.2	18.6	19.3	15.0	15.3	16.4	16.0	17.3
55～59	21.7	21.5	24.1	22.5	20.7	16.0	19.0	18.1	17.2	17.5
60～64	29.2	35.2	33.4	30.8	29.5	23.4	22.8	23.8	18.8	20.4
65～69	37.8	46.9	53.8	40.4	42.8	33.6	35.2	33.9	30.2	27.1
70～74	61.8	64.9	59.5	57.5	51.0	49.1	47.8	50.1	41.9	36.3
75～79		89.9	83.3	65.6	62.8	59.5	61.5	67.5	55.6	48.8
80歳以上	83.4	108.5	105.7	89.4	73.2	79.3	72.3	78.7	65.3	65.4

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。男女年齢別の自殺による死亡数の当該男女各年齢階級別人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。



表8 男女別にみた年齢階級別死因順位(死亡数・率):昭和59年

(1) 男

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)
総数	悪性新生物	107,175 (182.3)	心疾患	69,582 (118.4)	脳血管疾患	68,262 (116.1)	肺炎・気管支炎	25,833 (43.9)	不慮の事故	21,223 (36.1)
0歳 <sup>1)</sup>	出産時外傷等	1,533 (200.5)	先天異常	1,455 (190.3)	不慮の事故	309 (40.4)	肺炎・気管支炎	204 (26.7)	敗血症(新生児 敗血症を含む)	162 (21.2)
1~4	不慮の事故	662 (21.2)	先天異常	277 (8.9)	悪性新生物	147 (4.7)	肺炎・気管支炎	101 (3.2)	中枢神経系の 非炎症性疾患	91 (2.9)
5~9	不慮の事故	498 (11.1)	悪性新生物	199 (4.4)	先天異常	81 (1.8)	心疾患	45 (1.0)	中枢神経系の 非炎症性疾患	41 (0.9)
10~14	不慮の事故	312 (6.1)	悪性新生物	208 (4.1)	心疾患	98 (1.9)	先天異常	55 (1.1)	良性等の新生物 中枢神経系の 非炎症性疾患	45 (0.9)
15~19	不慮の事故	1,826 (40.6)	自殺	326 (7.3)	悪性新生物	253 (5.6)	心疾患	154 (3.4)	中枢神経系の 非炎症性疾患	51 (1.1)
20~24	不慮の事故	1,398 (34.5)	自殺	876 (21.6)	悪性新生物	261 (6.4)	心疾患	247 (6.1)	中枢神経系の 非炎症性疾患	55 (1.4)
25~29	自殺	977 (24.7)	不慮の事故	927 (23.4)	心疾患	378 (9.6)	悪性新生物	361 (9.1)	脳血管疾患	95 (2.4)
30~34	自殺	1,287 (27.0)	不慮の事故	889 (18.7)	悪性新生物	817 (17.2)	心疾患	559 (11.7)	脳血管疾患	247 (5.2)
35~39	悪性新生物	1,481 (29.3)	自殺	1,428 (28.3)	不慮の事故	1,133 (22.4)	心疾患	919 (18.2)	脳血管疾患	617 (12.2)
40~44	悪性新生物	2,393 (51.7)	自殺	1,885 (40.7)	心疾患	1,477 (31.9)	不慮の事故	1,393 (30.1)	脳血管疾患	1,178 (25.5)
45~49	悪性新生物	4,253 (104.8)	心疾患	2,082 (51.3)	自殺	2,042 (50.3)	脳血管疾患	1,897 (46.7)	不慮の事故	1,474 (36.3)
50~54	悪性新生物	8,472 (219.8)	心疾患	3,236 (84.0)	脳血管疾患	3,185 (82.6)	肝硬変	2,274 (59.0)	自殺	2,106 (54.6)
55~59	悪性新生物	11,914 (361.4)	心疾患	4,367 (132.5)	脳血管疾患	3,877 (117.6)	肝硬変	1,858 (56.4)	不慮の事故	1,690 (51.3)
60~64	悪性新生物	12,213 (550.4)	心疾患	4,660 (210.0)	脳血管疾患	4,228 (190.5)	肝硬変	1,265 (57.0)	不慮の事故	1,208 (54.4)
65~69	悪性新生物	14,750 (854.6)	心疾患	6,433 (372.7)	脳血管疾患	6,150 (356.3)	肺炎・気管支炎	1,776 (102.9)	不慮の事故	1,211 (70.2)
70~74	悪性新生物	17,937 (1,218.5)	脳血管疾患	10,432 (708.7)	心疾患	9,814 (666.7)	肺炎・気管支炎	3,732 (253.5)	不慮の事故	1,420 (96.5)
75~79	悪性新生物	16,102 (1,672.1)	脳血管疾患	13,391 (1,390.6)	心疾患	12,301 (1,277.4)	肺炎・気管支炎	5,741 (596.2)	不慮の事故	1,360 (141.2)
80~84	脳血管疾患	13,201 (2,543.5)	心疾患	12,152 (2,341.4)	悪性新生物	10,639 (2,049.9)	肺炎・気管支炎	6,354 (1,224.3)	老衰	2,868 (552.6)
85~89	心疾患	7,454 (4,007.5)	脳血管疾患	7,217 (3,880.1)	悪性新生物	3,950 (2,123.7)	肺炎・気管支炎	3,774 (2,029.0)	老衰	3,287 (1,767.2)
90歳以上	心疾患	2,961 (6,300.0)	脳血管疾患	2,377 (5,057.4)	老衰	2,330 (4,957.4)	肺炎・気管支炎	1,584 (3,370.2)	悪性新生物	788 (1,676.6)
(再掲) 65歳以上	悪性新生物	64,166 (1,305.8)	脳血管疾患	52,768 (1,073.8)	心疾患	51,115 (1,040.2)	肺炎・気管支炎	22,961 (467.3)	老衰	10,140 (206.3)
80歳以上	脳血管疾患	22,795 (3,027.2)	心疾患	22,567 (2,996.9)	悪性新生物	15,377 (2,042.1)	肺炎・気管支炎	11,712 (1,555.4)	老衰	8,485 (1,126.8)

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年人口動態統計 上巻』(昭61.3)による。死因順位は死亡数の多いものから定めている。死亡数が同数の場合は、同一順位に死因名を列記し、次位を空欄としている。

(次ページにつづく)

表8 男女別にみた年齢階級別死因順位（死亡数・率）：昭和59年

(1) 男（つづき）

年齢階級	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)
総数	自殺	16,251 (27.6)	肝硬変	12,044 (20.5)	老衰	10,149 (17.3)	腎炎等	6,325 (10.8)	高血圧性疾患	5,163 (8.8)
0歳 <sup>1)</sup>	詳細不明の未熟児	140 (18.3)	心疾患	136 (17.8)	その他の外因	95 (12.4)	新生児出血性疾患	47 (6.1)	髄膜炎	41 (5.4)
1～4	心疾患	82 (2.6)	他殺	39 (1.2)	喘息	28 (0.9)	麻疹	27 (0.9)	良性等の新生物	22 (0.7)
5～9	良性等の新生物	40 (0.9)	肺炎・気管支炎	39 (0.9)	他殺	35 (0.8)	喘息	22 (0.5)	貧血	17 (0.4)
10～14			自殺	43 (0.8)	肺炎・気管支炎	40 (0.8)	他殺	30 (0.6)	喘息	26 (0.5)
15～19	良性等の新生物	43 (1.0)	先天異常	38 (0.8)	肺炎・気管支炎	36 (0.8)	脳血管疾患	29 (0.6)	喘息	20 (0.4)
20～24	肺炎・気管支炎	54 (1.3)	脳血管疾患	50 (1.2)	良性等の新生物	32 (0.8)	{先天異常} 他殺	30 (0.7)		
25～29	中枢神経系の非炎症性疾患	48 (1.2)	肺炎・気管支炎	35 (0.9)	他殺	34 (0.9)	良性等の新生物	31 (0.8)	腎炎等	26 (0.7)
30～34	肝硬変	82 (1.7)	肺炎・気管支炎	72 (1.5)	腎炎等	66 (1.4)	良性等の新生物	57 (1.2)	他殺	49 (1.0)
35～39	肝硬変	268 (5.3)	肺炎・気管支炎	91 (1.8)	良性等の新生物	89 (1.8)	腎炎等	76 (1.5)	{糖尿病} 他殺	66 (1.3)
40～44	肝硬変	763 (16.5)	腎炎等	129 (2.8)	肺炎・気管支炎	126 (2.7)	糖尿病	118 (2.6)	良性等の新生物	102 (2.2)
45～49	肝硬変	1,401 (34.5)	肺炎・気管支炎	235 (5.8)	糖尿病	209 (5.1)	腎炎等	163 (4.0)	良性等の新生物	136 (3.3)
50～54	不慮の事故	1,787 (46.4)	肺炎・気管支炎	363 (9.4)	糖尿病	356 (9.2)	結核	294 (7.6)	腎炎等	268 (7.0)
55～59	自殺	1,490 (45.2)	肺炎・気管支炎	578 (17.5)	糖尿病	404 (12.3)	腎炎等	368 (11.2)	結核	354 (10.7)
60～64	肺炎・気管支炎	894 (40.3)	自殺	885 (39.9)	結核	403 (18.2)	糖尿病	394 (17.8)	腎炎等	393 (17.7)
65～69	肝硬変	1,094 (63.4)	自殺	730 (42.3)	腎炎等	627 (36.3)	糖尿病	545 (31.6)	結核	493 (28.6)
70～74	肝硬変	1,123 (76.3)	腎炎等	966 (65.6)	自殺	714 (48.5)	糖尿病	705 (47.9)	結核	624 (42.4)
75～79	老衰	1,202 (124.8)	腎炎等	1,198 (124.4)	高血圧性疾患	1,005 (104.4)	肝硬変	946 (98.2)	糖尿病	748 (77.7)
80～84	高血圧性疾患	1,329 (256.1)	腎炎等	1,118 (215.4)	不慮の事故	1,019 (196.3)	循環系のその他の疾患	785 (151.3)	喘息	784 (151.1)
85～89	高血圧性疾患	1,004 (539.8)	腎炎等	600 (322.6)	{循環系のその他の疾患} 不慮の事故	497 (267.2)			喘息	395 (212.4)
90歳以上	高血圧性疾患	382 (812.8)	{循環系のその他の疾患} 腎炎等	198 (421.3)			不慮の事故	177 (376.6)	喘息	111 (236.2)
(再掲) 65歳以上	不慮の事故	5,684 (115.7)	腎炎等	4,707 (95.8)	高血圧性疾患	4,635 (94.3)	肝硬変	4,099 (83.4)	循環系のその他の疾患	3,225 (65.6)
80歳以上	高血圧性疾患	2,715 (360.6)	腎炎等	1,916 (254.4)	不慮の事故	1,693 (224.8)	循環系のその他の疾患	1,480 (196.5)	喘息	1,290 (171.3)

( )内の死亡率は、男女各年齢階級別死亡数の当該年齢日本人口（10月1日現在）10万に対するもの。

1) 0歳の死亡率は出生10万対の率である。

(次ページにつづく)

表8 男女別にみた年齢階級別死因順位（死亡数・率）：昭和59年（つづき）

(2) 女

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)
総数	悪性新生物	75,105 (123.7)	脳血管疾患	71,831 (118.3)	心疾患	66,580 (109.6)	肺炎・気管支炎	19,149 (31.5)	老衰	18,656 (30.7)
0歳 <sup>1)</sup>	先天異常	1,210 (166.9)	出産時外傷等	1,182 (163.0)	不慮の事故	191 (26.3)	肺炎・気管支炎	136 (18.8)	敗血症(新生児 敗血症を含む)	121 (16.7)
1～4	不慮の事故	417 (14.1)	先天異常	274 (9.3)	悪性新生物	130 (4.4)	肺炎・気管支炎	98 (3.3)	中枢神経系の 非炎症性疾患	58 (2.0)
5～9	不慮の事故	204 (4.8)	悪性新生物	143 (3.3)	他殺	50 (1.2)	先天異常	49 (1.1)	心疾患	33 (0.8)
10～14	悪性新生物	156 (3.2)	不慮の事故	93 (1.9)	心疾患	51 (1.1)	肺炎・気管支炎	36 (0.7)	先天異常	34 (0.7)
15～19	不慮の事故	306 (7.2)	悪性新生物	175 (4.1)	自殺	159 (3.7)	心疾患	76 (1.8)	中枢神経系の 非炎症性疾患	33 (0.8)
20～24	自殺	360 (9.2)	不慮の事故	245 (6.3)	悪性新生物	222 (5.7)	心疾患	104 (2.7)	中枢神経系の 非炎症性疾患	44 (1.1)
25～29	自殺	429 (11.0)	悪性新生物	360 (9.3)	心疾患	167 (4.3)	不慮の事故	141 (3.6)	脳血管疾患	91 (2.3)
30～34	悪性新生物	978 (20.7)	自殺	513 (10.9)	心疾患	211 (4.5)	不慮の事故	192 (4.1)	脳血管疾患	120 (2.5)
35～39	悪性新生物	1,659 (33.1)	自殺	572 (11.4)	心疾患	321 (6.4)	脳血管疾患	315 (6.3)	不慮の事故	222 (4.4)
40～44	悪性新生物	2,528 (54.3)	脳血管疾患	611 (13.1)	自殺	605 (13.0)	心疾患	558 (12.0)	不慮の事故	296 (6.4)
45～49	悪性新生物	3,551 (86.6)	脳血管疾患	1,101 (26.9)	心疾患	816 (19.9)	自殺	636 (15.5)	不慮の事故	327 (8.0)
50～54	悪性新生物	5,158 (131.5)	脳血管疾患	1,674 (42.7)	心疾患	1,172 (29.9)	自殺	678 (17.3)	不慮の事故	389 (9.9)
55～59	悪性新生物	6,739 (192.2)	脳血管疾患	2,105 (60.0)	心疾患	1,911 (54.5)	自殺	612 (17.5)	肝硬変	537 (15.3)
60～64	悪性新生物	7,960 (271.4)	脳血管疾患	3,025 (103.1)	心疾患	2,937 (100.1)	肝硬変	651 (22.2)	自殺	598 (20.4)
65～69	悪性新生物	9,191 (401.5)	脳血管疾患	5,054 (220.8)	心疾患	4,836 (211.3)	肺炎・気管支炎	918 (40.1)	肝硬変	680 (29.7)
70～74	悪性新生物	11,374 (569.0)	脳血管疾患	9,376 (469.0)	心疾患	8,150 (407.7)	肺炎・気管支炎	1,994 (99.7)	糖尿病	971 (48.6)
75～79	脳血管疾患	13,754 (996.7)	心疾患	11,954 (866.2)	悪性新生物	11,037 (799.8)	肺炎・気管支炎	3,290 (238.4)	老衰	1,512 (109.6)
80～84	脳血管疾患	16,879 (1,992.8)	心疾患	14,857 (1,754.1)	悪性新生物	8,568 (1,011.6)	肺炎・気管支炎	4,749 (560.7)	老衰	4,271 (504.3)
85～89	脳血管疾患	12,178 (3,345.6)	心疾患	11,768 (3,233.0)	老衰	6,152 (1,690.1)	肺炎・気管支炎	4,078 (1,120.3)	悪性新生物	4,075 (1,119.5)
90歳以上	心疾患	6,488 (5,498.3)	老衰	6,249 (5,295.8)	脳血管疾患	5,420 (4,593.2)	肺炎・気管支炎	2,503 (2,121.2)	高血圧性疾患	1,120 (949.2)
(再掲) 65歳以上	脳血管疾患	62,661 (895.5)	心疾患	58,053 (829.7)	悪性新生物	45,318 (647.7)	老衰	18,644 (266.5)	肺炎・気管支炎	17,532 (250.6)
80歳以上	脳血管疾患	34,477 (2,594.2)	心疾患	33,113 (2,491.6)	老衰	16,672 (1,254.5)	悪性新生物	13,716 (1,032.1)	肺炎・気管支炎	11,330 (852.5)

死因名の表記は紙幅の関係で略称したことがあるが、それは次の8死因である。

出産時外傷等→出産時外傷、低酸素症分娩仮死及びその他の呼吸器病態 不慮の事故→不慮の事故及び有害作用 肝硬変→慢性肝疾患及び肝硬変 腎炎等→腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ

(次ページにつづく)

表8 男女別にみた年齢階級別死因順位(死亡数・率):昭和59年

(2) 女 (つづき)

年齢階級	第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)	死因	死亡数 (死亡率)
総数	不慮の事故	8,121 (13.4)	自殺	8,093 (13.3)	高血圧性疾患	7,910 (13.0)	腎炎等	6,363 (10.5)	糖尿病	5,027 (8.3)
0歳 <sup>1)</sup>	心疾患	113 (15.6)	詳細不明の未熟児	99 (13.7)	その他の外因	72 (9.9)	髄膜炎	36 (5.0)	悪性新生物	28 (3.9)
1~4	他殺	56 (1.9)	心疾患	54 (1.8)	喘息	28 (0.9)	良性等の新生物	25 (0.8)	麻疹	20 (0.7)
5~9	中枢神経系の非炎症性疾患 肺炎・気管支炎	32 (0.7)			良性等の新生物	28 (0.7)	(貧血) 脳血管疾患	11 (0.3)		
10~14	良性等の新生物	27 (0.6)	中枢神経系の非炎症性疾患 自殺	23 (0.5)			他殺	21 (0.4)	脳血管疾患	19 (0.4)
15~19	肺炎・気管支炎	30 (0.7)	脳血管疾患	28 (0.7)	先天異常	23 (0.5)	良性等の新生物	21 (0.5)	他殺	20 (0.5)
20~24	脳血管疾患	43 (1.1)	肺炎・気管支炎	30 (0.8)	妊産婦死亡	28 (0.7)	他殺	26 (0.7)	良性等の新生物	20 (0.5)
25~29	妊産婦死亡	65 (1.7)	肺炎・気管支炎	46 (1.2)	中枢神経系の非炎症性疾患	30 (0.8)	良性等の新生物	29 (0.7)	他殺	26 (0.7)
30~34	肺炎・気管支炎	71 (1.5)	妊産婦死亡	58 (1.2)	中枢神経系の非炎症性疾患	49 (1.0)	腎炎等	39 (0.8)	良性等の新生物	37 (0.8)
35~39	肺炎・気管支炎	68 (1.4)	腎炎等	61 (1.2)	肝硬変	60 (1.2)	良性等の新生物	59 (1.2)	妊産婦死亡	55 (1.1)
40~44	肝硬変	111 (2.4)	腎炎等	98 (2.1)	肺炎・気管支炎	77 (1.7)	良性等の新生物	70 (1.5)	糖尿病	62 (1.3)
45~49	肝硬変	223 (5.4)	腎炎等	117 (2.9)	肺炎・気管支炎	105 (2.6)	糖尿病	95 (2.3)	良性等の新生物	92 (2.3)
50~54	肝硬変	366 (9.3)	肺炎・気管支炎	146 (3.7)	良性等の新生物	145 (3.7)	腎炎等	135 (3.4)	糖尿病	126 (3.2)
55~59	不慮の事故	410 (11.7)	肺炎・気管支炎	254 (7.2)	腎炎等	253 (7.2)	糖尿病	222 (6.3)	良性等の新生物	174 (5.0)
60~64	肺炎・気管支炎	486 (16.6)	不慮の事故	465 (15.9)	糖尿病	409 (13.9)	腎炎等	393 (13.4)	良性等の新生物	240 (8.2)
65~69	糖尿病	672 (29.4)	自殺	621 (27.1)	不慮の事故	548 (23.9)	腎炎等	522 (22.8)	良性等の新生物	276 (12.1)
70~74	腎炎等	944 (47.2)	肝硬変	765 (38.3)	不慮の事故	754 (37.7)	自殺	725 (36.3)	高血圧性疾患	643 (32.2)
75~79	高血圧性疾患	1,337 (96.9)	腎炎等	1,217 (88.2)	糖尿病	1,088 (78.8)	不慮の事故	898 (65.1)	自殺	674 (48.8)
80~84	高血圧性疾患	2,157 (254.7)	腎炎等	1,303 (153.8)	不慮の事故	969 (114.4)	循環系のその他の疾患	929 (109.7)	糖尿病	851 (100.5)
85~89	高血圧性疾患	2,013 (553.0)	腎炎等	851 (233.8)	循環系のその他の疾患	775 (212.9)	不慮の事故	675 (185.4)	胃及び十二指腸潰瘍	441 (121.2)
90歳以上	悪性新生物	1,073 (909.3)	循環系のその他の疾患	555 (470.3)	不慮の事故	377 (319.5)	腎炎等	334 (283.1)	胃腸炎	269 (228.0)
(再掲) 65歳以上	高血圧性疾患	7,543 (107.8)	腎炎等	5,171 (73.9)	不慮の事故	4,221 (60.3)	糖尿病	4,024 (57.5)	循環系のその他の疾患	3,440 (49.2)
80歳以上	高血圧性疾患	5,290 (398.0)	腎炎等	2,488 (187.2)	循環系のその他の疾患	2,259 (170.0)	不慮の事故	2,021 (152.1)	糖尿病	1,293 (97.3)

肺炎・気管支炎→肺炎及び気管支炎 良性等の新生物→良性及び性質不詳の新生物 新生児出血性疾患  
 患→新生児の出血及び新生児出血性疾患 老衰→精神病の記載のない老衰

表9 月別にみた主要死因別死亡率：昭和59年

死 因	死亡数	死亡率（人口10万について）					
		総数	1月	2月	3月	4月	5月
結核	4,950	4.1	4.8	4.4	4.2	3.8	4.3
悪性新生物	182,280	152.5	150.7	148.7	147.7	148.3	151.4
胃	49,785	41.7	41.4	40.3	40.2	40.2	41.2
肝	18,607	15.6	15.2	15.5	15.2	15.6	15.2
気管、気管支及び肺	27,356	22.9	23.2	21.9	22.4	22.7	22.6
良性及び性質不詳の新生	6,387	5.3	5.2	5.4	5.2	5.2	5.5
糖尿病	9,470	7.9	9.7	9.3	9.3	8.5	7.9
心疾患	136,162	113.9	148.6	142.0	132.5	118.1	108.3
高血圧性疾	13,073	10.9	14.2	13.7	13.3	12.6	10.9
脳血管疾	140,093	117.2	147.8	145.0	136.6	121.1	111.3
脳出血	39,734	33.2	40.9	42.5	39.5	35.7	32.2
脳梗塞	68,926	57.7	73.5	70.3	66.7	58.6	54.4
肺炎及び気管支	44,982	37.6	46.9	44.9	40.4	38.2	37.4
肺	38,895	32.5	40.2	38.3	34.7	32.9	32.3
胃及び十二指腸潰瘍	4,606	3.9	4.9	4.6	4.6	3.8	3.7
胃腸	2,495	2.1	2.4	2.7	2.6	1.9	2.0
慢性肝疾患及び肝硬変	16,991	14.2	17.3	15.2	14.8	15.4	13.9
腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	12,688	10.6	12.2	11.5	10.9	11.2	10.7
精神病の記載のない老衰	28,805	24.1	35.6	33.7	28.9	23.9	21.0
損傷及び中	57,128	47.8	50.5	47.2	50.0	50.3	49.0
不慮の事故及び有害作用	29,344	24.6	27.8	23.7	24.4	23.9	23.0
自動車事故	12,432	10.4	9.3	7.5	9.0	9.8	10.1
自殺	24,344	20.4	19.4	20.1	22.0	23.7	22.9

死 因	死亡率（つづき）						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
結核	4.0	4.0	4.3	3.7	4.0	4.1	4.1
悪性新生物	151.6	156.0	154.6	154.7	157.8	157.8	154.2
胃	40.8	44.0	42.5	41.8	43.5	42.4	42.4
肝	15.4	15.4	16.1	15.7	16.5	15.8	15.5
気管、気管支及び肺	22.2	22.5	22.9	23.0	24.3	23.7	23.6
良性及び性質不詳の新生	5.0	5.5	5.3	5.4	5.1	5.7	5.7
糖尿病	6.8	6.8	7.1	6.4	6.7	8.0	8.7
心疾患	95.8	91.3	95.1	90.5	104.1	116.2	128.1
高血圧性疾	8.7	8.3	9.0	8.7	9.3	11.1	12.0
脳血管疾	102.2	98.5	101.2	98.3	108.8	113.5	125.9
脳出血	29.5	26.1	25.7	27.9	32.0	32.6	35.7
脳梗塞	49.6	50.0	52.5	48.3	52.7	55.3	61.7
肺炎及び気管支	34.7	34.4	38.6	31.9	32.7	34.6	37.8
肺	30.2	30.3	33.7	28.1	28.5	29.8	32.6
胃及び十二指腸潰瘍	3.3	3.3	3.3	3.2	3.9	3.6	4.1
胃腸	1.7	1.9	2.4	1.8	1.8	1.9	1.9
慢性肝疾患及び肝硬変	13.2	13.1	12.5	13.3	13.5	13.9	15.0
腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	9.9	10.1	10.2	9.9	10.4	10.2	10.5
精神病の記載のない老衰	18.4	18.4	20.6	19.1	20.8	23.3	26.5
損傷及び中	46.4	48.7	48.4	46.8	44.4	46.4	46.6
不慮の事故及び有害作用	21.5	24.9	26.7	23.9	23.3	25.6	26.2
自動車事故	9.7	10.7	11.6	11.9	11.6	12.3	11.5
自殺	22.2	21.0	18.7	20.5	18.8	18.3	17.4

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年人口動態統計 上巻』(昭61.3) による。各月の率は年率に換算した人口10万についてのもので、月間死亡数を月初人口×年換算係数をもって除している。ここに年換算係数とは、月間日数を年間日数で除したもので、すなわち、1年の長さを1とした場合の各月の長さをいう。

表10 都道府県別にみた死因順位(死亡割合)：昭和59年

(%)

都道府県	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	割合	死因	割合	死因	割合	死因	割合	死因	割合
全国	悪性新生物	24.6	脳血管疾患	18.9	心疾患	18.4	肺炎・気管支炎	6.1	不慮の事故	4.0
北海道	悪性新生物	26.4	心疾患	19.4	脳血管疾患	16.3	肺炎・気管支炎	6.6	不慮の事故	4.6
青森	悪性新生物	22.4	脳血管疾患	20.8	心疾患	18.8	肺炎・気管支炎	6.8	老衰	5.2
岩手	悪性新生物	22.8	脳血管疾患	21.0	心疾患	19.0	肺炎・気管支炎	6.9	不慮の事故	4.6
宮城	悪性新生物	25.0	脳血管疾患	23.8	心疾患	17.4	肺炎・気管支炎	5.2	不慮の事故	3.8
秋田	悪性新生物	25.2	脳血管疾患	22.6	心疾患	18.4	肺炎・気管支炎	5.6	自殺	3.9
山形	悪性新生物	24.5	脳血管疾患	23.5	心疾患	17.3	肺炎・気管支炎	5.8	老衰	5.4
福島	悪性新生物	24.4	脳血管疾患	23.4	心疾患	17.3	肺炎・気管支炎	6.1	老衰	5.2
茨城	脳血管疾患	22.6	悪性新生物	21.7	心疾患	18.4	肺炎・気管支炎	5.2	老衰	5.0
栃木	脳血管疾患	23.7	悪性新生物	22.1	心疾患	17.1	肺炎・気管支炎	6.2	不慮の事故	4.5
群馬	脳血管疾患	22.6	悪性新生物	22.3	心疾患	17.6	肺炎・気管支炎	6.5	不慮の事故	4.1
埼玉	悪性新生物	25.2	脳血管疾患	18.9	心疾患	18.6	肺炎・気管支炎	5.8	不慮の事故	4.2
千葉	悪性新生物	24.7	脳血管疾患	19.2	心疾患	18.6	肺炎・気管支炎	5.5	不慮の事故	4.5
東京	悪性新生物	27.2	脳血管疾患	18.7	心疾患	17.5	肺炎・気管支炎	6.7	自殺	3.3
神奈川	悪性新生物	27.2	脳血管疾患	18.7	心疾患	17.1	肺炎・気管支炎	5.9	不慮の事故	3.9
新潟	悪性新生物	25.6	脳血管疾患	22.6	心疾患	15.7	肺炎・気管支炎	6.1	老衰	4.0
富山	悪性新生物	25.3	脳血管疾患	19.2	心疾患	18.0	肺炎・気管支炎	6.5	不慮の事故	4.2
石川	悪性新生物	25.0	心疾患	18.9	脳血管疾患	17.8	肺炎・気管支炎	6.4	老衰	5.4
福井	悪性新生物	23.3	脳血管疾患	19.5	心疾患	19.1	老衰	5.4	肺炎・気管支炎	5.3
山梨	悪性新生物	23.1	脳血管疾患	21.3	心疾患	19.0	肺炎・気管支炎	5.8	老衰	4.2
長野	悪性新生物	24.3	脳血管疾患	23.6	心疾患	18.4	肺炎・気管支炎	5.7	老衰	4.6
岐阜	悪性新生物	23.3	脳血管疾患	20.5	心疾患	18.7	肺炎・気管支炎	5.2	老衰	4.6
静岡	悪性新生物	22.2	脳血管疾患	20.4	心疾患	18.4	肺炎・気管支炎	6.1	老衰	5.0
愛知	悪性新生物	24.9	心疾患	20.0	脳血管疾患	18.3	肺炎・気管支炎	5.4	不慮の事故	4.1
三重	悪性新生物	22.0	脳血管疾患	20.4	心疾患	19.2	肺炎・気管支炎	5.4	老衰	5.3
滋賀	悪性新生物	23.2	脳血管疾患	19.8	心疾患	19.5	肺炎・気管支炎	5.0	老衰	4.4
京都	悪性新生物	24.3	心疾患	19.7	脳血管疾患	17.2	肺炎・気管支炎	5.3	老衰	4.5
大阪	悪性新生物	26.6	心疾患	19.3	脳血管疾患	14.2	肺炎・気管支炎	6.1	自殺	3.5
兵庫	悪性新生物	25.2	心疾患	18.9	脳血管疾患	16.4	老衰	5.1	肺炎・気管支炎	5.0
奈良	悪性新生物	25.5	脳血管疾患	19.3	心疾患	18.1	肺炎・気管支炎	4.9	老衰	4.6
和歌山	悪性新生物	24.4	心疾患	20.1	脳血管疾患	18.5	老衰	6.6	肺炎・気管支炎	5.0
鳥取	悪性新生物	23.0	脳血管疾患	20.6	心疾患	18.8	肺炎・気管支炎	7.0	老衰	5.8
島根	悪性新生物	22.7	脳血管疾患	21.9	心疾患	18.3	肺炎・気管支炎	6.3	老衰	4.9
岡山	悪性新生物	22.5	脳血管疾患	20.0	心疾患	18.6	肺炎・気管支炎	6.6	老衰	5.7
広島	悪性新生物	24.1	心疾患	17.9	脳血管疾患	17.0	肺炎・気管支炎	6.6	老衰	5.1
山口	悪性新生物	24.1	心疾患	18.4	脳血管疾患	17.4	肺炎・気管支炎	7.7	不慮の事故	4.4
徳島	悪性新生物	22.0	心疾患	19.3	脳血管疾患	18.0	肺炎・気管支炎	7.6	老衰	4.6
香川	悪性新生物	24.4	心疾患	19.5	脳血管疾患	16.6	肺炎・気管支炎	6.6	老衰	5.0
愛媛	悪性新生物	23.4	脳血管疾患	18.1	心疾患	17.9	老衰	6.6	肺炎・気管支炎	6.1
高知	悪性新生物	20.4	脳血管疾患	20.4	心疾患	18.8	肺炎・気管支炎	7.3	不慮の事故	4.8
福岡	悪性新生物	26.7	心疾患	18.0	脳血管疾患	16.8	肺炎・気管支炎	6.1	不慮の事故	4.0
佐賀	悪性新生物	24.3	心疾患	17.8	脳血管疾患	17.1	肺炎・気管支炎	6.1	不慮の事故	4.5
長崎	悪性新生物	26.0	心疾患	18.3	脳血管疾患	17.5	肺炎・気管支炎	6.9	高血圧性疾患	3.3
熊本	悪性新生物	23.2	心疾患	19.0	脳血管疾患	17.6	肺炎・気管支炎	6.2	不慮の事故	4.0
大分	悪性新生物	23.3	脳血管疾患	19.5	心疾患	19.1	肺炎・気管支炎	6.3	不慮の事故	4.0
宮崎	悪性新生物	23.3	心疾患	19.3	脳血管疾患	18.7	肺炎・気管支炎	6.7	自殺	3.9
鹿児島	悪性新生物	21.4	脳血管疾患	19.3	心疾患	18.0	肺炎・気管支炎	6.9	老衰	4.2
沖縄	悪性新生物	21.9	心疾患	15.1	脳血管疾患	12.7	肺炎・気管支炎	7.4	老衰	7.1

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年人口動態統計 上巻』(昭61.3)による。割合は、各都道府県の死亡総数を100.0としたもの。死因順位は死亡割合の大きいものから定めている。同じ割合の場合は同一順位に死因名を列記し、次位を空欄としている。(次ページにつづく)

表10 (つづき)

(%)

都道府県	第 6 位		第 7 位		第 8 位		第 9 位		第 10 位	
	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合
全 国	老 衰	3.9	自 殺	3.3	肝 硬 変	2.3	高血圧性疾患	1.8	腎 炎 等	1.7
北海道	自 殺	4.0	老 衰	2.2	腎 炎 等	2.0	肝 硬 変	2.0	糖 尿 病	1.6
青森	不慮の事故	4.1	自 殺	3.8	腎 炎 等	1.9	肝 硬 変	1.8	高血圧性疾患	1.1
岩手	自 殺	4.5	老 衰	2.6	腎 炎 等	1.8	肝 硬 変	1.5	高血圧性疾患	1.2
宮城	老 衰	3.5	自 殺	3.2	高血圧性疾患	1.6	肝 硬 変	1.5	糖 尿 病	1.3
秋田	不慮の事故	3.8	老 衰	3.5	腎 炎 等	1.6	肝 硬 変	1.5	高血圧性疾患	1.1
山形	不慮の事故	3.7	自 殺	3.1	高血圧性疾患	1.5	肝 硬 変	1.3	腎 炎 等	1.3
福島	不慮の事故	4.1	自 殺	2.8	肝 硬 変	1.7	高血圧性疾患	1.3	腎 炎 等	1.2
茨城	不慮の事故	4.8	自 殺	3.0	高血圧性疾患	2.2	肝 硬 変	1.5	糖 尿 病	1.4
栃木	老 衰	3.7	自 殺	3.3	肝 硬 変	2.1	高血圧性疾患	1.8	喘 息 等	1.3
群馬	老 衰	3.7	自 殺	3.6	肝 硬 変	1.9	高血圧性疾患	1.6	腎 炎 等	1.4
埼玉	自 殺	3.7	老 衰	3.3	肝 硬 変	2.7	高血圧性疾患	1.8	腎 炎 等	1.4
千葉	老 衰	4.2	自 殺	3.4	高血圧性疾患	2.3	肝 硬 変	2.0	腎 炎 等	1.5
東京	不慮の事故	2.9	肝 硬 変	2.7	老 衰	2.2	腎 炎 等	1.8	高血圧性疾患	1.7
神奈川	自 殺	3.6	肝 硬 変	2.8	老 衰	2.8	高血圧性疾患	1.8	腎 炎 等	1.7
新潟	不慮の事故	3.9	自 殺	3.9	高血圧性疾患	2.0	糖 尿 病	1.3	循環系のその他の疾患	1.3
富山	自 殺	3.8	老 衰	3.7	腎 炎 等	1.6	肝 硬 変	1.4	肝 硬 変	1.5
石川	不慮の事故	4.0	自 殺	3.1	循環系のその他の疾患	1.6	高血圧性疾患	1.6	肝 硬 変	1.5
福井	不慮の事故	4.4	自 殺	2.6	肝 硬 変	2.0	高血圧性疾患	1.5	肝 硬 変	1.5
山梨	不慮の事故	4.0	自 殺	2.9	肝 硬 変	2.6	腎 炎 等	1.4	高血圧性疾患	1.3
長野	不慮の事故	3.5	自 殺	2.8	高血圧性疾患	1.6	肝 硬 変	1.4	循環系のその他の疾患	1.3
岐阜	不慮の事故	4.4	自 殺	3.5	高血圧性疾患	2.2	肝 硬 変	1.9	腎 炎 等	1.5
静岡	不慮の事故	4.2	自 殺	2.8	肝 硬 変	2.5	高血圧性疾患	1.7	腎 炎 等	1.5
愛知	老 衰	3.6	自 殺	3.3	肝 硬 変	2.0	高血圧性疾患	1.7	腎 炎 等	1.6
三重	不慮の事故	4.4	自 殺	2.6	高血圧性疾患	1.8	肝 硬 変	1.8	循環系のその他の疾患	1.6
滋賀	不慮の事故	3.5	自 殺	2.8	高血圧性疾患	2.2	腎 炎 等	1.7	肝 硬 変	1.5
京都	不慮の事故	3.6	自 殺	3.0	腎 炎 等	2.3	肝 硬 変	1.9	肝 硬 変	1.8
大阪	肝 硬 変	3.4	不慮の事故	3.2	老 衰	3.0	腎 炎 等	2.2	高血圧性疾患	1.7
兵庫	不慮の事故	3.8	自 殺	3.0	肝 硬 変	2.9	腎 炎 等	2.0	高血圧性疾患	1.8
奈良	不慮の事故	3.6	自 殺	2.5	肝 硬 変	2.0	腎 炎 等	2.0	高血圧性疾患	1.9
和歌山	不慮の事故	3.6	自 殺	3.2	肝 硬 変	2.2	腎 炎 等	1.5	高血圧性疾患	1.4
鳥取	不慮の事故	3.8	自 殺	2.4	肝 硬 変	2.2	腎 炎 等	1.6	高血圧性疾患	1.3
島根	不慮の事故	3.8	自 殺	3.2	肝 硬 変	2.1	高血圧性疾患	1.5	腎 炎 等	1.4
岡山	不慮の事故	4.1	自 殺	2.5	肝 硬 変	2.2	腎 炎 等	1.9	高血圧性疾患	1.1
広島	不慮の事故	4.1	自 殺	3.0	肝 硬 変	2.9	腎 炎 等	1.8	高血圧性疾患	1.7
山口	老 衰	3.7	自 殺	3.2	肝 硬 変	2.3	高血圧性疾患	1.7	腎 炎 等	1.6
徳島	不慮の事故	3.8	自 殺	2.6	肝 硬 変	2.2	腎 炎 等	1.9	高血圧性疾患	1.5
香川	不慮の事故	4.6	自 殺	3.2	肝 硬 変	2.0	腎 炎 等	1.7	高血圧性疾患	1.3
愛媛	不慮の事故	4.9	自 殺	3.3	肝 硬 変	2.2	腎 炎 等	1.9	高血圧性疾患	1.2
高知	老 衰	3.9	自 殺	3.0	腎 炎 等	2.4	肝 硬 変	2.4	糖 尿 病	1.5
福岡	自 殺	3.1	肝 硬 変	3.1	老 衰	2.6	高血圧性疾患	2.3	腎 炎 等	1.8
佐賀	老 衰	3.7	自 殺	2.9	肝 硬 変	2.9	高血圧性疾患	2.8	腎 炎 等	1.8
長崎	不慮の事故	3.1	自 殺	2.8	老 衰	2.5	腎 炎 等	2.3	肝 硬 変	2.3
熊本	老 衰	3.7	自 殺	2.7	肝 硬 変	2.5	高血圧性疾患	2.4	腎 炎 等	1.9
本分	老 衰	3.0	自 殺	2.8	高血圧性疾患	2.5	肝 硬 変	2.5	腎 炎 等	1.9
宮崎	不慮の事故	3.8	老 衰	2.7	肝 硬 変	2.2	高血圧性疾患	2.1	腎 炎 等	1.7
鹿児島	不慮の事故	3.6	自 殺	2.9	肝 硬 変	2.3	高血圧性疾患	2.2	腎 炎 等	2.2
沖縄	不慮の事故	5.2	自 殺	4.3	腎 炎 等	2.0	肝 硬 変	1.8	喘 息	1.5

死因名は次のように略称している。

不慮の事故→不慮の事故及び有害作用      肝硬変→慢性肝炎及び肝硬変      腎炎等→腎炎、ネフローゼ  
 症候群及びネフローゼ      肺炎・気管支炎→肺炎及び気管支炎      老衰→精神病の記載のない老衰

表11 死亡の場所別にみた主要死因の男女別死亡数および割合：昭和59年

死 因	総 数	施 設 内				施 設 外		
		総 数	病 院	診 療 所	助 産 所	総 数	自 宅	そ の 他
死 亡 数								
総 数	740,247	481,178	449,066	32,107	5	259,069	224,463	34,606
結 核	4,950	4,234	4,152	82	—	716	666	50
悪 性 新 生 物	182,280	163,115	155,329	7,786	—	19,165	18,394	771
心 疾 患	136,162	74,075	67,632	6,443	—	62,087	56,410	5,677
脳 血 管 疾 患	140,093	81,397	75,476	5,921	—	58,696	55,684	3,012
不 及 感 有 害 事 故	29,344	16,288	15,195	1,093	—	13,056	4,042	9,014
自 動 車 事 故	12,432	8,414	7,906	508	—	4,018	46	3,972
そ の 他	247,418	142,069	131,282	10,782	5	105,349	89,267	16,082
男								
総 数	402,220	270,892	253,822	17,068	2	131,328	107,733	23,595
結 核	3,685	3,163	3,102	61	—	522	481	41
悪 性 新 生 物	107,175	96,522	92,162	4,360	—	10,653	10,296	357
心 疾 患	69,582	38,175	34,974	3,201	—	31,407	27,738	3,669
脳 血 管 疾 患	68,262	41,156	38,215	2,941	—	27,106	25,542	1,564
不 及 感 有 害 事 故	21,223	11,658	10,924	734	—	9,565	2,214	7,351
自 動 車 事 故	9,347	6,163	5,791	372	—	3,184	32	3,152
そ の 他	132,293	80,218	74,445	5,771	2	52,075	41,462	10,613
女								
総 数	338,027	210,286	195,244	15,039	3	127,741	116,730	11,011
結 核	1,265	1,071	1,050	21	—	194	185	9
悪 性 新 生 物	75,105	66,593	63,167	3,426	—	8,512	8,098	414
心 疾 患	66,580	35,900	32,658	3,242	—	30,680	28,672	2,008
脳 血 管 疾 患	71,831	40,241	37,261	2,980	—	31,590	30,142	1,448
不 及 感 有 害 事 故	8,121	4,630	4,271	359	—	3,491	1,828	1,663
自 動 車 事 故	3,085	2,251	2,115	136	—	834	14	820
そ の 他	115,125	61,851	56,837	5,011	3	53,274	47,805	5,469
割 合 (%)								
男								
総 数	100.0	67.3	63.1	4.2	0.0	32.7	26.8	5.9
結 核	100.0	85.8	84.2	1.7	—	14.2	13.1	1.1
悪 性 新 生 物	100.0	90.1	86.0	4.1	—	9.9	9.6	0.3
心 疾 患	100.0	54.9	50.3	4.6	—	45.1	39.9	5.3
脳 血 管 疾 患	100.0	60.3	56.0	4.3	—	39.7	37.4	2.3
不 及 感 有 害 事 故	100.0	54.9	51.5	3.5	—	45.1	10.4	34.6
自 動 車 事 故	100.0	65.9	62.0	4.0	—	34.1	0.3	33.7
そ の 他	100.0	60.6	56.3	4.4	0.0	39.4	31.3	8.0
女								
総 数	100.0	62.2	57.8	4.4	0.0	37.8	34.5	3.3
結 核	100.0	84.7	83.0	1.7	—	15.3	14.6	0.7
悪 性 新 生 物	100.0	88.7	84.1	4.6	—	11.3	10.8	0.6
心 疾 患	100.0	53.9	49.1	4.9	—	46.1	43.1	3.0
脳 血 管 疾 患	100.0	56.0	51.9	4.1	—	44.0	42.0	2.0
不 及 感 有 害 事 故	100.0	57.0	52.6	4.4	—	43.0	22.5	20.5
自 動 車 事 故	100.0	73.0	68.6	4.4	—	27.0	0.5	26.6
そ の 他	100.0	53.7	49.4	4.4	0.0	46.3	41.5	4.8

厚生省大臣官房統計情報部【昭和59年人口動態統計 上巻】(昭61.3)による。



表12 世帯の主な仕事別にみた主要死因別死亡数および割合：昭和59年

死 因	総 数 <sup>1)</sup>	専業農家 世 帯	兼業農家 世 帯	自営業者 世 帯	常用勤勞 者世帯(I)	常用勤勞 者世帯(II)	その他の 世 帯
死 亡 数							
総 数	740,247	67,120	99,741	94,778	100,826	109,199	265,725
結 核	4,950	292	412	536	532	662	2,486
悪 性 新 生 物	182,280	14,657	20,701	25,995	28,750	27,462	64,126
糖 尿 病	9,470	727	1,118	1,331	1,120	1,305	3,841
心 疾 患	136,162	12,340	18,705	76,747	16,807	18,746	52,352
高 血 圧 性 疾 患	13,073	1,464	2,082	1,564	1,505	1,656	4,756
脳 血 管 疾 患	140,093	15,439	23,143	17,605	16,628	18,922	47,925
肺炎及び気管支炎	44,982	4,350	5,980	5,109	5,111	5,493	18,779
胃及び十二指腸潰瘍	4,606	422	577	512	544	591	1,935
慢性肝疾患及び肝硬変	16,991	951	1,451	2,461	2,196	2,814	7,035
腎炎・ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	12,688	963	1,254	1,563	1,687	1,697	5,473
精神病の記載のない老衰	28,805	3,998	6,059	3,354	3,188	3,346	8,803
胃 腸 炎	2,495	316	528	279	288	323	757
不慮の事故及び有害作用	29,344	2,437	4,377	3,587	4,523	6,891	7,395
自 殺	24,344	1,839	2,756	3,398	4,124	4,974	7,001
割 合 (%)							
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
結 核	0.7	0.4	0.4	0.6	0.5	0.6	0.9
悪 性 新 生 物	24.6	21.8	20.8	27.4	28.5	25.1	24.1
糖 尿 病	1.3	1.1	1.1	1.4	1.1	1.2	1.4
心 疾 患	18.4	18.4	18.8	17.7	16.7	17.2	19.7
高 血 圧 性 疾 患	1.8	2.2	2.1	1.7	1.5	1.5	1.8
脳 血 管 疾 患	18.9	23.0	23.2	18.6	16.5	17.3	18.0
肺炎及び気管支炎	6.1	6.5	6.0	5.4	5.1	5.0	7.1
胃及び十二指腸潰瘍	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.7
慢性肝疾患及び肝硬変	2.3	1.4	1.5	2.6	2.2	2.6	2.6
腎炎・ネフローゼ症候群 及びネフローゼ	1.7	1.4	1.3	1.6	1.7	1.6	2.1
精神病の記載のない老衰	3.9	6.0	6.1	3.5	3.2	3.1	3.3
胃 腸 炎	0.3	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3
不慮の事故及び有害作用	4.0	3.6	4.4	3.8	4.5	6.3	2.8
自 殺	3.3	2.7	2.8	3.6	4.1	4.6	2.6

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年人口動態統計 上巻』(昭61.3)による。常用勤勞者世帯(I)は、管理・事務・教員・販売・外交・医療保健技術者・旧専門学校卒業以上の技術者などの勤勞者世帯(臨時・日雇はその他の世帯)。常用勤勞者世帯(II)は、常用勤勞者世帯(I)にあてはまらない勤勞者世帯(臨時・日雇はその他の世帯)。

1) 世帯のおもな仕事不詳を含む。

表13 職業(大分類)別にみた男女別死亡数および率ならびに死因順位の年次変化

(1) 男女別15歳以上の死亡数および率

職業(大分類)	男				女			
	死亡数		死亡率(%)		死亡数		死亡率(%)	
	昭和45年度	昭和55年度	昭和45年度	昭和55年度	昭和45年度	昭和55年度	昭和45年度	昭和55年度
総数	349,878	374,202	9.2	8.7	297,356	320,499	7.3	7.0
就業者総数	161,412	133,862	5.1	3.9	52,814	39,604	2.6	1.9
専門的・技術的職業従事者	8,232	10,242	3.8	3.8	2,536	2,666	2.0	1.2
管理的職業従事者	7,802	9,325	4.0	3.8	1,112	1,251	11.4	6.9
事務従事者	12,261	10,694	3.4	2.6	3,862	3,447	1.1	0.7
販売従事者	19,815	18,925	5.5	3.8	6,562	6,335	2.5	2.0
農林漁業作業従事者	58,827	33,261	12.5	10.5	26,846	12,117	5.0	4.2
採掘作業従事者	1,017	707	7.7	12.0	113	113	15.8	...
運輸・通信従事者	5,191	5,408	2.5	2.4	428	627	1.9	4.4
技能工、生産工程作業従事者及び労働者	39,337	29,304	3.4	2.3	6,974	4,817	1.4	0.9
保安職業従事者	1,497	1,482	2.4	2.0	126	115	13.9	6.5
サービス職業従事者	5,400	6,391	4.9	4.7	3,776	3,958	1.7	1.6
分類不能の職業	2,033	8,123	...	...	479	4,158	...	...
無職	188,466	240,340	30.0	28.1	244,542	280,895	12.2	11.4

(2) 男15歳以上就業者の死因順位(死亡割合)

職業(大分類)	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	割合(%)	死因	割合(%)	死因	割合(%)	死因	割合(%)	死因	割合(%)
昭和45年度										
就業者総数	脳血管疾患	23.4	悪性新生物	22.3	不慮の事故及び有害作用	13.7	心疾患	11.2	自殺	3.4
専門的・技術的職業従事者	悪性新生物	24.7	脳血管疾患	21.3	心疾患	13.2	不慮の事故及び有害作用	9.4	肺炎及び慢性肝疾患及び肝硬変	2.9
管理的職業従事者	"	32.1	"	19.8	"	13.7	"	5.4	慢性肝疾患及び肝硬変	4.1
事務従事者	"	27.8	"	16.3	不慮の事故及び有害作用	12.0	心疾患	11.7	自殺	4.3
販売従事者	"	24.5	"	22.0	心疾患	12.4	不慮の事故及び有害作用	10.0	慢性肝疾患及び肺炎及び支気管炎	3.8
農林漁業作業従事者	脳血管疾患	30.4	悪性新生物	21.0	"	11.6	"	8.3	肺炎及び支気管炎	3.1
採掘作業従事者	不慮の事故及び有害作用	42.5	"	14.8	脳血管疾患	14.5	心疾患	5.2	自殺	3.2
運輸・通信従事者	"	38.6	"	17.2	"	11.4	"	7.3	"	5.4
技能工、生産工程作業従事者及び労働者	"	22.8	"	19.9	"	19.3	"	9.6	"	4.2
保安職業従事者	悪性新生物	26.2	脳血管疾患	17.6	不慮の事故及び有害作用	17.0	"	12.5	"	3.9
サービス職業従事者	脳血管疾患	22.1	悪性新生物	21.5	心疾患	12.0	不慮の事故及び有害作用	11.9	慢性肝疾患及び肝硬変	4.0
昭和55年度										
就業者総数	悪性新生物	30.8	脳血管疾患	17.4	心疾患	15.3	不慮の事故及び有害作用	9.2	自殺	5.8
専門的・技術的職業従事者	"	33.1	心疾患	16.7	脳血管疾患	16.4	"	5.9	不慮の事故及び有害作用	4.8
管理的職業従事者	"	38.7	"	16.6	"	16.1	慢性肝疾患及び肝硬変及び不慮の事故及び有害作用	4.0	自殺	3.6
事務従事者	"	36.9	"	14.7	"	14.0	"	7.5	自殺	7.0
販売従事者	"	31.7	脳血管疾患	17.4	心疾患	15.8	"	6.5	"	5.3
農林漁業作業従事者	"	29.4	"	21.7	"	15.8	"	7.9	"	3.7
採掘作業従事者	"	26.2	不慮の事故及び有害作用	17.7	脳血管疾患	14.9	心疾患	14.7	"	7.2
運輸・通信従事者	"	30.2	"	17.1	"	13.1	"	12.6	"	9.4
技能工、生産工程作業従事者及び労働者	"	28.1	脳血管疾患	15.9	不慮の事故及び有害作用	15.0	"	14.2	"	7.7
保安職業従事者	"	31.6	心疾患	17.4	脳血管疾患	15.5	不慮の事故及び有害作用	11.4	"	5.9
サービス職業従事者	"	28.8	脳血管疾患	17.2	心疾患	15.9	"	8.3	"	5.8

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年度 職業・産業別人口動態統計 人口動態統計特殊報告』(昭59.4)による。人口動態調査においては国勢調査年にあわせ、その年の4月1日から翌年の3月31日までの1年間に発生した人口動態事象について、職業(死亡については産業も含む)を調査しているが、その昭和45年度ならびに55年度をここに示した。上表の死亡率は国勢調査(10月1日現在)による男女各職業別人口1,000についてのもの。下表の死亡割合は、各職業別死亡総数100.0についての死因別割合である。なお、昭和45年には沖縄県を含まない。

表14 悪性新生物の部位別死亡数および率の年次変化

死 因	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
死 亡 数								
総 数	64,428	77,721	93,773	106,536	119,977	136,383	161,764	182,280
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	699	650	761	894	1,112	1,448	1,825	2,048
消化器及び腹膜の悪性新生物	45,284	55,310	65,398	73,031	71,175	78,263	100,507	111,296
食道の悪性新生物	2,763	2,973	3,467	3,958	4,823	4,997	5,733	5,958
胃の悪性新生物	31,211	37,306	42,750	46,385	48,823	49,857	50,443	49,785
十二指腸、小腸及び結腸の悪性新生物	1,642	1,767	2,273	3,033	4,034	5,828	8,262	10,932
結腸の悪性新生物	1,457	1,628	2,039	2,804	3,818	5,573	7,932	10,546
直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門の悪性新生物	2,271	2,611	2,998	3,796	4,717	5,904	6,917	7,820
肝臓の悪性新生物	6,179	8,577	8,818	8,505	9,516	10,588	14,510	18,607
胆嚢及び肝外胆管の悪性新生物			1,144	2,041	3,104	4,484	6,599	8,802
膵臓の悪性新生物	526	1,102	1,975	3,066	4,399	5,635	7,835	9,485
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	2,740	4,236	6,953	9,737	13,209	17,383	23,464	29,444
喉頭の悪性新生物	800	717	738	792	943	862	866	872
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1,119	2,711	5,171	7,725	10,489	14,759	21,294	27,356
骨及び関節軟骨の悪性新生物	412	811	1,014	1,044	902	704	509	433
皮膚の悪性新生物	517	563	610	626	707	704	619	646
乳房の悪性新生物	1,448	1,589	1,703	1,995	2,509	3,289	4,185	4,863
子宮の悪性新生物	8,356	7,289	7,068	6,689	6,373	6,075	5,465	4,975
卵巣の悪性新生物	346	473	647	840	1,129	1,516	2,098	2,561
男性生殖器の悪性新生物	221	451	663	908	1,153	1,554	2,011	2,561
前立腺の悪性新生物	83	273	480	683	883	1,267	1,736	2,315
泌尿器の悪性新生物	719	1,099	1,602	1,913	2,362	2,901	3,941	4,569
膀胱の悪性新生物	…	…	1,108	1,291	1,570	1,830	2,361	2,441
腎の悪性新生物	205	262	452	552	684	940	1,366	1,841
リンパ組織及び造血組織の悪性新生物	2,007	3,196	4,156	5,215	6,286	7,957	9,459	10,981
白血 病	1,226	2,038	2,628	3,159	3,559	4,164	4,567	5,212
死 亡 率(人口10万について)								
総 数	77.4	87.1	100.4	108.4	116.3	122.6	139.1	152.5
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	0.8	0.7	0.8	0.9	1.1	1.3	1.6	1.7
消化器及び腹膜の悪性新生物	54.4	62.0	70.0	74.3	69.0	70.3	86.4	93.1
食道の悪性新生物	3.3	3.3	3.7	4.0	4.7	4.5	4.9	5.0
胃の悪性新生物	37.5	41.8	45.8	47.2	47.3	44.8	43.4	41.7
十二指腸、小腸及び結腸の悪性新生物	2.0	2.0	2.4	3.1	3.9	5.2	7.1	9.1
結腸の悪性新生物	1.8	1.8	2.2	2.9	3.7	5.0	6.8	8.8
直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門の悪性新生物	2.7	2.9	3.2	3.9	4.6	5.3	5.9	6.5
肝臓の悪性新生物	7.4	9.6	9.4	8.7	9.2	9.5	12.5	15.6
胆嚢及び肝外胆管の悪性新生物			1.2	2.1	3.0	4.0	5.7	7.4
膵臓の悪性新生物	0.6	1.2	2.1	3.1	4.3	5.1	6.7	7.9
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	3.3	4.7	7.4	9.9	12.8	15.6	20.2	24.6
喉頭の悪性新生物	1.0	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7
気管、気管支及び肺の悪性新生物	1.3	3.0	5.5	7.9	10.2	13.3	18.3	22.9
骨及び関節軟骨の悪性新生物	0.5	0.9	1.1	1.1	0.9	0.6	0.4	0.4
皮膚の悪性新生物	0.6	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	0.5	0.5
乳房の悪性新生物	1.7	1.8	1.8	2.0	2.4	3.0	3.6	4.1
子宮の悪性新生物 <sup>1)</sup>	19.7	16.0	14.9	13.4	12.1	10.7	9.2	4.2
卵巣の悪性新生物 <sup>1)</sup>	0.8	1.0	1.4	1.7	2.1	2.7	3.5	2.1
男性生殖器の悪性新生物 <sup>2)</sup>	0.5	1.0	1.4	1.9	2.3	2.8	3.5	2.1
前立腺の悪性新生物 <sup>2)</sup>	0.2	0.6	1.0	1.4	1.7	2.3	3.0	1.9
泌尿器の悪性新生物	0.9	1.2	1.7	1.9	2.3	2.6	3.4	3.8
膀胱の悪性新生物	…	…	1.2	1.3	1.5	1.6	2.0	2.0
腎の悪性新生物	0.2	0.3	0.5	0.6	0.7	0.8	1.2	1.5
リンパ組織及び造血組織の悪性新生物	2.4	3.6	4.4	5.3	6.1	7.2	8.1	9.2
白血 病	1.5	2.3	2.8	3.2	3.5	3.7	3.9	4.1

厚生省統計情報部【人口動態統計】による。昭和25年～45年は沖縄県を含まない。死因分類は年次によって若干の相違がある。死亡率は人口10万に対するものであるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。1) 女子人口10万に対する率。2) 男子人口10万に対する率である。

表15 男女別にみた悪性新生物の主要部位別死亡率の年次変化

(人口10万について)

死 因	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
男								
総 数	80.1	94.0	111.0	122.1	132.6	140.6	163.5	182.3
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	1.1	0.9	1.1	1.2	1.5	1.7	2.2	2.5
消化器及び腹膜の悪性新生物	66.5	75.4	85.4	90.7	83.8	84.5	106.1	115.4
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	4.6	6.7	10.5	13.9	18.5	22.9	29.7	36.5
骨及び関節軟骨の悪性新生物	0.6	1.1	1.3	1.3	1.1	0.8	0.5	0.4
皮膚の悪性新生物	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6
乳房の悪性新生物	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
男性生殖器の悪性新生物	0.5	1.0	1.4	1.9	2.3	2.8	3.5	4.4
泌尿器の悪性新生物	1.0	1.5	2.1	2.5	3.0	3.4	4.6	5.3
リンパ組織及び造血組織の悪性新生物	2.9	4.4	5.3	6.3	7.3	8.5	9.7	10.7
女								
総 数	74.9	80.4	90.2	95.2	100.7	105.2	115.5	123.7
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	0.6	0.5	0.6	0.7	0.7	0.9	1.0	1.0
消化器及び腹膜の悪性新生物	42.8	49.0	55.2	58.5	54.8	56.6	67.3	71.6
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	2.0	2.9	4.5	6.0	7.4	8.6	10.9	13.2
骨及び関節軟骨の悪性新生物	0.4	0.8	0.9	0.9	0.7	0.5	0.4	0.3
皮膚の悪性新生物	0.5	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
乳房の悪性新生物	3.3	3.5	3.5	3.9	4.7	5.8	2.0	7.9
子宮の悪性新生物	19.7	16.0	14.9	13.4	12.1	10.7	9.2	8.2
卵巣の悪性新生物	0.8	1.0	1.4	1.7	2.1	2.7	3.5	4.2
泌尿器の悪性新生物	0.7	0.9	1.3	1.4	1.6	1.8	2.2	2.4
リンパ組織及び造血組織の悪性新生物	1.9	2.8	3.6	4.3	5.0	5.9	6.6	7.7

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和25年～45年は沖縄県を含まない。死因分類は年次によって若干の相違がある。男女別の人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表16 男女別にみた脳血管疾患の病類別死亡数および率の年次変化

死 因 ・ 性	昭和26年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
死 亡 数								
脳 血 管 疾 患 総数	105,858	121,504	150,109	172,773	181,315	174,367	162,317	140,093
男	52,388	62,737	78,965	92,723	96,910	89,924	81,650	68,262
女	53,470	58,767	71,144	80,050	84,405	84,443	80,667	71,831
脳 出 血 総数	98,441	104,793	115,230	104,099	85,518	64,744	50,792	39,734
男	48,759	54,121	60,726	56,577	46,864	34,981	27,149	20,975
女	49,682	50,672	54,504	47,522	38,654	29,763	23,643	18,759
脳 梗 塞 総数	3,425	7,968	19,999	42,654	59,003	68,547	75,311	68,926
男	1,697	4,109	10,435	22,225	30,604	34,130	37,175	33,373
女	1,728	3,859	9,564	20,429	28,399	34,417	38,136	35,553
その他の脳血管疾患 総数	3,992	8,743	14,880	26,020	36,794	41,076	36,214	31,433
男	1,932	4,507	7,804	13,921	19,442	20,813	17,326	13,914
女	2,060	4,236	7,076	12,099	17,352	20,263	18,888	17,519
死 亡 率(人口10万について)								
脳 血 管 疾 患 総数	125.2	136.1	160.7	175.8	175.8	156.7	139.5	117.2
男	126.3	143.0	172.1	192.2	191.5	164.3	142.7	116.1
女	124.1	129.4	149.7	160.0	160.7	149.4	136.4	118.3
脳 出 血 総数	116.4	117.4	123.3	105.9	82.9	58.2	43.7	33.2
男	117.5	123.4	132.4	117.3	92.6	63.9	47.5	35.7
女	115.3	111.6	114.6	95.0	73.6	52.7	40.0	30.9
脳 梗 塞 総数	4.0	8.9	21.4	43.4	57.2	61.6	64.7	57.7
男	4.1	9.4	22.7	46.1	60.5	62.4	65.0	56.8
女	4.0	8.5	20.1	40.8	54.1	60.9	64.5	58.5
その他の脳血管疾患 総数	4.7	9.8	15.9	26.5	35.7	36.9	31.1	26.3
男	4.7	10.3	17.0	28.9	38.4	38.0	30.3	23.7
女	4.8	9.3	14.9	24.2	33.0	35.8	31.9	28.8

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和26年～45年は沖縄県を含まない。死因分類は年次によって若干の相違がある。死亡率は、男女別の人口10万に対する率であるが、昭和40年以前は総人口(外国人を含む)を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表17 男女別にみた心疾患の病類別死亡数および率の年次変化

死 因	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
死 亡 数								
総 数	53,377	54,351	68,400	75,672	89,411	99,226	123,505	136,162
慢性リウマチ性心疾患	5,010	3,092	5,671	4,751	4,195	3,948	1,716	1,774
虚血性心疾患	8,272	10,368	19,859	28,034	39,086	43,820	48,347	49,213
肺循環疾患及びその他の型の心疾患	40,095	40,891	42,870	42,887	46,130	51,458	73,442	85,175
心内膜の慢性疾患	21,451	18,013	11,953	7,606	4,577	2,959	3,510	3,428
心不全	4,575	9,869	14,840	21,206	31,736	40,608	59,560	70,890
その他の心疾患	14,069	13,009	16,077	14,075	9,817	7,891	10,372	10,857
男								
総 数	26,108	27,282	34,755	38,827	45,988	50,395	64,103	69,582
慢性リウマチ性心疾患	1,937	1,149	2,116	1,645	1,594	1,576	582	533
虚血性心疾患	5,127	6,291	11,926	16,458	22,441	24,106	26,887	26,837
肺循環疾患及びその他の型の心疾患	19,044	19,842	20,713	20,724	21,953	24,713	36,634	42,212
心内膜の慢性疾患	9,330	7,801	5,070	3,133	1,713	1,092	1,519	1,423
心不全	2,328	4,881	7,122	10,118	15,035	19,482	29,448	34,991
その他の心疾患	7,386	7,160	8,521	7,473	5,205	4,139	5,667	5,798
女								
総 数	27,269	27,069	33,645	36,845	43,423	48,831	59,402	66,580
慢性リウマチ性心疾患	3,073	1,943	3,555	3,106	2,601	2,372	1,134	1,241
虚血性心疾患	3,145	4,077	7,933	11,576	16,645	19,714	21,460	22,376
肺循環疾患及びその他の型の心疾患	21,051	21,049	22,157	22,163	24,177	26,745	36,808	42,963
心内膜の慢性疾患	12,121	10,212	6,883	4,473	2,864	1,867	1,991	2,005
心不全	2,247	4,988	7,718	11,088	16,701	21,126	30,112	35,899
その他の心疾患	6,683	5,849	7,556	6,602	4,612	3,752	4,705	5,059
死 亡 率(人口10万について)								
総 数								
総 数	64.2	60.9	73.2	77.0	86.7	89.2	106.2	113.9
慢性リウマチ性心疾患	6.0	3.5	6.1	4.8	4.1	3.5	1.5	1.5
虚血性心疾患	9.9	11.6	21.3	28.5	37.9	39.4	41.6	41.2
肺循環疾患及びその他の型の心疾患	48.2	45.8	45.9	43.6	44.7	46.3	63.1	71.3
心内膜の慢性疾患	25.8	20.2	12.8	7.7	4.4	2.7	3.0	2.9
心不全	5.5	11.1	15.9	21.6	30.8	36.5	51.2	59.3
その他の心疾患	16.9	14.6	17.2	14.3	9.5	7.1	8.9	9.1
男								
総 数	64.0	62.2	75.8	80.5	90.9	92.1	112.1	118.4
慢性リウマチ性心疾患	4.7	2.6	4.6	3.4	3.2	2.9	1.0	0.9
虚血性心疾患	12.6	14.3	26.0	34.1	44.3	44.0	47.0	45.6
肺循環疾患及びその他の型の心疾患	46.7	45.2	45.1	43.0	43.4	45.2	64.0	71.8
心内膜の慢性疾患	22.9	17.8	11.1	6.5	3.4	2.0	2.7	2.4
心不全	5.7	11.1	15.5	21.0	29.7	35.6	51.5	59.5
その他の心疾患	18.1	16.3	18.6	15.5	10.3	7.6	9.9	9.9
女								
総 数	64.3	59.6	70.8	73.6	82.7	86.4	100.5	109.6
慢性リウマチ性心疾患	7.2	4.3	7.5	6.2	5.0	4.2	1.9	2.0
虚血性心疾患	7.4	9.0	16.7	23.1	31.7	34.9	36.3	36.8
肺循環疾患及びその他の型の心疾患	49.7	46.3	46.6	44.3	46.0	47.3	62.3	70.7
心内膜の慢性疾患	28.6	22.5	14.5	8.9	5.5	3.3	3.4	3.3
心不全	5.3	11.0	16.2	22.2	31.8	37.4	50.9	59.1
その他の心疾患	15.8	12.9	15.9	13.2	8.8	6.6	8.0	8.3

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和25年～45年は沖縄県を含まない。死因分類は年次によって若干の相違がある。死亡率は男女別の人口10万に対するものであるが、昭和40年以前は総人口（外国人を含む）を、45年以降は日本人人口を分母としている。

表18 不慮の事故の種類別死亡数および率の年次変化

死 因	死 亡 数				死亡率(人口10万について)			
	昭和54年	昭和56年	昭和58年	昭和59年	昭和54年	昭和56年	昭和58年	昭和59年
不慮の事故及び有害作用	29,227	29,089	29,668	29,344	25.3	24.8	25.0	24.6
交 通 事 故	13,362	13,416	14,253	13,622	11.6	11.4	12.0	11.4
自 動 車 事 故	11,778	11,874	12,919	12,432	10.2	10.1	10.9	10.4
自動車事故以外の交通事故	1,584	1,542	1,334	1,190	1.4	1.3	1.1	1.0
鉄 道 事 故	558	511	444	364	0.5	0.4	0.4	0.3
不 慮 の 中 毒	743	705	796	820	0.6	0.6	0.7	0.7
不 慮 の 墜 落	4,569	4,257	4,069	4,196	4.0	3.6	3.4	3.5
火災及び火焰による不慮の事故	1,493	1,384	1,259	1,481	1.3	1.2	1.1	1.2
天 災	35	38	242	47	0.0	0.0	0.2	0.0
不 慮 の 溺 死	3,616	3,514	3,188	3,158	3.1	3.0	2.7	2.6
不慮の機械的窒息 (食物及びその他の物体を含む)	2,004	2,255	2,398	2,457	1.7	1.9	2.0	2.1
落下物による不慮の打撲	539	445	398	419	0.5	0.4	0.3	0.4
機械による不慮の事故	800	847	839	829	0.7	0.7	0.7	0.7
電流による不慮の事故	137	102	86	93	0.1	0.1	0.1	0.1

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。

表19 男女別にみた自殺の手段別死亡数および割合の年次変化

死 因	死 亡 数				割 合 (%)			
	昭和55年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和55年	昭和57年	昭和58年	昭和59年
総 数	20,542	20,668	24,985	24,344	100.0	100.0	100.0	100.0
固 体 又 は 液 体 <sup>1)</sup>	1,335	1,596	1,785	1,829	6.5	7.7	7.1	7.5
ガ ス 及 び 蒸 気	2,342	2,339	2,836	2,635	11.4	11.3	11.4	10.8
縊 首, 絞 首 及 び 窒 息	10,968	11,137	14,611	13,969	53.4	53.9	58.5	57.4
入 水 (溺 死)	1,543	1,526	1,505	1,480	7.5	7.4	6.0	6.1
銃 器 及 び 爆 発 物	92	85	67	69	0.4	0.4	0.3	0.3
刃 器 及 び 刺 器	517	507	532	526	2.5	2.5	2.1	2.2
高 所 からの 飛び おり	1,365	1,344	1,613	1,723	6.6	6.5	6.5	7.1
その他及び詳細不明の手段	2,376	2,128	2,031	2,108	11.6	10.3	8.1	8.7
自 傷 の 後 遺 症	4	6	5	5	0.0	0.0	0.0	0.0
男	12,769	13,203	16,876	16,251	100.0	100.0	100.0	100.0
固 体 又 は 液 体 <sup>1)</sup>	693	864	1,071	1,031	5.4	6.5	6.3	6.3
ガ ス 及 び 蒸 気	1,667	1,800	2,292	2,164	13.1	13.6	13.6	13.3
縊 首, 絞 首 及 び 窒 息	6,990	7,340	10,132	9,623	54.7	55.6	60.0	59.2
入 水 (溺 死)	558	549	572	591	4.4	4.2	3.4	3.6
銃 器 及 び 爆 発 物	85	83	65	62	0.7	0.6	0.4	0.4
刃 器 及 び 刺 器	378	360	393	372	3.0	2.7	2.3	2.3
高 所 からの 飛び おり	830	812	1,011	1,045	6.5	6.2	6.0	6.4
その他及び詳細不明の手段	1,564	1,391	1,336	1,361	12.2	10.5	7.9	8.4
自 傷 の 後 遺 症	4	4	4	2	0.0	0.0	0.0	0.0
女	7,773	7,465	8,109	8,093	100.0	100.0	100.0	100.0
固 体 又 は 液 体 <sup>1)</sup>	642	732	714	798	8.3	9.8	8.8	9.9
ガ ス 及 び 蒸 気	675	539	544	471	8.7	7.2	6.7	5.8
縊 首, 絞 首 及 び 窒 息	3,978	3,797	4,479	4,346	51.2	50.9	55.2	53.7
入 水 (溺 死)	985	977	933	889	12.7	13.1	11.5	11.0
銃 器 及 び 爆 発 物	7	2	2	7	0.1	0.0	0.0	0.1
刃 器 及 び 刺 器	139	147	139	154	1.8	2.0	1.7	1.9
高 所 からの 飛び おり	535	532	602	678	6.9	7.1	7.4	8.4
その他及び詳細不明の手段	812	737	695	747	10.4	9.9	8.6	9.2
自 傷 の 後 遺 症	—	2	1	3	—	0.0	0.0	0.0

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。1)鎮静薬・催眠薬・農業用および園芸用の化学製品等。

表20 妊産婦死亡の死因別死亡数および率の年次変化

死 因	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年
妊産婦死亡数						
総 数	376	323	294	279	234	228
直接産科的死亡	339	292	260	240	202	204
子宮外妊娠	33	22	14	16	8	7
分娩前出血、胎盤早期剥離及び前置胎盤	39	38	26	30	31	21
高血圧、妊娠・分娩・産じょくに合併するもの	74	73	49	53	48	47
妊娠のその他の合併症	18	28	15	17	10	8
分娩後異常出血	68	61	68	46	45	53
分娩のその他の合併症	50	25	28	35	16	25
産科的肺塞栓	26	19	21	16	14	16
産じょくのその他の合併症	31	26	39	27	30	27
間接産科的死亡	37	31	34	39	32	24
妊産婦死亡率(出産10万について)						
総 数	21.8	19.5	18.3	17.5	14.8	14.6
直接産科的死亡	19.7	17.7	16.2	15.1	12.8	13.1
子宮外妊娠	1.9	1.3	0.9	1.0	0.5	0.4
分娩前出血、胎盤早期剥離及び前置胎盤	2.3	2.3	1.6	1.9	2.0	1.3
高血圧、妊娠・分娩・産じょくに合併するもの	4.3	4.4	3.0	3.3	3.0	3.0
妊娠のその他の合併症	1.0	1.7	0.9	1.1	0.6	0.5
分娩後異常出血	3.9	3.7	4.2	2.9	2.8	3.4
分娩のその他の合併症	2.9	1.5	1.7	2.2	1.0	1.6
産科的肺塞栓	1.5	1.1	1.3	1.0	0.9	1.0
産じょくのその他の合併症	1.8	1.6	2.4	1.7	1.9	1.7
間接産科的死亡	2.1	1.9	2.1	2.4	2.0	1.5

厚生省統計情報部【人口動態統計】による。死亡率算出に用いた出産数は各年の出生と死産を合わせたものの。

表21 都道府県別にみた妊産婦死亡数および率：昭和59年

都道府県	妊産婦死亡数	死亡率(世帯10万)	都道府県	妊産婦死亡数	死亡率(世帯10万)	都道府県	妊産婦死亡数	死亡率(世帯10万)
全 国	228	14.6	富 山	1	7.7	島 根	6	61.9
北 海	9	11.9	石 川	2	13.7	岡 山	3	12.1
青 森	7	33.2	福 井	—	—	広 島	4	11.0
岩 手	2	10.5	山 梨	1	9.7	山 口	4	20.8
宮 城	4	12.9	長 野	5	19.3	徳 島	1	9.5
秋 田	2	12.8	岐 阜	4	15.6	香 川	3	23.9
山 形	1	6.1	静 岡	8	16.8	愛 媛	2	10.4
福 島	1	3.3	愛 知	14	16.1	高 知	—	—
茨 城	3	8.1	三 重	3	13.8	福 岡	9	13.8
栃 木	1	3.9	滋 賀	1	6.2	佐 賀	4	31.9
群 馬	1	4.1	京 都	4	12.6	長 崎	3	13.1
埼 玉	14	19.4	大 阪	23	21.0	熊 本	2	7.7
千 葉	8	12.1	兵 庫	9	13.4	大 分	3	18.9
東 京	21	15.3	奈 良	5	30.6	宮 崎	2	11.6
神 奈 川	14	15.2	和 歌 山	2	15.2	鹿 児 島	5	19.4
新 潟	3	9.5	鳥 取	1	11.9	沖 縄	3	14.3

厚生省大臣官房統計情報部【昭和59年人口動態統計 上巻】(昭61.3) による。

1)全国には住所地不詳を含む。

表22 男女別にみた主要死因の年齢階級別死亡率および標準化死亡率の年次変化

(1) 昭和30年

年齢階級	人口	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患
男								
総数	43,532,859	0.008390	0.000611	0.000947	0.000023	0.000627	0.000101	0.001441
0歳	867,575	0.043374	0.000178	0.000048	0.000001	0.000066	0.000000	0.000012
1~4	3,814,769	0.004213	0.000148	0.000074	0.000001	0.000044	0.000000	0.000006
5~9	5,586,677	0.001463	0.000060	0.000044	0.000000	0.000033	0.000000	0.000004
10~14	4,776,918	0.000756	0.000050	0.000040	0.000001	0.000060	0.000000	0.000005
15~19	4,312,297	0.001484	0.000153	0.000054	0.000003	0.000094	0.000002	0.000015
20~24	4,175,404	0.002715	0.000407	0.000058	0.000005	0.000110	0.000002	0.000027
25~29	3,753,953	0.002861	0.000729	0.000091	0.000007	0.000134	0.000004	0.000036
30~34	2,768,249	0.002963	0.000883	0.000175	0.000007	0.000172	0.000008	0.000063
35~39	2,295,309	0.003493	0.000896	0.000339	0.000007	0.000256	0.000008	0.000180
40~44	2,303,408	0.004709	0.000968	0.000658	0.000015	0.000367	0.000029	0.000471
45~49	2,117,792	0.007196	0.001131	0.001275	0.000031	0.000566	0.000054	0.001120
50~54	1,916,054	0.011101	0.001305	0.002202	0.000058	0.000975	0.000121	0.002343
55~59	1,598,180	0.016981	0.001485	0.003538	0.000086	0.001609	0.000178	0.004250
60~64	1,222,112	0.027348	0.001838	0.005724	0.000117	0.002657	0.000384	0.007684
65~69	916,730	0.043535	0.002103	0.007898	0.000182	0.004510	0.000784	0.012650
70~74	593,023	0.069952	0.002165	0.009753	0.000225	0.007457	0.001447	0.019805
75~79	341,712	0.105065	0.001700	0.009116	0.000247	0.010389	0.002561	0.025873
80~84	133,066	0.151978	0.001082	0.007222	0.000219	0.012543	0.003577	0.030970
85歳以上	39,631	0.242952	0.000757	0.005021	0.000152	0.016376	0.005475	0.033307
年齢標準化死亡率(1)		0.033240	0.001025	0.002896	0.000073	0.002814	0.000666	0.006797
年齢標準化死亡率(2)		0.026552	0.000961	0.002509	0.000062	0.002261	0.000511	0.005491
年齢標準化死亡率(3)		0.013372	0.000750	0.001473	0.000036	0.001091	0.000207	0.002626
年齢標準化死亡率(4)		0.009748	0.000610	0.001006	0.000025	0.000705	0.000122	0.001637
女								
総数	45,145,232	0.007272	0.000446	0.000808	0.000026	0.000600	0.000104	0.001302
0歳	825,759	0.037751	0.000176	0.000054	0.000000	0.000071	0.000000	0.000016
1~4	3,654,357	0.003975	0.000163	0.000054	0.000001	0.000035	0.000000	0.000003
5~9	5,360,282	0.001132	0.000058	0.000030	0.000001	0.000032	0.000000	0.000003
10~14	4,654,399	0.000631	0.000078	0.000034	0.000001	0.000068	0.000001	0.000006
15~19	4,255,965	0.001079	0.000214	0.000035	0.000003	0.000099	0.000001	0.000008
20~24	4,186,432	0.001922	0.000465	0.000053	0.000010	0.000149	0.000001	0.000021
25~29	3,810,191	0.002263	0.000711	0.000119	0.000009	0.000191	0.000003	0.000033
30~34	3,299,310	0.002563	0.000766	0.000238	0.000009	0.000237	0.000005	0.000063
35~39	2,780,411	0.003034	0.000689	0.000502	0.000012	0.000315	0.000009	0.000143
40~44	2,607,156	0.003795	0.000623	0.000921	0.000023	0.000395	0.000021	0.000357
45~49	2,221,613	0.005274	0.000629	0.001387	0.000028	0.000531	0.000051	0.000933
50~54	1,913,396	0.007721	0.000654	0.002025	0.000046	0.000763	0.000073	0.001869
55~59	1,593,081	0.011208	0.000738	0.002741	0.000079	0.001143	0.000136	0.003026
60~64	1,267,245	0.017549	0.000861	0.003678	0.000140	0.001893	0.000254	0.005133
65~69	1,046,167	0.028719	0.000914	0.004862	0.000197	0.003163	0.000577	0.008789
70~74	797,861	0.048494	0.000866	0.005793	0.000191	0.005183	0.001120	0.014612
75~79	533,001	0.077746	0.000711	0.006007	0.000179	0.007604	0.002096	0.019992
80~84	244,294	0.119972	0.000463	0.005248	0.000135	0.009824	0.003000	0.024110
85歳以上	94,311	0.206247	0.000329	0.003764	0.000096	0.012438	0.004496	0.026900
年齢標準化死亡率(1)		0.025377	0.000571	0.002035	0.000064	0.002118	0.000535	0.005145
年齢標準化死亡率(2)		0.020074	0.000553	0.001776	0.000056	0.001706	0.000409	0.004133
年齢標準化死亡率(3)		0.009945	0.000482	0.001087	0.000035	0.000842	0.000163	0.001947
年齢標準化死亡率(4)		0.007366	0.000421	0.000767	0.000024	0.000558	0.000095	0.001211

人口問題研究所の算定による。表末の注記を参照。



表22

(1) 昭和30年(つづき)

肺炎及び 気管支炎	胃及び十二 指腸潰瘍	胃腸炎	慢性肝疾患 及び肝硬変	腎炎、ネ フローゼ 群及びネ フローゼ	精神病的 記載のない 老衰	不慮の事故 及び 有害作用	自殺	その他の 死因	年齢階級
男									
0.000519	0.000216	0.000298	0.000104	0.000209	0.000542	0.000572	0.000318	0.001862	総数
0.010122	0.000003	0.003645	0.000021	0.000037	0.000000	0.001039	0.000000	0.028202	0歳
0.000587	0.000005	0.000654	0.000004	0.000134	0.000000	0.000901	0.000000	0.001656	1~4
0.000087	0.000001	0.000100	0.000004	0.000089	0.000000	0.000465	0.000001	0.000573	5~9
0.000035	0.000002	0.000023	0.000004	0.000043	0.000000	0.000191	0.000012	0.000289	10~14
0.000039	0.000010	0.000024	0.000005	0.000049	0.000000	0.000313	0.000375	0.000350	15~19
0.000042	0.000033	0.000021	0.000007	0.000063	0.000000	0.000588	0.000846	0.000506	20~24
0.000044	0.000045	0.000021	0.000011	0.000065	0.000000	0.000599	0.000551	0.000524	25~29
0.000046	0.000074	0.000029	0.000026	0.000071	0.000000	0.000535	0.000307	0.000568	30~34
0.000058	0.000121	0.000036	0.000045	0.000091	0.000000	0.000537	0.000248	0.000670	35~39
0.000064	0.000194	0.000041	0.000100	0.000114	0.000000	0.000574	0.000239	0.000875	40~44
0.000120	0.000312	0.000067	0.000168	0.000167	0.000001	0.000662	0.000324	0.001198	45~49
0.000182	0.000484	0.000122	0.000263	0.000260	0.000007	0.000701	0.000379	0.001699	50~54
0.000367	0.000750	0.000201	0.000340	0.000397	0.000043	0.000733	0.000481	0.002522	55~59
0.000761	0.001088	0.000392	0.000492	0.000697	0.000259	0.000779	0.000556	0.003920	60~64
0.001646	0.001640	0.000903	0.000762	0.001201	0.001430	0.000809	0.000680	0.006336	65~69
0.003604	0.002111	0.002135	0.001017	0.001958	0.006404	0.000960	0.000869	0.010041	70~74
0.006570	0.002444	0.004220	0.001244	0.003184	0.020497	0.001390	0.001113	0.014516	75~79
0.010393	0.002255	0.007132	0.001285	0.004111	0.049156	0.001684	0.001226	0.019119	80~84
0.015417	0.002498	0.011885	0.001110	0.005248	0.114228	0.002296	0.001288	0.027808	85歳以上
0.001893	0.000730	0.001265	0.000356	0.000852	0.007855	0.000775	0.000504	0.004735	年齢標準化死亡率(1)
0.001498	0.000616	0.000978	0.000300	0.000684	0.005522	0.000724	0.000460	0.003972	年齢標準化死亡率(2)
0.000793	0.000343	0.000472	0.000166	0.000339	0.001573	0.000620	0.000358	0.002524	年齢標準化死亡率(3)
0.000691	0.000232	0.000388	0.000112	0.000234	0.000802	0.000592	0.000309	0.002284	年齢標準化死亡率(4)
女									
0.000455	0.000088	0.000339	0.000069	0.000222	0.000805	0.000185	0.000191	0.001631	総数
0.009135	0.000001	0.003220	0.000029	0.000028	0.000000	0.001015	0.000000	0.024006	0歳
0.000647	0.000004	0.000668	0.000007	0.000096	0.000000	0.000629	0.000000	0.001668	1~4
0.000095	0.000002	0.000127	0.000002	0.000068	0.000000	0.000149	0.000000	0.000564	5~9
0.000037	0.000001	0.000022	0.000003	0.000045	0.000000	0.000093	0.000007	0.000236	10~14
0.000037	0.000006	0.000020	0.000004	0.000052	0.000000	0.000061	0.000263	0.000273	15~19
0.000053	0.000016	0.000027	0.000005	0.000060	0.000000	0.000083	0.000470	0.000509	20~24
0.000066	0.000018	0.000029	0.000009	0.000077	0.000000	0.000060	0.000281	0.000656	25~29
0.000070	0.000035	0.000035	0.000018	0.000088	0.000000	0.000066	0.000182	0.000751	30~34
0.000075	0.000042	0.000041	0.000034	0.000126	0.000000	0.000077	0.000161	0.000807	35~39
0.000079	0.000056	0.000052	0.000051	0.000150	0.000000	0.000094	0.000148	0.000824	40~44
0.000087	0.000089	0.000078	0.000083	0.000197	0.000003	0.000098	0.000166	0.000913	45~49
0.000154	0.000130	0.000124	0.000155	0.000261	0.000009	0.000114	0.000187	0.001157	50~54
0.000256	0.000195	0.000217	0.000218	0.000383	0.000057	0.000153	0.000226	0.001641	55~59
0.000505	0.000340	0.000403	0.000293	0.000607	0.000275	0.000212	0.000309	0.002645	60~64
0.001004	0.000519	0.000891	0.000384	0.001082	0.001387	0.000333	0.000404	0.004213	65~69
0.002022	0.000846	0.002007	0.000593	0.001683	0.005719	0.000468	0.000575	0.006817	70~74
0.003670	0.001038	0.004023	0.000692	0.002486	0.017524	0.000783	0.000657	0.010285	75~79
0.006148	0.001257	0.006967	0.000782	0.003127	0.043138	0.001028	0.000766	0.013979	80~84
0.010932	0.001378	0.011664	0.000551	0.004369	0.105961	0.001421	0.001230	0.020698	85歳以上
0.001242	0.000296	0.001234	0.000201	0.000718	0.007105	0.000294	0.000311	0.003508	年齢標準化死亡率(1)
0.000997	0.000242	0.000954	0.000171	0.000582	0.004983	0.000261	0.000279	0.002974	年齢標準化死亡率(2)
0.000587	0.000124	0.000461	0.000096	0.000300	0.001405	0.000206	0.000208	0.002002	年齢標準化死亡率(3)
0.000563	0.000082	0.000377	0.000066	0.000211	0.000716	0.000209	0.000179	0.001888	年齢標準化死亡率(4)

(次ページにつづく)

表22 男女別にみた主要死因の年齢別死亡率および標準化死亡率の年次変化(つづき)

(2) 昭和35年

年齢階級	人口	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患
男								
総数	45,566,018	0.008285	0.000434	0.001117	0.000033	0.000763	0.000162	0.001733
0歳	801,580	0.034576	0.000066	0.000065	0.000001	0.000191	0.000000	0.000025
1~4	3,178,674	0.002678	0.000046	0.000093	0.000000	0.000024	0.000000	0.000005
5~9	4,662,540	0.001027	0.000016	0.000048	0.000000	0.000024	0.000000	0.000004
10~14	5,575,795	0.000585	0.000016	0.000048	0.000001	0.000038	0.000000	0.000007
15~19	4,646,286	0.001328	0.000045	0.000062	0.000002	0.000073	0.000002	0.000015
20~24	4,102,106	0.002152	0.000107	0.000069	0.000002	0.000099	0.000004	0.000022
25~29	4,076,037	0.002295	0.000248	0.000100	0.000005	0.000114	0.000008	0.000039
30~34	3,727,237	0.002366	0.000398	0.000188	0.000006	0.000145	0.000014	0.000081
35~39	2,737,554	0.002977	0.000552	0.000337	0.000009	0.000204	0.000021	0.000180
40~44	2,253,377	0.004126	0.000635	0.000656	0.000011	0.000332	0.000032	0.000495
45~49	2,238,589	0.006328	0.000755	0.001252	0.000029	0.000520	0.000093	0.001105
50~54	2,026,278	0.010289	0.000955	0.002321	0.000056	0.000917	0.000167	0.002342
55~59	1,791,744	0.016832	0.001203	0.003892	0.000109	0.001641	0.000297	0.004656
60~64	1,430,683	0.026701	0.001542	0.005950	0.000171	0.002799	0.000582	0.008023
65~69	1,023,861	0.043046	0.002054	0.008609	0.000289	0.004748	0.001085	0.013485
70~74	692,067	0.069973	0.002569	0.011091	0.000350	0.008421	0.002100	0.021316
75~79	376,287	0.113615	0.002790	0.011680	0.000369	0.014054	0.003683	0.031899
80~84	168,956	0.173793	0.001959	0.009973	0.000320	0.021154	0.005309	0.039697
85歳以上	56,367	0.259685	0.001313	0.007274	0.000213	0.028794	0.006387	0.041425
年齢標準化死亡率(1)		0.034657	0.000949	0.003393	0.000103	0.003886	0.000912	0.007956
年齢標準化死亡率(2)		0.027386	0.000847	0.002905	0.000088	0.003028	0.000707	0.006370
年齢標準化死亡率(3)		0.013117	0.000564	0.001653	0.000049	0.001320	0.000297	0.002963
年齢標準化死亡率(4)		0.009159	0.000419	0.001117	0.000032	0.000816	0.000176	0.001824
女								
総数	47,275,278	0.006961	0.000258	0.000907	0.000036	0.000712	0.000164	0.001505
0歳	763,203	0.028275	0.000075	0.000076	0.000001	0.000144	0.000000	0.000017
1~4	3,038,506	0.002266	0.000050	0.000065	0.000000	0.000027	0.000000	0.000003
5~9	4,465,083	0.000766	0.000019	0.000035	0.000001	0.000026	0.000000	0.000005
10~14	5,355,470	0.000426	0.000020	0.000041	0.000001	0.000043	0.000001	0.000004
15~19	4,599,359	0.000796	0.000049	0.000050	0.000003	0.000073	0.000001	0.000010
20~24	4,169,841	0.001369	0.000140	0.000075	0.000008	0.000101	0.000002	0.000017
25~29	4,096,526	0.001557	0.000258	0.000128	0.000016	0.000136	0.000003	0.000031
30~34	3,753,863	0.001800	0.000357	0.000265	0.000011	0.000190	0.000008	0.000051
35~39	3,256,403	0.002263	0.000411	0.000499	0.000011	0.000232	0.000011	0.000123
40~44	2,731,517	0.002976	0.000409	0.000846	0.000019	0.000317	0.000025	0.000295
45~49	2,547,867	0.004518	0.000409	0.001389	0.000027	0.000451	0.000061	0.000767
50~54	2,152,133	0.006657	0.000430	0.001903	0.000055	0.000684	0.000102	0.001615
55~59	1,833,068	0.010074	0.000502	0.002715	0.000099	0.001074	0.000203	0.002779
60~64	1,490,068	0.015904	0.000605	0.003704	0.000182	0.001827	0.000365	0.004864
65~69	1,131,340	0.026710	0.000735	0.004959	0.000264	0.003181	0.000834	0.008889
70~74	868,918	0.047044	0.000836	0.006375	0.000309	0.005708	0.001686	0.015702
75~79	577,338	0.082404	0.000897	0.007150	0.000282	0.010171	0.003083	0.023958
80~84	313,412	0.132138	0.000657	0.006684	0.000227	0.015357	0.004435	0.030615
85歳以上	131,363	0.219350	0.000472	0.005687	0.000099	0.022046	0.005511	0.034545
年齢標準化死亡率(1)		0.025689	0.000406	0.002258	0.000089	0.002830	0.000746	0.005907
年齢標準化死亡率(2)		0.020012	0.000375	0.001942	0.000077	0.002199	0.000574	0.004677
年齢標準化死亡率(3)		0.009232	0.000284	0.001146	0.000046	0.000960	0.000234	0.002100
年齢標準化死亡率(4)		0.006465	0.000229	0.000800	0.000032	0.000602	0.000136	0.001276

人口問題研究所の算定による。表末の注記を参照。

表22

(2) 昭和35年(つづき)

肺炎及び 気管支炎	胃及び十二 指腸潰瘍	胃腸炎	慢性肝疾患 及び肝硬変	腎炎、ネフ ローゼ症候 群及びネフ ローゼ	精神病的 記載のない 老衰	不慮の事故 及び 有害作用	自殺	その他の 死因	年齢階級
男									
0.000535	0.000168	0.000191	0.000124	0.000167	0.000451	0.000654	0.000253	0.001502	総数
0.009444	0.000006	0.002642	0.000007	0.000011	0.000000	0.000892	0.000000	0.021224	0歳
0.000397	0.000003	0.000277	0.000002	0.000056	0.000000	0.000842	0.000000	0.000933	1~4
0.000063	0.000002	0.000048	0.000003	0.000044	0.000000	0.000425	0.000000	0.000351	5~9
0.000027	0.000001	0.000012	0.000003	0.000032	0.000000	0.000196	0.000007	0.000197	10~14
0.000037	0.000010	0.000014	0.000003	0.000051	0.000000	0.000481	0.000255	0.000278	15~19
0.000038	0.000018	0.000010	0.000006	0.000076	0.000000	0.000753	0.000591	0.000357	20~24
0.000043	0.000030	0.000016	0.000017	0.000076	0.000000	0.000747	0.000443	0.000409	25~29
0.000058	0.000042	0.000016	0.000031	0.000074	0.000000	0.000626	0.000230	0.000457	30~34
0.000068	0.000062	0.000019	0.000061	0.000079	0.000000	0.000647	0.000188	0.000551	35~39
0.000084	0.000103	0.000030	0.000115	0.000093	0.000000	0.000675	0.000187	0.000676	40~44
0.000133	0.000172	0.000037	0.000190	0.000145	0.000000	0.000719	0.000239	0.000939	45~49
0.000217	0.000297	0.000049	0.000305	0.000208	0.000002	0.000777	0.000316	0.001359	50~54
0.000436	0.000469	0.000134	0.000384	0.000311	0.000015	0.000818	0.000395	0.002072	55~59
0.000949	0.000771	0.000231	0.000522	0.000458	0.000140	0.000932	0.000497	0.003133	60~64
0.001811	0.001191	0.000517	0.000739	0.000789	0.000728	0.001111	0.000605	0.005285	65~69
0.003848	0.001705	0.001241	0.001120	0.001426	0.003656	0.001374	0.000729	0.009026	70~74
0.008018	0.002325	0.003147	0.001435	0.002392	0.013378	0.001722	0.000864	0.015856	75~79
0.014021	0.002663	0.006659	0.001858	0.003368	0.039442	0.002445	0.000977	0.023943	80~84
0.022158	0.002732	0.010946	0.001916	0.004364	0.094754	0.003477	0.000852	0.033071	85歳以上
0.002399	0.000627	0.001026	0.000435	0.000659	0.006144	0.000973	0.000395	0.004799	年齢標準化死亡率(1)
0.001853	0.000515	0.000771	0.000359	0.000525	0.004275	0.000890	0.000361	0.003891	年齢標準化死亡率(2)
0.000880	0.000263	0.000331	0.000189	0.000256	0.001161	0.000724	0.000278	0.002189	年齢標準化死亡率(3)
0.000710	0.000171	0.000255	0.000126	0.000175	0.000582	0.000671	0.000236	0.001850	年齢標準化死亡率(4)
女									
0.000458	0.000072	0.000234	0.000072	0.000166	0.000711	0.000194	0.000183	0.001289	総数
0.008112	0.000004	0.002167	0.000018	0.000009	0.000000	0.000786	0.000000	0.016865	0歳
0.000397	0.000001	0.000262	0.000003	0.000031	0.000000	0.000545	0.000000	0.000882	1~4
0.000069	0.000001	0.000062	0.000004	0.000032	0.000000	0.000159	0.000000	0.000354	5~9
0.000027	0.000001	0.000011	0.000002	0.000028	0.000000	0.000063	0.000004	0.000180	10~14
0.000040	0.000004	0.000008	0.000002	0.000037	0.000000	0.000085	0.000225	0.000208	15~19
0.000055	0.000008	0.000012	0.000004	0.000048	0.000000	0.000096	0.000443	0.000360	20~24
0.000059	0.000009	0.000017	0.000007	0.000067	0.000000	0.000079	0.000254	0.000494	25~29
0.000061	0.000018	0.000021	0.000012	0.000067	0.000000	0.000071	0.000170	0.000497	30~34
0.000072	0.000020	0.000025	0.000024	0.000086	0.000000	0.000091	0.000131	0.000529	35~39
0.000076	0.000033	0.000030	0.000039	0.000105	0.000000	0.000100	0.000129	0.000552	40~44
0.000101	0.000049	0.000046	0.000085	0.000151	0.000001	0.000134	0.000165	0.000681	45~49
0.000164	0.000067	0.000078	0.000128	0.000174	0.000004	0.000170	0.000194	0.000891	50~54
0.000273	0.000122	0.000115	0.000187	0.000238	0.000027	0.000218	0.000207	0.001316	55~59
0.000493	0.000197	0.000235	0.000255	0.000408	0.000123	0.000277	0.000295	0.002075	60~64
0.001055	0.000355	0.000462	0.000370	0.000683	0.000683	0.000393	0.000429	0.003417	65~69
0.002252	0.000707	0.001332	0.000619	0.001192	0.003202	0.000645	0.000511	0.005970	70~74
0.004841	0.001067	0.003123	0.000831	0.001841	0.012481	0.001062	0.000629	0.010985	75~79
0.008688	0.001465	0.006528	0.000906	0.002674	0.034641	0.001573	0.000744	0.016943	80~84
0.014966	0.001621	0.011609	0.001066	0.003487	0.089302	0.002215	0.000708	0.026006	85歳以上
0.001553	0.000272	0.001044	0.000226	0.000536	0.005668	0.000386	0.000276	0.003493	年齢標準化死亡率(1)
0.001207	0.000215	0.000780	0.000185	0.000429	0.003936	0.000330	0.000251	0.002834	年齢標準化死亡率(2)
0.000615	0.000098	0.000324	0.000095	0.000212	0.001059	0.000230	0.000192	0.001637	年齢標準化死亡率(3)
0.000537	0.000061	0.000243	0.000063	0.000144	0.000531	0.000217	0.000164	0.001430	年齢標準化死亡率(4)

(次ページにつづく)

表22 男女別にみた主要死因の年齢別死亡率および標準化死亡率の年次変化(つづき)

(3) 昭和40年

年齢階級	人 口	全 死 因	結 核	悪性新生物	糖 尿 病	心 疾 患	高 血 圧 性 疾 患	脳血管疾患
男								
総 数	47,928,420	0.007902	0.000308	0.001229	0.000051	0.000810	0.000191	0.001935
0 歳	883,139	0.021880	0.000016	0.000051	0.000001	0.000194	0.000000	0.000035
1~4	3,234,913	0.001565	0.000016	0.000096	0.000001	0.000014	0.000000	0.000004
5~9	3,963,304	0.000713	0.000005	0.000061	0.000002	0.000009	0.000000	0.000005
10~14	4,633,039	0.000488	0.000005	0.000053	0.000002	0.000024	0.000000	0.000006
15~19	5,440,846	0.000924	0.000012	0.000073	0.000002	0.000034	0.000001	0.000012
20~24	4,468,997	0.001501	0.000033	0.000088	0.000005	0.000068	0.000004	0.000021
25~29	4,133,388	0.001632	0.000075	0.000126	0.000007	0.000092	0.000004	0.000037
30~34	4,127,542	0.002008	0.000159	0.000199	0.000008	0.000140	0.000012	0.000105
35~39	3,727,725	0.002615	0.000256	0.000356	0.000014	0.000210	0.000022	0.000232
40~44	2,705,503	0.003632	0.000380	0.000608	0.000015	0.000287	0.000034	0.000510
45~49	2,205,612	0.005718	0.000466	0.001207	0.000035	0.000462	0.000078	0.001070
50~54	2,157,047	0.008991	0.000623	0.002212	0.000076	0.000831	0.000140	0.002103
55~59	1,918,468	0.014746	0.000855	0.003686	0.000128	0.001511	0.000274	0.003965
60~64	1,617,101	0.024958	0.001176	0.006098	0.000259	0.002660	0.000578	0.007728
65~69	1,213,846	0.040396	0.001626	0.008885	0.000382	0.004596	0.001139	0.013289
70~74	786,820	0.066599	0.002199	0.011318	0.000599	0.008094	0.002260	0.022959
75~79	450,832	0.108274	0.002775	0.013200	0.000584	0.014241	0.004299	0.034776
80~84	186,643	0.175467	0.002717	0.012360	0.000676	0.024272	0.006676	0.047761
85歳以上	73,655	0.261394	0.001901	0.008716	0.000313	0.034649	0.008499	0.052299
年齢標準化死亡率 (1)		0.033431	0.000804	0.003642	0.000162	0.004179	0.001087	0.008852
年齢標準化死亡率 (2)		0.026173	0.000691	0.003092	0.000137	0.003210	0.000832	0.006997
年齢標準化死亡率 (3)		0.011997	0.000408	0.001720	0.000074	0.001333	0.000334	0.003128
年齢標準化死亡率 (4)		0.008032	0.000284	0.001152	0.000048	0.000805	0.000193	0.001895
女								
総 数	49,752,503	0.006466	0.000152	0.000957	0.000053	0.000741	0.000197	0.001609
0 歳	846,653	0.017032	0.000026	0.000060	0.000000	0.000171	0.000000	0.000022
1~4	3,106,836	0.001213	0.000009	0.000069	0.000001	0.000019	0.000000	0.000006
5~9	3,824,611	0.000447	0.000004	0.000044	0.000001	0.000007	0.000000	0.000002
10~14	4,477,985	0.000304	0.000007	0.000040	0.000003	0.000020	0.000000	0.000006
15~19	5,337,407	0.000440	0.000010	0.000052	0.000005	0.000033	0.000000	0.000007
20~24	4,544,990	0.000813	0.000040	0.000079	0.000007	0.000064	0.000003	0.000017
25~29	4,184,331	0.001057	0.000087	0.000136	0.000010	0.000087	0.000004	0.000025
30~34	4,091,642	0.001262	0.000132	0.000272	0.000009	0.000109	0.000006	0.000045
35~39	3,734,218	0.001701	0.000203	0.000457	0.000012	0.000166	0.000012	0.000104
40~44	3,213,808	0.002374	0.000233	0.000744	0.000017	0.000264	0.000024	0.000246
45~49	2,685,093	0.003699	0.000225	0.001212	0.000029	0.000414	0.000059	0.000616
50~54	2,474,400	0.005593	0.000251	0.001894	0.000066	0.000564	0.000094	0.001222
55~59	2,063,940	0.008553	0.000293	0.002633	0.000120	0.000924	0.000179	0.002227
60~64	1,714,109	0.013970	0.000400	0.003592	0.000229	0.001622	0.000363	0.004307
65~69	1,339,855	0.023860	0.000513	0.004901	0.000361	0.002944	0.000764	0.008214
70~74	953,595	0.041964	0.000727	0.006440	0.000505	0.005286	0.001699	0.015099
75~79	642,772	0.076269	0.000876	0.007575	0.000549	0.010234	0.003527	0.025553
80~84	340,575	0.135176	0.000863	0.007405	0.000447	0.018005	0.005996	0.037099
85歳以上	175,683	0.218801	0.000529	0.005584	0.000200	0.027811	0.007371	0.041438
年齢標準化死亡率 (1)		0.024308	0.000290	0.002274	0.000137	0.003067	0.000896	0.006327
年齢標準化死亡率 (2)		0.018687	0.000256	0.001949	0.000117	0.002333	0.000679	0.004932
年齢標準化死亡率 (3)		0.008094	0.000168	0.001136	0.000066	0.000943	0.000262	0.002104
年齢標準化死亡率 (4)		0.005360	0.000125	0.000788	0.000044	0.000569	0.000149	0.001249

人口問題研究所の算定による。表末の注記を参照。

表22

(3) 昭和40年(つづき)

肺炎及び 気管支炎	胃及び十二 指腸潰瘍	胃腸炎	慢性肝炎患 及び肝硬変	腎炎, ネフ ローゼ症候 群及びネ ローゼ	精神病の 記載のない 老	不慮の事故 及び 有害作用	自殺	その他の 死因	年齢階級
男									
0.000403	0.000133	0.000115	0.000135	0.000122	0.000365	0.000640	0.000174	0.001289	総数
0.004123	0.000019	0.001317	0.000011	0.000005	0.000000	0.000690	0.000000	0.015419	0歳
0.000192	0.000001	0.000092	0.000002	0.000016	0.000000	0.000668	0.000000	0.000463	1~4
0.000040	0.000001	0.000013	0.000002	0.000027	0.000000	0.000350	0.000000	0.000197	5~9
0.000024	0.000002	0.000007	0.000002	0.000028	0.000000	0.000173	0.000007	0.000154	10~14
0.000028	0.000005	0.000006	0.000003	0.000041	0.000000	0.000426	0.000088	0.000192	15~19
0.000026	0.000012	0.000008	0.000005	0.000078	0.000000	0.000672	0.000235	0.000247	20~24
0.000025	0.000017	0.000007	0.000013	0.000081	0.000000	0.000601	0.000240	0.000307	25~29
0.000034	0.000036	0.000007	0.000042	0.000077	0.000000	0.000621	0.000181	0.000387	30~34
0.000044	0.000058	0.000012	0.000078	0.000073	0.000000	0.000626	0.000159	0.000476	35~39
0.000060	0.000072	0.000014	0.000134	0.000084	0.000000	0.000702	0.000156	0.000577	40~44
0.000078	0.000125	0.000026	0.000225	0.000125	0.000000	0.000800	0.000209	0.000812	45~49
0.000149	0.000197	0.000032	0.000315	0.000143	0.000000	0.000838	0.000240	0.001093	50~54
0.000326	0.000296	0.000067	0.000441	0.000213	0.000009	0.000885	0.000329	0.001761	55~59
0.000663	0.000496	0.000129	0.000550	0.000302	0.000073	0.001070	0.000423	0.002752	60~64
0.001469	0.000839	0.000307	0.000671	0.000439	0.000395	0.001165	0.000526	0.004668	65~69
0.003266	0.001284	0.000764	0.001031	0.000817	0.002091	0.001427	0.000593	0.007898	70~74
0.006941	0.001934	0.001941	0.001291	0.001304	0.008892	0.001848	0.000764	0.013483	75~79
0.013973	0.002465	0.004549	0.001591	0.002095	0.029388	0.002658	0.001105	0.023179	80~84
0.022836	0.002593	0.007956	0.001466	0.002797	0.078053	0.003395	0.000883	0.035003	85歳以上
0.002211	0.000506	0.000686	0.000400	0.000410	0.004757	0.000983	0.000321	0.004428	年齢標準化死亡率(1)
0.001659	0.000409	0.000507	0.000336	0.000329	0.003279	0.000892	0.000284	0.003520	年齢標準化死亡率(2)
0.000676	0.000199	0.000197	0.000186	0.000167	0.000852	0.000699	0.000196	0.001829	年齢標準化死亡率(3)
0.000473	0.000127	0.000140	0.000127	0.000117	0.000421	0.000628	0.000155	0.001466	年齢標準化死亡率(4)
女									
0.000348	0.000056	0.000145	0.000067	0.000114	0.000635	0.000191	0.000123	0.001078	総数
0.003556	0.000012	0.000888	0.000009	0.000008	0.000000	0.000615	0.000000	0.011663	0歳
0.000175	0.000002	0.000077	0.000002	0.000010	0.000000	0.000424	0.000000	0.000420	1~4
0.000036	0.000001	0.000012	0.000001	0.000012	0.000000	0.000138	0.000000	0.000190	5~9
0.000021	0.000001	0.000004	0.000002	0.000020	0.000000	0.000052	0.000003	0.000123	10~14
0.000021	0.000002	0.000004	0.000001	0.000029	0.000000	0.000063	0.000061	0.000151	15~19
0.000031	0.000002	0.000005	0.000002	0.000044	0.000000	0.000084	0.000184	0.000250	20~24
0.000035	0.000006	0.000009	0.000006	0.000053	0.000000	0.000077	0.000162	0.000360	25~29
0.000037	0.000008	0.000012	0.000009	0.000059	0.000000	0.000073	0.000111	0.000380	30~34
0.000040	0.000009	0.000013	0.000021	0.000069	0.000000	0.000096	0.000107	0.000392	35~39
0.000053	0.000014	0.000013	0.000040	0.000084	0.000000	0.000112	0.000087	0.000443	40~44
0.000074	0.000025	0.000023	0.000074	0.000114	0.000000	0.000141	0.000113	0.000580	45~49
0.000109	0.000036	0.000036	0.000106	0.000123	0.000001	0.000173	0.000151	0.000768	50~54
0.000201	0.000067	0.000066	0.000166	0.000167	0.000010	0.000233	0.000160	0.001109	55~59
0.000400	0.000117	0.000120	0.000217	0.000257	0.000063	0.000306	0.000235	0.001741	60~64
0.000808	0.000235	0.000305	0.000348	0.000403	0.000387	0.000435	0.000337	0.002905	65~69
0.001807	0.000455	0.000719	0.000464	0.000698	0.001938	0.000681	0.000492	0.004955	70~74
0.004011	0.000902	0.001973	0.000675	0.001077	0.008566	0.001058	0.000596	0.009099	75~79
0.008882	0.001456	0.004542	0.000940	0.001503	0.028781	0.001938	0.000805	0.016514	80~84
0.015374	0.001679	0.008680	0.000939	0.001890	0.078442	0.002687	0.000774	0.025371	85歳以上
0.001411	0.000228	0.000707	0.000197	0.000317	0.004720	0.000417	0.000224	0.003094	年齢標準化死亡率(1)
0.001059	0.000176	0.000516	0.000161	0.000257	0.003248	0.000349	0.000195	0.002460	年齢標準化死亡率(2)
0.000446	0.000073	0.000188	0.000082	0.000133	0.000836	0.000223	0.000130	0.001305	年齢標準化死亡率(3)
0.000333	0.000044	0.000125	0.000054	0.000093	0.000413	0.000198	0.000102	0.001075	年齢標準化死亡率(4)

(次ページにつづく)

表22 男女別にみた主要死因の年齢別死亡率および標準化死亡率の年次変化(つづき)

(4) 昭和45年

年齢階級	人口	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患
男								
総数	50,600,539	0.007666	0.000216	0.001326	0.000074	0.000909	0.000166	0.001915
0歳	957,461	0.015416	0.000010	0.000078	0.000001	0.000182	0.000000	0.000048
1~4	3,525,044	0.001232	0.000004	0.000087	0.000000	0.000014	0.000000	0.000008
5~9	4,140,644	0.000576	0.000001	0.000056	0.000001	0.000008	0.000000	0.000005
10~14	3,976,006	0.000416	0.000003	0.000047	0.000003	0.000016	0.000000	0.000006
15~19	4,538,341	0.001095	0.000006	0.000073	0.000003	0.000038	0.000002	0.000014
20~24	5,279,558	0.001292	0.000013	0.000088	0.000003	0.000059	0.000002	0.000019
25~29	4,490,569	0.001449	0.000022	0.000127	0.000006	0.000100	0.000007	0.000045
30~34	4,158,837	0.001726	0.000055	0.000207	0.000012	0.000142	0.000008	0.000096
35~39	4,102,995	0.002524	0.000111	0.000360	0.000019	0.000222	0.000022	0.000270
40~44	3,647,406	0.003522	0.000172	0.000630	0.000029	0.000333	0.000033	0.000543
45~49	2,656,868	0.004996	0.000261	0.001142	0.000043	0.000489	0.000048	0.000880
50~54	2,139,891	0.007957	0.000369	0.002053	0.000082	0.000830	0.000108	0.001661
55~59	2,028,700	0.013178	0.000527	0.003573	0.000157	0.001487	0.000207	0.003146
60~64	1,746,039	0.021828	0.000788	0.005796	0.000295	0.002656	0.000378	0.006017
65~69	1,393,260	0.037452	0.001312	0.009020	0.000529	0.004649	0.000846	0.011498
70~74	958,330	0.060864	0.001744	0.011770	0.000815	0.008040	0.001658	0.020520
75~79	530,763	0.098219	0.002214	0.019335	0.000960	0.014208	0.003260	0.033591
80~84	240,917	0.151308	0.002434	0.013595	0.000943	0.024015	0.005671	0.047293
85歳以上	88,910	0.245449	0.002026	0.010787	0.000754	0.042492	0.009314	0.059055
年齢標準化死亡率(1)		0.030283	0.000617	0.003805	0.000237	0.004468	0.000950	0.008582
年齢標準化死亡率(2)		0.023652	0.000516	0.003203	0.000196	0.003395	0.000712	0.006691
年齢標準化死亡率(3)		0.010722	0.000280	0.001743	0.000101	0.001363	0.000266	0.002867
年齢標準化死亡率(4)		0.007105	0.000187	0.001157	0.000065	0.000820	0.000152	0.001714
女								
総数	52,518,908	0.006190	0.000095	0.001007	0.000074	0.000827	0.000188	0.001607
0歳	907,544	0.011754	0.000011	0.000062	0.000000	0.000170	0.000000	0.000032
1~4	3,356,040	0.000933	0.000008	0.000068	0.000001	0.000010	0.000000	0.000003
5~9	3,959,359	0.000360	0.000002	0.000042	0.000001	0.000007	0.000000	0.000003
10~14	3,823,278	0.000255	0.000001	0.000040	0.000001	0.000014	0.000000	0.000004
15~19	4,460,054	0.000440	0.000004	0.000055	0.000006	0.000024	0.000000	0.000011
20~24	5,315,367	0.000671	0.000010	0.000073	0.000008	0.000042	0.000003	0.000018
25~29	4,546,549	0.000851	0.000025	0.000139	0.000009	0.000063	0.000003	0.000025
30~34	4,168,854	0.001030	0.000049	0.000245	0.000016	0.000089	0.000005	0.000048
35~39	4,067,908	0.001419	0.000080	0.000419	0.000011	0.000134	0.000008	0.000094
40~44	3,658,414	0.002084	0.000118	0.000710	0.000018	0.000214	0.000019	0.000214
45~49	3,182,849	0.003107	0.000134	0.001119	0.000038	0.000337	0.000032	0.000452
50~54	2,637,084	0.004767	0.000160	0.001632	0.000078	0.000516	0.000067	0.000932
55~59	2,373,004	0.007483	0.000174	0.002431	0.000140	0.000888	0.000109	0.001711
60~64	1,963,880	0.012162	0.000230	0.003477	0.000258	0.001521	0.000287	0.003320
65~69	1,580,432	0.020951	0.000352	0.004712	0.000469	0.002886	0.000590	0.006665
70~74	1,169,421	0.037510	0.000542	0.006397	0.000661	0.005395	0.001358	0.013021
75~79	735,127	0.067258	0.000626	0.007883	0.000763	0.010119	0.002889	0.023842
80~84	407,560	0.115489	0.000690	0.007935	0.000692	0.018634	0.005533	0.036447
85歳以上	206,184	0.214391	0.000733	0.006242	0.000341	0.035936	0.008352	0.048968
年齢標準化死亡率(1)		0.022036	0.000202	0.002275	0.000184	0.003371	0.000838	0.006156
年齢標準化死亡率(2)		0.016812	0.000172	0.001934	0.000155	0.002520	0.000622	0.004714
年齢標準化死亡率(3)		0.007066	0.000101	0.001103	0.000084	0.000955	0.000224	0.001898
年齢標準化死亡率(4)		0.004599	0.000071	0.000758	0.000055	0.000565	0.000125	0.001107

人口問題研究所の算定による。表末の注記を参照。

表22

(4) 昭和45年(つづき)

肺炎及び 気管支炎	胃及び十二 指腸潰瘍	胃腸炎	慢性肝疾患 及び肝硬変	腎炎、ネフ ローゼ症候 群及びネフ ローゼ	精神病的 記載のない 老	不慮の事故 及び 有害作用	自殺	その他の 死因	年齢階級
男									
0.000373	0.000107	0.000072	0.000175	0.000094	0.000268	0.000654	0.000173	0.001142	総数
0.001878	0.000046	0.000575	0.000010	0.000003	0.000000	0.000688	0.000000	0.011905	0歳
0.000120	0.000001	0.000042	0.000001	0.000008	0.000000	0.000558	0.000000	0.000388	1-4
0.000030	0.000001	0.000004	0.000001	0.000014	0.000000	0.000306	0.000000	0.000150	5-9
0.000018	0.000001	0.000002	0.000002	0.000016	0.000000	0.000153	0.000010	0.000141	10-14
0.000025	0.000004	0.000002	0.000002	0.000036	0.000000	0.000621	0.000088	0.000182	15-19
0.000023	0.000009	0.000004	0.000004	0.000049	0.000000	0.000624	0.000190	0.000208	20-24
0.000025	0.000010	0.000005	0.000011	0.000070	0.000000	0.000549	0.000222	0.000253	25-29
0.000026	0.000021	0.000006	0.000048	0.000062	0.000000	0.000539	0.000186	0.000321	30-34
0.000046	0.000044	0.000008	0.000142	0.000067	0.000000	0.000599	0.000195	0.000422	35-39
0.000066	0.000066	0.000012	0.000223	0.000071	0.000000	0.000660	0.000166	0.000519	40-44
0.000107	0.000088	0.000015	0.000263	0.000091	0.000000	0.000703	0.000183	0.000683	45-49
0.000173	0.000114	0.000024	0.000393	0.000128	0.000001	0.000828	0.000232	0.000964	50-54
0.000344	0.000210	0.000046	0.000547	0.000170	0.000005	0.000959	0.000300	0.001498	55-59
0.000723	0.000345	0.000096	0.000661	0.000225	0.000039	0.001074	0.000363	0.002368	60-64
0.001580	0.000614	0.000201	0.000816	0.000335	0.000215	0.001292	0.000462	0.004075	65-69
0.003178	0.000948	0.000442	0.001032	0.000495	0.001163	0.001633	0.000582	0.006829	70-74
0.006166	0.001459	0.001151	0.001372	0.000748	0.005112	0.002090	0.000751	0.011177	75-79
0.010952	0.002101	0.002495	0.001599	0.001258	0.017807	0.002718	0.000860	0.017520	80-84
0.020338	0.002205	0.005534	0.001474	0.001867	0.057170	0.003852	0.001240	0.027214	85歳以上
0.001937	0.000394	0.000429	0.000444	0.000271	0.003235	0.001021	0.000311	0.003572	年齢標準化死亡率(1)
0.001453	0.000315	0.000313	0.000377	0.000219	0.002208	0.000918	0.000273	0.002856	年齢標準化死亡率(2)
0.000573	0.000149	0.000114	0.000218	0.000116	0.000546	0.000697	0.000185	0.001503	年齢標準化死亡率(3)
0.000373	0.000095	0.000077	0.000150	0.000083	0.000268	0.000619	0.000146	0.001199	年齢標準化死亡率(4)
女									
0.000310	0.000049	0.000094	0.000077	0.000085	0.000489	0.000204	0.000133	0.000952	総数
0.001650	0.000025	0.000408	0.000012	0.000006	0.000000	0.000534	0.000000	0.008849	0歳
0.000110	0.000000	0.000036	0.000001	0.000005	0.000000	0.000352	0.000000	0.000338	1-4
0.000030	0.000000	0.000005	0.000001	0.000007	0.000000	0.000120	0.000000	0.000143	5-9
0.000022	0.000001	0.000002	0.000001	0.000011	0.000000	0.000045	0.000004	0.000110	10-14
0.000022	0.000001	0.000003	0.000002	0.000031	0.000000	0.000080	0.000069	0.000133	15-19
0.000020	0.000003	0.000003	0.000002	0.000033	0.000000	0.000101	0.000162	0.000194	20-24
0.000028	0.000005	0.000006	0.000006	0.000040	0.000000	0.000076	0.000155	0.000272	25-29
0.000030	0.000004	0.000008	0.000010	0.000048	0.000000	0.000073	0.000123	0.000282	30-34
0.000038	0.000007	0.000008	0.000026	0.000059	0.000000	0.000102	0.000115	0.000320	35-39
0.000057	0.000009	0.000009	0.000042	0.000065	0.000000	0.000124	0.000104	0.000381	40-44
0.000066	0.000016	0.000014	0.000078	0.000084	0.000000	0.000133	0.000122	0.000482	45-49
0.000116	0.000025	0.000017	0.000111	0.000092	0.000000	0.000183	0.000154	0.000683	50-54
0.000198	0.000051	0.000047	0.000202	0.000138	0.000010	0.000238	0.000190	0.000956	55-59
0.000386	0.000096	0.000063	0.000266	0.000182	0.000027	0.000324	0.000229	0.001497	60-64
0.000804	0.000178	0.000156	0.000337	0.000259	0.000192	0.000486	0.000354	0.002514	65-69
0.001743	0.000349	0.000405	0.000505	0.000432	0.001060	0.000744	0.000480	0.004417	70-74
0.003580	0.000668	0.001132	0.000679	0.000608	0.005009	0.001213	0.000617	0.007627	75-79
0.006738	0.001146	0.002655	0.000827	0.000935	0.017907	0.001822	0.000663	0.012855	80-84
0.014245	0.001746	0.006378	0.000737	0.001218	0.063514	0.002845	0.000852	0.022189	85歳以上
0.001231	0.000192	0.000458	0.000193	0.000205	0.003467	0.000433	0.000226	0.002601	年齢標準化死亡率(1)
0.000917	0.000145	0.000329	0.000160	0.000167	0.002354	0.000360	0.000197	0.002061	年齢標準化死亡率(2)
0.000361	0.000057	0.000111	0.000085	0.000090	0.000566	0.000223	0.000132	0.001074	年齢標準化死亡率(3)
0.000247	0.000034	0.000070	0.000057	0.000065	0.000277	0.000193	0.000104	0.000872	年齢標準化死亡率(4)

(次ページにつづく)

表22 男女別にみた主要死因の年齢別死亡率および標準化死亡率の年次変化(つづき)

(5) 昭和50年

年齢階級	人口	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患
男								
総数	54,724,867	0.006904	0.000135	0.001406	0.000080	0.000921	0.000159	0.001643
0歳	974,414	0.011275	0.000003	0.000060	0.000001	0.000191	0.000000	0.000064
1~4	4,119,239	0.000955	0.000002	0.000082	0.000000	0.000017	0.000000	0.000004
5~9	4,552,267	0.000447	0.000000	0.000055	0.000000	0.000011	0.000000	0.000004
10~14	4,207,013	0.000300	0.000000	0.000047	0.000001	0.000015	0.000000	0.000004
15~19	4,011,716	0.000866	0.000001	0.000065	0.000002	0.000034	0.000000	0.000008
20~24	4,531,815	0.001071	0.000004	0.000085	0.000003	0.000063	0.000002	0.000015
25~29	5,392,687	0.001036	0.000008	0.000113	0.000004	0.000076	0.000003	0.000031
30~34	4,597,513	0.001324	0.000016	0.000193	0.000007	0.000127	0.000006	0.000083
35~39	4,190,146	0.001944	0.000041	0.000334	0.000019	0.000200	0.000014	0.000206
40~44	4,107,047	0.003161	0.000079	0.000607	0.000036	0.000339	0.000025	0.000489
45~49	3,638,962	0.004593	0.000131	0.001126	0.000060	0.000474	0.000044	0.000823
50~54	2,597,119	0.006549	0.000204	0.001876	0.000089	0.000753	0.000065	0.001210
55~59	2,057,581	0.010716	0.000303	0.003459	0.000142	0.001318	0.000132	0.002156
60~64	1,924,318	0.017227	0.000432	0.005413	0.000265	0.002171	0.000263	0.004088
65~69	1,563,671	0.029520	0.000702	0.008539	0.000479	0.003989	0.000549	0.007874
70~74	1,143,548	0.050506	0.001109	0.012077	0.000776	0.007276	0.001315	0.015074
75~79	686,223	0.082760	0.001617	0.014689	0.000966	0.012683	0.002853	0.026537
80~84	307,179	0.134843	0.001957	0.015357	0.001261	0.023180	0.005847	0.041903
85歳以上	122,409	0.224075	0.001809	0.012851	0.001016	0.044367	0.010179	0.058927
年齢標準化死亡率(1)		0.026167	0.000415	0.003932	0.000253	0.004292	0.000914	0.007230
年齢標準化死亡率(2)		0.020283	0.000339	0.003279	0.000206	0.003229	0.000671	0.005541
年齢標準化死亡率(3)		0.008960	0.000170	0.001738	0.000102	0.001256	0.000233	0.002253
年齢標準化死亡率(4)		0.005863	0.000109	0.001142	0.000064	0.000751	0.000129	0.001328
女								
総数	56,526,640	0.005740	0.000056	0.001052	0.000082	0.000864	0.000197	0.001494
0歳	926,940	0.008770	0.000005	0.000051	0.000000	0.000179	0.000000	0.000044
1~4	3,914,152	0.000729	0.000002	0.000063	0.000000	0.000014	0.000000	0.000006
5~9	4,324,739	0.000271	0.000000	0.000041	0.000001	0.000007	0.000000	0.000002
10~14	4,016,381	0.000195	0.000000	0.000038	0.000001	0.000011	0.000000	0.000004
15~19	3,880,280	0.000330	0.000002	0.000047	0.000003	0.000018	0.000000	0.000009
20~24	4,475,633	0.000556	0.000004	0.000068	0.000003	0.000034	0.000001	0.000012
25~29	5,337,534	0.000615	0.000007	0.000126	0.000008	0.000039	0.000002	0.000018
30~34	4,596,193	0.000806	0.000015	0.000248	0.000009	0.000059	0.000003	0.000040
35~39	4,188,646	0.001116	0.000027	0.000388	0.000012	0.000105	0.000005	0.000085
40~44	4,082,190	0.001670	0.000045	0.000634	0.000019	0.000156	0.000014	0.000192
45~49	3,690,066	0.002522	0.000068	0.001017	0.000033	0.000242	0.000017	0.000361
50~54	3,150,042	0.003927	0.000075	0.001564	0.000060	0.000416	0.000040	0.000685
55~59	2,590,606	0.005905	0.000103	0.002212	0.000111	0.000662	0.000075	0.001209
60~64	2,339,041	0.009488	0.000125	0.003086	0.000224	0.001234	0.000156	0.002340
65~69	1,871,821	0.016303	0.000202	0.004461	0.000463	0.002313	0.000409	0.004555
70~74	1,424,025	0.030373	0.000314	0.006154	0.000671	0.004744	0.001079	0.009784
75~79	950,545	0.055909	0.000457	0.007738	0.000883	0.009481	0.002529	0.019251
80~84	500,120	0.102291	0.000522	0.008504	0.000964	0.019072	0.005715	0.032950
85歳以上	267,686	0.194373	0.000568	0.007382	0.000551	0.038550	0.010199	0.050484
年齢標準化死亡率(1)		0.018971	0.000126	0.002246	0.000203	0.003328	0.000856	0.005400
年齢標準化死亡率(2)		0.014355	0.000104	0.001891	0.000168	0.002453	0.000620	0.004061
年齢標準化死亡率(3)		0.005850	0.000056	0.001051	0.000085	0.000879	0.000203	0.001542
年齢標準化死亡率(4)		0.003752	0.000037	0.000717	0.000053	0.000508	0.000110	0.000885

人口問題研究所の算定による。表末の注記を参照。



表22

(5) 昭和50年(つづき)

肺炎及び 気管支炎	胃及び十二 指腸潰瘍	胃腸炎	慢性肝疾患 及び肝硬変	腎炎, ネフ ローゼ症候 群及びネフ ローゼ	精神病の 記載のない 老	不慮の事故 及び 有害作用	自	殺	その他の 死 因	年齢階級
男										
0.000369	0.000082	0.000046	0.000199	0.000064	0.000188	0.000454	0.000215	0.000944	総 数	
0.000968	0.000001	0.000200	0.000003	0.000007	0.000000	0.000568	0.000000	0.009220	0 歳	
0.000079	0.000001	0.000017	0.000001	0.000005	0.000000	0.000429	0.000000	0.000318	1~4	
0.000022	0.000000	0.000003	0.000000	0.000004	0.000000	0.000228	0.000000	0.000119	5~9	
0.000017	0.000001	0.000001	0.000002	0.000005	0.000000	0.000097	0.000015	0.000096	10~14	
0.000022	0.000004	0.000002	0.000001	0.000014	0.000000	0.000458	0.000127	0.000129	15~19	
0.000022	0.000006	0.000003	0.000003	0.000021	0.000000	0.000416	0.000262	0.000168	20~24	
0.000019	0.000007	0.000003	0.000010	0.000023	0.000000	0.000308	0.000263	0.000170	25~29	
0.000022	0.000008	0.000005	0.000040	0.000033	0.000000	0.000315	0.000252	0.000220	30~34	
0.000039	0.000026	0.000005	0.000132	0.000035	0.000000	0.000344	0.000247	0.000305	35~39	
0.000055	0.000049	0.000007	0.000293	0.000044	0.000000	0.000438	0.000277	0.000425	40~44	
0.000079	0.000070	0.000016	0.000382	0.000056	0.000000	0.000496	0.000275	0.000564	45~49	
0.000146	0.000094	0.000021	0.000463	0.000072	0.000000	0.000567	0.000263	0.000727	50~54	
0.000262	0.000128	0.000021	0.000552	0.000120	0.000001	0.000665	0.000300	0.001157	55~59	
0.000549	0.000224	0.000041	0.000691	0.000168	0.000015	0.000759	0.000371	0.001774	60~64	
0.001286	0.000391	0.000119	0.000822	0.000276	0.000102	0.000942	0.000414	0.003028	65~69	
0.002921	0.000605	0.000282	0.000958	0.000414	0.000617	0.001192	0.000534	0.005341	70~74	
0.005906	0.001128	0.000618	0.001138	0.000554	0.002680	0.001594	0.000746	0.009025	75~79	
0.011921	0.001729	0.001544	0.001480	0.000934	0.010069	0.002045	0.001056	0.014515	80~84	
0.021548	0.001945	0.004005	0.001596	0.001274	0.036427	0.002929	0.000999	0.023994	85歳以上	
0.001943	0.000299	0.000280	0.000445	0.000192	0.001970	0.000730	0.000335	0.002924	年齢標準化死亡率(1)	
0.001437	0.000236	0.000201	0.000380	0.000155	0.001336	0.000651	0.000299	0.002316	年齢標準化死亡率(2)	
0.000528	0.000106	0.000067	0.000225	0.000078	0.000319	0.000484	0.000217	0.001184	年齢標準化死亡率(3)	
0.000322	0.000066	0.000042	0.000158	0.000053	0.000156	0.000430	0.000177	0.000936	年齢標準化死亡率(4)	
女										
0.000306	0.000042	0.000066	0.000075	0.000062	0.000347	0.000156	0.000146	0.000794	総 数	
0.000838	0.000001	0.000152	0.000001	0.000008	0.000000	0.000395	0.000000	0.007098	0 歳	
0.000084	0.000001	0.000014	0.000002	0.000002	0.000000	0.000254	0.000000	0.000288	1~4	
0.000019	0.000000	0.000003	0.000000	0.000004	0.000000	0.000090	0.000000	0.000103	5~9	
0.000016	0.000000	0.000000	0.000001	0.000004	0.000000	0.000031	0.000006	0.000081	10~14	
0.000018	0.000001	0.000003	0.000002	0.000006	0.000000	0.000062	0.000068	0.000093	15~19	
0.000020	0.000003	0.000003	0.000001	0.000013	0.000000	0.000077	0.000169	0.000147	20~24	
0.000022	0.000001	0.000002	0.000004	0.000016	0.000000	0.000043	0.000153	0.000175	25~29	
0.000025	0.000004	0.000003	0.000006	0.000022	0.000000	0.000047	0.000140	0.000186	30~34	
0.000028	0.000005	0.000006	0.000020	0.000030	0.000000	0.000057	0.000126	0.000223	35~39	
0.000039	0.000009	0.000006	0.000035	0.000044	0.000000	0.000079	0.000133	0.000267	40~44	
0.000054	0.000012	0.000010	0.000062	0.000048	0.000000	0.000104	0.000139	0.000355	45~49	
0.000082	0.000021	0.000016	0.000112	0.000070	0.000000	0.000115	0.000165	0.000506	50~54	
0.000149	0.000027	0.000019	0.000158	0.000092	0.000001	0.000156	0.000181	0.000752	55~59	
0.000298	0.000057	0.000043	0.000236	0.000133	0.000009	0.000202	0.000238	0.001108	60~64	
0.000610	0.000119	0.000089	0.000325	0.000222	0.000075	0.000320	0.000340	0.001805	65~69	
0.001450	0.000253	0.000228	0.000458	0.000341	0.000530	0.000520	0.000502	0.003347	70~74	
0.003265	0.000518	0.000687	0.000548	0.000491	0.002560	0.000916	0.000677	0.005909	75~79	
0.006982	0.000932	0.001728	0.000784	0.000670	0.010463	0.001524	0.000782	0.010697	80~84	
0.014995	0.001633	0.004404	0.000807	0.000938	0.041254	0.002926	0.000801	0.018797	85歳以上	
0.001200	0.000157	0.000300	0.000177	0.000151	0.002156	0.000347	0.000238	0.002082	年齢標準化死亡率(1)	
0.000877	0.000117	0.000213	0.000146	0.000122	0.001454	0.000281	0.000208	0.001636	年齢標準化死亡率(2)	
0.000315	0.000043	0.000067	0.000075	0.000062	0.000336	0.000162	0.000140	0.000832	年齢標準化死亡率(3)	
0.000200	0.000025	0.000040	0.000049	0.000042	0.000163	0.000138	0.000110	0.000675	年齢標準化死亡率(4)	

(次ページにつづく)

表22 男女別にみた主要死因の年齢別死亡率および標準化死亡率の年次変化(つづき)

(6) 昭和55年

年齢階級	人口	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患
男								
総数	57,201,287	0.006829	0.000082	0.001635	0.000071	0.001121	0.000116	0.001427
0歳	808,148	0.008363	0.000002	0.000030	0.000000	0.000184	0.000000	0.000057
1~4	3,528,690	0.000737	0.000001	0.000067	0.000000	0.000031	0.000000	0.000004
5~9	5,109,227	0.000342	0.000000	0.000057	0.000000	0.000013	0.000000	0.000005
10~14	4,564,462	0.000226	0.000000	0.000048	0.000000	0.000017	0.000000	0.000004
15~19	4,194,921	0.000708	0.000000	0.000064	0.000002	0.000042	0.000000	0.000006
20~24	3,932,017	0.000870	0.000002	0.000065	0.000003	0.000066	0.000000	0.000013
25~29	4,513,252	0.000908	0.000003	0.000109	0.000004	0.000090	0.000002	0.000029
30~34	5,388,380	0.001030	0.000007	0.000173	0.000007	0.000119	0.000003	0.000062
35~39	4,568,728	0.001599	0.000014	0.000327	0.000014	0.000201	0.000004	0.000172
40~44	4,137,879	0.002542	0.000033	0.000559	0.000026	0.000348	0.000012	0.000351
45~49	4,016,696	0.004385	0.000062	0.001184	0.000057	0.000580	0.000021	0.000684
50~54	3,531,231	0.006331	0.000110	0.002143	0.000078	0.000865	0.000036	0.001015
55~59	2,494,018	0.009221	0.000159	0.003337	0.000108	0.001390	0.000063	0.001517
60~64	1,932,902	0.015124	0.000237	0.005588	0.000210	0.002369	0.000136	0.002764
65~69	1,734,457	0.025329	0.000410	0.008505	0.000328	0.004111	0.000313	0.005444
70~74	1,312,106	0.043599	0.000615	0.012473	0.000542	0.007505	0.000688	0.010614
75~79	845,842	0.075591	0.000953	0.016341	0.000870	0.013829	0.001756	0.020544
80~84	416,672	0.122718	0.001097	0.018509	0.001111	0.024107	0.003941	0.033574
85歳以上	171,659	0.211061	0.001043	0.016772	0.000829	0.044897	0.007895	0.049948
年齢標準化死亡率(1)		0.023751	0.000233	0.004331	0.000205	0.004463	0.000626	0.005678
年齢標準化死亡率(2)		0.018317	0.000190	0.003571	0.000166	0.003368	0.000452	0.004313
年齢標準化死亡率(3)		0.007935	0.000093	0.001836	0.000081	0.001325	0.000146	0.001707
年齢標準化死亡率(4)		0.005132	0.000059	0.001194	0.000051	0.000797	0.000079	0.001000
女								
総数	59,119,071	0.005618	0.000029	0.001155	0.000075	0.001005	0.000157	0.001364
0歳	767,331	0.006631	0.000001	0.000038	0.000001	0.000152	0.000000	0.000026
1~4	3,353,911	0.000554	0.000001	0.000052	0.000000	0.000023	0.000000	0.000004
5~9	4,857,560	0.000211	0.000000	0.000037	0.000000	0.000012	0.000000	0.000001
10~14	4,335,903	0.000138	0.000000	0.000040	0.000000	0.000012	0.000000	0.000004
15~19	4,020,499	0.000268	0.000000	0.000047	0.000003	0.000017	0.000000	0.000005
20~24	3,851,795	0.000371	0.000002	0.000060	0.000003	0.000022	0.000000	0.000010
25~29	4,463,705	0.000488	0.000003	0.000118	0.000005	0.000041	0.000001	0.000015
30~34	5,320,249	0.000606	0.000004	0.000208	0.000006	0.000048	0.000002	0.000028
35~39	4,582,423	0.000908	0.000011	0.000367	0.000008	0.000079	0.000002	0.000075
40~44	4,158,160	0.001350	0.000016	0.000573	0.000011	0.000139	0.000007	0.000153
45~49	4,041,109	0.002110	0.000025	0.000898	0.000029	0.000218	0.000012	0.000338
50~54	3,639,106	0.003252	0.000036	0.001415	0.000043	0.000364	0.000021	0.000519
55~59	3,088,312	0.004864	0.000051	0.002042	0.000079	0.000616	0.000038	0.000843
60~64	2,509,649	0.007840	0.000065	0.002964	0.000150	0.001164	0.000084	0.001607
65~69	2,213,149	0.013446	0.000103	0.004218	0.000292	0.002268	0.000210	0.003228
70~74	1,700,015	0.024810	0.000132	0.006121	0.000563	0.004645	0.000544	0.006723
75~79	1,184,978	0.047393	0.000216	0.008144	0.000774	0.009563	0.001593	0.014399
80~84	674,464	0.087760	0.000298	0.009618	0.000949	0.018561	0.003696	0.026612
85歳以上	356,753	0.178160	0.000278	0.008933	0.000650	0.038590	0.008339	0.044507
年齢標準化死亡率(1)		0.016494	0.000061	0.002310	0.000175	0.003289	0.000603	0.004321
年齢標準化死亡率(2)		0.012394	0.000050	0.001921	0.000141	0.002420	0.000429	0.003214
年齢標準化死亡率(3)		0.004916	0.000026	0.001030	0.000068	0.000859	0.000130	0.001176
年齢標準化死亡率(4)		0.003113	0.000017	0.000692	0.000042	0.000494	0.000069	0.000668

人口問題研究所の算定による。表末の注記を参照。

表22

(6) 昭和55年(つづき)

肺炎及び 気管支炎	胃及び十二 指腸潰瘍	胃腸炎	慢性肝疾患 及び肝硬変	腎炎、ネフ ローゼ症候 群及びネフ ローゼ	精神病的 記載のない 老	不慮の事故 及び 有害作用	自 殺	その他の 死 因	年齢階級
男									
0.000385	0.000059	0.000027	0.000209	0.000089	0.000197	0.000370	0.000223	0.000820	総 数
0.000396	0.000004	0.000083	0.000000	0.000030	0.000000	0.000472	0.000000	0.007114	0 歳
0.000048	0.000001	0.000012	0.000001	0.000003	0.000000	0.000311	0.000000	0.000260	1~4
0.000012	0.000000	0.000001	0.000001	0.000002	0.000000	0.000160	0.000000	0.000090	5~9
0.000010	0.000000	0.000000	0.000000	0.000003	0.000000	0.000062	0.000009	0.000072	10~14
0.000015	0.000002	0.000001	0.000000	0.000004	0.000000	0.000382	0.000096	0.000094	15~19
0.000010	0.000003	0.000001	0.000003	0.000007	0.000000	0.000336	0.000245	0.000120	20~24
0.000016	0.000004	0.000002	0.000006	0.000014	0.000000	0.000242	0.000267	0.000124	25~29
0.000014	0.000005	0.000002	0.000026	0.000018	0.000000	0.000208	0.000242	0.000146	30~34
0.000016	0.000010	0.000002	0.000087	0.000021	0.000000	0.000254	0.000273	0.000206	35~39
0.000034	0.000023	0.000003	0.000224	0.000032	0.000000	0.000312	0.000315	0.000274	40~44
0.000064	0.000037	0.000008	0.000462	0.000045	0.000000	0.000408	0.000352	0.000424	45~49
0.000096	0.000055	0.000013	0.000529	0.000068	0.000000	0.000448	0.000318	0.000559	50~54
0.000199	0.000081	0.000019	0.000556	0.000103	0.000001	0.000532	0.000328	0.000830	55~59
0.000447	0.000131	0.000026	0.000648	0.000191	0.000004	0.000608	0.000328	0.001436	60~64
0.001152	0.000218	0.000051	0.000704	0.000348	0.000072	0.000781	0.000351	0.002538	65~69
0.002621	0.000420	0.000124	0.000816	0.000655	0.000412	0.001058	0.000490	0.004562	70~74
0.005842	0.000728	0.000324	0.001100	0.001078	0.002015	0.001387	0.000630	0.008183	75~79
0.011246	0.001169	0.000780	0.001447	0.001738	0.008180	0.02001	0.000814	0.012980	80~84
0.022899	0.001748	0.002010	0.001457	0.002517	0.031781	0.003027	0.001093	0.022886	85歳以上
0.001911	0.000211	0.000141	0.000419	0.000313	0.001669	0.000630	0.000324	0.002587	年齢標準化死亡率(1)
0.001396	0.000163	0.000101	0.000359	0.000242	0.001126	0.000551	0.000291	0.002022	年齢標準化死亡率(2)
0.000481	0.000068	0.000034	0.000213	0.000103	0.000261	0.000389	0.000215	0.000981	年齢標準化死亡率(3)
0.000277	0.000042	0.000021	0.000151	0.000064	0.000127	0.000339	0.000176	0.000755	年齢標準化死亡率(4)
女									
0.000292	0.000037	0.000038	0.000077	0.000087	0.000354	0.000136	0.000131	0.000682	総 数
0.000349	0.000001	0.000053	0.000000	0.000038	0.000000	0.000362	0.000000	0.005611	0 歳
0.000041	0.000000	0.000006	0.000001	0.000005	0.000000	0.000176	0.000000	0.000245	1~4
0.000012	0.000000	0.000001	0.000001	0.000003	0.000000	0.000066	0.000000	0.000078	5~9
0.000008	0.000000	0.000000	0.000001	0.000001	0.000000	0.000020	0.000003	0.000047	10~14
0.000008	0.000001	0.000000	0.000001	0.000003	0.000000	0.000071	0.000050	0.000062	15~19
0.000013	0.000001	0.000000	0.000000	0.000004	0.000000	0.000055	0.000116	0.000085	20~24
0.000014	0.000000	0.000002	0.000001	0.000011	0.000000	0.000041	0.000123	0.000110	25~29
0.000012	0.000001	0.000002	0.000005	0.000011	0.000000	0.000037	0.000107	0.000136	30~34
0.000016	0.000001	0.000002	0.000012	0.000015	0.000000	0.000052	0.000123	0.000145	35~39
0.000022	0.000002	0.000002	0.000029	0.000021	0.000000	0.000068	0.000130	0.000177	40~44
0.000032	0.000006	0.000005	0.000052	0.000036	0.000000	0.000071	0.000144	0.000245	45~49
0.000049	0.000010	0.000005	0.000102	0.000056	0.000001	0.000107	0.000160	0.000367	50~54
0.000105	0.000016	0.000009	0.000158	0.000091	0.000001	0.000134	0.000172	0.000511	55~59
0.000183	0.000038	0.000022	0.000247	0.000148	0.000004	0.000164	0.000188	0.000813	60~64
0.000469	0.000073	0.000047	0.000288	0.000262	0.000044	0.000249	0.000303	0.001396	65~69
0.001175	0.000187	0.000096	0.000398	0.000444	0.000334	0.000434	0.000420	0.002600	70~74
0.002697	0.000351	0.000268	0.000522	0.000791	0.001887	0.000750	0.000557	0.004890	75~79
0.006077	0.000793	0.000781	0.000652	0.001139	0.007815	0.001247	0.000655	0.008873	80~84
0.013856	0.001444	0.002587	0.000740	0.002013	0.035663	0.002442	0.000651	0.017303	85歳以上
0.001042	0.000125	0.000156	0.000160	0.000230	0.001788	0.000286	0.000202	0.001740	年齢標準化死亡率(1)
0.000751	0.000092	0.000109	0.000132	0.000178	0.001199	0.000231	0.000177	0.001348	年齢標準化死亡率(2)
0.000250	0.000032	0.000032	0.000068	0.000076	0.000267	0.000131	0.000119	0.000653	年齢標準化死亡率(3)
0.000147	0.000018	0.000018	0.000045	0.000048	0.000129	0.000112	0.000093	0.000523	年齢標準化死亡率(4)

(次ページにつづく)

表22 男女別にみた主要死因の年齢別死亡率および標準化死亡率の年次変化(つづき)

(7) 昭和59年

年齢階級	人口	全死因	結核	悪性新生物	糖尿病	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患
男								
総数	58,793,381	0.006841	0.000063	0.001823	0.000076	0.001184	0.000088	0.001161
0歳	762,363	0.006662	0.000001	0.000043	0.000001	0.000178	0.000000	0.000043
1~4	3,124,678	0.000562	0.000000	0.000047	0.000000	0.000026	0.000000	0.000003
5~9	4,504,084	0.000259	0.000000	0.000044	0.000000	0.000010	0.000000	0.000003
10~14	5,110,784	0.000208	0.000000	0.000041	0.000000	0.000019	0.000000	0.000002
15~19	4,494,249	0.000685	0.000001	0.000056	0.000002	0.000034	0.000000	0.000006
20~24	4,057,593	0.000834	0.000001	0.000064	0.000001	0.000061	0.000000	0.000012
25~29	3,954,202	0.000831	0.000002	0.000091	0.000004	0.000096	0.000001	0.000024
30~34	4,760,227	0.000999	0.000004	0.000172	0.000007	0.000117	0.000001	0.000052
35~39	5,053,682	0.001403	0.000006	0.000293	0.000013	0.000182	0.000003	0.000122
40~44	4,626,930	0.002343	0.000014	0.000517	0.000026	0.000319	0.000005	0.000255
45~49	4,060,026	0.003844	0.000025	0.001048	0.000052	0.000513	0.000013	0.000467
50~54	3,853,985	0.006452	0.000076	0.002198	0.000093	0.000840	0.000029	0.000827
55~59	3,297,142	0.009101	0.000107	0.003614	0.000124	0.001325	0.000045	0.001176
60~64	2,219,192	0.013470	0.000182	0.005504	0.000179	0.002101	0.000072	0.001906
65~69	1,725,933	0.022361	0.000286	0.008546	0.000319	0.003729	0.000178	0.003565
70~74	1,472,090	0.037545	0.000424	0.012185	0.000484	0.006669	0.000412	0.007089
75~79	963,145	0.065734	0.000645	0.016719	0.000785	0.012777	0.001044	0.013909
80~84	519,339	0.111809	0.000873	0.020486	0.001088	0.023408	0.002560	0.025428
85歳以上	233,737	0.193001	0.000861	0.020271	0.000990	0.044576	0.005931	0.041061
年齢標準化死亡率(1)		0.021380	0.000170	0.004548	0.000201	0.004265	0.000428	0.004238
年齢標準化死亡率(2)		0.016468	0.000137	0.003717	0.000162	0.003203	0.000305	0.003188
年齢標準化死亡率(3)		0.007116	0.000065	0.001866	0.000078	0.001239	0.000094	0.001225
年齢標準化死亡率(4)		0.004596	0.000041	0.001204	0.000049	0.000742	0.000051	0.000715
女								
総数	60,729,842	0.005374	0.000021	0.001237	0.000083	0.001096	0.000130	0.001183
0歳	723,441	0.005923	0.000000	0.000039	0.000001	0.000156	0.000000	0.000021
1~4	2,962,446	0.000522	0.000000	0.000044	0.000001	0.000018	0.000000	0.000003
5~9	4,281,676	0.000199	0.000000	0.000033	0.000000	0.000008	0.000000	0.000003
10~14	4,854,025	0.000136	0.000000	0.000032	0.000001	0.000011	0.000000	0.000004
15~19	4,275,872	0.000241	0.000000	0.000041	0.000001	0.000018	0.000000	0.000007
20~24	3,910,567	0.000338	0.000001	0.000057	0.000003	0.000027	0.000001	0.000011
25~29	3,887,255	0.000457	0.000002	0.000093	0.000003	0.000043	0.000001	0.000023
30~34	4,716,404	0.000700	0.000002	0.000207	0.000006	0.000045	0.000002	0.000025
35~39	5,005,580	0.000758	0.000002	0.000331	0.000006	0.000064	0.000002	0.000063
40~44	4,653,175	0.001165	0.000010	0.000543	0.000013	0.000120	0.000004	0.000131
45~49	4,100,132	0.002017	0.000012	0.000866	0.000023	0.000199	0.000005	0.000269
50~54	3,921,250	0.002921	0.000020	0.001315	0.000033	0.000299	0.000016	0.000427
55~59	3,507,364	0.004237	0.000031	0.001921	0.000064	0.000545	0.000028	0.000600
60~64	2,933,260	0.006565	0.000041	0.002714	0.000141	0.001001	0.000048	0.001031
65~69	2,288,581	0.012157	0.000068	0.004016	0.000297	0.002113	0.000119	0.002208
70~74	1,999,410	0.020793	0.000095	0.005689	0.000491	0.004076	0.000322	0.004690
75~79	1,380,036	0.038460	0.000122	0.007998	0.000798	0.008662	0.000969	0.009967
80~84	847,254	0.071149	0.000218	0.010113	0.001016	0.017536	0.002546	0.019923
85歳以上	482,114	0.136487	0.000261	0.010678	0.000806	0.037868	0.006498	0.036503
年齢標準化死亡率(1)		0.013293	0.000042	0.002313	0.000178	0.003109	0.000432	0.003274
年齢標準化死亡率(2)		0.010067	0.000034	0.001901	0.000142	0.002276	0.000304	0.002415
年齢標準化死亡率(3)		0.004121	0.000016	0.000990	0.000065	0.000792	0.000088	0.000860
年齢標準化死亡率(4)		0.002649	0.000011	0.000659	0.000040	0.000453	0.000046	0.000487

人口問題研究所の算定による。表末の注記を参照。

表22

(7) 昭和59年(つづき)

肺炎及び 気管支炎	胃及び十二 指腸潰瘍	胃腸炎	慢性肝疾患 及び肝硬変	腎炎、ネフ ローゼ症候 群及びネフ ローゼ	精神病的 記載のない 老衰	不慮の事故 及び 有害作用	自殺	その他の 死因	年齢階級
男									
0.000439	0.000043	0.000018	0.000205	0.000108	0.000173	0.000361	0.000276	0.000826	総数
0.000268	0.000003	0.000028	0.000001	0.000076	0.000000	0.000406	0.000000	0.005621	0歳
0.000032	0.000000	0.000004	0.000000	0.000004	0.000000	0.000212	0.000000	0.000233	1~4
0.000009	0.000000	0.000000	0.000000	0.000003	0.000000	0.000111	0.000000	0.000079	5~9
0.000008	0.000001	0.000000	0.000001	0.000002	0.000000	0.000061	0.000008	0.000066	10~14
0.000008	0.000001	0.000001	0.000000	0.000004	0.000000	0.000407	0.000073	0.000091	15~19
0.000013	0.000002	0.000001	0.000001	0.000004	0.000000	0.000345	0.000217	0.000111	20~24
0.000009	0.000002	0.000002	0.000005	0.000007	0.000000	0.000235	0.000249	0.000107	25~29
0.000015	0.000004	0.000001	0.000017	0.000014	0.000000	0.000187	0.000272	0.000138	30~34
0.000018	0.000006	0.000001	0.000053	0.000015	0.000000	0.000225	0.000284	0.000182	35~39
0.000027	0.000013	0.000003	0.000165	0.000028	0.000000	0.000302	0.000410	0.000260	40~44
0.000058	0.000021	0.000003	0.000345	0.000040	0.000000	0.000364	0.000506	0.000392	45~49
0.000094	0.000035	0.000006	0.000590	0.000070	0.000000	0.000464	0.000550	0.000580	50~54
0.000175	0.000062	0.000009	0.000564	0.000112	0.000000	0.000513	0.000455	0.000820	55~59
0.000403	0.000072	0.000021	0.000570	0.000177	0.000004	0.000545	0.000401	0.001333	60~64
0.001029	0.000125	0.000034	0.000634	0.000363	0.000041	0.000703	0.000426	0.002381	65~69
0.002536	0.000232	0.000071	0.000763	0.000656	0.000259	0.000966	0.000488	0.004306	70~74
0.005962	0.000472	0.000167	0.000983	0.001244	0.001248	0.001414	0.000670	0.007691	75~79
0.012237	0.000909	0.000408	0.001175	0.002153	0.005522	0.001965	0.000855	0.012725	80~84
0.022927	0.001348	0.001275	0.001395	0.003415	0.024031	0.002888	0.001184	0.020607	85歳以上
0.001938	0.000147	0.000083	0.000379	0.000372	0.001217	0.000598	0.000376	0.002411	年齢標準化死亡率(1)
0.001412	0.000112	0.000059	0.000324	0.000282	0.000817	0.000521	0.000340	0.001884	年齢標準化死亡率(2)
0.000479	0.000045	0.000019	0.000192	0.000114	0.000184	0.000363	0.000252	0.000903	年齢標準化死亡率(3)
0.000269	0.000027	0.000011	0.000135	0.000069	0.000089	0.000313	0.000204	0.000679	年齢標準化死亡率(4)
女									
0.000315	0.000034	0.000024	0.000081	0.000105	0.000307	0.000134	0.000133	0.000682	総数
0.000188	0.000000	0.000019	0.000000	0.000058	0.000000	0.000264	0.000000	0.004573	0歳
0.000033	0.000000	0.000004	0.000000	0.000001	0.000000	0.000141	0.000000	0.000228	1~4
0.000007	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000000	0.000048	0.000000	0.000067	5~9
0.000007	0.000000	0.000000	0.000000	0.000001	0.000000	0.000019	0.000005	0.000042	10~14
0.000007	0.000000	0.000001	0.000000	0.000002	0.000000	0.000072	0.000037	0.000056	15~19
0.000008	0.000000	0.000001	0.000001	0.000004	0.000000	0.000063	0.000092	0.000079	20~24
0.000012	0.000001	0.000001	0.000002	0.000006	0.000000	0.000036	0.000111	0.000103	25~29
0.000015	0.000000	0.000001	0.000006	0.000008	0.000000	0.000041	0.000109	0.000110	30~34
0.000014	0.000002	0.000001	0.000012	0.000012	0.000000	0.000044	0.000115	0.000131	35~39
0.000017	0.000002	0.000002	0.000024	0.000021	0.000000	0.000064	0.000130	0.000158	40~44
0.000026	0.000003	0.000003	0.000054	0.000029	0.000000	0.000080	0.000155	0.000213	45~49
0.000037	0.000007	0.000004	0.000093	0.000034	0.000000	0.000099	0.000173	0.000305	50~54
0.000072	0.000010	0.000005	0.000153	0.000072	0.000000	0.000117	0.000175	0.000444	55~59
0.000166	0.000027	0.000011	0.000222	0.000134	0.000003	0.000159	0.000204	0.000770	60~64
0.000401	0.000054	0.000022	0.000297	0.000228	0.000025	0.000240	0.000272	0.001359	65~69
0.000997	0.000119	0.000057	0.000383	0.000472	0.000201	0.000377	0.000363	0.002303	70~74
0.002384	0.000275	0.000136	0.000465	0.000882	0.001096	0.000651	0.000490	0.004354	75~79
0.005606	0.000622	0.000393	0.000628	0.001538	0.005041	0.001144	0.000648	0.008040	80~84
0.013652	0.001323	0.001336	0.000699	0.002458	0.025722	0.002183	0.000667	0.015920	85歳以上
0.000977	0.000103	0.000080	0.000152	0.000263	0.001249	0.000258	0.000194	0.001578	年齢標準化死亡率(1)
0.000699	0.000074	0.000056	0.000125	0.000199	0.000833	0.000208	0.000169	0.001218	年齢標準化死亡率(2)
0.000223	0.000024	0.000016	0.000065	0.000079	0.000180	0.000118	0.000113	0.000580	年齢標準化死亡率(3)
0.000127	0.000013	0.000009	0.000043	0.000048	0.000087	0.000099	0.000088	0.000457	年齢標準化死亡率(4)

(次ページにつづく)

表22 男女別にみた主要死因の年齢別死亡率および標準化死亡率の年次変化(つづき)

[注]

1. 年齢別死亡率の計算に用いた分母人口は、国勢調査に基づく日本人人口である。また、分母に用いた死因別死亡数は人口動態統計報告書に基づくが、死因分類の改訂にともなう死因の定義の変更については、第9回修正の定義に合わせてある。年齢不詳の取り扱いについては、死因別に案分処理されている。
2. 年齢標準化死亡率は直接法によって計算されているが、計算は以下の4種について行っている。
3. 年齢標準化死亡率(1)は、昭和59年の女子安定人口の年齢構造を標準人口として用いた値。
4. 年齢標準化死亡率(2)は、コールとデメインのモデル安定人口表<sup>1)</sup>の西型の女子安定人口年齢構造のうち平均寿命65年、自然増加率0.01の年齢構造を用いた値。
5. 年齢標準化死亡率(3)は、コールとデメインのモデル安定人口表<sup>2)</sup>の西型の女子安定人口年齢構造のうち平均寿命80年、総再生産率1.0の年齢構造を用いた値。
6. 年齢標準化死亡率(4)は、昭和5年国勢調査結果の年齢別女子人口構造係数を標準人口として用いた値。

1) A. J. Coale and P. Demeny, *Regional Model Life Tables and Stable Population*, Princeton University Press, 1966.

2) A. J. Coale and Paul Demeny with Barbara Vaughan, *Regional Model Life Tables and Stable Populations*, Second Edition, New York : Academic Press, 1983.

なお、標準化の考え方については毎年掲載表の表11の注記を参照されたい。

表23 男女別にみた特定死因の訂正(標準化)死亡率の年次変化

年次	全死因	結核	悪性新生物	胃の悪性新生物	気管・気管支の悪性新生物	肺の悪性新生物	子宮の悪性新生物	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患	肺炎及び気管支炎	慢性肝臓病	肝臓硬変	自動車事故	自殺
男															
訂正死亡率(人口10万について)															
昭和35	823.0	43.1	111.0	57.3	7.9	—	75.8	16.0	172.1	53.2	12.4	23.3	25.1		
40	735.5	28.6	114.4	55.5	10.5	—	74.4	17.5	177.8	37.7	12.6	25.6	16.3		
45	653.4	18.4	114.0	50.0	12.6	—	75.2	13.6	157.9	31.3	15.0	30.8	15.4		
50	535.8	10.5	111.9	43.7	15.3	—	68.5	11.2	120.8	27.0	15.9	19.1	18.6		
55	469.3	5.7	116.1	37.8	18.7	—	72.8	6.7	90.3	23.4	15.2	14.8	18.6		
指数(昭和35年=100.0)															
昭和35	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
40	89.4	66.4	103.1	96.9	132.9	—	98.2	109.4	103.3	70.9	101.6	109.9	64.9		
45	79.4	42.7	102.7	87.3	159.5	—	99.2	85.0	91.7	58.8	121.0	132.2	61.4		
50	65.1	24.4	100.8	76.3	193.7	—	90.4	70.0	70.2	50.8	128.2	82.0	74.1		
55	57.0	13.2	104.6	66.0	236.7	—	96.0	41.9	52.5	44.0	122.6	63.5	74.1		
女															
訂正死亡率(人口10万について)															
昭和35	692.3	25.6	90.2	34.6	3.2	14.9	70.8	16.3	149.7	45.6	7.2	5.8	18.2		
40	605.3	14.2	89.1	33.1	4.3	12.5	68.8	18.3	149.3	33.1	6.2	6.5	11.6		
45	525.8	8.2	85.7	30.8	5.0	10.1	69.0	15.5	133.4	26.5	6.3	8.8	11.8		
50	433.1	4.3	81.5	26.4	5.4	8.3	63.1	14.1	108.5	22.8	5.7	5.3	12.5		
55	362.7	2.0	79.2	22.4	6.5	6.3	61.5	9.1	82.9	17.8	5.2	4.3	10.6		
指数(昭和35年=100.0)															
昭和35	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
40	87.4	55.5	98.8	95.7	134.4	83.9	97.2	112.3	99.7	72.6	86.1	112.1	63.7		
45	75.9	32.0	95.0	89.0	156.3	67.8	97.5	95.1	89.1	58.1	87.5	151.7	64.8		
50	62.6	16.8	90.4	76.3	168.7	55.7	89.1	86.5	72.5	50.0	79.2	91.4	68.7		
55	52.4	7.8	87.8	64.7	204.3	42.3	86.9	55.8	55.4	39.0	72.2	74.1	58.2		

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年主要死因別訂正死亡率 人口動態統計特殊報告』(昭58.2)による。ここにいう訂正死亡率、すなわち標準化死亡率は昭和35年の全国(男女別)人口を標準人口とした人口10万についての率である。

表24 都道府県別の男女別にみた主要死因の訂正（標準化）死亡率：昭和55年

(1) 男

(人口10万について)

都道府県	全死因	結核	悪性新生物	心疾患	高血圧性疾患	脳血管疾患	肺炎及び気管支炎	慢性肝疾患及び肝硬変	自動車事故	自殺
全国	469.3	5.7	116.1	72.8	6.7	90.3	23.4	15.2	14.8	18.6
北海道	484.0	5.0	124.0	80.1	5.6	83.4	27.8	13.3	17.5	20.8
青森	557.9	7.6	124.5	83.7	4.7	120.3	32.5	14.2	20.2	24.6
岩手	499.1	4.8	100.6	75.1	4.3	108.8	32.5	9.4	18.0	27.4
宮城	468.6	3.3	115.4	68.8	6.5	106.9	26.1	10.4	12.7	15.8
秋田	517.5	3.4	134.3	74.6	4.6	120.6	27.5	8.3	13.0	23.9
山形	497.1	3.5	127.7	74.9	5.7	116.1	25.8	8.4	12.2	18.0
福島	491.0	5.0	114.8	71.8	4.9	116.2	27.0	11.5	13.7	18.0
茨城	498.9	3.6	108.6	75.1	7.1	112.4	20.2	13.3	27.1	19.1
栃木	502.5	4.3	112.5	73.5	7.1	119.6	24.0	14.8	23.1	19.6
群馬	454.3	2.9	98.5	69.8	4.7	104.7	24.1	11.3	16.5	19.6
埼玉	461.4	4.5	109.7	75.9	7.9	101.6	22.4	13.7	14.6	16.4
千葉	450.0	3.9	105.1	71.1	10.3	95.4	20.2	11.3	18.9	15.9
東京	432.4	5.5	118.7	66.7	6.6	82.3	24.8	15.3	7.2	15.8
神奈川	432.0	5.3	116.0	66.1	5.6	84.1	23.6	15.6	10.6	15.3
新潟	471.8	3.3	119.4	62.9	7.1	107.6	27.1	7.9	15.8	19.6
富山	470.3	6.5	124.1	69.4	5.5	93.2	24.7	9.1	16.0	19.3
石川	475.7	3.9	126.4	76.8	5.2	94.6	25.4	10.0	13.2	19.3
福井	445.8	6.9	110.0	75.6	6.7	78.3	21.0	9.7	19.0	17.7
山梨	483.9	4.5	115.9	71.5	6.3	97.5	18.5	15.4	22.8	19.5
長野	430.4	2.7	101.9	66.4	5.4	97.7	19.1	8.8	12.4	17.3
岐阜	453.7	7.6	108.9	70.2	7.1	87.4	20.5	11.1	16.0	17.6
静岡	446.3	4.1	100.9	72.2	7.1	88.8	23.6	16.9	18.0	17.6
愛知	446.8	8.1	106.9	76.8	7.9	86.2	22.4	12.8	15.5	15.3
三重	460.9	5.2	106.0	75.4	5.8	82.2	19.0	12.8	19.5	17.5
滋賀	467.8	3.8	112.0	78.2	7.8	91.2	20.8	10.8	19.8	14.3
京都	442.5	7.7	115.5	72.6	6.4	74.8	20.8	13.3	12.0	17.9
大阪	497.8	8.3	133.6	78.1	8.7	79.1	24.1	23.2	10.6	18.0
兵庫	479.5	5.9	126.4	72.9	5.9	82.1	20.0	19.3	16.0	19.7
奈良	472.3	5.7	124.0	76.3	7.2	80.3	20.0	14.4	15.4	17.4
和歌山	488.8	7.0	124.9	81.6	6.8	82.2	17.6	15.8	18.4	18.1
鳥取	498.5	4.7	120.5	75.8	4.1	94.8	22.1	19.0	17.4	21.7
島根	481.0	2.5	107.2	72.1	4.5	94.3	26.0	15.3	15.9	27.9
岡山	442.4	5.0	109.1	65.7	3.8	80.8	22.5	14.7	17.5	17.6
広島	459.3	4.4	117.5	67.3	5.7	76.5	22.6	18.8	13.9	19.4
山口	494.7	5.9	118.4	73.5	0.2	90.9	25.7	17.1	16.6	20.3
徳島	513.8	8.5	114.1	86.9	5.9	87.7	22.8	20.2	19.7	24.5
香川	436.1	5.3	107.1	71.9	3.8	65.8	21.6	14.7	20.0	18.9
愛媛	469.5	6.1	109.8	77.1	4.8	85.7	20.4	16.6	15.9	22.7
高知	514.2	5.1	102.1	84.9	4.0	96.7	23.0	17.2	24.5	25.6
福岡	497.5	7.8	134.7	74.8	8.4	80.8	23.4	23.5	15.8	19.8
佐賀	482.9	6.8	123.1	72.9	11.6	80.4	20.3	22.7	13.4	19.2
長崎	508.3	6.4	126.2	78.0	10.5	90.9	28.7	15.8	11.2	21.1
熊本	462.9	7.0	105.9	72.1	8.2	79.3	20.3	17.8	15.6	19.7
大分	482.5	10.3	111.8	74.0	8.2	90.2	21.8	21.0	17.4	19.4
宮崎	507.6	8.3	115.2	76.9	7.9	93.9	24.2	17.6	16.5	29.9
鹿児島	509.0	4.8	111.8	77.1	8.7	89.3	26.1	15.1	14.1	24.9
沖縄	435.0	4.5	113.0	54.2	4.1	64.0	20.8	8.6	16.2	22.6

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年主要死因別訂正死亡率 人口動態統計特殊報告』(昭58.2)による。昭和55年の人口動態統計の死因に関する統計をもとに、同年実施の国勢調査による人口を用い、昭和35年を標準人口として算出した人口10万についての訂正死亡率、すなわち標準化死亡率である。

(次ページにつづく)

表24 都道府県別の男女別にみた主要死因の訂正(標準化)死亡率：昭和55年(つづき)

(2) 女

(人口10万について)

都道府県	全死因	結核	悪性 新生物	心疾患	高血圧 性疾患	脳血管 疾患	肺炎及び 気管支炎	慢性肝疾患 及び肝硬変	自動車事故	自殺
全国	362.7	2.0	79.2	61.5	9.1	82.9	17.8	5.2	4.3	10.6
北海道	378.3	2.1	82.4	72.3	8.8	81.5	21.5	4.5	5.3	10.6
青森	381.6	1.9	78.0	62.1	5.8	91.7	21.3	3.4	5.7	10.5
岩手	376.3	2.4	70.2	63.8	7.9	99.2	26.1	3.1	5.3	14.5
宮城	373.9	0.9	81.7	62.0	8.5	105.5	19.8	4.3	3.3	8.3
秋田	378.7	1.3	84.5	66.5	5.8	107.0	17.0	2.9	3.2	11.8
山形	377.7	0.9	85.6	59.3	6.9	96.6	18.6	3.9	4.2	11.9
福島	382.0	1.5	83.1	62.8	6.5	102.0	19.7	3.4	5.3	9.7
茨城	383.2	1.6	75.0	63.0	10.2	100.0	17.6	4.6	6.6	10.3
栃木	392.2	1.1	73.5	62.7	7.4	111.4	21.4	3.9	6.6	12.4
群馬	378.0	1.8	73.8	62.5	6.7	98.7	21.7	5.8	6.0	12.8
埼玉	370.9	1.3	78.6	68.6	10.7	90.2	17.6	5.4	3.7	10.5
千葉	356.5	1.7	75.9	61.6	12.2	86.9	14.9	3.6	5.5	10.0
東京	343.8	1.9	82.7	56.9	8.9	78.4	19.6	5.2	2.5	9.4
神奈川	339.2	1.6	81.2	58.6	8.3	78.3	16.0	5.2	3.2	7.9
新潟	363.5	1.3	82.8	49.1	9.8	92.4	20.2	2.2	4.1	13.5
富山	370.1	1.3	85.5	59.5	8.2	81.4	22.0	3.2	4.0	12.3
石川	364.2	1.4	84.0	57.6	10.0	77.0	18.1	4.1	4.6	9.4
福井	364.1	1.7	84.6	57.9	7.9	75.3	16.2	4.7	5.7	8.4
山梨	360.4	1.3	76.2	52.3	7.3	90.4	16.9	5.4	6.5	10.6
長野	355.5	2.5	78.6	52.9	6.7	100.2	14.2	3.0	2.8	9.7
岐阜	384.6	3.1	80.3	64.7	9.6	95.2	15.2	5.3	5.7	11.3
静岡	345.1	1.1	70.0	60.0	9.6	81.7	16.4	4.8	5.4	10.1
愛知	375.1	2.5	81.0	64.9	11.0	85.5	16.3	5.4	4.8	10.9
三重	360.2	2.2	75.4	61.3	8.8	81.3	15.7	4.2	5.6	9.7
滋賀	371.0	2.7	75.0	65.5	10.1	87.8	11.3	3.8	5.9	10.4
京都	351.0	1.2	77.9	63.8	8.3	71.5	13.7	4.9	4.6	11.0
大阪	382.3	2.8	83.1	70.5	11.5	75.7	18.3	7.3	2.5	11.0
兵庫	367.7	2.3	83.5	61.7	8.1	73.4	14.9	6.5	4.3	12.5
奈良	370.6	1.7	82.5	62.7	9.1	78.2	14.2	5.4	3.3	12.2
和歌山	380.8	3.4	85.8	70.4	7.6	79.1	12.8	5.6	4.2	12.2
鳥取	345.6	1.6	77.4	50.2	6.8	86.2	15.4	5.4	3.7	9.5
島根	357.6	1.7	76.7	53.9	8.1	82.8	15.3	4.8	4.3	14.0
岡山	338.2	1.6	74.3	58.4	5.3	76.2	17.5	4.6	3.7	9.5
広島	348.1	1.8	74.3	55.0	7.4	71.6	17.8	7.6	4.6	11.6
山口	355.7	1.6	74.4	59.3	8.1	75.3	21.3	5.7	5.0	13.0
徳島	393.5	2.4	73.3	67.1	9.8	82.5	23.6	8.5	4.7	12.4
香川	351.6	2.1	77.2	63.1	5.5	62.2	19.6	5.8	7.6	13.4
愛媛	339.5	2.1	69.3	56.7	6.3	69.7	18.9	6.0	5.7	8.8
高知	347.8	1.9	63.9	61.3	6.0	86.8	18.5	4.4	5.7	9.9
福岡	359.5	2.6	87.5	62.0	11.1	71.3	16.7	6.9	4.4	10.2
佐賀	375.0	2.1	87.2	65.6	13.9	72.3	17.2	7.7	4.6	10.0
長崎	370.6	2.3	81.0	58.2	15.7	78.1	21.6	6.0	4.4	10.9
熊本	349.0	2.2	73.9	62.7	11.1	68.9	16.6	5.7	4.2	10.0
大分	375.5	2.9	82.7	64.5	11.5	86.6	18.9	5.4	4.3	10.4
宮崎	361.0	3.4	73.8	61.9	10.0	82.7	18.6	5.1	4.2	11.9
鹿児島	381.6	2.9	68.9	67.2	10.6	83.9	19.0	5.3	4.2	11.8
沖縄	288.9	1.4	63.0	44.0	5.1	47.5	16.7	4.2	3.3	6.8

前記のように、訂正(標準化)死亡率は、年齢構造が著しく異なる人口集団の死亡状態を比較する場合に、これら年齢構造の差異を調整した死亡率で観察する場合に使用される。厚生省(統計情報部)において、この種の死因別訂正死亡率(昭和35年を基準人口とする)を算出するようになったのは昭和35年からで、以後5年ごとの国勢調査年次に基づく結果が報告書として刊行されている。



表25 男女別にみた乳児死亡数、性比および割合の推移

年次	乳児死亡数		乳児死亡性比(女100につき男)	総死亡中乳児死亡の占める割合(%)	年次	乳児死亡数		乳児死亡性比(女100につき男)	総死亡中乳児死亡の占める割合(%)
	男	女				男	女		
明治33	118,470	101,740	116.4	24.2	昭和40	19,322	14,420	134.0	4.8
38	118,305	102,141	115.8	21.9	41	15,024	11,193	134.2	3.9
43	147,338	128,797	114.4	25.9	42	16,628	12,300	135.2	4.3
大正4	153,903	134,731	114.2	26.4	43	16,676	11,924	139.9	4.2
9	179,956	155,657	115.6	23.6	44	15,544	11,330	137.2	3.9
14	160,311	136,697	117.3	24.5	45	14,747	10,665	138.3	3.6
昭和5	140,143	118,559	118.2	22.1	46	14,292	10,513	135.9	3.6
10	126,936	106,768	118.9	20.1	47	13,840	9,933	139.3	3.5
15	103,900	86,609	120.0	16.1	48	13,698	9,985	137.2	3.3
22	111,597	93,763	119.0	18.0	49	12,654	9,234	137.0	3.1
25	76,247	64,268	118.6	15.4	50	10,975	8,128	135.0	2.7
30	37,628	31,173	120.7	9.9	51	9,843	7,262	135.5	2.4
31	37,309	30,382	122.8	9.3	52	8,988	6,678	134.6	2.3
32	34,828	27,850	125.1	8.3	53	8,216	6,111	134.4	2.1
33	31,671	25,381	124.8	8.3	54	7,387	5,536	133.4	1.9
34	30,646	24,122	127.0	7.9	55	6,754	5,087	132.8	1.6
35	27,714	21,579	128.4	7.0	56	6,148	4,743	129.6	1.5
36	25,893	19,572	132.3	6.5	57	5,685	4,284	132.7	1.4
37	24,159	18,638	129.6	6.0	58	5,267	4,139	127.3	1.3
38	21,763	16,679	130.5	5.7	59	5,075	3,845	132.0	1.2
39	19,922	15,045	132.4	5.2					

厚生省統計情報部【人口動態統計】による。生後1年未満の死亡で、昭和22年～47年は沖縄県を含まない。

表26 男女別にみた新生児死亡数、性比および割合の推移

年次	新生児死亡数		新生児死亡性比(女100につき男)	乳児死亡中新生児死亡の占める割合(%)	年次	新生児死亡数		新生児死亡性比(女100につき男)	乳児死亡中新生児死亡の占める割合(%)
	男	女				男	女		
明治33	60,081	52,177	115.1	51.0	昭和40	12,315	8,945	137.7	63.0
38	55,077	48,305	114.0	46.9	41	9,430	6,866	137.3	62.2
43	67,556	59,353	113.8	46.0	42	11,170	8,078	138.3	66.5
大正4	66,711	58,626	113.8	43.4	43	10,828	7,498	144.4	64.1
9	75,068	64,613	116.2	41.6	44	10,074	7,042	143.1	63.7
14	65,983	55,255	119.4	40.8	45	9,929	6,813	145.7	65.9
昭和5	57,067	47,033	121.3	40.2	46	9,633	6,817	141.3	66.3
10	53,945	44,048	122.5	41.9	47	9,439	6,378	148.0	66.5
15	45,439	36,430	124.7	43.0	48	9,157	6,316	145.0	65.3
22	46,545	37,659	123.7	41.0	49	8,604	5,868	146.6	66.1
25	35,484	28,658	123.8	45.6	50	7,560	5,352	141.3	67.6
30	21,395	17,251	124.0	56.2	51	6,896	4,742	145.4	68.0
31	21,368	16,864	126.7	56.5	52	6,290	4,483	140.3	68.8
32	18,967	14,880	127.5	54.0	53	5,605	4,023	139.3	67.2
33	18,152	14,085	128.9	56.5	54	4,980	3,610	138.0	66.5
34	17,202	13,033	132.0	55.2	55	4,522	3,274	138.1	65.8
35	15,544	11,818	131.5	55.5	56	4,111	3,077	133.6	66.0
36	15,101	11,154	135.4	57.7	57	3,702	2,723	136.0	64.4
37	14,100	10,677	132.1	57.9	58	3,305	2,589	127.7	62.7
38	13,154	9,811	134.1	59.7	59	3,130	2,397	130.6	62.0
39	12,304	9,040	136.1	61.0					

厚生省統計情報部【人口動態統計】による。昭和15年以前の新生児死亡は生後1か月未満の死亡、22年以降は同じく28日未満の死亡である。昭和22年～47年は沖縄県を含まない。

表27 生存期間別にみた男女別乳児死亡率，性比および割合：昭和59年

日齢・月齢	乳児死亡率(出生10万について)			乳児死亡率性比 (女100につき男)	生存期間別割合 (%)
	総数	男	女		
総数	598.7	663.7	530.2	125.2	100.0
4週未満	371.0	409.4	330.5	123.9	62.0
1週未満	286.9	318.5	253.6	125.6	47.9
1日未満	144.2	153.7	134.2	114.5	24.1
1日	52.8	59.1	46.2	127.9	8.8
2	36.0	41.3	30.5	135.4	6.0
3	20.3	25.5	14.8	172.3	3.4
4	13.4	15.8	10.8	146.3	2.2
5	11.4	13.3	9.4	141.5	1.9
6	8.8	9.7	7.9	122.8	1.5
1～2週未満	40.7	45.8	35.4	129.4	6.8
2～3	26.0	27.2	24.7	110.1	4.3
3～4	17.4	17.9	16.8	106.5	2.9
4週～2か月未満	49.9	56.8	42.7	133.0	8.3
2か月	32.0	36.2	27.6	131.2	5.3
3	23.7	28.1	19.0	147.9	4.0
4	23.7	26.5	20.7	128.0	4.0
5	19.9	23.7	16.0	148.1	3.3
6	17.4	17.9	16.8	106.5	2.9
7	15.1	16.3	13.8	118.1	2.5
8	11.5	10.3	12.8	80.5	1.9
9	10.9	11.2	10.5	106.7	1.8
10	11.6	13.3	9.8	135.7	1.9
11	11.9	13.9	9.9	140.4	2.0

厚生省大臣官房統計情報部【昭和59年人口動態統計 上巻】(昭61.3)による。

表28 月別にみた乳児死亡数および率の年次変化

月次	乳児死亡数					乳児死亡率(%)				
	昭和25年 <sup>1)</sup>	昭和40年	昭和50年	昭和55年	昭和59年	昭和25年	昭和40年	昭和50年	昭和55年	昭和59年
総数	140,515	33,742	19,103	11,841	8,920	60.1	18.5	10.0	7.5	6.0
1月	19,497	3,869	1,744	1,047	790	87.3	26.5	10.2	7.5	6.2
2	16,822	3,528	1,618	979	744	84.1	26.6	10.5	7.5	6.2
3	16,601	3,600	1,651	1,038	761	75.9	24.4	9.7	7.5	6.0
4	11,422	2,843	1,572	929	752	54.6	19.8	9.6	6.9	6.1
5	10,179	2,552	1,603	1,000	794	47.6	17.2	9.5	7.3	6.3
6	9,361	2,432	1,588	1,009	705	45.7	16.8	9.8	7.6	5.7
7	9,455	2,598	1,843	1,022	767	45.2	17.3	11.0	7.5	6.1
8	7,887	2,403	1,603	1,000	775	38.1	15.9	9.7	7.3	6.1
9	7,161	2,112	1,434	931	726	36.1	14.3	9.0	7.1	5.9
10	8,253	2,324	1,461	907	705	40.8	15.1	9.0	6.7	5.6
11	9,712	2,369	1,400	922	695	50.1	15.8	8.9	7.1	5.7
12	14,160	3,112	1,586	1,057	706	71.3	20.1	9.8	7.9	5.6

厚生省統計情報部【人口動態統計】による。昭和25年，40年は沖縄県を含まない。乳児死亡率は出生1,000に対するもの。各月の率は，年率に換算したものである。

1) 総数に月不詳を含む。

表29 出生月別の出生数、乳児死亡数および率の年次変化

出生年月	出生数	乳児死亡数	乳児死亡率(%)	出生年月	出生数	乳児死亡数	乳児死亡率(%)
昭和55年年計	1,576,889	11,664	7.4	昭和57年年計	1,515,392	9,932	6.6
56	1,529,455	10,807	7.1	58	1,508,687	9,314	6.2
55年1月	135,848	956	7.0	57年1月	125,918	794	6.3
2	125,070	901	7.2	2	114,176	747	6.5
3	129,692	983	7.6	3	119,541	786	6.6
4	128,240	966	7.5	4	118,768	821	6.9
5	134,367	1,017	7.6	5	127,009	864	6.8
6	128,227	943	7.4	6	126,734	836	6.6
7	138,952	997	7.2	7	137,024	940	6.9
8	138,266	985	7.1	8	138,478	908	6.6
9	136,886	1,006	7.3	9	133,150	853	6.4
10	133,342	949	7.1	10	128,288	812	6.3
11	120,455	941	7.8	11	118,708	748	6.3
12	127,544	1,020	8.0	12	127,598	823	6.4
56年1月	127,356	901	7.1	58年1月	125,821	842	6.7
2	117,324	871	7.4	2	113,421	735	6.5
3	124,117	860	6.9	3	124,437	762	6.1
4	125,800	919	7.3	4	124,646	750	6.0
5	130,663	910	7.0	5	128,176	815	6.4
6	125,310	889	7.1	6	122,982	731	5.9
7	135,137	993	7.3	7	134,823	804	6.0
8	134,770	925	6.9	8	133,733	824	6.2
9	133,295	937	7.0	9	129,111	778	6.0
10	130,813	862	6.6	10	125,266	759	6.1
11	118,667	857	7.2	11	119,127	734	6.2
12	126,203	883	7.0	12	127,144	780	6.1

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年人口動態統計 上巻』(昭61.3)による。乳児死亡率は、乳児死亡数の出生1,000に対する率である。

表30 市部・郡別にみた死亡の場所別乳児死亡数および割合の年次変化

地域・場所	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和57年	昭和59年
乳児死亡数										
総数	205,360	140,515	68,801	49,293	33,742	25,412	19,103	11,841	9,969	8,920
施設内	12,090	11,610	13,050	21,763	24,021	21,520	17,104	10,767	9,179	8,106
施設外	193,270	128,905	55,751	27,530	9,721	3,892	1,999	1,074	790	814
市部	59,282	40,225	30,513	27,195	21,487	18,067	14,432	8,819	7,512	6,671
施設内	7,538	6,623	8,072	14,797	16,792	15,783	13,073	8,078	6,953	6,096
施設外	51,744	33,602	22,441	12,398	4,695	2,284	1,359	741	559	575
郡部	146,078	100,290	38,275	22,085	12,250	7,299	4,638	2,996	2,442	2,227
施設内	4,552	4,987	4,977	6,960	7,227	5,735	4,030	2,686	2,224	2,008
施設外	141,526	95,303	33,298	15,125	5,023	1,564	608	310	218	219
割合(%)										
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
施設内	5.9	8.3	19.0	44.2	71.2	84.7	89.5	90.9	92.1	90.9
施設外	94.1	91.7	81.0	55.8	28.8	15.3	10.5	9.1	7.9	9.1

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和22年～45年は沖縄県を含まない。昭和22年は事件発生地により、25年以降は住所地によって表章されている。なお、市部・郡部を合算して総数に合わないのは、地域不詳があるためである。

表31 世帯の主な仕事別にみた生存期間別乳児死亡数および率の年次変化

日 齢・月 齢	総 数 <sup>1)</sup>	専 業 農 家 世 帯	兼 業 農 家 世 帯	自 営 業 者 世 帯	常 用 勤 労 者 世 帯 (I)	常 用 勤 労 者 世 帯 (II)	そ の 他 の 世 帯
昭和55年							
乳児死亡数							
総 数	11,841	452	1,078	1,504	3,936	3,646	1,167
4 週 未 満	7,796	261	695	1,013	2,623	2,482	686
1 週 未 満	6,154	199	556	813	2,038	1,979	537
1 日 未 満	2,808	81	244	387	957	879	236
4 週～3 か月未満	1,411	74	137	175	458	395	165
3 か月～6 か月未満	1,237	57	118	147	388	362	157
6 か月～9 か月未満	782	29	63	93	280	225	87
9 か月～1 年未満	615	31	65	76	187	182	72
乳児死亡率 (%)							
総 数	7.5	10.8	8.1	8.1	6.3	7.4	12.5
4 週 未 満	4.9	6.2	5.2	5.4	4.2	5.0	7.3
1 週 未 満	3.9	4.8	4.2	4.4	3.2	4.0	5.8
1 日 未 満	1.8	1.9	1.8	2.1	1.5	1.8	2.5
4 週～3 か月未満	0.9	1.8	1.0	0.9	0.7	0.8	1.8
3 か月～6 か月未満	0.8	1.4	0.9	0.8	0.6	0.7	1.7
6 か月～9 か月未満	0.5	0.7	0.5	0.5	0.4	0.5	0.9
9 か月～1 年未満	0.4	0.7	0.5	0.4	0.3	0.4	0.8
昭和59年							
乳児死亡数							
総 数	8,920	263	810	942	3,019	2,650	1,187
4 週 未 満	5,527	157	490	594	1,967	1,628	661
1 週 未 満	4,274	119	384	493	1,508	1,247	499
1 日 未 満	2,148	56	193	242	749	629	258
4 週～3 か月未満	1,221	34	120	120	395	368	179
3 か月～6 か月未満	1,003	41	85	115	315	280	163
6 か月～9 か月未満	656	13	61	67	200	202	106
9 か月～1 年未満	513	18	54	46	142	172	78
乳児死亡率 (%)							
総 数	6.0	8.0	6.7	5.7	4.8	5.9	12.2
4 週 未 満	3.7	4.8	4.0	3.6	3.2	3.6	6.8
1 週 未 満	2.9	3.6	3.2	3.0	2.4	2.8	5.1
1 日 未 満	1.4	1.7	1.6	1.5	1.2	1.4	2.6
4 週～3 か月未満	0.8	1.0	1.0	0.7	0.6	0.8	1.8
3 か月～6 か月未満	0.7	1.2	0.7	0.7	0.5	0.6	1.7
6 か月～9 か月未満	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	0.5	1.1
9 か月～1 年未満	0.3	0.5	0.4	0.3	0.2	0.4	0.8

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年人口動態統計 上巻』(昭57.2)および同『昭和59年人口動態統計 上巻』(昭61.3)による。乳児死亡率は世帯の主な仕事別出生1,000に対するもの。なお、世帯の主な仕事のうち常用勤労者(I)とは、管理・事務・教員・販売・外交・医療保健技術者・旧専門学校卒業以上の技術者などの勤労者世帯(臨時・日雇はその他の世帯)であり、常用勤労者世帯(II)とは、(I)に当てはまらない勤労者世帯(臨時・日雇はその他の世帯)である。1)世帯のおもな仕事不詳を含む。

表32 都道府県別にみた乳児死亡数および率の年次変化

都道府県	乳 児 死 亡 数					乳 児 死 亡 率 (%)				
	昭 和 10 年	昭 和 25 年	昭 和 40 年	昭 和 55 年	昭 和 59 年	昭 和 10 年	昭 和 25 年	昭 和 40 年	昭 和 55 年	昭 和 59 年
全 国	233,706	140,515	33,742	11,841	8,920	106.7	60.1	18.5	7.5	6.0
北海道	11,573	8,178	1,881	632	462	105.3	55.6	19.5	8.4	6.6
青森	5,777	4,404	822	180	149	140.7	95.5	29.1	8.3	7.4
岩手	5,403	4,105	707	178	123	133.6	89.9	28.7	9.1	6.8
宮城	5,442	3,170	583	261	150	120.8	59.6	19.9	8.4	5.1
秋田	5,658	3,403	465	129	94	135.6	79.8	23.4	7.9	6.3
山形	5,347	2,773	341	122	97	130.2	68.1	18.1	7.2	6.2
福島	5,986	4,263	742	260	207	106.8	63.1	22.6	8.8	7.3
茨城	6,842	4,147	866	335	247	127.8	69.4	24.4	9.2	7.0
栃木	4,078	2,631	588	227	147	97.6	56.2	22.8	8.8	6.1
群馬	4,007	2,445	589	199	143	95.0	54.6	21.1	7.9	6.1
埼玉	6,053	4,119	1,348	558	410	112.8	65.8	20.2	7.4	5.9
千葉	6,677	3,860	1,029	472	377	131.1	67.2	19.0	7.2	5.9
東京都	13,970	6,363	3,053	934	671	79.4	42.9	13.5	6.7	5.1
神奈川	5,309	2,689	1,382	678	485	95.8	40.9	14.2	7.2	5.5
新潟	7,498	4,237	865	252	178	105.2	58.8	21.5	7.7	5.8
富山	4,222	2,333	384	105	77	152.2	83.7	23.5	7.7	6.1
石川	3,514	2,190	346	125	94	146.7	83.6	20.8	8.3	6.7
福井	2,918	1,640	305	57	66	142.0	77.3	23.9	5.3	6.3
山梨	2,356	1,125	212	78	54	109.1	52.7	16.7	7.8	5.5
長野	4,769	2,464	553	223	143	89.5	49.3	17.5	8.2	5.7
岐阜	4,543	2,684	672	196	132	109.6	64.7	20.9	7.6	5.4
静岡	7,299	4,043	866	305	239	111.6	57.5	15.7	6.5	5.2
愛知	9,053	5,207	1,630	614	493	101.1	59.3	16.0	7.0	5.9
三重	4,496	2,514	522	165	142	119.0	67.5	19.3	7.7	6.8
滋賀	2,359	1,411	343	103	110	110.7	65.9	24.0	6.5	7.1
京都	4,357	2,079	587	209	181	98.0	50.4	16.0	6.5	6.0
大阪	11,764	5,118	2,281	771	603	111.8	54.5	15.5	6.9	5.8
兵庫	8,487	4,534	1,286	481	390	103.3	55.4	15.6	7.0	6.1
奈良	2,424	1,252	260	127	97	134.5	67.3	17.8	8.0	6.2
和歌山	2,545	1,387	352	113	72	103.9	58.4	19.5	8.4	5.7
鳥取	1,567	991	174	62	45	107.1	61.5	20.3	7.6	5.6
島根	2,814	1,651	269	95	61	117.2	63.9	22.8	9.5	6.6
岡山	4,163	2,505	439	136	126	108.1	62.1	17.2	5.6	5.3
広島	4,992	2,781	707	286	196	93.4	52.7	18.1	7.7	5.6
山口	3,435	2,189	482	158	120	100.3	51.2	19.6	8.0	6.5
徳島	2,715	1,949	271	86	49	111.4	76.5	21.5	8.2	4.9
香川	2,625	1,677	317	88	59	107.1	68.1	23.1	6.8	4.9
愛媛	3,651	2,612	482	154	117	95.2	57.3	19.7	7.8	6.4
高知	2,367	1,437	250	75	67	113.4	62.4	20.8	8.0	6.9
福岡	8,696	5,715	1,154	442	358	104.2	52.4	16.8	6.9	5.8
佐賀	2,618	1,944	303	86	76	113.6	64.8	21.0	6.9	6.4
長崎	4,015	3,274	697	153	128	97.0	60.0	23.1	6.9	6.0
熊本	3,805	3,017	678	224	154	87.6	54.5	23.4	9.2	6.4
大分	3,578	2,467	457	144	79	110.9	67.2	24.7	8.8	5.3
宮崎	2,528	2,156	488	145	114	88.9	61.0	26.5	8.5	7.1
鹿児島	4,526	3,325	709	233	179	86.4	60.4	24.2	9.5	7.4
沖縄	885	...	...	159	137	53.9	...	...	7.8	6.7
不詳	—	57	5	26	22	—	...	...	...	...

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和25年、40年は沖縄県を含まない。昭和10年は事件発生地により、25年以降は住所地により表章されている。乳児死亡率は出生1,000に対する率である。

表33 死因別にみた乳児死亡数および率の年次変化

死 因	乳 児 死 亡 数				乳児死亡率 (出生10万について)			
	昭和 54年	昭和 56年	昭和 58年	昭和 59年	昭和 54年	昭和 56年	昭和 58年	昭和 59年
総 数	12,923	10,891	9,406	8,920	786.8	712.1	623.5	598.7
腸炎及びその他の下痢性疾患	108	62	58	35	6.6	4.1	3.8	2.3
結 核	3	2	3	1	0.2	0.1	0.2	0.1
百 日 咳	29	9	10	3	1.8	0.6	0.7	0.2
破傷風 (新生児破傷風を含む)	—	—	2	—	—	—	0.1	—
敗血症 (新生児敗血症を含む)	198	286	267	283	12.1	18.7	17.7	19.0
麻 疹	25	14	11	20	1.5	0.9	0.7	1.3
ウイルス肝炎	20	41	30	17	1.2	2.7	2.0	1.1
その他の感染症及び寄生虫症	24	24	30	21	1.5	1.6	2.0	1.4
悪 性 新 生 物	71	54	71	61	4.3	3.5	4.7	4.1
白 血 病	31	29	25	20	1.9	1.9	1.7	1.3
そ の 他	40	25	46	41	2.4	1.6	3.0	2.8
良性及び性質不詳の新生物	35	39	21	27	2.1	2.5	1.4	1.8
栄 養 失 調 症	4	4	4	1	0.2	0.3	0.3	0.1
髄 膜 炎	170	116	91	77	10.3	7.6	6.0	5.2
脳 性 小 児 麻 痺	26	26	17	27	1.6	1.7	1.1	1.8
心 疾 患	230	225	200	249	14.0	14.7	13.3	16.7
肺 炎	628	459	319	320	38.2	30.0	21.1	21.5
インフルエンザ	2	3	4	—	0.1	0.2	0.3	—
気 管 支 炎	41	31	26	20	2.5	2.0	1.7	1.3
腹腔ヘルニア及び腸閉塞	75	41	28	29	4.6	2.7	1.9	1.9
胃炎, 十二指腸炎及び慢性胃腸炎	4	—	1	—	0.2	—	0.1	—
先 天 異 常	3,323	2,927	2,730	2,665	202.3	191.4	181.0	178.9
神経系の先天異常	324	248	245	211	19.7	16.2	16.2	14.2
心臓の先天異常	1,642	1,356	1,201	1,184	100.0	88.7	79.6	79.5
その他の循環系の先天異常	289	317	360	324	17.6	20.7	23.9	21.7
消化系の先天異常	409	332	204	176	24.9	21.7	13.5	11.8
その他の先天異常	659	674	720	770	40.1	44.1	47.7	51.7
出 産 時 外 傷	468	460	412	394	28.5	30.1	27.3	26.4
脳及び脊髄の損傷	434	429	378	371	26.4	28.0	25.1	24.9
その他及び詳細不明の損傷	34	31	34	23	2.1	2.0	2.3	1.5
低酸素症, 分娩仮死及びその他の呼吸器病態	3,672	3,176	2,444	2,321	223.6	207.7	162.0	155.8
詳細不明の未熟児	867	487	332	239	52.8	31.8	22.0	16.0
同種免疫による新生児溶血性疾患	25	10	6	4	1.5	0.7	0.4	0.3
その他の周産期黄疸	36	35	16	31	2.2	2.3	1.1	2.1
新生児の出血	121	64	43	40	7.4	4.2	2.9	2.7
新生児出血性疾患	41	29	24	31	2.5	1.9	1.6	2.1
その他の新生児の異常(新生児破傷風, カンジダ感染及び敗血症を除く)	1,053	811	707	629	64.1	53.0	46.9	42.2
その他のすべての疾患	745	717	750	708	45.4	46.9	49.7	47.5
損 傷 及 び 中 毒	879	739	749	667	53.5	48.3	49.6	44.8
損傷及び中毒の外因	879	739	749	667	53.5	48.3	49.6	44.8
不慮の事故及び有害作用	710	588	585	500	43.2	38.4	38.8	33.6
食物及びその他の物体による窒息	175	210	214	189	10.7	13.7	14.2	12.7
不慮の機械的窒息	313	223	218	179	19.1	14.6	14.4	12.0
そ の 他	222	155	153	132	13.5	10.1	10.1	8.9
そ の 他 の 外 因	169	151	164	167	10.3	9.9	10.9	11.2

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。死因は第9回乳児簡単分類によるが、ここに示した年次における死亡数が0の死因名は掲げていない。

表34 乳児の死因順位（死亡数，率および割合）の年次変化

年次	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)
昭和45	先 天 異 常	3,914 202.4 (15.4)	出生時損傷等	3,757 194.2 (14.8)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	3,295 170.4 (12.8)	詳 細 不 明 の 未 熟 児	2,547 131.7 (10.0)	そ の 他 の 新 生 児 の 異 常	2,109 109.0 (8.3)
50	先 天 異 常	4,072 214.2 (21.3)	出生時損傷等	3,314 174.3 (17.3)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	1,720 90.5 (9.0)	詳 細 不 明 の 未 熟 児	1,446 76.0 (7.6)	そ の 他 の 新 生 児 の 異 常	1,255 66.0 (6.6)
55	出 産 時 外 傷 等	3,885 246.4 (32.8)	先 天 異 常	3,131 198.6 (26.4)	不 慮 の 事 故 及 び 有 害 作 用	659 41.8 (5.6)	詳 細 不 明 の 未 熟 児	658 41.7 (5.6)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	588 37.3 (5.0)
56	出 産 時 外 傷 等	3,636 237.7 (33.4)	先 天 異 常	2,927 191.4 (26.9)	不 慮 の 事 故 及 び 有 害 作 用	588 38.4 (5.4)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	490 32.0 (4.5)	詳 細 不 明 の 未 熟 児	487 31.8 (4.5)
57	出 産 時 外 傷 等	3,340 220.4 (33.5)	先 天 異 常	2,764 182.4 (27.7)	不 慮 の 事 故 及 び 有 害 作 用	525 34.6 (5.3)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	391 25.8 (3.9)	詳 細 不 明 の 未 熟 児	374 24.7 (3.8)
58	出 産 時 外 傷 等	2,856 189.3 (30.4)	先 天 異 常	2,730 181.0 (29.0)	不 慮 の 事 故 及 び 有 害 作 用	585 38.8 (6.2)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	345 22.9 (3.7)	詳 細 不 明 の 未 熟 児	332 22.0 (3.5)
59	出 産 時 外 傷 等	2,715 182.2 (30.4)	先 天 異 常	2,665 178.9 (29.9)	不 慮 の 事 故 及 び 有 害 作 用	500 33.6 (5.6)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	340 22.8 (3.8)	敗 血 症 ( 新 生 児 敗 血 症 を 含 む )	283 19.0 (3.2)
年次	第 6 位		第 7 位		第 8 位		第 9 位		第 10 位	
	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)
昭和45	不 慮 の 事 故	1,142 59.0 (4.5)	母 体 の 妊 娠 時 の 疾 患 に よ る 新 生 児 の 障 害	1,081 55.9 (4.3)	新 生 児 の 出 血 性 疾 患	972 50.3 (3.8)	胃 腸 炎	921 47.6 (3.6)	腸 閉 塞 及 び へ ル ニ ア	424 21.9 (1.7)
50	母 体 の 妊 娠 時 の 疾 患 に よ る 新 生 児 の 障 害	956 50.3 (5.0)	不 慮 の 事 故	919 48.3 (4.8)	新 生 児 の 出 血 性 疾 患	612 32.2 (3.2)	心 疾 患	353 18.6 (1.8)	胃 腸 炎	336 17.7 (1.8)
55	心 疾 患	266 16.9 (2.2)	敗 血 症 ( 新 生 児 敗 血 症 を 含 む )	231 14.6 (2.0)	そ の 他 の 外 因	161 10.2 (1.4)	髄 膜 炎 新 生 児 の 出 血 及 び 新 生 児 出 血 性 疾 患	132 8.4 (1.1)		
56	敗 血 症 ( 新 生 児 敗 血 症 を 含 む )	286 18.7 (2.6)	心 疾 患	225 14.7 (2.6)	そ の 他 の 外 因	151 9.9 (1.4)	髄 膜 炎	116 7.6 (1.1)	新 生 児 の 出 血 及 び 新 生 児 出 血 性 疾 患	93 6.1 (0.9)
57	敗 血 症 ( 新 生 児 敗 血 症 を 含 む )	238 15.7 (2.4)	心 疾 患	209 13.8 (2.1)	髄 膜 炎	134 8.8 (1.3)	そ の 他 の 外 因	126 8.3 (1.3)	新 生 児 の 出 血 及 び 新 生 児 出 血 性 疾 患	88 5.8 (0.9)
58	敗 血 症 ( 新 生 児 敗 血 症 を 含 む )	267 17.7 (2.8)	心 疾 患	200 13.3 (2.1)	そ の 他 の 外 因	164 10.9 (1.7)	髄 膜 炎	91 6.0 (1.0)	悪 性 新 生 物	71 4.7 (0.8)
59	心 疾 患	249 16.7 (2.8)	詳 細 不 明 の 未 熟 児	239 16.0 (2.7)	そ の 他 の 外 因	167 11.2 (1.9)	髄 膜 炎	77 5.2 (0.9)	新 生 児 の 出 血 及 び 新 生 児 出 血 性 疾 患	71 4.8 (0.8)

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和45年は沖縄県を含まない。死亡率は出生10万に対する率。( )内の割合は乳児死亡数を100.0とした場合の各死因割合である。なお、昭和45,50年の「出生時損傷等」は、出生時損傷、難産及びその他の無酸素症、低酸素症であり、55年以降の「出産時外傷等」は、出生時外傷、低酸素症、分娩仮死及びその他の呼吸器病態である。

表35 新生児の死因順位（死亡数，率および割合）の年次変化

年次	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)
昭和45	出生時損傷等	3,742 193.5 (22.4)	詳細不明 の未熟児	2,428 125.5 (14.5)	その他の新 生児の異常	2,066 106.8 (12.3)	先 天 異 常	1,903 98.4 (11.4)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	1,108 57.3 (6.6)
50	出生時損傷等	3,298 173.4 (25.5)	先 天 異 常	2,119 111.4 (16.4)	詳細不明 の未熟児	1,376 72.4 (10.7)	その他の新 生児の異常	1,234 64.9 (9.6)	母体の妊娠時 の疾患による 新生児の障害	956 50.3 (7.4)
55	出産時外傷等	3,752 237.9 (48.1)	先 天 異 常	1,624 103.0 (20.8)	詳細不明 の未熟児	650 41.2 (8.3)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	173 11.0 (2.2)	敗血症（新 生児敗血症 を含む）	152 9.6 (1.9)
56	出産時外傷等	3,494 228.4 (48.6)	先 天 異 常	1,538 100.6 (21.4)	詳細不明 の未熟児	481 31.4 (6.7)	敗血症（新 生児敗血症 を含む）	222 14.5 (3.1)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	142 9.3 (2.0)
57	出産時外傷等	3,190 210.5 (49.6)	先 天 異 常	1,447 95.5 (22.5)	詳細不明 の未熟児	366 24.2 (5.7)	敗血症（新 生児敗血症 を含む）	169 11.2 (2.6)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	105 6.9 (1.6)
58	出産時外傷等	2,683 177.8 (45.5)	先 天 異 常	1,501 99.5 (25.5)	詳細不明 の未熟児	323 21.4 (5.5)	敗血症（新 生児敗血症 を含む）	174 11.5 (3.0)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	80 5.3 (1.4)
59	出産時外傷等	2,547 171.0 (46.1)	先 天 異 常	1,448 97.2 (26.2)	詳細不明 の未熟児	233 15.6 (4.2)	敗血症（新 生児敗血症 を含む）	177 11.9 (3.2)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	97 6.5 (1.8)
年次	第 6 位		第 7 位		第 8 位		第 9 位		第 10 位	
	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)	死 因	死亡数 死亡率 (割合)
昭和45	母体の妊娠時 の疾患による 新生児の障害	1,081 55.9 (6.5)	新 生 児 の 出 血 性 疾 患	954 49.3 (5.7)	新 生 児 溶 血 性 疾 患	298 15.4 (1.8)	心 疾 患	163 8.4 (1.0)	腸 閉 塞 及 び ヘ ル ニ ア	153 7.9 (0.9)
50	新 生 児 の 出 血 性 疾 患	604 31.8 (4.7)	肺 炎 及 び 気 管 支 炎	536 28.2 (4.2)	心 疾 患	142 7.5 (1.1)	新 生 児 溶 血 性 疾 患	111 5.8 (0.9)	敗 血 症	103 5.4 (0.8)
55	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	121 7.7 (1.6)	不慮の事故 及び有害作用	79 5.0 (1.0)	髄 膜 炎	71 4.5 (0.9)	その他の外因	70 4.4 (0.9)	心 疾 患	42 2.7 (0.5)
56	不慮の事故 及び有害作用	91 5.9 (1.3)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	80 5.2 (1.1)	その他の外因	64 4.2 (0.9)	髄 膜 炎	55 3.6 (0.8)	心 疾 患	28 1.8 (0.4)
57	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	67 4.4 (1.0)	その他の外因	64 4.2 (1.0)	髄 膜 炎	49 3.2 (0.8)	不慮の事故 及び有害作用	34 2.2 (0.5)	心 疾 患	30 2.0 (0.5)
58	その他の外因	75 5.0 (1.3)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	56 3.7 (1.0)	不慮の事故 及び有害作用	50 3.3 (0.8)	心 疾 患	27 1.8 (0.5)	髄 膜 炎	25 1.7 (0.4)
59	その他の外因	71 4.8 (1.3)	新生児の出血 及び新生児出 血性疾患	53 3.6 (1.0)	不慮の事故 及び有害作用	34 2.3 (0.6)	心 疾 患	31 2.1 (0.6)	髄 膜 炎	25 1.7 (0.5)

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和45年は沖縄県を含まない。生後4週未満の死亡で、死亡率は出生10万対、割合は、新生児死亡数を100とした場合の各死因割合である。なお、昭和45,50年の「出生時損傷等」は出生時損傷、難産及びその他の無酸素症、低酸素症である。また、昭和54年以降の「出産時外傷等」は出生時外傷、低酸素症、分娩仮死及びその他の呼吸器病態である。



表36 男女別にみた妊娠満28週以後の死産・早期新生児死亡別周産期死亡数および率の推移

年次	周産期死亡			妊娠満28週以後の死産			早期新生児死亡		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
昭和25	108,843	59,467	49,047	73,659	39,781	33,549	35,184	19,686	15,498
30	75,918	42,413	33,394	53,297	29,650	23,536	22,621	12,763	9,858
35	66,552	37,455	28,976	49,512	27,664	21,727	17,040	9,791	7,249
40	54,904	31,049	23,712	39,955	22,243	17,569	14,949	8,806	6,143
41	42,583	23,913	18,534	30,818	17,030	13,652	11,765	6,883	4,882
42	50,846	28,672	22,002	36,738	20,407	16,159	14,108	8,265	5,843
43	45,921	26,048	19,680	32,228	17,873	14,162	13,693	8,175	5,518
44	43,419	24,580	18,621	30,609	16,948	13,443	12,810	7,632	5,178
45	41,917	23,705	17,999	29,107	16,011	12,883	12,810	7,694	5,116
46	40,900	22,890	17,774	28,235	15,419	12,580	12,665	7,471	5,194
47	38,754	21,977	16,567	26,329	14,459	11,660	12,425	7,518	4,907
48	37,598	21,190	16,174	25,442	13,934	11,274	12,156	7,256	4,900
49	34,383	19,332	14,835	22,989	12,496	10,277	11,394	6,836	4,558
50	30,513	16,996	13,326	20,268	10,991	9,086	10,245	6,005	4,240
51	27,133	15,180	11,791	17,741	9,550	8,029	9,392	5,630	3,762
52	24,708	13,704	10,851	16,022	8,581	7,288	8,686	5,123	3,563
53	22,217	12,391	9,667	14,516	7,837	6,520	7,701	4,554	3,147
54	20,481	11,303	9,016	13,580	7,266	6,152	6,901	4,037	2,864
55	18,385	10,097	8,123	12,231	6,488	5,578	6,154	3,609	2,545
56	16,531	9,015	7,382	10,929	5,791	5,004	5,602	3,224	2,378
57	15,303	8,378	6,781	10,236	5,432	4,660	5,067	2,946	2,121
58	14,035	7,558	6,368	9,464	4,966	4,389	4,571	2,592	1,979
59	12,998	7,077	5,807	8,724	4,642	3,968	4,274	2,435	1,839
			周産期死亡率(%)						
昭和25	46.6	49.4	43.2	31.5	33.1	29.6	15.1	16.4	13.7
30	43.9	47.7	39.7	30.8	33.3	28.0	13.1	14.3	11.7
35	41.4	45.4	37.1	30.8	33.5	27.8	10.6	11.9	9.3
40	30.1	33.2	26.7	21.9	23.8	19.8	8.2	9.4	6.9
41	31.3	33.9	28.3	22.6	24.1	20.8	8.6	9.8	7.4
42	26.3	28.9	23.3	19.0	20.6	17.1	7.3	8.3	6.2
43	24.5	26.9	21.8	17.2	18.5	15.7	7.3	8.4	6.1
44	23.0	25.1	20.4	16.2	17.3	14.7	6.8	7.8	5.7
45	21.7	23.7	19.3	15.0	16.0	13.8	6.6	7.7	5.5
46	20.4	22.2	18.4	14.1	14.9	13.0	6.3	7.2	5.4
47	19.0	20.9	16.8	12.9	13.8	11.8	6.1	7.2	5.0
48	18.0	19.7	15.9	12.2	12.9	11.1	5.8	6.7	4.8
49	16.9	18.5	15.1	11.3	11.9	10.4	5.6	6.5	4.6
50	16.0	17.4	14.4	10.7	11.2	9.9	5.4	6.1	4.6
51	14.8	16.1	13.3	9.7	10.1	9.0	5.1	6.0	4.2
52	14.1	15.2	12.7	9.1	9.5	8.6	4.9	5.7	4.2
53	13.0	14.1	11.7	8.5	8.9	7.9	4.5	5.2	3.8
54	12.5	13.4	11.3	8.3	8.6	7.7	4.2	4.8	3.6
55	11.7	12.4	10.6	7.8	8.0	7.3	3.9	4.4	3.3
56	10.8	11.5	9.9	7.1	7.4	6.7	3.7	4.1	3.2
57	10.1	10.8	9.2	6.8	7.0	6.3	3.3	3.8	2.9
58	9.3	9.7	8.7	6.3	6.4	6.0	3.0	3.3	2.7
59	8.7	9.3	8.0	5.9	6.1	5.5	2.9	3.2	2.5

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。昭和47年以前は沖縄県を含まない。早期新生児死亡は生後1週未満の死亡で、これと妊娠満28週以後の死産とを合わせて周産期死亡という。周産期死亡率は出生1,000についてのもの、そのうち、妊娠満28週以後の死産については妊娠満28週以後の死産比という。

表37 男女別にみた主要年齢の死亡率、生存数および平均余命の年次変化

(1) 死亡率 ( $q_x$ )

年 齢	昭和10 ～11年	昭和25 ～27年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年	昭和59 ～60年
男									
0 歳	0.11303	0.05669	0.03333	0.02071	0.01481	0.01110	0.00826	0.00662	0.00641
1	0.03699	0.01153	0.00372	0.00217	0.00167	0.00140	0.00105	0.00083	0.00091
2	0.02045	0.00890	0.00289	0.00164	0.00125	0.00101	0.00080	0.00062	0.00058
3	0.01349	0.00658	0.00225	0.00128	0.00099	0.00076	0.00062	0.00046	0.00044
4	0.00911	0.00461	0.00177	0.00105	0.00082	0.00062	0.00050	0.00036	0.00036
5	0.00648	0.00310	0.00142	0.00091	0.00073	0.00055	0.00043	0.00032	0.00032
10	0.00240	0.00109	0.00064	0.00047	0.00038	0.00028	0.00021	0.00019	0.00018
15	0.00479	0.00123	0.00083	0.00068	0.00069	0.00056	0.00046	0.00042	0.00042
20	0.00996	0.00314	0.00192	0.00133	0.00132	0.00105	0.00089	0.00088	0.00090
25	0.00922	0.00419	0.00233	0.00160	0.00134	0.00105	0.00085	0.00080	0.00077
30	0.00769	0.00437	0.00226	0.00182	0.00154	0.00116	0.00096	0.00089	0.00086
35	0.00760	0.00449	0.00272	0.00235	0.00214	0.00159	0.00132	0.00119	0.00114
40	0.00891	0.00561	0.00362	0.00321	0.00312	0.00259	0.00205	0.00196	0.00190
45	0.01185	0.00749	0.00521	0.00472	0.00438	0.00404	0.00353	0.00310	0.00304
50	0.01725	0.01073	0.00847	0.00739	0.00666	0.00573	0.00551	0.00533	0.00522
55	0.02398	0.01610	0.01374	0.01199	0.01067	0.00872	0.00796	0.00806	0.00795
60	0.03554	0.02477	0.02204	0.01997	0.01767	0.01393	0.01245	0.01151	0.01145
65	0.05191	0.04059	0.03557	0.03305	0.03003	0.02351	0.02015	0.01802	0.01787
70	0.07668	0.06170	0.05696	0.05436	0.04957	0.04024	0.03501	0.02948	0.02917
75	0.11326	0.09197	0.09216	0.08782	0.08106	0.06700	0.05981	0.05279	0.05196
80	0.16615	0.13468	0.14084	0.13979	0.12385	0.11039	0.10036	0.08982	0.08744
85	0.24096	0.19389	0.19712	0.20747	0.18542	0.16957	0.15464	0.14351	0.13936
女									
0 歳	0.09917	0.04973	0.02739	0.01632	0.01149	0.00871	0.00658	0.00529	0.00524
1	0.03527	0.01163	0.00323	0.00180	0.00137	0.00111	0.00089	0.00076	0.00080
2	0.01996	0.00879	0.00244	0.00129	0.00097	0.00078	0.00062	0.00054	0.00045
3	0.01361	0.00647	0.00185	0.00095	0.00071	0.00056	0.00043	0.00036	0.00035
4	0.00932	0.00449	0.00142	0.00073	0.00055	0.00042	0.00032	0.00026	0.00025
5	0.00657	0.00294	0.00112	0.00061	0.00046	0.00035	0.00027	0.00020	0.00020
10	0.00254	0.00095	0.00046	0.00028	0.00025	0.00018	0.00014	0.00012	0.00012
15	0.00695	0.00129	0.00049	0.00036	0.00032	0.00025	0.00020	0.00017	0.00018
20	0.00960	0.00277	0.00121	0.00067	0.00061	0.00049	0.00035	0.00033	0.00033
25	0.00906	0.00377	0.00151	0.00097	0.00078	0.00060	0.00043	0.00039	0.00038
30	0.00806	0.00399	0.00165	0.00115	0.00091	0.00072	0.00054	0.00049	0.00049
35	0.00824	0.00422	0.00204	0.00151	0.00125	0.00095	0.00077	0.00070	0.00068
40	0.00901	0.00495	0.00271	0.00203	0.00177	0.00141	0.00112	0.00105	0.00104
45	0.00949	0.00590	0.00379	0.00311	0.00260	0.00210	0.00175	0.00159	0.00155
50	0.01211	0.00804	0.00567	0.00473	0.00412	0.00330	0.00279	0.00245	0.00247
55	0.01590	0.01146	0.00842	0.00717	0.00634	0.00500	0.00410	0.00358	0.00350
60	0.02274	0.01690	0.01317	0.01118	0.00998	0.00772	0.00644	0.00555	0.00551
65	0.03408	0.02746	0.02156	0.01896	0.01652	0.01310	0.01063	0.00923	0.00904
70	0.05333	0.04351	0.03691	0.03270	0.02922	0.02326	0.01934	0.01594	0.01564
75	0.08530	0.06912	0.06501	0.05918	0.05360	0.04331	0.03627	0.03040	0.02965
80	0.13753	0.10945	0.10614	0.10541	0.09200	0.08073	0.06841	0.05813	0.05679
85	0.22000	0.17158	0.16085	0.16395	0.15343	0.13550	0.12155	0.10577	0.10329

各生命表により、昭和55年以前は完全生命表、昭和59年は厚生省統計情報部の簡易生命表、59～60年は人口問題研究所の簡速静止人口表（第38回）による。完全生命表は、明治24年～31年の資料に基づいて第1回生命表が作成されて以来第15回（第7回は作られていない）にまで及んでいるが、本表には、そのうち第6回、9回および11回以後各回のもを掲げている。すなわち、第6回生命表は昭和10年4月～11年3月、第9回は昭和25年10月～27年9月、第11回は昭和35年、第12回は昭和40年、第13回は昭和45年、第14回は昭和50年、第15回は昭和55年1月～12月の死亡統計に基づいて作成されているが、第6回までは旧内閣統計局、第8回以降は厚生省（現在は統計情報部）が作成している。

(次ページにつづく)

表37 男女別にみた主要年齢の死亡率，生存数および平均余命の年次変化（つづき）

(2) 生存数 ( $l_x$ )

年 齢	昭和10 ～11年	昭和25 ～27年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年	昭和59 ～60年
男									
0 歳	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
1	88,697	94,331	96,667	97,929	98,519	98,890	99,174	99,338	99,359
2	85,416	93,243	96,307	97,716	98,354	98,752	99,070	99,255	99,269
3	83,669	92,413	96,029	97,556	98,231	98,653	98,991	99,194	99,211
4	82,540	91,805	95,813	97,431	98,134	98,577	98,930	99,149	99,167
5	81,788	91,382	95,643	97,329	98,053	98,516	98,881	99,113	99,131
10	80,141	90,481	95,154	96,984	97,775	98,301	98,714	98,987	99,005
15	79,100	90,022	94,869	96,754	97,571	98,152	98,598	98,882	98,903
20	76,189	89,132	94,249	96,288	97,051	97,731	98,245	98,539	98,552
25	72,486	87,516	93,239	95,572	96,415	97,214	97,819	98,125	98,144
30	69,441	85,653	92,172	94,790	95,724	96,700	97,386	97,724	97,750
35	66,849	83,820	91,072	93,839	94,907	96,069	96,868	97,245	97,289
40	64,242	81,802	89,709	92,598	93,717	95,139	96,100	96,541	96,596
45	61,113	79,263	87,868	90,890	92,058	93,635	94,889	95,401	95,483
50	57,034	75,859	85,108	88,310	89,713	91,487	92,822	93,587	93,710
55	51,631	71,177	80,786	84,416	86,167	88,444	89,890	90,605	90,768
60	44,712	64,481	74,207	78,327	80,626	83,798	85,699	86,492	86,685
65	36,218	55,113	64,781	69,080	72,073	76,822	79,392	80,705	80,961
70	26,434	42,997	51,942	56,239	59,639	66,007	69,852	72,198	72,525
75	16,475	29,435	36,124	39,860	43,534	51,048	55,739	59,599	60,006
80	8,071	16,625	20,099	22,610	26,112	33,198	37,803	42,318	42,872
85	2,739	7,076	8,235	9,127	11,731	16,250	19,839	23,645	24,347
女									
0 歳	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
1	90,083	95,027	97,261	98,368	98,851	99,129	99,342	99,471	99,476
2	86,906	93,922	96,947	98,190	98,716	99,019	99,254	99,395	99,396
3	85,171	93,096	96,710	98,063	98,620	98,942	99,192	99,342	99,352
4	84,012	92,494	96,531	97,970	98,551	98,887	99,150	99,306	99,317
5	83,229	92,079	96,394	97,899	98,497	98,846	99,119	99,280	99,293
10	81,564	91,275	96,029	97,681	98,323	98,716	99,016	99,200	99,213
15	80,117	90,820	95,823	97,538	98,199	98,620	98,947	99,137	99,149
20	76,792	89,978	95,448	97,311	97,986	98,454	98,812	99,017	99,025
25	73,179	88,525	94,797	96,919	97,651	98,188	98,630	98,844	98,854
30	70,130	86,813	94,058	96,410	97,244	97,879	98,393	98,630	98,642
35	67,346	85,070	93,212	95,794	96,742	97,489	98,087	98,354	98,368
40	64,515	83,189	92,152	94,983	96,053	96,947	97,648	97,949	97,974
45	61,645	81,031	90,773	93,849	95,049	96,138	96,993	97,339	97,374
50	58,537	78,325	88,741	92,100	93,561	94,922	95,965	96,407	96,455
55	54,663	74,713	85,784	89,553	91,303	93,056	94,407	95,020	95,073
60	49,862	69,713	81,533	85,755	87,921	90,303	92,111	93,013	93,097
65	43,550	62,847	75,212	79,961	82,566	86,087	88,502	89,898	90,013
70	35,328	53,063	65,624	70,839	74,285	79,122	82,690	84,794	85,017
75	25,263	40,452	51,471	57,141	61,169	67,803	72,683	76,303	76,698
80	14,564	26,104	33,772	38,414	43,028	50,705	56,970	62,155	62,763
85	5,809	12,834	17,112	19,190	23,360	29,653	35,949	42,027	42,884

完全生命表が詳細な資料と精密な計算方法を用いて作成されるのに対して，簡易（あるいは簡速）生命表は簡便に作られるが，人口あるいは死亡分析の多くは簡易生命表で十分耐えられるし，多くの時日を要して作成される完全生命表では，その数値が使用時の死亡状況と数年あるいはそれ以上のずれを生ずる不便がある。この難点を補い，死亡状況を速やかに判定したり，年齢別人口の推計に直ちに利用できるなどに簡易生命表作成の意義がある。厚生省では，昭和20年以降毎年の暦年死亡統計に基づく簡易生命表を作成している。また，人口問題研究所においても，昭和22年4月～23年3月の死亡統計に基づいて第1回が算定されてより，毎年4月～翌年3月の簡速静止人口表（生命表）を作成しており，第38回に及んでいる。

（次ページにつづく）

表37 男女別にみた主要年齢の死亡率、生存数および平均余命の年次変化（つづき）

(3) 平均余命 ( $e_x$ )

年 齢	昭和10 ～11年	昭和25 ～27年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和59年	昭和59 ～60年
男									
0 歳	46.92	59.57	65.32	67.74	69.31	71.73	73.35	74.54	74.73
1	51.95	62.14	66.56	68.16	69.35	71.53	72.96	74.04	74.21
2	52.92	61.86	65.81	67.31	68.47	70.63	72.03	73.10	73.28
3	53.02	61.42	65.00	66.42	67.55	69.70	71.09	72.14	72.32
4	52.74	60.82	64.15	65.51	66.62	68.75	70.14	71.18	71.35
5	52.22	60.10	63.26	64.57	65.67	67.80	69.17	70.20	70.38
10	48.25	55.68	58.57	59.80	60.85	62.94	64.28	65.29	65.47
15	43.85	50.95	53.74	54.93	55.97	58.03	59.35	60.36	60.53
20	40.41	46.43	49.08	50.18	51.26	53.27	54.56	55.56	55.74
25	37.35	42.24	44.58	45.54	46.58	48.54	49.79	50.78	50.96
30	33.89	38.10	40.07	40.90	41.90	43.78	45.00	45.98	46.15
35	30.10	33.87	35.52	36.28	37.24	39.05	40.22	41.19	41.36
40	26.22	29.65	31.02	31.73	32.68	34.41	35.52	36.47	36.64
45	22.43	25.52	26.61	27.28	28.22	29.92	30.94	31.88	32.03
50	18.85	21.54	22.39	23.00	23.88	25.56	26.57	27.44	27.59
55	15.55	17.79	18.45	18.94	19.76	21.35	22.35	23.26	23.40
60	12.55	14.36	14.84	15.20	15.93	17.38	18.31	19.24	19.37
65	9.89	11.35	11.62	11.88	12.50	13.72	14.56	15.43	15.56
70	7.62	8.82	8.85	8.99	9.56	10.53	11.18	11.93	12.06
75	5.72	6.73	6.60	6.63	7.14	7.85	8.34	8.89	9.02
80	4.20	5.04	4.91	4.81	5.26	5.70	6.08	6.47	6.58
85	3.03	3.72	3.69	3.51	3.82	4.14	4.39	4.63	4.71
女									
0 歳	49.63	62.97	70.19	72.92	74.66	76.89	78.76	80.18	80.43
1	54.07	65.25	71.17	73.13	74.52	76.56	78.29	79.60	79.85
2	55.02	65.01	70.39	72.26	73.62	75.65	77.35	78.66	78.92
3	55.13	64.58	69.57	71.35	72.69	74.71	76.40	77.70	77.95
4	54.89	64.00	68.69	70.42	71.75	73.75	75.43	76.73	76.98
5	54.40	63.28	67.79	69.47	70.78	72.78	74.46	75.75	76.00
10	50.47	58.82	63.04	64.62	65.91	67.87	69.53	70.81	71.06
15	46.33	54.10	58.17	59.71	60.99	62.94	64.58	65.85	66.10
20	43.22	49.58	53.39	54.85	56.11	58.04	59.66	60.93	61.18
25	40.23	45.35	48.74	50.06	51.30	53.19	54.77	56.03	56.28
30	36.88	41.20	44.10	45.31	46.50	48.35	49.90	51.15	51.40
35	33.30	36.99	39.48	40.58	41.73	43.53	45.04	46.28	46.53
40	29.65	32.77	34.90	35.91	37.01	38.76	40.23	41.46	41.71
45	25.91	28.58	30.39	31.31	32.37	34.06	35.49	36.71	36.95
50	22.15	24.47	26.03	26.85	27.84	29.46	30.84	32.04	32.28
55	18.54	20.53	21.83	22.54	23.47	25.00	26.30	27.47	27.71
60	15.07	16.81	17.83	18.42	19.27	20.68	21.89	23.00	23.24
65	11.88	13.36	14.10	14.56	15.34	16.56	17.68	18.71	18.94
70	9.04	10.34	10.78	11.09	11.75	12.78	13.73	14.67	14.90
75	6.62	7.76	8.01	8.11	8.70	9.47	10.24	11.00	11.22
80	4.67	5.64	5.88	5.80	6.27	6.76	7.33	7.89	8.11
85	3.17	3.97	4.26	4.19	4.46	4.79	5.12	5.43	5.67

生命表は、ある人口のある時の死亡統計に基づいて計算した男女年齢の関数としての生存と死亡の確率を表にして示したものであるが、それは、静止人口（理論上の人口の一種で、流入のない封鎖人口において、出生と死亡とが全く相等しく、増減も起こらず、男女年齢別人口構造の一定不変な人口をいう）の理論を基礎とし、また、生命表によって静止人口が数値として与えられる。ここには、生命表の基礎関数のうちの3種を掲示したが、出生後  $x$  年間の生存の確率を  $x$  歳の生存数といい、 $l_x$  と書く。 $l_0$  は出生数を意味し、通例、男女各 100,000 を基礎におく。死亡率は、 $x$  歳のもののうち  $x+1$  歳に到達しないで死亡するものの割合で  $q_x$  で表わす。また、 $x$  歳の生存数が、その生命表の死亡秩序に従ってその後平均して何年生きるかという期待値を平均余命といい、 $e_x$  で表わす。

表38 男女別にみた0歳の死因別死亡確率の年次変化

(%)

死 因	男				女			
	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和59年	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和59年
悪性新生物	11.9	15.0	18.56	23.56	10.6	12.4	13.86	16.13
高血圧性疾患	1.7	2.8	2.92	1.72	1.9	3.5	4.23	3.02
心 疾 患	8.7	11.4	14.94	18.99	8.9	12.3	16.86	21.74
脳血管疾患	21.3	27.4	26.55	18.79	21.7	27.0	28.28	22.58
肺炎・気管支炎	5.4	5.3	6.35	8.12	5.0	5.4	6.00	6.89
慢性肝疾患・肝硬変	…	…	2.27	2.16	…	…	1.06	1.06
腎炎、ネフローゼ症候群 ・ネフローゼ	…	…	…	1.68	…	…	…	1.81
不慮の事故・有害作用	…	5.1	4.03	3.51	…	2.1	1.94	1.86
自動車事故(再掲)	…	…	1.65	1.36	…	…	0.61	0.51
自 殺	…	1.5	1.90	2.39	…	1.2	1.54	1.41

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年簡易生命表』(昭60.9)による。人はいずれかの時期に、なんらかの傷病(死因)で死亡するが、生命表上のある年齢の者が将来その死因で死亡すると思われる確率を計算したものが死因別死亡確率である。

表39 特定死因を除去した場合の平均余命(男女別主要年齢)の伸び:昭和59年

(年)

死 因	0 歳	5 歳	10 歳	20 歳	35 歳	50 歳	65 歳	80 歳
男								
悪性新生物	3.24	3.25	3.24	3.23	3.19	2.98	2.05	0.72
高血圧性疾患	0.11	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
心 疾 患	1.98	1.97	1.97	1.97	1.92	1.82	1.60	1.23
脳血管疾患	1.86	1.87	1.87	1.88	1.88	1.81	1.62	1.19
肺炎・気管支炎	0.64	0.61	0.61	0.61	0.61	0.61	0.64	0.57
慢性肝疾患・肝硬変	0.35	0.36	0.36	0.36	0.36	0.28	0.12	0.04
腎炎、ネフローゼ症候群 ・ネフローゼ	0.16	0.16	0.16	0.15	0.15	0.14	0.13	0.08
不慮の事故・有害作用	0.87	0.79	0.75	0.61	0.43	0.29	0.16	0.07
自動車事故(再掲)	0.42	0.40	0.38	0.28	0.16	0.10	0.05	0.01
自 殺	0.60	0.60	0.60	0.58	0.41	0.22	0.08	0.03
女								
悪性新生物	2.43	2.43	2.42	2.40	2.32	2.02	1.36	0.49
高血圧性疾患	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	0.20	0.19
心 疾 患	2.00	2.00	1.99	1.99	1.97	1.93	1.83	1.45
脳血管疾患	2.11	2.12	2.12	2.12	2.12	2.07	1.94	1.45
肺炎・気管支炎	0.52	0.49	0.49	0.49	0.48	0.48	0.48	0.43
慢性肝疾患・肝硬変	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.13	0.08	0.03
腎炎、ネフローゼ症候群 ・ネフローゼ	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.16	0.14	0.09
不慮の事故・有害作用	0.33	0.27	0.25	0.22	0.18	0.15	0.11	0.07
自動車事故(再掲)	0.14	0.13	0.12	0.10	0.07	0.05	0.03	0.01
自 殺	0.31	0.31	0.31	0.30	0.22	0.14	0.08	0.03

厚生省大臣官房統計情報部『昭和59年簡易生命表』(昭60.9)による。ある死因を除去すれば、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。この結果死亡時期のくり延べが起り、余命が延びることになる。この延びは、その死因のために失われた余命とみることができこれによって各死因の平均余命への影響の大きさを測ることができる。

表40 都道府県別の男女別にみた出生時の平均余命の年次変化

(年)

都道府県	男				女			
	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
全 国 <sup>1)</sup>	67.74	69.84	71.79	73.57	72.92	75.23	77.01	79.00
北海道	67.46	69.26	71.46	72.96	72.82	74.73	76.74	78.58
青 森	65.32	67.82	69.69	71.41	71.77	74.68	76.50	78.39
岩 手	65.87	68.03	70.27	72.72	71.58	74.13	76.20	78.59
宮 城	67.29	69.49	71.50	73.40	73.19	75.30	77.00	78.85
秋 田	65.39	67.56	70.17	72.48	71.24	74.14	75.86	78.64
山 形	66.49	68.71	70.96	73.12	71.94	74.46	76.35	78.58
福 島	66.46	68.52	70.71	72.90	72.04	74.46	76.35	78.46
茨 城	66.99	68.32	70.58	72.78	72.52	74.43	76.12	78.35
栃 木	66.47	68.30	70.61	72.86	72.44	74.27	76.31	78.13
群 馬	67.34	69.22	71.23	73.72	72.38	74.50	76.42	78.46
埼 玉	67.26	69.38	71.88	73.79	72.45	74.62	76.61	78.68
千 葉	67.71	69.61	71.99	73.85	73.29	75.33	77.07	79.07
東 京	69.84	71.30	73.19	74.46	74.70	75.96	77.89	79.49
神奈川	69.05	70.85	72.95	74.52	74.08	75.97	77.85	79.55
新 潟	67.18	69.07	71.14	73.29	72.19	74.65	76.76	78.97
富 山	66.70	69.18	71.11	73.27	72.04	74.78	76.56	78.93
石 川	67.14	69.77	71.63	73.48	72.40	75.04	76.58	78.88
福 井	67.96	70.18	72.21	74.24	72.87	75.04	76.81	79.18
山 梨	67.56	69.42	71.66	73.26	73.29	75.38	77.43	79.21
長 野	68.45	70.46	72.40	74.50	72.81	75.22	77.00	79.44
岐 阜	68.90	70.69	72.18	74.13	73.03	74.96	76.41	78.47
静 岡	68.21	70.31	72.32	74.10	74.07	75.88	77.64	79.62
愛 知	69.00	70.74	72.39	74.08	73.67	75.28	76.63	78.73
三 重	68.61	70.23	71.75	73.83	73.32	75.29	76.84	79.07
滋 賀	67.26	69.66	71.51	73.61	72.48	74.75	76.47	78.64
京 都	69.18	71.08	72.63	74.20	73.75	75.66	77.30	79.19
大 阪	68.02	70.16	71.60	72.96	73.30	75.21	76.57	78.36
兵 庫	68.29	70.32	71.82	73.31	73.48	75.63	77.13	78.84
奈 良	67.97	70.29	72.00	73.43	72.89	75.16	76.76	78.65
和歌山	67.75	69.48	71.25	72.79	73.57	75.19	76.81	78.47
鳥 取	67.18	69.29	71.42	73.02	73.39	75.44	77.45	79.45
島 根	67.77	69.54	71.55	73.38	73.01	75.37	77.53	79.42
岡 山	68.68	70.69	72.25	74.21	74.03	76.37	77.76	79.78
広 島	68.61	70.15	72.04	73.69	73.93	75.80	77.48	79.51
山 口	67.30	69.16	71.20	72.96	72.98	75.33	77.27	79.14
徳 島	66.69	68.56	70.71	72.54	72.14	74.30	76.00	78.48
香 川	67.67	69.95	71.91	74.28	73.16	75.44	77.12	79.64
愛 媛	67.81	69.26	71.25	73.16	73.30	75.41	76.91	79.43
高 知	66.94	68.02	70.20	72.20	73.32	74.99	76.50	78.98
福 岡	67.32	69.32	71.41	72.99	73.11	75.44	77.44	79.21
佐 賀	66.69	68.83	71.10	73.09	72.65	74.85	76.83	79.02
長 崎	66.29	68.17	70.74	72.41	72.06	74.37	76.46	78.67
熊 本	67.18	69.06	71.36	73.61	72.60	74.97	76.89	79.37
大 分	66.83	68.99	71.03	73.21	72.07	74.66	76.73	78.54
宮 崎	66.93	68.40	70.75	72.77	72.45	74.62	76.77	78.84
鹿 児 島	67.36	68.14	70.54	72.53	72.71	74.62	76.53	78.44
沖 縄	...	...	72.15	74.52	...	...	78.96	81.72

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年地域別生命表』（昭57.10）による。厚生省では昭和40年から5年ごとに地域別生命表を作成しているが、各年の生命表とも国勢調査実施年を中心とした前後3年間の死亡統計に基づいている。表37の注記参照。1) 昭和45年以前は沖縄県を含まない。

表41 都道府県別の男女別にみた特定年齢の平均余命：昭和55年

(年)

都道府県	男				女			
	0 歳	20 歳	40 歳	65 歳	0 歳	20 歳	40 歳	65 歳
全 国	73.57	54.78	35.74	14.77	79.00	59.90	40.48	17.91
北海道	72.96	54.28	35.43	14.68	78.58	59.57	40.18	17.71
青 森	71.41	52.85	34.20	13.83	78.39	59.42	40.04	17.46
岩 手	72.72	54.26	35.44	14.69	78.59	59.70	40.40	17.72
宮 城	73.40	54.67	35.65	14.54	78.85	59.78	40.35	17.63
秋 田	72.48	53.77	34.95	14.30	78.64	59.51	40.11	17.30
山 形	73.12	54.29	35.33	14.21	78.58	59.53	40.11	17.44
福 島	72.90	54.30	35.39	14.46	78.46	59.52	40.17	17.50
茨 城	72.78	54.28	35.35	14.32	78.35	59.42	40.04	17.49
栃 木	72.86	54.18	35.22	14.28	78.13	59.17	39.77	17.22
群 馬	73.72	55.04	36.06	14.74	78.46	59.41	40.02	17.41
埼 玉	73.79	54.97	35.79	14.51	78.68	59.55	40.06	17.45
千 葉	73.85	55.05	35.91	14.72	79.07	59.93	40.44	17.82
東 京	74.46	55.46	36.24	15.20	79.49	60.29	40.82	18.25
神 奈 川	74.52	55.59	36.37	15.22	79.55	60.38	40.86	18.24
新 潟	73.29	54.60	35.65	14.46	78.97	59.90	40.44	17.62
富 山	73.27	54.60	35.59	14.46	78.93	59.92	40.50	17.77
石 川	73.48	54.71	35.65	14.41	78.88	59.84	40.41	17.62
福 井	74.24	55.32	36.34	14.86	79.18	60.02	40.58	17.85
山 梨	73.26	54.62	35.72	14.86	79.21	60.05	40.78	18.06
長 野	74.50	55.63	36.60	15.01	79.44	60.31	40.87	18.14
岐 阜	74.13	55.34	36.33	14.89	78.47	59.44	40.05	17.57
静 岡	74.10	55.20	36.16	15.02	79.62	60.42	40.97	18.33
愛 知	74.08	55.20	36.02	14.61	78.73	59.56	40.06	17.57
三 重	73.83	55.21	36.23	14.92	79.07	59.94	40.54	17.93
滋 賀	73.61	54.76	35.63	14.39	78.64	59.47	40.05	17.46
大 阪	74.20	55.25	36.04	14.83	79.19	60.00	40.55	17.97
京 都	72.96	54.07	34.94	14.24	78.36	59.17	39.73	17.36
兵 庫	73.31	54.48	35.46	14.62	78.84	59.67	40.26	17.85
奈 良	73.43	54.74	35.68	14.59	78.65	59.63	40.18	17.68
和 歌 山	72.79	54.24	35.26	14.60	78.47	59.52	40.17	17.71
鳥 取	73.02	54.43	35.51	14.82	79.45	60.31	41.00	18.32
島 根	73.38	54.63	35.98	15.17	79.42	60.36	41.07	18.45
岡 山	74.21	55.38	36.40	15.31	79.78	60.66	41.24	18.47
広 島	73.69	54.95	36.02	15.21	79.51	60.45	41.05	18.54
山 口	72.96	54.30	35.40	14.80	79.14	60.16	40.84	18.22
徳 島	72.54	53.97	35.17	14.61	78.48	59.48	40.21	17.77
香 川	74.28	55.52	36.67	15.40	79.64	60.50	41.10	18.51
愛 媛	73.16	54.47	35.79	15.11	79.43	60.33	41.02	18.43
高 知	72.20	53.70	35.18	14.85	78.98	59.92	40.56	18.16
福 岡	72.99	54.14	35.13	14.82	79.21	60.12	40.73	18.28
佐 賀	73.09	54.40	35.53	14.72	79.02	60.03	40.68	18.19
長 崎	72.41	53.58	34.81	14.40	78.67	59.55	40.18	17.80
熊 本	73.61	54.96	36.06	15.24	79.37	60.44	41.05	18.48
大 分	73.21	54.55	35.77	15.05	78.54	59.61	40.29	17.83
宮 崎	72.77	54.12	35.44	14.83	78.84	59.79	40.54	18.12
鹿 児 島	72.53	54.07	35.39	14.74	78.44	59.56	40.34	18.00
沖 縄	74.52	55.93	37.25	16.36	81.72	62.66	43.35	20.68

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年地域別生命表』(昭57.10)による。昭和55年地域別生命表は、昭和54～56年人口動態統計による都道府県・特別区・指定都市別、年齢別死亡数および昭和55年国勢調査によるそれらの地域別、年齢別人口等を基礎資料として作成されている。なお、表37の注記参照。

表42 都道府県別の男女別にみた出生時の平均余命の伸び：昭和50年～55年

(年)

都道府県	出生時平均余命の伸び (昭和50～55年)		都道府県	出生時平均余命の伸び (昭和50～55年)		都道府県	出生時平均余命の伸び (昭和50～55年)	
	男	女		男	女		男	女
全 国	1.78	1.99	富 山	2.16	2.37	島 根	1.83	1.89
北 海 道	1.50	1.84	石 川	1.85	2.30	岡 山	1.96	2.02
青 森 県	1.72	1.89	福 井	2.03	2.37	広 島	1.65	2.03
岩 手 県	2.45	2.39	山 梨	1.60	1.78	山 口 県	1.76	1.87
宮 城 県	1.90	1.85	長 野	2.10	2.44	徳 島 県	1.83	2.48
秋 田 県	2.31	2.78	岐 阜 県	1.95	2.06	香 川 県	2.37	2.52
山 形 県	2.16	2.23	静 岡 県	1.78	1.98	愛 媛 県	1.91'	2.52
山 梨 県	2.19	2.11	静 岡 県	1.69	2.10	高 知 県	2.00	2.48
福 島 県	2.20	2.23	愛 知 県	2.08	2.23	高 知 県	1.58	1.77
茨 城 県	2.25	1.82	滋 賀 県	2.10	2.17	福 岡 県	1.99	2.19
栃 木 県	2.49	2.04	京 都 府	1.57	1.89	佐 賀 県	1.67	2.21
群 馬 県	1.91	2.07	大 阪 府	1.36	1.79	長 崎 県	2.25	2.48
埼 玉 県	1.86	2.00	大 阪 府	1.49	1.71	熊 本 県	2.18	1.81
千 葉 県	1.27	1.60	兵 庫 県	1.43	1.89	大 宮 市	2.02	2.07
東 京 都	1.57	1.70	奈 良 県	1.54	1.66	鹿 児 島 県	1.99	1.91
神 奈 川 県	2.15	2.21	和 歌 山 県	1.60	2.00	鹿 児 島 県	2.37	2.76
新 潟 県			鳥 取 県			沖 縄 県		

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年地域別生命表』(昭57.10)による。表40を参照。

表43 特別区・指定都市別の男女別にみた出生時の平均余命の年次変化

(年)

地 域	男				女			
	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和50～55 年の伸び	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和50～55 年の伸び
東京都区部	71.23	73.08	74.31	1.23	75.98	77.89	79.39	1.50
札幌市	70.77	72.76	73.89	1.13	76.01	77.42	78.85	1.43
横浜市	70.81	72.88	74.31	1.43	76.05	77.93	79.52	1.59
川崎市	71.11	72.75	74.41	1.66	76.16	77.80	79.59	1.79
名古屋市	71.02	72.28	73.78	1.50	75.47	76.66	78.59	1.93
京都市	71.20	72.73	74.22	1.49	75.57	77.32	79.19	1.87
大阪市	69.49	70.63	72.00	1.37	74.79	76.08	77.77	1.69
神戸市	70.42	71.57	72.83	1.26	75.70	76.99	78.71	1.72
広島市	...	...	73.90	...	...	...	79.78	...
北九州市	69.24	70.95	72.70	1.75	75.08	76.94	78.84	1.90
福岡市	70.48	72.54	73.54	1.00	76.18	78.02	79.43	1.41

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年地域別生命表』(昭57.10)による。表37と表40の注記参照。

表44 特別区・指定都市別の男女別にみた特定年齢の平均余命：昭和55年

(年)

地 域	男				女			
	0 歳	20 歳	40 歳	65 歳	0 歳	20 歳	40 歳	65 歳
東京都区部	74.31	55.31	36.11	15.21	79.39	60.21	40.74	18.20
札幌市	73.89	54.96	35.90	14.90	78.85	59.71	40.26	17.69
横浜市	74.31	55.34	36.11	15.01	79.52	60.29	40.78	18.16
川崎市	74.41	55.51	36.27	15.29	79.59	60.41	40.93	18.34
名古屋市	73.78	54.90	35.72	14.53	78.59	59.39	39.91	17.53
京都市	74.22	55.20	35.94	14.86	79.19	59.97	40.50	18.01
大阪市	72.00	53.08	34.10	13.93	77.77	58.69	39.35	17.17
神戸市	72.83	53.89	34.85	14.40	78.71	59.43	40.03	17.83
広島市	73.90	55.00	35.90	15.04	79.78	60.55	41.08	18.56
北九州市	72.70	53.74	34.68	14.52	78.84	59.82	40.37	17.93
福岡市	73.54	54.55	35.42	15.01	79.43	60.23	40.76	18.28

厚生省大臣官房統計情報部『昭和55年地域別生命表』(昭57.10)による。表37と表41の注記参照。



表45 配偶関係別にみた男女別主要年齢の平均余命の年次変化

年 齢	男				女			
	未 婚	有配偶	死 別	離 別	未 婚	有配偶	死 別	離 別
昭和50年								
20 歳	43.31	54.72	40.69	42.20	50.86	61.41	55.20	56.26
25	38.52	49.86	40.10	38.17	46.00	56.52	51.78	51.93
30	33.81	45.01	38.15	34.16	41.27	51.64	47.63	47.53
35	29.34	40.19	34.47	30.34	36.70	46.80	43.01	43.06
40	25.27	35.48	30.43	26.88	33.29	42.00	38.35	38.57
45	21.59	30.91	26.53	23.70	27.96	37.29	33.73	34.15
50	18.20	26.48	22.72	20.67	23.78	32.67	29.20	29.82
55	15.07	22.22	19.03	17.76	19.88	28.20	24.79	25.54
60	12.25	18.20	15.53	14.97	16.32	23.89	20.52	21.38
65	9.86	14.52	12.33	12.37	13.04	19.81	16.44	17.48
70	8.03	11.31	9.53	10.09	10.06	16.12	12.71	13.88
75	6.75	8.65	7.19	8.08	7.46	13.06	9.48	10.80
80	5.91	6.58	5.29	6.41	5.32	10.88	6.86	8.38
85	5.31	5.16	3.90	5.73	3.72	10.01	4.93	6.65
昭和55年								
20 歳	44.36	56.02	43.08	43.20	50.93	63.66	54.34	58.22
25	39.56	51.13	42.10	39.24	46.03	58.73	52.69	53.94
30	34.76	46.25	39.25	35.16	41.21	53.83	48.91	49.36
35	30.12	41.39	35.46	31.13	36.50	48.95	44.42	44.78
40	25.79	36.61	31.42	27.34	31.93	44.13	39.79	40.23
45	21.85	31.96	27.50	23.97	27.51	39.37	35.14	35.70
50	18.22	27.49	23.71	20.96	23.21	34.71	30.56	31.26
55	14.90	23.20	20.00	18.08	19.06	30.17	26.07	26.94
60	11.85	19.10	16.40	15.29	15.13	25.77	21.72	22.76
65	9.02	15.30	13.07	12.65	11.48	21.58	17.55	18.77
70	6.62	11.92	10.09	10.29	8.26	17.72	13.68	15.08
75	4.81	9.09	7.60	8.22	5.63	14.46	10.25	11.82
80	3.45	6.89	5.64	6.29	3.61	12.22	7.44	9.11
85	2.33	5.38	4.18	5.12	1.96	11.11	5.36	7.08

石川晃「昭和55年配偶関係別生命表」『人口問題研究』第169号（昭59.1）による。

前掲のように（表37の注記参照）、生命表は本来、男女別人口について、全国あるいは都道府県などの地域について計算されるが、同じ考え方によって、配偶関係別生命表、職業別生命表等の特殊生命表（差別生命表ともいう）が作成される。配偶関係の違いは、人間の生活に大きな影響を与える。さらに健康状態にも影響すると思われる。事実、配偶関係別生命表をみると、配偶関係の違いによってかなりの平均余命の差がみられる。配偶関係別生命表は配偶関係別人口と配偶関係別死亡数があれば、普通生命表と同じ方法で作成することができる。したがって、国勢調査年次については作成することができるが、分子の死亡数と分母の人口では配偶関係という性格上ずれがあることはいうまでもない。また、職業別生命表を作成するにあたっては幾つかの問題点がある。まず職業であるが、死亡時の職業であり、途中転職もあろうし、生涯一つの職業で通した人ばかりではない（これは配偶関係別生命表についてもいえることである）。また、人口動態統計による職業別死亡は届け出によるもので、通常、死亡者の身内か知人が届け出るものであり、どのような職業として届け出るかは届け人にまかされる。したがって、人口動態統計の職業別死亡の信頼性となると疑問なしとしない。さらに、分母の人口は一時点の職業であり、分子の死亡数と異なる等の問題がある。利用に際しては、これらの問題点を念頭において用いねばならない。

表46 男子就業者の職業別にみた主要年齢の平均余命の年次変化

年 齢	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
	15歳以上就業者総数			専門的・技術的職業従事者			管理的職業従事者		
15 歳	57.79	59.50	60.50	59.10	60.52	60.52	60.39	60.63	62.12
20	52.93	54.62	55.65	54.24	55.64	55.64	55.49	55.92	57.23
25	48.13	49.77	50.83	49.42	50.78	50.78	50.62	51.28	52.38
30	43.40	44.98	46.00	44.60	45.94	45.92	45.77	46.61	47.54
35	38.70	40.22	41.18	39.77	41.09	41.06	40.92	41.84	42.66
40	34.05	35.52	36.42	34.95	36.26	36.26	36.06	37.01	37.77
45	29.52	30.92	31.77	30.23	31.52	31.55	31.26	32.21	32.93
50	25.13	26.46	27.25	25.67	26.91	26.97	26.57	27.52	28.20
55	20.91	22.13	22.86	21.29	22.45	22.55	22.00	22.94	23.58
60	16.79	17.90	18.58	17.04	18.10	18.30	17.53	18.44	19.06
65	13.22	14.12	14.77	13.36	14.23	14.56	13.66	14.45	15.07
	事務従事者			販売従事者			農林漁業作業者		
15 歳	57.72	59.49	60.91	56.87	58.68	59.97	56.17	57.71	58.74
20	52.84	54.60	56.05	51.98	53.78	55.11	51.42	52.94	54.00
25	48.01	49.76	51.21	47.14	48.91	50.25	46.78	48.27	49.34
30	43.23	44.96	46.37	42.36	44.06	45.39	42.23	43.66	44.72
35	38.49	40.19	41.54	37.65	39.26	40.52	37.69	39.08	40.12
40	33.83	35.49	36.77	33.04	34.54	35.72	33.17	34.53	35.56
45	29.32	30.91	32.12	28.59	29.99	31.07	28.75	30.09	31.10
50	24.99	26.47	27.62	24.35	25.64	26.61	24.48	25.78	26.77
55	20.83	22.16	23.23	20.31	21.47	22.35	20.39	21.61	22.56
60	16.76	17.94	18.89	16.39	17.44	18.22	16.44	17.55	18.42
65	13.22	14.15	15.00	12.98	13.84	14.56	13.00	13.91	14.70
	採鉱・採石作業者			運輸・通信従事者			技能工・生産工程作業者及び単純労働者		
15 歳	52.69	55.09	51.14	57.56	59.55	60.12	58.25	60.04	61.56
20	48.10	50.37	46.83	52.81	54.76	55.37	53.37	55.13	56.69
25	43.73	45.84	42.68	48.14	50.03	50.64	48.57	50.28	51.84
30	39.49	41.46	38.51	43.51	45.32	45.88	43.84	45.48	47.00
35	35.28	37.17	34.22	38.85	40.59	41.10	39.17	40.72	42.17
40	31.05	32.95	29.91	34.20	35.87	36.32	34.56	36.03	37.39
45	26.87	28.80	25.76	29.63	31.23	31.62	30.04	31.44	32.71
50	22.84	24.78	21.93	25.21	26.72	27.05	25.64	26.95	28.12
55	19.05	20.88	18.51	20.96	22.33	22.65	21.34	22.56	23.61
60	15.47	17.06	15.43	16.83	18.04	18.39	17.11	18.21	19.14
65	12.38	13.62	12.74	13.24	14.21	14.64	13.43	14.32	15.14
	保安職業従事者			サービス職業従事者			無 職		
15 歳	59.82	60.98	61.79	57.20	59.39	58.63	...	41.08	44.52
20	54.87	56.04	56.84	52.30	54.48	53.76	...	36.24	39.59
25	49.96	51.12	51.92	47.46	49.62	48.93	...	31.76	34.92
30	45.10	46.25	47.02	42.72	44.82	44.13	...	27.82	30.68
35	40.28	41.39	42.13	38.05	40.08	39.35	...	24.47	27.03
40	35.48	36.57	37.29	33.46	35.43	34.68	...	21.72	24.01
45	30.77	31.83	32.54	28.99	30.90	30.20	...	19.43	21.53
50	26.17	27.19	27.90	24.70	26.49	25.94	...	17.43	19.39
55	21.70	22.69	23.37	20.58	22.19	21.88	...	15.53	17.31
60	17.33	18.27	18.93	16.58	17.96	17.94	...	13.57	15.09
65	13.55	14.34	15.00	13.09	14.17	14.40	...	11.58	12.82

石川晃「昭和55年職業別男子就業者の生命表」『人口問題研究』第173号(昭60.1)による。表45の注記参照。

表47 主要国の普通死亡率の推移

(‰)

年次	カナダ	アメリカ合衆国	オーストラリア	ベルギー	ブルガリア	チェコスロバキア	デンマーク	フィンランド	フランス
1950	9.0	9.6	12.4	12.5	10.2	11.5	9.2	10.1	12.8
1955	8.2	9.2	12.2	12.3	9.1	9.6	8.7	9.3	12.1
1960	7.8	9.5	12.7	12.4	8.1	9.2	9.5	9.0	11.4
1965	7.6	9.4	13.0	12.1	8.2	10.0	10.1	9.7	11.2
1970	7.3	9.4	13.3	12.3	9.1	11.6	9.7	9.6	10.7
1975	7.4	8.9	12.8	12.2	10.3	11.5	10.1	9.3	10.6
1976	7.3	8.9	12.7	12.1	10.1	11.4	10.6	9.5	10.5
1977	7.2	8.8	12.3	11.5	10.7	11.5	9.9	9.3	10.1
1978	7.2	8.8	12.6	11.7	10.5	11.6	10.4	9.2	10.3
1979	7.1	8.7	12.3	11.4	10.7	11.5	10.7	9.2	10.1
1980	7.2	8.7	12.3	11.6	11.1	12.2	10.9	9.3	10.2
1981	7.0	* 8.6	12.3	11.5	10.7	11.8	11.0	9.2	10.3
1982	7.1	* 8.6	12.0	11.1	...	11.7	10.8	9.0	10.1
1983	7.0	* 8.6	* 12.3	* 11.3	* 11.4	* 12.0	* 11.2	* 9.3	* 10.2
1984	...	* 8.7	* 11.6	* 11.1	* 11.3	* 11.8	* 11.2	* 9.2	* 9.8

年次	東ドイツ <sup>2)</sup>	西ドイツ <sup>3)</sup>	ギリシア	ハンガリー	イタリア	オランダ	ノルウェー	ポーランド	ポルトガル
1950	11.9	10.6	7.1	11.4	9.7	7.5	9.1	11.6	12.2
1955	11.9	11.1	6.9	10.0	9.2	7.6	8.5	9.6	11.6
1960	13.6	11.6	7.3	10.2	9.6	7.7	9.1	7.6	10.8
1965	13.5	11.5	7.8	10.6	10.0	7.9	9.5	7.4	10.3
1970	14.1	12.1	8.4	11.6	9.7	8.4	10.0	8.2	10.3
1975	14.3	12.1	8.9	12.4	9.9	8.3	10.0	8.7	10.4
1976	13.9	11.9	8.9	12.5	9.8	8.3	10.0	8.8	10.5
1977	13.5	11.5	9.0	12.4	9.7	7.9	9.8	9.0	9.9
1978	13.9	11.8	8.7	13.1	9.5	8.2	10.0	9.3	9.8
1979	13.9	11.6	8.7	12.8	9.4	8.0	10.2	9.2	9.4
1980	14.2	11.6	9.1	13.6	9.7	8.1	10.1	9.8	9.9
1981	13.9	11.7	8.9	13.5	9.6	8.1	10.2	9.2	...
1982	13.7	11.6	* 8.7	13.5	9.4	8.2	10.1	9.2	9.4
1983	* 13.3	* 11.7	* 9.1	* 13.9	* 9.9	* 8.2	* 10.2	* 9.6	9.6
1984	* 13.3	* 11.3	* 8.9	* 13.7	* 9.3	* 8.3	* 10.2	9.6	...

年次	ルーマニア	スペイン <sup>4)</sup>	スウェーデン	スイス	イギリス	ユーゴスラビア	オーストラリア	ニュージーランド	ソビエト連邦
1950	12.4	10.9	10.0	10.1	11.7	13.0	9.6	9.5	9.7
1955	9.7	9.4	9.5	10.1	11.7	11.4	8.9	9.0	8.2
1960	8.7	8.8	10.0	9.7	11.5	9.9	8.6	8.8	7.1
1965	8.6	8.5	10.1	9.5	11.5	8.8	8.8	8.7	7.3
1970	9.5	8.3	10.0	9.1	11.8	8.9	9.0	8.8	8.2
1975	9.3	8.4	10.8	8.7	11.9	8.7	7.9	8.2	9.3
1976	9.6	8.3	11.0	9.0	12.2	8.5	8.1	8.2	9.4
1977	9.6	8.1	10.7	8.8	11.7	8.4	7.7	8.3	9.6
1978	9.7	8.1	10.8	9.1	11.9	8.7	7.6	7.9	9.7
1979	9.9	7.8	11.0	9.0	12.1	8.6	7.3	8.1	10.1
1980	10.4	7.7	11.0	9.3	11.8	8.8	7.4	8.6	10.3
1981	10.0	7.6	11.1	9.3	11.7	9.0	7.3	8.0	10.2
1982	10.0	7.4	10.9	9.3	11.8	8.9	7.6	8.1	10.1
1983	10.4	...	* 10.9	* 9.3	* 11.8	* 9.6	* 7.3	8.1	* 10.4
1984	...	...	* 10.9	* 9.1	* 11.4	* 9.3	* 7.1	...	* 10.8

United Nations, *Demographic Yearbook*, 1978~1982年版および同じく UN, *Statistical Papers*, Series A, Vol. XXX VII, No. 4 (Population and Vital Statistics Report, Data available as of 1 October 1985) による。各年の人口1,000についての死亡率。

\* 暫定値。1) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。2) 東ベルリンを含む。3) 西ベルリンを含む。4) セウタおよびメリラを除く。

表48 主要国の乳児死亡率の推移

(%)

年次	カナダ	アメリカ合衆国	シンガポール	オーストラリア	ベルギー	ブルガリア	チェコスロバキア	デンマーク	フィンランド
1950	41.5	29.2	82.2	66.1	53.4	94.5	77.7	30.7	43.5
1955	31.3	26.6	49.6	45.6	40.7	82.4	34.1	25.2	29.7
1960	27.3	26.0	34.8	37.5	31.2	45.1	23.5	21.5	21.0
1965	23.6	24.7	26.1	28.3	23.7	30.8	25.5	18.7	17.6
1970	18.8	20.0	19.7	25.9	21.1	27.3	22.1	14.2	13.2
1975	14.3	16.1	13.9	20.5	16.1	23.1	20.8	10.3	9.6
1976	13.5	15.2	11.6	18.2	15.3	23.5	21.0	10.2	9.9
1977	12.4	14.1	12.4	16.8	13.6	24.0	19.7	8.7	9.1
1978	12.0	13.8	12.6	15.0	11.6	22.2	18.8	8.8	7.6
1979	10.9	12.9	13.2	14.7	11.2	19.8	17.7	8.8	7.7
1980	10.4	12.6	11.7	14.3	11.0	20.2	18.4	8.4	7.6
1981	9.6	* 11.8	10.7	12.7	11.6	18.9	16.9	7.9	6.5
1982	9.1	* 11.3	10.7	12.8	11.7	...	16.1	8.2	6.0
1983	8.5	* 10.9	9.4	* 12.0	* 11.3	* 16.8	15.7	7.7	6.2
1984	...	* 10.6	...	* 11.5	* 10.7	* 16.2	...	...	...

年次	フランス	東ドイツ <sup>2)</sup>	西ドイツ <sup>3)</sup>	ギリシア	ハンガリー	アイランド	イタリア	オランダ	ノルウェー
1950	52.0	75.5	57.2	35.4	85.7	46.2	63.8	26.7	28.2
1955	38.6	48.9	42.7	44.4	60.0	36.7	50.9	21.6	20.6
1960	27.4	38.8	33.8	40.1	47.6	29.3	43.9	17.9	18.9
1965	21.9	24.8	23.9	34.3	38.8	25.2	36.0	14.4	16.8
1970	18.2	18.5	23.6	29.6	35.9	19.5	29.6	12.7	12.7
1975	13.8	15.9	19.8	24.0	32.8	17.5	21.2	10.6	11.1
1976	12.5	13.9	17.4	22.5	29.8	15.5	19.5	10.7	10.5
1977	11.4	13.1	15.5	20.4	26.2	15.5	18.1	9.5	9.2
1978	10.7	13.4	14.7	19.3	24.4	15.0	17.1	9.6	8.6
1979	10.0	12.9	13.5	18.7	24.0	12.4	15.3	8.7	8.8
1980	10.0	12.1	12.6	17.9	23.2	11.2	14.3	8.6	8.1
1981	9.7	12.3	11.6	16.3	20.8	10.6	14.1	8.3	7.5
1982	9.3	11.4	10.9	* 14.3	20.0	* 10.5	12.7	8.3	8.1
1983	* 9.0	* 10.7	10.3	* 14.9	* 19.0	9.8	* 12.4	* 8.4	7.9
1984	* 8.2	* 10.0	...	* 14.1	* 20.2	...	* 11.6	* 8.3	...

年次	ポーランド	ルーマニア	スペイン <sup>4)</sup>	スウェーデン	スイス	イギリス	ユーゴスラビア	オーストラリア	ニュージーランド
1950	108.0	116.7	69.8	21.0	31.2	31.4	118.4	24.5	27.6
1955	81.4	78.2	56.9	17.4	26.5	25.8	112.8	22.0	24.5
1960	56.1	75.7	43.7	16.6	21.1	22.5	87.7	20.2	22.6
1965	41.7	44.1	37.8	13.3	17.8	19.6	71.8	18.5	19.5
1970	33.2	49.4	26.5	11.0	15.1	18.4	55.5	17.9	16.7
1975	24.9	34.7	18.9	8.6	10.7	16.0	39.7	14.3	16.0
1976	23.8	31.4	17.1	8.3	10.7	14.5	36.8	13.8	14.0
1977	24.6	31.2	15.6	8.0	9.8	14.1	35.6	12.5	14.2
1978	22.5	30.3	15.1	7.8	8.6	13.3	33.8	12.2	13.8
1979	21.1	31.6	12.8	7.5	8.5	12.9	32.7	11.4	12.5
1980	21.3	29.3	11.1	6.9	9.1	12.1	31.4	10.7	12.9
1981	20.6	28.6	10.3	6.9	7.6	11.1	30.7	10.0	11.7
1982	20.2	28.0	9.6	6.8	7.7	11.0	29.9	10.3	11.8
1983	* 19.2	23.9	...	* 7.0	...	* 10.2	* 31.7	9.6	12.5
1984	19.2	...	...	* 6.3	...	* 9.6	* 28.9	...	...

前表と同じく、UN, *Demographic Yearbook*, および *Statistical Papers (Series A)* による。各年の出生1,000についての生後1年未満の死亡率。

\* 暫定値。1) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。2) 東ベルリンを含む。3) 西ベルリンを含む。4) セウタおよびメリラを除く。

表49 主要国の主要死因別にみた死亡率の推移

(人口10万について)

年次	総数	全結核	悪性新生物	脳血管疾患	心臓疾患	高血圧疾患	肺炎	腸炎、下痢疾患	自動車事故	その他の不慮事故	自殺、自傷
カナダ											
1965	759.7	3.5	132.9	79.9	264.8	16.8	26.1	3.6	25.8	30.2	8.7
1971	728.3	2.1	143.7	74.4	248.8	7.9	23.2	1.2	26.4	29.4	11.9
1976	726.4	1.2	151.5	69.4	248.0	6.3	22.3	1.1	22.5	26.4	12.8
1977	719.2	1.1	154.8	66.6	246.1	6.5	20.9	1.0	22.6	25.4	14.2
1978	716.0	1.0	158.3	64.6	240.8	6.4	19.7	0.9	22.0	25.6	14.8
1982	708.3	0.6	170.4	59.0	237.2	6.1	20.7	0.2	16.5	22.0	14.3
アメリカ合衆国											
1965	943.3	4.1	153.6	103.7	338.8	34.4	30.8	4.1	25.4	30.4	11.1
1970	938.0	2.7	161.5	101.5	352.1	11.0	28.5	1.1	26.1	28.0	11.0
1975	888.5	1.6	171.7	91.1	331.1	8.1	24.1	0.9	21.5	26.8	12.7
1976	889.6	1.4	175.8	87.9	332.3	7.8	25.2	0.9	21.9	25.0	12.5
1977	877.9	1.4	178.7	84.1	327.2	7.5	23.1	0.9	22.9	24.8	13.8
1978	883.4	1.3	181.9	80.5	329.5	7.3	24.9	0.9	24.0	24.4	12.5
1979	852.2	0.9	179.6	75.5	315.4	14.2	19.8	0.2	23.3	23.6	12.1
1980	875.8	0.8	183.3	74.9	324.1	14.4	22.9	0.2	22.9	23.6	11.8
チリ											
1965	1,067.6	40.8	99.6	62.1	101.6	11.4	156.3	61.9		83.3	
1970	854.3	23.9	104.7	59.1	103.5	8.4	114.5	42.2	10.0	27.9	5.0
1976	770.3	18.5	101.5	57.9	90.7	6.5	72.1	20.0	9.0	15.8	5.7
1977	690.1	18.2	99.2	54.8	74.1	8.0	53.1	17.8	8.5	18.4	5.8
1978	666.1	15.8	97.3	57.6	78.5	8.8	44.8	12.4	10.6	19.5	5.2
1980	663.8	12.2	102.0	60.7	88.7	8.8	38.5	8.7	12.9	20.2	4.9
1982	608.6	8.6	102.4	58.2	86.0	7.8	28.3	5.5	10.2	20.5	5.6
イスラエル											
1965	634.5	3.5	103.9	78.4	178.8	11.0	18.1	8.5	12.3	<sup>2)</sup> 22.5	6.2
1970	701.6	2.3	115.7	88.0	211.9	7.1	18.5	6.0	15.5	19.9	5.2
1975	712.0	1.7	120.3	88.3	219.4	5.9	19.3	7.6	17.9	18.5	7.5
1977	690.6	1.4	125.1	88.7	216.9	5.1	17.6	4.0	15.7	17.7	6.5
1978	681.2	1.3	127.9	82.3	208.7	5.0	18.2	3.5	13.9	18.3	5.6
1980	677.7	0.4	125.3	77.8	153.8	8.2	21.5	0.6	10.4	13.8	6.0
オーストリア											
1965	1,299.4	20.1	261.6	187.1	308.5	24.4	34.9	7.2	24.6	42.9	22.8
1970	1,337.0	13.0	262.1	199.4	344.1	18.5	53.0	0.0	33.6	44.9	24.2
1975	1,277.2	7.7	252.8	192.4	367.4	23.4	45.9	0.0	33.0	39.6	24.1
1976	1,266.3	7.5	255.3	197.7	371.7	24.8	42.2	0.0	28.8	41.0	22.7
1978	1,260.1	6.0	252.3	194.2	380.3	24.2	32.7	0.0	28.9	40.0	24.8
1979	1,226.3	6.5	251.8	182.9	369.3	22.8	28.9	0.0	28.0	39.6	25.1
1980	1,231.7	5.4	256.9	195.2	391.6	28.9	31.3	0.1	25.1	37.6	25.7
1981	1,234.6	4.6	255.2	197.4	385.7	30.8	30.5	0.1	24.4	36.5	27.1
1982	1,216.2	3.8	253.6	187.8	384.7	29.7	28.1	0.3	25.0	37.4	27.6
デンマーク											
1965	1,006.4	2.0	225.6	120.1	334.8	14.1	17.1	3.4	21.9	30.3	19.3
1970	978.6	2.9	221.9	107.1	332.4	7.8	20.0	1.1	24.8	23.4	21.5
1976	1,064.6	1.9	246.0	98.4	373.2	5.9	37.8	0.8	17.1	19.9	23.9
1978	1,030.2	1.6	225.1	95.9	359.9	7.0	31.2	0.7	16.9	22.1	23.3
1979	1,062.6	1.7	262.3	96.7	371.5	6.6	33.2	0.7	14.3	24.1	25.8
1980	1,091.9	1.4	270.0	100.3	370.1	7.3	37.2	0.7	13.9	23.7	31.6
1981	1,095.7	1.6	269.2	101.2	375.4	6.8	33.7	0.8	13.3	24.5	30.0
1982	1,076.9	0.9	269.1	103.1	357.6	7.0	31.6	0.7	13.0	24.8	29.0

WHO, *World Health Statistics Annual* および United Nations, *Demographic Yearbook* による。死因分類は国、年次によって異なるところもあるので、死因内容は必ずしも一致しない。1) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。2) 他殺および戦争による死亡を含む。(次ページにつづく)

表49 主要国の主要死因別死亡率の推移 (つづき)

(人口10万について)

年次	総数	全結核	悪性新生物	脳血管疾患	心臓疾患	高血圧疾患	肺炎	腸炎、下痢疾患	自動車事故	その他の不慮事故	自殺、自傷
フィンランド											
1965	964.4	14.0	156.3	134.5	320.3	22.5	26.2	3.0	23.3	34.2	19.8
1970	940.4	8.2	165.9	127.7	320.4	16.7	36.0	1.2	23.0	35.5	21.0
1975	930.8	6.2	173.7	109.6	325.2	15.0	36.6	1.6	19.4	35.2	25.0
1977	934.3	5.8	179.8	109.2	335.0	12.1	40.4	1.3	14.8	36.2	25.8
1978	922.0	5.8	185.1	111.7	333.7	12.1	33.1	1.2	13.3	32.8	25.2
1979	920.5	4.9	188.3	106.3	336.2	11.5	34.5	1.2	13.8	33.8	24.7
1980	931.3	5.0	187.7	106.6	329.3	11.6	41.1	1.4	11.9	32.6	25.7
フランス											
1965	1,104.5	14.6	203.6	132.2	202.0	10.0	23.3	0.9	25.2	44.2	15.0
1970	1,063.0	8.2	207.4	147.2	196.8	11.9	17.7	1.1	23.5	51.3	15.4
1976	1,051.6	5.2	225.4	141.0	200.2	15.4	17.0	1.4	23.3	48.6	15.8
1977	1,010.3	4.8	225.2	129.5	190.4	14.6	15.7	1.6	21.9	48.7	16.5
1978	1,024.0	4.6	228.2	129.1	195.5	14.7	15.6	1.6	20.5	48.3	17.2
1980	1,018.6	3.0	231.5	125.8	212.1	10.5	9.0	0.6	20.5	49.5	19.4
1981	1,028.1	3.0	234.7	124.1	208.3	9.9	11.8	0.8	20.4	48.7	19.6
西ドイツ <sup>3)</sup>											
1965	1,148.3	12.8	228.3	182.5	243.8	20.9	26.7	3.2	26.4	33.0	20.0
1970	1,193.7	8.2	231.4	173.4	294.2	20.3	31.9	1.0	31.1	32.3	21.2
1975	1,211.8	5.5	246.5	169.3	327.8	22.1	28.4	0.9	23.5	30.3	20.9
1976	1,191.8	5.0	248.1	169.1	331.0	21.7	23.8	0.8	23.5	28.0	21.7
1978	1,179.3	4.2	252.9	166.0	335.1	21.5	24.0	0.7	23.1	26.1	22.2
1980	1,160.2	2.5	254.7	166.3	357.8	23.3	20.7	0.6	20.2	24.8	20.9
1981	1,170.8	2.3	257.1	168.9	368.2	23.1	20.6	0.5	18.2	24.7	21.7
1982	1,161.4	2.2	259.5	161.6	365.6	21.4	25.4	0.5	17.8	25.5	21.3
ハンガリー											
1965	1,065.4	25.1	191.4	165.5	287.3	28.8	15.6	4.4	8.8	31.5	29.8
1970	1,166.0	19.3	216.0	169.5	320.9	38.5	16.7	3.2	16.7	37.9	34.9
1975	1,243.8	13.0	242.1	172.5	298.2	63.0	10.3	2.0	18.0	42.2	38.5
1976	1,247.7	14.3	241.1	183.3	297.3	61.1	8.8	1.1	16.0	42.8	40.6
1977	1,240.0	11.9	243.7	180.5	309.6	59.6	10.5	1.3	17.6	45.7	40.3
1978	1,311.4	11.4	252.0	187.8	336.5	62.3	13.2	1.2	19.8	49.2	43.1
1979	1,278.9	9.9	251.8	217.4	303.5	38.3	14.2	0.4	17.1	50.0	44.6
1980	1,357.1	10.8	257.2	232.0	327.9	41.0	15.7	0.3	16.2	50.6	44.9
1981	1,351.4	9.3	260.4	226.6	337.8	40.0	13.5	0.3	15.5	53.4	45.6
1982	1,348.1	8.8	263.9	222.6	339.6	41.1	14.0	0.2	15.3	53.1	43.5
イタリア											
1965	983.2	12.9	162.0	136.3	253.3	33.5	36.9	8.6	20.8	22.4	5.4
1970	972.8	7.0	179.1	131.9	251.5	25.2	39.4	5.4	24.3	22.3	5.8
1975	992.9	4.6	194.0	136.1	270.5	27.6	30.9	1.9	21.5	25.4	5.6
1976	980.2	4.2	198.4	137.6	272.9	27.2	25.7	1.4	20.0	24.8	5.7
1978	953.3	3.4	204.1	136.3	264.6	26.6	20.9	1.0	18.3	24.1	6.4
1980	971.6	2.7	213.5	133.3	263.0	29.8	21.0	0.8	19.2	27.1	7.3
オランダ											
1965	797.5	1.8	183.0	98.7	223.5	13.0	14.2	3.4	19.7	24.1	6.9
1970	841.1	1.2	194.6	97.2	246.1	10.0	22.8	1.5	24.4	25.0	8.1
1976	831.2	1.0	206.8	89.9	256.7	6.6	15.9	1.0	17.7	21.5	9.4
1977	794.7	0.7	205.6	85.1	244.4	6.8	18.0	1.1	18.6	18.7	9.2
1978	820.7	1.3	213.4	88.6	251.7	6.5	20.6	0.3	16.7	18.3	9.7
1979	801.8	0.5	215.2	86.3	255.6	6.4	18.8	0.3	13.9	19.8	10.4
1980	807.6	0.3	216.7	85.1	254.1	5.3	19.7	0.3	13.4	18.1	10.1
1981	810.8	0.4	221.8	84.9	257.8	4.3	19.6	0.3	12.2	17.5	10.0
1982	819.3	0.3	222.3	84.7	259.3	4.8	22.2	0.4	11.7	17.4	10.7

3) 西ベルリンを含む。

(次ページにつづく)

表49 主要国の主要死因別死亡率の推移 (つづき)

(人口10万について)

年次	総数	全結核	悪性新生物	脳血管疾患	心臓疾患	高血圧疾患	肺炎	腸炎、下痢疾患	自動車事故	その他の不慮事故	自殺、自傷
ノルウェー											
1965	948.6	3.9	172.0	153.7	274.7	18.0	55.0	3.6	12.2	35.9	7.7
1970	998.7	2.6	186.1	157.4	311.8	14.8	63.7	1.8	15.4	35.6	8.4
1975	984.8	2.2	196.0	143.4	315.6	13.0	71.7	1.5	14.0	36.4	9.9
1977	985.0	1.7	204.6	136.3	308.6	15.1	65.0	1.2	11.6	34.4	11.4
1978	1,002.3	2.0	207.9	137.6	315.3	14.5	63.2	1.2	11.4	34.3	11.7
1979	1,022.3	2.3	211.6	133.4	326.4	12.5	65.4	1.3	11.2	35.6	12.1
1980	1,011.8	2.2	211.1	129.3	323.5	14.2	60.5	0.9	9.3	41.7	12.4
1981	1,021.9	1.9	219.3	135.1	326.4	13.8	60.1	0.8	9.5	35.9	12.8
1982	1,007.4	2.0	231.4	127.8	324.8	13.6	56.9	1.2	10.4	36.8	14.0
ポランド											
1965	737.9	37.4	123.7	31.7	127.0	17.3	28.7	7.6	8.0	30.8	9.0
1970	821.6	25.6	138.2	38.0	157.2	20.2	29.3	1.3	11.2	33.6	11.3
1975	872.7	12.8	152.2	53.2	185.5	17.9	27.8	1.3		52.3	11.4
1977	902.0	11.5	156.2	62.5	203.3	18.3	24.4	1.7		54.8	12.4
1978	928.6	11.2	158.4	65.1	210.5	19.0	24.9	1.1		54.7	13.3
1980	984.3	8.3	167.8	65.4	224.7	20.4	21.8	1.2	...	...	...
スウェーデン											
1965	1,011.1	4.6	187.6	120.9	341.4	26.4	51.7	4.3	17.9	26.1	18.9
1970	995.0	4.8	203.2	105.6	367.4	10.4	39.6	1.4	17.1	25.4	22.3
1975	1,076.6	4.3	237.8	119.2	409.6	4.6	24.5	0.2	15.1	32.9	19.4
1978	1,082.4	3.0	241.4	114.1	423.2	4.0	34.0	0.1	13.1	33.7	19.0
1979	1,097.9	3.1	343.8	109.8	434.4	4.2	38.9	0.0	12.1	31.4	20.5
1980	1,104.6	3.3	242.0	110.4	440.0	4.2	34.4	0.1	11.0	30.2	19.4
1982	1,089.0	2.0	229.5	113.0	434.6	4.7	48.8	0.1	9.6	22.2	19.4
スイス											
1965	934.3	8.5	187.7	118.5	257.3	25.5	19.1	4.3	21.2	37.2	18.1
1970	911.0	6.2	194.0	104.2	235.4	21.5	19.8	0.3	25.8	34.6	18.4
1975	873.1	4.7	207.6	104.4	248.1	23.5	21.0	0.3	19.3	29.5	22.3
1977	879.7	3.3	215.0	105.6	269.6	23.2	19.1	0.7	20.2	26.6	23.8
1978	916.9	2.6	219.3	108.5	283.9	24.0	18.6	0.7	20.2	26.7	24.1
1979	911.1	2.0	218.5	107.9	275.8	22.5	20.6	0.5	20.0	28.4	24.7
1980	935.9	2.8	221.2	109.1	282.3	20.0	22.5	0.4	19.2	30.4	25.7
1981	939.2	3.1	234.4	106.1	286.1	20.3	17.0	0.4	18.2	30.5	23.8
イギリス <sup>4)</sup>											
1965	1,150.2	4.8	222.6	163.6	360.8	27.2	65.0	5.2	15.7	23.6	10.8
1970	1,174.1	3.3	236.2	161.9	359.2	20.6	87.1	1.2	13.9	21.4	8.0
1976	1,216.9	2.3	255.2	153.4	386.1	15.5	113.2	0.7	12.3	18.3	7.8
1979	1,206.0	1.3	260.7	151.3	397.6	13.2	110.6	0.5	11.8	18.4	8.5
1980	1,180.6	1.3	262.4	145.1	390.4	11.3	109.1	0.4	11.7	16.8	8.8
1981	1,165.3	1.2	262.4	140.4	385.2	10.9	109.0	0.4	8.2	18.6	8.9
1982	1,172.9	1.1	263.2	139.2	382.6	10.4	114.0	0.4	10.6	16.2	8.6
オーストラリア											
1965	877.8	2.6	133.2	120.1	316.9	18.7	29.7	4.1	27.8	26.0	14.8
1970	905.4	1.6	145.1	125.6	317.9	14.0	25.2	2.6	31.7	23.9	12.4
1975	791.6	0.9	147.8	111.4	275.4	10.3	15.5	0.2	27.5	21.6	11.1
1977	773.0	0.7	151.8	103.3	268.6	9.6	16.0	1.5	27.2	20.7	11.1
1979	738.9	0.5	153.5	93.1	258.2	9.8	13.9	0.6	24.8	19.6	11.6
1980	743.7	0.5	159.6	93.9	254.1	9.1	12.1	0.5	23.8	19.0	11.0

4) イングランド=ウェールズのみ。

表50 主要国の男女別にみた出生時の平均余命の推移

(年)

年次	男	女	年次	男	女	年次	男	女
カナダ			韓国			デンマーク <sup>3)</sup>		
1950~52	66.33	70.83	1955~60	51.12	53.73	1951~55	69.79	72.60
1955~57	67.61	72.92	1966	59.74	64.07	1956~60	70.38	73.76
1960~62	68.35	74.17	1970	63.00	67.00	1963~64	70.30	74.60
1965~67	68.75	75.18	1978~79	62.70	69.07	1966~70	70.55	75.40
1970~72	69.34	76.36	オーストリア			1970~71	70.70	75.90
1975~77	70.19	77.48	1949~51	61.91	66.97	1974~75	71.10	76.80
1980~82	71.87	78.94	1959~61	65.60	72.03	1975~76	71.10	76.80
アメリカ合衆国 <sup>1)</sup>			1960	65.00	70.98	1977~78	71.50	77.50
1950	65.60	71.10	1971	66.57	73.72	1978~79	71.30	77.40
1955	66.60	72.70	1975	67.66	74.90	1979~80	71.20	77.30
1960	66.60	73.10	1976	68.07	75.05	1980~81	71.10	77.20
1965	66.80	73.70	1977	68.54	75.60	1981~82	71.40	77.40
1970	67.10	74.80	1978	68.52	75.81	フィンランド		
1975	68.70	76.50	1979	68.86	76.11	1951~55	63.40	69.80
1978	69.50	77.20	1980	68.97	76.15	1956~60	64.90	71.57
1979	69.90	77.80	1981	69.18	76.59	1961~65	65.40	72.60
1982	70.80	78.20	ベルギー			1966~70	65.88	73.57
チリ			1959~63	67.73	73.51	1971	65.89	74.21
1950~55	52.26	56.04	1968~72	67.79	74.21	1974	66.90	75.41
1955~60	53.74	58.56	1972~76	68.60	75.08	1975	67.38	75.93
1960~65	55.02	60.40	ブルガリア			1978	68.49	77.12
1965~70	57.64	63.61	1956~57	64.17	67.65	1979	68.88	77.24
1970~75	59.53	65.70	1960~62	67.82	71.35	1980	69.16	77.58
1975~80	61.30	67.60	1965~67	68.81	72.67	1981	69.53	77.77
イスラエル <sup>2)</sup>			1974~76	68.68	73.91	フランス		
1950	66.30	69.48	チェコスロバキア			1950~51	63.60	69.30
1955	69.40	72.10	1949~51	60.93	65.53	1952~56	65.04	71.15
1960	70.67	73.47	1955	66.24	71.15	1960	67.20	73.80
1965	70.52	73.19	1960~61	67.64	73.12	1964	68.00	75.10
1970	69.55	72.96	1964	67.76	73.56	1971	68.50	76.10
1975	70.25	73.93	1970	66.23	72.94	1972	68.60	76.40
1976	71.15	74.79	1972	67.03	73.62	1973	68.90	76.50
1977	71.32	74.68	1977	66.99	74.12	1974	69.00	76.90
1978	71.46	74.98	1978	67.08	74.12	1976	69.20	77.20
1980	72.10	75.74	1980	66.78	73.96	1977	69.73	77.85
1981	72.70	75.91	1981	67.00	74.34	1977~79	69.89	78.02
1982	72.48	75.75				1978~80	70.05	78.20
						1981	70.41	78.47

United Nations, *Demographic Yearbook* による。

1) 1955年以前はアラスカおよびハワイを含まない。2) 1965年以前はユダヤ人人口のみ。3) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。(次ページにつづく)



表50 主要国の出生時の平均余命の推移 (つづき)

(年)

年次	男	女	年次	男	女	年次	男	女
東 ド イ ツ <sup>4)</sup>			1959~60	65.18	69.57	マ ル タ		
1952~53	65.06	69.07	1964	67.00	71.83	1955~57	65.70	68.90
1955~56	66.33	70.64	1970	66.28	72.05	1957~59	66.34	70.29
1956~57	66.34	71.03	1974	66.54	72.42	1960~62	67.01	70.70
1960~61	67.31	72.18	1978	66.62	73.26	1961~63	67.03	70.60
1963~64	68.27	73.34	1979	66.65	73.56	1963~65	67.08	70.96
1967~68	69.16	74.38	1981	65.98	73.40	1973	68.10	72.02
1969~70	68.85	74.19	1982	66.14	73.68	1976	68.27	73.10
1976	68.82	74.42				1979	69.36	73.42
1977	69.01	74.87	アイスランド			1982	69.61	72.93
1978	68.78	74.74	1951~53	70.70	75.00	オ ラ ン ダ		
1981	68.96	74.83	1961~65	70.80	76.20	1950~52	70.60	72.90
1982	69.09	75.10	1966~70	70.70	76.30	1951~55	70.90	73.50
			1971~75	71.60	77.50	1953~55	71.00	73.90
西 ド イ ツ <sup>5)</sup>			1975~76	73.00	79.20	1956~60	71.40	74.80
1949~51	64.56	68.48	1977~78	73.40	79.30	1961~65	71.10	75.90
1958~59	66.75	71.88	1979~80	73.70	79.70	1971	71.10	76.70
1959~60	66.69	71.94	1981~82	73.91	79.45	1972	70.80	76.80
1960~62	66.86	72.39				1973	71.20	77.20
1964~65	67.59	73.45	アイルランド			1975	71.40	77.60
1969~71	67.25	73.56	1950~52	64.53	67.08	1977	72.00	78.40
1970~72	67.41	73.83	1960~62	68.13	71.86	1979	72.40	78.90
1971~73	67.61	74.09	1965~67	68.58	72.85	1980	72.40	79.20
1972~74	67.87	74.36	1970~72	68.77	73.52	1981	72.70	79.30
1973~75	68.04	74.54				ノ ル ウ ェ ー		
1974~76	68.30	74.81	イ タ リ ア			1951~55	71.11	74.70
1975~77	68.61	75.21	1950~53	63.75	67.25	1956~60	71.32	75.57
1976~78	68.99	75.64	1954~57	65.75	70.02	1966~70	71.09	76.83
1978~80	69.60	76.36	1960~62	67.24	72.27	1971~72	71.24	77.43
1979~81	69.93	76.65	1964~67	67.87	73.36	1972~73	71.32	77.60
1980~82	70.18	76.85	1970~72	68.97	74.88	1975~76	71.85	78.12
			1974~77	69.69	75.91	1976~77	72.12	78.42
ギリシア						1977~78	72.31	78.65
1955~59	66.36	69.74	ルクセンブルク			1978~79	72.27	78.73
1960~62	67.46	70.70	1950~55	63.20	68.90	1979~80	72.25	79.00
1970	70.13	73.64	1955~60	64.50	70.60	1980~81	72.49	79.23
			1960	66.10	71.90	1981~82	72.64	79.41
ハンガリー			1971~73	67.00	73.90			
1955	64.96	68.87	1979	66.80	72.80			

4) 東ベルリンを含む。 5) 西ベルリンを含む。

(次ページにつづく)

表50 主要国の出生時の平均余命の推移 (つづき)

(年)

年次	男	女	年次	男	女	年次	男	女
ポーランド			スウェーデン			スコットランド		
1948	55.60	62.50	1951~55	70.49	73.43	1950~52	64.40	68.70
1952~53	58.60	64.20	1956~60	71.23	74.72	1955~57	65.90	71.07
1955~56	61.80	67.80	1957	70.82	74.29	1960~62	66.20	71.87
1960~61	64.80	70.50	1959	71.69	75.24	1963~65	66.34	72.45
1965~66	66.85	72.83	1961	71.56	75.35	1969~71	67.10	73.36
1970~72	66.83	73.76	1962	71.32	75.39	1976~78	68.07	74.37
1973	67.15	74.30	1967~71	71.89	76.77	1979~81	68.61	74.88
1974	67.80	74.64	1969~73	72.00	77.25	1980~82	68.98	75.19
1975	67.02	74.26	1972	71.97	77.41	ユーゴスラビア		
1976	66.92	74.55	1973	72.12	77.66	1952~54	56.92	59.33
1980	66.01	74.44	1975	72.12	77.37	1960~61	62.18	65.27
1981	67.10	75.24	1976	72.12	77.90	1970~71	65.30	70.14
1982	67.24	75.20	1978	72.41	78.30	1971~72	65.59	70.42
ポルトガル			1979	72.48	78.67	1979~80	67.72	73.15
1949~52	55.52	60.50	1980	72.76	78.81	オーストラリア		
1955~56	58.80	63.80	1981	73.05	79.08	1953~55	67.14	72.75
1957~58	59.80	65.00	スイス			1960~62	67.92	74.18
1959~62	60.73	66.35	1948~53	66.36	70.85	1965~67	67.63	74.15
1970	64.18	70.50	1958~63	68.72	74.13	1978	70.24	77.19
1971	63.69	70.27	1960~70	69.21	75.03	1979	70.79	77.76
1974	65.29	72.03	1968~73	70.29	76.22	1981	71.38	78.42
1975	65.09	72.86	1977~78	72.00	78.70	ニュージーランド		
ルーマニア			イングランド=ウェールズ			1950	67.19	71.29
1956	61.48	64.99	1950~52	66.42	71.54	1955	68.20	73.00
1963	65.35	70.25	1955~57	67.71	73.29	1960	68.44	73.75
1964~67	66.45	70.51	1958~60	68.10	73.80	1965	68.19	74.30
1968	65.50	69.82	1960~62	68.00	74.00	1970	68.55	74.60
1970~72	66.27	70.82	1961~63	68.00	73.90	1975~77	69.01	75.45
1973~75	67.29	71.82	1963~65	68.30	74.40	1982	71.67	76.86
1974~76	67.37	71.97	1969~71	68.80	75.10	ソビエト連邦		
1976~78	67.42	72.18	1970~72	68.90	75.10	1954~55	61.00	67.00
スペイン <sup>6)</sup>			1971~73	69.00	75.20	1960~61	65.00	73.00
1950	59.81	64.32	1974~76	69.62	75.82	1965~66	66.00	74.00
1960	67.32	71.90	1976~78	70.00	76.20	1970~71	65.00	74.00
1970	69.69	74.96	1977~79	70.20	76.40	1971~72	64.00	74.00
1975	70.41	76.21	1978~80	70.40	76.60			
			1980~82	71.09	77.11			

6) セウタとメリラを除く。

# 戦後人口年表



# 戦 後 人 口 年 表

<年・月・日>

<主 要 事 項>

昭20(1945)

8. 15 太平洋戦争終結。戦争犠牲者約310万人

厚生省によると、昭和12年7月7日の「蘆溝橋事件」に始まった日中戦争ないし太平洋戦争の戦争犠牲者は、軍人・軍属・準軍属の戦死や戦病死が230万人、一般民間人が外地30万人、内地50万人とされる

11. 1 昭和20年人口調査実施：総人口7,200万、人口性比女100につき男89

この年 戦争の影響で人口動態統計が得られないが大幅な死亡超過と推測

GHQ, ESS が中心に行った推計による出生数169万・死亡数211万、出生率23.2%  
・死亡率29.2%

昭21(1946)

1. 30 厚生省によって人口問題懇談会（学識経験者による）が開催される

引揚げの問題等により終戦直後の人口問題の重大性にかんがみ、問題の所在点を明らかにし対策の方途について意見を求める

4. 財団法人人口問題研究会（昭8.10設立）に人口政策委員会を設置

厚生省人口問題懇談会によるもので、「人口の収容力および分布に関する」第1部会と「人口の資質および統制に関する」第2部会によって審議を行うことになる（関係大臣への建議案を作成）

4. 26 昭和21年人口調査実施：総人口7,311万

5. 1 厚生省人口問題研究所が再び独立

昭14. 8. 25人口問題研究所官制により設立され、昭17. 11. 1厚生省研究所官制により「厚生省研究所人口民族部」となったが、再び人口問題研究所官制による「人口問題研究所」となる

9. 復興国土計画要綱を内務省発表（5年計画）

戦後初の国土開発計画で、目標は戦災復興、未開発地域の開墾と入植など食糧増産、産業別・地域別の人口配分計画の推進、地方都市育成を重点とした産業の復興

10. 国際連合人口委員会（United Nations Population Commission）の設立決議さる

11. 20 財人口問題研究会「新人口政策基本方針に関する建議」を行う

この年 やはり人口動態統計による公式数値は得られないが出生・死亡の状態やや回復と推測  
GHQ, ESS などの推計による出生数191万・死亡数133万、出生率25.3%・死亡率17.6%

昭22(1947)

3. エカフェ（アジア極東経済委員会, Economic Commission for Asia and the Far East, ECAFE）設立, 事務局はバンコク  
昭49（1974）エスカップ（アジア太平洋経済社会委員会, ESCAP）と改称
9. 「人口動態統計」の所管が総理庁（旧内閣統計局・現総務庁）統計局から厚生省（現在の大臣官房統計情報部）に移管される
10. 1 昭和22年臨時国勢調査実施：総人口7,810万, 性比が男95.4（女100につき）に回復  
この年 出生数268万・出生率34.3%（人口動態統計）と激増し, 戦後の「ベビー・ブーム」始まる  
出生増は24年まで継続し, 3か年平均の年間出生数約270万人・出生率は33.8%に  
平均寿命男女とも50台に（第8回生命表：男50.1・女54.0年）

昭23(1948)

- 7.13 優生保護法公布（法律第156号）  
「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに, 母体の生命健康を保持することを目的」とする
8. 1 昭和23年常住人口調査実施：総人口8,022万
- 9.11 優生保護法実施. 悪質遺伝防止や母体保護のための人工妊娠中絶ができるようになった
- 11.11 日本人口学会設立（初代会長下條康麿, 会員数89, 昭24. 1. 23総会開催）

昭24(1949)

- 2.22 マッカーサー司令部経済科学局（GHQ, ESS）顧問W.タムソン氏（人口学者）「日本の人口問題解決は妊娠調節以外にはない」と声明, 在日カトリック団体猛烈に反対
- 3.19 日本人口学会第1回研究発表会開催（国立公衆衛生院において）  
特別講演W.S.タムソン「アジアの人口問題」
- 4.15 内閣に人口問題審議会設置（昭25.3廃止）
- 5.10 衆議院において「人口問題に関する決議案」が議決される  
この決議は現下の人口問題の中心点とその対策の方向を指示するもの
6. 6 マッカーサー司令部「人口制限問題は占領業務の範囲外であり, 産児制限は個人の判断と決定にまつ問題である」との覚書を発表
- 6.24 優生保護法改正. 経済的理由で人工妊娠中絶ができるようになった  
「妊娠の継続又は分娩が身体的又は経済的理由により母体の健康を著しく害するおそれあるもの」（第3章14条4項）
7. 2 毎日新聞社, 人口問題調査会を設置
11. 人口問題審議会会長, 人口収容力に関する問題と人口調整に関する問題の2大焦点について総理大臣に建議書を提出

- この年 人工妊娠中絶件数（優生保護法による）10万件を記録（101,601件）
- 昭25(1950)
4. 毎日新聞社人口問題調査会第1回全国家族計画世論調査を実施する  
このときの調査名は「過剰人口の調整に関する世論調査」であったが、以来ほぼ隔年で調査は継続実施され貴重なデータを提供している（第1回調査の結果による避妊実行率は29.1%、避妊公認6割が賛成）
7. 1 世界人口25億を超える（国連1982年推計：世界人口25億420万、うち、先進地域8億3,186万、発展途上地域16億7,235万）
9. 末 この日まで（昭20.10～25.9）の海外からの引揚者数は約625万人に  
（GHQ, ESSの発表：引揚6,249,286, 退去1,194,185, 差増5,055,101）
10. 1 昭和25年国勢調査実施：総人口8,320万（沖縄を含めると8,411万）
- この年 出生数234万・出生率28%で出生ブーム収まる（以後低下傾向に）
- 昭26(1951)
4. 23 財団法人人口問題研究会改組再発足（永井亨理事長）  
戦後の新情勢に対処しその活動をいっそう強化するため、組織および役員の整備拡充を図る（改組後の最初の事業として「日本人口白書」をまとめ、昭26.8.29発表）
4. 25 農村人口問題研究会設立（機関誌『農村人口問題研究』を発刊）
10. 26 受胎調節に関する閣議決定  
人工妊娠中絶の増加にかんがみ「国民の福祉向上のため、今後いっそう受胎調節の普及をはかり、新たに効果的な対策を考究実施する」旨の了解事項
12. 内閣総理大臣官房「受胎調節に関する世論調査」を実施
- この年 脳卒中死亡が結核にかわって死因別死亡順位のトップに（爾来昭和55年まで1位継続）
- ” 日本人の平均寿命60台に（第9回生命表：男59.6・女63.0年）
- 昭27(1952)
4. 母体保護を目的とする厚生省の家族計画普及運動が本格的に発足  
受胎調節普及要領および普及実施要領細目を作成、各都道府県に詳細かつ具体的な家族計画普及を指示
5. 毎日新聞社人口問題調査会第2回全国家族計画世論調査を実施：避妊実行率40.2%、  
中年層に多い中絶
5. 17 優生保護法改正。審査会制度を廃し、指定医師の判断のみによることとなり、これで、  
本人と配偶者の同意だけで人工妊娠中絶ができるようになった
7. 1 厚生省人口問題研究所第2次出産力調査実施：集計夫婦組数13,031組  
平均出生児数3.30人（結婚20年以上の夫婦では4.93人）
- ” 住民登録法施行。これに基づいて国内の人口移動量がつかめるようになった

(昭42.11より住民基本台帳法と改む)

- 8. 1 ユネスコ国内委員会：社会科学小委員会に人口問題特別委員会設置
- 11. ポピュレーション・カウンシル (Population Council) 設立  
ロックフェラー3世の提唱の下に、人口増加および抑制、人口に関する情報交換、人口・家族計画を実施している米国および開発途上国の経済技術協力を行う機関として設立された民間団体
- 11.29 国際家族計画連盟 (International Planned Parenthood Federation, IPPF) 設立  
さる

昭28(1953)

- 6. 5 財団法人人口問題研究会に人口対策委員会設置
- 7. 1 中国が人口調査を実施：人口6億193万
- 8.14 厚生省に人口問題審議会設置 (会長・下村宏, 昭28.11.13第1回総会開催)
- 9.25 日本家族計画連盟設立 (昭29.4正式に発足)  
それまでに個々に運動していた国内の家族計画関係の団体・個人を連絡統合する機関として結成
- 10. 町村合併促進法施行。いわゆる「新市」が多く誕生することとなる

昭29(1954)

- 1.23 人口問題審議会 (第3回総会において) 2部会と1特別委員会の設置を決定  
第1部会：人口収容力に関する部会, 第2部会：人口調整に関する部会, および人口白書に関する特別委員会
  - 4. 1 厚生省 (統計調査部) 「受胎調節調査」を実施  
厚生行政基礎調査に付帯して行ったもので, 受胎調節実施率33.2%
  - 4.18 日本家族計画普及会 (現社団法人日本家族計画協会) 設立  
家族計画の啓蒙普及を目的として発足した民間団体, 新聞『家族計画』発刊 (その後『家族と健康』と改題)
  - 8.24 人口問題審議会「人口の量的調整に関する決議」を行う  
人口対策として家族計画を強力に推進すべき旨を政府に進言
  - 8.31 国連世界人口会議 (第1回) がローマにおいて開催される (~9.10)  
国際連合主催, 国際人口学会と関係専門機関が協力
- この年 住民登録人口移動報告 (住民登録法に基づく) による市町村間移動数の公表始まる  
(昭和29年1年間の人口移動総数550万人, 移動率6.3%)

昭30(1955)

- 5. 毎日新聞社人口問題調査会第3回家族計画世論調査実施：避妊実行率52.4%, 大半が経済的理由



- 8.20 人口問題審議会「人口収容力に関する決議」を行う  
戦後の著しい人口増加，農家の二，三男問題などのほか，経済開発にも触れる
10. 1 昭和30年国勢調査実施：総人口8,928万（沖縄を含めると9,008万）  
0～14歳年少人口2,980万でピーク（以後減少に向かう），市部人口割合56.1%  
（市町村合併促進に伴い大幅に増大，都市数も496に）
- 10.24 第5回国際家族計画会議が初めて日本（東京）において開催される（～10.29）
- 11.21 国連アジアおよび極東地域人口会議がバンドンで開催される（～12.3）
- 12.23 経済自立5カ年計画（計画期間：昭和31～35年度，経済成長率：計画5.0%・実績8.7%）策定される  
計画の目的は経済の自立，完全雇用
- この年 実質生活水準が戦前の水準に回復  
人口1当たり実質国民所得指数（昭9～11=100）119
- 〃 低下を続ける出生率が20%水準を割り（19.4%），死亡率も7.8%と過去の最低を記録
- 〃 人工妊娠中絶件数（優生保護法による）約117万件でピークに，以後減少に向かう
- 昭31(1956)
- 10.25 日本学術会議が総会において（～10.26），人口問題研究体制に関する要望を決議  
「人口問題を総合的に研究する機構の確立についての提案」および「大学における人口学講座の設置についての提案」がなされる
- 11.20 第1回家族計画普及全国大会が東京で開催される（～11.21，以後毎年）
- 昭32(1957)
5. 1 国連第23回経済社会理事会において日本が人口委員会委員に当選（日本が国連に加盟して初めて当選した委員会である）  
任期は1958年1月1日より，代表に館稔人口問題研究所総務部長
- 〃 厚生省人口問題研究所，将来推計人口を発表（昭和32年5月推計）  
昭和30～40年間各年・45～90年間毎5年について，昭和60年1億486万でピーク・90年8,986万人と推計
5. 毎日新聞社人口問題調査会第4回家族計画世論調査実施：避妊実行率56.5%  
「子室」は2人が理想・3人以上では「もう沢山」
7. 5 南亮三郎等編『人口大事典』（平凡社）刊行さる
- 9.16 国連アジアおよび極東人口教育調査地域センター(The Asia the Far East Regional Centre for Demographic Training and Research) がボンベイに開設される  
国連はサンチャゴとカイロにもこの地域人口研修センターを設置
11. 1 厚生省人口問題研究所第3次出産力調査実施：集計夫婦組数24,990組

平均出生児数2.79人（結婚20年以上の夫婦では4.72人）

- 12.17 新長期経済計画（計画期間：昭和33～37年度，経済成長率：計画6.5%・実績9.9%）策定さる

計画の目的は極大成長，生活水準向上，完全雇用

昭33(1958)

1. 3 中央大学に人口学研究会（南亮三郎会長）設置  
4.16 人口問題審議会「潜在失業対策に関する決議」を行う

昭34(1959)

2. 9 第10回国際連合人口委員会がジュネーブで開催され（～2.20），初めて日本代表が出席（館稔人口問題研究所総務部長，以後ほぼ隔年に開催される会議に代表出席）  
4. 毎日新聞社人口問題調査会第5回家族計画世論調査実施：避妊実行率62.7%  
避妊をどう思うか・常識化した肯定論  
6.16 人口問題審議会，総会において「人口白書」を承認・可決し関係大臣に具申する（人口問題審議会編『人口白書—転換期日本の人口問題—』と題し，昭34.8公刊）

昭35(1960)

4. 1 厚生省人口問題研究所の機構改革で資料科を新設  
総務部が廃止されて同部庶務科は新しく庶務課として所長に直属し，同部企画科は調査部企画科となり，調査部にはさらに資料科が新設されたもので，これに伴って従来の調査部は研究部と改称  
5.16 経済審議会「日本経済の長期展望（20年後の日本経済）」を發表  
6. 1 厚生省人口問題研究所，将来推計人口を發表（昭和35年6年推計）  
昭和30～45年間各年・50～90年間毎5年について，昭和70年1億1,133万でピーク・90年1億753万人と推計  
6.25 館稔著『形式人口学—人口現象の分析方法』（古今書院）刊行さる  
7. 1 世界人口30億に（国連1982年推計：30億1,382万，うち先進地域9億4,491万・発展途上地域20億6,891万）  
10. 1 昭和35年国勢調査実施：総人口9,342万（沖縄を含めると9,430万）  
世帯数の増加と世帯規模の縮小始まる（前回調査時との間の人口増加率4.7%に対し世帯増加率は15.1%で3倍を超え，平均世帯人員は5.0から4.5人に），核家族化の傾向も（核家族世帯割合60%台に），都市人口の実態と性格を統計的に明らかにするため「人口集中地区」を設定（以後毎回調査）  
12.27 国民所得倍增計画（昭和36～45年度，経済成長率：計画7.2%・実績10.7%）策定さる  
計画の目的は極大成長，生活水準向上，完全雇用  
この年 女子の平均寿命70の大台に（第11回生命表：女70.2・男65.3年）

昭36(1961)

2. 7 第11回国際連合人口委員会がニューヨークの国連本部で開催される (～2.17)
  4. 毎日新聞社人口問題調査会第6回家族計画世論調査実施：避妊実行率68.4%  
半数は「経済上の必要」から常識化した「子供は2人」が圧倒的
  10. 国際連合『世界人口年鑑』(UN, *Demographic Yearbook*)の日本語版初めて刊行される (1960年版, 原書房)
  - 12.19 国連総会「国連開発10年」(Development Decade)を決議  
1960年代を世界の「国連開発10年」と名づけ、経済的社会的開発計画の目標を示し、国際協力の基本方針を明らかにする
- この年 住民登録人口移動報告による市町村間移動数600万人を超過(601万, 移動率6.4%)  
東京・阪神・中京の3大都市圏への流入超過人口65万人 (このときがピーク)

昭37(1962)

2. 東京都人口1,000万になる
7. 1 厚生省人口問題研究所第4次出産力調査実施：集計夫婦組数12,720組  
平均出生児数2.31人 (結婚20年以上の夫婦では3.90人)
- 7.12 人口問題審議会「人口資質向上対策に関する決議」を行う  
日本の人口問題は量から質へ転換したことを指摘
10. 5 全国総合開発計画(全総)を閣議決定(計画期間：昭和35～45年度)  
地域間の均衡ある発展を基本目標とし、開発方式は拠点開発構想
- 12.18 昭和37年度の『厚生白書』はテーマを「人口革命」として発表

昭38(1963)

2. 4 第12回国際連合人口委員会がニューヨークにおいて開催される (～2.15)
- 2.10 国際家族計画連盟西太平洋地域事務局の東京設置が決まる
4. 1 厚生省人口問題研究所機構改革  
2課(庶務課・資料課), 3部(人口政策部・人口移動部・人口資質部)の組織となる
5. 毎日新聞社人口問題調査会第7回家族計画世論調査実施：避妊実行率63.0%  
子供に高い「教育」を与えたい・母親の「健康」を守るという理由多し
6. 世界食糧会議(The World Food Congress)ワシントンにて開催される
- 8.17 人口問題審議会「地域開発に関し人口問題の見地から特に留意すべき事項」について意見をまとめる(厚生大臣に具申)  
経済偏重の弊害を指摘, 社会開発の重要性を強調
- 12.10 アジア人口会議(Asian Population Conference)がエカフェ主催でニューデリーにおいて開催される (～12.20)

昭39(1964)

- 3.15 第20回エカフェ総会（テヘランにて開催）において「人口成長と経済的社会的開発」が決議される
6. 1 厚生省人口問題研究所、将来推計人口を発表（昭和39年6月推計）  
昭和30～50年間各年・55～90年間毎5年について、昭和50年1億864万・80年1億2,170万でピーク・90年1億1,902万人と推計
7. 1 中国が人口調査（第2次）を実施：総人口7億2,307万
11. 5 米国の人口学者I.B.トイバー著『日本の人口』（原著 *The Population of Japan*, 1958）が毎日新聞社人口問題調査会翻訳委員会訳で刊行さる
- この年 住民登録人口移動報告による市町村間移動数700万人を越す（726万、移動率7.5%）

昭40(1965)

- 1.22 中期経済計画（昭和39～43年度、経済成長率：計画8.1%、実績10.6%）策定さる  
計画の目的は、ひずみ是正
3. 毎日新聞社人口問題調査会第8回家族計画世論調査実施：避妊実行率72.0%、市部と郡部の差なくなる
- 3.23 第13回国際連合人口委員会がニューヨークにおいて開催される（～4.5）
5. 人口危機委員会（Population Crisis Committee）ニューヨークに設立  
人口問題解決のための活動資金を募ることを目的とする民間団体
- 5.25 第1回西太平洋地域家族計画大会がソウルで開催される（～5.29）
- 7.29 韓国に人口問題研究所（社団法人として）創設さる
- 8.30 国際連合第2回世界人口会議（The Second World Population Conference）がベオグラードにおいて開催される（～9.20）
9. 厚生省児童家庭局・内閣総理大臣官房広報室「受胎調節に関する世論調査」（昭39.12.15～20実施）の結果を発表  
調査数2,547、受胎調節現在実行率46.7%（妻の年齢20～39歳）、約半数が専門的指導を希望
10. 1 昭和40年国勢調査実施：総人口9,827万（沖縄を含めると9,921万）  
第1次産業就業者の割合が25%に縮小、市部人口の割合は68%となり、北九州市100万都市の仲間入り（7大都市となる）

昭41(1966)

2. ウ・タント国連事務総長、国連経済社会理事会に「世界の人口情勢に関する報告書」を送り、各国に人口政策を採用するよう呼びかける
- 8.22 第11回太平洋学術会議が東京で開催され（～9.10）、「太平洋地域の人口問題」（Population Problems in the Pacific）と題するシンポジウムが行われた（東京大学）

12. 国連人権デーに「世界人口宣言」が事務総長に提出さる  
 ロックフェラー3世が提案し、日本の佐藤首相を含む世界12か国の元首・首脳が署名した人口増加および人類の生存と福祉に関する宣言（翌年新たに18か国元首が署名）
- この年 丙午（ヒノエウマ）の迷信の影響により出生数が大幅に減少  
 出生実数136万、普通出生率13.7%、合計特殊出生率1.58で、戦前・戦後を通じての最低を記録
- 昭42(1967)
- 3.13 経済社会発展計画（昭和42～46年度、経済成長率：計画8.2%、実績10.9%\*）策定さる  
 計画の目的は、均衡がとれ充実した経済社会への発展  
 （\*昭和45年基準の旧SNAベース、昭和50年基準の新SNAベースによる実質経済成長率は9.9%）
- 4.26 人口問題審議会総会において厚生大臣「わが国最近の人口動向に鑑み人口問題上特に留意すべき事項について」諮問
5. 毎日新聞社人口問題調査会第9回家族計画世論調査実施：避妊実行率72.2%  
 理想の子供数は3人・現実には2人が基準
7. 1 厚生省人口問題研究所第5次出産力調査実施：集計夫婦組数14,347組  
 平均出生児数2.20人（結婚20年以上の夫婦では3.36人）
7. 国際連合人口信託基金設置さる  
 1969年、現在の国連人口活動基金（United Nations Fund for Population Activities, UNFPA）となる
- 7.25 日本の人口が1億に達したとの推計結果発表さる（総理府統計局）  
 世界第7位、人口密度270人（1km<sup>2</sup>当たり）。ただし、この時点の人口には沖縄県（昭47.5復帰）の人口は含んでいない。沖縄を含めた場合の1億人口に達したと思われる時期は前年の秋（昭41.11）ころ
- 10.30 第14回国際連合人口委員会がジュネーブにおいて開催される（～11.10）
11. 3 第1回アジア家族計画セミナーが東京で開催される（～11.27）
11. 9 日本国際家族計画協力会議が発足
- 11.10 住民基本台帳法施行（「住民登録人口移動報告」が「住民基本台帳に基づく人口移動報告」となる）
- 12.11 国連事務総長、世界30か国の首脳が署名した「世界首脳人口問題共同宣言」を受理し、国連の人口分野における活動強化のために各国の協力援助を要請
- この年 労働力人口が5,000万を超えて、農林業就業者は1,000万（20%）を割る（労働力調査

の42年年平均値)

昭43(1968)

- 4.25 財団法人家族計画国際協力財団 (JOICFP) 設立さる  
開発途上国の家族計画・母子保健に関する国際協力と、それに必要な各種事業を行うことを目的とする。月刊誌『世界と人口』を発行
4. 世界人権会議がテヘランにて開催される  
「人権宣言」が成立。家族計画を実行しうる権利も組み入れる
- 5.11 日本人口学会大会が初めて地方 (久留米市) で開催される (~5.12, 第20回大会)
- この年 家族計画国際協力財団による民間ベースの人口・家族計画物資援助始まる  
“ 米国に ZPG 運動 (スタンフォード大学のエーリック教授が指導・組織)  
人口増加をできるだけ早くとめて人口増加率がゼロ、すなわち出生と死亡が等しくな  
って人口が増えも減りもしない状態 (Zero Population Growth) にもっていこう  
という主張と運動

昭44(1969)

- 5.30 新全国総合開発計画 (新全総) を閣議決定 (昭和60年度目標)  
豊かな環境の創造が基本目標、新幹線・高速道路・大規模工業基地の「大規模プロジェクト方式」
6. 毎日新聞社人口問題調査会第10回家族計画世論調査実施: 避妊実行率71.2%  
「少なく生き幸福に」が定着
7. 米国のニクソン大統領「人口についての教書」を発表  
一国の人口の動きを広範な「国民の福祉」という立場から取り上げ、どのような考えに立ち、どのように対処すべきかについての研究の重要性を訴えている
- 8.15 人口問題審議会は「わが国最近の人口動向にかんがみ人口問題上特に留意すべき事項について」の諮問に対する中間答申として、「わが国人口再生産の動向についての意見」をまとめる
- 8.28 厚生省人口問題研究所、将来推計人口を発表 (昭和44年 8 月推計)  
昭和40~60年間各年・65~100年間毎 5 年について、昭和60年 1億2,080万・100年 1億4,062万人と推計
10. 4 日本政府のインドネシア人口・家族計画協力実施調査団派遣 (~10.18), 対インドネシア家族計画援助協定を締結 (1970年より実施)  
その後1973年にはフィリピン、タイと、また1976年にはバングラデシュというように、他の国々ともいわゆる「2 国間協定」を結び、政府ベースの物資援助を始める
10. 世界銀行総会 (ワシントンで開催) で「ピアソン報告」(人口問題に関する勧告) 発

表さる

11. 3 第15回国連人口委員会がジュネーブにおいて開催される（～11. 14）  
この年 住民基本台帳人口移動報告による市町村間人口移動数800万を越す（813万人，移動率8.0%）

昭45(1970)

3. 内閣総理大臣官房広報室「産児制限に関する世論調査」（昭44. 11実施）の結果発表  
全国の20歳以上50歳未満の有配偶女性3,000人を対象（層化2段無作為抽出法）
5. 1 新経済社会発展計画（昭和45～50年度，経済成長率：計画10.6%・新SNAベースによる実績5.3%）策定さる  
計画の目的は，均衡がとれた経済発展を通じる住みよい日本の建設
5. 国連本部（ニューヨーク）において人類生存のための会議開催さる  
テーマ：平和維持，人口問題および公害防止
10. 1 昭和45年国勢調査実施：総人口1億372万（沖縄を含むと1億467万）  
65歳以上老年人口の割合7%台に（国連のいう「老年の国」の仲間入り），15～64歳の生産年齢人口は69%で世界最高．平均世帯規模さらに縮小して3人台（3.7人）に．市部人口割合7割を超え（72%），札幌も100万都市に
10. 国際家族計画連盟西太平洋地域会議（第2回）が東京で開催さる  
テーマ：1970年代における人口
- 10.24 国連総会（特別会議）は，1971年1月1日から始まる「第2次国連開発10年」を宣言  
この10年のための「国際開発戦略」を採択，その中でとくに開発途上国は開発計画の枠の中で人口目標の策定を勧告

昭46(1971)

- 春 エカフェ人口部による『アジア人口プログラムニュース』（Asian Population Programme News）の発行と人口通信連絡者ネットワークの設立
7. 毎日新聞社人口問題調査会第11回全国家族計画世論調査実施：避妊実行率72.8%  
初めて住宅事情を質問項目に・3人産むには30畳
- 10.21 人口問題審議会「最近における人口動向と留意すべき問題点について一人間性の回復と社会開発の再認識一」を答申（厚生大臣の諮問に対し）
11. 1 第16回国連人口委員会がジュネーブにおいて開催される（～11. 12）  
（今回より黒田俊夫人口問題研究所人口移動部長が委員として出席）
- この年 男子の平均寿命も70年に（昭和46年簡易生命表：男70.2・女75.6年）

昭47(1972)

3. 米国マサチューセッツ工科大学（MIT）の報告書『成長の限界』（副題：ローマ・クラブの人類の危機に関するプロジェクトに対する報告書）出版さる

この報告書は1970年7月、ローマ・クラブがMITのメドウス教授に研究を依頼したもので、この書によっていわゆる「有限の」思想が世界に広まる

- 3.27 人口増加とアメリカの将来委員会「人口とアメリカの将来」(Population and The American Future)に関する報告書を発表

(家族計画国際協力財団訳『人口の危機と対策』ドメス出版、昭48.11)

4. 札幌・川崎・福岡の3市が政令指定都市に

東京都区部を1市とみなして10大都市(人口100万を超える)の時代となる

- 4.20 駒沢大学人口研究所創設

日本の大学における最初の人口専門の研究機関として

6. 1 厚生省人口問題研究所第6次出産力調査実施：集計夫婦組数9,355組

平均出生児数1.92人(結婚20年以上の夫婦では2.68人)

6. 5 国連人間環境会議がストックホルムにおいて開催される(～6.16)

9. 国連事務総長(ワルトハイム)1974年を「世界人口年」とし、世界人口会議を国連の主催で開催すると発表

11. 1 第2回アジア人口会議(Second Asian Population Conference)がエカフェと日本政府共催で東京プリンスホテルにおいて開催される(～11.13)

日本とイランが提案国となり「開発のための人口戦略宣言」(Declaration of Population Strategy for Development)を採択

昭48(1973)

1. 人口問題協議会結成さる

人口問題が深刻でありながら、一般にその認識が薄い日本の現状を憂えた人口・家族計画分野の専門家やマスコミ関係者などが中心になって設立された人口問題研究サークル

- 2.13 経済社会基本計画(昭和48～52年度、経済成長率：計画9.4%・新SNAベースによる実績3.8%)策定さる

計画の目的は、国民福祉の充実と国際協調の推進の同時達成

5. 毎日新聞社人口問題調査会第12回全国家族計画世論調査実施：避妊実行率81.3%

避妊「当初から」が2割に・目だつ「生活楽しむため」

6. 世界人口会議に向けてのシンポジウム1「人口と開発」開催(カイロ)

8. 世界人口会議に向けてのシンポジウム2「人口と家族」開催(ホノルル)

9. 世界人口会議に向けてのシンポジウム3「人口と環境」開催(ストックホルム)

- 10.13 アジア人口事情視察団(国会議員を中心とする)がインド、タイ、インドネシアおよびフィリピンを歴訪(～10.28)

- 10.29 第17回国連人口委員会がジュネーブにて開催される(～11.9)



- この年 住民基本台帳人口移動報告による市町村間移動数がピークを記録  
(実数854万人, 率7.9%)
- 昭49(1974) 国連提唱の「世界人口年」(World Population Year)
1. 世界人口会議に向けてアジア, アフリカ, ラテン・アメリカおよびヨーロッパの四つの「政府間地域会議」が相次いで開催される
  - 〃 世界人口会議に向けてのシンポジウム4「人口と人権」開催(アムステルダム)
  2. 4 日本青年人口委員会が発足  
世界人口年に当たって調査・研究・キャンペーン活動
  3. 4 日本人口学会会長(南亮三郎)「人口の教育および研究に関する要望書」を文部大臣に提出
  3. 第30回エカフェ総会(コロンボで開催)が, 人口・資源・食糧の諸問題に関する「コロンボ宣言」を採択
  4. エカフェがエスカップ(アジア太平洋経済社会委員会, Economic and Social Commission for Asia and the Pacific)と改称
  4. 1 国際人口問題議員懇談会(超党派の国会議員による)が結成される
  - 4.15 人口問題審議会『日本人口の動向—静止人口をめざして—』(人口白書)を総会において採択, また「国連世界人口会議対処方針についての意見」をまとめ, 厚生大臣に提出
  - 4.25 米国の人口危機委員会が中心になって作成した「食糧と人口に関する宣言」(Declaration on Food and Population)が国連事務総長に提出される
  6. 毎日新聞社人口問題調査会「人口問題についての世論調査」を実施
  - 6.11 アジアで初めての青年人口会議が開催される(～6.14)  
世界人口会議への勧告などを採択
  7. 2 日本人口会議が東京の国立教育会館において開催される(～7.4)  
大会宣言「子供は2人まで」を採択
  7. 避妊リング(子宮内挿入避妊器具)の製造・販売許可
  - 8.19 国際連合世界人口会議(United Nations World Population Conference)がブカレストにおいて開催される(～8.30)  
世界の137か国の政府代表による政治会議であり, 「世界人口行動計画」(World Population Plan of Action)を採択
  - 9.15 世界出産力調査(World Fertility Survey)の一環としての日本での調査を実施(厚生省統計情報部, 人口問題研究所も協力)  
国連のバックアップを得て国際統計協会(ISI)が各国に呼びかけて行ったもの
  - 9.30 IPPF 西太平洋地域としては最後のセミナーを東京で開催(～10.4)

テーマ：地域に根ざした家族計画

- 11. 5 国連世界食糧会議がローマにて開催さる（～11.16）
- 11. 昭和49年版の『厚生白書』のテーマ「人口変動と社会保障」として公刊さる（昭和48年度厚生行政年次報告書として既発表）

この年 平均初婚年齢夫26.8・妻24.5歳，普通出生率18.6%  
（以後晩婚化進み，出生率低下傾向に）

昭50(1975)

- 1.14 世界人口会議後におけるエスカップ地域協議会がバンコクで開催さる（～1.20）
- 2. 厚生省人口問題研究所，将来推計人口を発表（昭和50年2月推計）  
昭和45～75年間各年・75～125年間毎5年について，昭和75年1億3,515万・125年1億4,482万人と推計
- 〃 ドレーパー世界人口基金（Draper World Population Fund）設立
- 2.18 第18回国連人口委員会がニューヨークにおいて開催される（～2.18）
- 4. 2 厚生省人口問題研究所機構改革，人口情報部発足  
従米の資料課が廃され，新たに人口情報部（解析科，国際科および文献センターから成る）が設置される
- 5. 毎日新聞社人口問題調査会第13回全国家族計画世論調査実施：避妊実行率81.5%  
理想子供数「若い母ほど少数」望む・ピル知っている6割
- 7. 1 世界人口40億を超える（国連1982年推計：40億7,605万，うち先進地域10億9,485万，発展途上地域29億8,120万）
- 8. 人口問題協議会主催の人口問題公開講座「人口を考える」始まる  
（爾来昭和58年まで毎年夏開講）
- 9.25 第2回日本人口会議が東京の都市センターホールで開催さる（～9.26）  
テーマ：人口と食糧の将来展望，大会宣言「ほどほどの哲学をもとう」を採択
- 10. 1 昭和50年国勢調査実施：総人口1億1,194万，人口密度300人  
第3次産業就業者が就業者総数の半数を超える（51.8%）
- 12. アジアにおける出生力転換に関する京都会議が開催される（京都大学東南アジア研究センター・ハワイ東西センター人口研究所共催）

この年 合計特殊出生率が再び2の水準を下回る1.91に（総再生産率，純再生産率ともに低下傾向続く）

昭51(1976)

- 4. (財)人口問題研究会人口問題シンポジウム発足
- 5.14 昭和50年代前期経済計画（昭和51～55年度，経済成長率：計画6%強・新SNAベースによる実績5.0%）策定さる

計画の目的は、わが国経済の安定的発展と充実した国民生活の実現

6.29 第1回エスカップ人口委員会がバンコクで開催さる(～7.5)

11.18 厚生省人口問題研究所、将来推計人口を発表(昭和51年11月推計)

昭和50～125年間について、昭和75年1億3,368万・100年1億3,949万・125年1億400万人と推計

この年 東京・阪神・中京の3大都市圏(合計)への流入超過人口がマイナスに(つまり流出超過に転ずる)

〃 乳児死亡率が10%を下回る(出生1,000について9.3)

昭52(1977)

1.10 第19回国際連合人口委員会がニューヨークにおいて開催される(～1.21)

(今回より篠崎信男人口問題研究所長が委員として出席)

3. 毎日新聞社人口問題調査会第14回全国家族計画世論調査実施:避妊実行率79.8%

理想子供数2.58人に縮減

6. 厚生省人口問題研究所第7次出産力調査実施:集計夫婦組数14,064組

平均出生児数1.89人(妻の年齢45～49歳の夫婦で2.33人)

9.3 中南米家族計画視察団(国会議員・学識経験者など)がメキシコ、コロンビア、ブラジルなどを歴訪(～9.16)

11.4 第三次全国総合開発計画(三全総)を閣議決定(今後10年間の国土づくりの指針となる計画)

計画の柱となる開発方式に「定住構想」掲げる。人間居住の総合的環境の整備が基本目標

この年 大学進学率11年ぶりダウン(文部省調査:平均37.7%で昨年比0.9減・志願率も47.7→47.1%に低下)

昭53(1978)

3. 日本人口学会機関誌『人口学研究』創刊号発行さる(以後毎年発行)

3.28 「人口と開発」列国国会議員(IPOP)東京会議(第1回国際会議準備会議)が開催される(～3.30)

8.20 第11回国際老年学会議が初めて東京で開催され(～8.25)、シンポジウムの一つとして「人口変化の老年学的意味」(Gerontological Implications of Population Changes)が行われた。また「人口学」(Demography)の分科会も設けられた

12.13 第2回エスカップ人口委員会がバンコクにおいて開催される(～12.19)

昭54(1979)

1.29 第20回国連人口委員会がニューヨークにおいて開催される(～2.9)

3. 日本大学人口研究所設立さる(黒田俊夫所長)

5. 毎日新聞社人口問題調査会第15回全国家族計画世論調査実施：避妊実行率83.7%  
「理想子供数2人」のパターンへの強い傾向を示す
- 8.10 新経済社会7カ年計画（昭和54～60年度，経済成長率：計画5.7%前後・実績5.1%程度）策定さる  
計画の目的は安定した成長軌道への移行，国民生活の質的充実，国際経済社会発展への貢献
- 8.26 人口の開発に関する列国国会議員国際会議がコロomboにおいて開催される（～9.1）  
64か国の国会議員と国連やIPPF等関連機関から総勢550名が参加
- この年 1年間の普通死亡率6.0%で人口動態統計史上の最低を記録
- 昭55(1980)
4. 広島市が政令指定都市（10番目）に
- 8.7 人口問題審議会「出生力動向に関する特別委員会報告」を発表
- 10.1 昭和55年国勢調査実施：総人口1億1,706万  
65歳以上老年人口1,000万の大台（割合は9.1%），雇用者の割合70%を超える（71.2%）
- 昭56(1981)
- 1.26 第21回国連人口委員会がニューヨークにおいて開催される（～2.4）
4. 出生力動向に関する分析研究会「出生力動向に関する社会・経済的分析」を発表
5. 毎日新聞社人口問題調査会第16回全国家族計画世論調査実施：避妊実行率79.7%  
子供「3人欲しい」が増加・首位の「2人」に迫る
- 7.1 ウチダ出版会『月刊人口』の発刊。ただし第6号（昭56.12）をもって休刊  
〃 世界人口45億と発表（国連の推計値4,508百万人）
- 10.27 人口と開発に関する国会議員会議が北京において開催される（～10.30）
- 12.4 厚生省人口問題研究所，将来推計人口を発表（昭和56年11月推計）  
昭和55～155年間について，昭和83年に1億3,028万でピーク・155年に1億1,850万で静止，65歳以上老年人口割合が昭和90～125年に20%を超す・155年19%と推計
- 12.9 国際人口学会（International Union for the Scientific Study of Population, IUSSP）総会が初めてアジアで開催される（～12.16, マニラ）
- この年 第1次産業就業者の割合が遂に10%を下回る（労働力調査の年平均値9.99%）  
〃 悪性新生物（がん）による死亡が脳血管疾患に代わって死因別死亡順位のトップとなる（全死因の23%を占める）・離婚件数が年間15万を超え（率も1.32%で）記録の更新をつづける
- 昭57(1982)
- 2.10 財団法人アジア人口・開発協会設立

- 6.11 厚生省人口問題研究所第8次出産力調査を実施：夫婦（妻の年齢50歳未満）票9,800票・独身（18～34歳の男女）票6,900票  
 子供を産み終えた夫婦の平均出生児数2.2人で変化なし
7. 1 中国1982年人口調査（第3次）を実施  
 総人口10億3,188万（台湾，ホンコン・マカオを含む）
- 7.25 国際連合高齢者問題世界会議（UN, World Assembly on Aging）がウィーンにおいて開催される（～8.6）
- 9.20 第3回アジア・太平洋人口会議（The Asian and Pacific Population Conference）がエスカップ主催でコロンボにおいて開催される（～9.29）  
 1984年に開催予定の国際人口会議に向けて「人口と開発の行動呼びかけ」（Call for Action on Population and Development）が採択される
- この年 普通出生率が13‰水準を下回る12.8‰で人口動態統計史上最低を記録・しかし出生力ないし再生産力指標は前年を上回り（合計特殊出生率1.74→1.77，純再生産率0.83→0.85）回復の兆し
- 昭58(1983)
- 2.22 参議院社会労働委員会など4委員会の連合審査において「高齢化社会への対応策」が取り上げられ，人口問題，老人保健，年金制度などについて，人口問題研究所長ほかの専門家が参考人として意見を述べる
- 8.12 1980年代経済社会の展望と指針（昭和58～65年度，経済成長率：計画4％程度）を閣議決定  
 創造的安定社会の構築を目的とした計画
- 8.23 第3回エスカップ人口委員会がバンコクにおいて開催される（～8.29）
- この年 第四次全国総合開発計画（仮称）の策定作業に着手
- 昭59(1984)
- 1.18 第22回国際連合人口委員会がニューヨークの国連本部で開催される（～1.20）  
 （今回より岡崎陽一人口問題研究所長が委員として出席）
- 1.23 1984年国際人口会議準備委員会がニューヨークの国連本部で開催される（～1.27）
2. 1 エイジング総合研究センター設立（昭60.3.30 法人として認可され社団法人となる）
- 2.17 第1回人口と開発に関するアジア議員フォーラムがニューデリーにおいて開催される（～2.20）  
 1981年北京で開かれた人口と開発に関するアジア国会議員会議で設立が決まったもので，アジア33か国の代表が参加
5. 毎日新聞社人口問題調査会第17回全国家族計画世論調査実施：避妊実行率80.7％  
 理想子供数平均2.55人・体外受精6割が容認

- 6.20 人口問題審議会「特別委員会報告書」(人口白書)を総会において承認し、厚生大臣に報告

人口問題審議会が、8月に開催予定の国際人口会議に向けてのわが国の対応を検討審議するため設置した「国際人口会議に関する特別委員会」がまとめたもので、昭和49年以来10年ぶりのいわゆる「人口白書」である(この報告書は『日本の人口・日本の社会—高齢化社会の未来図』と題して公刊;昭59.8)

- 7.25 歴史人口学研究会設立

- 8.6 国際連合主催の1984年国際人口会議(International Conference on Population, 1984)がメキシコシティにおいて開催される(～8.14)

世界の149か国が参加、「世界人口行動計画」(1974年ブカレスト会議で採択)の継続実施のための勧告と人口と開発に関するメキシコ市宣言を採択

- 8.15 人口と開発に関する国際議員会議がメキシコシティにおいて開催される(～8.16)

この年 わが国の総人口1億2,000万を超える(総務庁統計局の発表で7月1日現在の推計人口1億2,002万)

“ 女子の平均寿命が世界で最初の80台に(昭和59年簡易生命表:女80.18・男74.54年)

“ 戦後の記録を年々更新していた離婚率が12年ぶりに低下を示した(昭和58年1.51%→1.50%)

昭60(1985)

- 2.5 第1回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議が東京で開催される(～2.7)

発展途上国を中心に深刻化している人口と開発問題に取り組むための提言をまとめる

- 2.19 第23回国際連合人口委員会がニューヨークの国連本部で開催される(～2.28)

昨年の国際人口会議における「世界人口行動計画の継続実施のための勧告」を受けて国連がそれを具体的に実現するための方策を審議

- 7.23 長寿社会対策関係閣僚会議の設置を決定

来年6,7月までをめぐりに「長寿社会政策大綱」(仮称)を作る

- 9.12 国際学術連合会議(ICSU)の研究報告発表

いわゆる「核の冬」の被害状況警告、生態系の破壊で食糧生産が不可能になり世界人口の半数以上の25億人が餓死するだろう

- 10.1 昭和60年国勢調査実施:総人口1億2,105万

広島市も100万都市に

この年 わが国の老年人口が総人口の1割に達した(総務庁統計局の1月1日現在の推計人口による65歳以上人口割合10.01%,実数は1,205万人)

昭61(1986)

- 3.3 第2回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議が東京で開催される(～5)

